

各務原市
高齢者福祉計画及び介護保険事業計画
に係るアンケート調査
【結果報告書〔電子データ版〕】

令和8年3月

各務原市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の実施概要	3
3.	調査結果報告書の見方	5
II	調査結果の概要	7
1.	健康状態について	8
2.	認知症について	8
3.	日常生活について	9
4.	介護について	9
5.	災害対策について	11
6.	権利擁護について	11
7.	高齢者福祉施策全般について	12
III	一般高齢者調査結果	13
1.	回答いただく方について	14
2.	宛名の方について	15
3.	宛名の方のご家族や生活状況について	19
4.	からだを動かすことについて	24
5.	食べることについて	35
6.	毎日の生活について	41
7.	地域での活動について	59
8.	たすけあいについて	65
9.	健康について	73
10.	認知症について	82
11.	災害対策について	88
12.	介護予防について	91
13.	自身の人生の最終段階における過ごし方について	99
14.	介護保険及び高齢者福祉全般について	102
15.	調査結果からみる調査対象者の評価	112

IV 居宅要支援・要介護認定者調査結果	129
1. 回答いただく方について	130
2. 宛名の方について	131
3. 宛名の方の病気について	141
4. からだを動かすことについて	145
5. 食べることについて	155
6. 毎日の生活について	159
7. 地域での活動について	166
8. たすけあいについて	171
9. 健康について	178
10. 認知症について	182
11. 災害対策について	189
12. 介護保険サービス全般について	192
13. 自身の人生の最終段階における過ごし方について	211
14. 宛名の方を介護している方について	214
V 在宅介護実態調査結果	223
1. 基本属性	224
2. A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	226
3. B票 主な介護者、もしくは本人による回答項目	239
VI 事業所調査結果	245
1. 貴事業所で実施しているサービスについて	246
2. 回答している方ご自身の状況について	261
3. 高齢者福祉全般について	262
VII 居宅介護支援専門員調査結果	263
1. 回答いただく方について	264
2. ケアプランの作成について	266
3. ケアマネジメントの質の向上について	275
4. サービス担当者会議の実施状況について	280
5. 地域包括支援センターについて	281
6. 医療との連携状況について	284
7. 高齢者虐待について	290
8. ヤングケアラー問題について	292
9. 人生の最終段階における過ごし方について	293
10. 介護保険全般について	294
11. 高齢者福祉全般について	300

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「各務原市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の見直しを行うにあたり、策定の基礎資料とするために実施したものです。各調査の目的は以下のとおりです。

調査種別	目的
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【一般高齢者】	要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に、その生活実態や介護予防の取り組み、高齢者福祉施策に関するニーズなどを把握することを目的として実施した。
②高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査 【居宅要支援・要介護認定者】	居宅の要支援・要介護認定者を対象に、介護保険サービスの利用状況、満足度、利用希望等を把握するとともに、ケアプランや介護保険制度に対する意向等を把握し、介護保険サービスの充実と公平・公正な介護保険制度の運営に向けた基礎資料づくりを目的として実施した。
③在宅介護実態調査	居宅の要支援・要介護認定者を対象に、居宅要支援・要介護認定者及び主な介護者に在宅介護の実態や介護と仕事の両立等の状況を把握することを目的として実施した。
④高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査 【事業所】	本市の被保険者が利用するサービス事業者を対象に、今後の事業見込みや意見・要望等を把握することを目的として実施した。
⑤高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査 【居宅介護支援専門員】	居宅介護支援専門員を対象に、介護保険サービス利用者とサービス提供事業者等の間に潜在している意見や要望を把握し、問題点を明確にすることを目的として実施した。

2. 調査の実施概要

(1) 調査方法

調査種別 ※本報告書中の 表記に同じ	内容	
①一般高齢者	調査対象	要介護認定を受けていない 65 歳以上の人から無作為抽出
	配布・回収方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回答
	調査期間	令和8年1月16日～令和8年2月5日
②居宅要支援・ 要介護認定者	調査対象	要支援・要介護認定を受けて居宅で生活している人から無作為抽出
	配布・回収方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回答
	調査期間	令和8年1月16日～令和8年2月5日
③在宅介護実態 調査	調査対象	「要支援・要介護認定の申請をして居宅で生活している人から無作為抽出
	配布・回収方法	認定調査員が直接訪問・聞き取り
	調査期間	令和7年10月9日～令和8年1月31日
④事業所	調査対象	市内介護サービス事業所
	配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
	調査期間	令和8年1月16日～令和8年2月5日
⑤居宅介護支援 専門員	調査対象	市内の居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所に所属している介護支援専門員
	配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
	調査期間	令和8年1月16日～令和8年2月5日

(2) 回収結果

①市民向け調査

区分		①一般高齢者	②居宅要支援・要介護認定者	③在宅介護実態調査
配布数 (A)		2,000 件	600 件	-件
回収数 (B)	郵送	1,304 件	348 件	-件
	WEB	140 件	24 件	-件
	合計	1,444 件	372 件	299 件
回収率 (B/A)		72.2%	62.0%	-%
無効回答件数		12 件	5 件	1 件
有効回答件数 (C)		1,432 件	367 件	298 件
有効回収率 (C/A)		71.6%	61.2%	-%

※参考：令和4年度（令和5年1月調査）の有効回収率

①一般高齢者（69.3%）、②居宅要支援・要介護認定者（56.8%）、③在宅介護実態調査（517件）

②事業所向け調査

区分	④事業所	⑤居宅介護支援専門員
配布数 (A)	230 件	153 件
回収数 (B)	138 件	111 件
回収率 (B/A)	60.0%	72.5%
無効回答件数	2 件	0 件
有効回答件数 (C)	136 件	111 件
有効回収率 (C/A)	59.1%	72.5%

※参考：令和4年度（令和5年1月調査）の有効回収率

④事業所調査（64.5%）、⑤居宅介護支援専門員（82.6%）

3. 調査結果報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「単数回答」「複数回答」について

図表のタイトルにある「単数回答」は、選択肢の中から1つだけを選ぶもの、「複数回答」は選択肢の中から2つ以上を選ぶものを表します。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of Casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま、選択肢の順に記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●読取文について

グラフや表についての読取文は、原則として割合等が高い順に記述しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は、読取文の対象外としています。

●表について

表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**二番目に割合の高い項目**を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。

●「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●「圏域」について（一般高齢者調査結果、居宅要支援・要介護認定者調査結果）

本文中における「圏域」とは日常生活圏域を指し、各小学校区を下記のとおり集約しています。

北部西区域：那加第一、尾崎、蘇原第一

西部区域：那加第二、那加第三、蘇原第二

北部東区域：中央（船山・坂井・東島・各務西組第一自治会）、各務、八木山

中部区域：中央（上記以外）、鶉沼第二、陵南

東部区域：鶉沼第一、鶉沼第三、緑苑

南部区域：稲羽西、稲羽東

川島区域：川島

※詳細は、各調査結果の問2を参照してください。

II 調査結果の概要

1. 健康状態について

(1) 幸福度

現在の幸せの程度について「0点」～「10点」でたずねたところ、平均点は①一般高齢者で6.87点、②居宅要支援・要介護認定者で5.83点となっている。要介護度別で見ると、要介護度が高いほど平均点は低く、要介護度が上昇すると、幸福度も低下することがうかがえる。(①一般高齢者：問45、②居宅要支援・要介護認定者：問44)

(2) 介護予防の取組状況

①一般高齢者の介護予防への取り組み状況について、「意識して取り組んでいる」が35.6%であるのに対し、「体力が落ちてきたら取り組みたい」・「もう少し歳をとってから取り組みたい」・「きっかけがあれば取り組みたい」・「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」を合わせた“関心はあるが現在は取り組んでいない”人が50.6%となっており、介護予防に対する関心はあるものの、実際の活動にはつながっていないケースが多いと見込まれる。(①一般高齢者：問59) また、市の介護予防事業に参加したことがない人の介護予防事業に参加しない理由として最も高かったのは、「事業(教室)に参加するほどの状態ではない」(50.2%)である。(①一般高齢者：問62-1) 一方、転倒リスクのある高齢者は全体の31.4%となっている。(①一般高齢者：機能判定評価 転倒リスク) 早いうちから介護予防に取り組む重要性の周知と、活動への参加につなげる取り組みが求められる。

2. 認知症について

(1) 認知症予防への関心

①一般高齢者が介護予防に関して市に力を入れてほしいことは、「認知症予防」(37.5%)が最も高い。(①一般高齢者：問63) また、健康について知りたいこととして「認知症の予防について」(26.0%)が最も高く、一般高齢者の認知症予防への関心が高いことがうかがえる。(①一般高齢者：問50)

(2) 認知症の人にやさしいまちづくり

各務原市が認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっているかについて、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』が①一般高齢者で25.0%、②居宅要支援・要介護認定者で30.2%となっている。(①一般高齢者：問54、②居宅要支援・要介護認定者：問51) また、「新しい認知症観」について、「よく知っている」が①一般高齢者で6.8%、②居宅要支援・要介護認定者で5.4%となっており、「聞いたことはあるが意味は知らない」が①一般高齢者で23.6%、②居宅要支援・要介護認定者で19.3%となっている。(①一般高齢者：問53、②居宅要支援・要介護認定者：問50) ④事業所では、認知症高齢者の介護で進める必要があることについて、「認知症についての理解促進」「認知症高齢者を抱える家族への支援」がそれぞれ68.4%と最も高く、「認知症高齢者を抱える家族への支援」は令和4年度に実施した同様の調査(以下、「前回調査」という)より5.6ポイント高くなっていることから、家族への支援へのニーズが高まっていることがうかがえる。(④事業所：問6) 引き続き、まち全体で認知症への理解を深め、認知症の人やその家族を地域全体で支えることができるまちづくりを進めていく必要がある。

3. 日常生活について

(1) 日頃の生活で不安に思っていること

日常生活で不安に思っていることについて、①一般高齢者、②居宅要支援・要介護認定者いずれも「病気など健康状態が悪くなった時のこと」が最も高くなっている。②居宅要支援・要介護認定者において2番目に高い「火事や地震、風水害にあうこと」は、前回調査より4.8ポイント増加しており、災害等緊急時への不安が高まっていることがうかがえる。(①一般高齢者：問28、②居宅要支援・要介護認定者：問32)

(2) 携帯電話の保有

①一般高齢者の携帯電話の保有状況について、「スマートフォンを保有している」(76.9%)が前回調査より7.1ポイント増加している。年齢別で見ると、いずれの年代においても半数以上がスマートフォンを保有している。高齢者においても、スマートフォン・PC等の普及により、ICTの活用可能性が高まっており、デジタル機器を活用した健康づくりの環境整備を進めていく必要がある。(①一般高齢者：問30)

(3) 外出

外出について、「控えている」と回答した①一般高齢者(17.9%)は前回調査より13.5ポイント減少、②居宅要支援・要介護認定者(48.0%)は前回調査より19.4ポイント減少している。(①一般高齢者：問15、②居宅要支援・要介護認定者：問20)上記の人が外出を控えている理由について、「感染症の影響」と回答した割合が前回調査より①一般高齢者で49.1ポイント、②居宅要支援・要介護認定者で18.1ポイント減少していることから、コロナ禍以降、外出状況は回復しつつあることがうかがえる。(①一般高齢者：問15-1、②居宅要支援・要介護認定者：問20-1)

外出する際の移動手段について、①一般高齢者では「自動車(自分で運転)」(71.6%)、②居宅要支援・要介護認定者では「自動車(人に乗せてもらう)」(53.4%)が最も高くなっている。①一般高齢者では、「自動車(自分で運転)」が前回調査より5.8ポイント増加しており、外出時の移動手段として自動車への依存度が高まっていることから、免許返納後の閉じこもりリスクへの対策を講じる必要がある。(①一般高齢者：問16、②居宅要支援・要介護認定者：問21)

4. 介護について

(1) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

①一般高齢者に対し、今後、仮に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいかについて、「自宅」(39.5%)が最も高くなっている。(①一般高齢者：問72)②居宅要支援・要介護認定者が在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(27.2%)が最も高く、次いで「配食」(19.3%)、「外出同行(通院・買い物など)」(17.7%)となっている。(②居宅要支援・要介護認定者：問63)今後も在宅での介護を希望する人が地域で暮らし続けるためのサービスの充実が求められる。

(2) 介護者の状況

②居宅要支援・要介護認定者を介護する人が、現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護等について、「外出の付き添い、送迎等」(33.5%)が最も高く、次いで「認知症状への対応」(28.9%)、「夜間の排泄」(26.3%)となっている。前回調査より、「外出の付き添い、送迎等」で18.8ポイント、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」で12.4ポイント、「服薬」で9.1ポイント、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」で7.9ポイント高くなっており、ニーズの高まりがみられる。(②居宅要支援・要介護認定者：問76)

②居宅要支援・要介護認定者の介護者が、介護の際に困っていることについて、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」(36.1%)が最も高く、次いで「心身の疲労が大きい」(35.6%)、「経済的負担が大きい」(20.1%)となっている。(②居宅要支援・要介護認定者：問79) 在宅での介護の継続においては、介護者のニーズに応じたサービスやレスパイトサービス(家族介護者等が息抜きできるようにするためのサービス)の充実が求められる。

(3) ヤングケアラー

⑤居宅介護支援専門員で、家庭内にヤングケアラーがいる事例を経験(担当)したことが「ある」と回答した人(15.3%)は、前回調査より8.0ポイント増加している。(⑤居宅介護支援専門員：問34) 増加する複合的な課題に対し、早期発見・早期対応に向けた体制を構築していく必要がある。

(4) ケアマネジャーの業務

⑤居宅介護支援専門員がケアマネジャーの業務で難しいことについて、「身寄りのない、独居高齢者の安全の確保と対応」(78.4%)が最も高く、次いで「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整」(75.7%)、「困難なケース(認知症など)への対応」(66.7%)となっている。前回調査より、「困難なケース(認知症など)への対応」で11.7ポイント、「身寄りのない、独居高齢者の安全の確保と対応」で8.7ポイント増加している。(⑤居宅介護支援専門員：問17) また、認知症のある利用者のケアプラン作成時に困難だと思うことについて、「本人の同意が得られない」(70.3%)が最も高くなっている。(⑤居宅介護支援専門員：問15) 今後、身寄りのない高齢者や認知症高齢者は増加していくことが見込まれるため、さらなる対策を進めていく必要がある。

(5) 事業所の状況

④事業所におけるこの1年間の人材の確保の状況は、「確保できている」と「おおむね確保できている」を合わせた『確保できている』と回答した事業所(52.9%)が、前回調査より20.3ポイント増加している。(④事業所：問12) また、職員の外部研修の受講状況は、「毎月1回以上受けさせている」「6か月に1回以上受けさせている」「毎年1回以上受けさせている」を合わせた“受けさせている”事業所(65.5%)が、前回調査より11.2ポイント増加している。(④事業所：問8)

一方、事業所の事業展開上の課題として挙げられていることについては、「介護報酬が低い」(62.5%)が最も高く、次いで「専門職員(スタッフ)の確保が難しい」(53.7%)、「介護保険制度の将来像が不透明である」(34.6%)となっている。前回調査と比較すると、「専門職員(スタッフ)の確保が難しい」で9.1ポイント、「職員の教育が十分にできない」で10.9ポイント減少しているのに対し、「介護報酬が低い」で13.7ポイント、「介護保険制度の将来像が不透明である」で5.9ポイント増加していることから、事業所の主な課題が変わってきていることがうかがえる。(④事業所：問11)

5. 災害対策について

(1) 災害時における避難

災害時に自力で避難「できない」と回答した人が、①一般高齢者で11.6%、②居宅要支援・要介護認定者で66.2%となっている。①一般高齢者を年齢別で見ると、年齢が高いほど「できない」の割合が高く、②居宅要支援・要介護認定者を要介護度別で見ると、概ね要介護度が高いほど「できない」の割合が高い。(①一般高齢者：問56、②居宅要支援・要介護認定者：問53) 一方、災害時の避難においてとっている対策について、「何もしていない」と回答した①一般高齢者が40.9%、②居宅要支援・要介護認定者が53.7%となっている。①一般高齢者では、前回調査より4.6ポイント増加している。(①一般高齢者：問57、②居宅要支援・要介護認定者：問54)

高齢者世帯を地域で支えるためにあるとよい生活支援として「災害時の避難支援・安否確認」と回答した人の割合は、①一般高齢者、②居宅要支援・要介護認定者ともに3割以上を占めており、②居宅要支援・要介護認定者では前回調査より4.1ポイント増加している。(①一般高齢者：問71、②居宅要支援・要介護認定者：問65)

災害時の対応に関する関心が高まっており、災害発生時に備えた避難行動要支援者名簿への登録や更新、支援を必要とする人の特定及び支援体制の構築、福祉避難所の設置に向けた事業所等との連携強化等に取り組んでいく必要がある。

6. 権利擁護について

(1) 家庭内における高齢者虐待

④事業所で、家族からの虐待の事例を経験したことが「ある」と回答した事業所の割合(19.9%)は、前回調査より9.8ポイント増加している。虐待の対応にあたっての問題として「虐待している人が虐待だと思っていない」(63.0%)が最も高くなっている。(④事業所：問5、問5-2)

⑤居宅介護支援専門員で、家庭内における高齢者虐待の事例を経験(担当)したことが「ある」と回答した人の割合は47.7%となっている。高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みについて、「相談窓口の設置、明確化」(63.1%)が最も高く、次いで「緊急一時保護施設の確保」(48.6%)となっている。(⑤居宅介護支援専門員：問31、問32)

介護者への支援などを通じた高齢者虐待の防止、早期発見・早期介入のための連携体制の構築・深化が求められる。

7. 高齢者福祉施策全般について

(1) 高齢者にとって住みよいまちをつくるために重点を置くべきこと

高齢者にとって住みよいまちをつくるために重点を置くべきことについて、①一般高齢者、②居宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」となっており、市民の視点で重要視されていることがうかがえる。(①一般高齢者：問 74、②居宅要支援・要介護認定者：問 68)

同様の項目について、⑤居宅介護支援専門員では「サービス利用の手続きの簡素化」(64.0%)が最も高く、次いで「気軽に出かけられるよう外出支援体制の充実」(60.4%)、「高齢者の就労の場の確保や社会参加活動の促進」(53.2%)となっている。「サービス利用の手続きの簡素化」は、前回調査より 8.0 ポイント増加している。(⑤居宅介護支援専門員：問 41) 高齢者の閉じこもり防止、社会参加に向けた支援に加え、どんな人もサービスが使いやすい体制の構築が求められる。

(2) 高齢者世帯を地域で支えるためにあるとよい生活支援

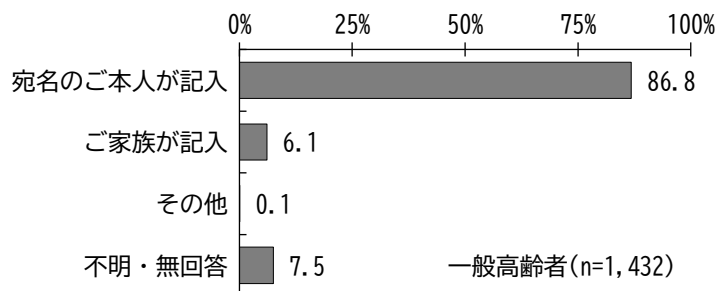
高齢者世帯を地域で支えるためにあるとよい生活支援について、①一般高齢者、②居宅要支援・要介護認定者ともに「話し相手・相談相手になること」が最も高くなっており、「安否確認などの声かけ・見守り」「災害時の避難支援・安否確認」も上位となっている。②居宅要支援・要介護認定者では、前回調査より「地区ごとに気軽に参加でき、仲間と楽しいひと時を過ごすサロンなど」で 9.8 ポイント、「安否確認などの声かけ・見守り」で 7.3 ポイント増加しており、日頃からの地域でのつながりや日常的な見守り体制の構築のニーズが高まっていることがうかがえる。(①一般高齢者：問 71、②居宅要支援・要介護認定者：問 65)

Ⅲ 一般高齡者調查結果

1. 回答いただく方について

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(複数回答)

調査票を記入された方は、「宛名のご本人が記入」が86.8%、「ご家族が記入」が6.1%、「その他」が0.1%となっています。



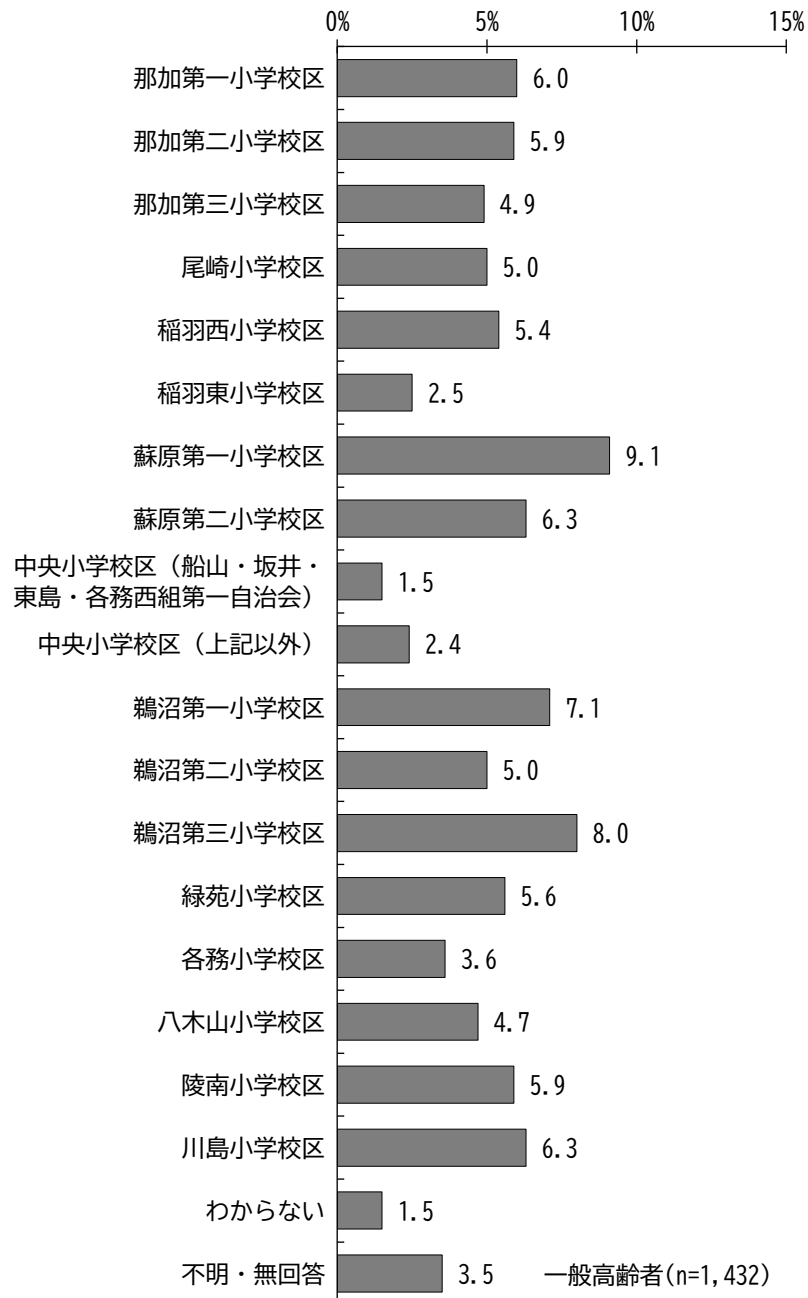
◆「ご家族が記入」した方について（宛名の本人からみた続柄）（自由記述）

宛名のご本人からみた続柄
妻 [28件]
夫 [5件]
娘 [12件]
子ども [7件]
息子 [5件]
弟
母
長男の嫁

2. 宛名の方について

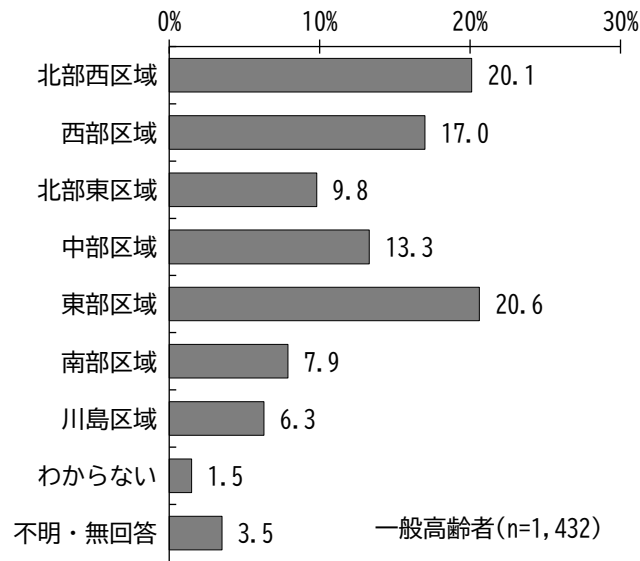
問2 現在住んでいる地域はどこですか。(単数回答)

現在住んでいる地域は、「蘇原第一小学校区」が 9.1%と最も高く、次いで「鵜沼第三小学校区」が 8.0%となっています。



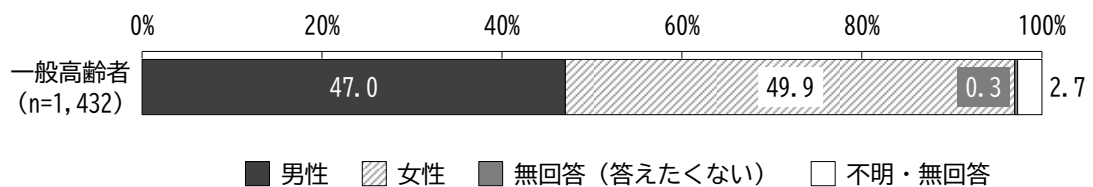
◆圏域別

圏域別でみると、「東部区域」が20.6%と最も高く、次いで「北部西区域」が20.1%となっています。



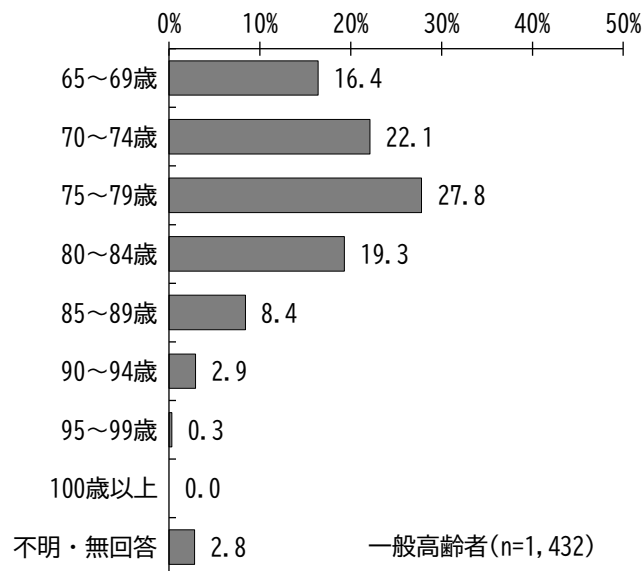
問3 宛名の方の性別をご回答ください。(単数回答)

性別は、「男性」が47.0%、「女性」が49.9%、「無回答(答えたくない)」が0.3%となっています。



問4 宛名の方の年齢をご回答ください。(単数回答)

年齢は、全体で「75～79歳」が27.8%と最も高く、次いで「70～74歳」が22.1%となっています。圏域別では、北部東区域で「70～74歳」「75～79歳」が、その他の圏域は「75～79歳」が、それぞれ最も高くなっています。



※以降、「90～94歳」「95～99歳」「100歳以上」については合算し、「90歳以上」と表記しています。

■クロス集計

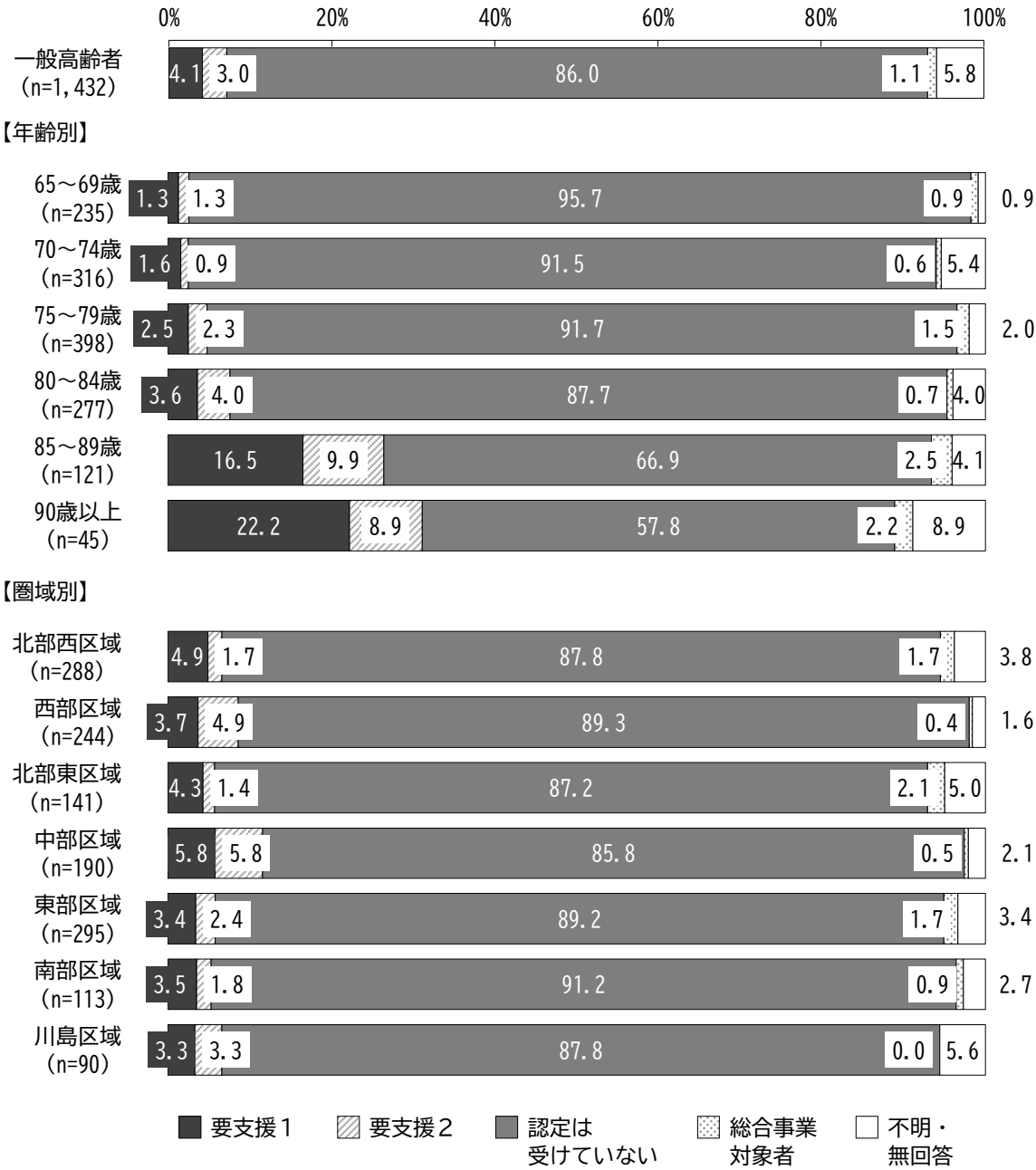
	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 歳 以上	不明・ 無回答
(単位：%)							
【圏域別】							
北部西区域 (n=288)	16.7	22.6	32.3	19.8	7.3	1.4	0.0
西部区域 (n=244)	18.0	22.1	23.4	18.4	11.9	5.3	0.8
北部東区域 (n=141)	17.7	24.8	24.8	19.9	7.8	4.3	0.7
中部区域 (n=190)	15.8	21.1	32.1	21.1	6.3	3.7	0.0
東部区域 (n=295)	13.9	23.7	27.5	22.4	9.2	3.1	0.3
南部区域 (n=113)	19.5	18.6	31.9	18.6	9.7	1.8	0.0
川島区域 (n=90)	22.2	20.0	31.1	16.7	7.8	2.2	0.0

問5 宛名の方の要支援区分はどちらですか。(単数回答)

要支援区分は、全体で「認定は受けていない」が86.0%と最も高く、次いで「要支援1」が4.1%となっています。

年齢別では、「要支援1」が85～89歳で16.5%、90歳以上で22.2%と、70歳代までと比べて高くなっています。

圏域別では、中部区域で「要支援1」「要支援2」が合わせて11.6%と、他の圏域と比べて高くなっています。



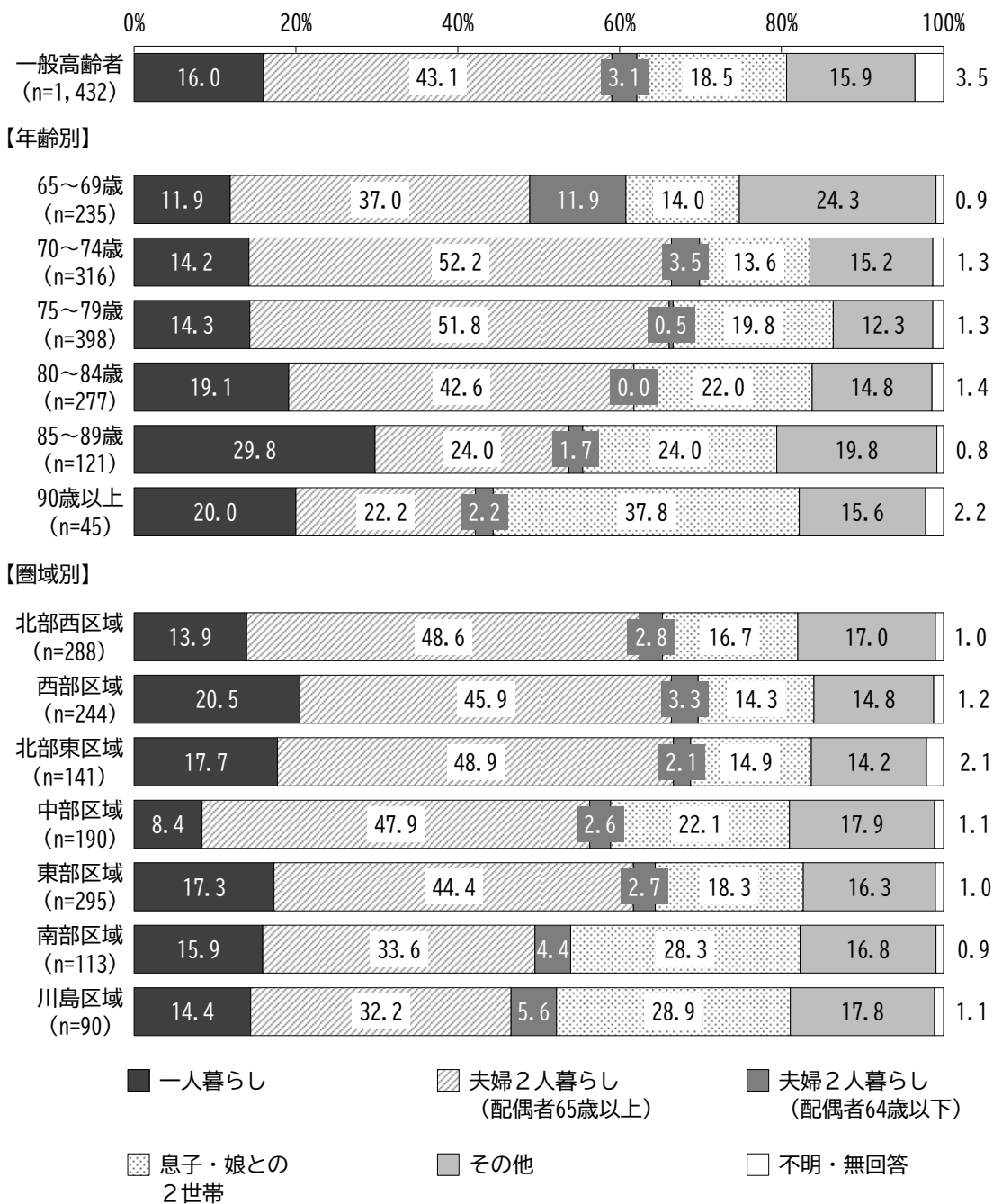
3. 宛名の方のご家族や生活状況について

問6 宛名の方の家族構成を教えてください。(単数回答)

家族構成は、全体で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.5%となっています。

年齢別では、「一人暮らし」が85～89歳で29.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、「一人暮らし」が西部区域で20.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、南部区域、川島区域で「息子・娘との2世帯」がそれぞれ約3割と、他の圏域と比べて高くなっています。

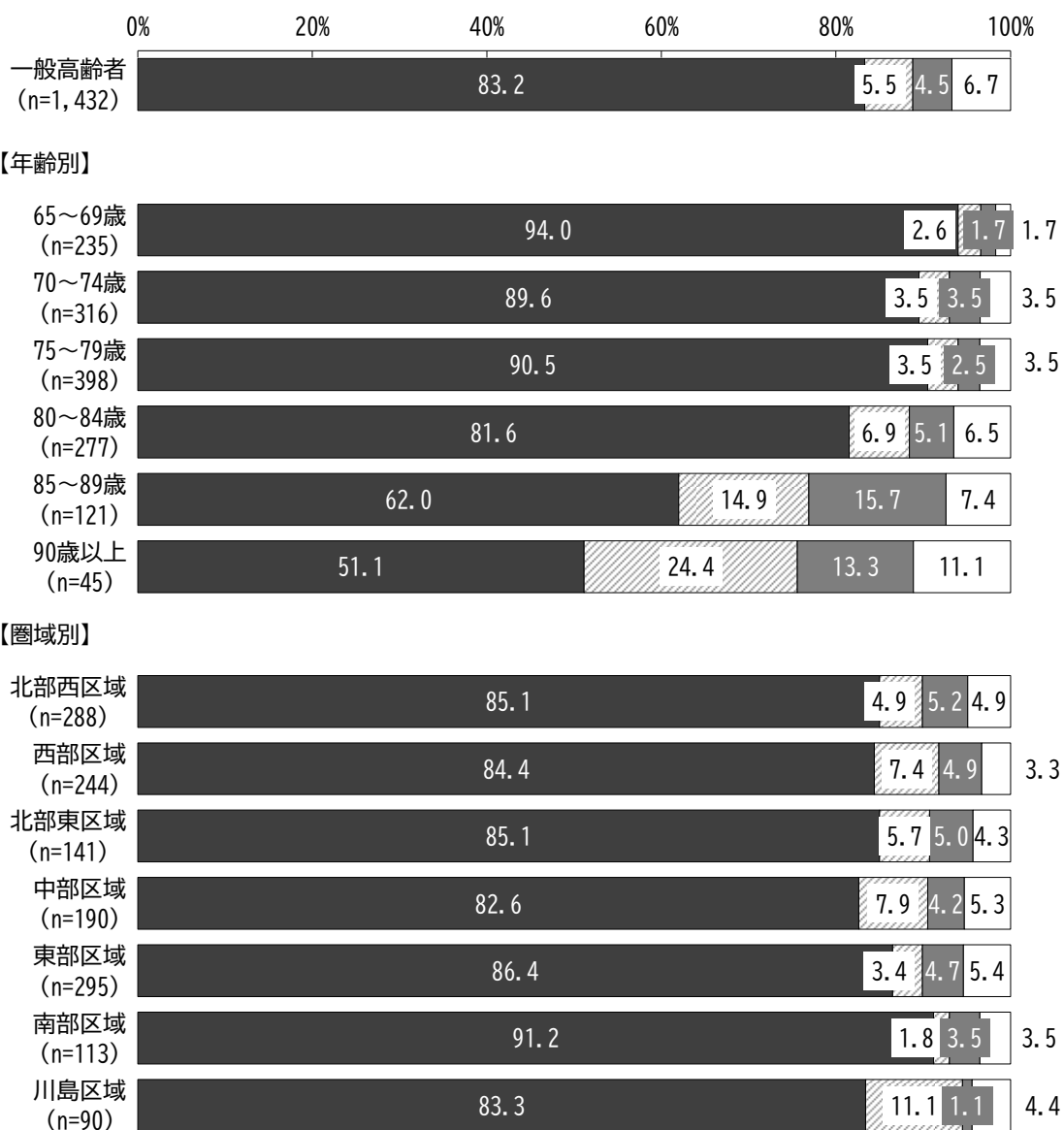


問7 宛名の方は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かは、全体で「介護・介助は必要ない」が83.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.5%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が4.5%となっています。

年齢別では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が、年齢が上がるにつれて高くなっています。

圏域別では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が川島区域で11.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。

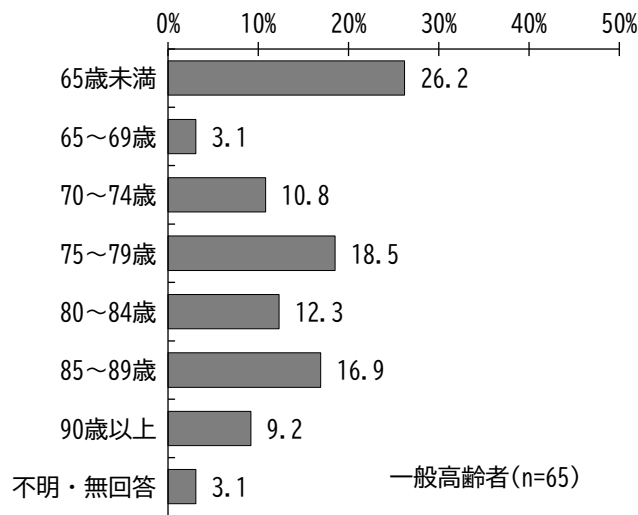


- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 不明・無回答

問7で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方のみ

問7-1 主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。（単数回答）

介護・介助者の年齢は、「65歳未満」が26.2%と最も高く、次いで「75～79歳」が18.5%となっています。



問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

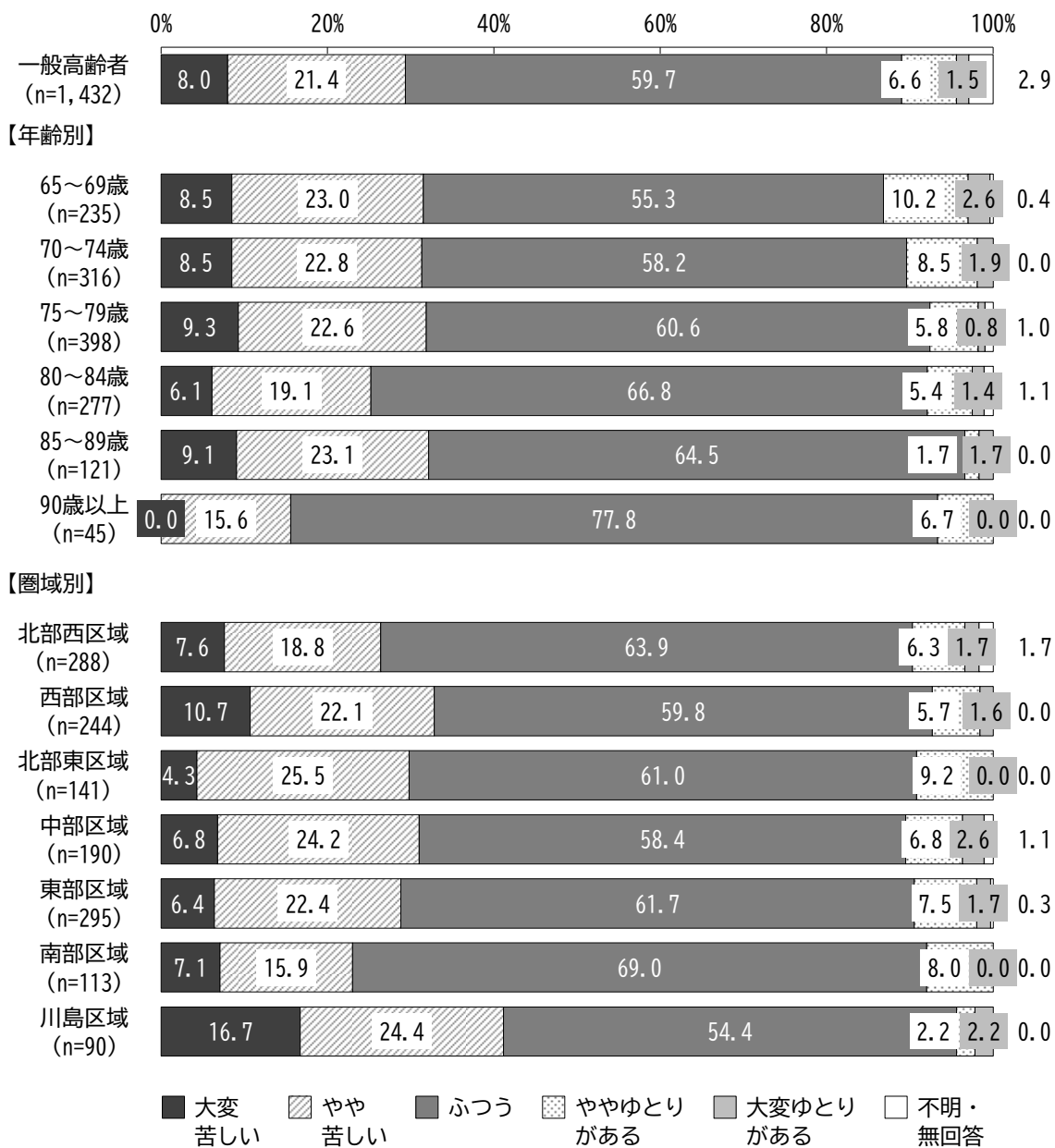
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『苦しい』 … 「大変苦しい」と「やや苦しい」の合算
- 『ゆとりがある』 … 「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合算

経済的にみた現在の暮らしの状況は、全体で『苦しい』が29.4%、「ふつう」が59.7%、『ゆとりがある』が8.1%となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳、75～79歳、85～89歳で『苦しい』がそれぞれ3割台と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域で『苦しい』が41.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。

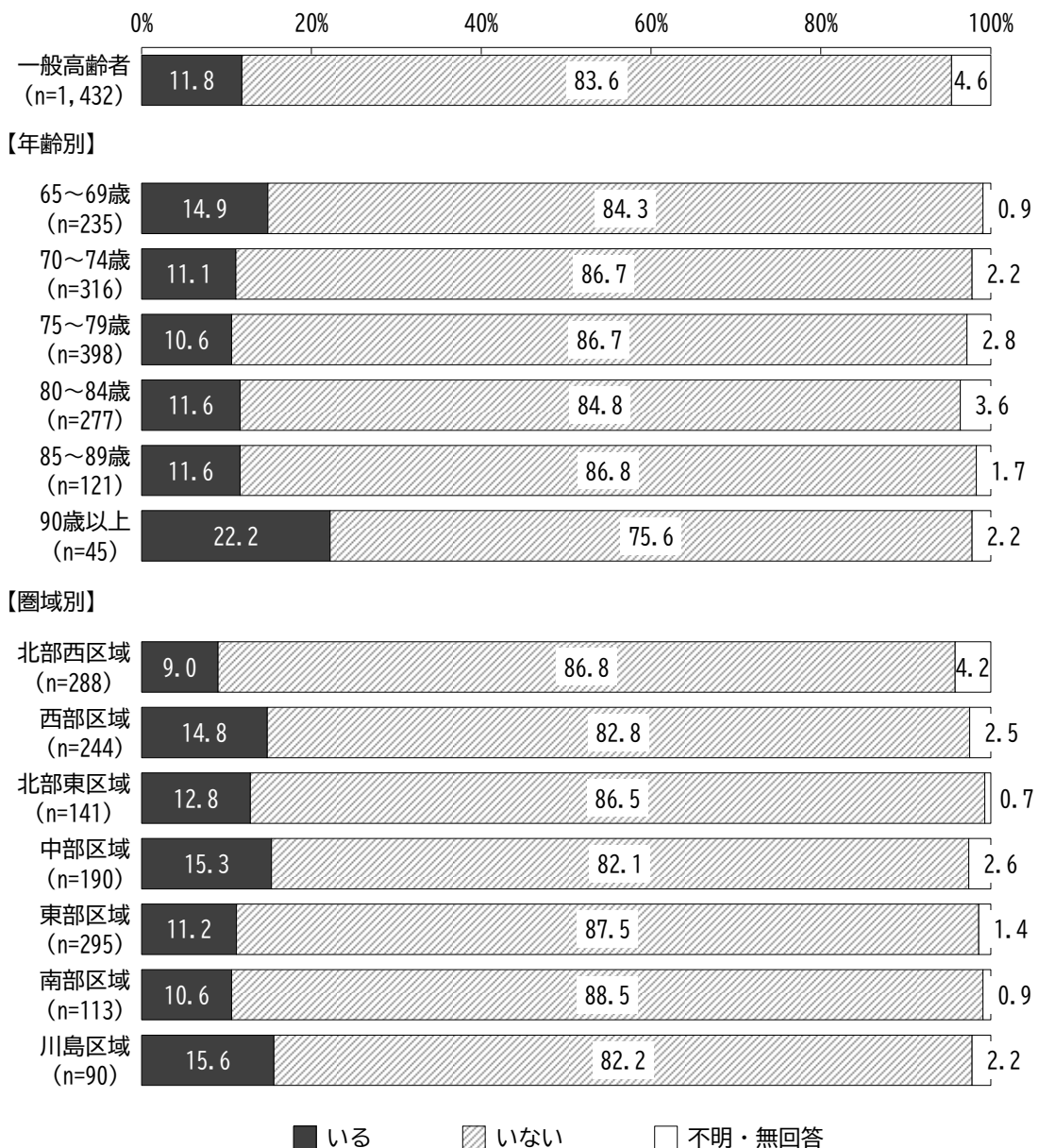


問9 宛名の方のご家庭に、仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。(単数回答)

家族に、仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方がいるかは、全体で「いる」が11.8%、「いない」が83.6%となっています。

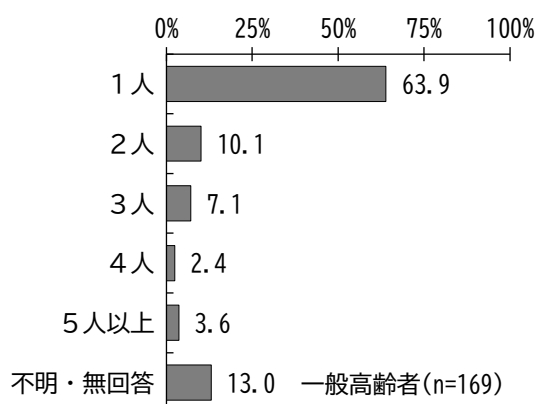
年齢別では、90歳以上で「いる」が22.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「いる」がそれぞれ1割前後となっており、川島区域、中部区域、西部区域では、それぞれ15%前後となっています。



◆仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方の人数（数量回答）

仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方の人数は、「1人」が63.9%と最も高く、次いで「2人」が10.1%となっています。なお、延べ人数は227人となっています。



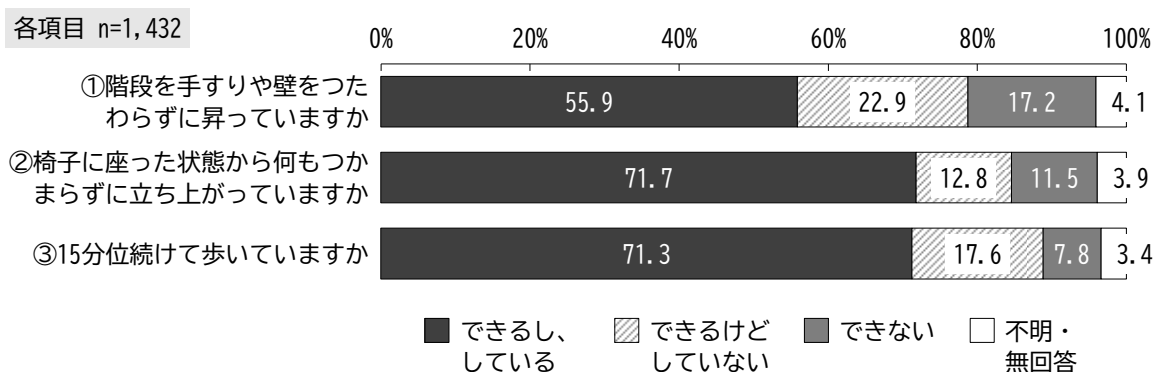
4. からだを動かすことについて

問10 運動能力や身体状況について、あてはまるものをご回答ください。（各単数回答）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が55.9%、「できるけどしていない」が22.9%、「できない」が17.2%となっています。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が71.7%、「できるけどしていない」が12.8%、「できない」が11.5%となっています。

15分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が71.3%、「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が7.8%となっています。



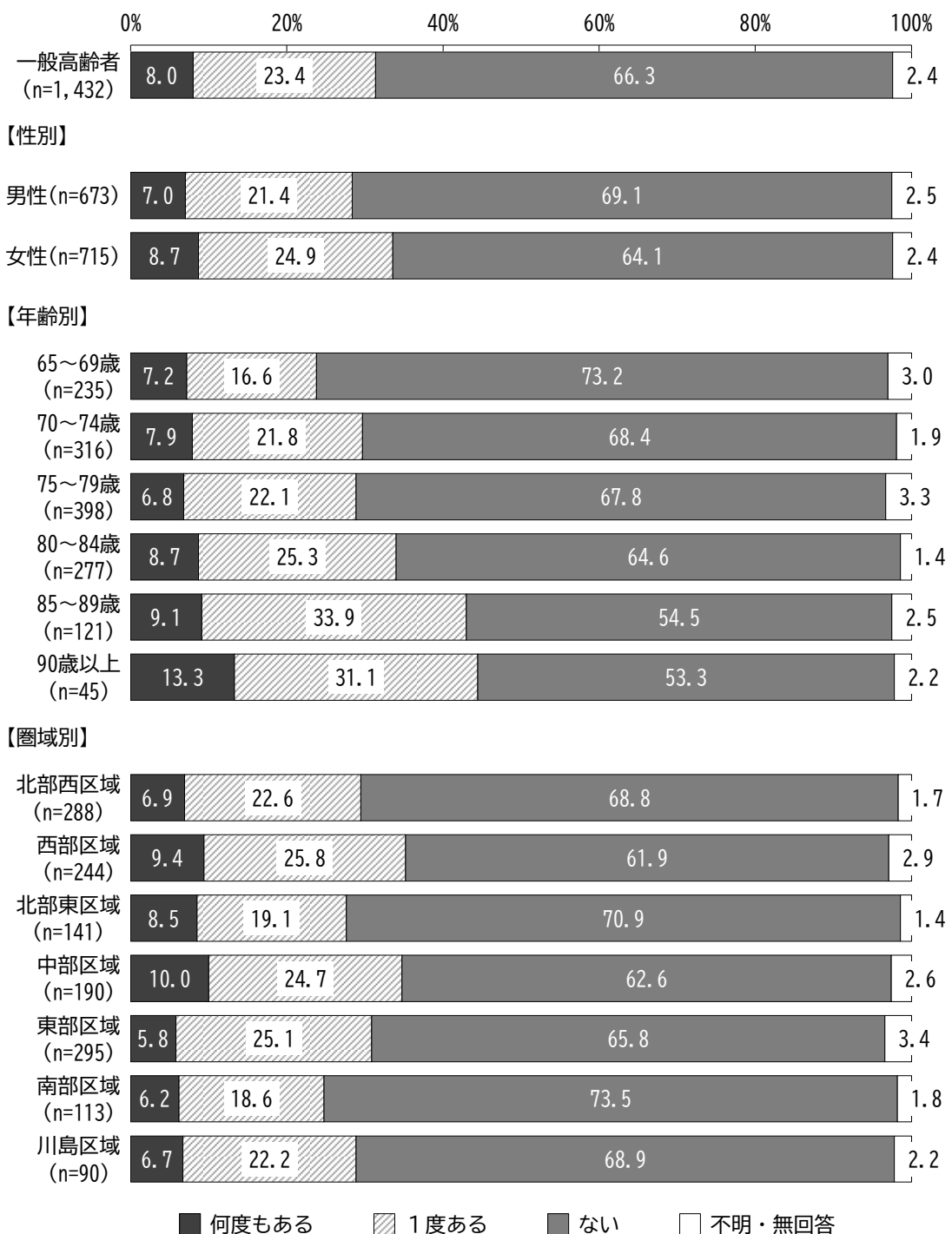
問 11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

過去1年間に転んだ経験があるかは、全体で「何度もある」が8.0%、「1度ある」が23.4%、「ない」が66.3%となっています。

性別では、男性、女性ともに「何度もある」がそれぞれ約1割となっています。

年齢別では、「ない」が、年齢が上がるにつれて低くなっています。

圏域別では、「ない」がいずれの圏域もそれぞれ6～7割台となっています。



問 12 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

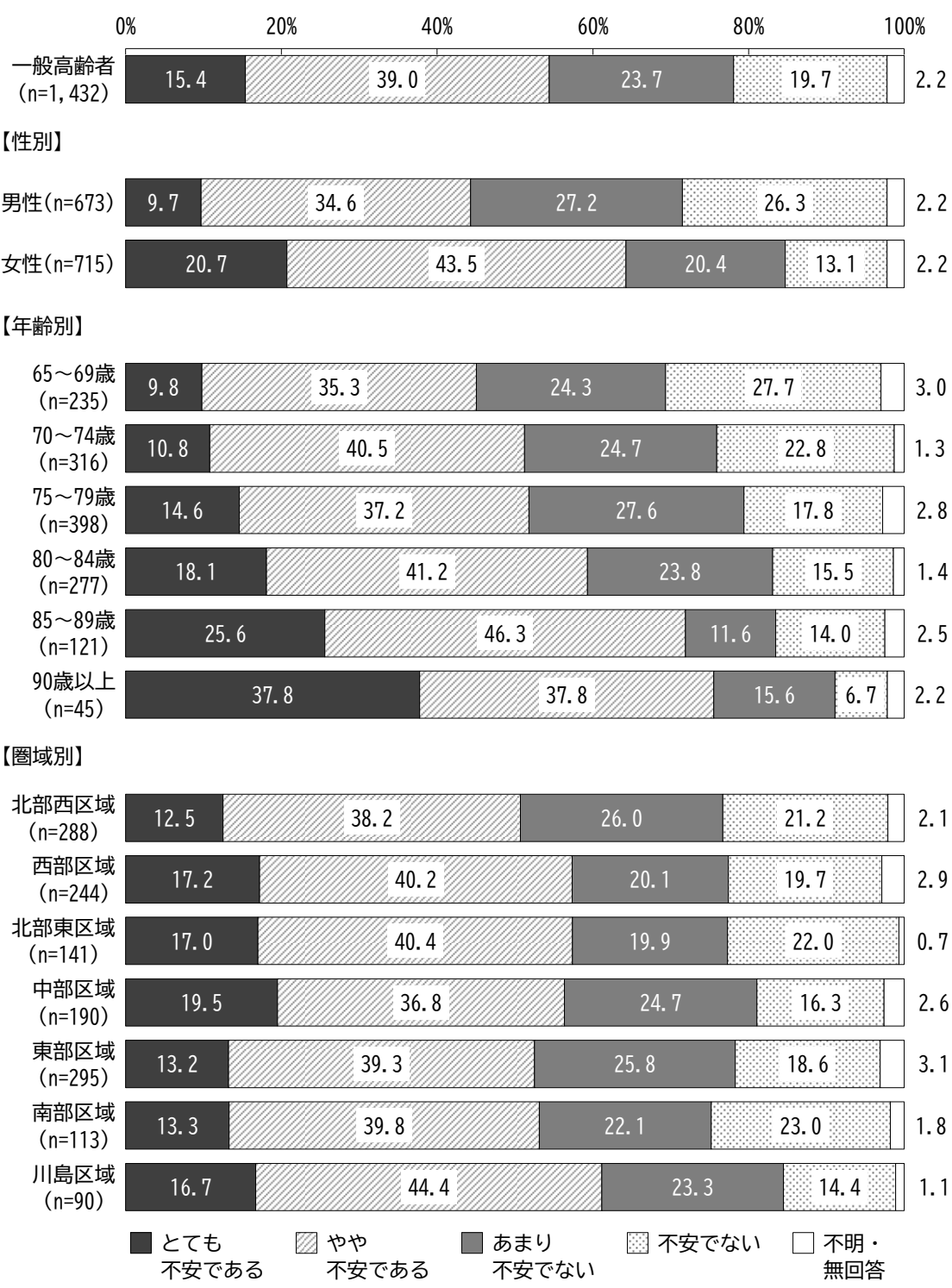
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。
 『不安である』 … 「とても不安である」と「やや不安である」の合算
 『不安でない』 … 「あまり不安でない」と「不安でない」の合算

転倒に対する不安は大きいかは、全体で『不安である』が54.4%、『不安でない』が43.4%となっています。

性別では、『不安である』が女性で64.2%と、男性と比べて19.9ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『不安である』が低くなっています。

圏域別では、川島区域で『不安である』が61.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。



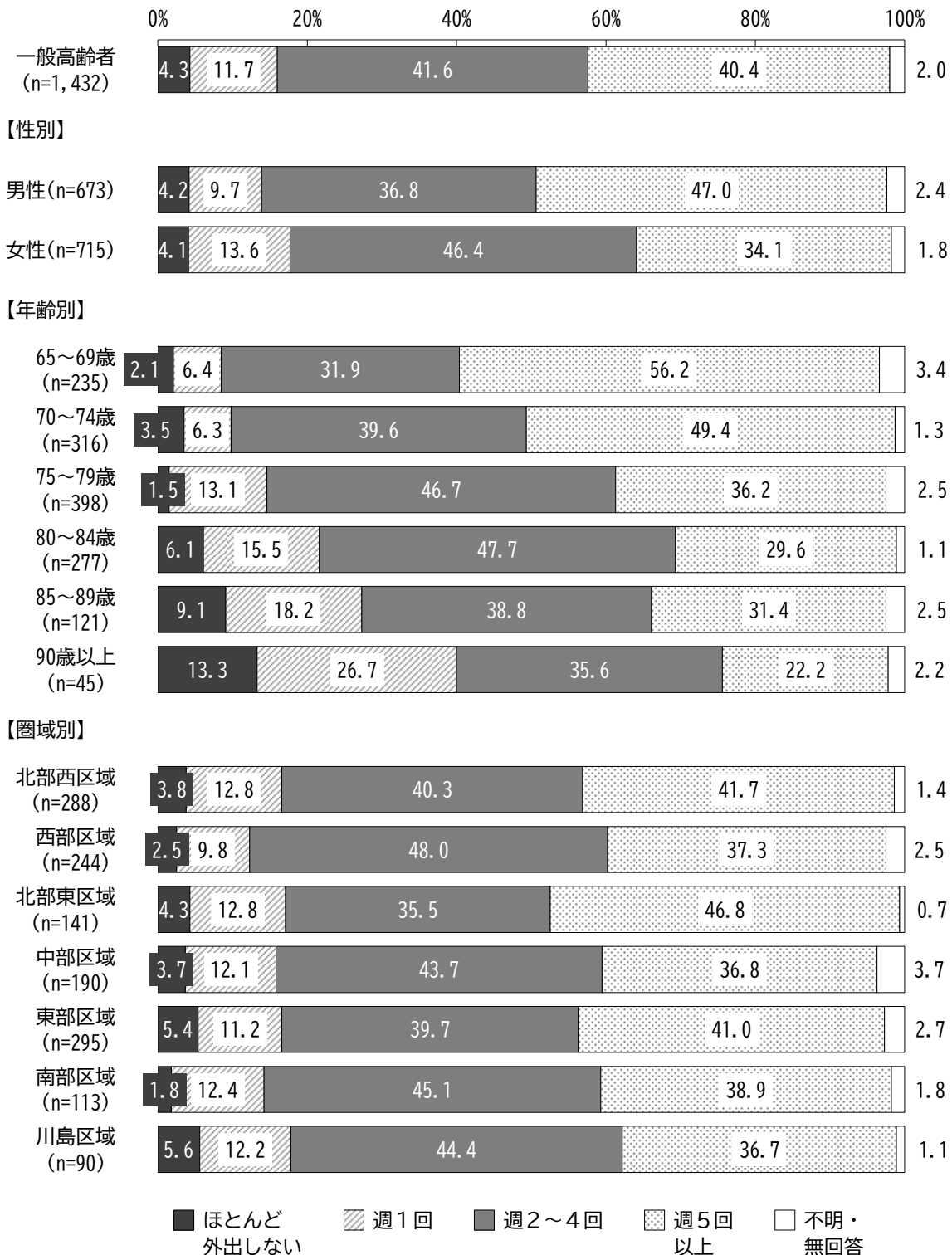
問13 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

週に1回以上は外出しているかは、全体で「週2～4回」が41.6%と最も高く、次いで「週5回以上」が40.4%となっています。

性別では、男性で「週5回以上」が47.0%と、女性と比べて12.9ポイント高くなっています。

年齢別では、85歳以上で「ほとんど外出しない」がそれぞれ約1割と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「週5回以上」がそれぞれ3～4割台となっています。



問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

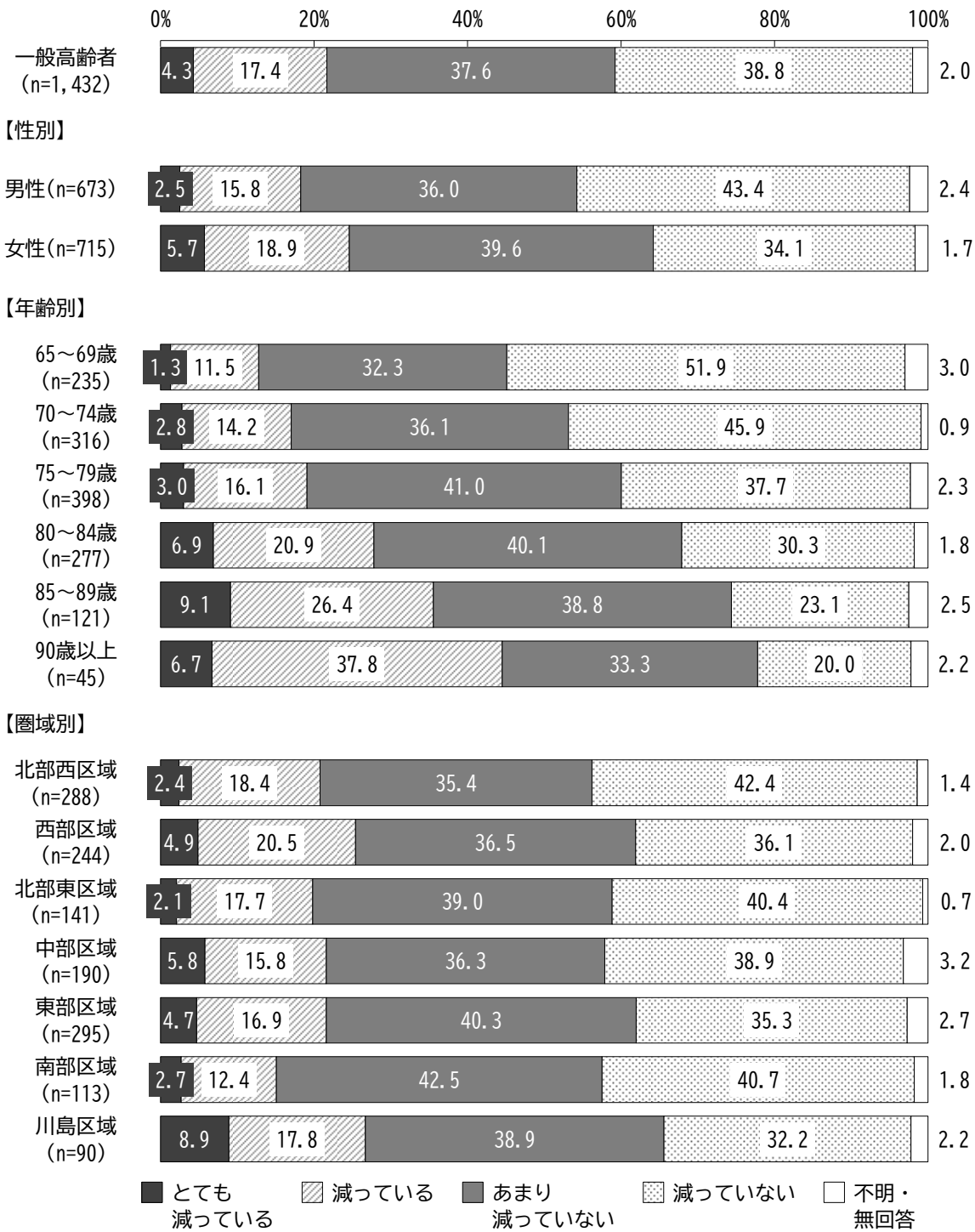
- 『減っている』 … 「とても減っている」と「減っている」の合算
- 『減っていない』 … 「あまり減っていない」と「減っていない」の合算

昨年と比べて外出の回数が減っているかは、全体で『減っている』が 21.7%、『減っていない』が 76.4% となっています。

性別では、『減っている』が男性は 18.3%、女性は 24.6%と、女性でやや高くなっています。

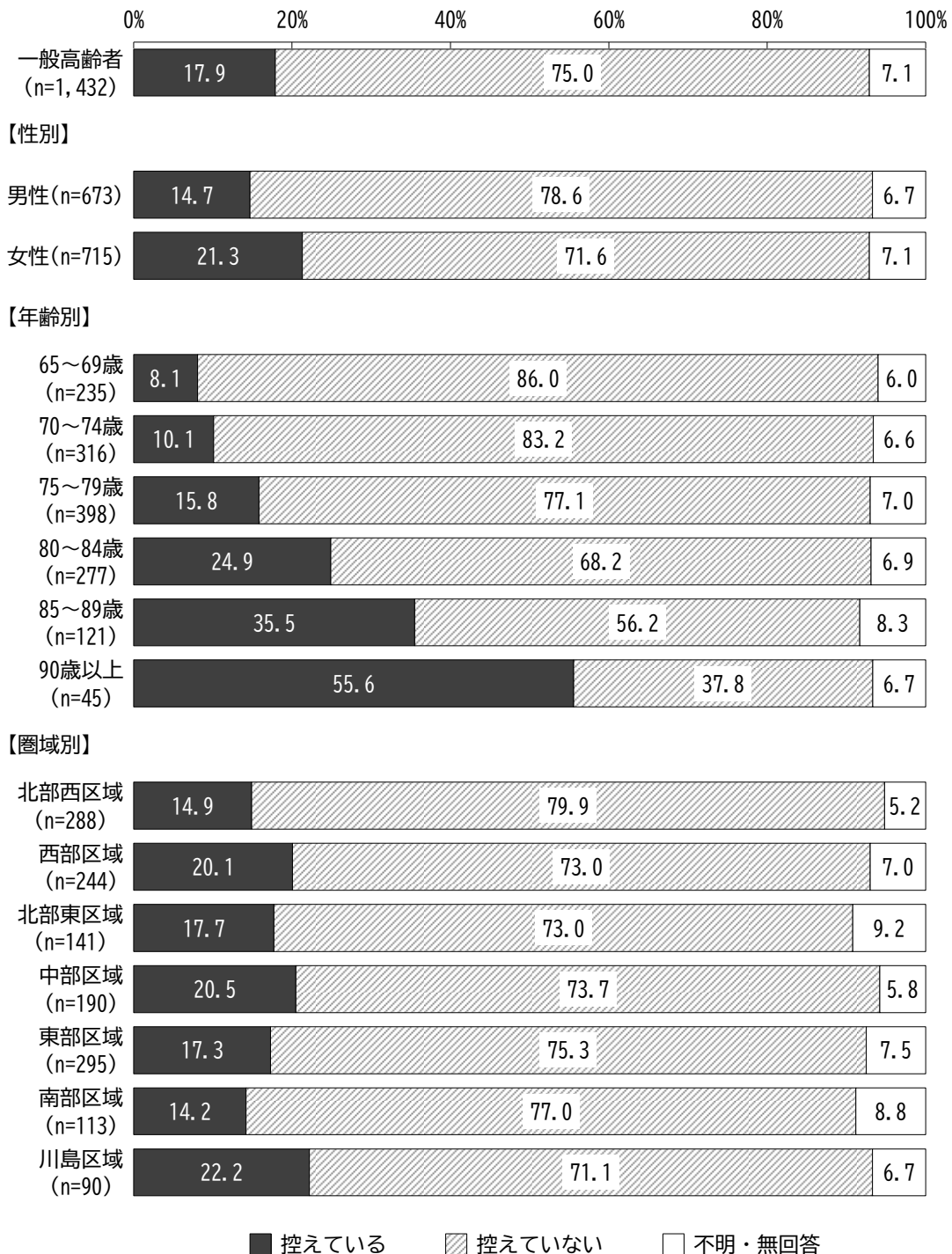
年齢別では、年齢が上がるにつれて『減っている』が高くなっています。

圏域別では、『減っている』が川島区域で 26.7%、西部区域で 25.4%と、他の区域と比べて高くなっています。



問 15 外出を控えていますか。(単数回答)

外出を控えているかは、全体で「控えている」が17.9%、「控えていない」が75.0%となっています。性別では、女性で「控えている」が21.3%と、男性と比べて6.6ポイント高くなっています。年齢別では、年齢が上がるにつれて「控えている」が高くなっています。圏域別では、いずれの圏域も「控えている」がそれぞれ1～2割台となっています。

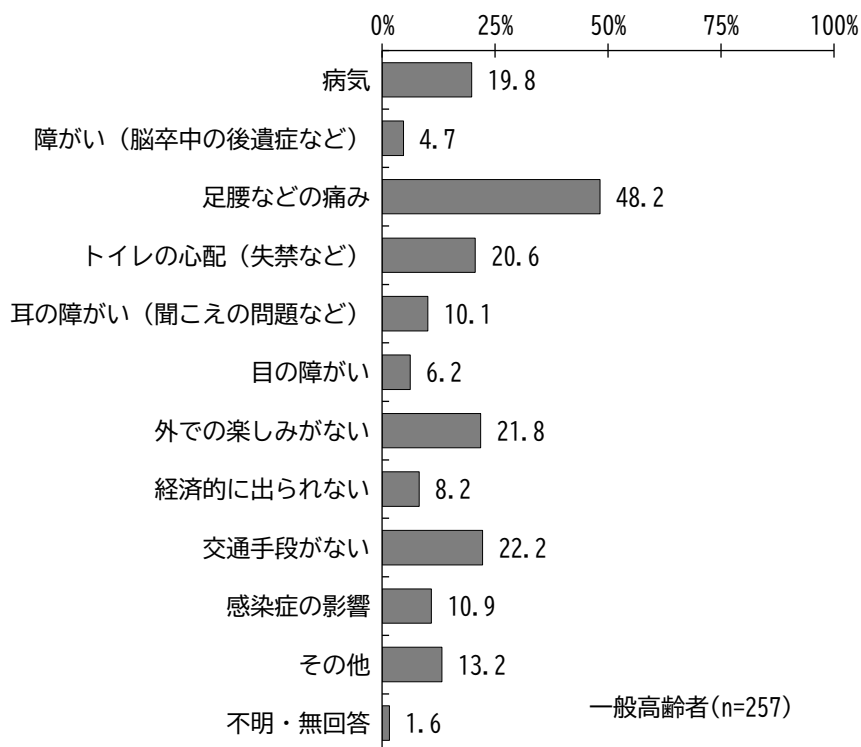


問15-1 控えている理由についてお答えください。(複数回答)

外出を控えている理由は、全体で「足腰などの痛み」が48.2%と最も高く、次いで「交通手段がない」が22.2%となっています。

年齢別では、「足腰などの痛み」が75～79歳、80～84歳、90歳以上でそれぞれ5割台と、他の年代と比べて高くなっています。なお、年齢が上がるにつれて「トイレの心配(失禁など)」が高くなっています。

圏域別では、中部区域で「交通手段がない」が35.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

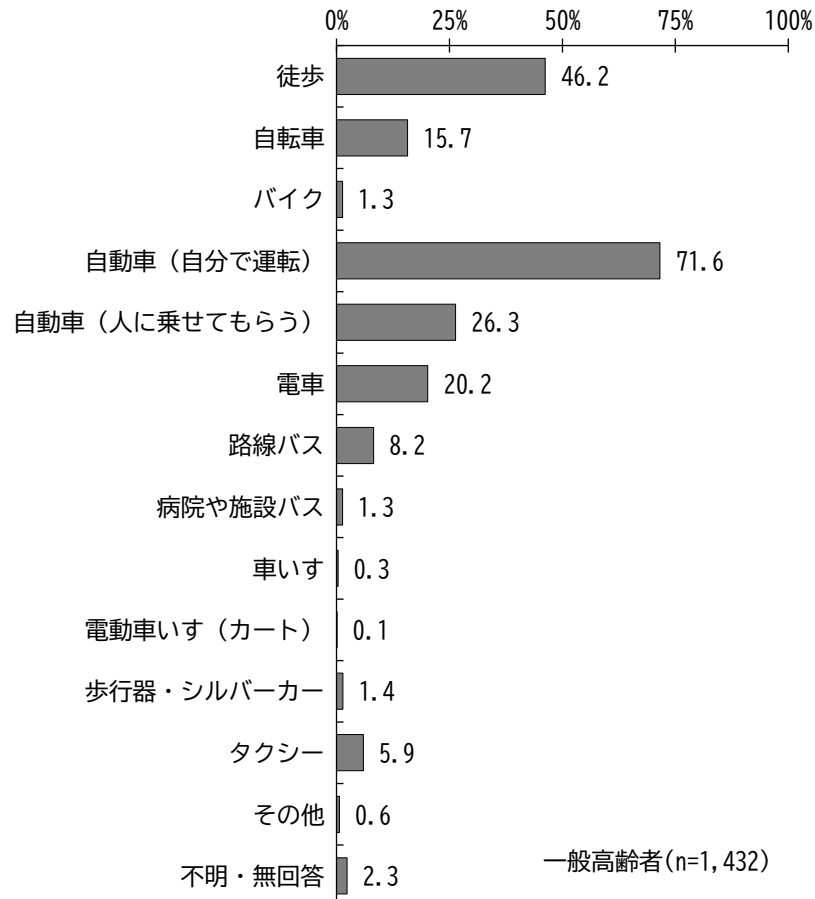
	病気	障がい (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障がい (聞こえの問題など)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	感染症の影響	その他	不明・無回答
(単位：%)												
【年齢別】												
65～69歳 (n=19)	26.3	10.5	15.8	10.5	5.3	5.3	26.3	10.5	5.3	10.5	21.1	0.0
70～74歳 (n=32)	21.9	3.1	37.5	18.8	6.3	3.1	18.8	18.8	21.9	15.6	9.4	3.1
75～79歳 (n=63)	12.7	0.0	55.6	14.3	4.8	7.9	23.8	6.3	12.7	12.7	14.3	1.6
80～84歳 (n=69)	24.6	2.9	56.5	24.6	7.2	2.9	26.1	7.2	21.7	11.6	15.9	0.0
85～89歳 (n=43)	25.6	7.0	48.8	27.9	18.6	11.6	14.0	9.3	48.8	9.3	14.0	0.0
90歳以上 (n=25)	8.0	4.0	52.0	28.0	28.0	8.0	20.0	0.0	20.0	4.0	4.0	0.0
【圏域別】												
北部西区域 (n=43)	18.6	4.7	55.8	18.6	7.0	4.7	20.9	2.3	11.6	11.6	18.6	0.0
西部区域 (n=49)	20.4	0.0	55.1	16.3	16.3	8.2	12.2	6.1	16.3	6.1	14.3	2.0
北部東区域 (n=25)	20.0	8.0	28.0	20.0	4.0	4.0	28.0	16.0	16.0	12.0	12.0	8.0
中部区域 (n=39)	25.6	2.6	51.3	25.6	15.4	7.7	28.2	7.7	35.9	20.5	10.3	0.0
東部区域 (n=51)	15.7	3.9	45.1	15.7	2.0	11.8	13.7	3.9	23.5	7.8	11.8	0.0
南部区域 (n=16)	12.5	6.3	56.3	31.3	18.8	0.0	25.0	6.3	25.0	0.0	25.0	0.0
川島区域 (n=20)	20.0	5.0	50.0	40.0	20.0	0.0	35.0	30.0	25.0	15.0	10.0	0.0

問 16 外出する際の移動手段は何ですか。(複数回答)

外出する際の移動手段は、全体で「自動車（自分で運転）」が 71.6%と最も高く、次いで「徒歩」が 46.2%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「自動車（人に乗せてもらう）」が高くなっています。

圏域別では、東部区域で「路線バス」が 12.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設バス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー
(単位：%)											
【年齢別】											
65～69歳 (n=235)	50.2	17.0	1.7	87.2	17.9	25.5	3.8	1.7	0.0	0.0	0.0
70～74歳 (n=316)	46.5	18.4	2.8	82.6	22.2	19.3	6.6	0.6	0.0	0.0	0.0
75～79歳 (n=398)	43.0	14.6	1.0	79.4	25.6	18.6	7.5	0.8	0.0	0.0	0.5
80～84歳 (n=277)	46.6	15.5	0.4	55.6	31.0	18.1	13.0	1.4	0.4	0.4	1.8
85～89歳 (n=121)	48.8	15.7	0.0	41.3	42.1	22.3	11.6	4.1	0.8	0.8	6.6
90歳以上 (n=45)	46.7	4.4	0.0	28.9	46.7	20.0	11.1	2.2	4.4	0.0	6.7
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	41.7	12.8	1.0	78.5	25.3	12.8	9.0	0.3	0.3	0.3	1.4
西部区域 (n=244)	55.3	23.0	0.4	63.5	26.2	25.4	9.8	0.8	0.4	0.0	3.3
北部東区域 (n=141)	44.0	9.2	0.7	73.8	29.8	19.1	6.4	2.1	0.7	0.0	0.0
中部区域 (n=190)	47.9	15.3	1.1	66.8	27.9	23.2	4.7	2.1	0.0	0.5	0.0
東部区域 (n=295)	48.1	10.2	2.7	71.2	28.1	27.8	12.2	2.0	0.0	0.0	1.0
南部区域 (n=113)	38.9	27.4	0.9	82.3	20.4	10.6	4.4	0.9	0.9	0.0	2.7
川島区域 (n=90)	36.7	17.8	1.1	70.0	31.1	3.3	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0

	タクシー	その他	不明・無回答
(単位：%)			
【年齢別】			
65～69歳 (n=235)	3.4	0.9	3.0
70～74歳 (n=316)	2.5	0.0	1.3
75～79歳 (n=398)	4.0	0.5	2.8
80～84歳 (n=277)	7.6	0.7	2.5
85～89歳 (n=121)	15.7	1.7	2.5
90歳以上 (n=45)	22.2	2.2	0.0
【圏域別】			
北部西区域 (n=288)	3.8	0.7	1.4
西部区域 (n=244)	6.1	0.4	2.5
北部東区域 (n=141)	5.7	1.4	1.4
中部区域 (n=190)	6.8	1.1	3.2
東部区域 (n=295)	8.8	0.3	3.1
南部区域 (n=113)	5.3	0.0	2.7
川島区域 (n=90)	0.0	0.0	2.2

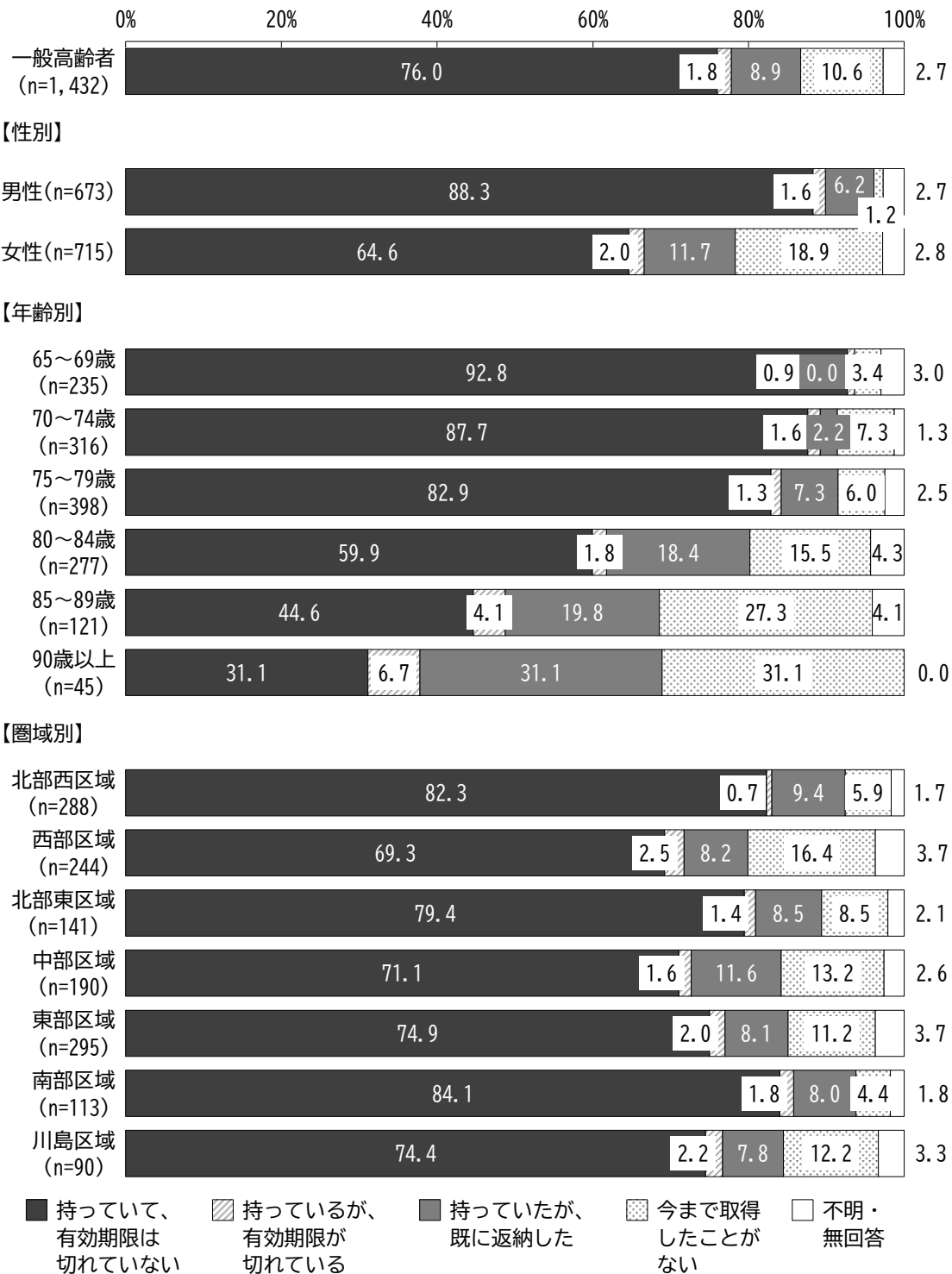
問 17 運転免許証を持っていますか。(単数回答)

運転免許証を持っているかは、全体で「持っていて、有効期限は切れていない」が 76.0%と最も高く、次いで「今まで取得したことがない」が 10.6%となっています。

性別では、男性で「持っていて、有効期限は切れていない」が 88.3%と、女性と比べて 23.7ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「持っていて、有効期限は切れていない」が低くなっているものの、90歳以上でも 31.1%となっています。

圏域別では、北部西区域、南部区域で「持っていて、有効期限は切れていない」がそれぞれ8割台と、他の圏域と比べて高くなっています。



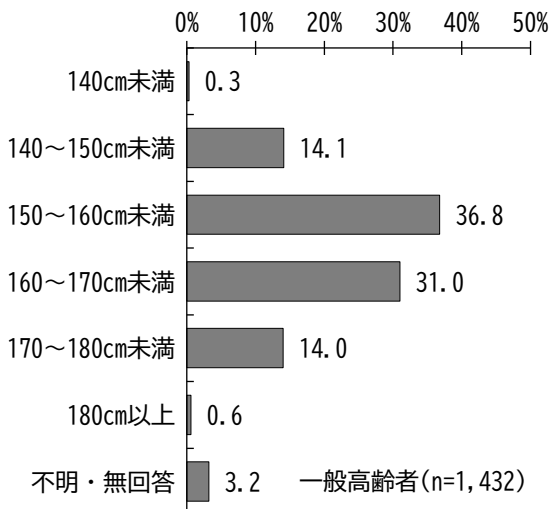
5. 食べることについて

問 18 現在の身長と体重を教えてください。(数量回答)

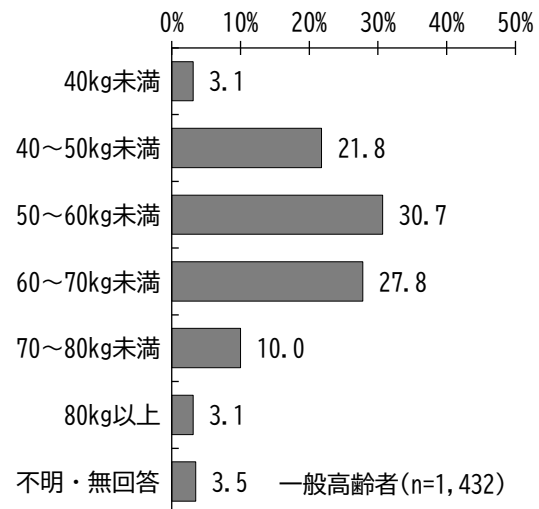
身長は、「150～160cm 未満」が 36.8%と最も高く、次いで「160～170cm 未満」が 31.0%となっています。

体重は、「50～60kg」が 30.7%と最も高く、次いで「60～70kg 未満」が 27.8%となっています。

◆身長



◆体重



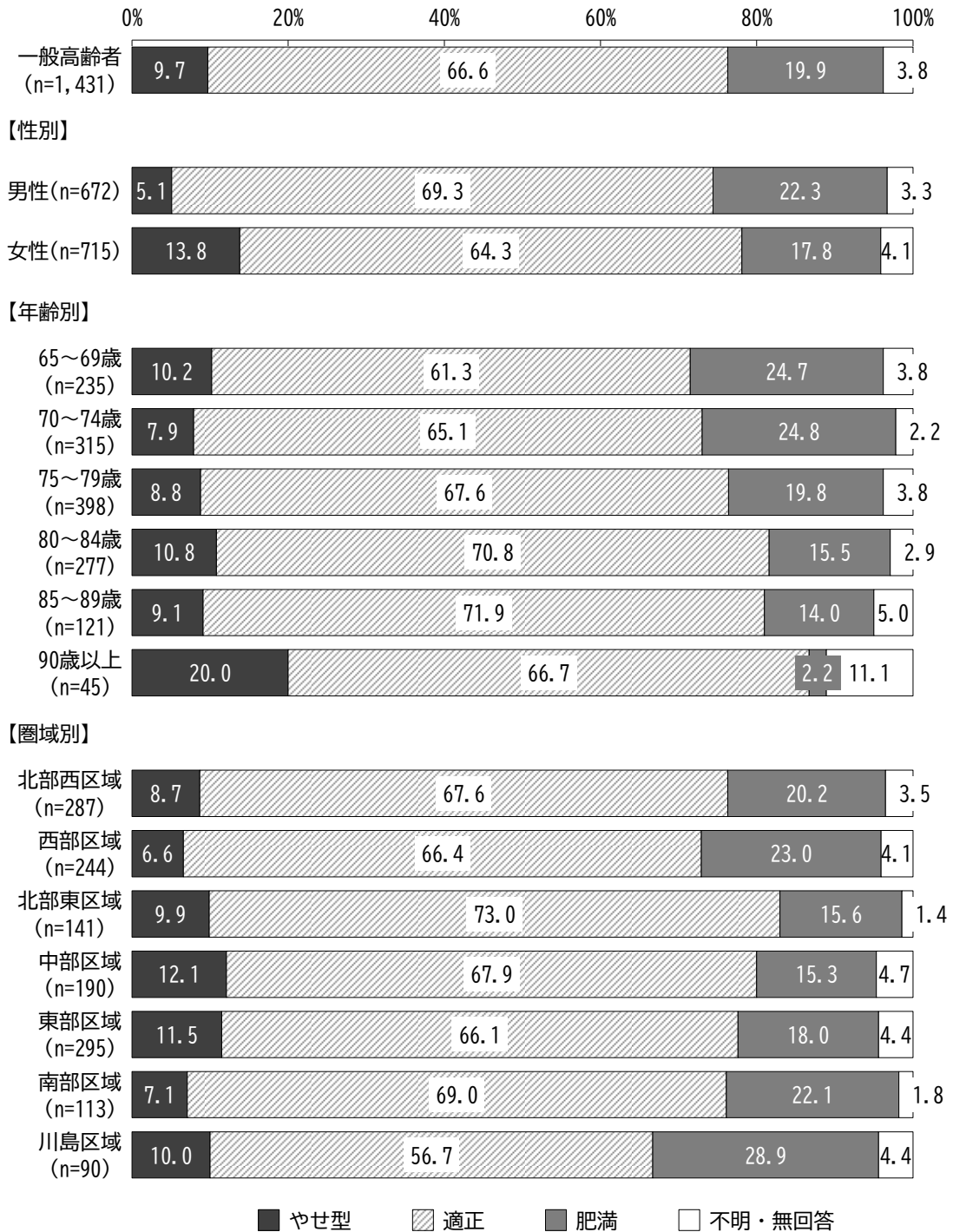
◆BMI ※身長・体重より算出

BMIは、全体で「やせ型」が9.7%「適正」が66.6%、「肥満」が19.9%となっています。

性別では、女性で「やせ型」が13.8%と、男性と比べて8.7ポイント高くなっています。

年齢別では、「肥満」が65～69歳、70～74歳でそれぞれ2割台と、他の年代と比べて高くなっているほか、90歳以上で「やせ型」が20.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域で「肥満」が28.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。



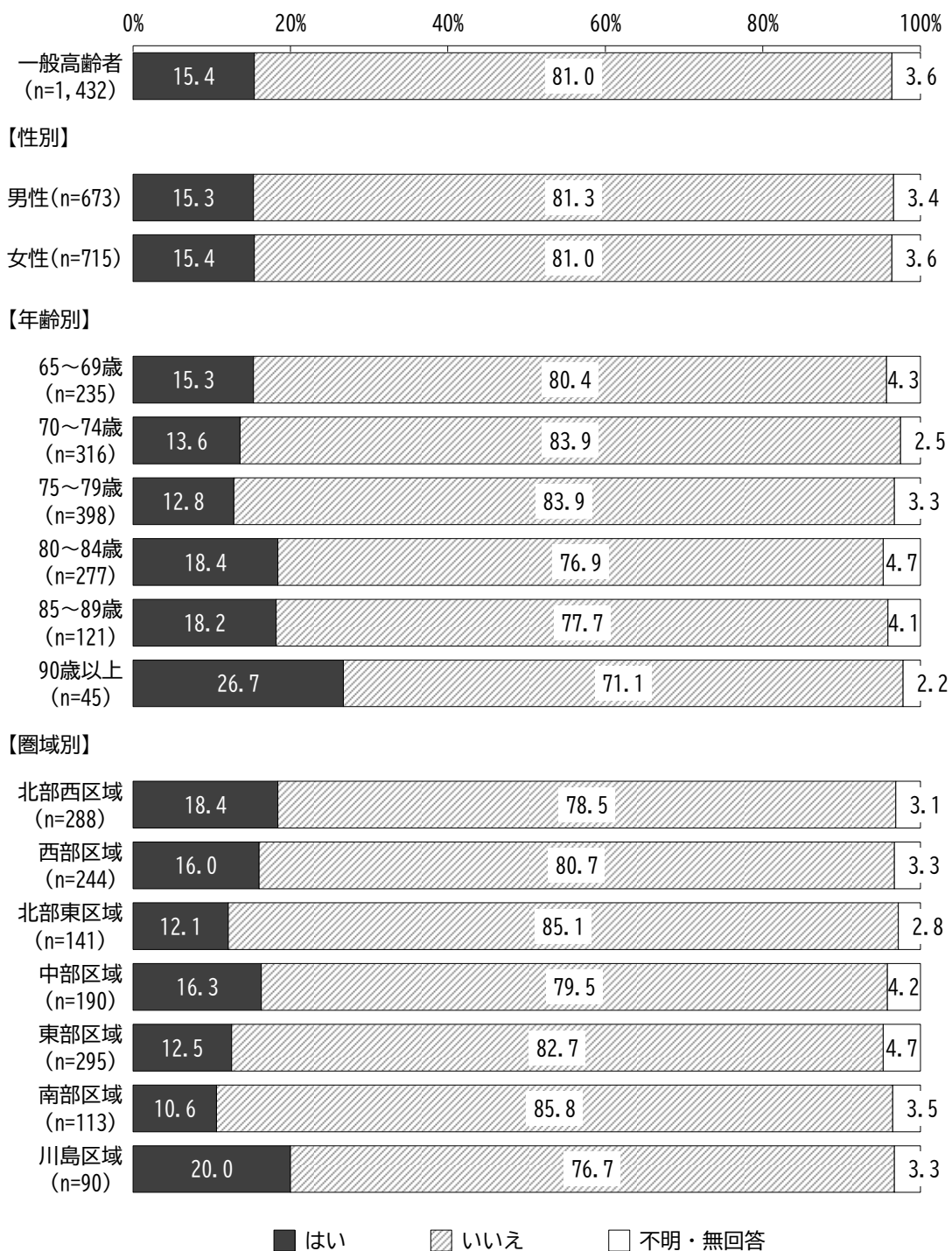
問 19 この半年で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。(単数回答)

この半年で2～3 kg以上の体重減少があったかは、全体で「はい」が15.4%、「いいえ」が81.0%となっています。

性別では、男性、女性ともに「はい」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、90歳以上で「はい」が26.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域で「はい」が20.0%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問 20 歯や口の健康状態について、あてはまるものをご回答ください。（各単数回答）

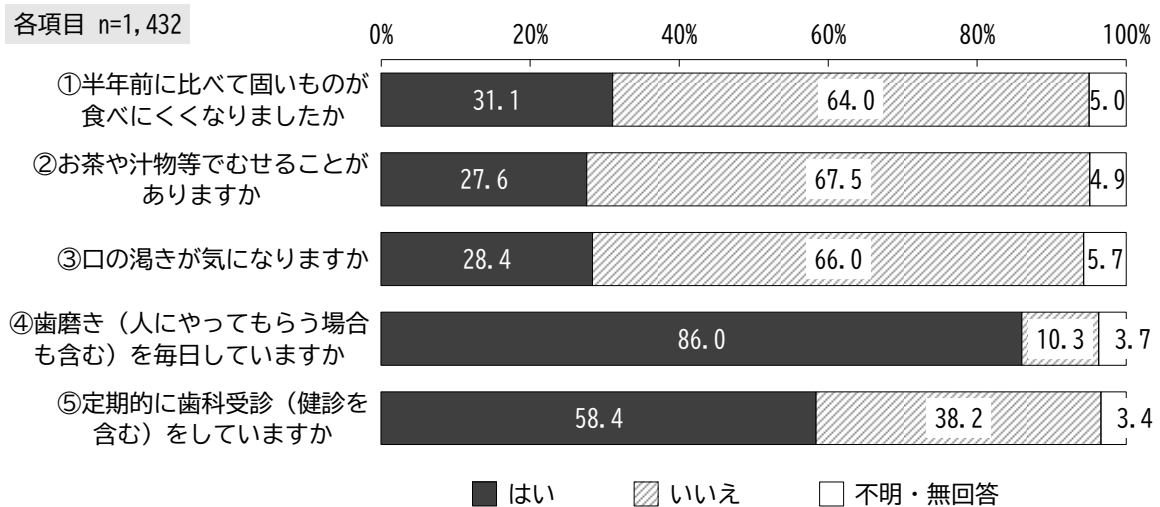
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」が31.1%、「いいえ」が64.0%となっています。

お茶や汁物等でむせることがあるかは、「はい」が27.6%、「いいえ」が67.5%となっています。

口の渴きが気になるかは、「はい」が28.4%、「いいえ」が66.0%となっています。

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかは、「はい」が86.0%、「いいえ」が10.3%となっています。

定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかは、「はい」が58.4%、「いいえ」が38.2%となっています。



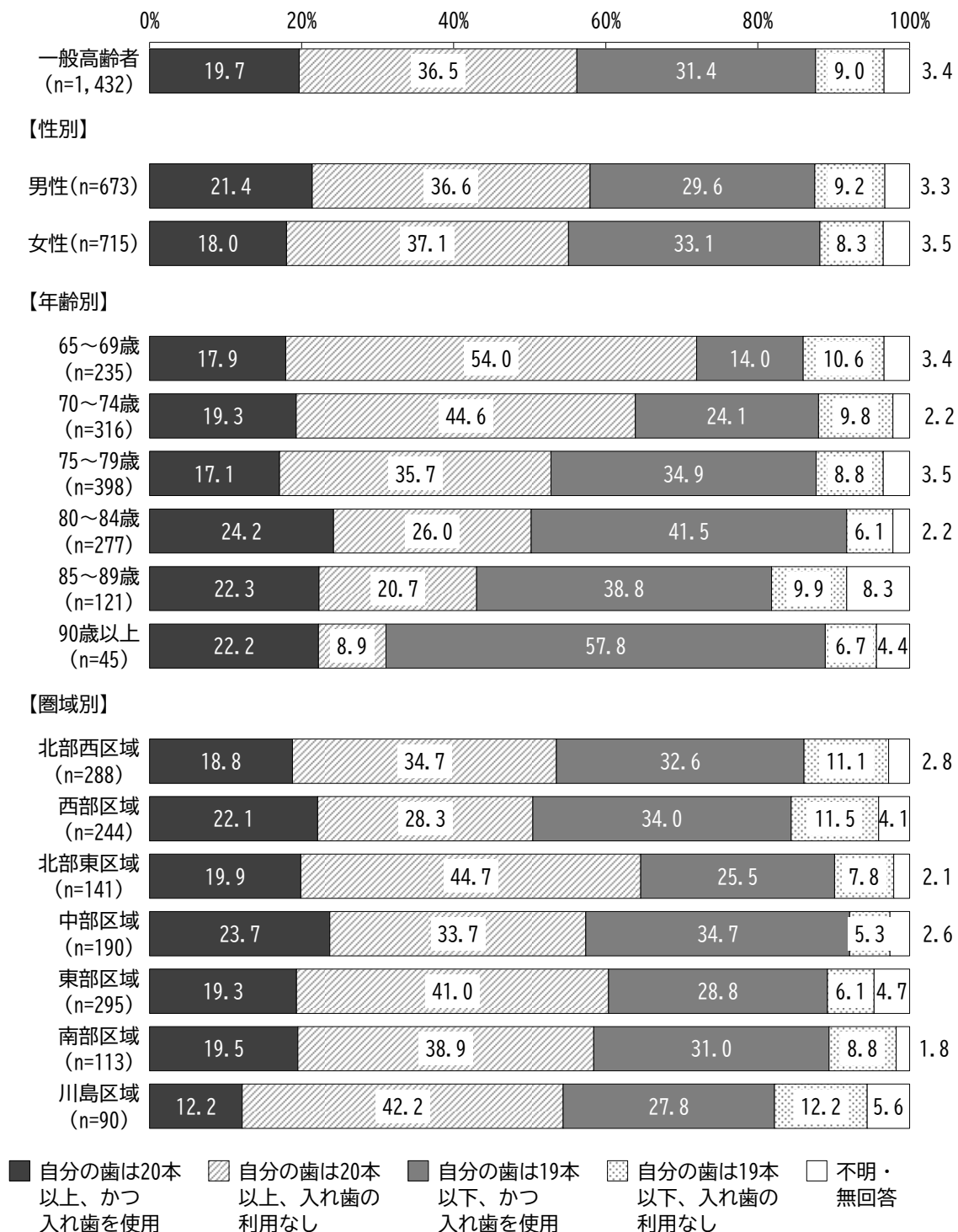
問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。(単数回答)

歯の数と入れ歯の利用状況は、全体で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 36.5%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用」が 31.4%となっています。

性別では、男性、女性ともに「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」はそれぞれ 3 割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が低くなっています。

圏域別では、北部東区域、東部区域、川島区域で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」がそれぞれ 4 割台と、他の圏域と比べて高くなっています。



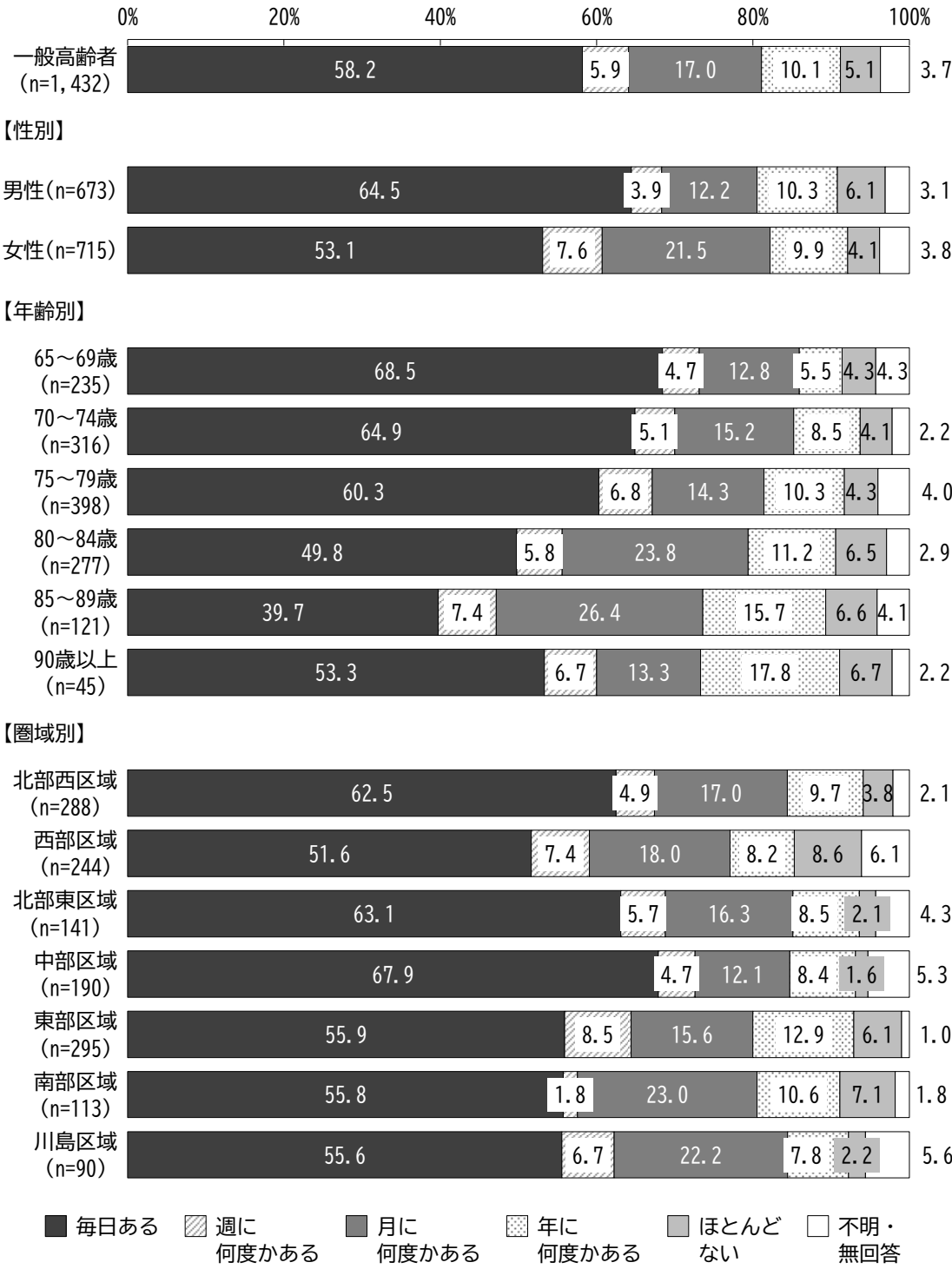
問 22 どなたか（家族や友人など）と食事をとにもする機会がありますか。（単数回答）

どなたか（家族や友人など）と食事をとにもする機会はあるかは、全体で「毎日ある」が 58.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.0%となっています。

性別では、男性で「毎日ある」が 64.5%と、女性と比べて 11.4 ポイント高くなっています。

年齢別では、「毎日ある」が 65～69 歳、70～74 歳、75～79 歳でそれぞれ 6 割台と、他の年代と比べて高くなっています。なお、80～84 歳、85～89 歳で「ほとんどない」がそれぞれ 2 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、北部西区域、北部東区域、中部区域で「毎日ある」がそれぞれ 6 割台と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、南部区域、川島区域で「ほとんどない」がそれぞれ 2 割台と、他の圏域と比べて高くなっています。



6. 毎日の生活について

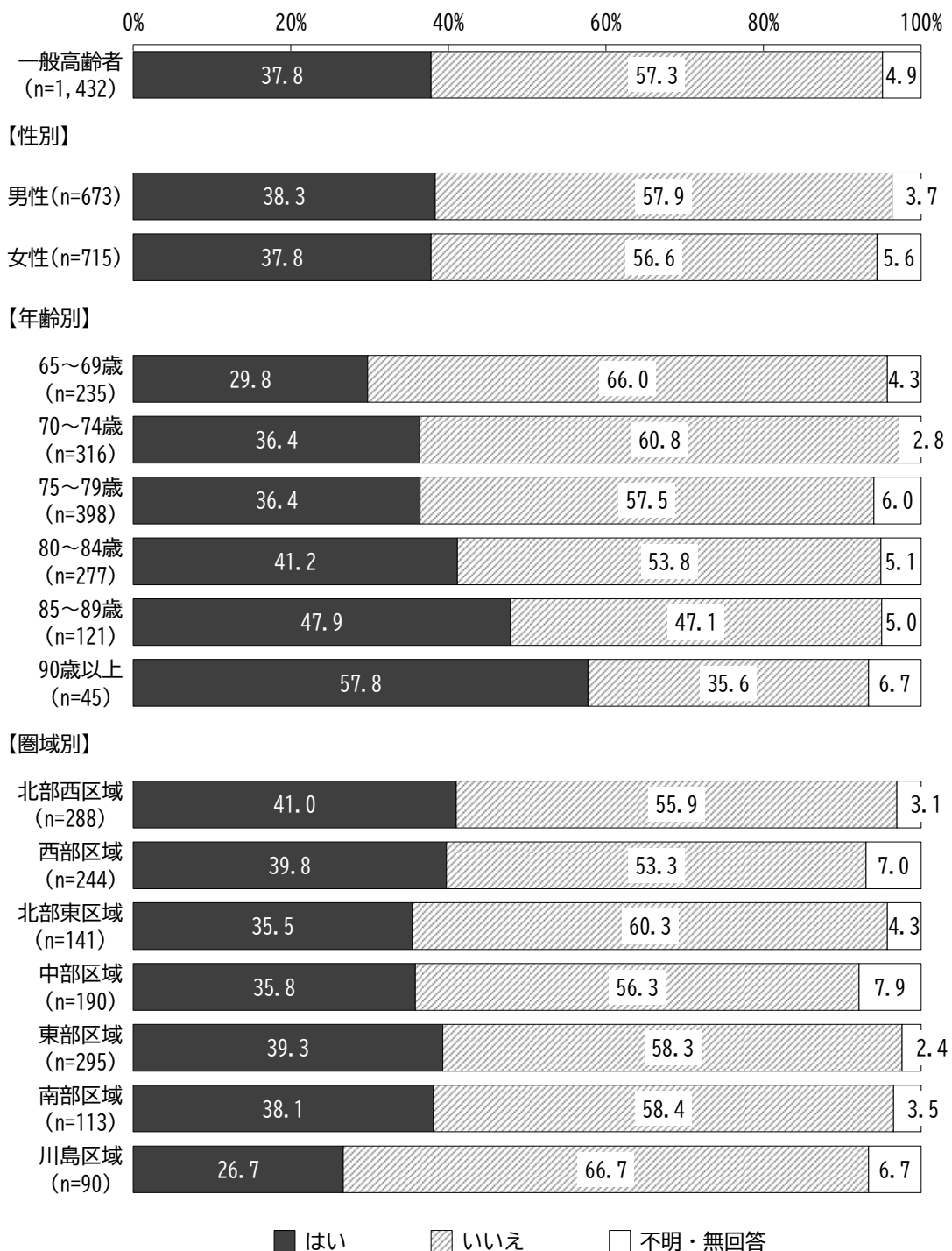
問 23 日常生活で物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

日常生活で物忘れが多いと感じるかは、全体で「はい」が37.8%、「いいえ」が57.3%となっています。

性別では、男性、女性ともに「はい」が3割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「はい」が高くなっています。

圏域別では、川島区域を除いた圏域で「はい」がそれぞれ約4割となっています。



問 24 日常生活での活動について、あてはまるものをご回答ください。(各単数回答)

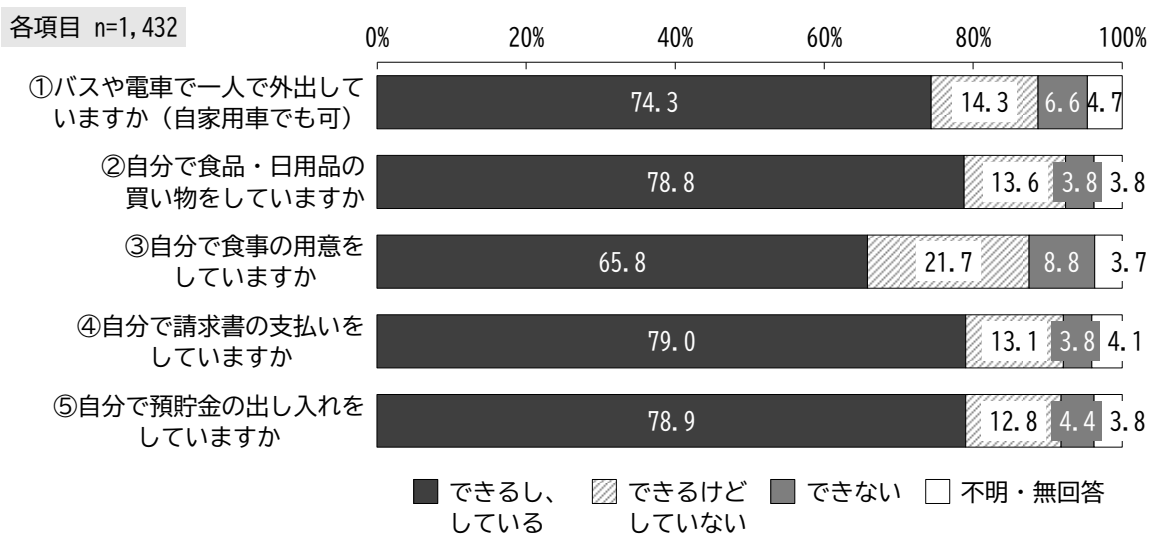
バスや電車で一人で外出しているかは、「できるし、している」が 74.3%、「できるけどしていない」が 14.3%、「できない」が 6.6%となっています。

自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が 78.8%、「できるけどしていない」が 13.6%、「できない」が 3.8%となっています。

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が 65.8%、「できるけどしていない」が 21.7%、「できない」が 8.8%となっています。

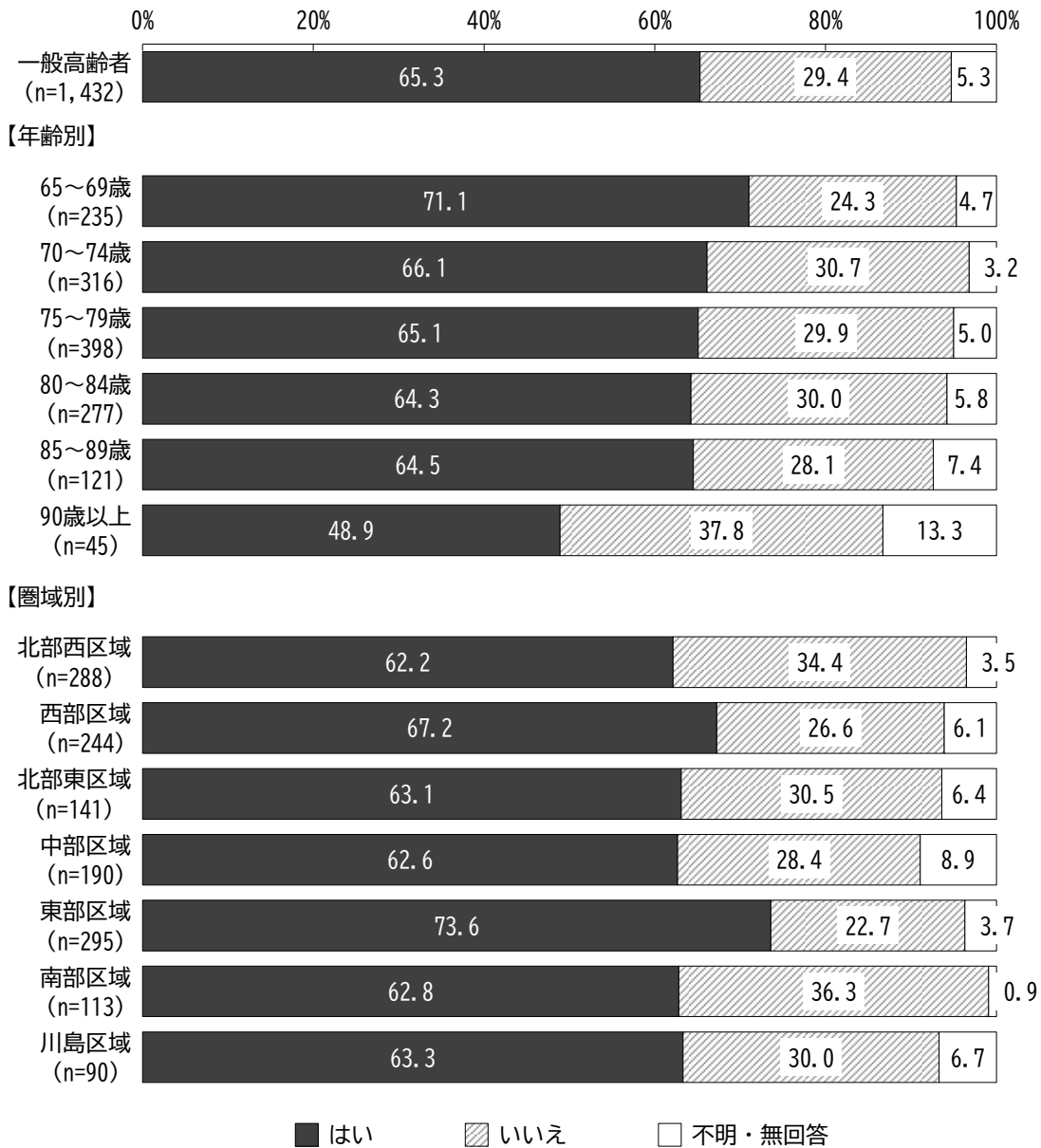
自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が 79.0%、「できるけどしていない」が 13.1%、「できない」が 3.8%となっています。

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が 78.9%、「できるけどしていない」が 12.8%、「できない」が 4.4%となっています。



問 25 趣味はありますか。(単数回答)

趣味があるかは、全体で「はい」が 65.3%、「いいえ」が 29.4%となっています。
 年齢別では、65～69 歳で「はい」が 71.1%と、他の年代と比べて高くなっています。
 圏域別では、東部区域で「はい」が 73.6%と、他の圏域と比べて高くなっています。

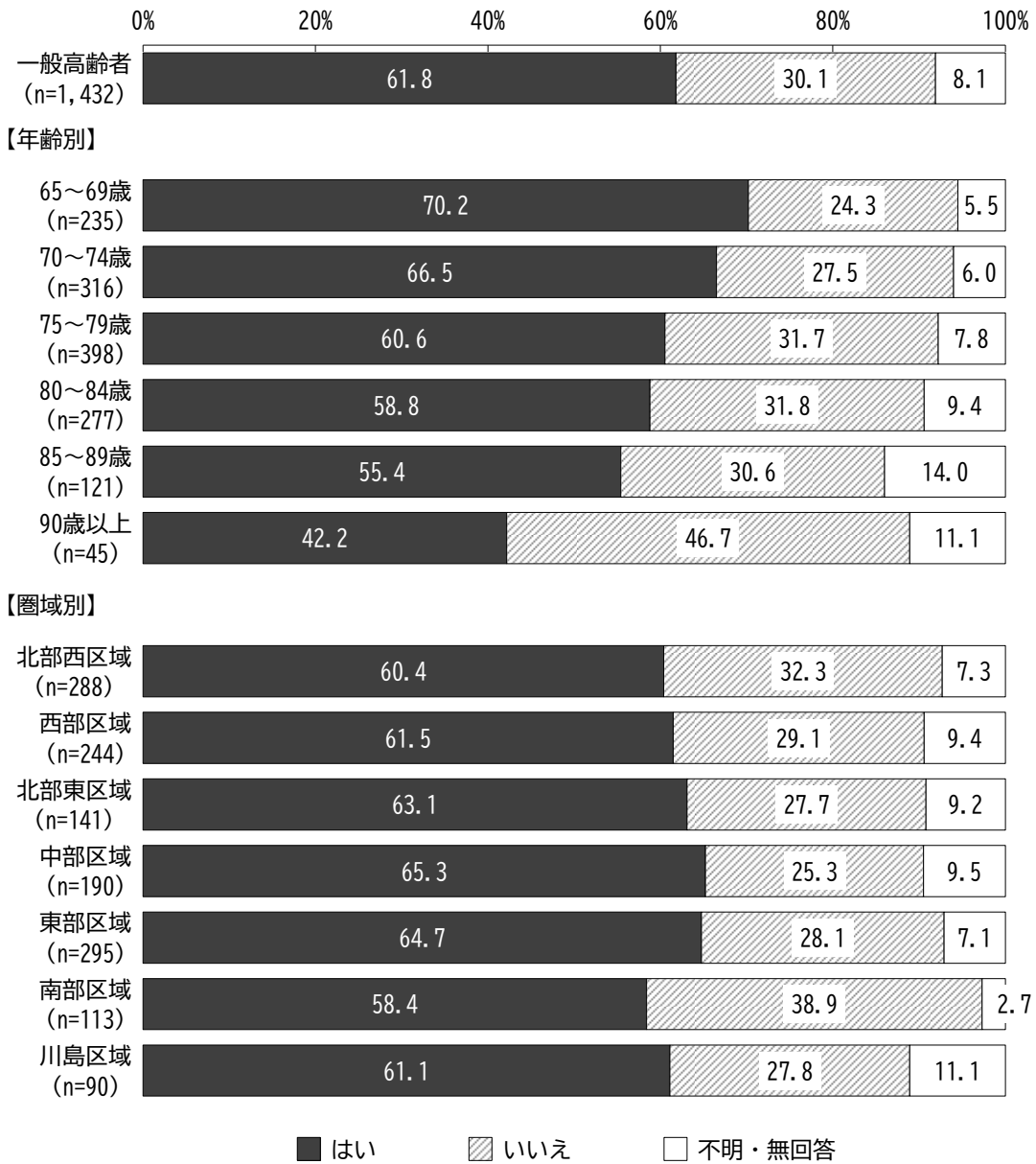


問 26 生きがいがありますか。(単数回答)

生きがいがあるかは、全体で「はい」が61.8%、「いいえ」が30.1%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「はい」が低くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「はい」がそれぞれ約6割となっています。



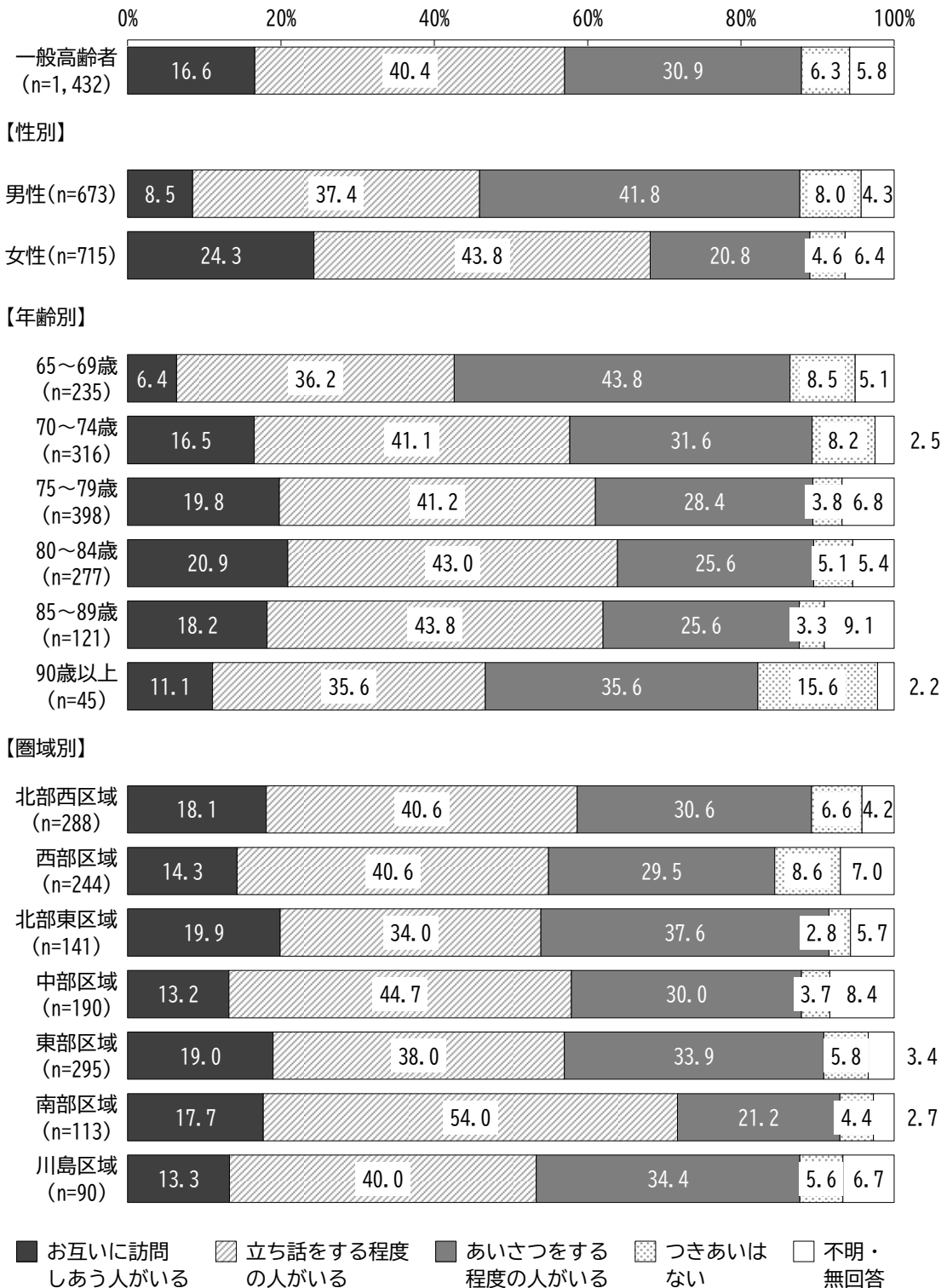
問 27 近所の方とどの程度つきあいをしていますか。(単数回答)

近所の方とのつきあいの程度は、全体で「立ち話をする程度の人がいる」が40.4%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が30.9%となっています。

性別では、女性で「お互いに訪問しあう人がある」が24.3%と、男性と比べて15.8ポイント高くなっています。

年齢別では、75～79歳、80～84歳、85～89歳で「お互いに訪問しあう人がある」がそれぞれ約2割と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「お互いに訪問しあう人がある」がそれぞれ1割台となっています。

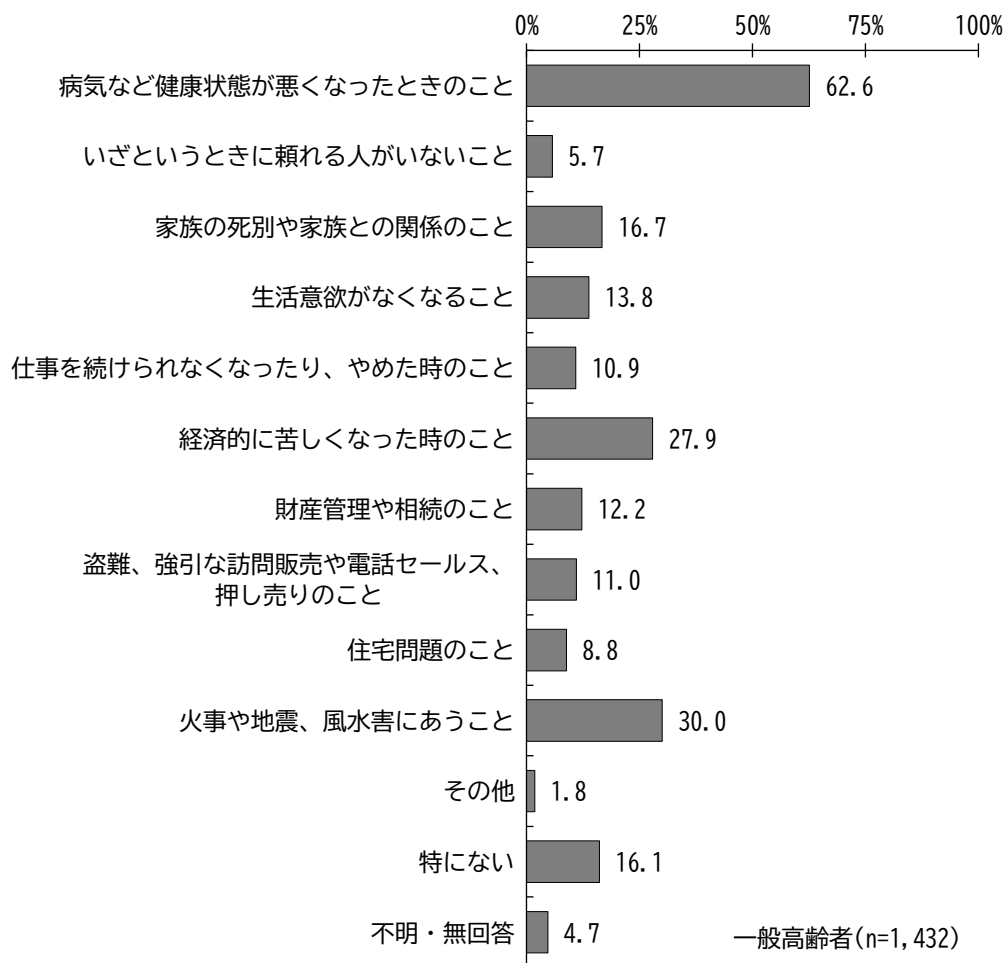


問 28 日頃生活する中で不安に思っていることはありますか。(複数回答)

日頃生活する中で不安に思っていることは、全体で「病気など健康状態が悪くなったときのこと」が62.6%と最も高く、次いで「火事や地震、風水害にあうこと」が30.0%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「病気など健康状態が悪くなったときのこと」がそれぞれ最も高く、年齢が上がるにつれ高くなっています。

圏域別では、川島区域を除いた圏域で「病気など健康状態が悪くなったときのこと」がそれぞれ6割台となっています。なお、南部区域で「火事や地震、風水害にあうこと」が37.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

	病気など健康状態が悪くなった ときのこと	いざというときに頼れる人が いないこと	家族の死別や家族との関係のこ と	生活意欲がなくなること	仕事を続けられなくなったり、 やめた時のこと	経済的に苦しくなった時のこと	財産管理や相続のこと	盗難、強引な訪問販売や電話 セールス、押し売りのこと	住宅問題のこと	火事や地震、風水害にあつこと	その他
(単位：%)											
【年齢別】											
65～69歳 (n=235)	60.0	6.8	17.9	10.6	20.4	37.0	17.4	8.9	11.9	30.2	2.1
70～74歳 (n=316)	61.1	4.1	15.2	10.4	17.7	34.2	14.9	9.5	10.8	30.1	1.9
75～79歳 (n=398)	65.6	6.5	17.1	14.6	8.8	27.6	10.8	10.3	9.0	29.9	2.3
80～84歳 (n=277)	58.8	4.7	18.1	15.2	3.2	23.1	9.0	11.2	6.5	27.4	1.1
85～89歳 (n=121)	70.2	5.8	15.7	19.8	3.3	19.0	7.4	17.4	4.1	35.5	0.8
90歳以上 (n=45)	71.1	4.4	15.6	22.2	0.0	4.4	4.4	26.7	2.2	37.8	0.0
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	64.6	3.8	19.8	13.2	11.8	26.4	11.5	11.5	8.0	27.1	2.8
西部区域 (n=244)	65.2	7.8	16.8	14.8	11.5	28.7	11.5	12.3	8.2	29.1	0.0
北部東区域 (n=141)	62.4	3.5	18.4	15.6	8.5	24.8	11.3	7.1	8.5	31.9	3.5
中部区域 (n=190)	62.1	4.2	14.2	12.6	8.9	28.9	15.3	12.6	7.4	31.6	1.1
東部区域 (n=295)	62.7	5.4	16.3	13.2	10.8	26.8	10.2	12.5	10.5	30.2	0.7
南部区域 (n=113)	66.4	6.2	14.2	15.9	14.2	32.7	15.0	12.4	10.6	37.2	3.5
川島区域 (n=90)	51.1	6.7	13.3	14.4	7.8	32.2	12.2	6.7	5.6	33.3	2.2

	特 に ない	不 明 ・ 無 回 答
(単位：%)		
【年齢別】		
65～69歳 (n=235)	14.0	4.7
70～74歳 (n=316)	16.5	1.6
75～79歳 (n=398)	15.6	5.8
80～84歳 (n=277)	19.5	6.1
85～89歳 (n=121)	14.0	5.0
90歳以上 (n=45)	15.6	2.2
【圏域別】		
北部西区域 (n=288)	16.7	2.8
西部区域 (n=244)	13.9	6.6
北部東区域 (n=141)	14.9	5.0
中部区域 (n=190)	15.3	7.4
東部区域 (n=295)	17.3	2.0
南部区域 (n=113)	19.5	1.8
川島区域 (n=90)	17.8	8.9

問 29 現在、自ら行っていることで、できなくなると困ることは何ですか。(自由記述)

できなくなると困ること
1-1 北部西区域〈60歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。[11件]
車の運転、買い物。
車の運転、歩行、お風呂。
車の運転。食事の準備。買い物。
買い物、家事全般。
仕事が続けられなくなる。[4件]
○家事や家屋管理に関すること
日常の生活がひとりできなくなること(食事の用意とか)。
自分の身の回りのことや食事のしたく。
生活全般(仕事、食事、洗濯、入浴、排泄、財産管理、住宅管理など)
自立した生活ができなくなること。
農作業。
家計の管理。
○身体活動に関すること
歩けなくなること。[2件]
歩く。食べる
運動、家事。
○その他
病気、動けなくなった時。
息子の面倒。
1-2 北部西区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。[23件]
車の運転ができなくなること、買い物や病院に行けなくなると大変困る。[4件]
車の運転、仕事。[2件]
歩行困難、車の運転。
家事、車の運転。
食事、トイレ、車の運転。
手続きや管理、車の運転。
車の運転、散歩。
車の運転、食事、入浴等の日常生活。
車の運転、生活家事全般。
車の洗車。家の掃除、修理。
各務原市は交通の便が悪いので、将来免許証を返納したら、日常の買い物すら思うようにできなくなること。
仕事ができなくなること。[2件]
仕事、ウォーキング。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備(料理や買い物含む)。[7件]

できなくなると困ること
家事全般。[7件]
掃除、ごみ出し、通院。
食事、洗濯、掃除。
実家の整備。
財産管理。
○身体活動に関すること
歩行。[12件]
歩行、食事、会話。
重量物の移動及び歩行。
動けなくなった時のこと。
スポーツ、ソフトボール。
総合体育館でスポーツができなくなること。
ゴルフ。
外出ができなくなること。
ウォーキング。
ウォーキング及び農地管理。
散歩ができない。
金銭管理、食生活。
日常生活全般におけること。今のところできるだけ頼らずに自身でやっている。
身のまわりのこと。
高い所に手が届かなくなること。
農業、水田等。
農作業。
田畑の管理(草引き等)。家の庭木の手入れ等。
トイレに行く事。
○その他
体力が段々低下している。元気に生活することができなくなる等。
健康状態が悪くなった時。
趣味ができなくなった時。
思い当たらない。
1-3 北部西区域〈80歳代〉
○移動に関すること
車の運転。[6件]
車の運転。買い物。サークルに参加できないこと。
バイクや自動車が運転できなくなること。
○家事や家屋管理に関すること
買食の準備(料理や買い物含む)。[7件]
料理、歩行。
食事、洗濯。
掃除。
買い物、家事全般。

できなくなると困ること
花壇の花植え、草刈り、草取り。
買い物、食事づくりができなくなる。病院に行けなくなる。
家事全般やっているのでもしものことがあったらと心配。万一動けなくなったら「笑顔いちばん」の施設に入所をお願いしている。
○身体活動に関すること
歩く事。
歩行。
毎日行っている散歩。1日4,000～5,000歩。勝手に良いと思っている。できないとなると体のあちこち痛みだす可能性あり。
ひとりで外出できなくなる。[2件]
現在行っている行動が維持できなくなる。
畑仕事。
家族の食べる野菜をつくり楽しみながらの毎日。
トイレなど。[2件]
排尿、便、食事の準備、食べること、歩行。
○その他
自分と夫の世話が病気等でできなくなる。なにもやりたくない。
1-4 北部西区域〈90歳以上〉
自動車の運転。
現在ひとり暮らしですべてのことを自分でしていますが、それができなくなった時、別居の子どもに頼るのも限界があるので心配。
2-1 西部区域〈60歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。[11件]
家事全般(食事の仕度)、車の運転、パソコン作業。
食事の用意。車の運転。
車の運転。庭木の管理。
仕事。[2件]
歩行、仕事。
労働(収入)。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備(料理や買い物含む)。[4件]
食事づくり。
買い物。
生活必需品の買い物。
家事。[2件]
家事一般、自分の身のまわりのことすべて。
日常生活。[2件]
○身体活動に関すること
自分の足で歩けなくなる。[2件]
歩行、通院、食事、外出。

できなくなると困ること
歩くこと。車の運転
歩行、買い物、会話。
自力で体を動かすことができなくなる。
体が不自由になってお風呂やトイレができなくなると困る。[2件]
リュウマチ、変形性股関節症、脊柱管狭窄症が悪くなると困る。
2-2 西部区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。[17件]
日常生活全般、車の運転。
車の運転、家事。[2件]
運転免許証返納後の買い物と病院。
自転車で買い物すること。
移動
病院へ行き帰り。[2件]
仕事がなくなると、生きがいが無くなる。仕事。
○家事や家屋管理に関すること
家事。
家事など。
買い物、家事。
家事全部。
家事全般、家の維持管理ができなくなった時。
食事
食事をつくることができなくなる。
食事、トイレ(排泄)、動けなくなる(ケガなどで)。
食事がひとりでできなくなる。歩けなくなる。
間24(日常生活上の活動)の各項を少しずつできなくなる。
日常生活全般(食事、トイレ、風呂、歩行等)。
普段の生活。
身の回り。
日常生活
○身体活動に関すること
歩行。[6件]
歩行、買い物。
歩行、入浴、食事摂取、排泄。
散歩、犬の世話、家族の世話。
ウォーキング。
自活。
トイレに行けること。
○その他
難聴で障害者4級ですが、これ以上酷くなること。

できなくなると困ること
趣味ができなくなること（生きがいがなくなる）。
主人の介護。
PC操作。
あまり考えない。
早く死にたいけど、どうしたらよいか分からない。
まだ、今はないですがそのうち出てくると思い不安はあります。
仕事をしている。会社員、困っていない。
2-3 西部区域〈80歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。〔8件〕
仕事、車の運転。
現在している仕事。〔3件〕
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備（料理や買い物含む）。〔5件〕
買い物、お金の管理、食事の用意。
部屋の掃除、ウォーキング。
○身体活動に関すること
歩けなくなること。〔6件〕
歩行、トイレ、お風呂。
運動ができないこと。
自分の身のまわりのこと。〔2件〕
生きる意欲。
身支度、食事、入浴、トイレなど。
畑仕事。
トイレ。〔2件〕
入浴、トイレ。
○その他
小学生とのふれあい（見守り隊とか、クラブ活動講師）。これが今私の生きがい。
体力
今の健康状態でいつまでいられるか。
手の指先のしびれがひどくなると衣類の着脱ができなくなり、困るなど思っている。
あまり感じていない。
2-4 西部区域〈90歳以上〉
○移動や仕事に関すること
パソコン、車の運転。
自転車の運転、免許証の返納。
外出。
○家事や家屋管理に関すること
食事の支度、その他。
○身体活動に関すること
歩けなくなること。〔2件〕
2-5 西部区域〈年齢無回答〉
家の管理、家事。

できなくなると困ること
3-1 北部東区域〈60歳代〉
○移動に関すること
車の運転。〔8件〕
自身の管理、車の運転、運動（ゴルフ等）、旅行。
○家事に関すること
食事の用意。
家事仕事、日常生活。
○身体活動に関すること
散歩ができなくなるとストレスがたまる。
足、腰を気にしてるが今していることができなくなったらと思う。
日常生活を自分で一部でもできなくなること。
歩けなくなること。病気になること。
畑仕事、食事の用意。
○その他
毎日2時間英語音読が続けられるように健康でいたい。食事もかなり気をつけている
毎週親の介護で趣味の時間が限られる。
3-2 北部東区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。〔18件〕
運転、食事（自分で食べる、箸が使えなくなること）、力が無くなっているので生活がしにくくなっている。
車の運転のための判断力の低下。歩くスピード、分速85mを切ること。
免許証を返納した後買い物に困ります。
移動手段
自営業のため毎日出社。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備（料理や買い物含む）。〔4件〕
台所仕事、料理、洗濯、買い物。できなくなっても、主人が何でもやってくれるので助かっている。
家事、家のメンテナンス、庭の手入れ。
実家の管理。
財産管理。
○身体活動に関すること
朝のウォーキング、毎日8,000歩。
筋トレ、ウォーキング、花の世話。
ひとりで外出や買い物ができなくなること。
日常生活すべてに関すること。〔2件〕
身の回りのこと。（家事、掃除、町中の掃除、町中の行事。）
田畑の管理。
トイレ。
トイレ、食事、歩行。

できなくなると困ること
トイレ、風呂に入ること。
歩く事。
散歩。
犬の散歩。
○その他
足腰が悪くなること。
3-3 北部東区域〈80歳代〉
○移動に関する事
車の運転。〔6件〕
○家事に関する事
食事の準備（料理含む）。〔3件〕
家事全般、趣味、畑仕事。
ゴミ捨て、町内会。
医者通い、買い物、家庭内の整理、金融機関等への出向事等。
動きが弱く、生活全体がいつまでできるか。
お風呂やトイレに自分で行けなくなる事。
自分ひとりで動けなくなる事。
主人の世話、家事。
生活ができなくなる事。
日常生活全般。
○身体活動に関する事
トイレに風呂。
散歩。
山歩きができなくなる事。
○その他
認知症になったら困る。つまらない。目が見えなくなった（視力0.01）。これ以上見えなくなったら大変。
物忘れが進行すること。
自分のことができなくなった時。
病気が進行して歩けなくなる事。
家内の介護身体障害者車いす生活施設に行ったり、帰ったりしている。
3-4 北部東区域〈90歳以上〉
自動車運転で外出できなくなる事。7月運転免許証の返納予定。
家の中で動けなくなった時。
食事、入浴、排せつ。
4-1 中部区域〈60歳代〉
○移動や仕事に関する事
車の運転。〔8件〕
自動車の運転、PCの操作
免許返納
仕事
○家事や家屋管理に関する事
食事、家事全般。
掃除や買い物

できなくなると困ること
家事全般
お金、住宅管理、身体管理
○身体活動に関する事
外出時の移動。
外出、家庭の掃除。
自分のことができなくなる事。〔2件〕
自分自身で歩く、食べる、寝る、風呂、トイレ等の日常生活ができなくなると困る。
歩けなくなる、見えなくなる。
自分の足で歩けなくなる事と、食べれなくなること、資産が減ること。
通院、買い物、預貯金の管理、自身で体が動けなくなった時、身のまわりのこと。
畑仕事。
○その他
家の相続とか、地震とかに避難できるか。
4-2 中部区域〈70歳代〉
○移動に関する事
車の運転。〔22件〕
運動、資産管理。
遠出するために駅までの交通手段がなくなる（自転車）。タクシー運転手不足により、利用ができない。駅までのバスを考えてほしい。
自動車の運転、足腰の弱り。
車の運転、スポーツ。
車の運転（通院、買い物）。パソコンでの資料作成。
車の運転ができないとどこへも行けない。視力の低下。
買い物、運転、車の運転。
主人が車の免許証を返納した場合、ダンスに行けなくなる。
自動車運転、免許返納するのは難しい。買い物など困難になる。
仕事。〔3件〕
仕事とウォーキング。
○家事や家屋管理に関する事
食事の準備（料理や買い物含む）。〔6件〕
家の掃除。
家事。
犬の散歩、家事。
家事全般。
食事の支度、洗濯、掃除、買い物、入浴、トイレ。
買い物、病院の通院。今は主人と二人で家事、食事等やっているが、夫がガンの手術をしたため、一人になったら人で全部できない。
○身体活動に関する事
健康体操。

できなくなると困ること
ウォーキング。
軽い運動。料理。
外出（医者、買い物（日用品、食料品））など。
外出。
2階建なので、階段の昇降が困難になること。
何に対しても意欲がなくなること。
見守り活動。
日常生活が自分でできなくなること。 [2件]
朝起きて夜寝るまでの日常生活。 愛猫の世話。
畑仕事ができなくなること。 [2件]
自分でトイレに行けなくなること。
トイレ、入浴。
歩けなくなること。 [3件]
4-3 中部区域〈80歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。 [4件]
車の運転。買い物。
ひとりで外出すること。
少しのパートの仕事。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備（料理や買い物含む）。 [2件]
食事の支度。洗濯。
食べれなくなること。歩けなくなること。
料理、風呂、トイレ。
買い物、食事の用意、預貯金の出し入れ、洗濯、掃除。
家事。
家の中のこと全般。
炊事、洗濯、掃除、買い物。
家の掃除や入浴や食事など。
買い物、清掃、洗濯、歩けなくなること。
○身体活動に関すること
散歩。
自分の身の回りのこと。
自立生活、歩行困難、手指の動き。
身だしなみや日常生活（風呂・トイレ）など。
トイレ、風呂。 [2件]
歩くことができなくなること。
筋トレができなくなること。
畑仕事及び庭木の手入れ。
○その他
一人になった時の生活。
生活。
体調不安になれば夫の介護できない。
家族がいるからお願いできる。
特になし。

できなくなると困ること
4-4 中部区域〈90歳以上〉
自家用車の運転。
パソコン、スマホ、登山、庭木剪定、重いドアの戸車の交換、米 30kg 運搬、マイカー点検整備、TV視聴困難（目耳能力低下）。
転倒して体が不自由になること。
トイレの問題。
5-1 東部区域〈60歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。 [12件]
車、バイクの運転。
ゴルフ、車の運転。
仕事。
仕事が現状継続しているが自分の体調のこと、身体のことによって仕事が継続できるか。できなくなると困る。
仕事のオーバーワークにより7年前に腰椎の大病で手術をして、神経の損傷が残り、脚の動作が今までのようにならなくなった。精神的なダメージもあって気が弱くなってしまい、努力をかなりして頑張った。脚の動作は元には戻らないものの、ほぼ80%程度回復した。年齢を重ねる退化と回復との微妙なバランスで頑張っている。不安は、やはり歩けなくなって精神的に苦しかったことを再び味わいたくない、と強く思うこと。
仕事、家事、運転。
○家事や家屋管理に関すること
買い物、食事の用意。
買い物 [4件]
家事、掃除。
家事、通院。
○その他
健康の維持。
自分の趣味ができなくなったとき。
介助
5-2 東部区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。 [37件]
車の運転。病院通い。
家事、車の運転。
ウォーキング、買い物、魚釣り、車の運転。
定期的な通院、車の運転、買い物、ゴミ出し。
自転車に乗れなくなる。車の運転。
車の運転、散歩。
車の運転。歩けなくなって散歩ができなくなること（外出が減る）。
車を運転すること、ゴルフ。
仕事。 [2件]

できなくなると困ること
仕事をして生活を助けること。
現在、膝の治療で通院。完治すれば良いのですが、仕事ができない状態が続き迷惑をかけている。
○家事や家屋管理に関すること
食事、トイレ、風呂。
食事をつくること、運転ができなくなった時。
毎日の食事、歩行。
家事全般。[8件]
家族の世話、スポーツができなくなること。
植木の剪定と清掃。実家の修理など。
金銭面の管理。[2件]
銀行に行けない。
○身体活動に関すること
ウォーキング
ウォーキング、ほぼ毎日40分ぐらい歩いていること。歩けなくなること。自炊ができなくなることで困る。
着替え、トイレ、入浴。
自活、自ら生活できていることができなくなることで困る。
動けなくなることで困る。
日常生活全般。[3件]
日常業務(家庭内の)対応や愛犬の世話など。
日常生活、妻への面会。
農業作業。
家庭菜園及びボランティア。
男性のトイレ排尿(衣服に付着する)。
排便。
歩けなくなることで困る。[5件]
歩けなくなることで困る。車の運転。R8年1月更新、よかった。右足は大丈夫。
○その他
自ら連絡ができなくなることで困る。
毎月の収入がなくなり経済的に苦しくなった時のことで困る。
年金がなくなることで困る。
山歩き。
電車(名鉄)に乗り、地下鉄に乗り換え、栄まで出かけること(語学講座受講のため)。
病気になった時、病院に行くことができない。目まいを生じたときに(内耳性目まい)、3日間菓子を食べて杖をついて病院に行った。こういう時に、遠くの親戚を呼ばずに、近所付き合いができていればと思う。
I型糖尿病でインシュリンの管理、血糖値の管理。
脊柱管狭窄があるので日常の動作がスムーズにできなくなり、これ以上の進行が困る。

できなくなると困ること
ギャンブル。
ゴルフ。
5-3 東部区域〈80歳代〉
○移動に関すること
車の運転。[13件]
運動、自動車運転。
車の運転、食事の用意(家事)。[2件]
運転免許を返納してからの生活のこと。
車の免許証がなくなること。病院へ行くのに困る。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備(料理や買い物含む)。[8件]
食事の支度。風呂やトイレを自分でする。
食事の準備、身だしなみ。
食事の件。つくること、食べなくなる。自分の身支度。
飲食、トイレ。
外出、健康管理、食事、買い物。
家事すべて。
家庭内の仕事。食事、洗濯、掃除。
高い所の掃除(例:換気扇)。
ぬいもの。
ATMに行けなくなることで困る。今はタクシーで行ったり、知人に連れて行ってもらう。
少しばかりの財政(農協等の管理)。
庭の管理(お金を出せば解決する)。
庭木の手入れ。
○身体活動に関すること
移動すること。
動く事。
認知症になって日常生活ができなくなった時。
日常生活、入院中の主人の世話。
1人で風呂に入れなくなることで困る。
トイレ、風呂。[2件]
風呂、トイレ、歩行。
歩行。[3件]
歩けること。目が見えなくなることで困る。
○その他
認知症の家族の世話。
介護、趣味。
ひとり暮らし。
通院。
私が病気で寝込んだ時。
主人が何もしないから。
5-4 東部区域〈90歳以上〉
家事全般。
身の回りのこと。

できなくなると困ること
トイレ、お風呂。
トイレ、入浴、歩行。日常生活全般。
寝室が2階のため、歩けなくなると困る。便所や風呂の出入りで困る。寝巻きや洋服の着替えの時。
5-5 東部区域〈年齢無回答〉
散歩、買い物。
6-1 南部区域〈60歳代〉
車の運転。〔8件〕
炊事
ひとり暮らしのため日常生活すべて。
歩行
わかりません。
6-2 南部区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。〔15件〕
運動、運転。
自分の足で歩けなくなること(車の運転も含め)。
働けなくなることです。
仕事。〔2件〕
○家事や家屋管理に関すること
食事。
食事の用意、庭の草むしり。
食事の用意、トイレ。
食事の用意、歩行が困難になること。
買い物、医者への交通手段。
買い物、食事の準備、洗濯。
買い物、外出、ゴルフ等運動。
庭木の剪定、庭の草引き。
家事全般。〔2件〕
○身体活動に関すること
自身の身の回りのこと。〔2件〕
外出できなくなること。〔2件〕
自分でトイレに行けなくなること。〔2件〕
朝と夜のウォーキング、歩くことができなくなる。
運動(体操、歩く事)、買い物。
歩行。〔2件〕
畑、庭の手入れ。
家庭菜園。
農業。
6-3 南部区域〈80歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。〔7件〕
自動車の運転、家事全部、ネコの世話、家の周りの草取り。
畑仕事、車の運転。

できなくなると困ること
運転免許返納したときスーパーもなく、買い物にも30分以上かかる。
○身体活動に関すること
風呂、洗濯。
歩けなくなること。
歩行、趣味。
物忘れ、畑仕事。
○その他
ひとり暮らしの継続。
6-4 南部区域〈90歳以上〉
すべて。
7-1 川島区域〈60歳代〉
○移動に関すること
車の運転。〔2件〕
車の運転ができなくなって、外出が困難になること。
車の運転。病気などで動けなくなること。
○身体活動に関すること
ひとりで好きな所に行けなくなること。
外出や買い物。
生活。
自分の移動。
通院。
歩行。
体を動かすこと。
7-2 川島区域〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。〔10件〕
免許証返納後に買い物や病院に行けない。
アルバイトを続けることができなくなった時。
仕事。
○家事や家屋管理に関すること
食事の準備(料理や買い物含む)。〔6件〕
ゴミ出し、食事準備。
○身体活動に関すること
歩けなくなること。〔4件〕
歩けなくなる。物忘れがひどくなること。
歩行、買い物。
歩行またはトイレができなくなること。
運動、ウォーキング。
犬の散歩をしているが、できなくなること。
○その他
長時間持続して行うことができなくなった。
7-3 川島区域〈80歳代〉
○移動に関すること
運転ができなくなるとスーパーや病院に行けないから。

できなくなると困ること
車の運転。
○家事や家屋管理に関すること
食事の用意。
家事。
○身体活動に関すること
自分の身の回りができなくなること。 [2件]
家庭生活が思うようにできなくなる。
風呂やトイレが自身できなくなること。
入浴、家事全般。
8-1 区域不明・無回答〈60歳代〉
車の運転。
仕事が続けられなくなると困る。
現在は大きな病気もなく働いているが、いずれ退職して病気などになった時の不安。
歩けなくなること。
8-2 区域不明・無回答〈70歳代〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。 [2件]
仕事、車の運転。
○家事や家屋管理に関すること
主婦業、趣味。
食事の支度、掃除。
○身体活動に関すること
外部とのつながり
自立生活。 [2件]
1人なので身体的なこと。
仕事ができなくなった時。
家庭菜園ができなくなること。
トイレに行けなくなると困る。
歩けなくなること。
○その他
介護ができなくなること。
8-3 区域不明・無回答〈80歳代〉
車の運転。
ゴルフ、家庭菜園。
転んだり、病気になったりすること。
8-4 区域不明・無回答〈90歳以上〉
歩行。
歩行、野菜づくり、洗濯。
9-1 区域不明・無回答〈年齢無回答〉
○移動や仕事に関すること
車の運転。 [3件]
自家用車の運転、携帯の操作、日常の買い物、掃除、洗濯。
○家事や家屋管理に関すること
買い物。
家事、洗濯。

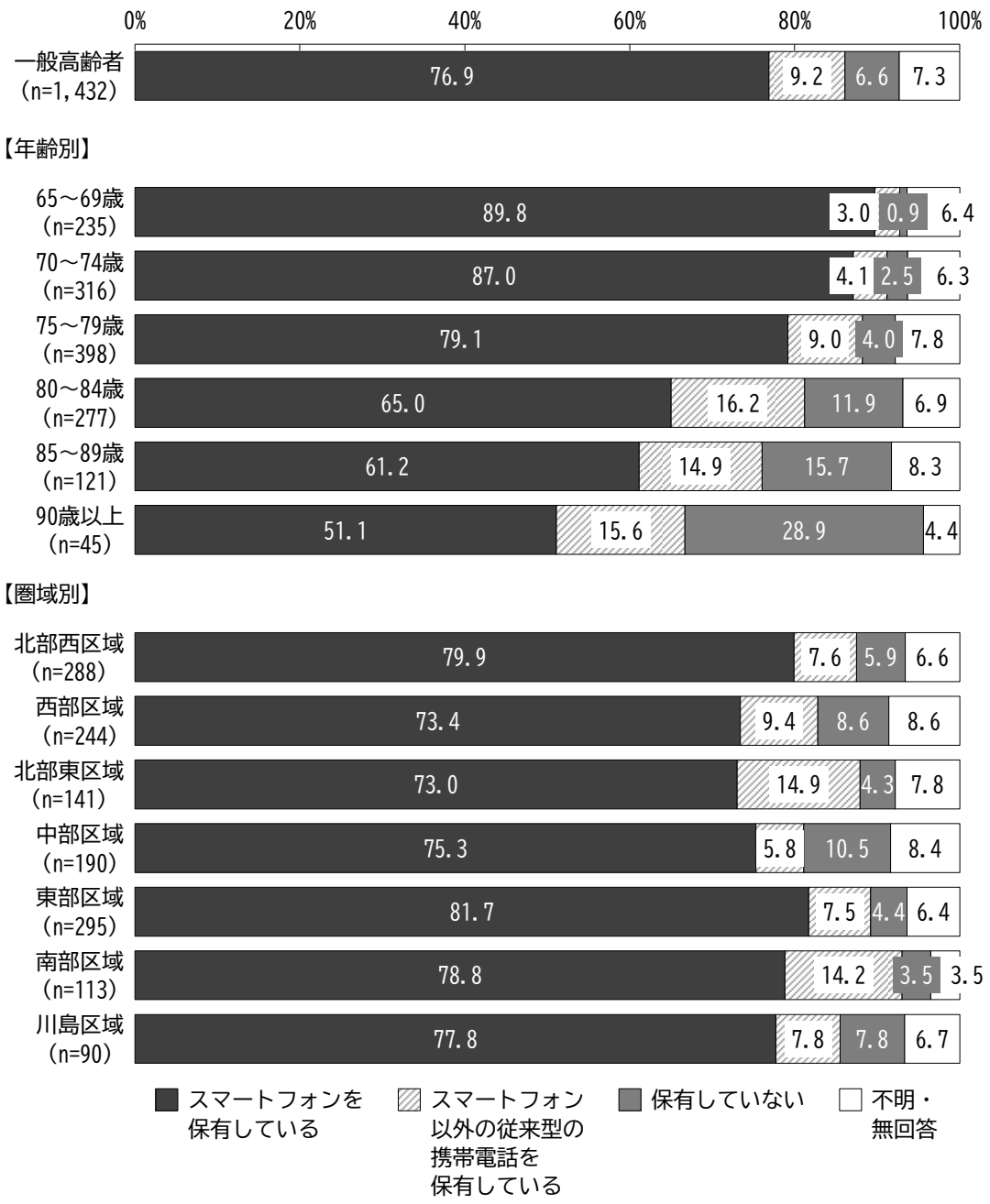
できなくなると困ること
家事、日常生活。
家事労働、食事の支度。
家事全般。
○身体活動に関すること
歩く事。
病院等の外出。
今は自分ですべてやっているが、寝込んでしまった時のことを考えると（嫁が同居しているが）心配。
○その他
寝たきりになり「ひまわりの丘」で見てもらえなくなるとどうするか。
今はあまり考えてない。 [2件]

問 30 携帯電話を保有していますか。(単数回答)

携帯電話を保有しているかは、全体で「スマートフォンを保有している」が76.9%、「スマートフォン以外の従来型の携帯電話を保有している」が9.2%、「保有していない」が6.6%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「保有していない」が高くなっています。

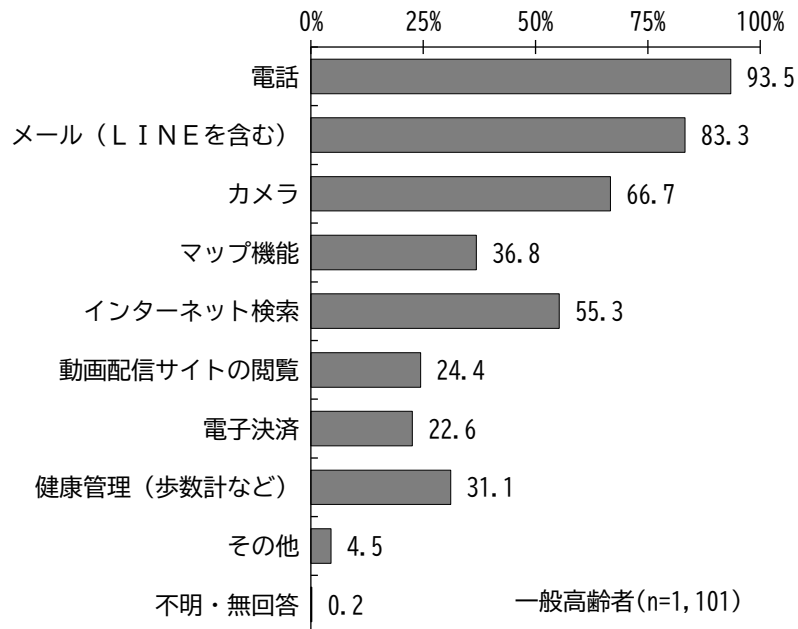
圏域別では、中部区域で「保有していない」が10.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問30で「スマートフォンを保有している」と回答した方のみ

問30-1 スマートフォンを利用する目的は何ですか。(複数回答)

スマートフォンを利用する目的は、「電話」が93.5%と最も高く、次いで「メール(LINEを含む)」が83.3%となっています。



※「LINE」は、LINE ヤフー株式会社の商標または登録商標です。

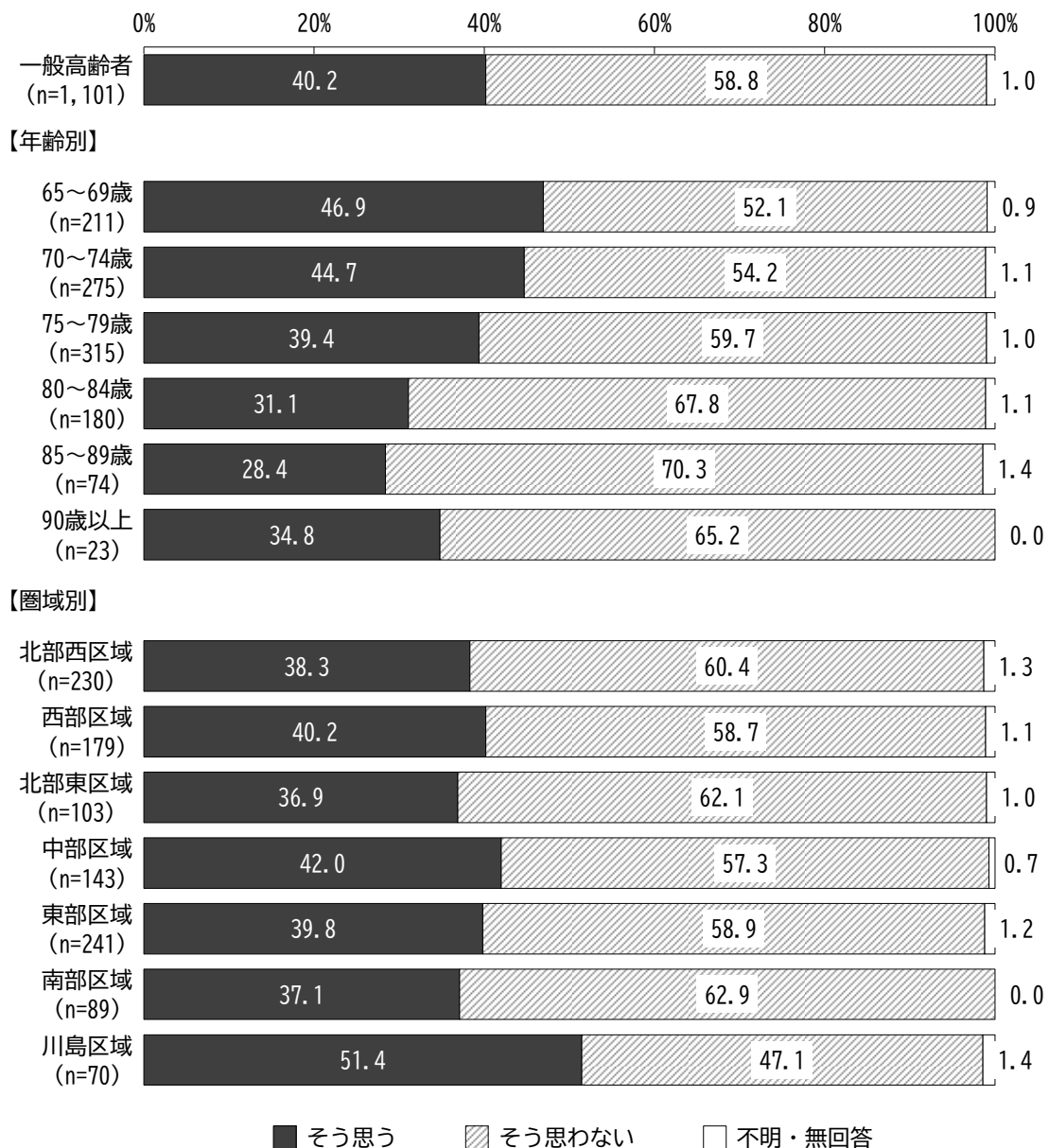
問30で「スマートフォンを保有している」と回答した方のみ

問30-2 日常生活において、今以上にスマートフォンを活用したいと思いますか。
(単数回答)

日常生活において、今以上にスマートフォンを活用したいと思うかは、全体で「そう思う」が40.2%、「そう思わない」が58.8%となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳で「そう思う」がそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域で「そう思う」が51.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。



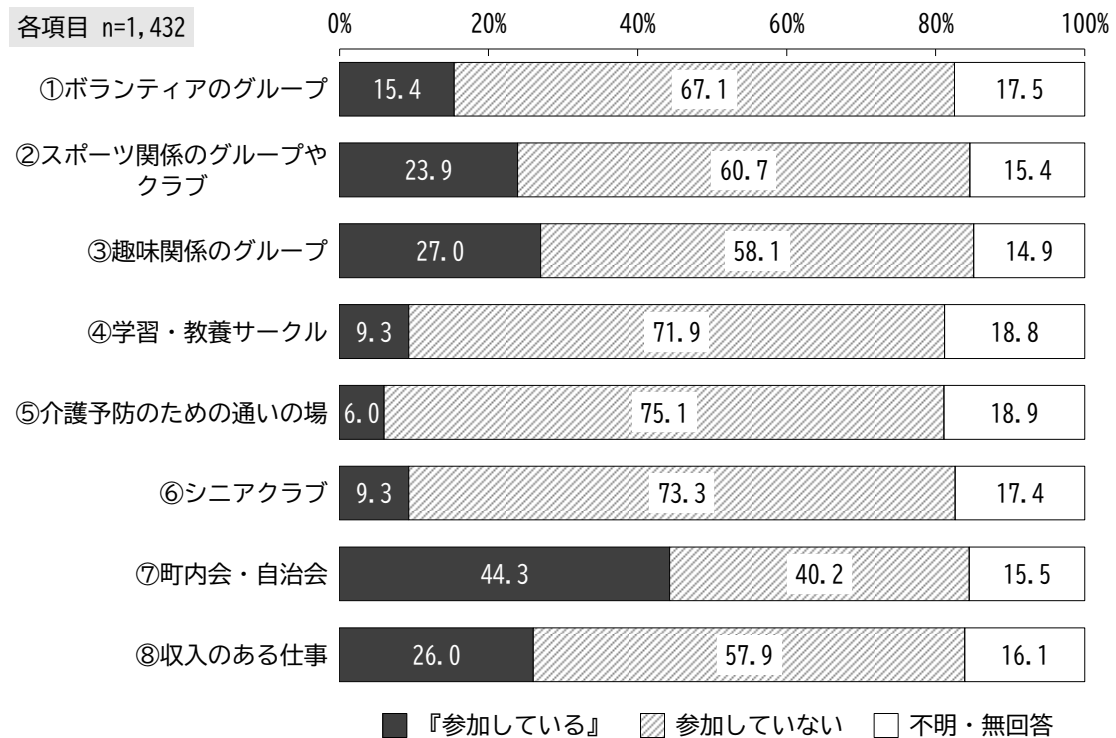
7. 地域での活動について

問31 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(各単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

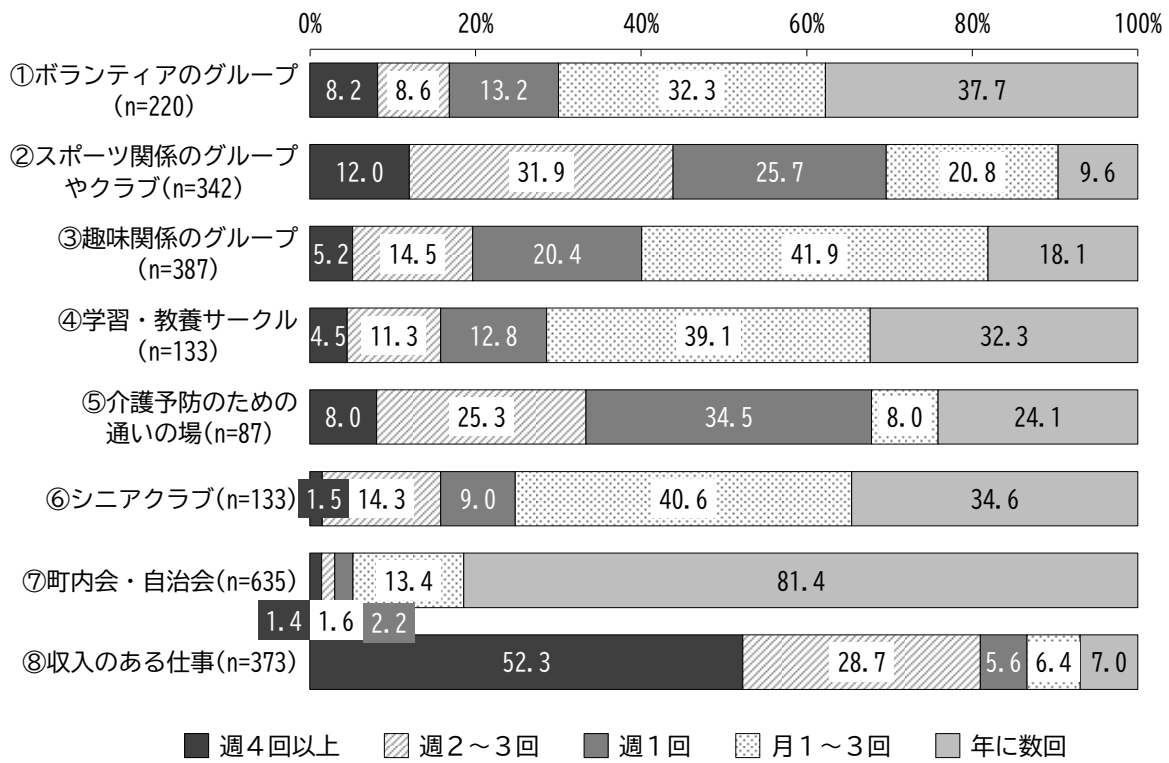
『参加している』…「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合算

会・グループ等への参加状況は、〔⑦町内会・自治会〕で『参加している』が44.3%と、他の項目と比べて高くなっています。



◆会・グループ等への参加頻度（各単数回答）

会・グループ等への参加頻度は、〔⑧収入のある仕事〕で「週4回以上」が52.3%と、他の項目と比べて高くなっています。その他の会・グループ等への参加頻度は下記のとおりです。



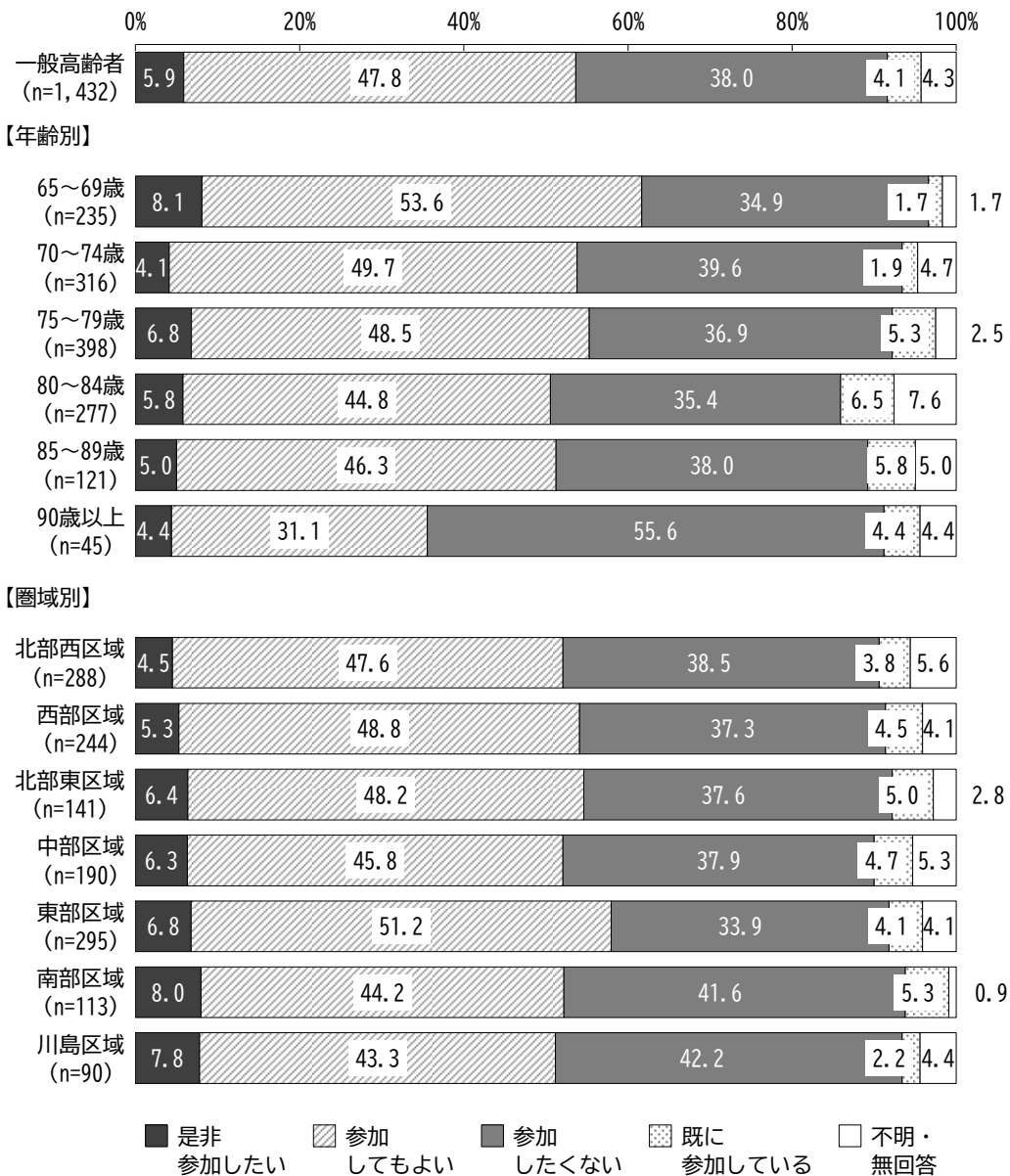
※「参加していない」「不明・無回答」を除き算出。

問 32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかは、全体で「参加してもよい」が47.8%と最も高く、次いで「参加したくない」が38.0%となっています。

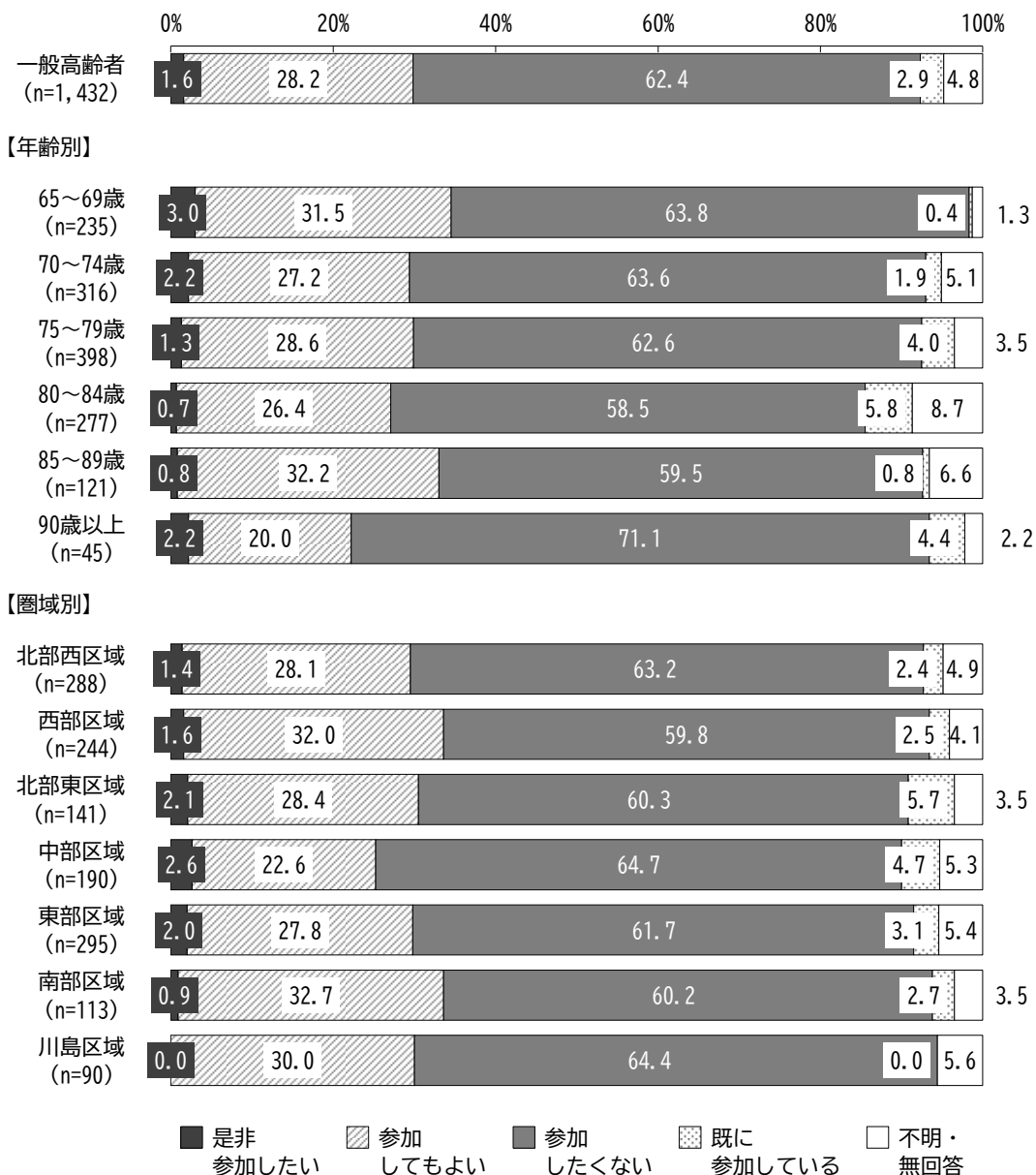
年齢別では、65～69歳で「参加してもよい」が53.6%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「参加してもよい」がそれぞれ4～5割台となっています。



問 33 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

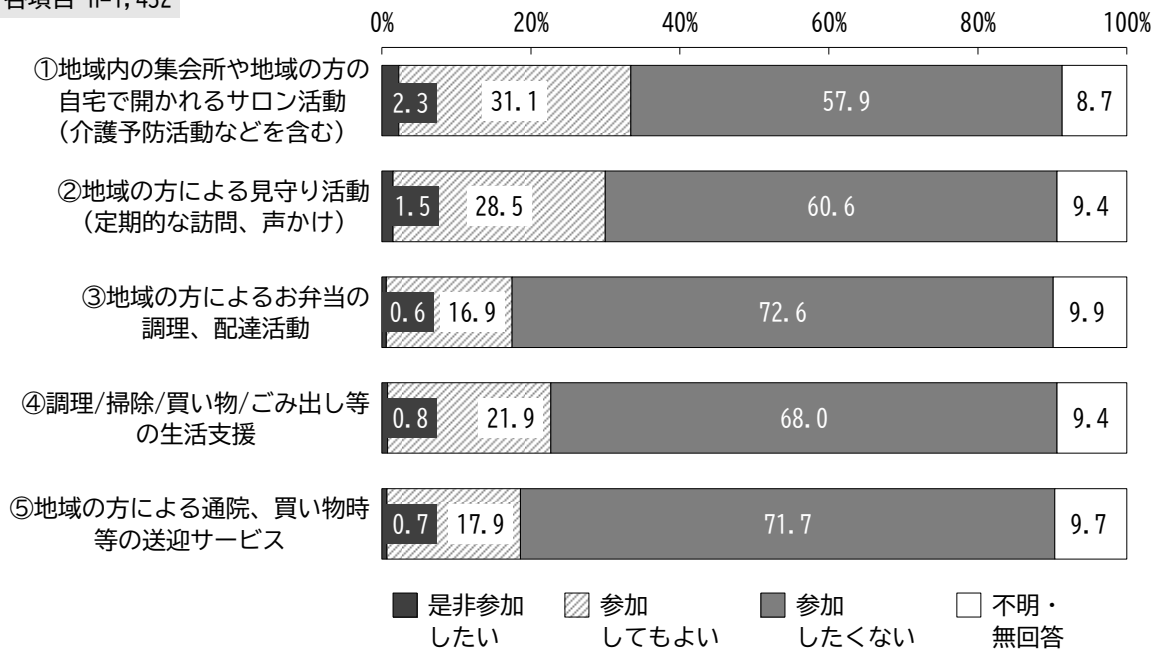
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかは、全体で「参加したくない」が62.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」が28.2%となっています。年齢別では、90歳以上で「参加したくない」が71.1%と、他の年代と比べて高くなっています。圏域別では、いずれの圏域も「参加したくない」がそれぞれ約6割となっています。



問 34 お住まいの地域に地域住民が主体となった活動があった場合、参加してみたいですか。
(各単数回答)

地域住民が主体となった活動があった場合、参加してみたいかは、〔①地域内の集会所や地域の方の自宅で開かれるサロン活動（介護予防活動などを含む）〕〔②地域の方による見守り活動（定期的な訪問、声かけ）〕で「参加してもよい」がそれぞれ約3割となっています。

各項目 n=1,432

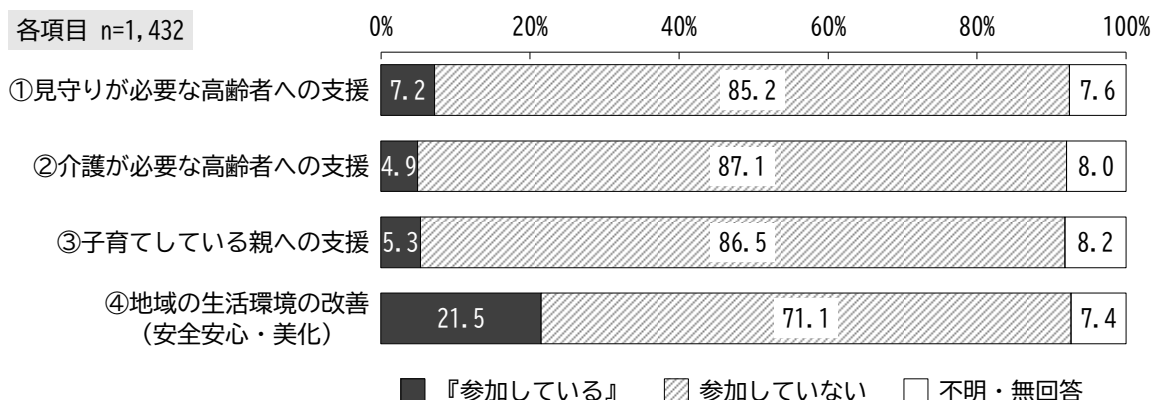


問 35 以下のような社会参加活動や仕事を、どのくらいの頻度でしていますか。
(各単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

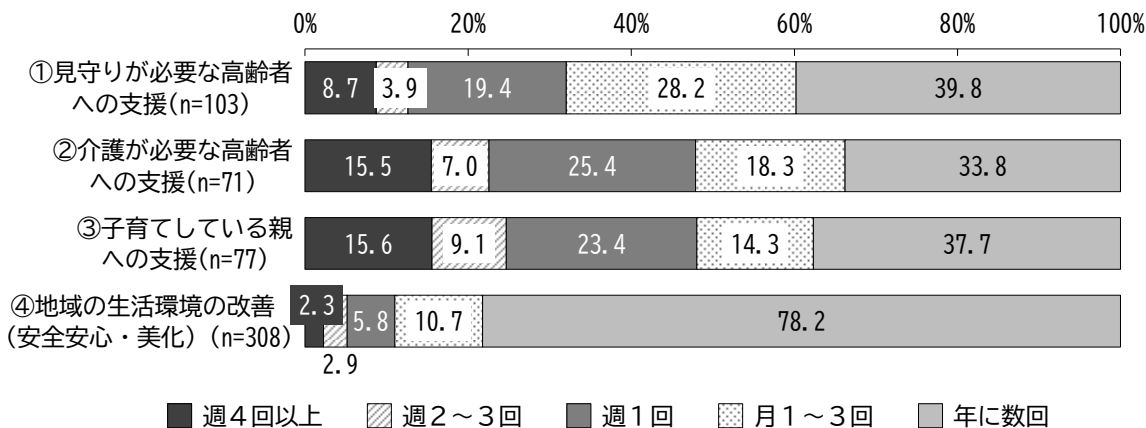
『参加している』…「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合算

社会参加活動や仕事への参加状況は、〔④地域の生活環境の改善（安全安心・美化）〕で『参加している』が21.5%と、他の項目と比べて高くなっています。



◆社会参加活動や仕事への参加頻度（各単数回答）

社会参加活動や仕事の参加頻度は、〔②介護が必要な高齢者への支援〕〔③子育てしている親への支援〕で「週4回以上」がそれぞれ15%程度となっています。その他の社会参加活動や仕事への参加頻度は下記のとおりです。



※「参加していない」「不明・無回答」を除き算出。

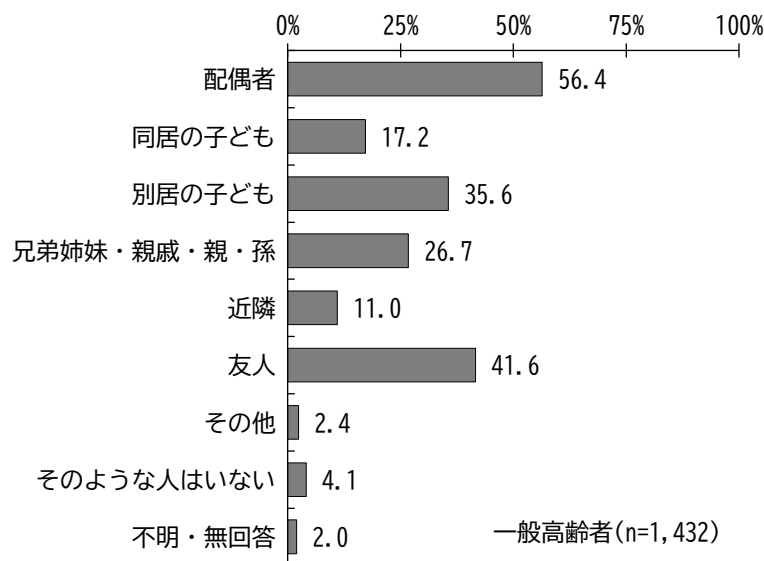
8. たすけあいについて

問 36 宛名の方の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰ですか。（複数回答）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、全体で「配偶者」が56.4%と最も高く、次いで「友人」が41.6%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が71.3%と、女性と比べて28.2ポイント高くなっている一方で、女性は「友人」が55.1%と、男性と比べて26.8ポイント高くなっています。なお、女性は「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」においても、男性と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

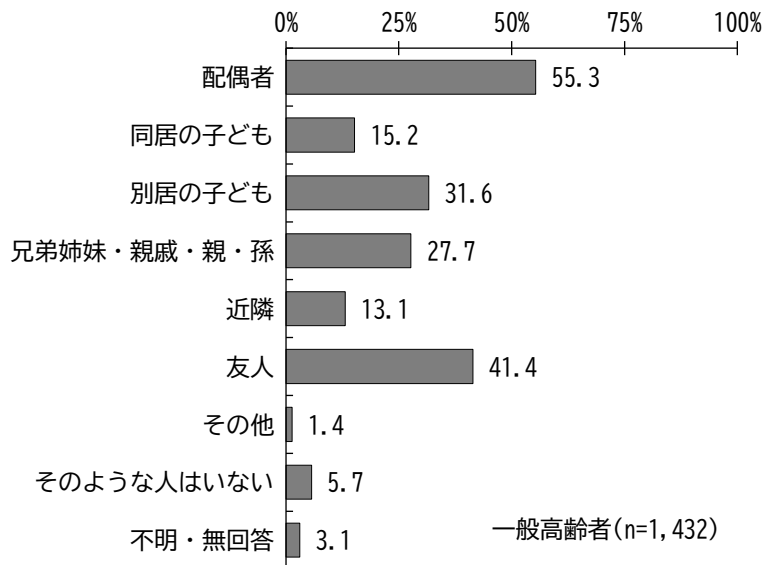
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【性別】									
男性 (n=673)	71.3	12.6	26.2	17.2	5.6	28.2	2.2	5.5	2.2
女性 (n=715)	43.1	21.8	44.8	35.2	16.1	55.1	2.5	2.4	1.4
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	62.5	13.2	31.9	22.2	11.8	43.8	1.7	3.1	1.4
西部区域 (n=244)	50.4	14.8	36.9	23.4	12.3	45.1	2.5	5.7	2.5
北部東区域 (n=141)	61.7	19.1	46.8	24.1	14.2	41.8	2.1	2.1	0.7
中部区域 (n=190)	62.6	21.1	41.1	28.9	10.5	40.0	2.6	2.6	0.5
東部区域 (n=295)	53.9	19.3	36.6	26.8	8.5	42.0	2.0	2.7	2.0
南部区域 (n=113)	59.3	15.9	34.5	35.4	9.7	41.6	0.0	4.4	2.7
川島区域 (n=90)	52.2	20.0	22.2	36.7	12.2	33.3	4.4	5.6	4.4

問 37 反対に、宛名の方が心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。（複数回答）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、全体で「配偶者」が55.3%と最も高く、次いで「友人」が41.4%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が71.6%と、女性と比べて30.9ポイント高くなっている一方で、女性は「友人」が55.4%と、男性と比べて28.1ポイント高くなっています。なお、女性は「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」においても、男性と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

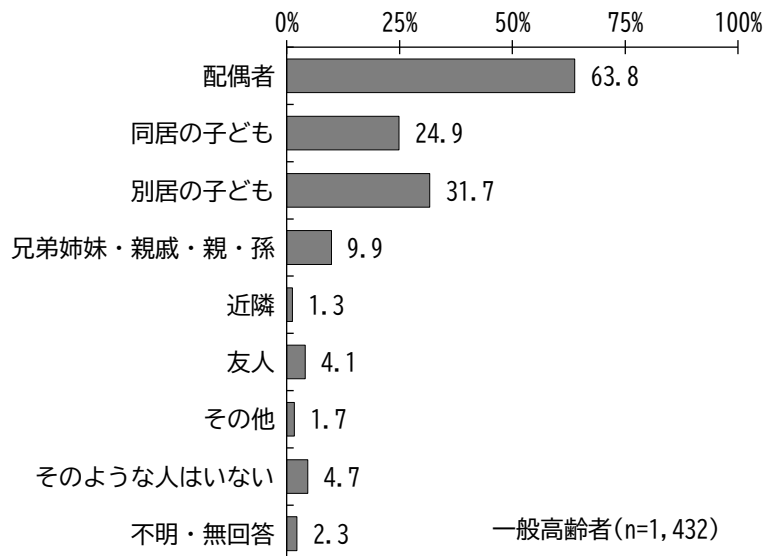
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【性別】									
男性 (n=673)	71.6	12.6	25.1	20.1	7.6	27.3	1.2	7.0	3.4
女性 (n=715)	40.7	17.2	37.9	35.1	18.6	55.4	1.7	4.2	2.5
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	60.4	11.8	28.8	23.6	11.5	44.1	0.7	5.2	2.4
西部区域 (n=244)	48.8	11.9	30.7	27.9	15.6	45.9	1.2	7.4	3.7
北部東区域 (n=141)	58.2	16.3	38.3	29.1	15.6	41.1	0.7	1.4	3.5
中部区域 (n=190)	63.7	18.9	39.5	30.0	13.2	40.5	1.6	4.2	0.5
東部区域 (n=295)	54.2	16.6	32.9	24.7	11.9	40.7	2.0	5.4	3.4
南部区域 (n=113)	59.3	15.0	31.9	35.4	13.3	44.2	0.0	3.5	1.8
川島区域 (n=90)	50.0	16.7	15.6	33.3	14.4	28.9	2.2	7.8	5.6

問 38 宛名の方が病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(複数回答)

病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人は、全体で「配偶者」が63.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」が31.7%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が79.2%と、女性と比べて29.7ポイント高くなっている一方で、女性は「別居の子ども」が40.6%と、男性と比べて18.3ポイント高くなっています。なお、女性は「同居の子ども」においても、男性と比べて10ポイント以上高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

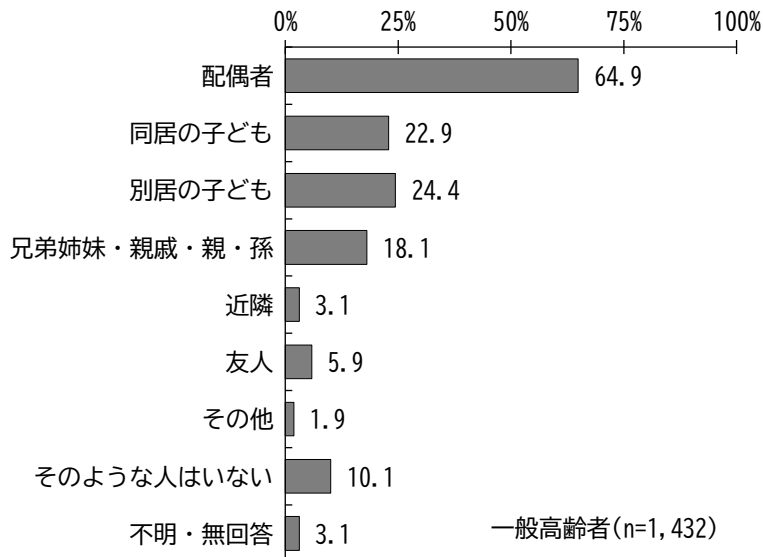
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【性別】									
男性 (n=673)	79.2	18.0	22.3	9.1	0.4	1.3	0.9	5.6	1.9
女性 (n=715)	49.5	31.2	40.6	10.6	2.1	6.7	2.5	4.2	2.4
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	70.8	20.5	28.5	7.6	1.4	4.2	1.0	3.8	1.7
西部区域 (n=244)	57.8	20.9	34.8	11.5	1.2	4.1	1.2	5.7	3.7
北部東区域 (n=141)	62.4	24.8	39.0	12.1	2.1	4.3	2.1	4.3	1.4
中部区域 (n=190)	70.0	32.6	35.3	8.9	1.6	3.7	2.1	2.1	0.5
東部区域 (n=295)	61.4	25.1	32.2	7.8	0.7	4.7	0.7	5.4	2.0
南部区域 (n=113)	68.1	27.4	32.7	14.2	1.8	4.4	0.9	3.5	1.8
川島区域 (n=90)	61.1	30.0	18.9	12.2	0.0	0.0	3.3	5.6	4.4

問 39 反対に、宛名の方が看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(複数回答)

看病や世話をしてあげる人は、全体で「配偶者」が 64.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 24.4%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が 77.1%と、女性と比べて 23.3ポイント高くなっている一方で、女性は「別居の子ども」が 30.6%と、男性と比べて 12.5ポイント高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

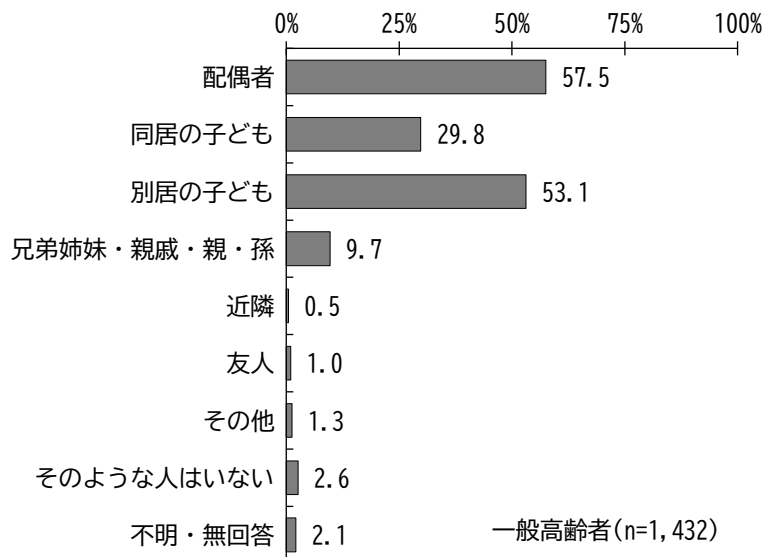
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【性別】									
男性 (n=673)	77.1	20.1	18.1	14.3	0.9	2.8	1.2	8.9	2.4
女性 (n=715)	53.8	25.3	30.6	21.8	5.3	8.8	2.5	10.8	3.5
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	71.5	20.1	25.3	14.9	3.1	6.9	2.1	8.0	1.7
西部区域 (n=244)	59.0	19.7	25.0	21.7	4.5	7.0	2.5	10.7	4.1
北部東区域 (n=141)	68.1	18.4	27.0	17.7	3.5	7.1	2.1	10.6	2.1
中部区域 (n=190)	68.9	27.4	23.7	19.5	3.2	4.2	1.1	9.5	2.6
東部区域 (n=295)	64.7	26.4	26.1	15.6	2.0	5.4	1.0	10.2	2.7
南部区域 (n=113)	67.3	23.0	24.8	26.5	3.5	6.2	1.8	6.2	2.7
川島区域 (n=90)	57.8	26.7	12.2	15.6	2.2	1.1	3.3	11.1	6.7

問 40 宛名の方が認知症になったら、財産管理や行政、福祉サービス等の手続きの支援を頼める人は誰ですか。(複数回答)

認知症になった時の、財産管理や行政、福祉サービス等の手続きの支援を頼める人は、全体で「配偶者」が57.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が53.1%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が70.4%と、女性と比べて24.5ポイント高くなっている一方で、女性は「別居の子ども」が58.5%と、男性と比べて11.2ポイント高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「配偶者」がそれぞれ5～6割となっているほか、川島区域を除いた圏域で「別居の子ども」がそれぞれ5～6割となっています。



■クロス集計

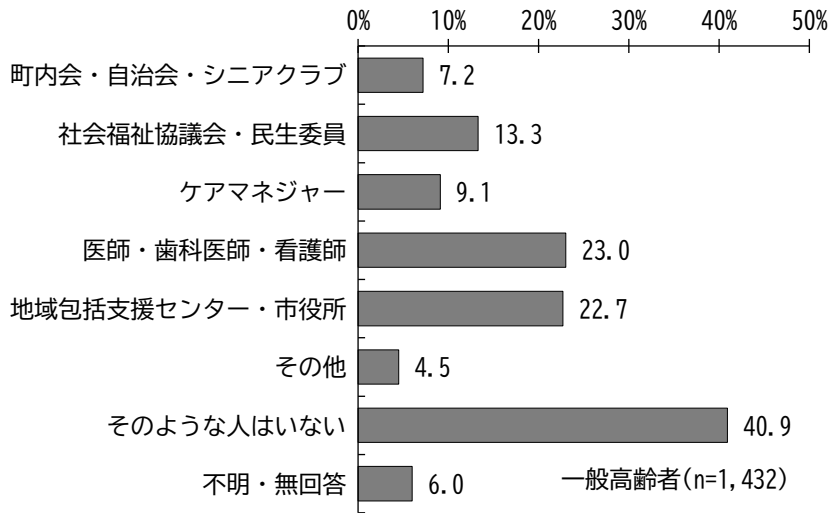
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位: %)									
【性別】									
男性 (n=673)	70.4	25.3	47.3	10.1	0.1	1.0	1.2	3.1	1.9
女性 (n=715)	45.9	34.0	58.5	9.1	0.7	1.0	1.4	2.1	1.8
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	63.9	24.3	51.4	9.0	0.0	1.0	1.0	2.4	1.4
西部区域 (n=244)	53.3	25.4	55.3	12.3	0.4	1.6	1.6	2.5	2.5
北部東区域 (n=141)	60.3	25.5	60.3	9.9	1.4	1.4	1.4	2.8	0.7
中部区域 (n=190)	61.6	37.9	57.4	8.4	0.0	0.0	1.1	1.6	0.0
東部区域 (n=295)	56.3	29.2	53.9	8.1	1.0	1.0	1.0	1.0	2.4
南部区域 (n=113)	56.6	40.7	52.2	8.0	0.0	0.0	0.9	1.8	1.8
川島区域 (n=90)	53.3	40.0	38.9	12.2	0.0	1.1	0.0	3.3	5.6

問41 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。(複数回答)

家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手は、全体で「そのような人はいない」が40.9%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が23.0%となっています。

性別では、「そのような人はいない」が男性で43.4%、女性で38.6%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「そのような人はいない」がそれぞれ3～4割台となっています。



■クロス集計

	町内会・自治会・シニアクラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)								
【性別】								
男性 (n=673)	10.5	13.5	7.0	23.6	19.2	4.3	43.4	4.8
女性 (n=715)	4.3	13.3	10.9	22.9	26.4	4.6	38.6	6.7
【圏域別】								
北部西区域 (n=288)	8.0	13.5	7.3	24.0	23.6	3.5	38.9	5.2
西部区域 (n=244)	8.2	15.2	9.0	19.3	23.0	5.7	39.8	6.1
北部東区域 (n=141)	6.4	19.9	12.1	30.5	24.8	5.0	32.6	4.3
中部区域 (n=190)	6.8	11.1	12.6	26.3	22.6	5.3	42.6	5.3
東部区域 (n=295)	6.8	11.9	7.1	21.0	19.7	3.1	45.8	6.4
南部区域 (n=113)	8.8	11.5	11.5	24.8	27.4	2.7	45.1	6.2
川島区域 (n=90)	5.6	11.1	6.7	18.9	25.6	5.6	37.8	8.9

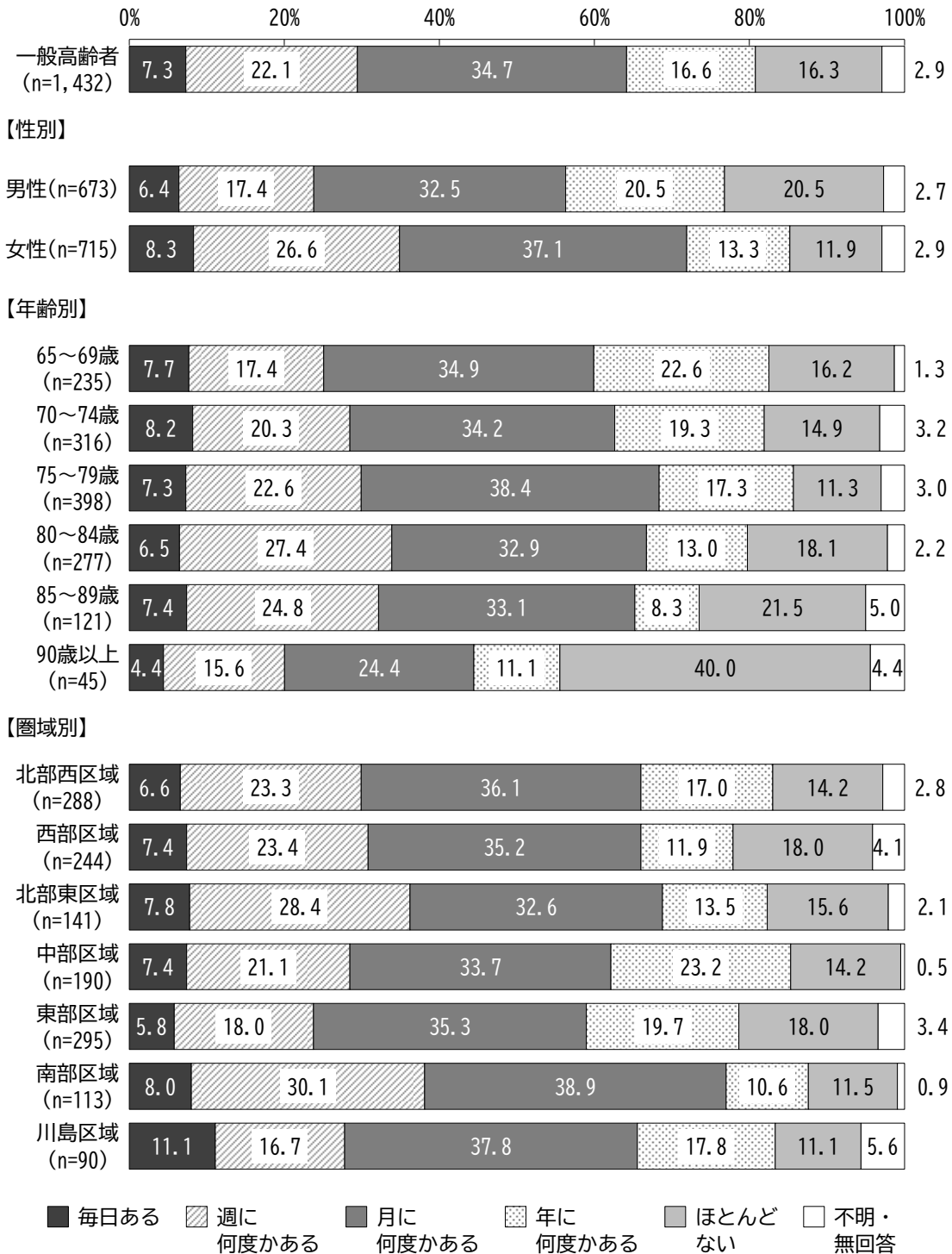
問 42 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

友人・知人と会う頻度は、全体で「月に何度かある」が 34.7%と最も高く、次いで「週に何度かある」が 22.1%となっています。

性別では、男性で「ほとんどない」が 20.5%と、女性と比べて 8.6 ポイント高くなっています。

年齢別では、90 歳以上で「ほとんどない」が 40.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「月に何度かある」がそれぞれ 3 割台となっています。なお、南部区域、北部東区域で「週に何度かある」がそれぞれ 3 割前後と、他の圏域と比べて高くなっています。



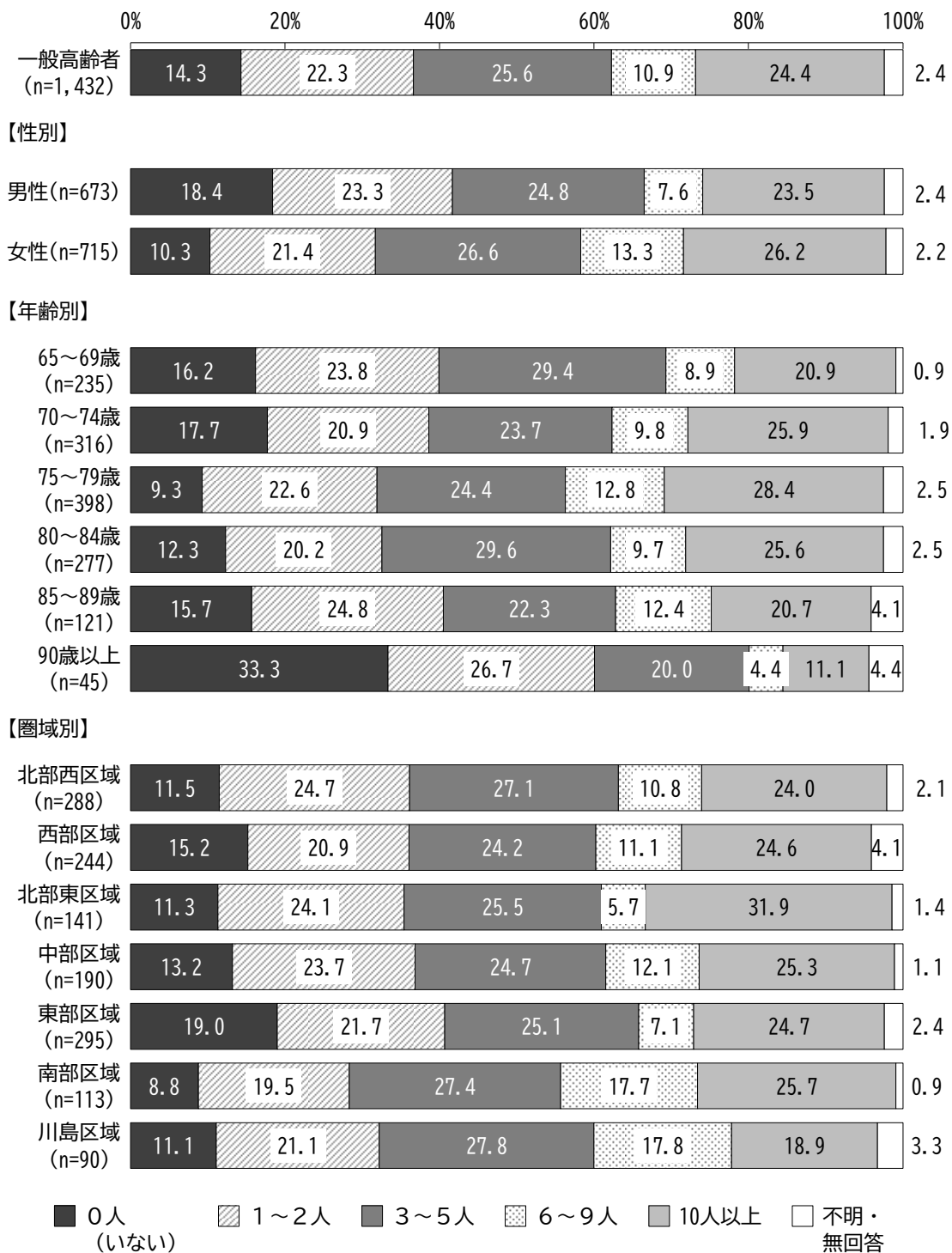
問 43 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(単数回答)

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、全体で「3～5人」が25.6%と最も高く、次いで「10人以上」が24.4%となっています。

性別では、男性で「0人(いない)」が18.4%と、女性と比べて8.1ポイント高くなっています。

年齢別では、90歳以上で「0人(いない)」が33.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、東部区域で「0人(いない)」が19.0%と、他の圏域と比べて高くなっています。



9. 健康について

問 44 現在の健康状態はいかがですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

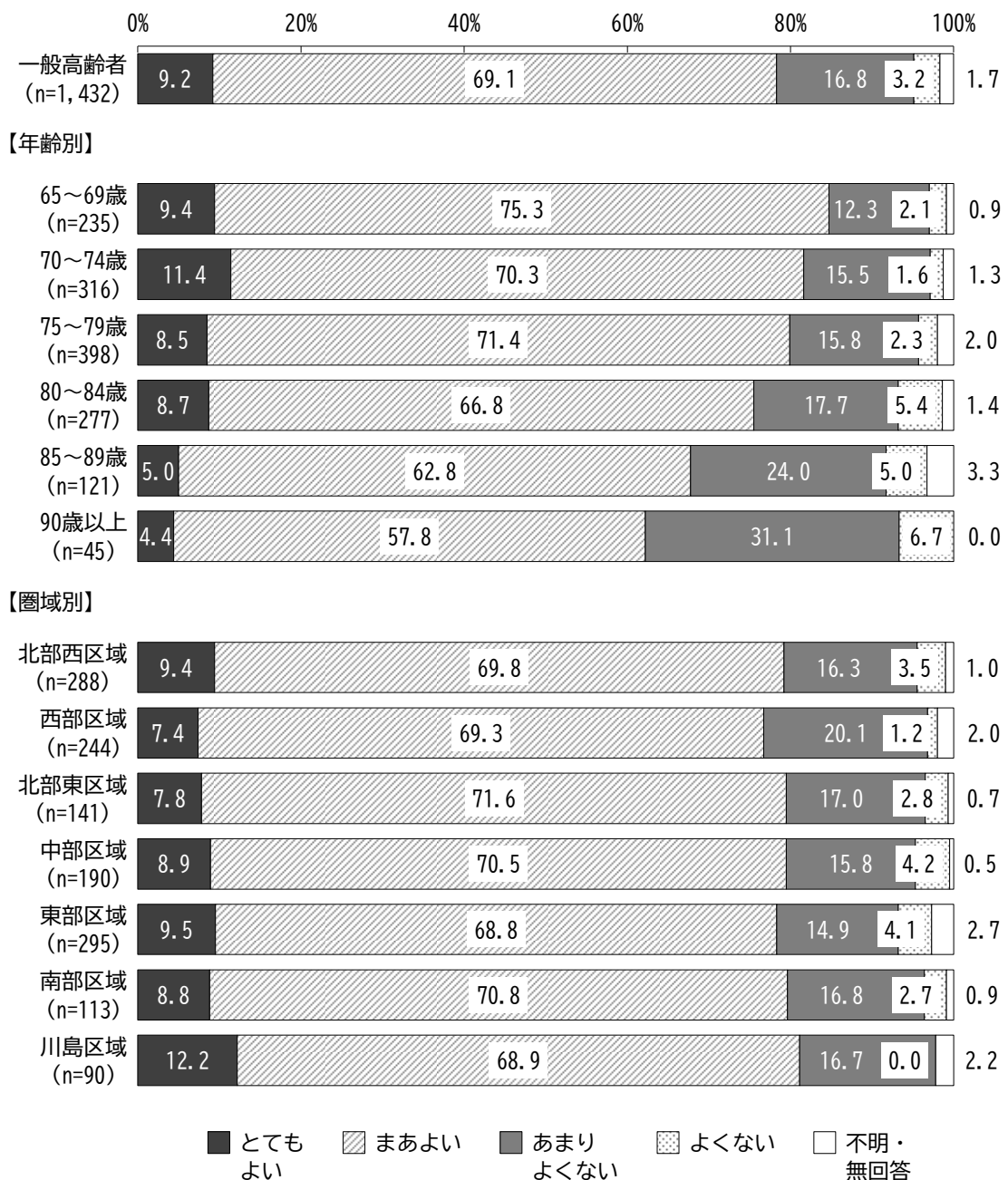
『よい』 … 「とてもよい」と「まあよい」の合算

『よくない』 … 「あまりよくない」と「よくない」の合算

現在の健康状態は、全体で『よい』が78.3%、『よくない』が20.0%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『よい』が低くなっています

圏域別では、いずれの圏域も『よい』がそれぞれ約8割となっています。

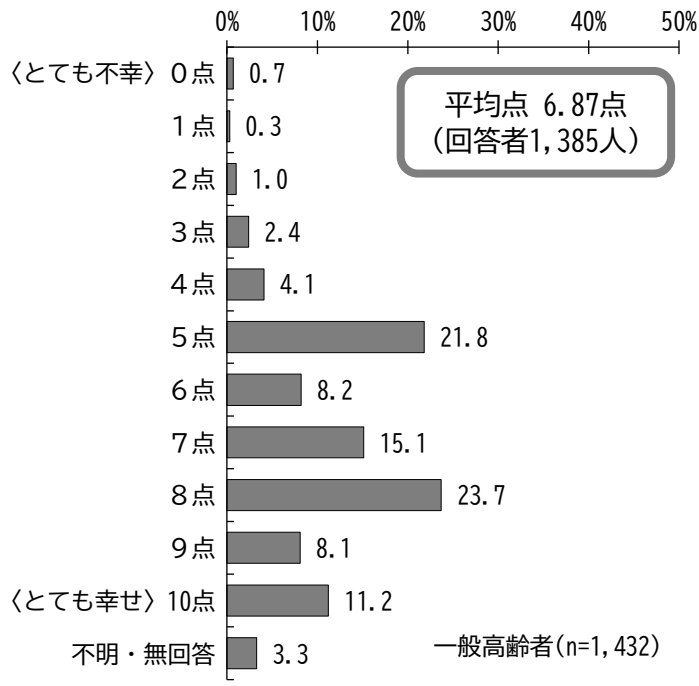


問 45 現在どの程度幸せですか。(単数回答)

現在の幸せの程度は、全体で「8点」が23.7%と最も高く、次いで「5点」が21.8%となっています。平均点は6.87点となっています。

年齢別では、「5点」「8点」がいずれの年代もそれぞれ上位を占めています。平均点は90歳以上で7.10点と高くなっています。

圏域別では、「5点」「8点」がいずれの圏域もそれぞれ上位を占めています。平均点は北部東区域、東部区域でそれぞれ7点台と高くなっています。



■クロス集計

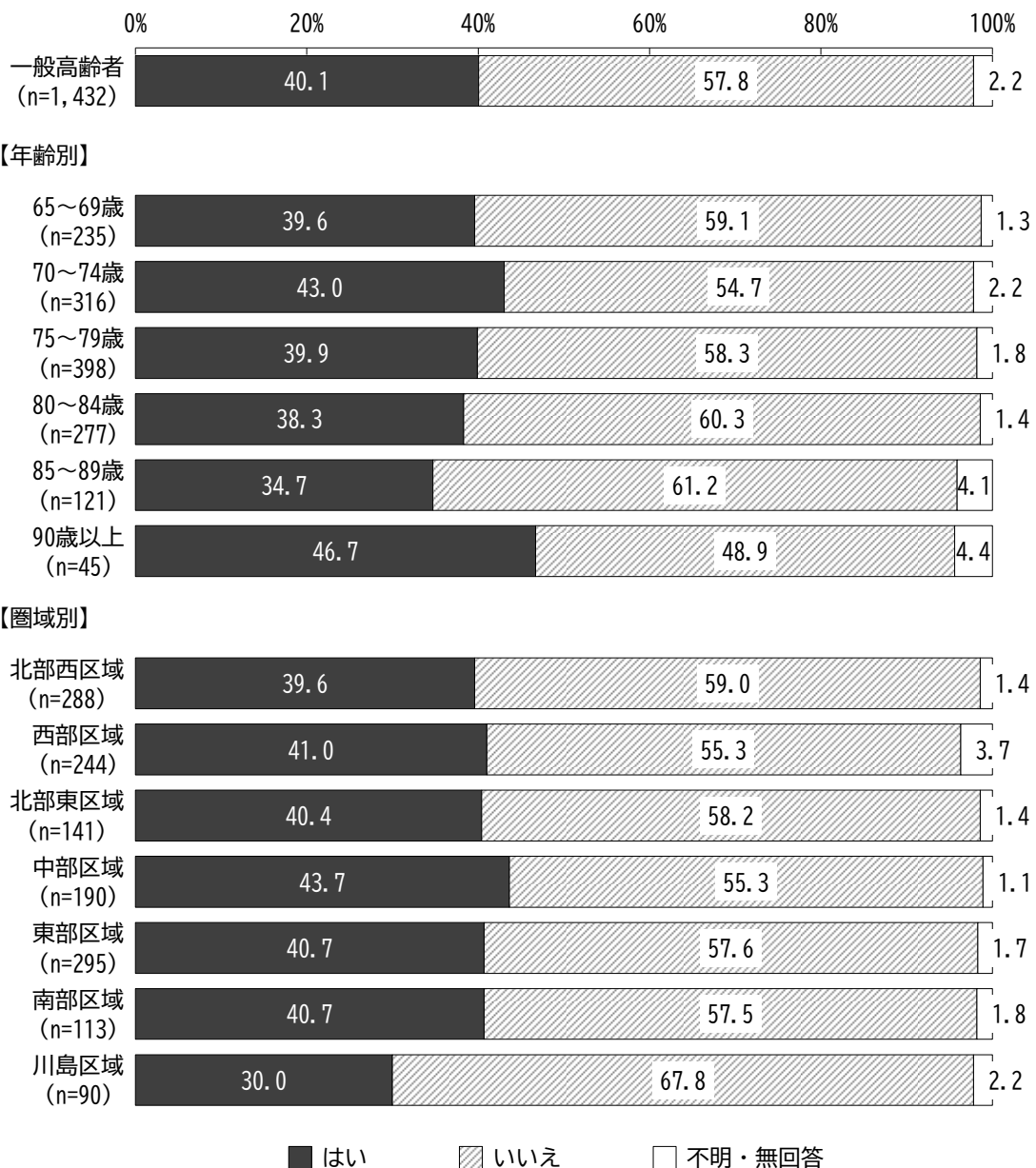
(単位: %)	0点 〈とても不幸〉	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 〈とても幸せ〉	不明・無回答	平均点(回答者)
【年齢別】													
65～69歳 (n=235)	0.9	0.4	0.9	1.7	3.4	22.1	8.1	14.9	27.2	8.1	10.2	2.1	6.92点 (230人)
70～74歳 (n=316)	0.6	0.3	1.9	3.2	3.8	21.5	5.4	17.7	24.1	8.5	10.8	2.2	6.85点 (309人)
75～79歳 (n=398)	0.3	0.3	1.0	2.5	3.5	20.4	8.8	14.8	27.4	8.3	9.8	3.0	6.95点 (386人)
80～84歳 (n=277)	1.4	0.4	0.4	1.4	6.5	23.5	10.8	13.7	17.7	7.6	13.0	3.6	6.74点 (267人)
85～89歳 (n=121)	0.8	0.0	1.7	1.7	3.3	23.1	8.3	14.0	24.8	9.1	8.3	5.0	6.82点 (115人)
90歳以上 (n=45)	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	26.7	4.4	13.3	17.8	2.2	22.2	6.7	7.10点 (42人)
【圏域別】													
北部西区域 (n=288)	0.3	0.7	1.0	3.5	3.8	18.4	8.0	16.7	26.4	8.0	10.8	2.4	6.93点 (281人)
西部区域 (n=244)	0.4	0.0	1.6	3.7	5.7	20.9	12.7	13.5	23.8	4.1	10.7	2.9	6.65点 (237人)
北部東区域 (n=141)	0.0	0.0	1.4	1.4	2.1	24.1	7.1	14.9	25.5	10.6	9.9	2.8	7.02点 (137人)
中部区域 (n=190)	0.5	1.1	0.5	2.6	2.1	26.3	5.3	16.3	23.2	6.8	11.6	3.7	6.84点 (183人)
東部区域 (n=295)	1.0	0.0	0.0	1.7	5.1	20.3	7.1	16.6	23.1	8.5	12.5	4.1	7.01点 (283人)
南部区域 (n=113)	1.8	0.0	1.8	0.9	4.4	17.7	13.3	13.3	23.0	8.8	14.2	0.9	6.96点 (112人)
川島区域 (n=90)	0.0	0.0	3.3	1.1	4.4	26.7	2.2	7.8	25.6	16.7	7.8	4.4	6.92点 (86人)

問 46 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、全体で「はい」が40.1%、「いいえ」が57.8%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「はい」がそれぞれ3～4割台となっており、90歳以上で46.7%と高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「はい」がそれぞれ3～4割台となっています。

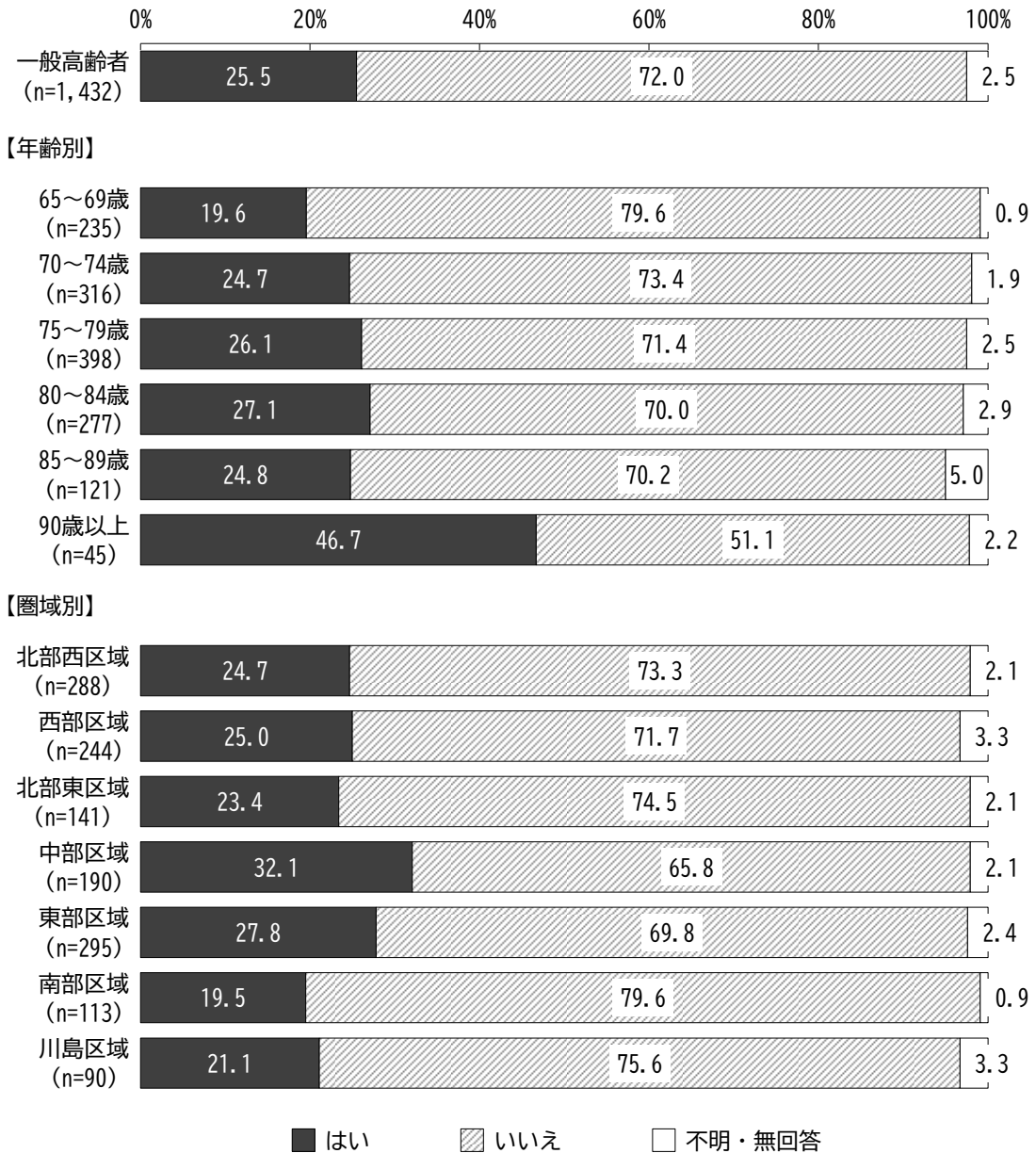


問 47 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、全体で「はい」が25.5%、「いいえ」が72.0%となっています。

年齢別では、90歳以上で「はい」が46.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

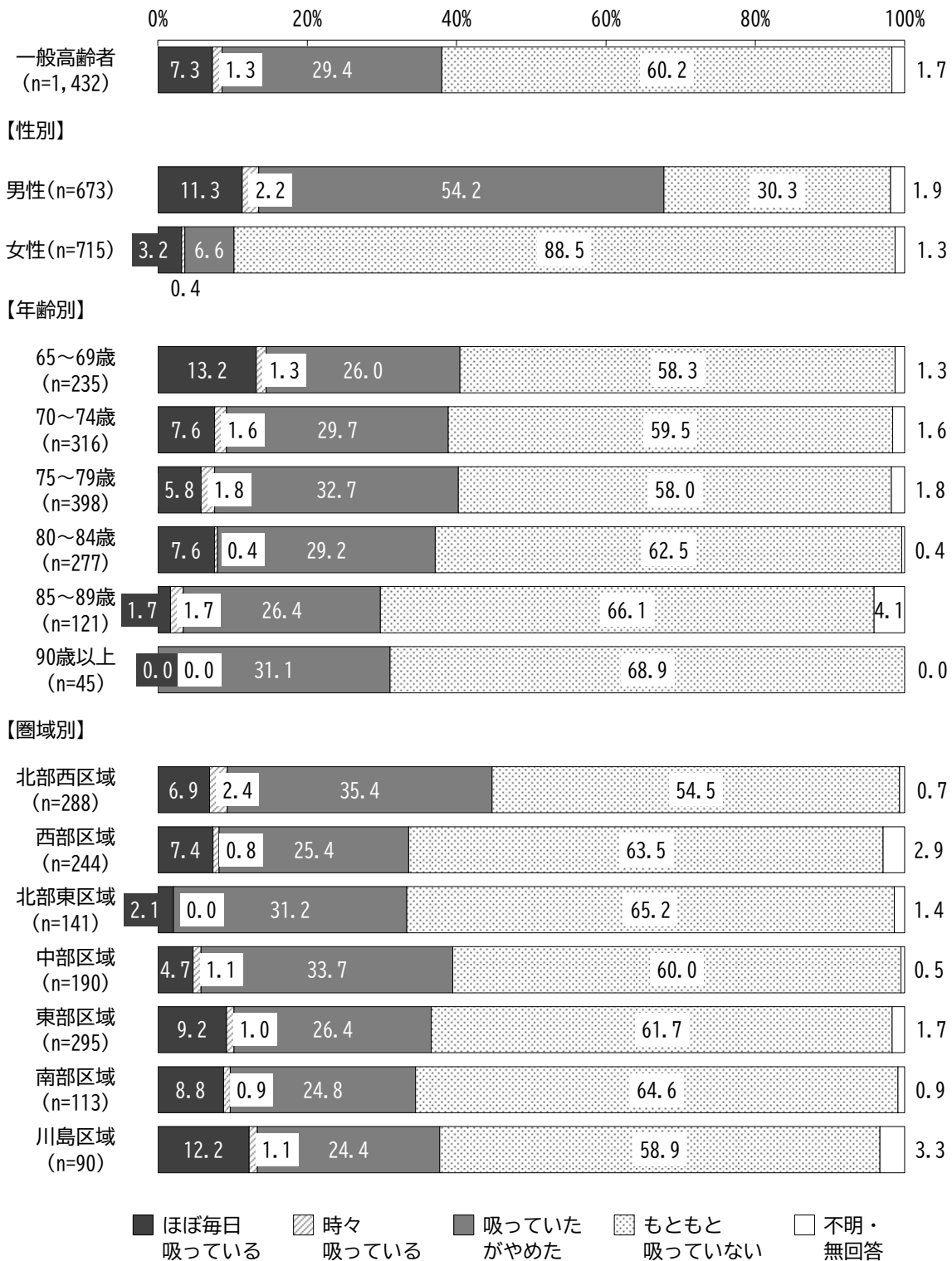
圏域別では、中部区域で「はい」が32.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問48 タバコは吸っていますか。(単数回答)

喫煙の状況は、全体で「もともと吸っていない」が60.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.4%となっています。喫煙者（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合算）は8.6%となっています。

性別では、男性で「ほぼ毎日吸っている」が11.3%と、女性と比べて8.1ポイント高くなっています。年齢別では、65～69歳で「ほぼ毎日吸っている」が13.2%と、他の年代と比べて高くなっています。圏域別では、川島区域で「ほぼ毎日吸っている」が12.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。

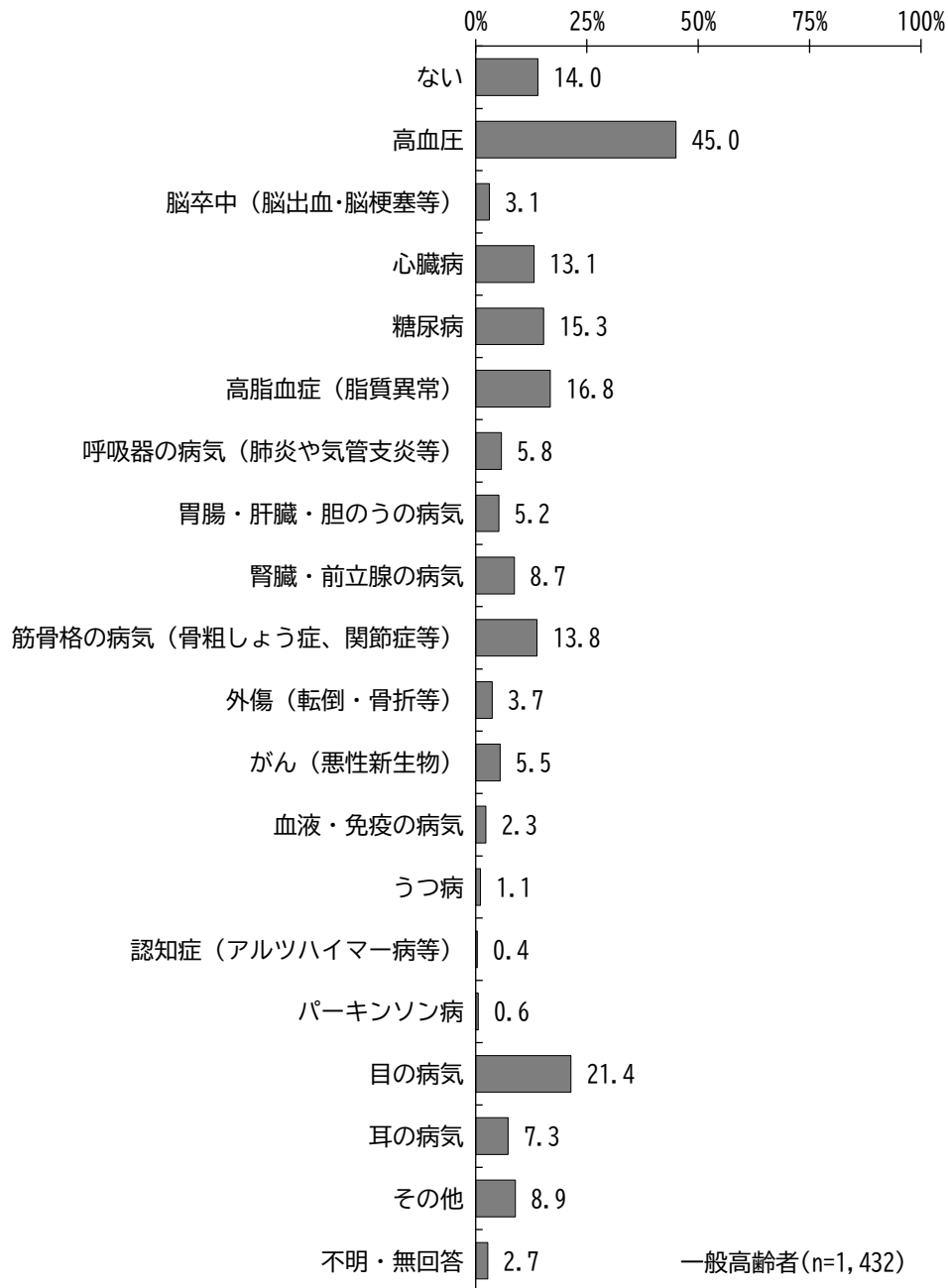


問 49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

現在治療中、または後遺症のある病気があるかは、全体で「高血圧」が45.0%と最も高く、次いで「目の病気」が21.4%となっています。

性別では、女性で「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が22.2%と、男性と比べて17.9ポイント高くなっています。一方で、男性では「腎臓・前立腺の病気」が16.0%と、女性と比べて14.2ポイント高くなっています。

圏域別では、川島区域で「高血圧」が55.6%と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)
(単位：%)											
【性別】											
男性 (n=673)	12.2	45.5	3.9	16.8	18.3	14.6	6.1	5.3	16.0	4.3	3.0
女性 (n=715)	15.4	45.0	2.2	9.9	12.4	19.0	5.3	4.9	1.8	22.2	4.3
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	16.7	43.8	2.1	11.8	14.6	14.9	5.2	5.6	7.6	13.9	1.7
西部区域 (n=244)	14.3	44.7	2.0	14.3	16.4	18.9	6.1	4.9	8.6	14.3	4.5
北部東区域 (n=141)	14.9	47.5	3.5	12.8	12.8	13.5	7.8	2.8	7.8	14.2	7.8
中部区域 (n=190)	12.6	45.3	5.3	15.8	13.2	17.9	3.7	7.4	9.5	17.9	4.2
東部区域 (n=295)	13.6	43.1	3.1	11.2	18.3	19.7	5.4	5.4	9.8	13.2	4.1
南部区域 (n=113)	14.2	46.0	5.3	12.4	11.5	13.3	7.1	2.7	11.5	8.8	2.7
川島区域 (n=90)	7.8	55.6	2.2	17.8	16.7	17.8	5.6	3.3	5.6	8.9	1.1

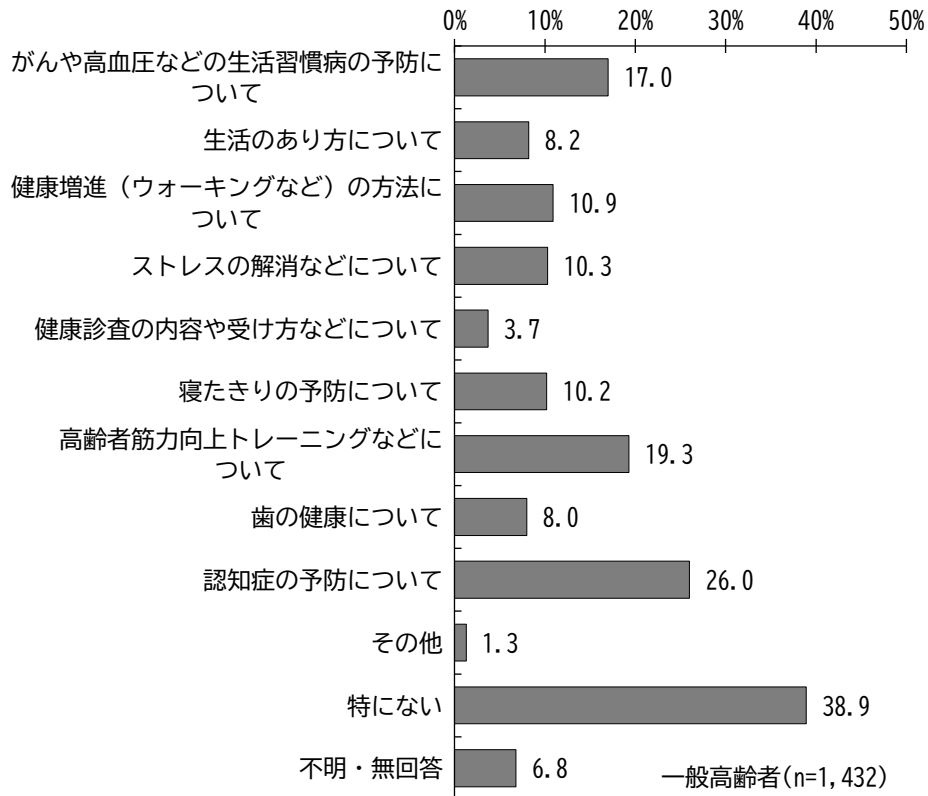
	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答
(単位：%)									
【性別】									
男性 (n=673)	7.4	2.4	0.6	0.6	0.4	20.7	8.8	10.4	1.8
女性 (n=715)	3.8	2.1	1.4	0.3	0.7	22.2	6.0	7.7	2.9
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	3.5	2.4	0.7	1.0	1.0	25.0	4.9	8.0	2.1
西部区域 (n=244)	6.1	2.0	1.6	0.8	0.8	19.7	10.2	9.4	3.3
北部東区域 (n=141)	6.4	2.1	0.7	0.0	0.7	19.1	7.1	7.8	2.1
中部区域 (n=190)	8.9	2.6	1.1	0.5	0.5	22.1	7.9	12.6	3.2
東部区域 (n=295)	5.4	1.4	1.4	0.0	0.3	21.4	7.8	10.8	2.0
南部区域 (n=113)	3.5	2.7	0.0	0.0	0.0	23.0	6.2	4.4	0.9
川島区域 (n=90)	3.3	3.3	1.1	0.0	0.0	18.9	4.4	4.4	3.3

問 50 健康について知りたいことはありますか。(複数回答)

健康について知りたいことは、全体で「特にない」が38.9%と最も高く、次いで「認知症の予防について」が26.0%となっています。

年齢別では、90歳以上で「認知症の予防について」が40.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域を除いた圏域で「認知症の予防について」がそれぞれ2～3割台となっています。



■クロス集計

	がんや高血圧などの生活習慣病の予防について	生活のあり方について	健康増進（ウォーキングなど）の方法について	ストレスの解消などについて	健康診査の内容や受け方などについて	寝たきりの予防について	高齢者筋力向上トレーニングなどについて	歯の健康について	認知症の予防について	その他	特になし	不明・無回答
(単位：%)												
【年齢別】												
65～69歳 (n=235)	19.1	9.8	12.3	14.0	5.5	6.4	20.9	8.5	21.7	1.7	43.8	2.1
70～74歳 (n=316)	15.5	5.4	10.4	9.2	3.8	7.3	17.1	8.9	21.8	1.9	44.0	5.4
75～79歳 (n=398)	17.1	7.5	11.6	10.8	2.0	13.3	20.4	6.8	28.4	0.8	38.4	6.5
80～84歳 (n=277)	15.2	9.7	7.2	7.9	4.7	8.3	17.7	6.5	28.9	0.7	35.0	11.9
85～89歳 (n=121)	19.0	9.9	14.9	9.9	4.1	18.2	23.1	13.2	25.6	1.7	32.2	6.6
90歳以上 (n=45)	15.6	8.9	13.3	6.7	2.2	17.8	20.0	6.7	40.0	2.2	33.3	11.1
【圏域別】												
北部西区域 (n=288)	20.8	8.0	11.1	10.4	1.7	6.3	17.4	5.6	25.3	1.7	35.1	9.7
西部区域 (n=244)	17.2	9.4	12.3	11.5	3.7	14.3	23.4	11.9	27.9	1.6	35.2	3.7
北部東区域 (n=141)	18.4	7.8	9.9	8.5	5.0	14.2	21.3	11.3	30.5	1.4	37.6	6.4
中部区域 (n=190)	16.8	7.9	9.5	13.7	4.7	10.0	22.6	7.9	25.3	1.6	38.4	6.3
東部区域 (n=295)	11.9	7.8	8.8	9.2	5.1	8.1	17.6	7.1	26.1	1.4	45.4	7.1
南部区域 (n=113)	13.3	8.8	12.4	9.7	4.4	13.3	16.8	3.5	23.9	0.0	42.5	3.5
川島区域 (n=90)	21.1	6.7	12.2	6.7	2.2	8.9	12.2	10.0	18.9	0.0	42.2	12.2

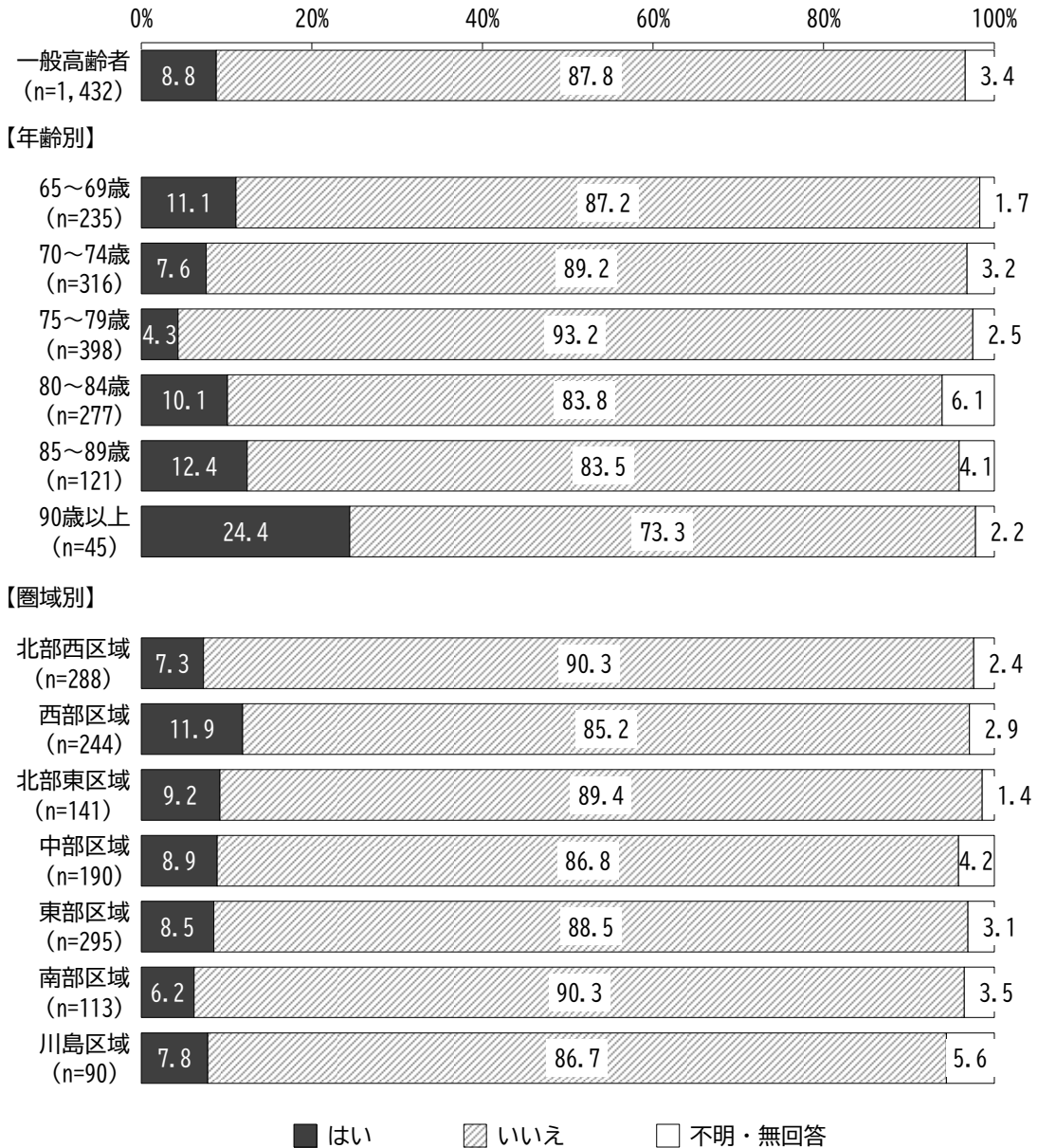
10. 認知症について

問 51 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかは、全体で「はい」が8.8%、「いいえ」が87.8%となっています。

年齢別では、90歳以上で「はい」が24.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

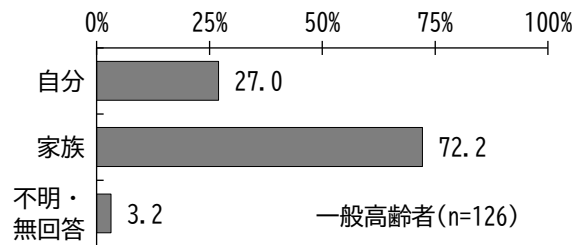
圏域別では、いずれの圏域も「はい」がそれぞれ約1割となっています。



問51で「はい」と回答した方のみ

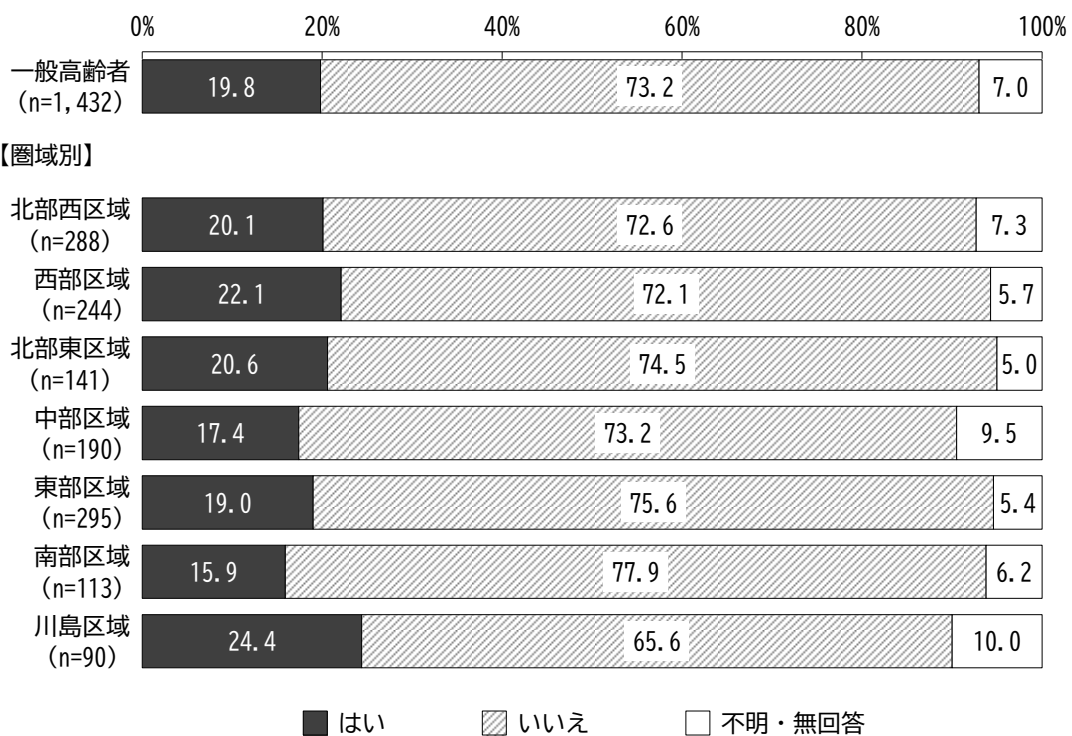
問51-1 認知症の症状があるのはどなたですか。(複数回答)

認知症の症状がある方は、「自分」が27.0%、「家族」が72.2%となっています。



問52 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、全体で「はい」が19.8%、「いいえ」が73.2%となっています。圏域別では、いずれの圏域も「はい」がそれぞれ1～2割台となっています。

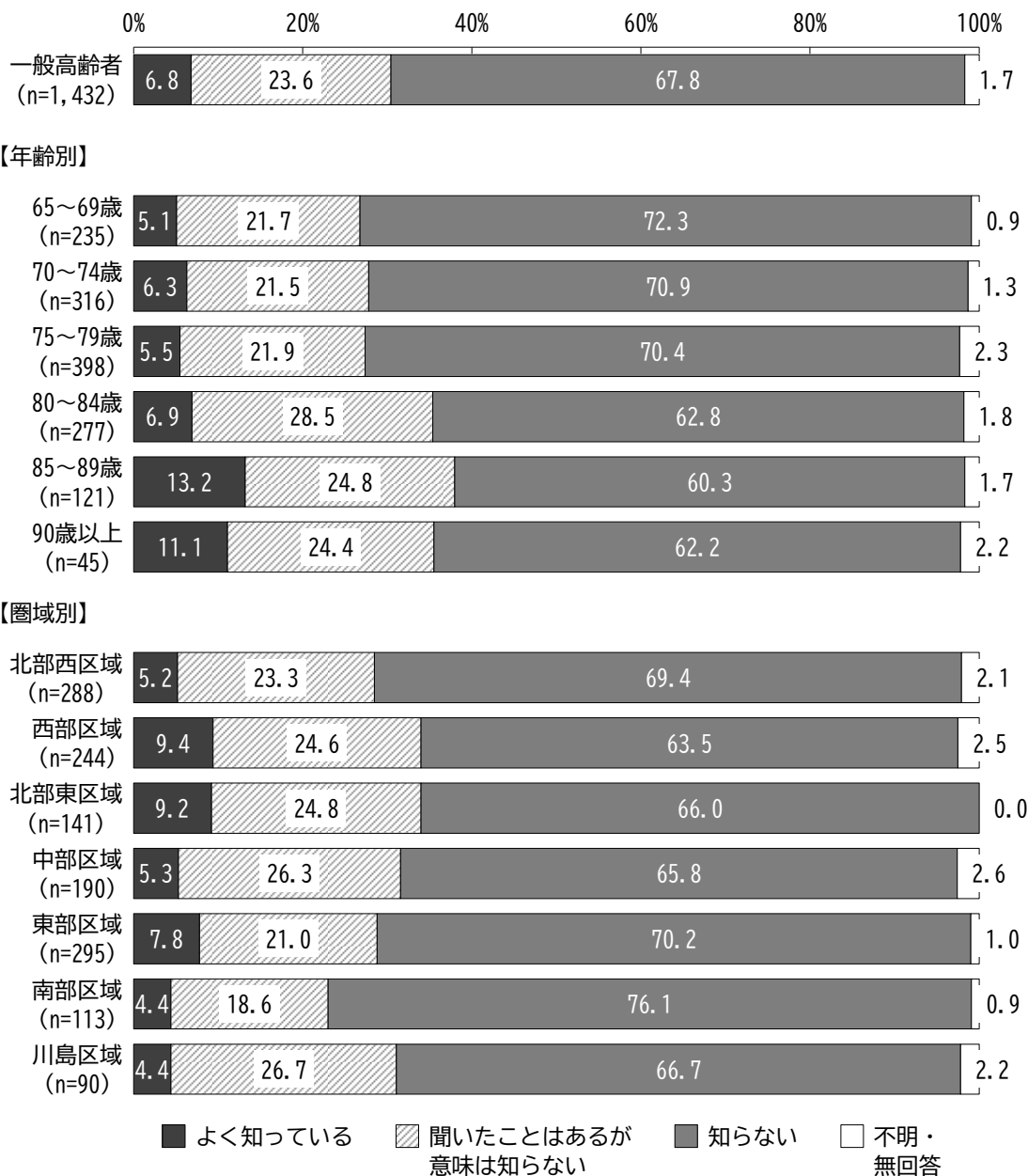


問 53 あなたは「新しい認知症観」を知っていますか。(単数回答)

「新しい認知症観」を知っているかは、全体で「よく知っている」が6.8%、「聞いたことはあるが意味は知らない」が23.6%、「知らない」が67.8%となっています。

年齢別では、85歳以上で「知っている」がそれぞれ1割台と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「知っている」がそれぞれ1割未満となっています。



問 54 各務原市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思いますか。
(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

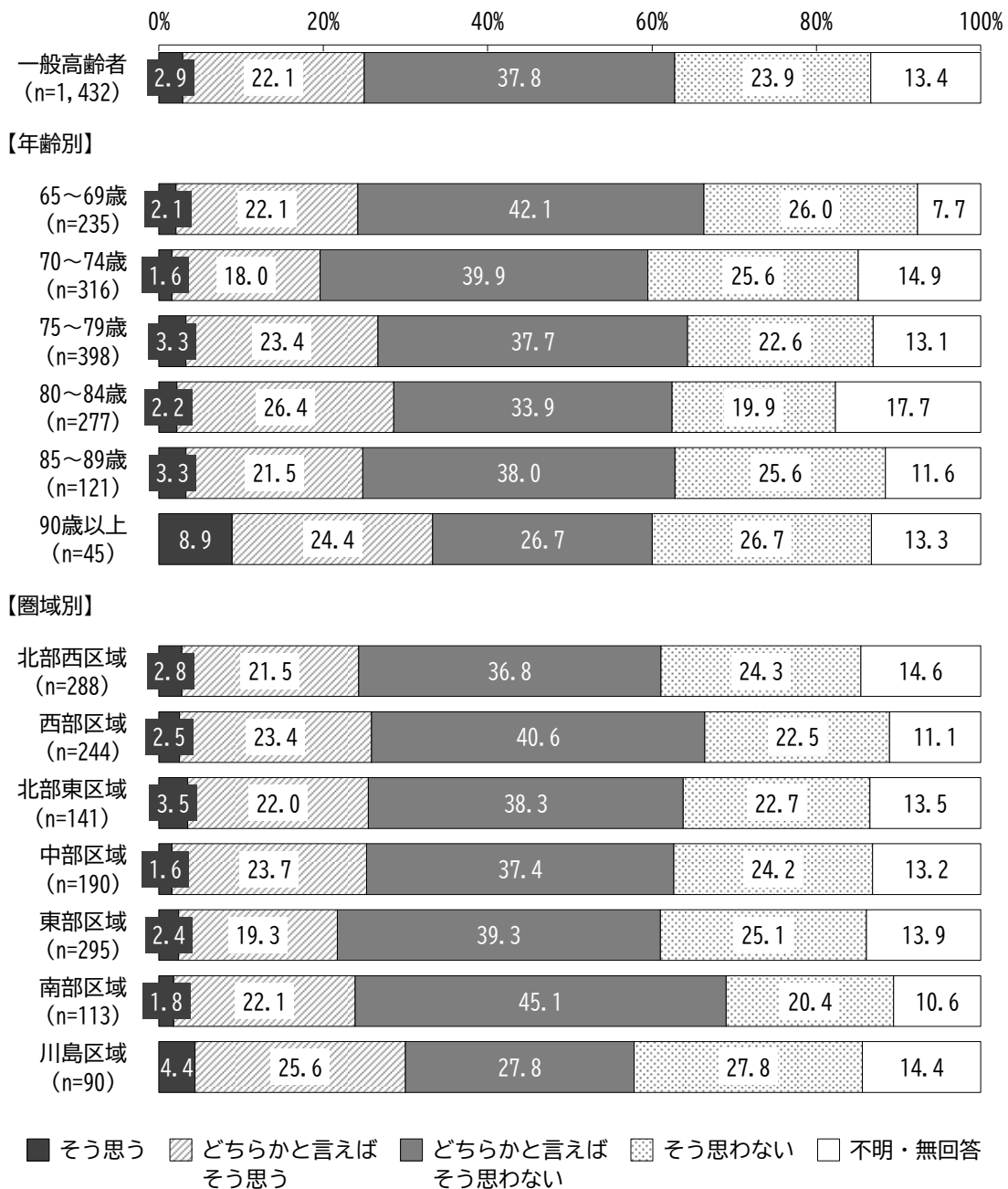
『そう思う』 … 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合算

『そう思わない』 … 「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の合算

各務原市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思うかは、全体で『そう思う』が25.0%、
『そう思わない』が61.7%となっています。

年齢別では、いずれの年代も『そう思う』がそれぞれ約2～3割台となっています。

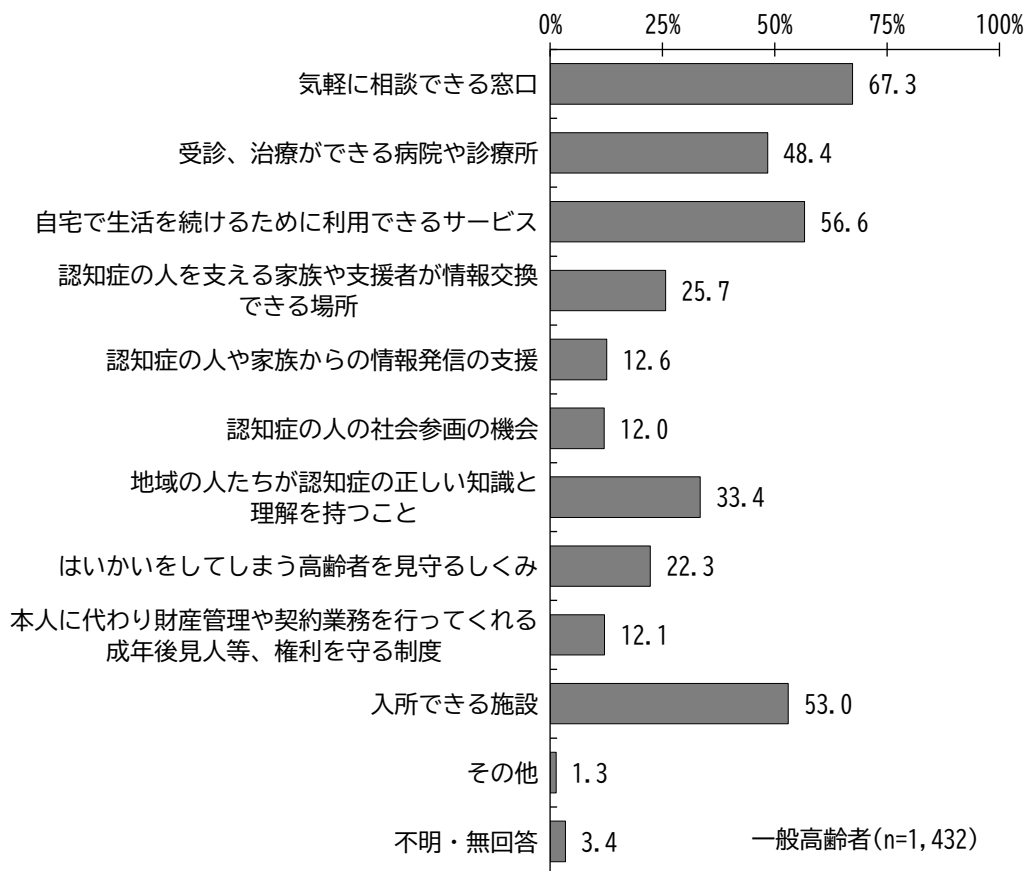
圏域別では、いずれの圏域も『そう思う』がそれぞれ2～3割台となっています。



問 55 どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。(複数回答)

認知症になっても安心して暮らしていくことができるために充実させることは、全体で「気軽に相談できる窓口」が67.3%と最も高く、次いで「自宅で生活を続けるために利用できるサービス」が56.6%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「気軽に相談できる窓口」がそれぞれ6～7割台となっています。また、いずれの圏域も「自宅で生活を続けるために利用できるサービス」がそれぞれ5～6割台となっており、中部区域では63.7%と高くなっており、川島区域を除いた圏域で「入所できる施設」がそれぞれ5～6割台となっています。さらに、中部区域、南部区域、東部区域では「地域の人たちが認知症の正しい知識と理解を持つこと」がそれぞれ約4割と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

	気軽に相談できる窓口	受診、治療ができる病院や診療所	自宅で生活を続けるために利用できるサービス	認知症の人を支える家族や支援者が情報交換できる場所	認知症の人や家族からの情報発信の支援	認知症の人の社会参画の機会	地域の人たちが認知症の正しい知識と理解を持つこと	はいかいをしてしまう高齢者を見守るしくみ	本人に代わり財産管理や契約業務を行ってくれる成年後見人等、権利を守る制度	入所できる施設	その他	不明・無回答
(単位：%)												
【圏域別】												
北部西区域 (n=288)	63.9	46.5	56.6	21.2	11.5	10.4	29.5	18.8	7.6	52.8	1.7	3.8
西部区域 (n=244)	70.9	46.7	55.3	27.0	11.5	10.2	30.7	24.2	12.7	54.5	0.8	2.5
北部東区域 (n=141)	72.3	55.3	52.5	22.7	19.1	12.1	31.9	19.1	12.1	53.2	0.7	2.1
中部区域 (n=190)	66.8	50.5	63.7	33.7	13.2	12.6	39.5	26.3	17.4	56.3	1.1	2.6
東部区域 (n=295)	69.2	53.9	58.6	28.5	12.2	14.9	36.6	24.4	15.3	51.2	2.0	3.7
南部区域 (n=113)	66.4	44.2	55.8	24.8	13.3	11.5	38.1	23.9	11.5	60.2	0.9	2.7
川島区域 (n=90)	60.0	37.8	52.2	18.9	8.9	10.0	30.0	20.0	2.2	43.3	1.1	4.4

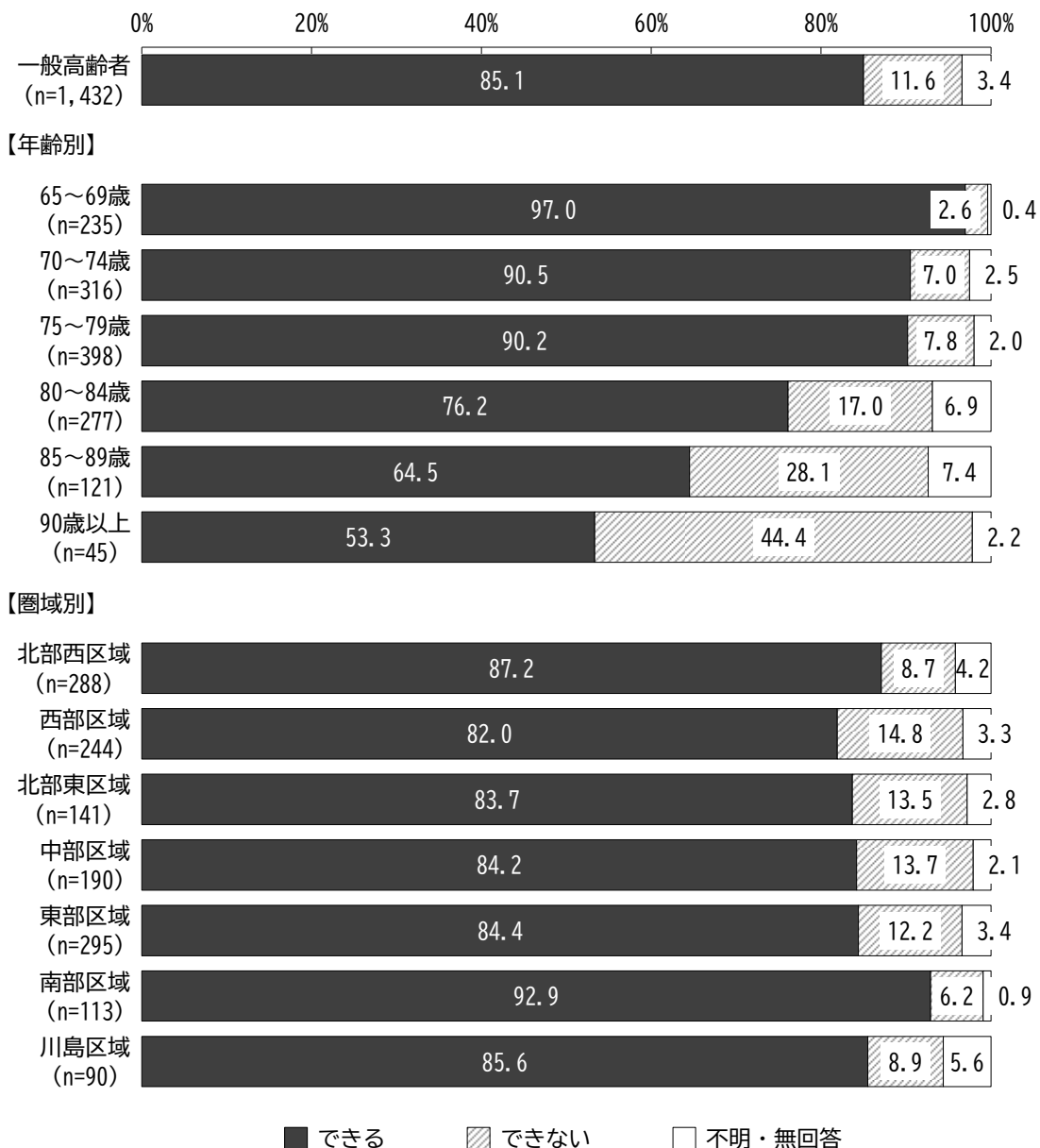
11. 災害対策について

問 56 地震などの災害発生時に、自力で避難することはできますか。(単数回答)

地震などの災害発生時に、自力で避難することはできるかは、全体で「できる」が85.1%、「できない」が11.6%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「できる」が低くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「できる」がそれぞれ8～9割台となっています。

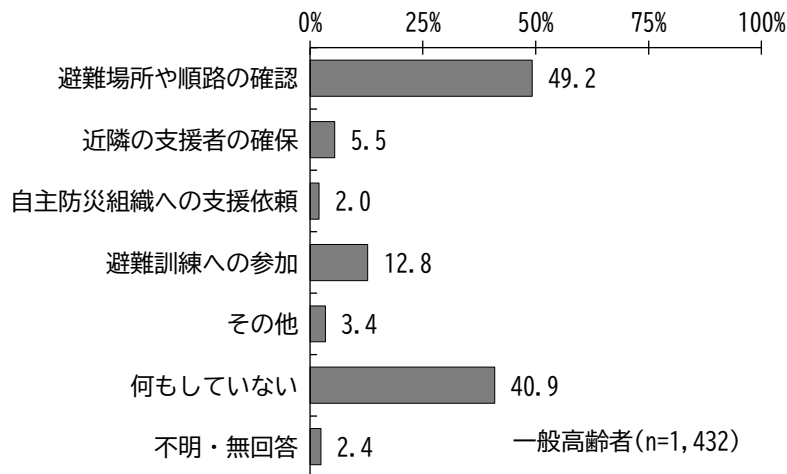


問 57 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(複数回答)

災害時の避難における対策は、全体で「避難場所や順路の確認」が49.2%と最も高く、次いで「何もしていない」が40.9%となっています。

年齢別では、90歳以上で「何もしていない」が57.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、川島区域で「何もしていない」が48.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。



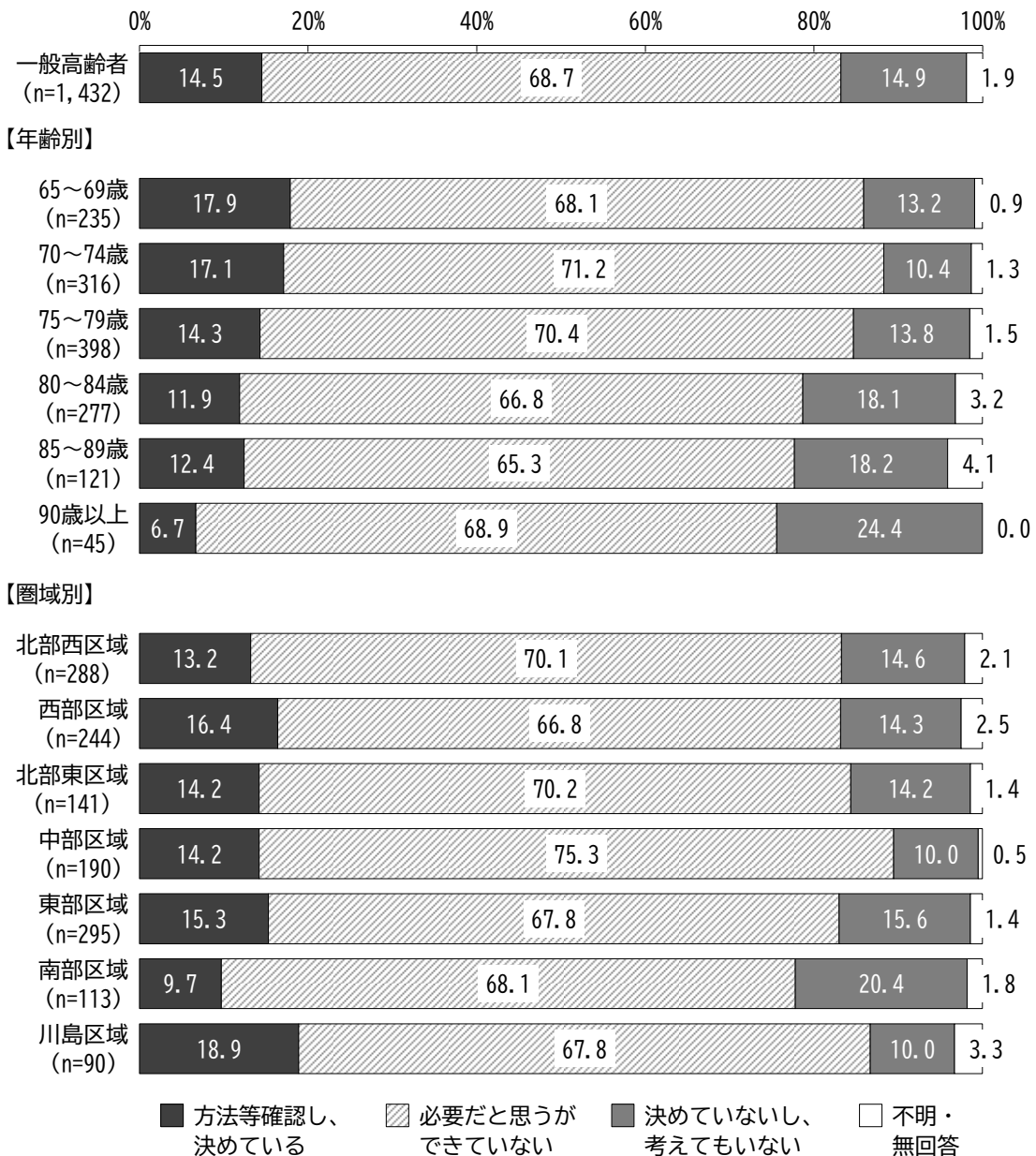
■クロス集計

	避難場所や順路の確認	近隣の支援者の確保	自主防災組織への支援依頼	避難訓練への参加	その他	何もしていない	不明・無回答
(単位：%)							
【年齢別】							
65～69歳 (n=235)	49.8	3.8	0.9	12.8	4.3	41.3	1.3
70～74歳 (n=316)	52.2	4.4	2.2	12.7	3.2	37.7	2.2
75～79歳 (n=398)	49.2	6.3	2.0	14.8	2.8	42.2	2.0
80～84歳 (n=277)	49.5	6.5	1.4	11.2	3.2	38.6	4.3
85～89歳 (n=121)	48.8	6.6	4.1	12.4	5.0	40.5	1.7
90歳以上 (n=45)	28.9	6.7	4.4	6.7	2.2	57.8	2.2
【圏域別】							
北部西区域 (n=288)	48.3	4.9	1.0	12.5	2.1	42.0	2.4
西部区域 (n=244)	52.0	5.3	2.0	15.2	4.5	40.2	1.2
北部東区域 (n=141)	51.1	7.8	2.8	15.6	3.5	39.0	1.4
中部区域 (n=190)	47.4	4.2	2.6	8.9	5.8	41.6	3.7
東部区域 (n=295)	53.6	4.4	1.7	14.9	2.4	37.6	2.0
南部区域 (n=113)	48.7	8.0	1.8	13.3	2.7	37.2	3.5
川島区域 (n=90)	41.1	7.8	3.3	6.7	2.2	48.9	3.3

問 58 家族（別居の家族も含む）と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしていますか。（単数回答）

家族（別居の家族も含む）と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしているかは、全体で「方法等確認し、決めている」が14.5%、「必要だと思いができていない」が68.7%、「決めていないし、考えてもいない」が14.9%となっています。

年齢別では、90歳以上を除いた年代で「方法等確認し、決めている」がそれぞれ1割台となっています。圏域別では、南部区域を除いた圏域で「方法等確認し、決めている」がそれぞれ1割台となっています。

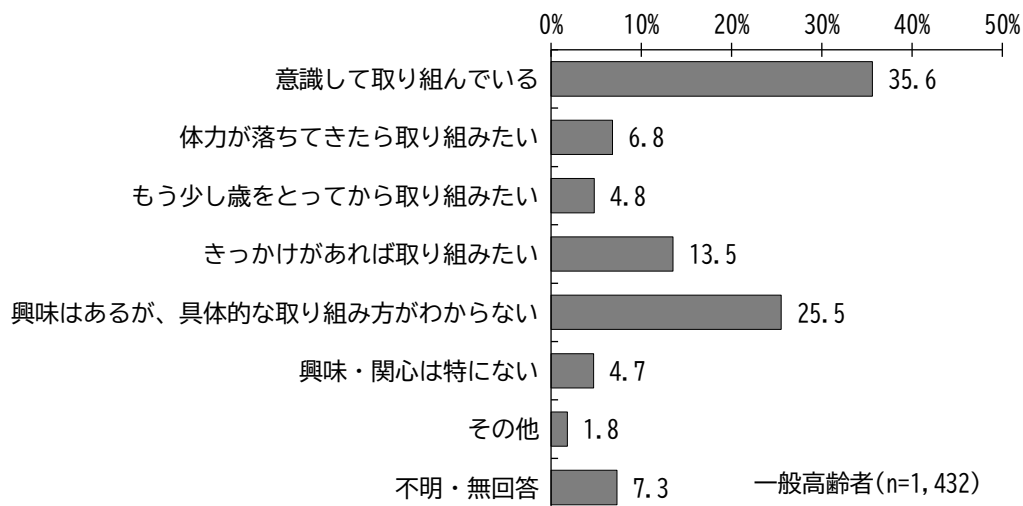


12. 介護予防について

問 59 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。(単数回答)

介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいるかは、全体で「意識して取り組んでいる」が35.6%と最も高く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が25.5%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「意識して取り組んでいる」がそれぞれ3割台となっている一方で、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」がそれぞれ2～3割台となっています。

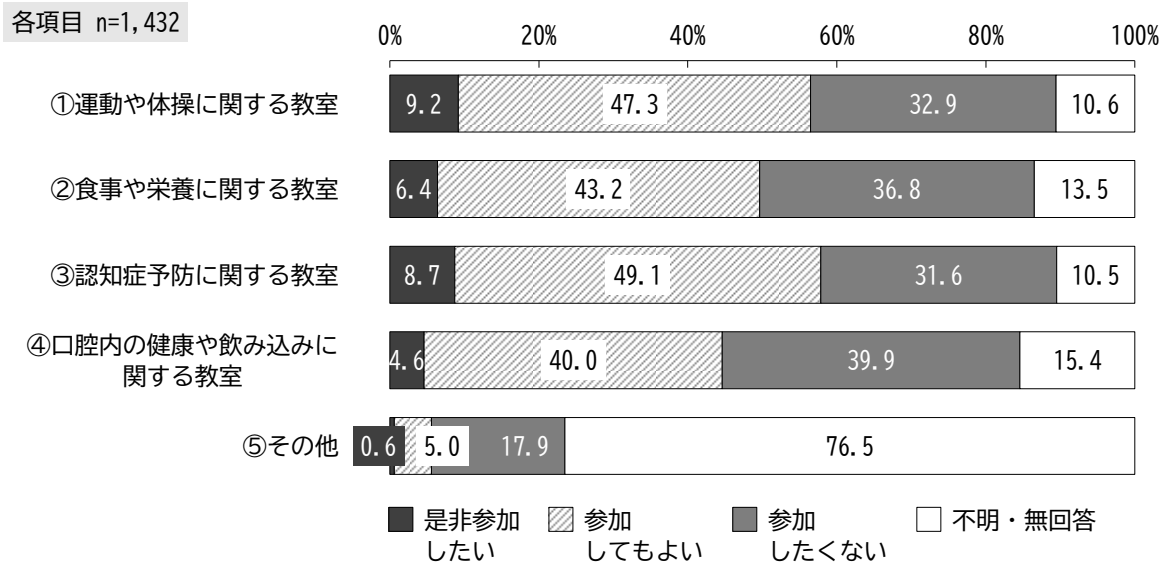


■クロス集計

	意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	興味・関心は特にない	その他	不明・無回答
(単位：%)								
【圏域別】								
北部西区域 (n=288)	34.0	10.4	4.9	12.2	26.7	4.5	1.0	6.3
西部区域 (n=244)	38.1	6.1	4.1	13.9	23.8	3.7	1.6	8.6
北部東区域 (n=141)	34.0	6.4	6.4	10.6	29.8	2.1	2.1	8.5
中部区域 (n=190)	36.3	6.8	4.2	16.8	22.6	5.8	2.1	5.3
東部区域 (n=295)	36.9	4.7	5.1	13.2	25.8	4.4	1.0	8.8
南部区域 (n=113)	34.5	6.2	4.4	16.8	22.1	6.2	1.8	8.0
川島区域 (n=90)	38.9	3.3	6.7	7.8	30.0	6.7	1.1	5.6

問 60 市では様々な介護予防教室を開催しています。どんな内容の教室に参加してみたいですか。(各単数回答)

参加してみたい教室は、「参加してもよい」が〔⑤その他〕を除いてそれぞれ4割台となっています。

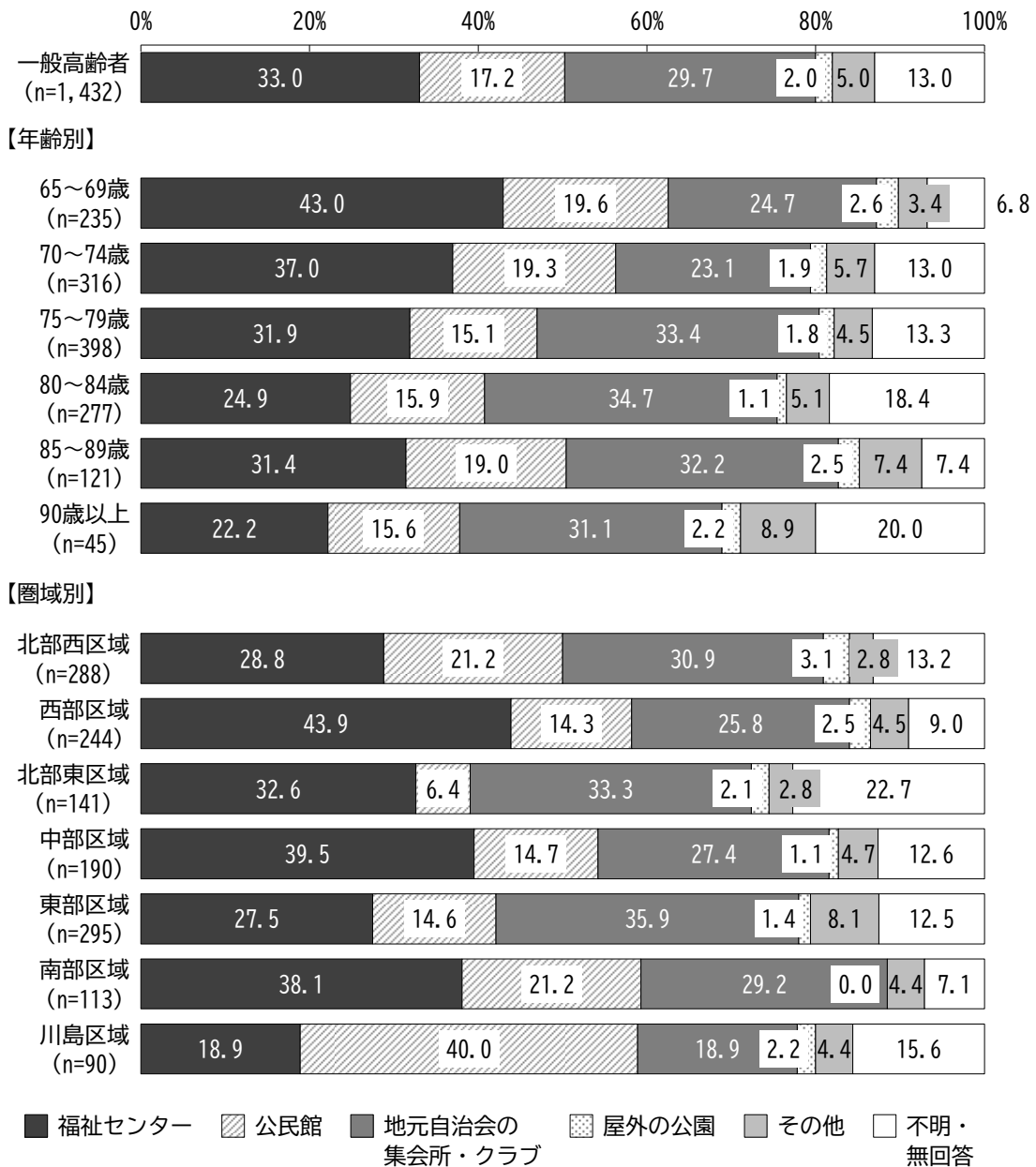


問 61 教室の開催場所はどこを希望しますか。(単数回答)

希望する教室の開催場所は、全体で「福祉センター」が33.0%と最も高く、次いで「地元自治会の集会所・クラブ」が29.7%となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳で「福祉センター」が、75歳以上で「地元自治会の集会所・クラブ」が、それぞれ最も高くなっています。

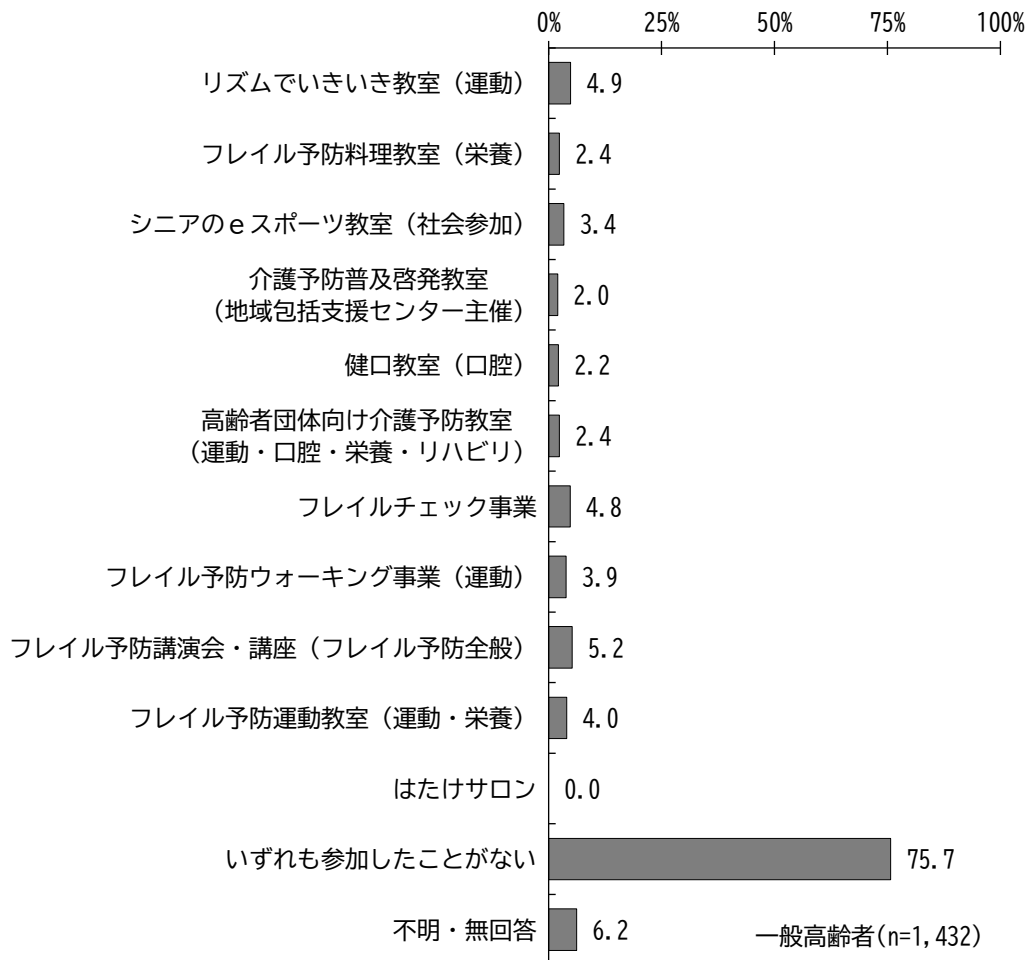
圏域別では、川島区域で「公民館」が40.0%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問 62 市では介護予防事業として以下の取り組みを行っていますが、参加したことがありますか。(複数回答)

介護予防事業に参加したことがあるかは、全体で最も高い「いずれも参加したことがない」(75.7%)を除くと、「フレイル予防講演会・講座(フレイル予防全般)」が5.2%、「リズムでいきいき教室(運動)」が4.9%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「いずれも参加したことがない」がそれぞれ7~8割台となっています。



■クロス集計

(単位：%)	リズムでいきいき教室 (運動)	フレイル予防料理教室 (栄養)	シニアのeスポーツ教室 (社会参加)	介護予防普及啓発教室 (地域包括支援センター主催)	健口教室 (口腔)	高齢者団体向け介護予防教室 (運動・口腔・栄養・リハビリ)	フレイルチェック事業	フレイル予防ウォーキング事業 (運動)	フレイル予防講演会・講座 (フレイル予防全般)	フレイル予防運動教室 (運動・栄養)	はたけサロン
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	5.2	2.8	3.8	3.1	3.5	3.1	4.9	4.5	6.3	5.9	0.0
西部区域 (n=244)	5.3	1.6	2.5	0.0	1.2	1.6	4.1	4.5	5.3	3.3	0.0
北部東区域 (n=141)	5.0	2.1	5.7	2.8	4.3	7.1	7.1	5.0	5.0	7.8	0.0
中部区域 (n=190)	4.7	1.1	1.6	2.6	2.1	2.1	6.3	4.2	5.8	2.1	0.0
東部区域 (n=295)	5.1	1.7	2.7	2.4	1.7	1.4	5.1	2.4	5.8	3.1	0.0
南部区域 (n=113)	0.9	3.5	4.4	0.9	0.0	1.8	3.5	3.5	5.3	4.4	0.0
川島区域 (n=90)	8.9	7.8	3.3	1.1	1.1	2.2	3.3	2.2	1.1	0.0	0.0

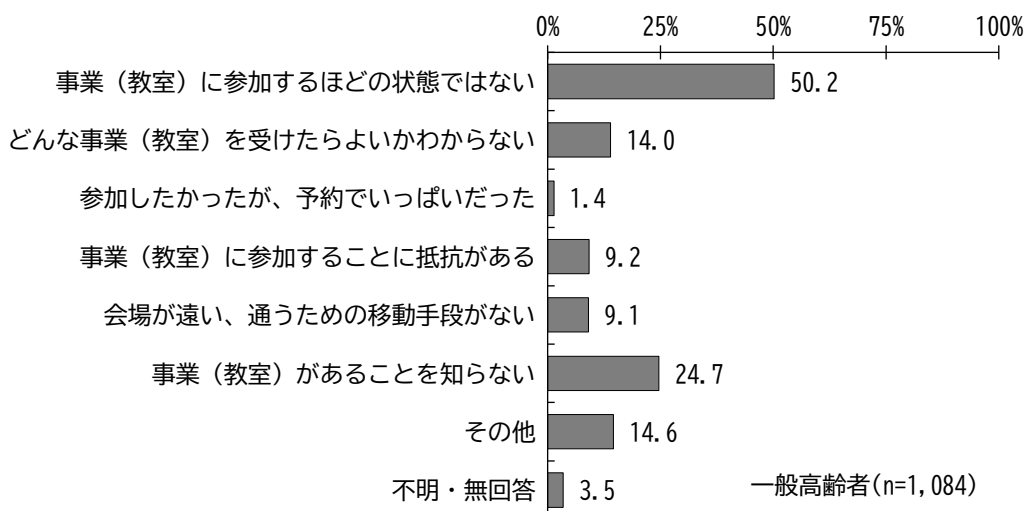
(単位：%)	いずれも参加したことがない	不明・無回答
【圏域別】		
北部西区域 (n=288)	71.9	5.6
西部区域 (n=244)	77.9	5.7
北部東区域 (n=141)	71.6	6.4
中部区域 (n=190)	73.2	8.4
東部区域 (n=295)	80.0	5.4
南部区域 (n=113)	77.0	5.3
川島区域 (n=90)	77.8	7.8

問62で「いずれも参加したことがない」と回答した方のみ

問62-1 介護予防事業に参加しない理由は何ですか。(複数回答)

介護予防事業に参加しない理由は、全体で「事業（教室）に参加するほどの状態ではない」が50.2%と最も高く、次いで「事業（教室）があることを知らない」が24.7%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「事業（教室）に参加するほどの状態ではない」がそれぞれ4～5割台となっています。



■クロス集計

	事業（教室）に参加するほどの状態ではない	どんな事業（教室）を受けたらよいかわからない	参加したかったが、予約でいっぱいだった	事業（教室）に参加することに抵抗がある	会場が遠い、通うための移動手段がない	事業（教室）があることを知らない	その他	不明・無回答
(単位：%)								
【圏域別】								
北部西区域 (n=207)	51.7	12.6	1.0	12.1	8.2	25.6	10.6	2.9
西部区域 (n=190)	48.9	15.8	1.6	6.3	10.0	25.3	13.2	5.3
北部東区域 (n=101)	46.5	22.8	1.0	9.9	6.9	28.7	12.9	4.0
中部区域 (n=139)	46.8	10.1	0.7	11.5	7.9	20.1	22.3	5.0
東部区域 (n=236)	53.0	14.0	1.3	6.4	11.9	26.7	13.1	2.5
南部区域 (n=87)	52.9	14.9	2.3	11.5	5.7	21.8	14.9	0.0
川島区域 (n=70)	54.3	12.9	4.3	15.7	12.9	25.7	8.6	4.3

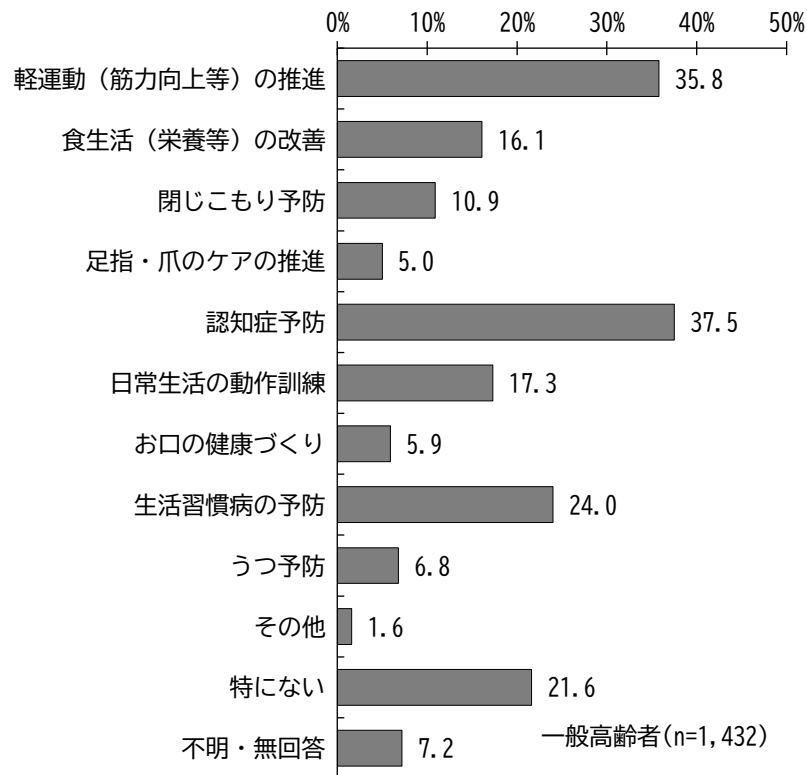
問 63 介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。(複数回答)

介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは、全体で「認知症予防」が37.5%と最も高く、次いで「軽運動（筋力向上等）の推進」が35.8%となっています。

性別では、女性で「軽運動（筋力向上等）の推進」が42.5%と、男性と比べて13.1ポイント高くなっています。

年齢別では、いずれの年代も「認知症予防」がそれぞれ3～4割台となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「認知症予防」がそれぞれ3～4割台となっています。



■クロス集計

	軽運動（筋力向上等）の推進	食生活（栄養等）の改善	閉じこもり予防	足指・爪のケアの推進	認知症予防	日常生活の動作訓練	お口の健康づくり	生活習慣病の予防	うつ予防	その他	特になし	不明・無回答
(単位：%)												
【性別】												
男性 (n=673)	29.4	13.2	9.4	4.5	38.2	14.9	4.6	25.3	5.3	1.9	26.4	6.5
女性 (n=715)	42.5	19.0	12.9	5.5	37.1	19.9	7.1	22.9	7.3	1.4	17.2	7.4
【年齢別】												
65～69歳 (n=235)	35.3	19.1	15.3	2.1	35.3	12.3	5.1	25.5	10.2	1.3	24.7	2.6
70～74歳 (n=316)	38.6	16.8	12.3	6.3	34.5	15.8	4.4	22.2	7.3	1.3	25.3	4.7
75～79歳 (n=398)	37.2	12.8	10.1	3.8	40.2	19.1	7.8	27.6	4.0	1.8	19.3	7.8
80～84歳 (n=277)	32.5	15.9	9.0	6.1	39.0	19.1	5.1	23.8	6.1	1.8	18.8	10.1
85～89歳 (n=121)	38.8	20.7	9.1	9.1	36.4	21.5	7.4	19.0	5.0	2.5	20.7	9.1
90歳以上 (n=45)	26.7	11.1	11.1	2.2	46.7	15.6	4.4	15.6	8.9	2.2	20.0	17.8
【圏域別】												
北部西区域 (n=288)	38.5	15.6	11.5	4.9	35.8	13.2	3.5	21.2	4.5	1.4	23.3	7.3
西部区域 (n=244)	38.5	22.1	13.5	6.6	38.5	19.3	7.8	26.2	9.0	2.5	19.3	6.6
北部東区域 (n=141)	27.0	14.2	8.5	5.0	41.8	18.4	5.7	27.7	5.7	3.5	23.4	6.4
中部区域 (n=190)	41.6	16.8	9.5	4.7	41.1	17.4	6.8	25.3	6.3	1.1	18.9	6.3
東部区域 (n=295)	35.6	13.2	11.2	5.8	35.9	20.3	6.8	25.4	7.5	1.7	22.4	7.5
南部区域 (n=113)	34.5	12.4	9.7	2.7	38.1	16.8	4.4	23.9	8.0	0.0	19.5	8.0
川島区域 (n=90)	28.9	18.9	12.2	2.2	32.2	12.2	3.3	14.4	3.3	1.1	24.4	10.0

13. 自身の人生の最終段階における過ごし方について

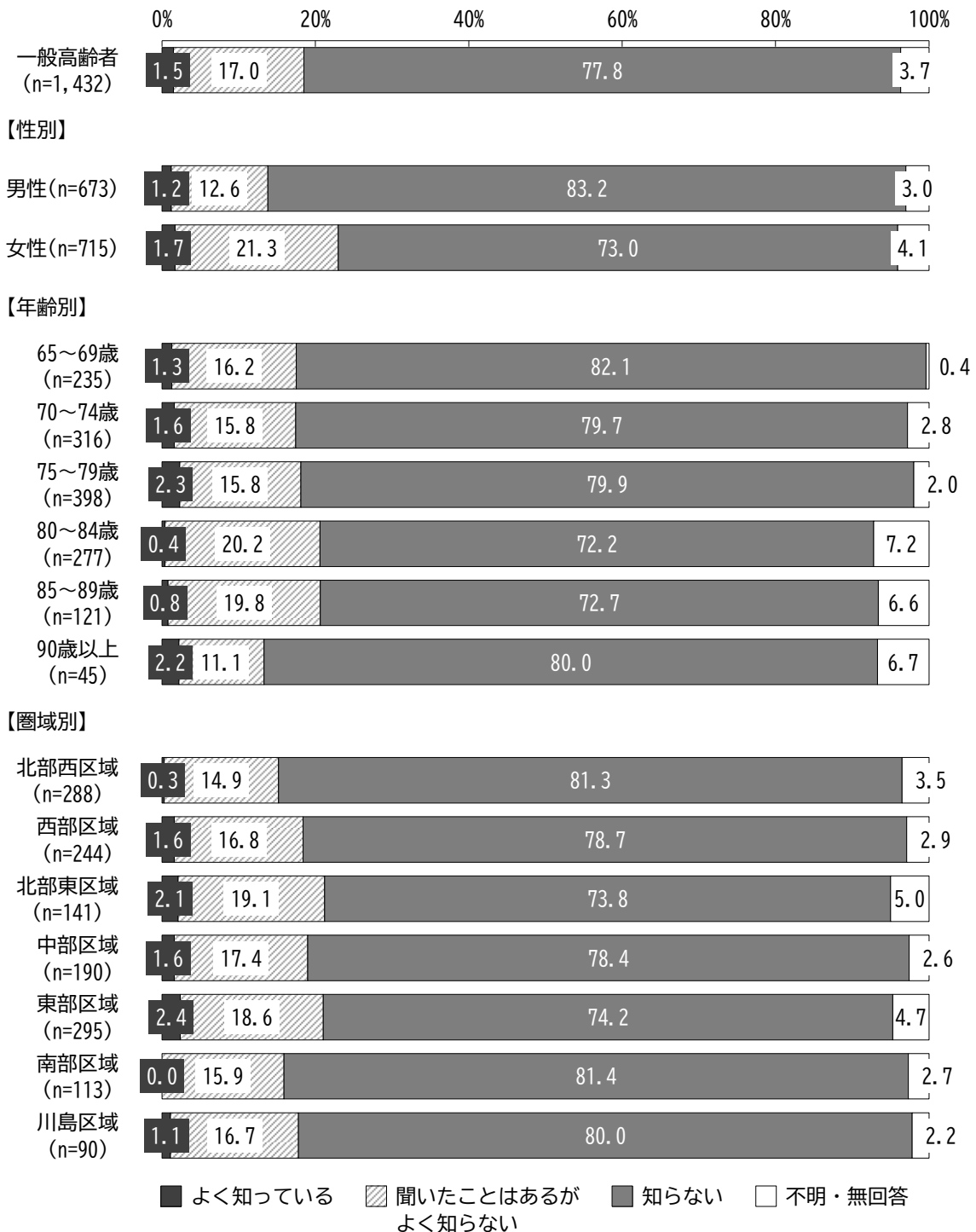
問 64 あなたは人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、これまで知っていましたか。（単数回答）

人生会議を知っていたかは、全体で「よく知っている」が 1.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 17.0%、「知らない」が 77.8%となっています。

性別では、男性で「知らない」が 83.2%と、女性と比べて 10.2 ポイント高くなっています。

年齢別では、いずれの年代も「知らない」がそれぞれ約 8割となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「知らない」がそれぞれ 7～8割台となっています。



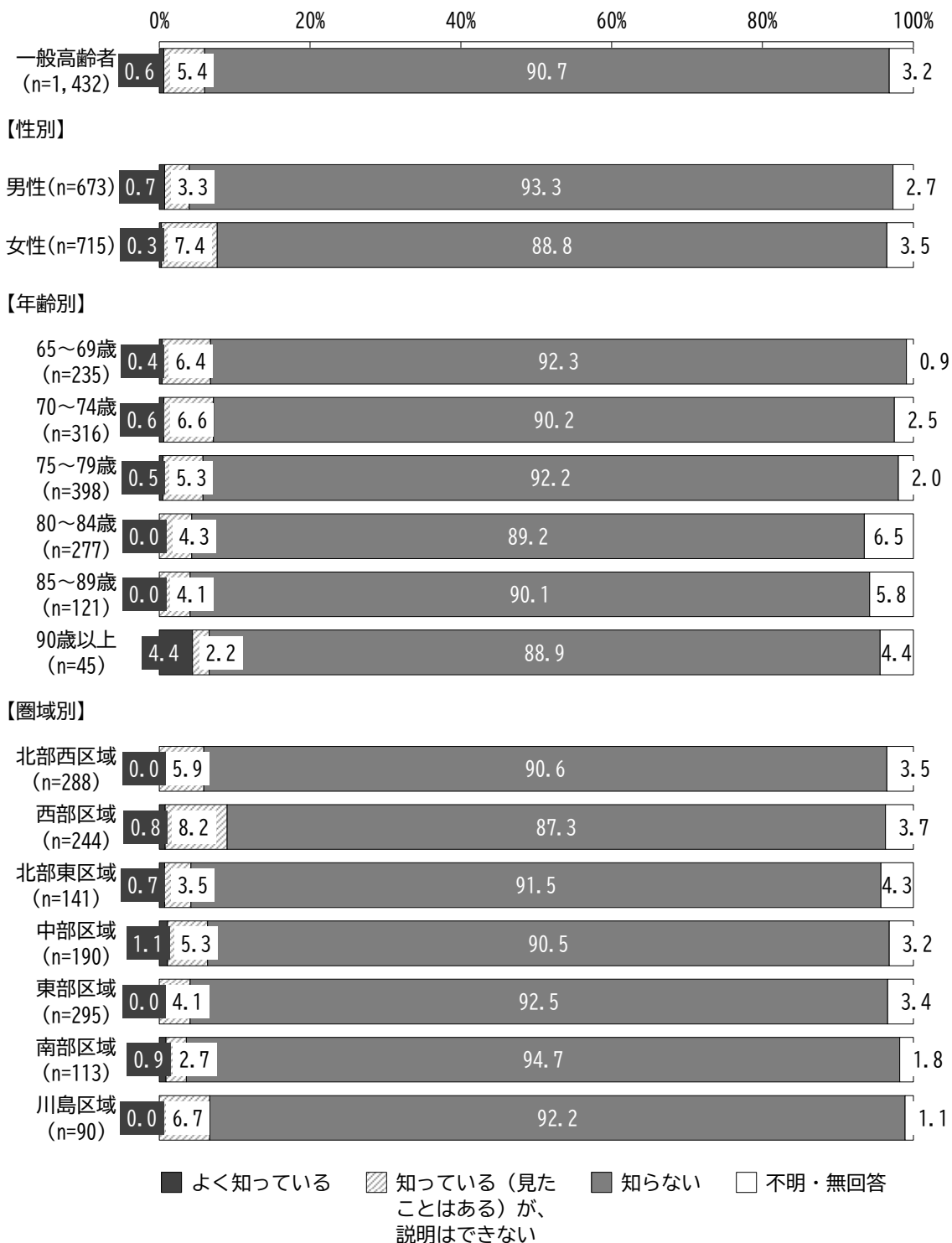
問 65 あなたは各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」について、これまで知っていましたか。(単数回答)

各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」を知っていたかは、全体で「よく知っている」が0.6%、「知っている（見たことはある）」が5.4%、「知らない」が90.7%となっています。

性別では、男性、女性ともに「知らない」が9割台となっています。

年齢別では、いずれの年代も「知らない」がそれぞれ約9割となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「知らない」がそれぞれ8～9割台となっています。



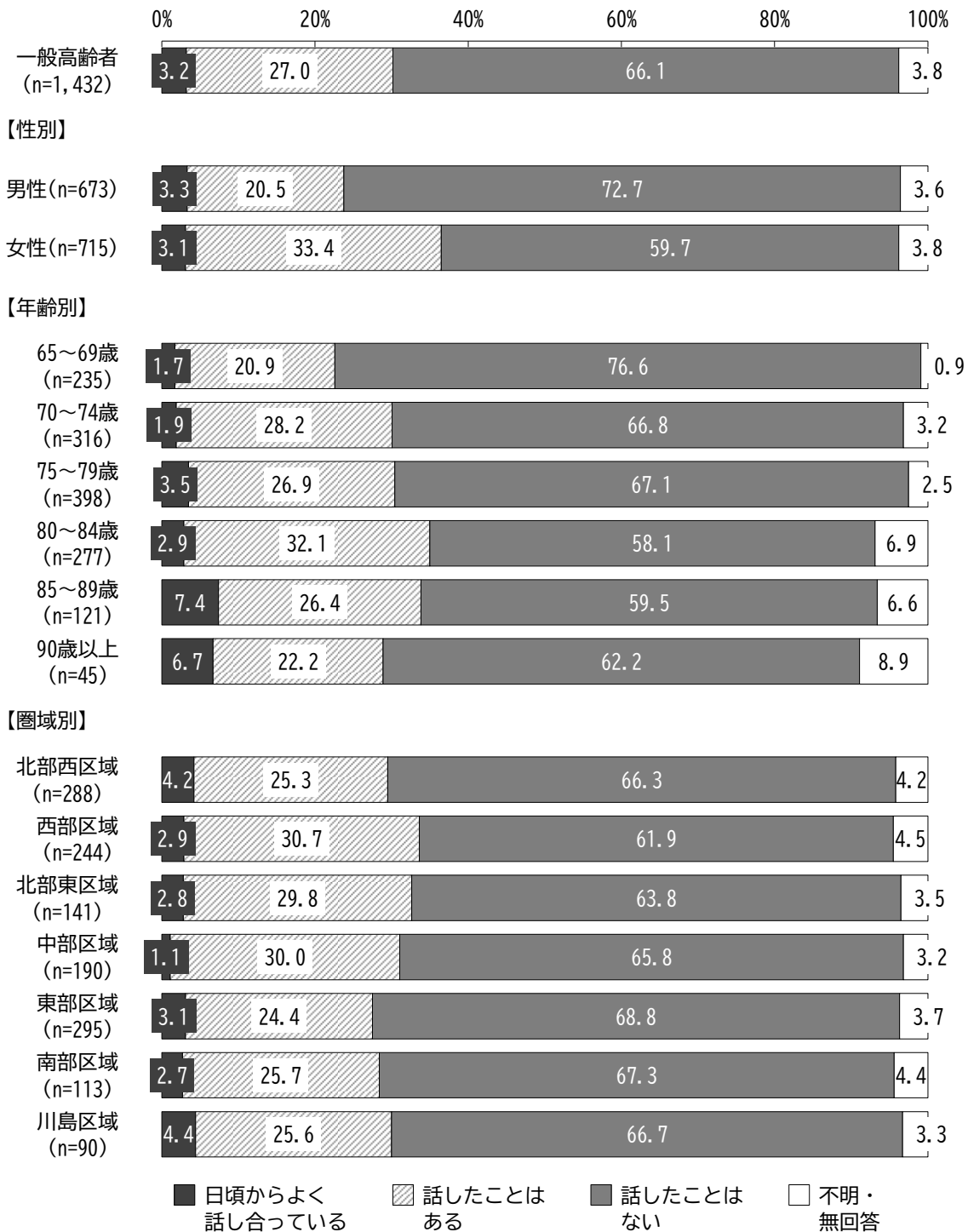
問 66 人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っていますか。(単数回答)

人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っているかは、全体で「日頃からよく話し合っている」が3.2%、「話したことはある」が27.0%、「話したことはない」が66.1%となっています。

性別では、男性で「話したことはない」が72.7%と、女性と比べて13.0ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳で「話したことはない」が76.6%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、「日頃からよく話し合っている」はいずれの年代も1割未満となっています。

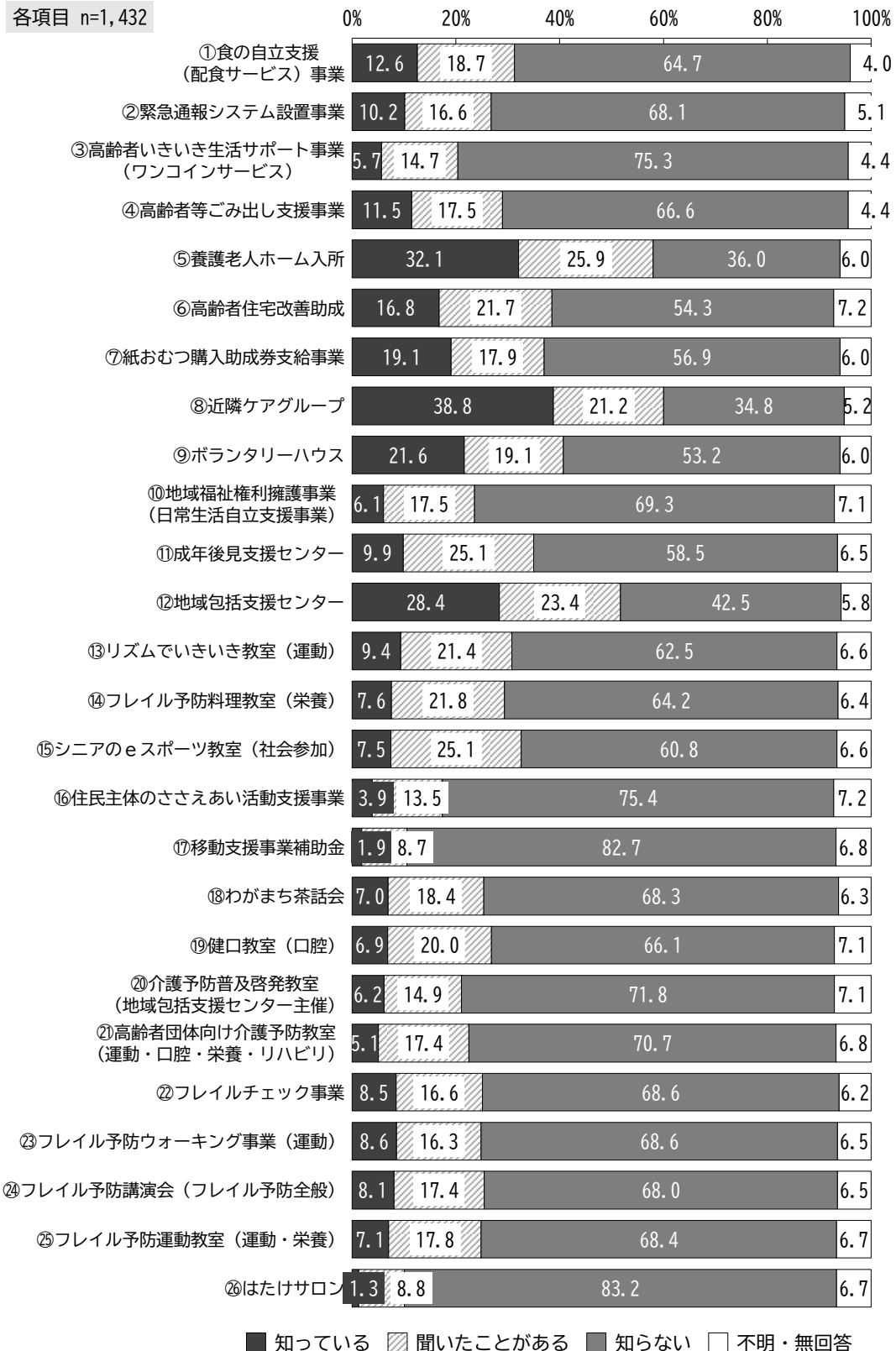
圏域別では、いずれの圏域も「話したことはない」がそれぞれ6割台となっています。



14. 介護保険及び高齢者福祉全般について

問 67 市や地域が行っている次の各種高齢者福祉サービスまたは制度についてご存知ですか。(各単数回答)

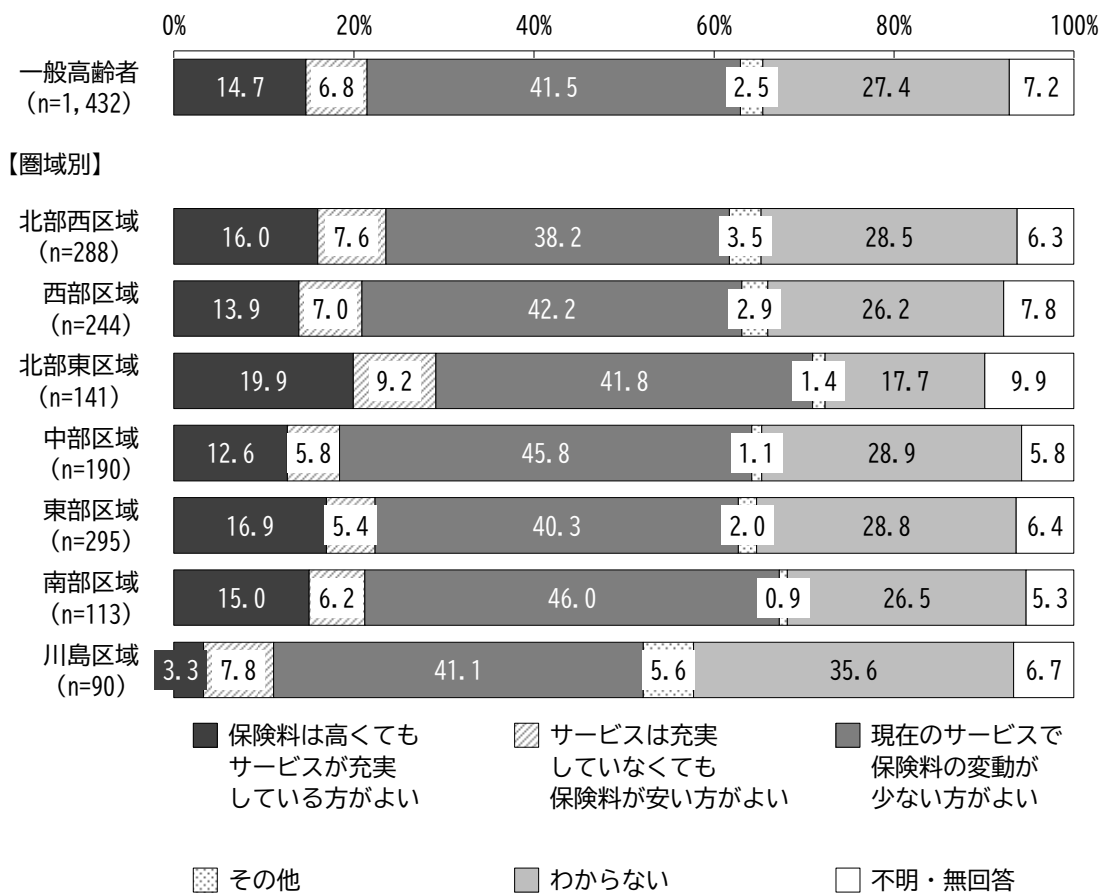
市や地域が行っている各種高齢者福祉サービスまたは制度について知っていることは、「知っている」が〔⑤ 養護老人ホーム入所〕〔⑧ 近隣ケアグループ〕でそれぞれ3割台と、他の項目と比べて高くなっています。



問 68 特別養護老人ホームや老人保健施設などへの入所、訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの利用量が多くなれば、それだけ介護保険料も上がることになります。介護サービスの充実と保険料についてどのように考えますか。
（単数回答）

介護サービスの充実と保険料についての考えは、全体で「現在のサービスで保険料の変動が少ない方がよい」が41.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.4%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「現在のサービスで保険料の変動が少ない方がよい」がそれぞれ3～4割台となっています。なお、川島区域では「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」が3.3%と、他の圏域と比べて低くなっています。

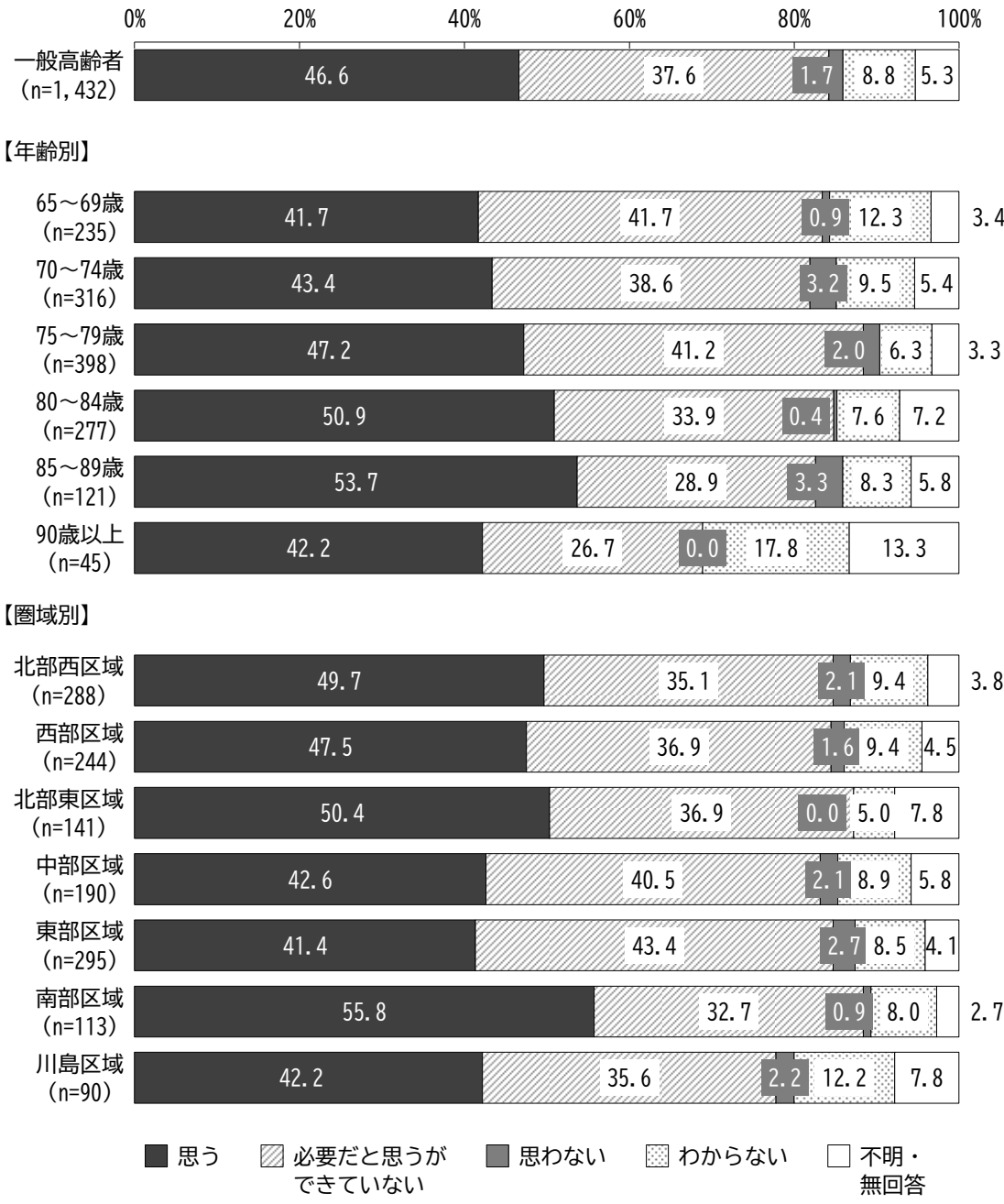


問 69 地域のつながりや、助け合いは必要だと思いますか。(単数回答)

地域のつながりや、助け合いは必要だと思うかは、全体で「思う」が46.6%と最も高く、次いで「必要だと思うができていない」が37.6%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「思う」がそれぞれ4～5割台となっています。

圏域別では、南部圏域で「思う」が55.8%と、他の圏域と比べて高くなっています。

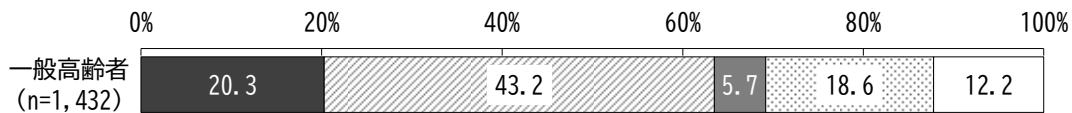


問 70 地域で行われる助け合い活動などは、有料のほうが参加（依頼）しやすいですか。
（単数回答）

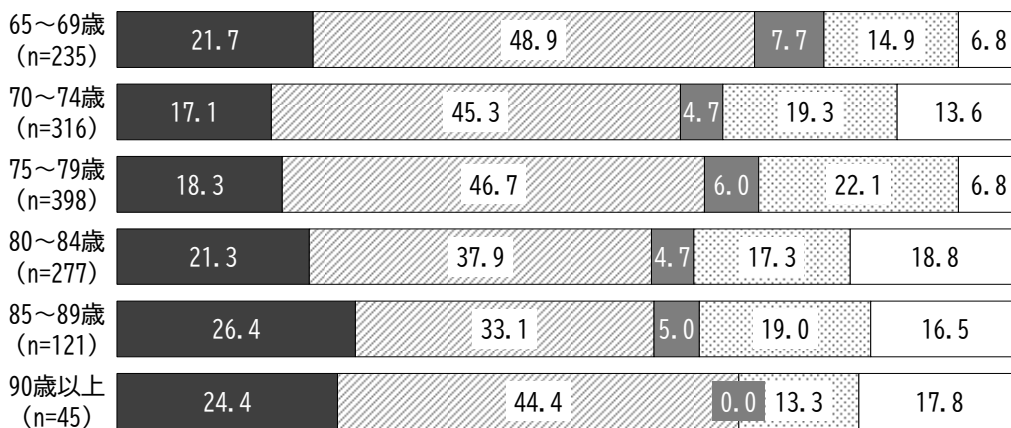
地域で行われる助け合い活動などは、有料のほうが参加（依頼）しやすいかは、全体で「無料のほうが参加（依頼）しやすい」が43.2%と最も高く、次いで「有料のほうが参加（依頼）しやすい」が20.3%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「無料のほうが参加（依頼）しやすい」がそれぞれ3～4割台となっています。

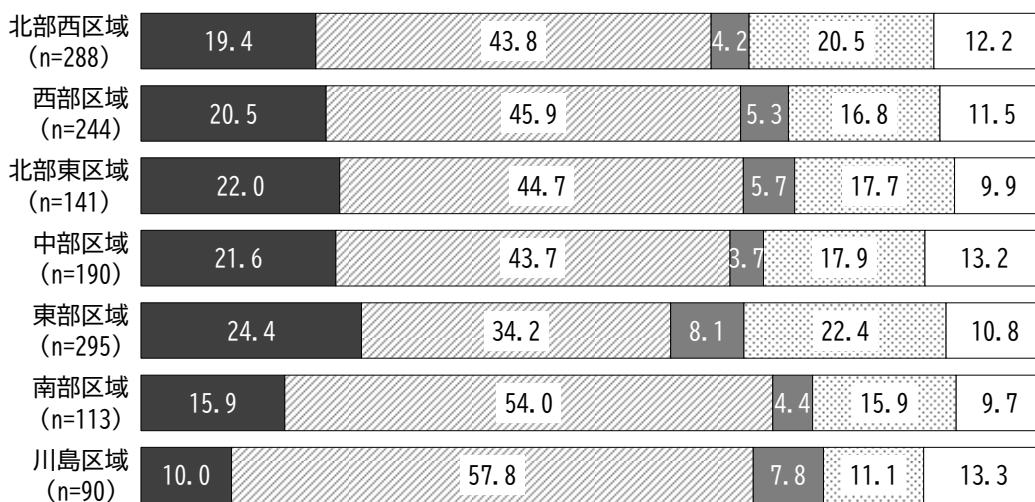
圏域別では、川島区域、南部区域で「無料のほうが参加（依頼）しやすい」がそれぞれ5割台と、他の圏域と比べて高くなっています。



【年齢別】



【圏域別】



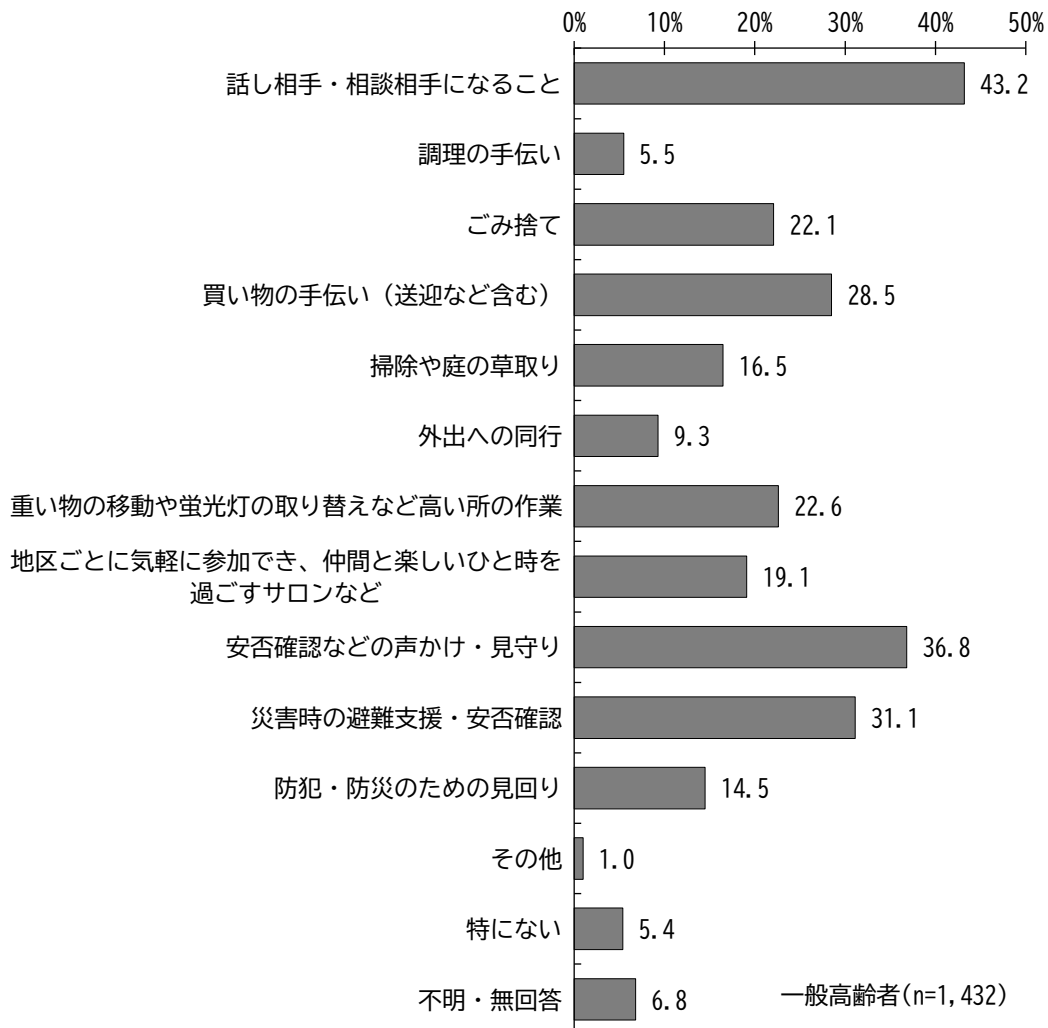
有料のほうが参加（依頼）しやすい
 無料のほうが参加（依頼）しやすい
 参加は有料、依頼は無料がよい

参加は無料、依頼は有料がよい
 不明・無回答

問 71 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を、地域で支えるためにどのような生活支援があるといいと思いますか。(複数回答)

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を、地域で支えるための生活支援は、全体で「話し相手・相談相手になること」が43.2%と最も高く、次いで「安否確認などの声かけ・見守り」が36.8%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「話し相手・相談相手になること」がそれぞれ最も高くなっています。なお、北部東区域、東部区域、川島区域で「買い物の手伝い(送迎など含む)」がそれぞれ3割台と、他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

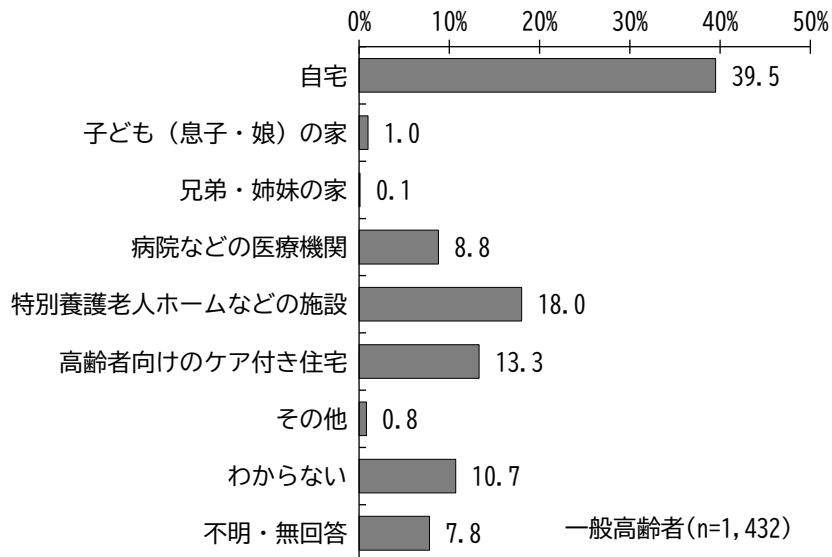
	話し相手・相談相手にならなくて	調理の手伝い	ごみ捨て	買い物の手伝い(送迎など含む)	掃除や庭の草取り	外出への同行	重い物の移動や蛍光灯の取り替えなど高い所の作業	地区ごとに気軽に参加でき、仲間と楽しいひと時を過ごすサロンなど	安否確認などの声かけ・見守り	災害時の避難支援・安否確認	防犯・防災のための見回り
(単位：%)											
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	38.5	4.5	21.9	27.8	17.4	6.3	24.7	18.1	35.8	27.4	14.2
西部区域 (n=244)	51.2	5.7	16.8	25.4	12.7	11.9	24.2	23.4	39.8	31.6	13.1
北部東区域 (n=141)	44.0	7.1	19.9	34.0	20.6	7.8	22.7	19.9	38.3	37.6	15.6
中部区域 (n=190)	38.4	4.7	26.3	27.9	17.4	8.4	24.7	21.1	39.5	30.5	16.8
東部区域 (n=295)	44.4	5.4	27.8	32.5	16.6	11.5	20.7	18.6	34.9	35.3	15.3
南部区域 (n=113)	45.1	4.4	23.0	25.7	23.9	8.0	19.5	19.5	36.3	26.5	9.7
川島区域 (n=90)	46.7	6.7	15.6	32.2	11.1	12.2	14.4	14.4	33.3	30.0	15.6

	その他	特にない	不明・無回答
(単位：%)			
【圏域別】			
北部西区域 (n=288)	1.0	5.6	6.6
西部区域 (n=244)	0.4	5.3	4.1
北部東区域 (n=141)	0.7	1.4	8.5
中部区域 (n=190)	1.1	4.7	6.8
東部区域 (n=295)	1.4	4.4	5.8
南部区域 (n=113)	0.0	6.2	8.0
川島区域 (n=90)	2.2	10.0	7.8

問72 今後、仮に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。(単数回答)

仮に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいかは、全体で「自宅」が39.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設」が18.0%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「自宅」がそれぞれ3～4割台となっています。



■クロス集計

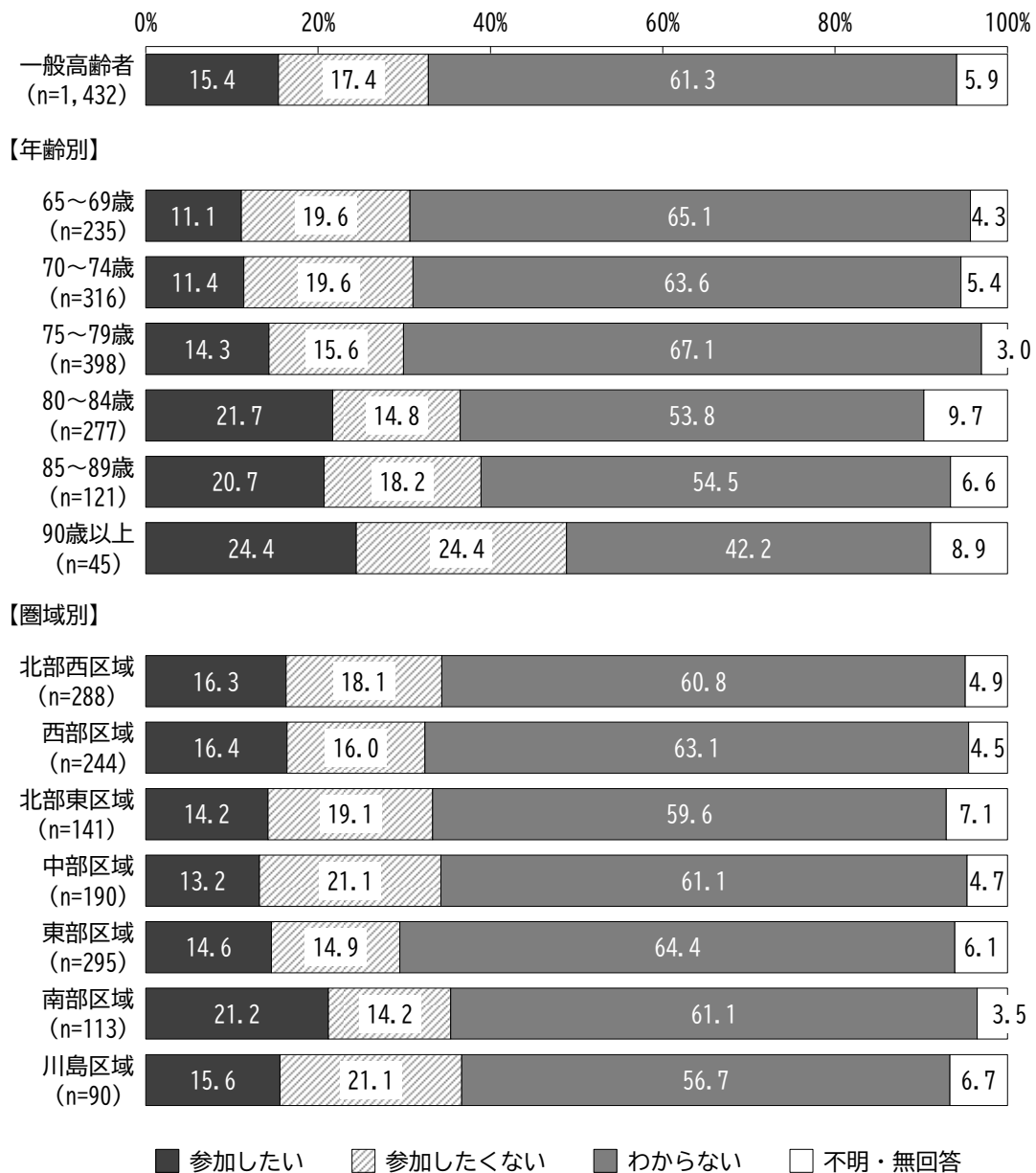
	自宅	子ども(息子・娘)の家	兄弟・姉妹の家	病院などの医療機関	特別養護老人ホームなどの施設	高齢者向けのケア付き住宅	その他	わからない	不明・無回答
(単位: %)									
【圏域別】									
北部西区域 (n=288)	43.1	0.3	0.0	8.7	16.3	11.8	0.7	11.8	7.3
西部区域 (n=244)	41.0	0.0	0.0	10.2	24.2	11.9	0.4	6.6	5.7
北部東区域 (n=141)	48.2	1.4	0.7	7.1	12.8	8.5	2.1	10.6	8.5
中部区域 (n=190)	38.9	1.6	0.0	10.5	12.6	18.4	0.0	10.0	7.9
東部区域 (n=295)	33.6	2.4	0.3	8.5	18.3	18.0	1.0	10.8	7.1
南部区域 (n=113)	40.7	0.0	0.0	7.1	22.1	12.4	0.0	13.3	4.4
川島区域 (n=90)	33.3	1.1	0.0	8.9	15.6	10.0	2.2	16.7	12.2

問 73 気軽なおしゃべりを通じて地域情報の共有やネットワーク構築ができる場として、参加申し込み不要の「わがまち茶話会」を自治会連合会圏域ごとに実施していますが、参加してみたいと思いますか。(単数回答)

「わがまち茶話会」に参加してみたいと思うかは、全体で「参加したい」が15.4%、「参加したくない」が17.4%、「わからない」が61.3%となっています。

年齢別では、80歳以上で「参加したい」がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて高くなっています。

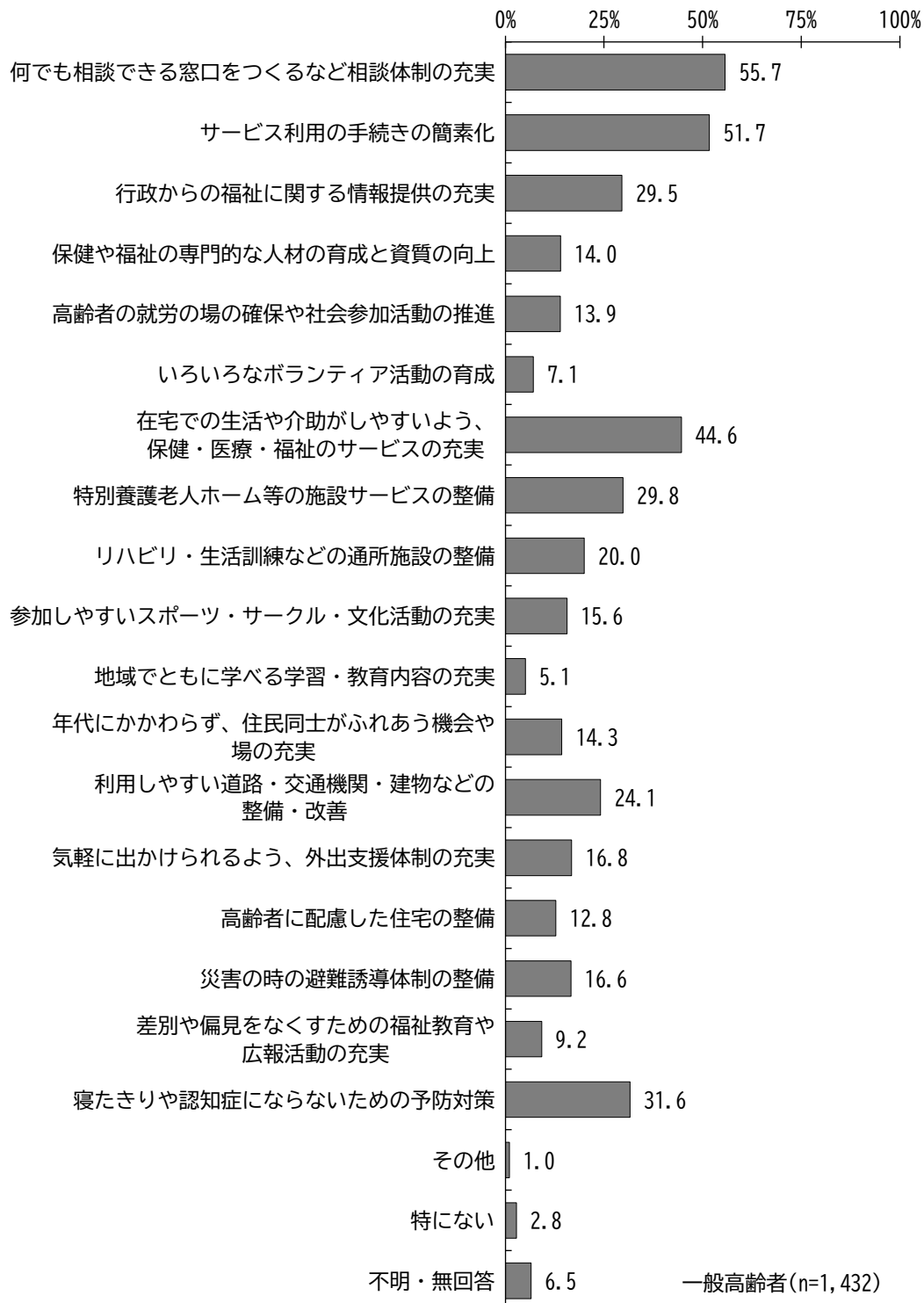
圏域別では、南部区域で「参加したい」が21.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問 74 高齢者にとって住みよいまちをつくるために、何に重点をおくべきだと思いますか。
(複数回答)

高齢者にとって住みよいまちをつくるために重点をおくべきことは、全体で「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 55.7%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が 51.7%となっています。

圏域別では、川島区域で「サービス利用の手続きの簡素化」が 65.6%、北部東区域で「災害の時の避難誘導体制の整備」が 24.8%と、それぞれ他の圏域と比べて高くなっています。



■クロス集計

	何でも相談できる窓口をつくるなど 相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	高齢者の就労の場の確保や社会参加活動の推進	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実	特別養護老人ホーム等の施設サービスの整備	リハビリ・生活訓練などの通所施設の整備	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	地域でともに学べる学習・教育内容の充実
(単位：%)											
【圏域別】											
北部西区域 (n=288)	55.2	51.7	26.4	12.2	13.5	7.6	45.5	30.2	18.8	17.0	4.9
西部区域 (n=244)	61.5	55.7	33.2	16.8	17.6	7.4	43.9	30.3	17.2	16.4	5.3
北部東区域 (n=141)	56.0	53.2	31.2	11.3	14.9	7.8	51.1	26.2	20.6	19.9	5.0
中部区域 (n=190)	52.1	51.6	31.1	12.6	12.1	10.0	42.6	31.6	21.1	16.8	6.8
東部区域 (n=295)	57.6	47.5	28.8	15.6	13.9	5.8	44.1	30.8	24.4	13.9	4.1
南部区域 (n=113)	51.3	49.6	29.2	14.2	9.7	5.3	47.8	32.7	19.5	15.0	7.1
川島区域 (n=90)	52.2	65.6	25.6	13.3	16.7	5.6	43.3	26.7	18.9	7.8	2.2

	年代にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・交通機関・建物などの整備・改善	気軽に出かけられるよう、外出支援体制の充実	高齢者に配慮した住宅の整備	災害の時の避難誘導体制の整備	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動の充実	寝たきりや認知症にならないための予防対策	その他	特になし	不明・無回答
(単位：%)										
【圏域別】										
北部西区域 (n=288)	14.9	19.8	18.4	11.1	12.5	7.3	29.5	0.7	4.2	5.9
西部区域 (n=244)	18.0	21.7	11.9	11.1	15.6	9.0	33.2	0.4	1.2	5.3
北部東区域 (n=141)	12.1	25.5	19.1	12.1	24.8	9.2	33.3	0.7	1.4	7.8
中部区域 (n=190)	12.1	25.8	19.5	15.3	14.7	9.5	36.8	0.5	3.7	4.7
東部区域 (n=295)	13.6	31.5	16.9	13.6	18.0	7.5	29.8	1.4	3.1	5.4
南部区域 (n=113)	15.9	21.2	15.0	14.2	15.9	12.4	33.6	1.8	1.8	7.1
川島区域 (n=90)	10.0	18.9	16.7	11.1	15.6	13.3	25.6	2.2	2.2	7.8

15. 調査結果からみる調査対象者の評価

一般高齢者調査結果を活用し、「運動器機能」「転倒」「閉じこもり傾向」「栄養」「口腔機能」「認知機能」「うつ傾向」「IADL（手段的日常生活動作）」の8項目について機能判定の評価を行いました。

(1) 運動器機能の低下

■評価方法

以下の5つの設問中3問以上、該当する選択肢（問10①～問10③で「できない」、問11で「何度もある」または「1度ある」、問12で「とても不安である」または「やや不安である」）が回答された場合、該当者（運動器機能の低下している高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(各 n=1,432)

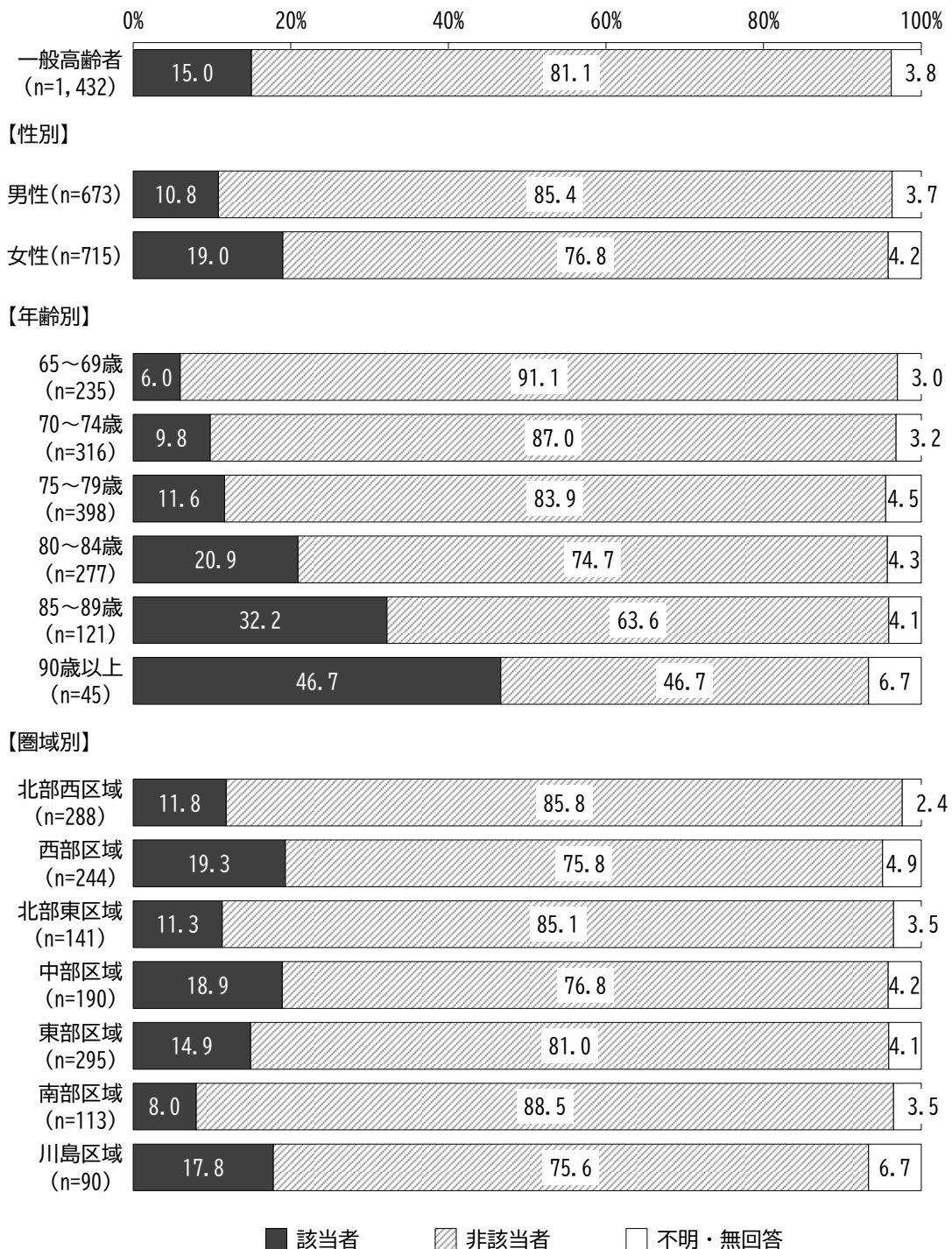
単位：%

設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
10①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	55.9	22.9	17.2	4.1
10②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	71.7	12.8	11.5	3.9
10③	15分位続けて歩いていますか	71.3	17.6	7.8	3.4

設問番号	設問	何度もある	1度ある	ない	不明・無回答
11	過去1年間に転んだ経験がありますか	8.0	23.4	66.3	2.4

設問番号	設問	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	不明・無回答
12	転倒に対する不安は大きいですか	15.4	39.0	23.7	19.7	2.2

運動器機能の低下している高齢者は、全体での「該当者」は15.0%となっています。
 性別では、「該当者」が男性で10.8%、女性で19.0%となっています。
 年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっています。
 圏域別では、南部区域を除いた圏域で「該当者」がそれぞれ1割台となっています。



(2) 転倒リスク

■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（問11で「何度もある」または「1度ある」）が回答された場合、該当者（転倒リスクのある高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(n=1,432)

単位：%

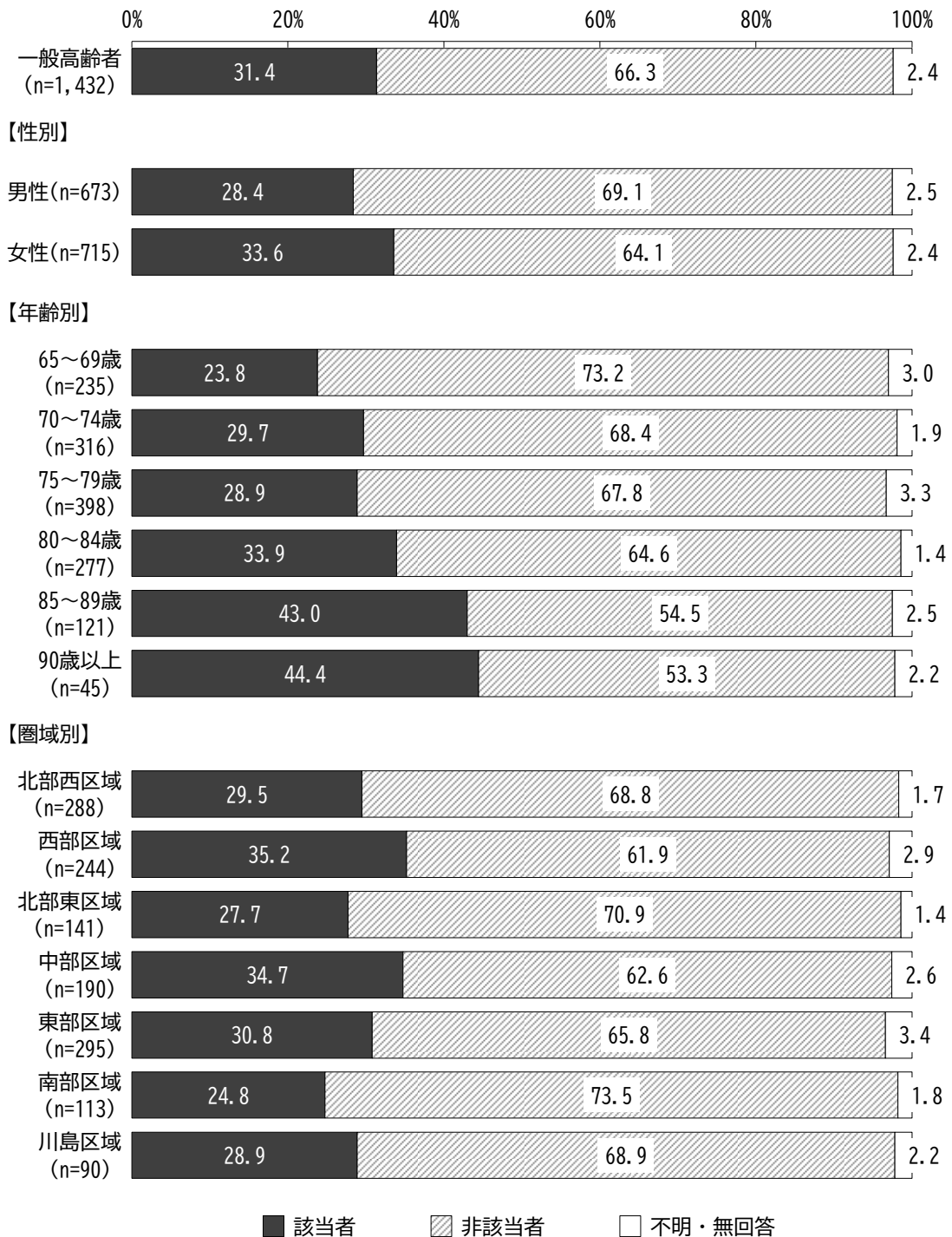
設問 番号	設問	何度もある	1度ある	ない	不明・無回答
11	過去1年間に転んだ経験がありますか	8.0	23.4	66.3	2.4

転倒リスクのある高齢者は、全体での「該当者」は31.4%となっています。

性別では、「該当者」が男性で28.4%、女性で33.6%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域も「該当者」がそれぞれ2～3割台となっています。



(3) 閉じこもり傾向

■評価方法

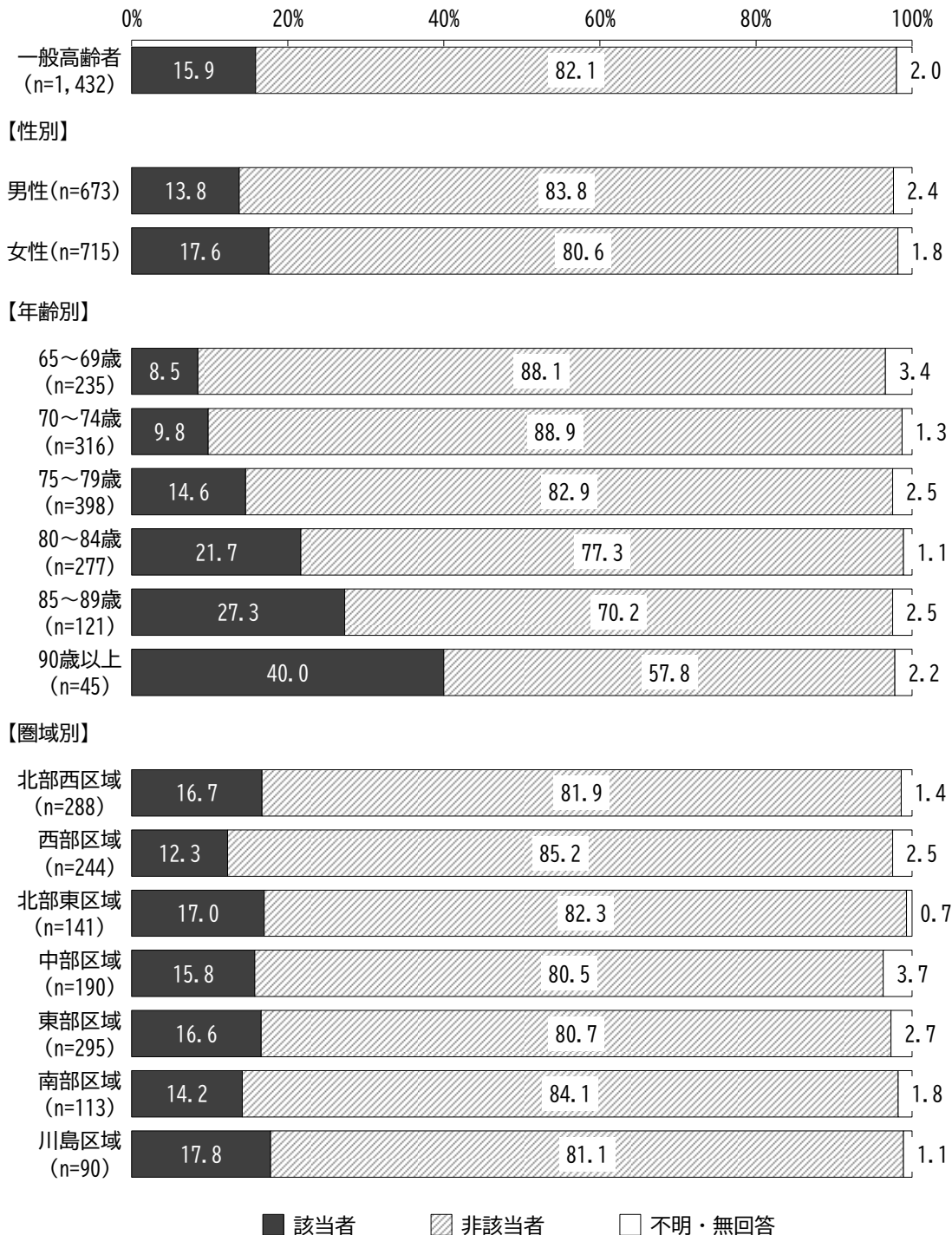
以下の設問で該当する選択肢（問13で「ほとんど外出しない」または「週1回」）が回答された場合、該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(n=1,432)

単位：%

設問番号	設問	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
13	週に1回以上は外出していますか	4.3	11.7	41.6	40.4	2.0

閉じこもり傾向のある高齢者は、全体での「該当者」は15.9%となっています。
 性別では、「該当者」が男性で13.8%、女性で17.6%となっています。
 年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっています。
 圏域別では、いずれの圏域も「該当者」がそれぞれ1割台となっています。



(4) 低栄養状態

■評価方法

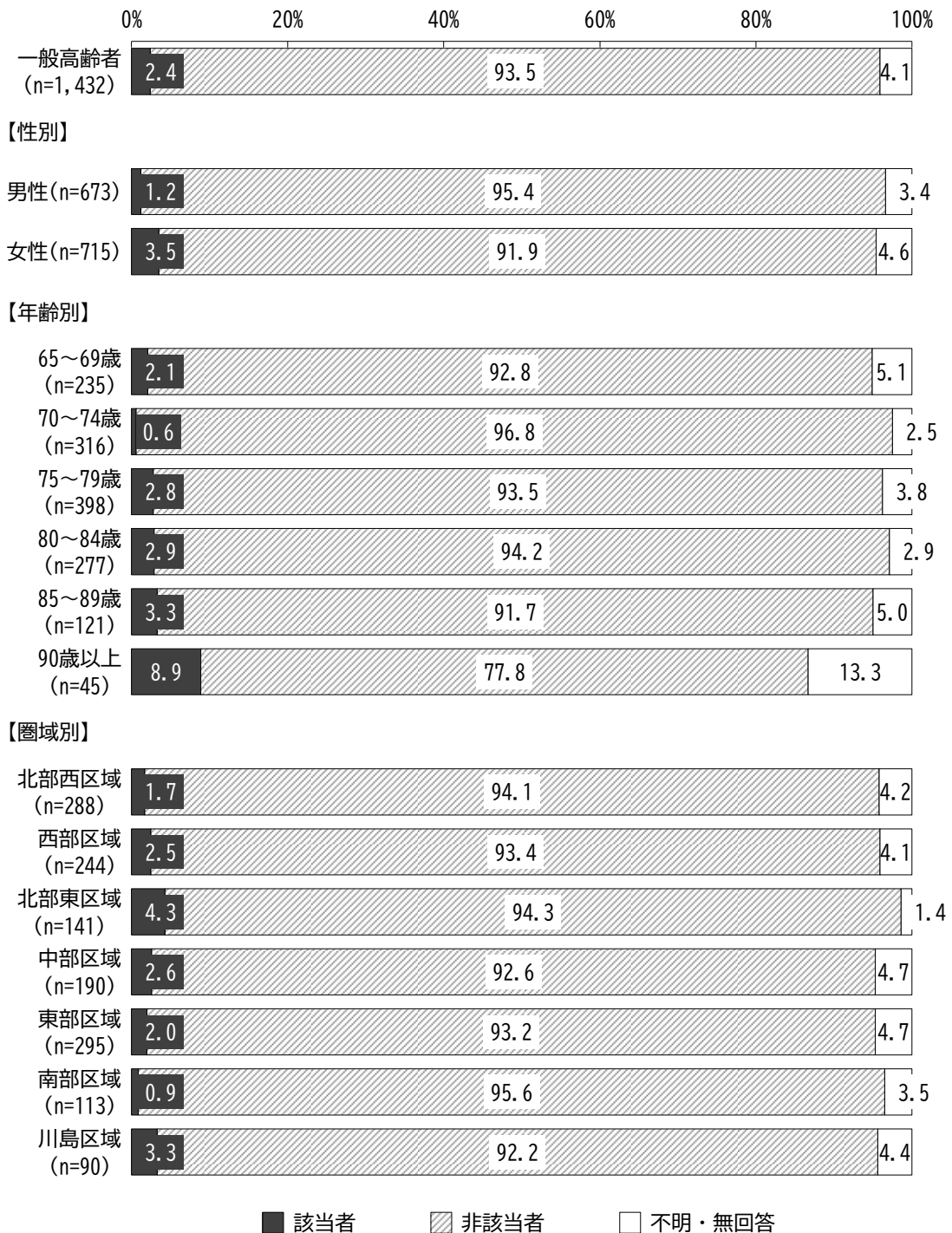
以下の2つの設問のうち、問18の結果から算出したBMIが18.5未満かつ、問19で「はい」と回答された場合、該当者（低栄養状態にある高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(各 n=1,432)

単位:%

設問番号	設問	BMI 18.5未満	BMI 18.5以上	不明・無回答
18	身長、体重はいくつですか	9.7	86.6	3.7
設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
19	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	15.4	81.0	3.6

低栄養状態にある高齢者は、全体での「該当者」は2.4%となっています。
 性別では、「該当者」が男性で1.2%、女性で3.5%となっています。
 年齢別では、いずれの年代も「該当者」がそれぞれ1割未満となっています。
 圏域別では、いずれの圏域も「該当者」がそれぞれ1割未満となっています。



(5) 口腔機能の低下

■評価方法

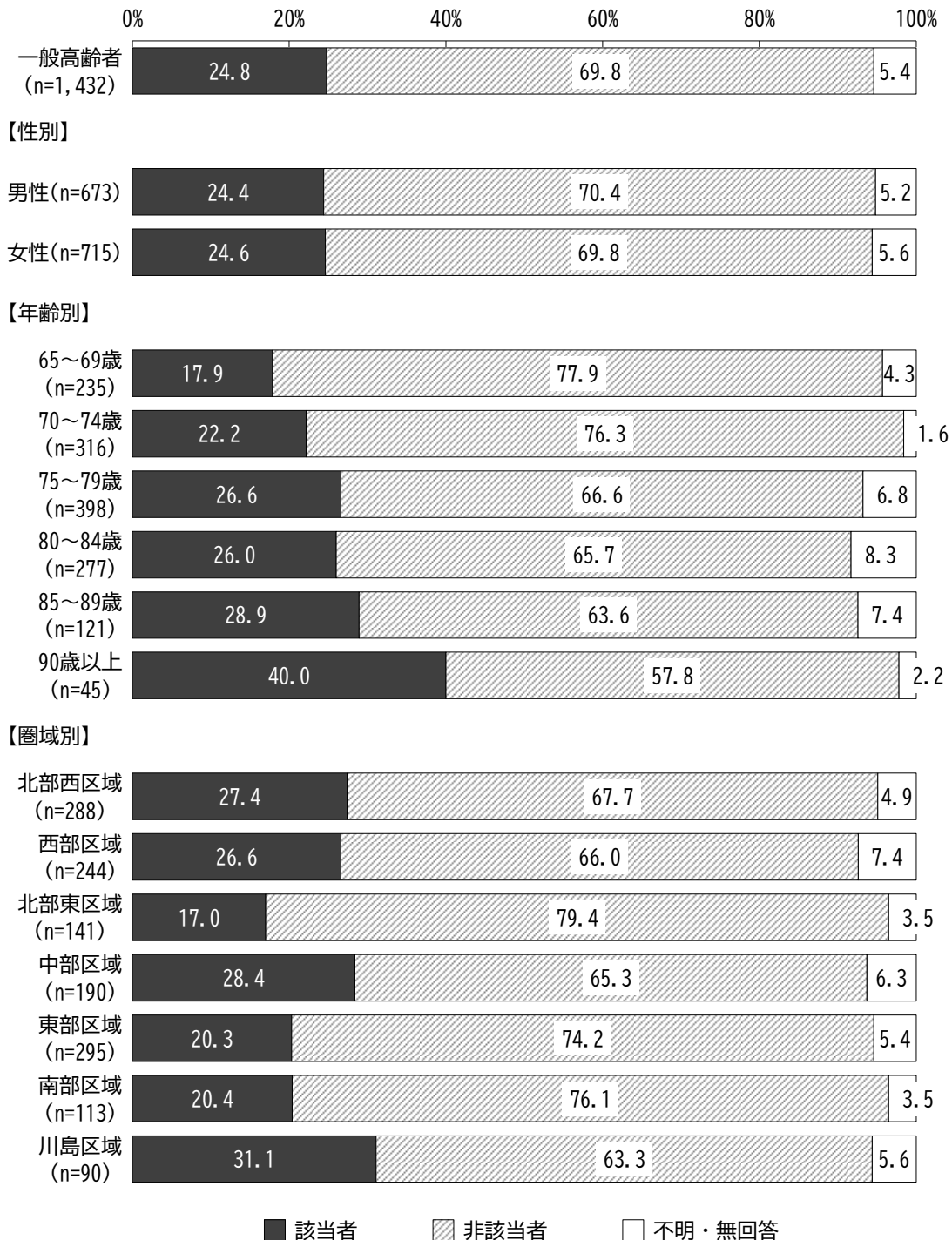
以下の3つの設問中2問以上、該当する選択肢（問20①～③で「はい」）が回答された場合、該当者（口腔機能の低下している高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(各 n=1,432)

単位：%

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
20①	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	31.1	64.0	5.0
20②	お茶や汁物などでむせることがありますか	27.6	67.5	4.9
20③	口の渇きが気になりますか	28.4	66.0	5.7

口腔機能の低下している高齢者は、全体での「該当者」は24.8%となっています。
 性別では、「該当者」が男性で24.4%、女性で24.6%となっています。
 年齢別では、90歳以上で「該当者」が40.0%と、他の年代と比べて高くなっています。
 圏域別では、川島区域で「該当者」が31.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。



(6) 認知症リスク

■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（問23で「はい」）が回答された場合、該当者（認知機能の低下がみられる高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(n=1,432)

単位：%

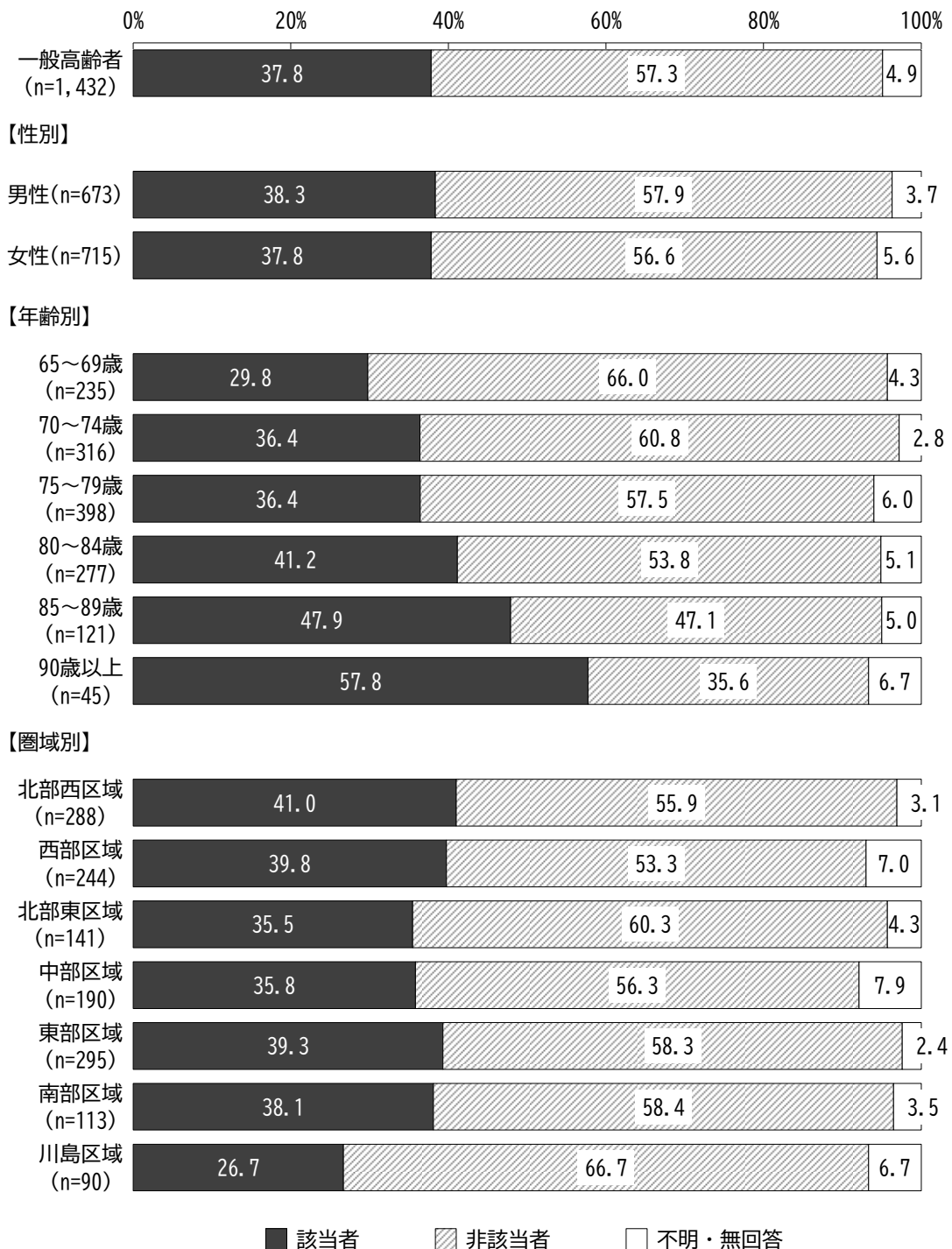
設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
23	日常生活で物忘れが多いと感じますか	37.8	57.3	4.9

認知機能の低下がみられる高齢者は、全体での「該当者」は37.8%となっています。

性別では、「該当者」が男性で38.3%、女性で37.8%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっています。

圏域別では、川島区域を除いた圏域で「該当者」がそれぞれ3～4割台となっています。



(7) うつ傾向

■評価方法

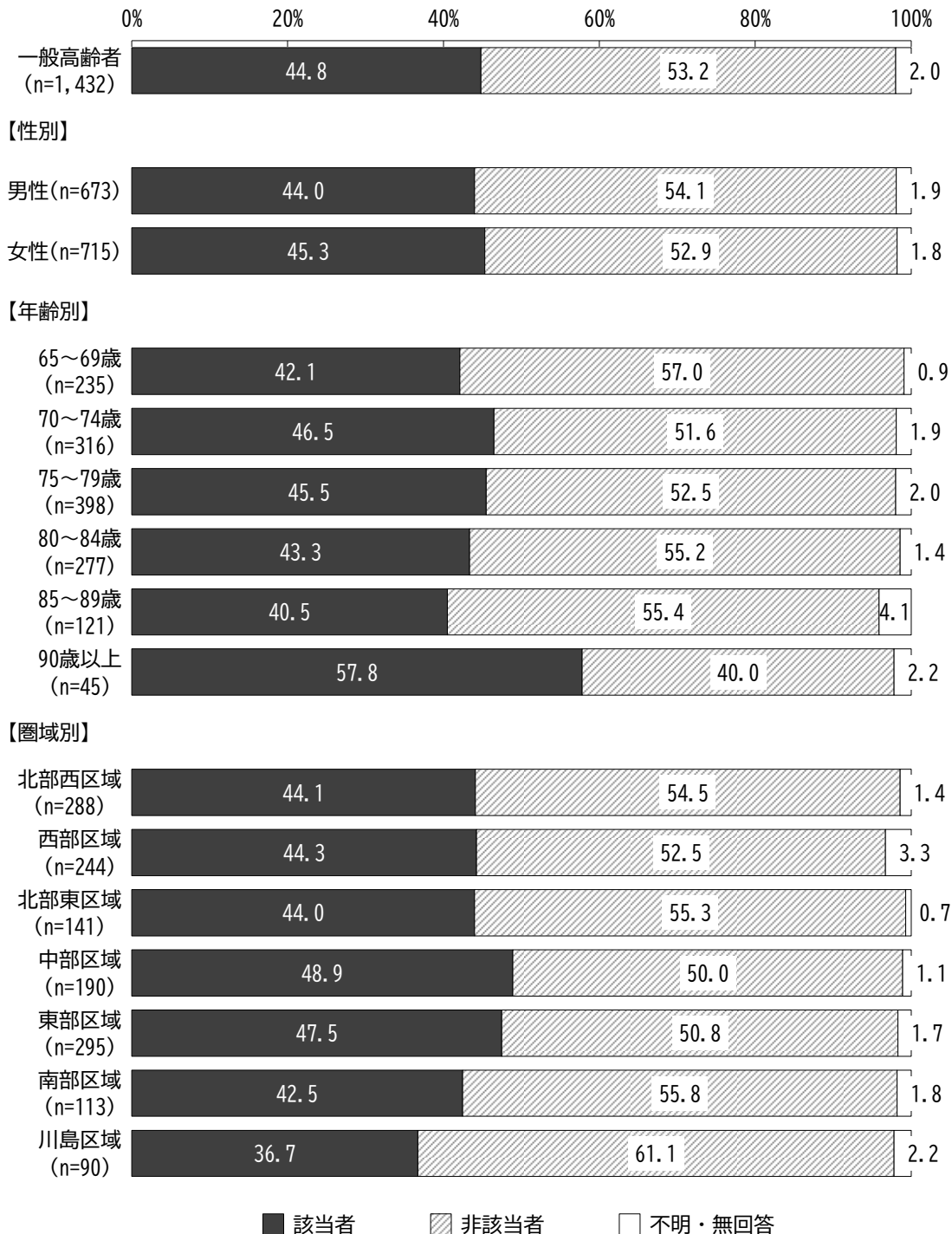
以下の2つの設問中いずれか1つでも該当する選択肢（問46、問47で「はい」）が回答された場合、該当者（うつ傾向の高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果(各 n=1,432)

単位:%

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
46	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	40.1	57.8	2.2
47	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	25.5	72.0	2.5

うつ傾向の高齢者は、全体での「該当者」は44.8%となっています。
 性別では、「該当者」が男性で44.0%、女性で45.3%となっています。
 年齢別では、90歳以上で「該当者」が57.8%と、他の年代と比べて高くなっています。
 圏域別では、川島区域を除いた圏域で「該当者」がそれぞれ4割台となっています。



(8) 手段的日常生活動作 (IADL)

IADLとは、日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADL (日常生活動作：食事、排せつ、入浴などの基本的な行動) より複雑で高次の動作のことをいいます。(例：買い物や洗濯・掃除などの家事全般、金銭や服薬の管理、外出時に乗り物に乗ることなど)

■評価方法

以下の5つの設問について、「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方を1点とし、5点満点で評価した。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価した。

■評価に使用した調査設問結果(各 n=1,432)

単位:%

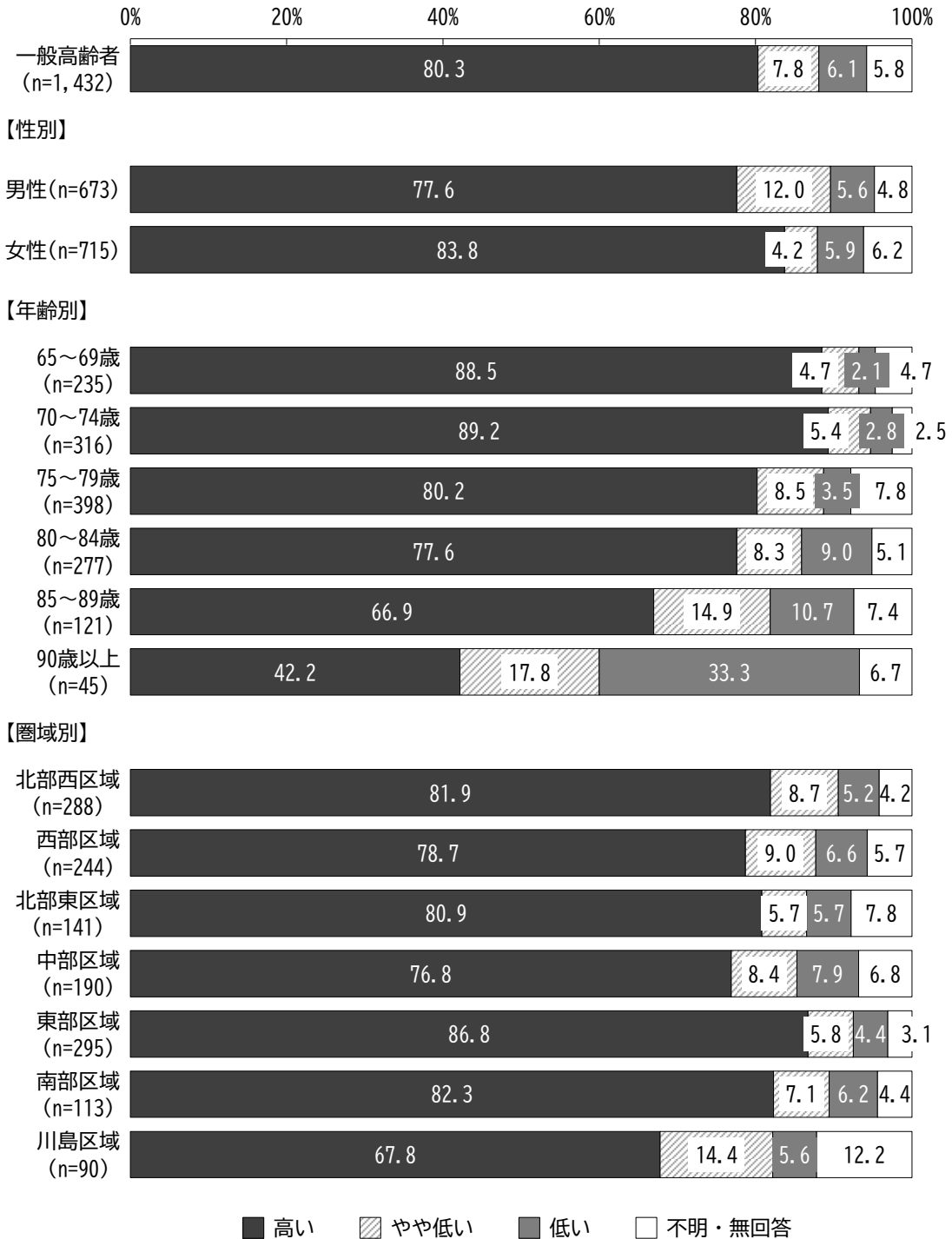
設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
24①	バスや電車を使って一人で外出していますか (自家用車でも可)	74.3	14.3	6.6	4.7
24②	自分で食品・日用品の買物をしていますか	78.8	13.6	3.8	3.8
24③	自分で食事の用意をしていますか	65.8	21.7	8.8	3.7
24④	自分で請求書の支払いをしていますか	79.0	13.1	3.8	4.1
24⑤	自分で預貯金の出し入れをしていますか	78.9	12.8	4.4	3.8

日常生活動作は、全体での「低い」は6.1%となっています。

性別では、「低い」が男性で5.6%、女性で5.9%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「低い」が高くなっており、90歳以上で33.3%となっています。

圏域別では、いずれの圏域も「低い」がそれぞれ1割未満となっています。

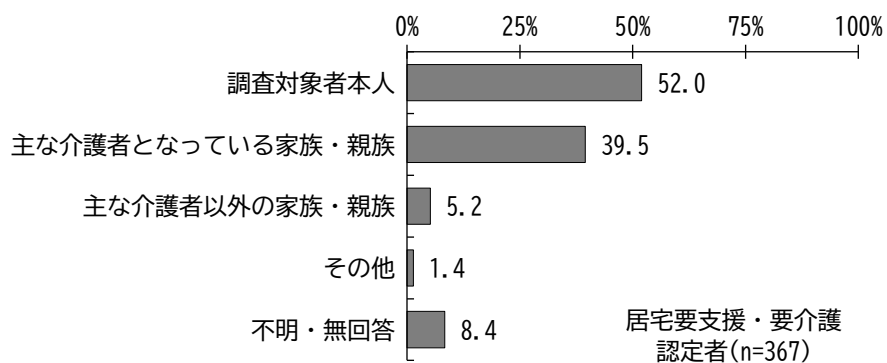


IV 居宅要支援・要介護認定者調査結果

1. 回答いただく方について

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(複数回答)

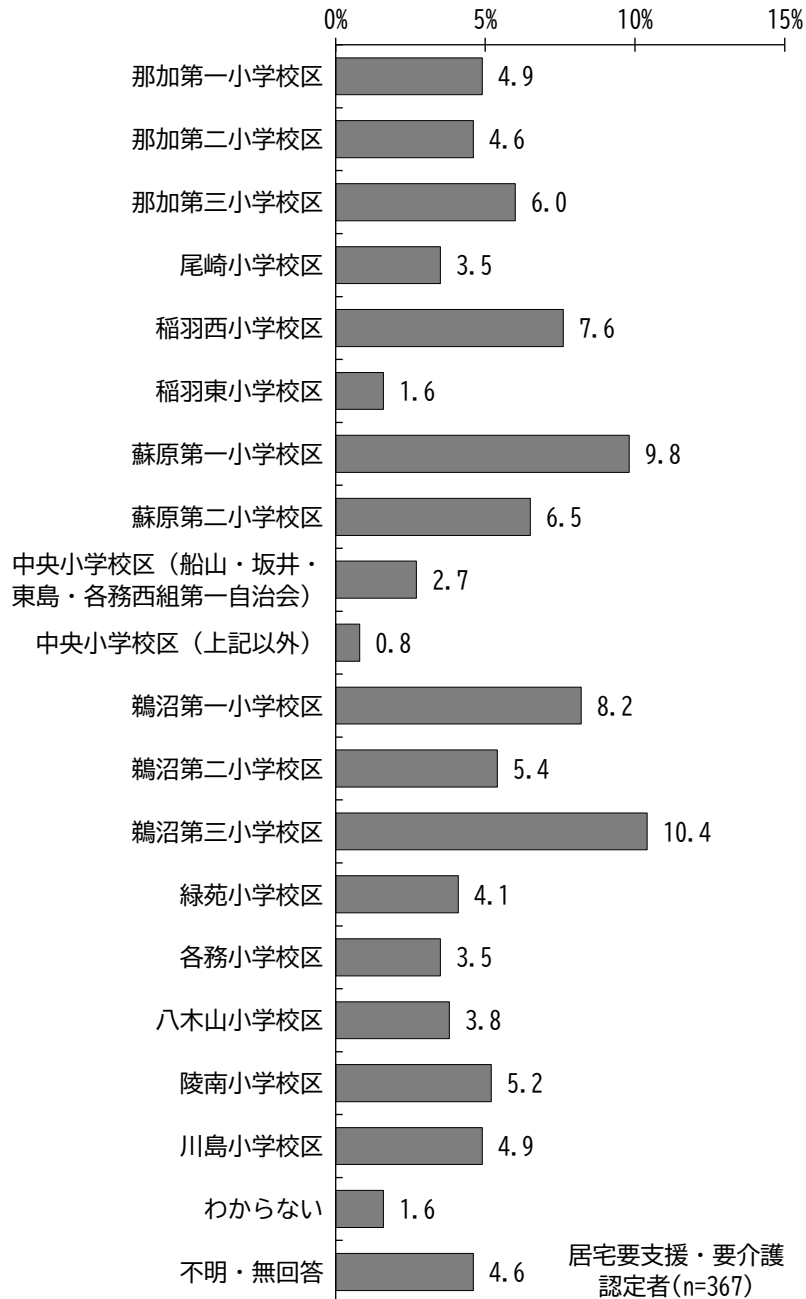
調査票を記入された方は、「調査対象者本人」が 52.0%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 39.5%となっています。



2. 宛名の方について

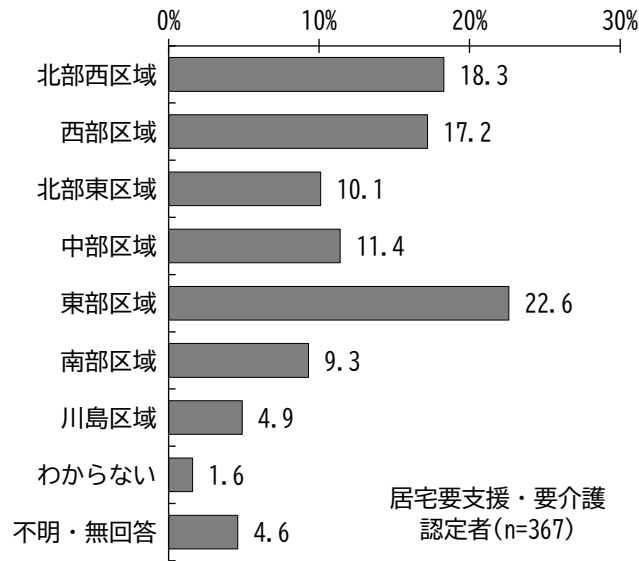
問2 現在住んでいる地域はどこですか。(単数回答)

現在住んでいる地域は、「鵜沼第三小学校区」が10.4%と最も高く、次いで「蘇原第一小学校区」が9.8%となっています。



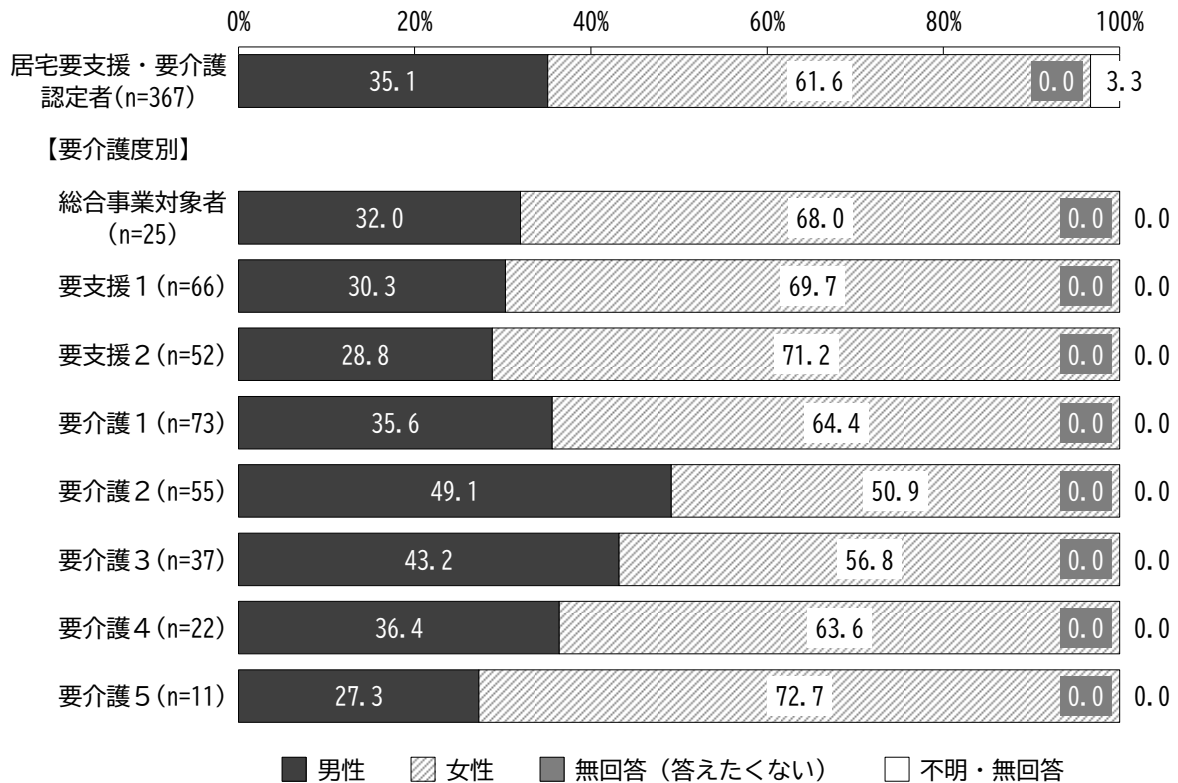
◆圏域別

圏域別でみると、「東部区域」が22.6%と最も高く、次いで「北部西区域」が18.3%となっています。



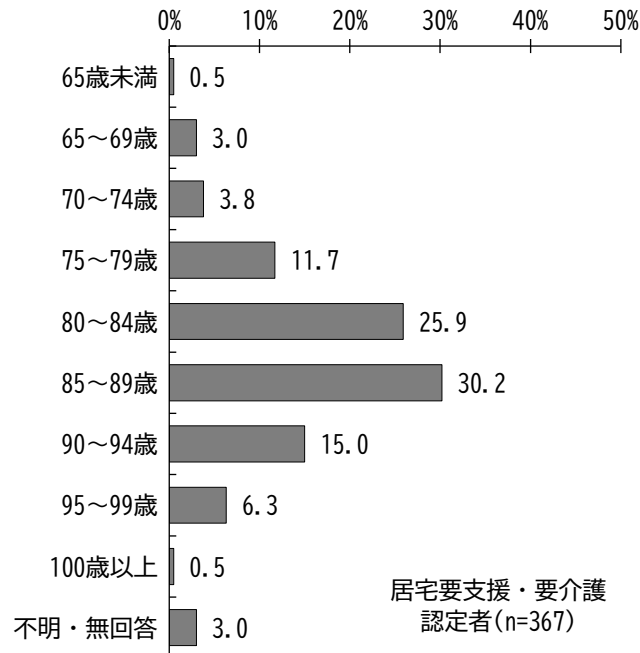
問3 宛名の方の性別をご回答ください。(単数回答)

性別は、「男性」が35.1%、「女性」が61.6%となっています。
要介護度別では、下記のとおりとなっています。



問4 宛名の方の年齢をご回答ください。(単数回答)

年齢は、全体で「85～89歳」が30.2%と最も高く、次いで「80～84歳」が25.9%となっています。要介護度別では、以下のとおりとなっています。



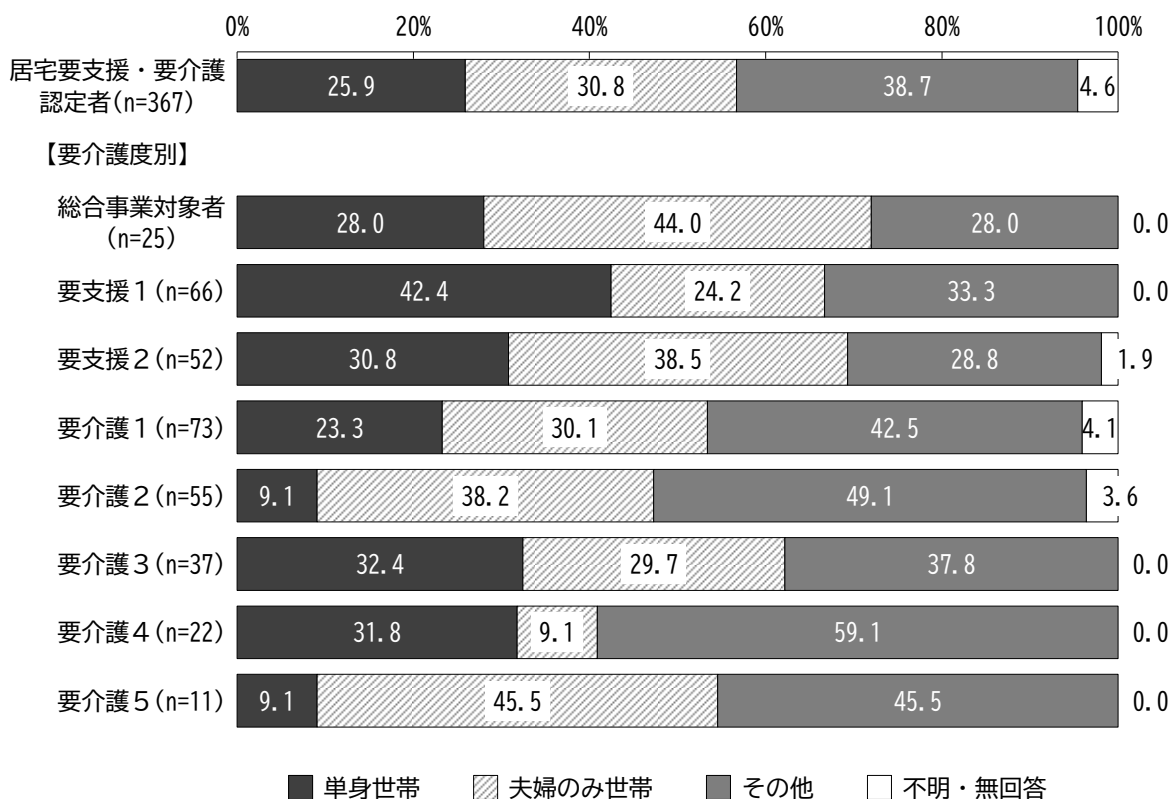
■クロス集計

(単位：%)	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	不明・無回答
【要介護度別】										
総合事業対象者 (n=25)	0.0	4.0	8.0	16.0	32.0	32.0	8.0	0.0	0.0	0.0
要支援1 (n=66)	0.0	1.5	4.5	16.7	39.4	21.2	15.2	1.5	0.0	0.0
要支援2 (n=52)	0.0	7.7	0.0	11.5	25.0	38.5	9.6	7.7	0.0	0.0
要介護1 (n=73)	1.4	1.4	5.5	6.8	23.3	42.5	12.3	5.5	1.4	0.0
要介護2 (n=55)	0.0	1.8	3.6	10.9	20.0	36.4	25.5	1.8	0.0	0.0
要介護3 (n=37)	0.0	0.0	8.1	10.8	32.4	10.8	18.9	18.9	0.0	0.0
要介護4 (n=22)	0.0	0.0	0.0	13.6	9.1	31.8	18.2	22.7	4.5	0.0
要介護5 (n=11)	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0

問5 宛名の方の家族構成をご回答ください。(単数回答)

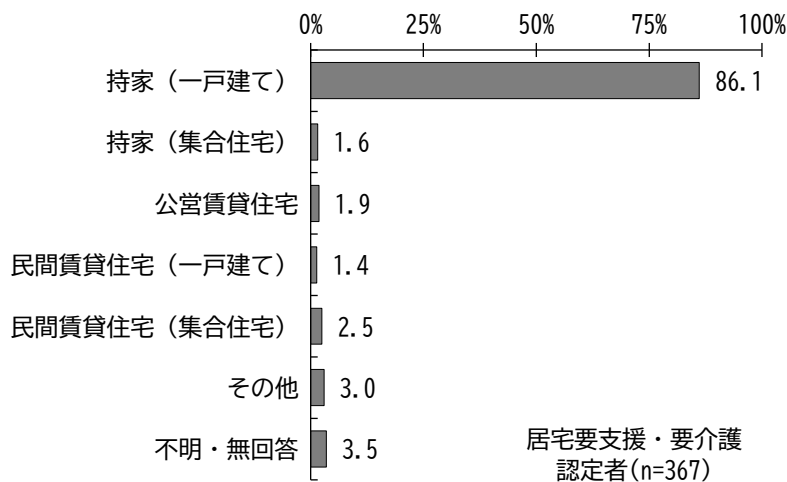
家族構成は、全体で「単身世帯」が25.9%、「夫婦のみ世帯」が30.8%、「その他」が38.7%となっています。

要介護度別では、要支援1で「単身世帯」が42.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



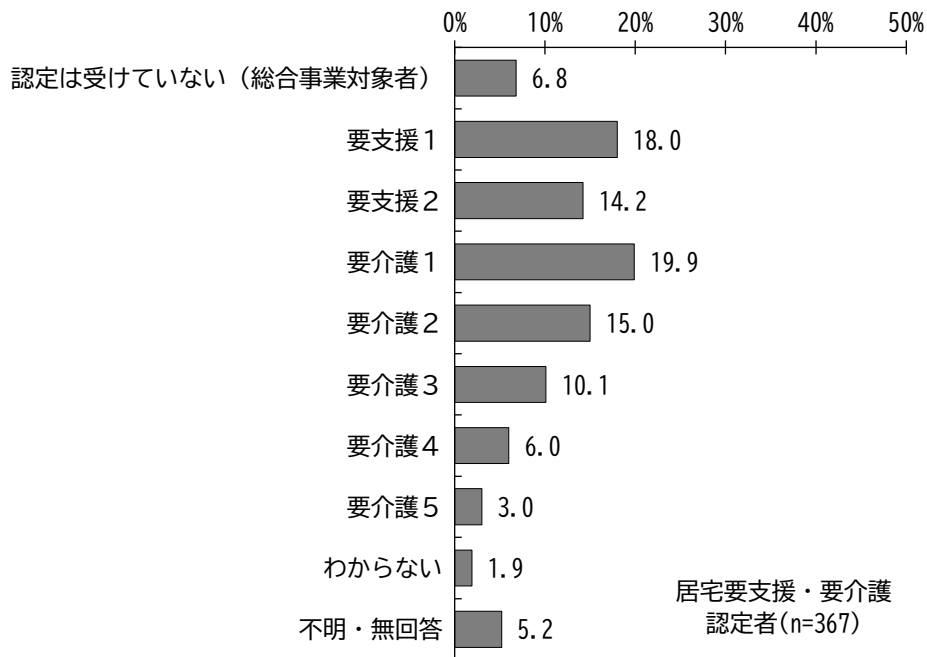
問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(単数回答)

お住まいは、「持家（一戸建て）」が86.1%と最も高く、次いで「その他」が3.0%となっています。



問7 宛名の方の要支援・要介護度は次のどれに該当しますか。(単数回答)

要支援・要介護度は、「要介護1」が19.9%と最も高く、次いで「要支援1」が18.0%となっています。

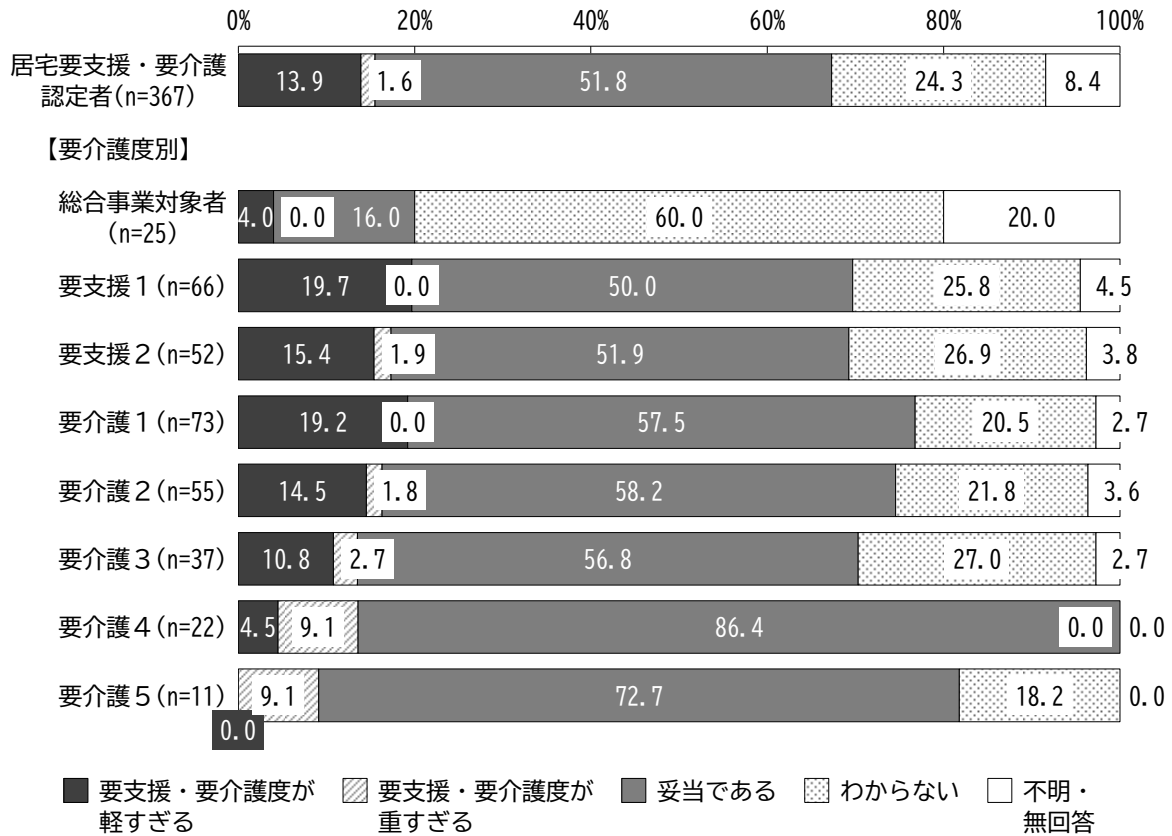


※「IV 居宅要支援・要介護認定者調査結果」においては、上記の「認定は受けていない (総合事業対象者)」を「総合事業対象者」と表記し、クロス集計等で記載しています。

問8 宛名の方の現在の要支援・要介護度に対してどのように考えていますか。
(単数回答)

要支援・要介護度に対する考えは、全体で「妥当である」が51.8%と最も高く、次いで「わからない」が24.3%となっています。

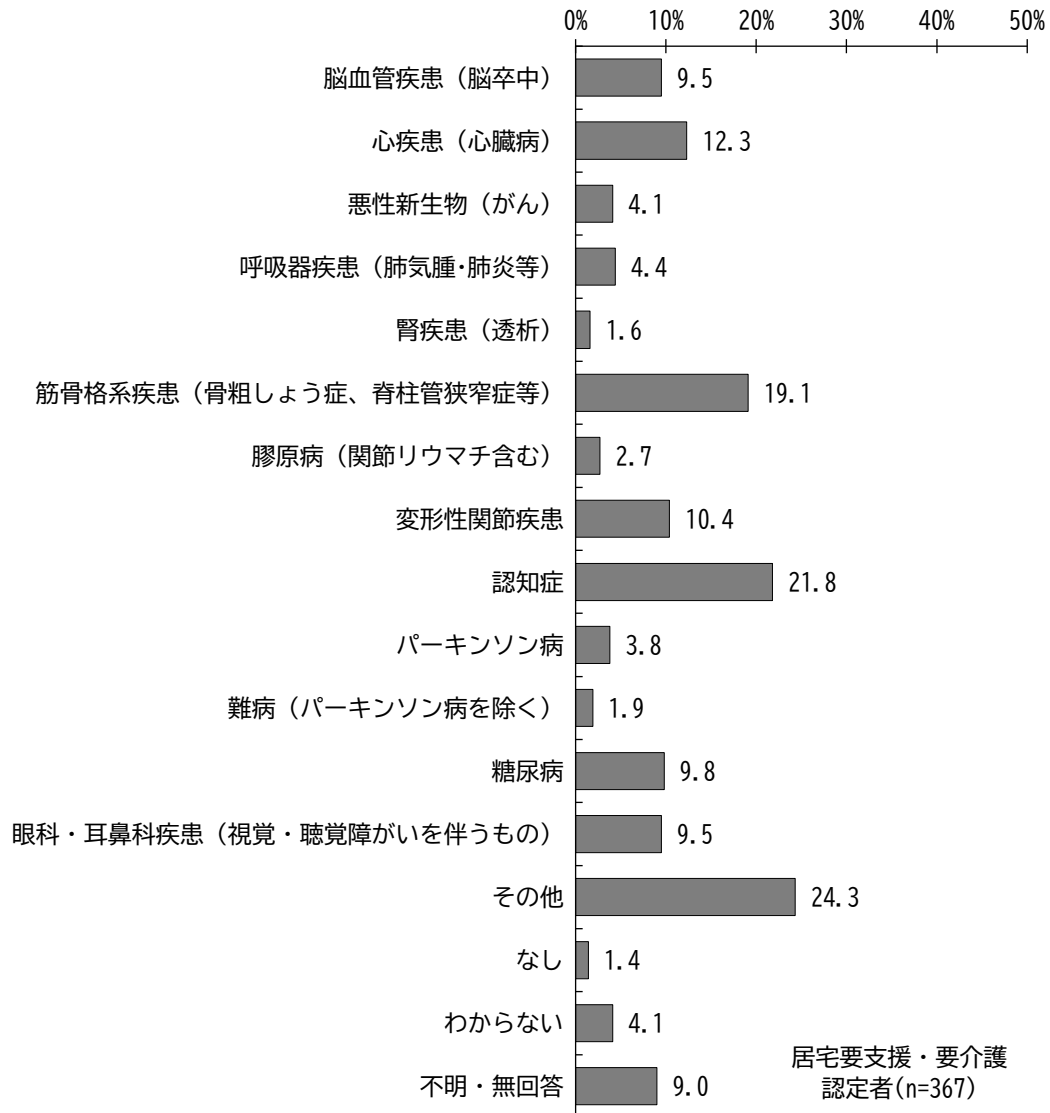
要介護度別では、要支援1～要介護3で「要支援・要介護度が軽すぎる」がそれぞれ1割台となっています。



問9 宛名の方が要支援・要介護認定を受ける原因となったものは何ですか。(複数回答)

要支援・要介護認定を受ける原因は、全体で「その他」が24.3%と最も高く、次いで「認知症」が21.8%となっています。

要介護度別では、要介護5で「認知症」が54.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



■クロス集計

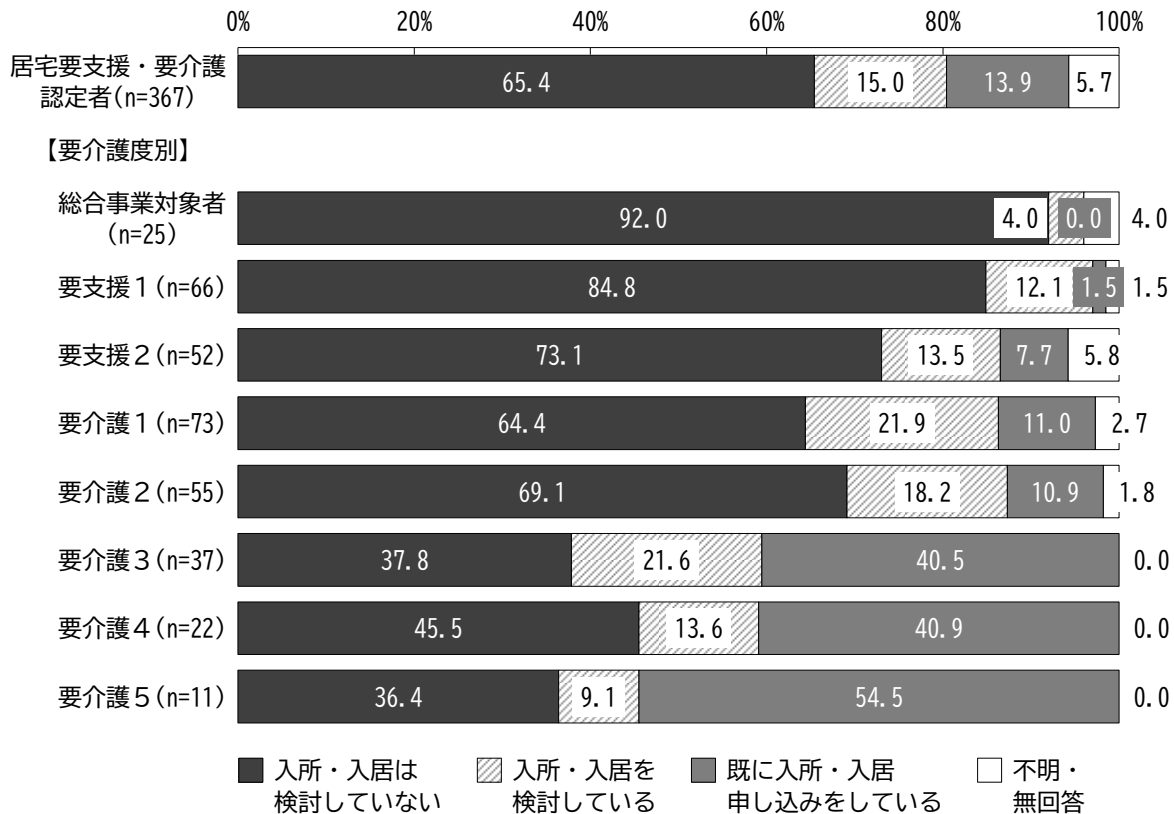
	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患（肺気腫・肺炎等）	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者（n=25）	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	16.0	4.0	0.0	0.0
要支援1（n=66）	4.5	13.6	4.5	3.0	1.5	28.8	1.5	19.7	4.5	4.5	4.5
要支援2（n=52）	11.5	21.2	5.8	7.7	1.9	26.9	3.8	13.5	5.8	1.9	0.0
要介護1（n=73）	4.1	15.1	2.7	6.8	1.4	12.3	2.7	6.8	41.1	0.0	0.0
要介護2（n=55）	10.9	10.9	7.3	7.3	3.6	29.1	5.5	10.9	21.8	5.5	5.5
要介護3（n=37）	10.8	13.5	5.4	2.7	2.7	10.8	0.0	5.4	40.5	10.8	2.7
要介護4（n=22）	22.7	4.5	0.0	0.0	0.0	22.7	9.1	0.0	40.9	4.5	0.0
要介護5（n=11）	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	54.5	9.1	0.0

	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）	その他	なし	わからない	不明・無回答
(単位：%)						
【要介護度別】						
総合事業対象者（n=25）	4.0	0.0	16.0	8.0	12.0	28.0
要支援1（n=66）	16.7	13.6	27.3	3.0	3.0	6.1
要支援2（n=52）	9.6	13.5	28.8	0.0	0.0	5.8
要介護1（n=73）	11.0	13.7	30.1	0.0	8.2	1.4
要介護2（n=55）	12.7	1.8	18.2	0.0	1.8	7.3
要介護3（n=37）	5.4	5.4	27.0	0.0	2.7	0.0
要介護4（n=22）	9.1	13.6	31.8	0.0	0.0	0.0
要介護5（n=11）	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。
(単数回答)

施設等への入所・入居の検討状況は、全体で「入所・入居は検討していない」が65.4%、「入所・入居を検討している」が15.0%、「既に入所・入居申し込みをしている」が13.9%となっています。

要介護度別では、要介護1～3で「入所・入居を検討している」がそれぞれ約2割と、他の要介護度と比べて高くなっています。また、要介護3以上で「既に入所・入居申し込みをしている」が、それぞれ4割以上となっています。



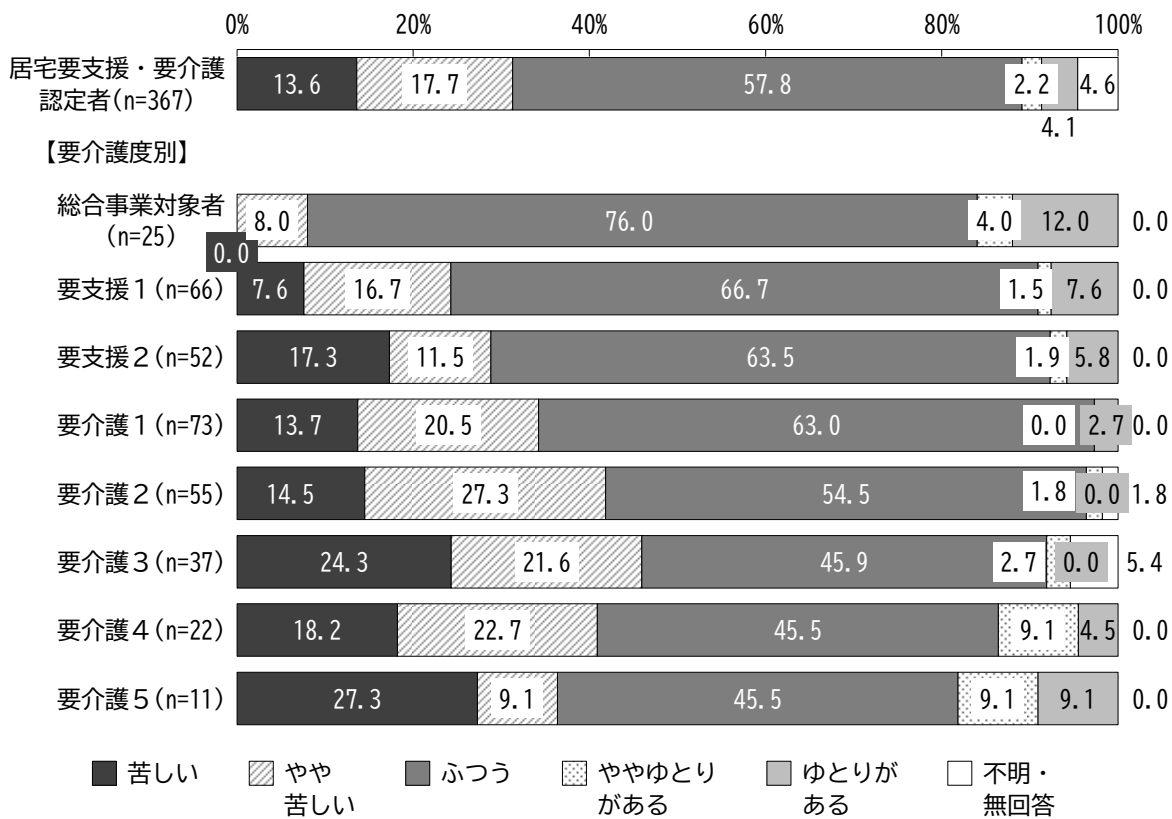
問 11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『苦しい』 … 「苦しい」と「やや苦しい」の合算
- 『ゆとりがある』 … 「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」の合算

経済的にみた現在の暮らしの状況は、全体で『苦しい』が31.3%、「ふつう」が57.8%、『ゆとりがある』が6.3%となっています。

要介護度別では、要介護2～4で『苦しい』がそれぞれ4割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



3. 宛名の方の病気について

問12 現在の健康状態はいかがですか。(単数回答)

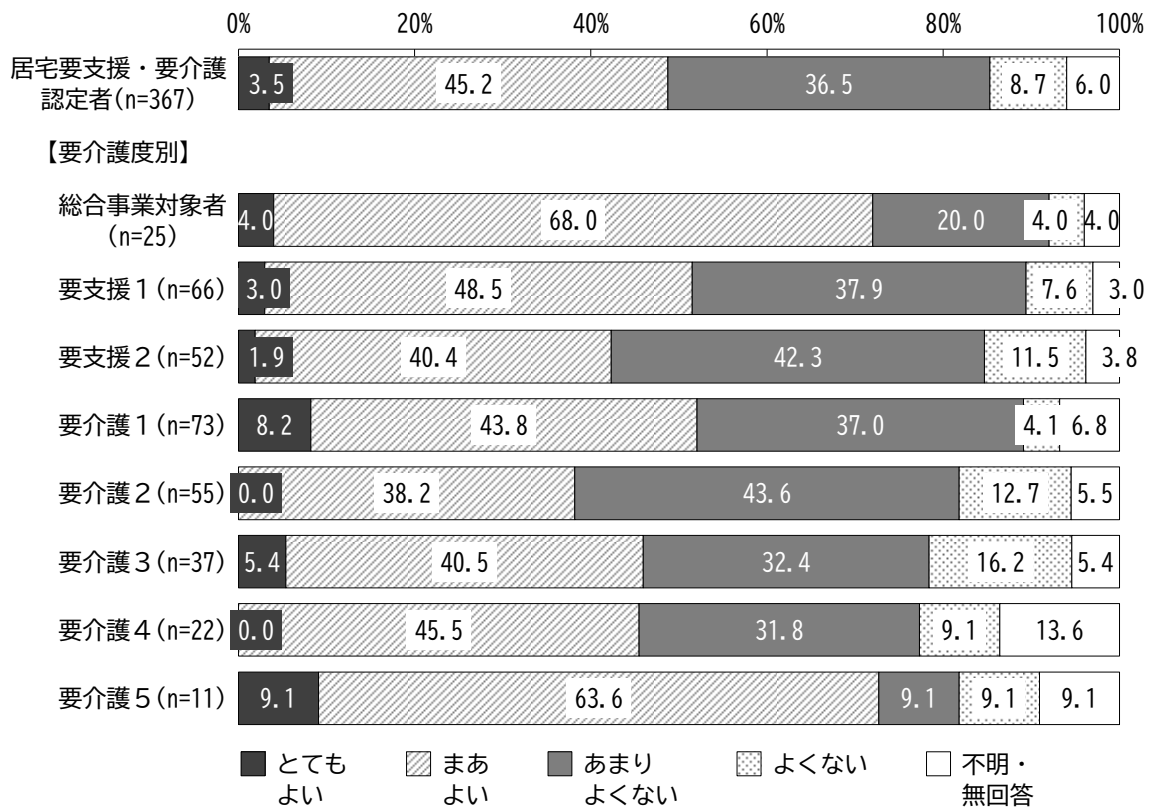
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『よい』 … 「とてもよい」と「まあよい」の合算

『よくない』 … 「あまりよくない」と「よくない」の合算

現在の健康状態は、全体で『よい』が48.7%、『よくない』が45.2%となっています。

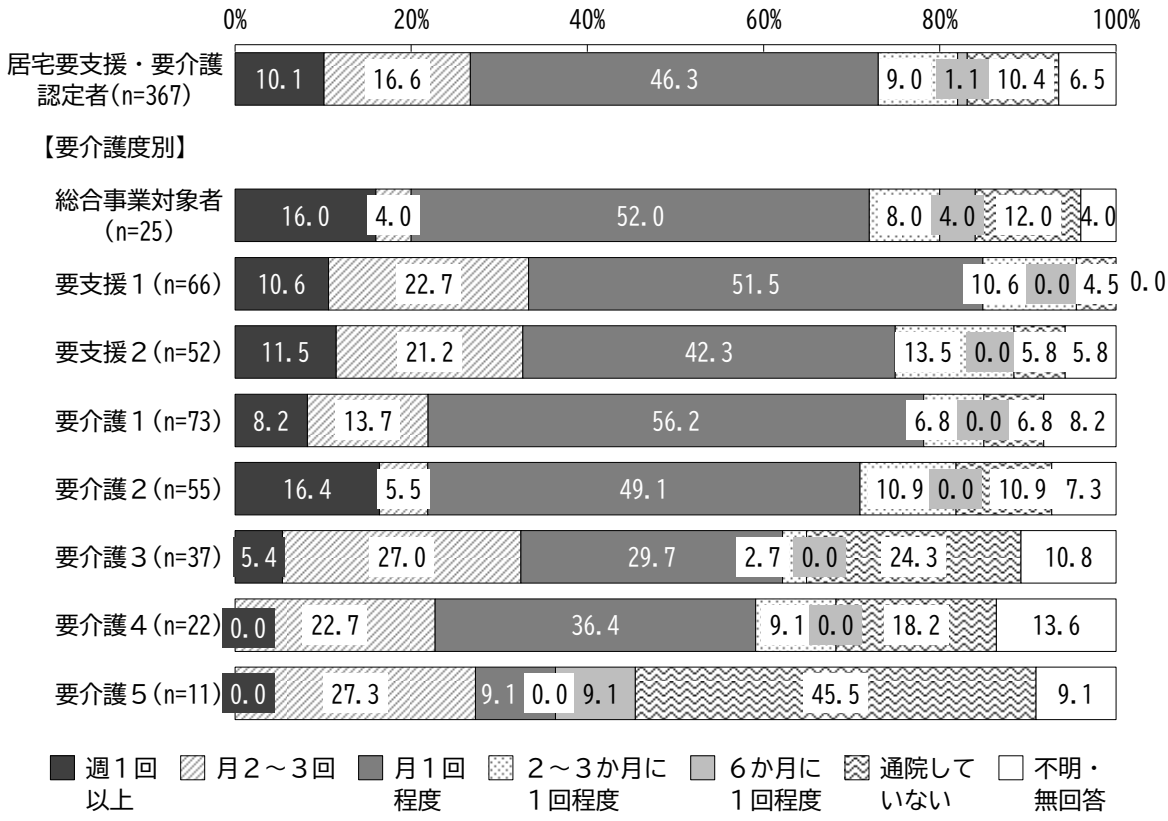
要介護度別では、総合事業対象者、要介護5で『よい』がそれぞれ7割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 13 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（単数回答）

病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかは、全体で「月1回程度」が46.3%と最も高く、次いで「月2～3回」が16.6%となっています。

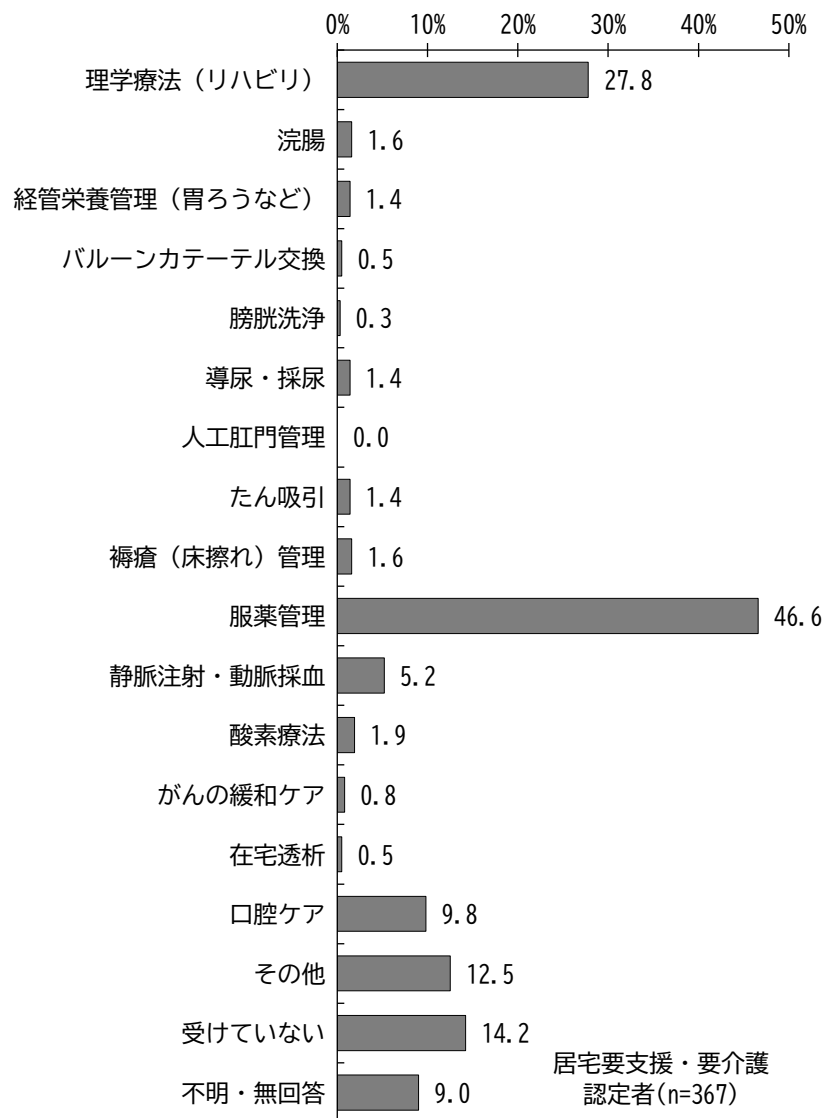
要介護度別では、要介護5を除いた要介護度等で「月1回程度」がそれぞれ最も高くなっています。



問 14 現在受けている処置は何ですか。(複数回答)

現在受けている処置は、全体で「服薬管理」が 46.6%と最も高く、次いで「理学療法（リハビリ）」が 27.8%となっています。

要介護度別では、要介護2・5を除いた要介護度で「服薬管理」がそれぞれ最も高くなっています。なお、「服薬管理」とともに要介護2では「理学療法（リハビリ）」が、要介護5では「口腔ケア」が、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

	理学療法（リハビリ）	浣腸	経管栄養管理（胃ろうなど）	バルーンカテーテル交換	膀胱洗浄	導尿・採尿	人工肛門管理	たん吸引	褥瘡（床擦れ）管理	服薬管理	静脈注射・動脈採血
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者（n=25）	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	56.0	0.0
要支援1（n=66）	30.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.9	6.1
要支援2（n=52）	34.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	51.9	9.6
要介護1（n=73）	21.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	47.9	4.1
要介護2（n=55）	38.2	3.6	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	38.2	3.6
要介護3（n=37）	27.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	40.5	8.1
要介護4（n=22）	27.3	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	59.1	0.0
要介護5（n=11）	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	18.2	18.2	54.5	0.0

	酸素療法	がんの緩和ケア	在宅透析	口腔ケア	その他	受けていない	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
総合事業対象者（n=25）	0.0	0.0	0.0	16.0	16.0	16.0	12.0
要支援1（n=66）	1.5	0.0	0.0	4.5	6.1	19.7	9.1
要支援2（n=52）	1.9	0.0	0.0	5.8	13.5	11.5	3.8
要介護1（n=73）	4.1	1.4	1.4	5.5	12.3	19.2	8.2
要介護2（n=55）	1.8	1.8	0.0	7.3	14.5	9.1	10.9
要介護3（n=37）	2.7	2.7	2.7	18.9	21.6	10.8	8.1
要介護4（n=22）	0.0	0.0	0.0	22.7	9.1	9.1	9.1
要介護5（n=11）	0.0	0.0	0.0	54.5	18.2	9.1	0.0

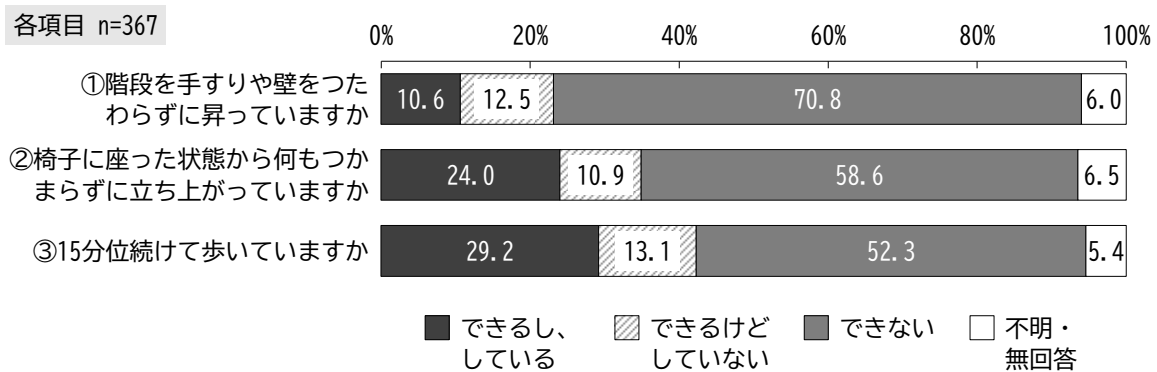
4. からだを動かすことについて

問 15 運動能力や身体状況について、あてはまるものをご回答ください。(各単数回答)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が10.6%、「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が70.8%となっています。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が24.0%、「できるけどしていない」が10.9%、「できない」が58.6%となっています。

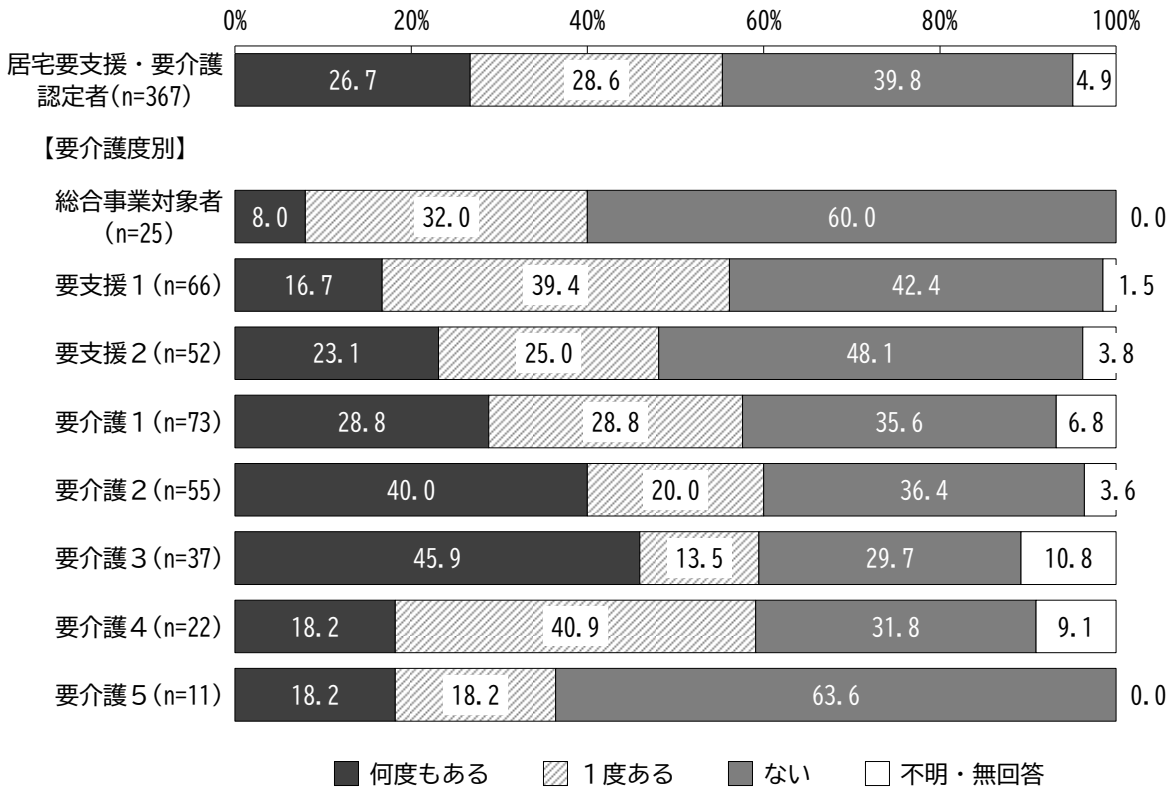
15分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が29.2%、「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が52.3%となっています。



問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

過去1年間に転んだ経験があるかは、全体で「何でもある」が26.7%、「1度ある」が28.6%、「ない」が39.8%となっています。

要介護度別では、要介護2・3で「何でもある」がそれぞれ4割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

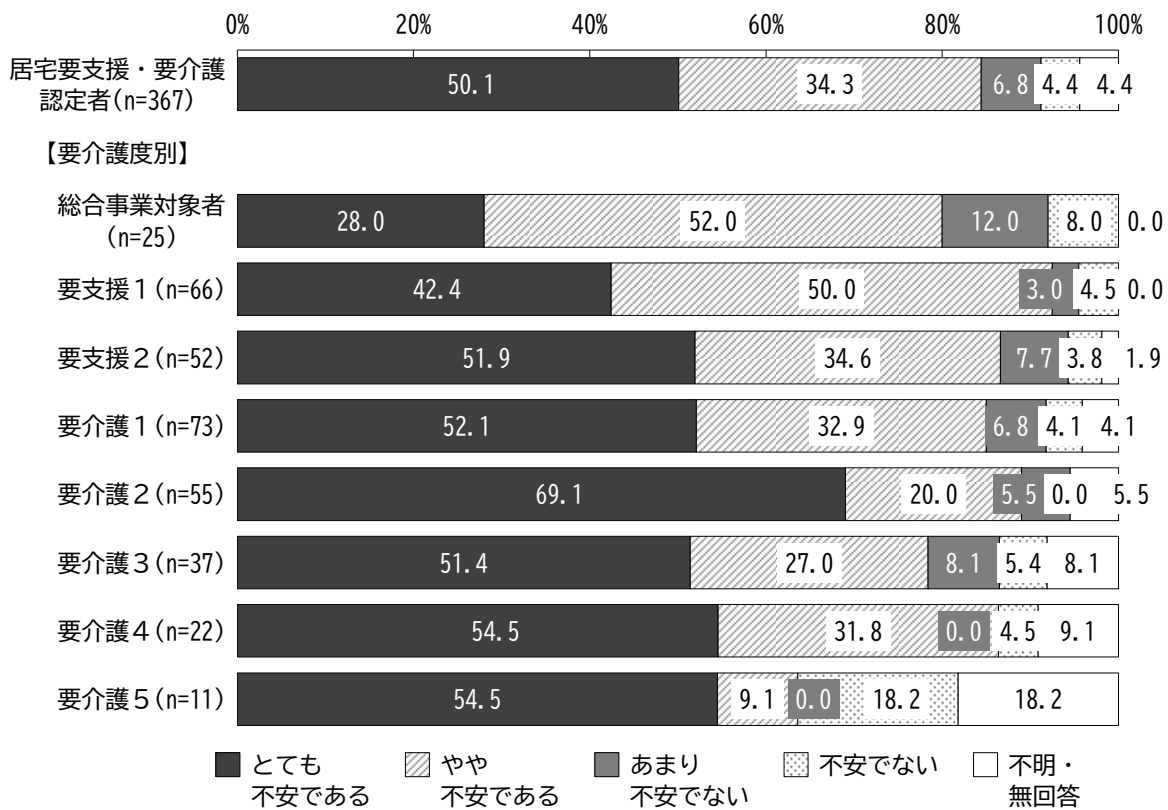


問 17 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。
 『不安である』 … 「とても不安である」と「やや不安である」の合算
 『不安でない』 … 「あまり不安でない」と「不安でない」の合算

転倒に対する不安は大きいかは、全体で『不安である』が84.4%、『不安でない』が11.2%となっています。

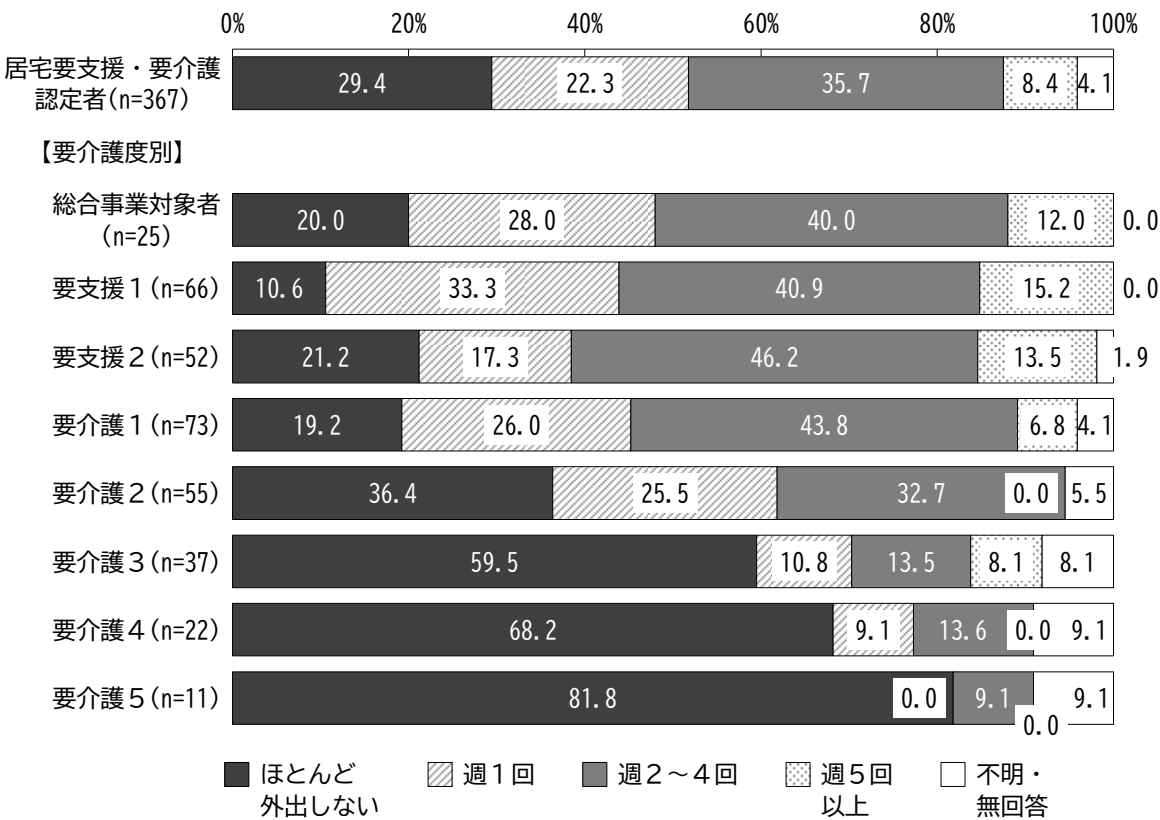
要介護度別では、要介護5を除いた要介護度等で『不安である』がそれぞれ7割以上となっており、要支援1では92.4%と高くなっています。



問 18 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

週に1回以上は外出しているかは、全体で「週2～4回」が35.7%と最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が29.4%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者、要支援1～要介護1で「週2～4回」がそれぞれ4割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。要介護2以降では要介護度が重くなるにつれて、「ほとんど外出しない」が高くなっています。



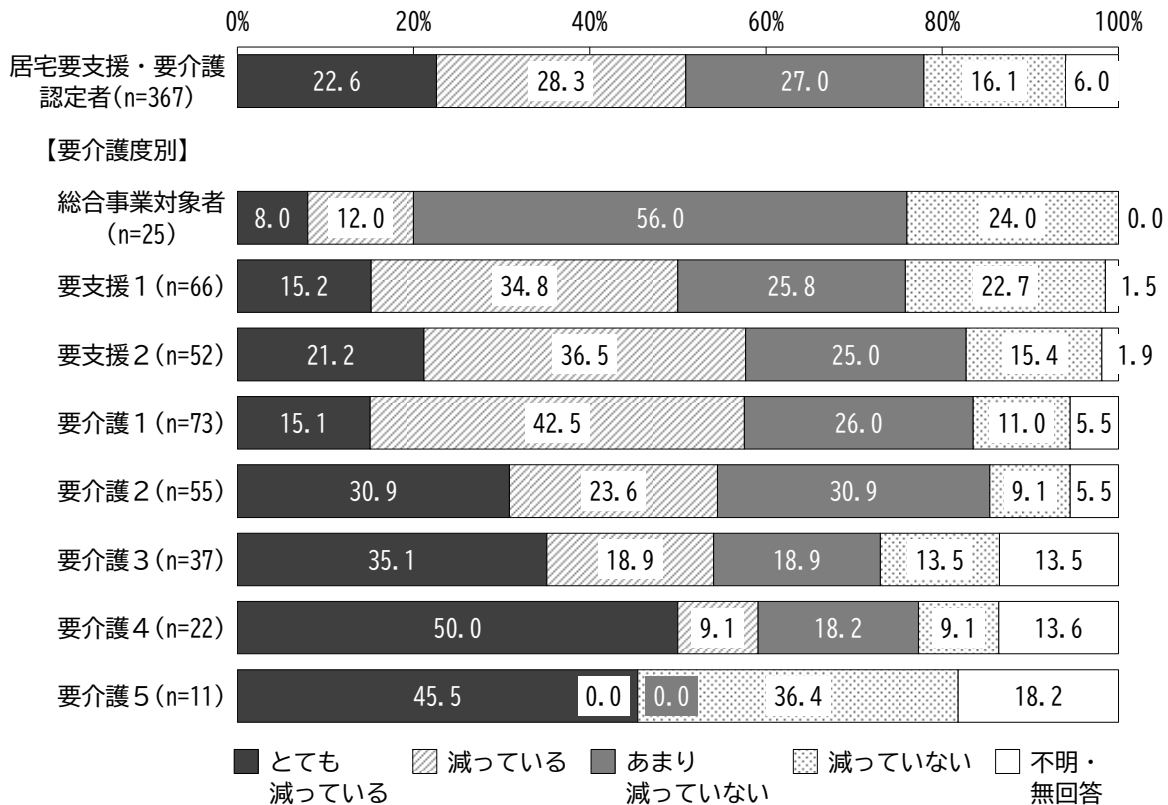
問 19 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『減っている』 … 「とても減っている」と「減っている」の合算
- 『減っていない』 … 「あまり減っていない」と「減っていない」の合算

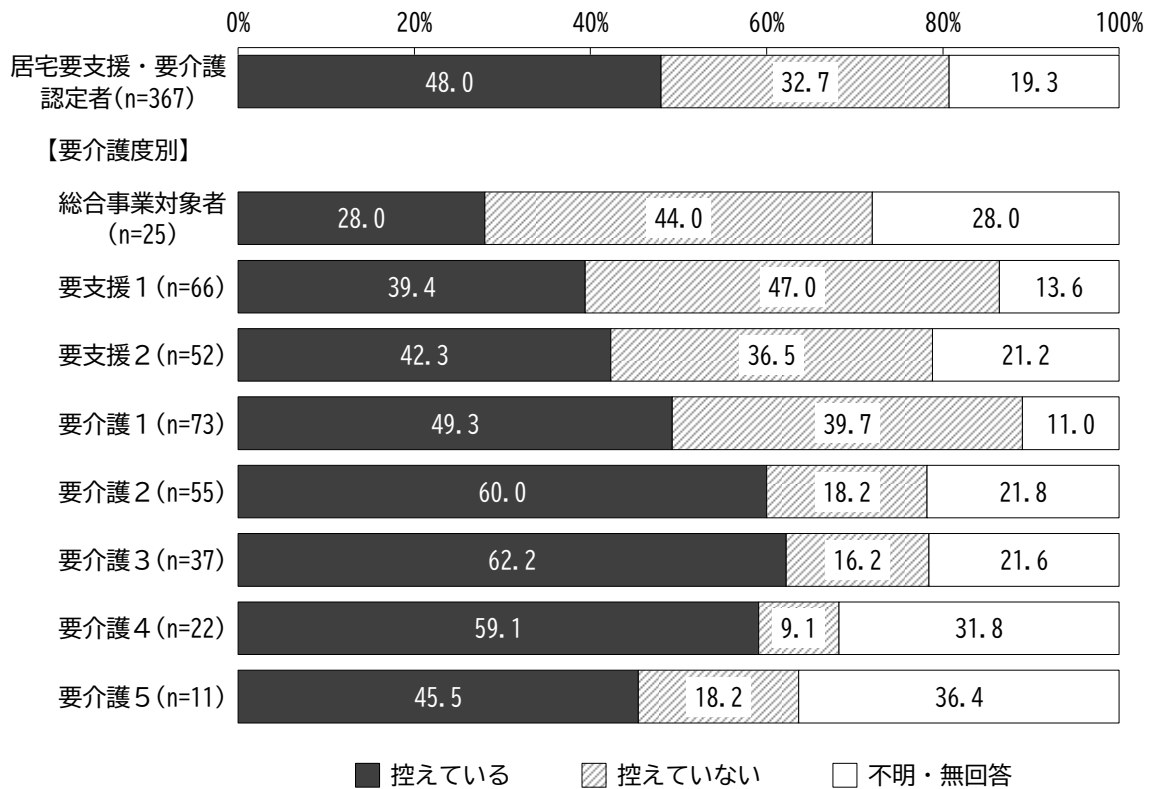
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、全体で『減っている』が 50.9%、『減っていない』が 43.1% となっています。

要介護度別では、要支援1～要介護4で『減っている』がそれぞれ5割台となっています。



問 20 外出を控えていますか。(単数回答)

外出を控えているかは、全体で「控えている」が48.0%、「控えていない」が32.7%となっています。
要介護度別では、要介護2～4で「控えている」がそれぞれ約6割となっています。

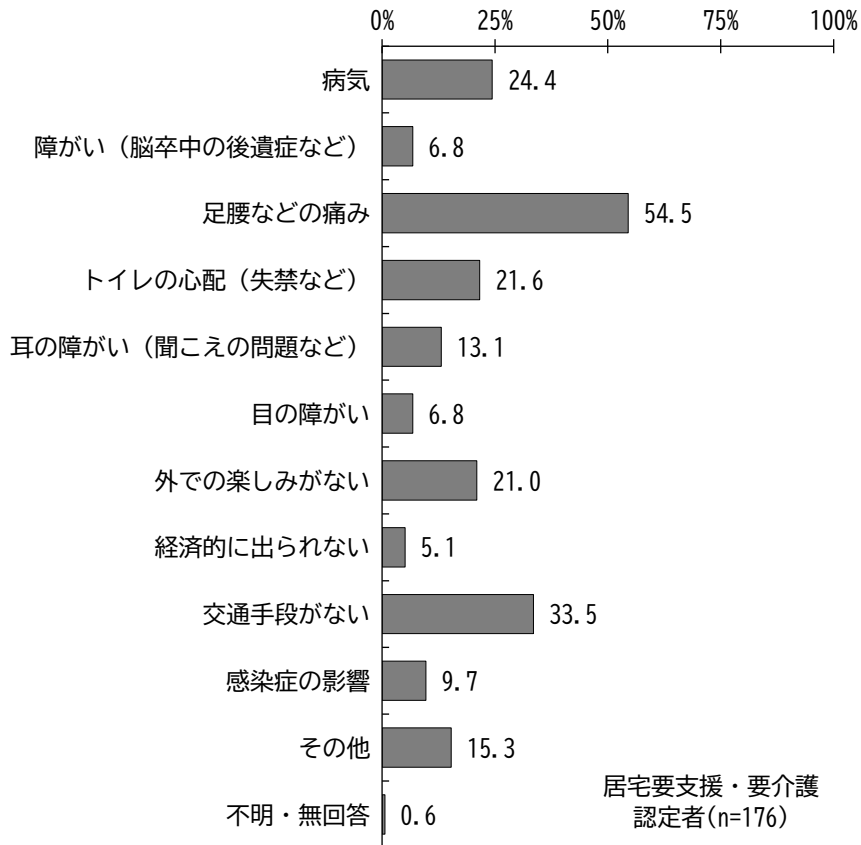


問20で「控えている」と回答した方のみ

問20-1 外出を控えている理由をご回答ください。(複数回答)

外出を控えている理由は、全体で「足腰などの痛み」が54.5%と最も高く、次いで「交通手段がない」が33.5%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「足腰などの痛み」がそれぞれ最も高く、要支援1～要介護2では次いで「交通手段がない」がそれぞれ3～4割台で高くなっています。



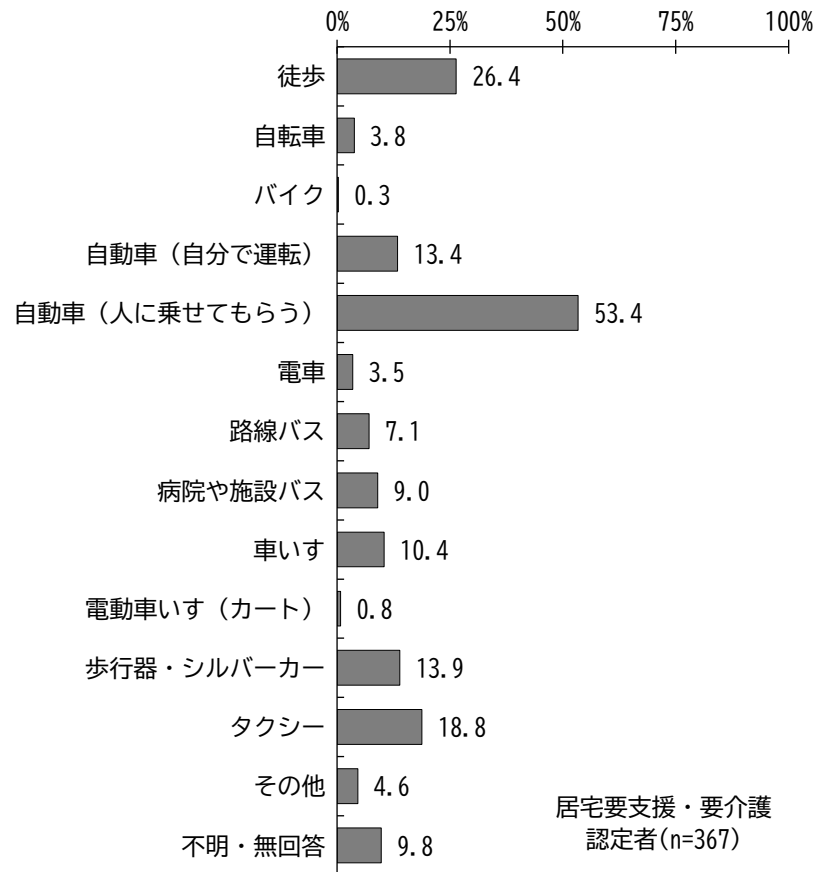
■クロス集計

	病気	障がい(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障がい(聞こえの問題など)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	感染症の影響	その他	不明・無回答
(単位: %)												
【要介護度別】												
総合事業対象者(n=7)	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
要支援1(n=26)	15.4	0.0	61.5	23.1	19.2	3.8	34.6	7.7	38.5	7.7	7.7	3.8
要支援2(n=22)	18.2	9.1	68.2	4.5	9.1	9.1	22.7	0.0	40.9	4.5	13.6	0.0
要介護1(n=36)	13.9	2.8	58.3	22.2	22.2	13.9	25.0	5.6	38.9	5.6	13.9	0.0
要介護2(n=33)	30.3	9.1	63.6	27.3	9.1	3.0	18.2	0.0	33.3	18.2	18.2	0.0
要介護3(n=23)	34.8	8.7	47.8	26.1	13.0	4.3	8.7	8.7	26.1	17.4	17.4	0.0
要介護4(n=13)	30.8	15.4	38.5	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	30.8	0.0
要介護5(n=5)	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0

問 21 外出する際の移動手段は何ですか。(複数回答)

外出する際の移動手段は、全体で「自動車（人に乗せてもらう）」が 53.4%と最も高く、次いで「徒歩」が 26.4%となっています。

要介護度別では、要介護4までは「自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ最も高く、要介護5は「自動車（人に乗せてもらう）」とともに「車いす」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

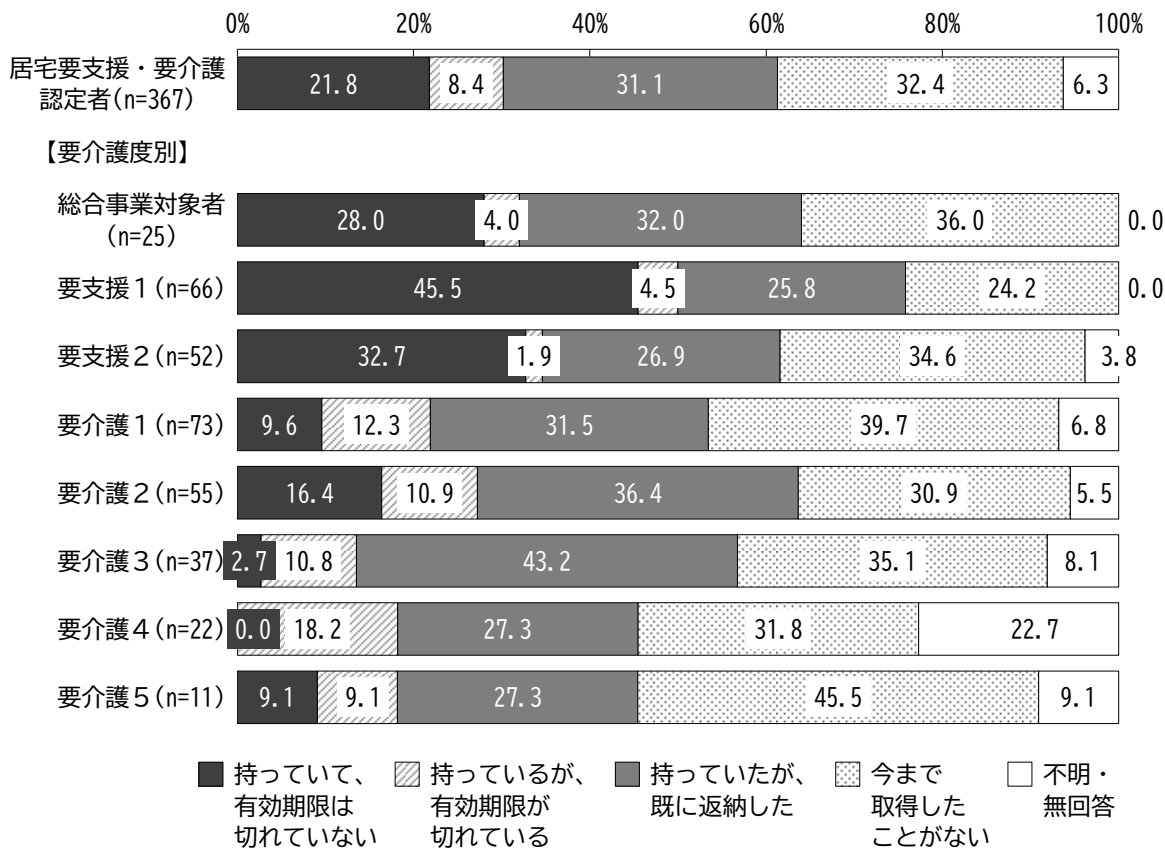
	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもら う)	電車	路線バス	病院や施設バス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者 (n=25)	36.0	4.0	0.0	20.0	52.0	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0
要支援1 (n=66)	39.4	7.6	0.0	34.8	43.9	9.1	12.1	9.1	3.0	0.0	21.2
要支援2 (n=52)	26.9	3.8	0.0	21.2	50.0	7.7	15.4	9.6	5.8	1.9	17.3
要介護1 (n=73)	37.0	2.7	1.4	2.7	65.8	0.0	5.5	11.0	4.1	1.4	16.4
要介護2 (n=55)	14.5	5.5	0.0	5.5	58.2	1.8	3.6	7.3	12.7	0.0	10.9
要介護3 (n=37)	13.5	0.0	0.0	0.0	62.2	0.0	0.0	8.1	27.0	0.0	13.5
要介護4 (n=22)	4.5	0.0	0.0	0.0	31.8	4.5	0.0	4.5	27.3	0.0	4.5
要介護5 (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1	36.4	0.0	0.0

	タクシー	その他	不明・ 無回答
(単位：%)			
【要介護度別】			
総合事業対象者 (n=25)	16.0	4.0	4.0
要支援1 (n=66)	25.8	0.0	1.5
要支援2 (n=52)	28.8	9.6	5.8
要介護1 (n=73)	11.0	4.1	9.6
要介護2 (n=55)	25.5	3.6	10.9
要介護3 (n=37)	8.1	2.7	18.9
要介護4 (n=22)	18.2	9.1	27.3
要介護5 (n=11)	0.0	9.1	18.2

問 22 運転免許証を持っていますか。(単数回答)

運転免許証を持っているかは、全体で「今まで取得したことがない」が 32.4%と最も高く、次いで「持っていたが、既に返納した」が 31.1%となっています。有効期限が切れていない運転免許証を持っている方は、21.8%となっています。

要介護度別では、要支援1で「持っていて、有効期限は切れていない」が 45.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。なお、要介護3で「持っていたが、既に返納した」が 43.2%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

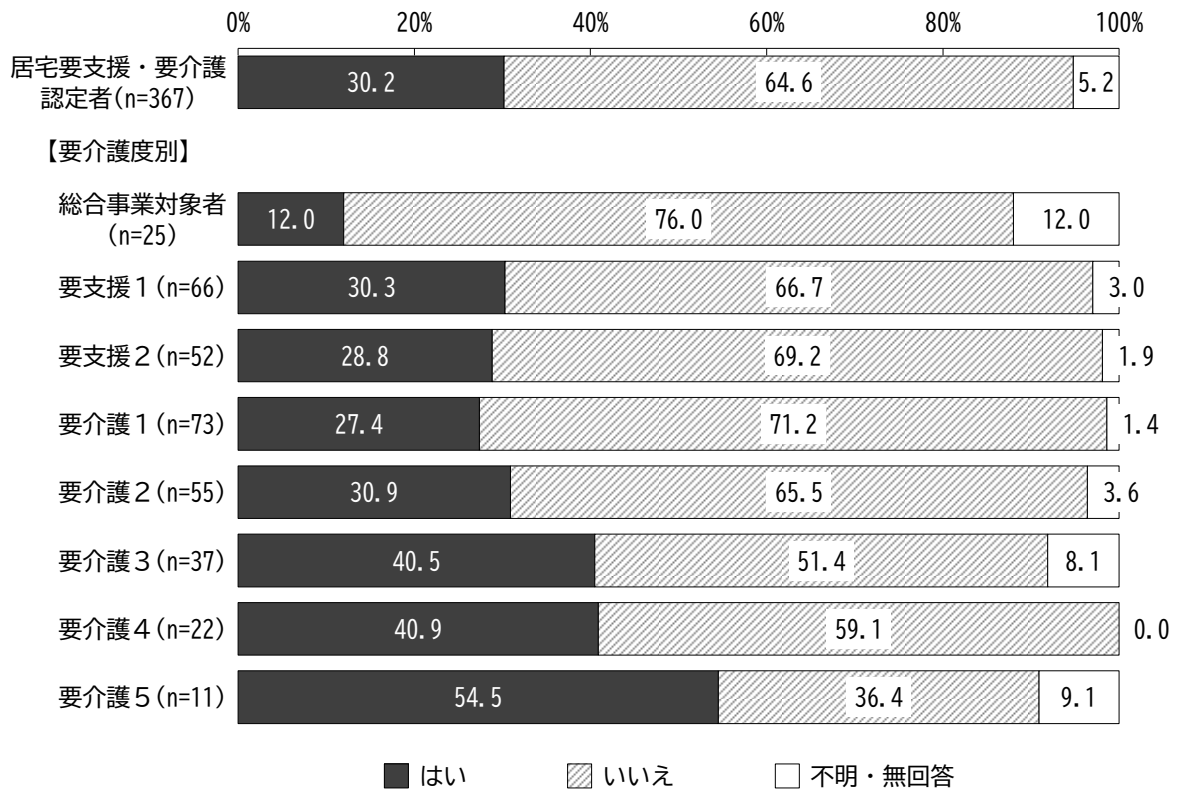


5. 食べることについて

問 23 この半年で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。(単数回答)

この半年で2～3 kg以上の体重減少があったかは、全体で「はい」が30.2%、「いいえ」が64.6%となっています。

要介護度別では、要介護5で「はい」が54.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 24 歯や口の健康状態について、あてはまるものをご回答ください。(各単数回答)

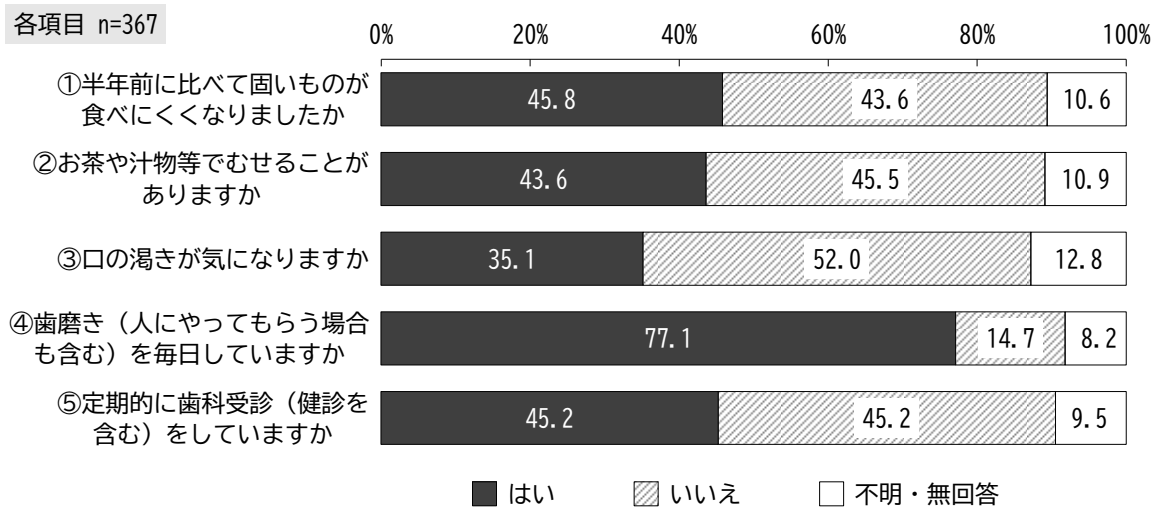
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」が45.8%、「いいえ」が43.6%となっています。

お茶や汁物等でむせることがあるかは、「はい」が43.6%、「いいえ」が45.5%となっています。

口の渴きが気になるかは、「はい」が35.1%、「いいえ」が52.0%となっています。

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかは、「はい」が77.1%、「いいえ」が14.7%となっています。

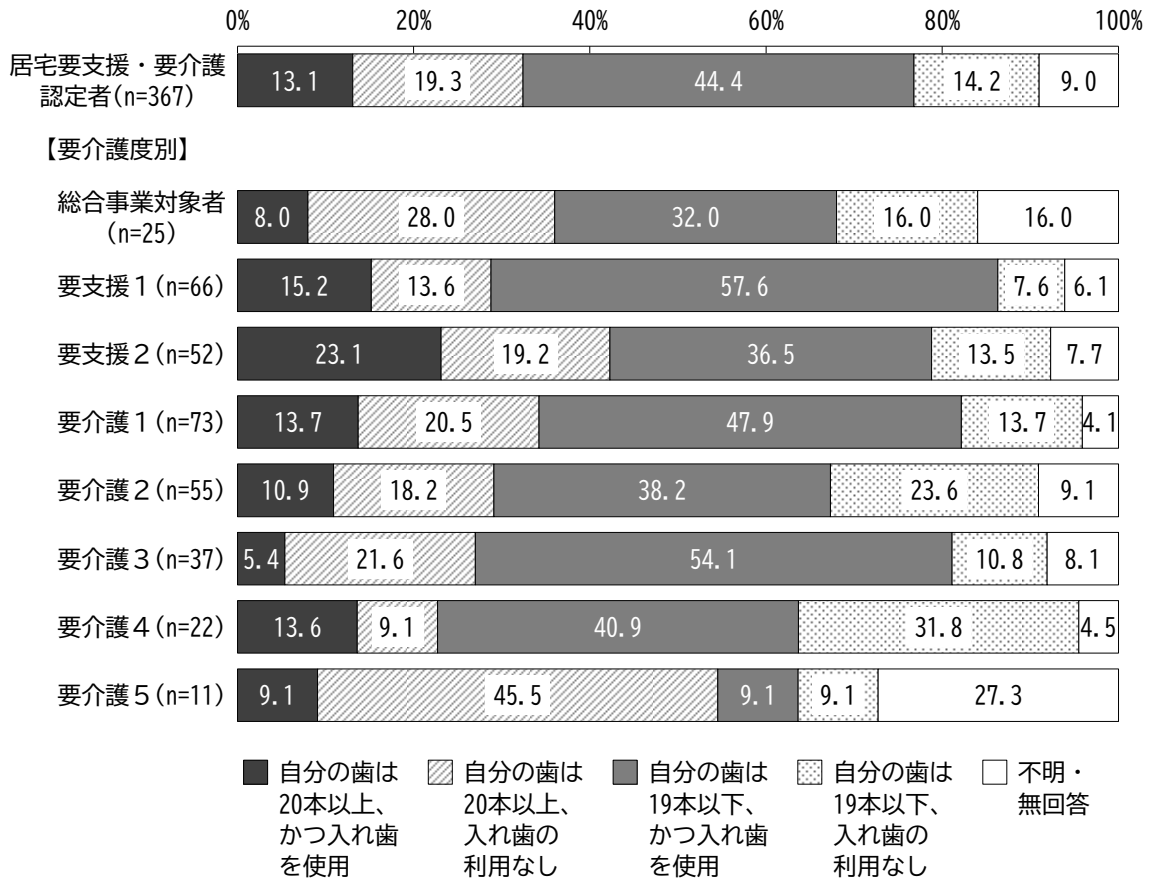
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかは、「はい」が45.2%、「いいえ」が45.2%となっています。



問 25 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。(単数回答)

歯の数と入れ歯の利用状況は、全体で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用」が 44.4%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 19.3%となっています。

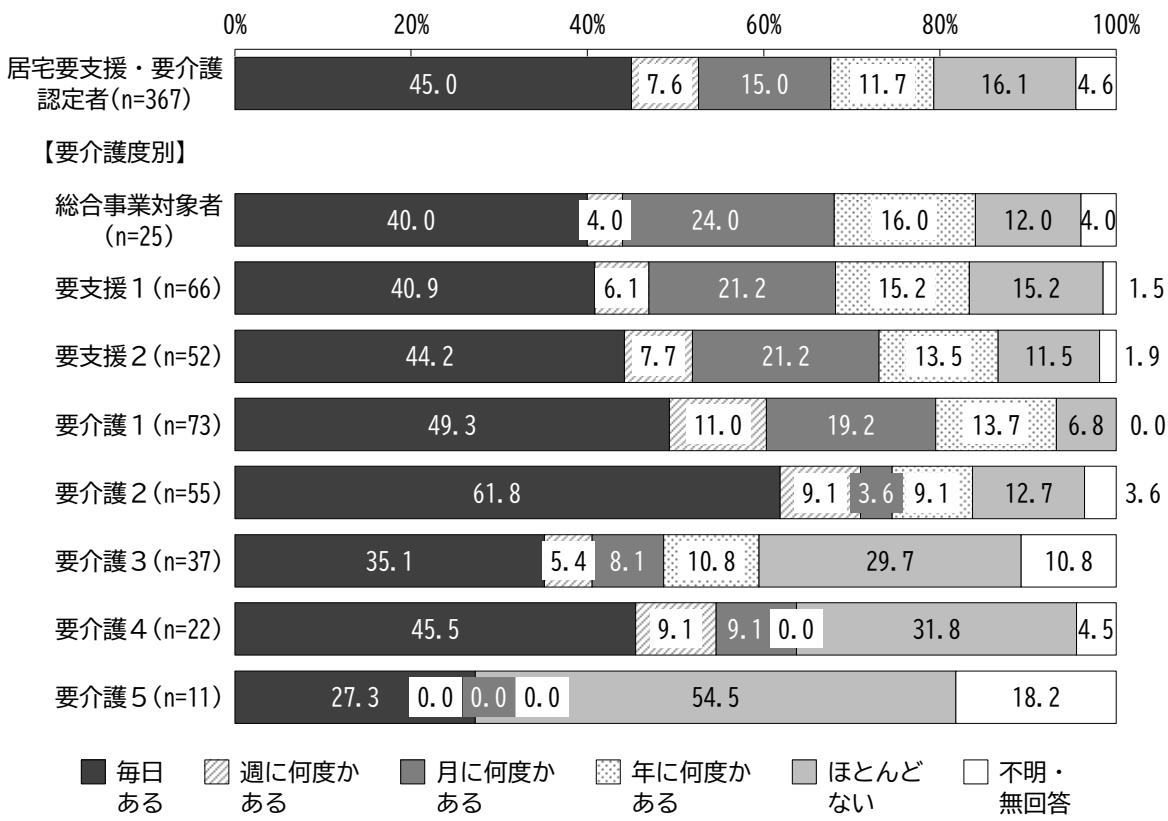
要介護度別では、要支援 1、要介護 3 で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用」がそれぞれ 5 割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 26 どなたか（家族や友人など）と食事をとにもする機会がありますか。（単数回答）

どなたか（家族や友人など）と食事をとにもする機会はあるかは、全体で「毎日ある」が45.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」が16.1%となっています。

要介護度別では、要介護2で「毎日ある」が61.8%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

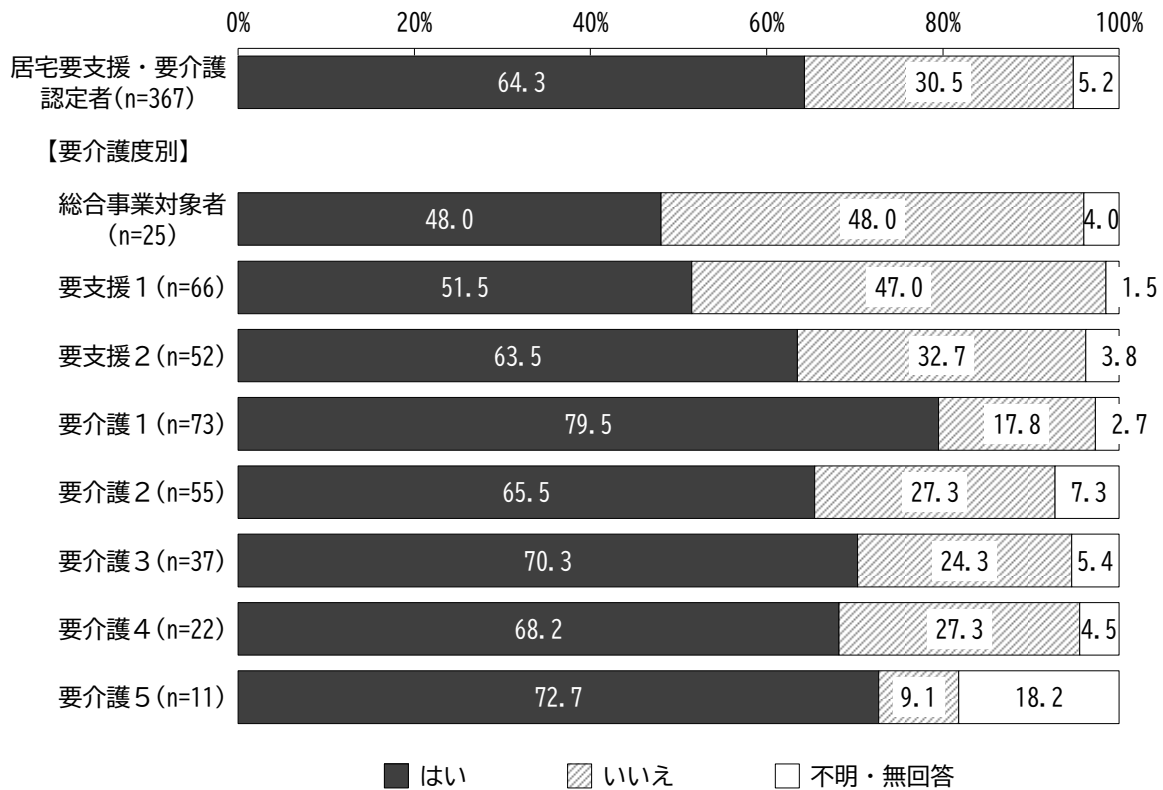


6. 毎日の生活について

問 27 日常生活で物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

日常生活で物忘れが多いと感じるかは、全体で「はい」が64.3%、「いいえ」が30.5%となっています。

要介護度別では、要介護1で「はい」が79.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 28 日常生活での活動について、あてはまるものをご回答ください。(各単数回答)

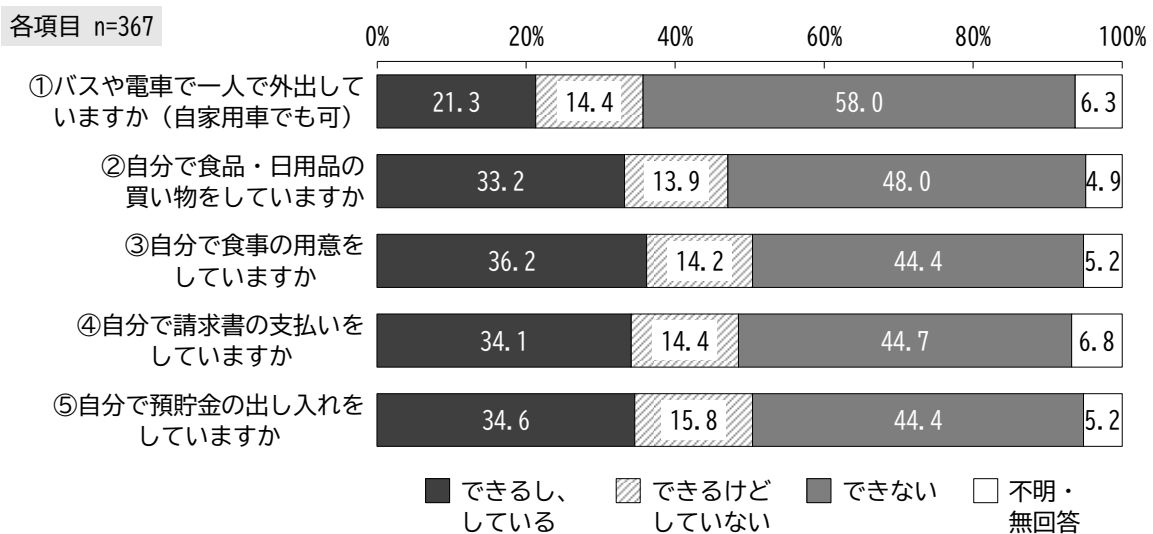
バスや電車で一人で外出しているかは、「できるし、している」が 21.3%、「できるけどしていない」が 14.4%、「できない」が 58.0%となっています。

自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が 33.2%、「できるけどしていない」が 13.9%、「できない」が 48.0%となっています。

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が 36.2%、「できるけどしていない」が 14.2%、「できない」が 44.4%となっています。

自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が 34.1%、「できるけどしていない」が 14.4%、「できない」が 44.7%となっています。

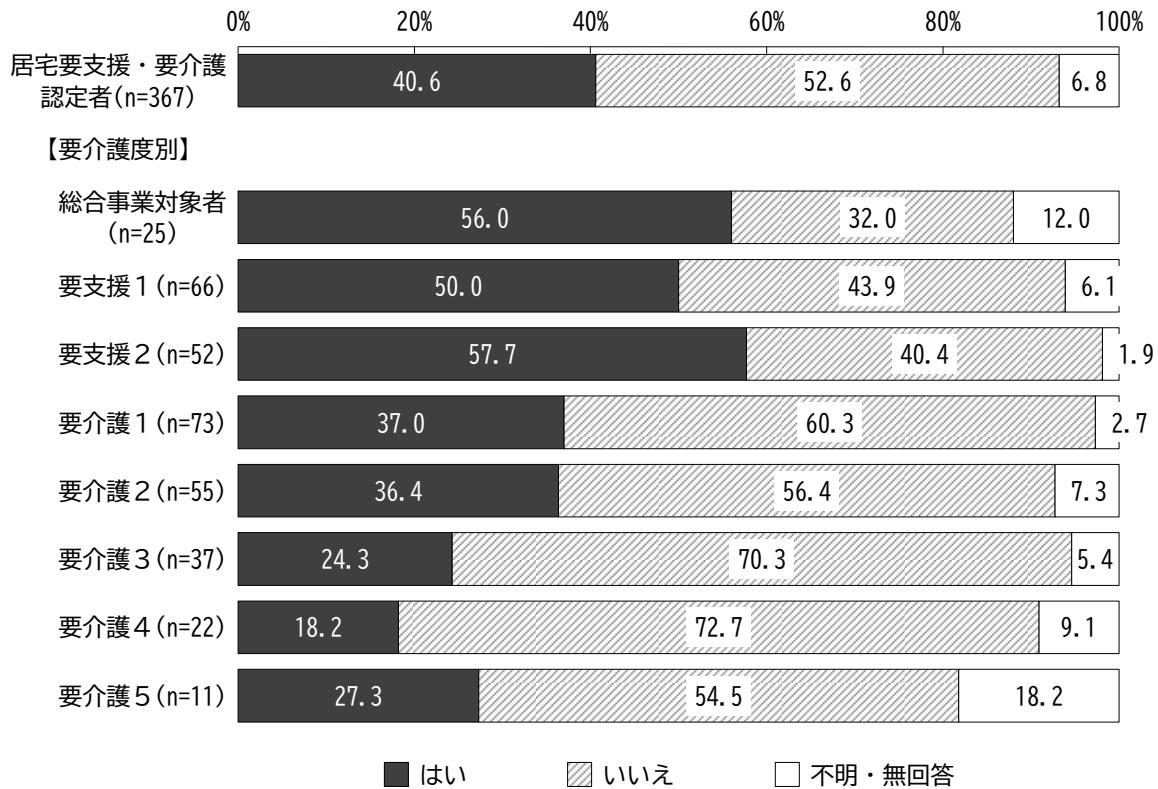
自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が 34.6%、「できるけどしていない」が 15.8%、「できない」が 44.4%となっています。



問 29 趣味はありますか。(単数回答)

趣味があるかは、全体で「はい」が40.6%、「いいえ」が52.6%となっています。

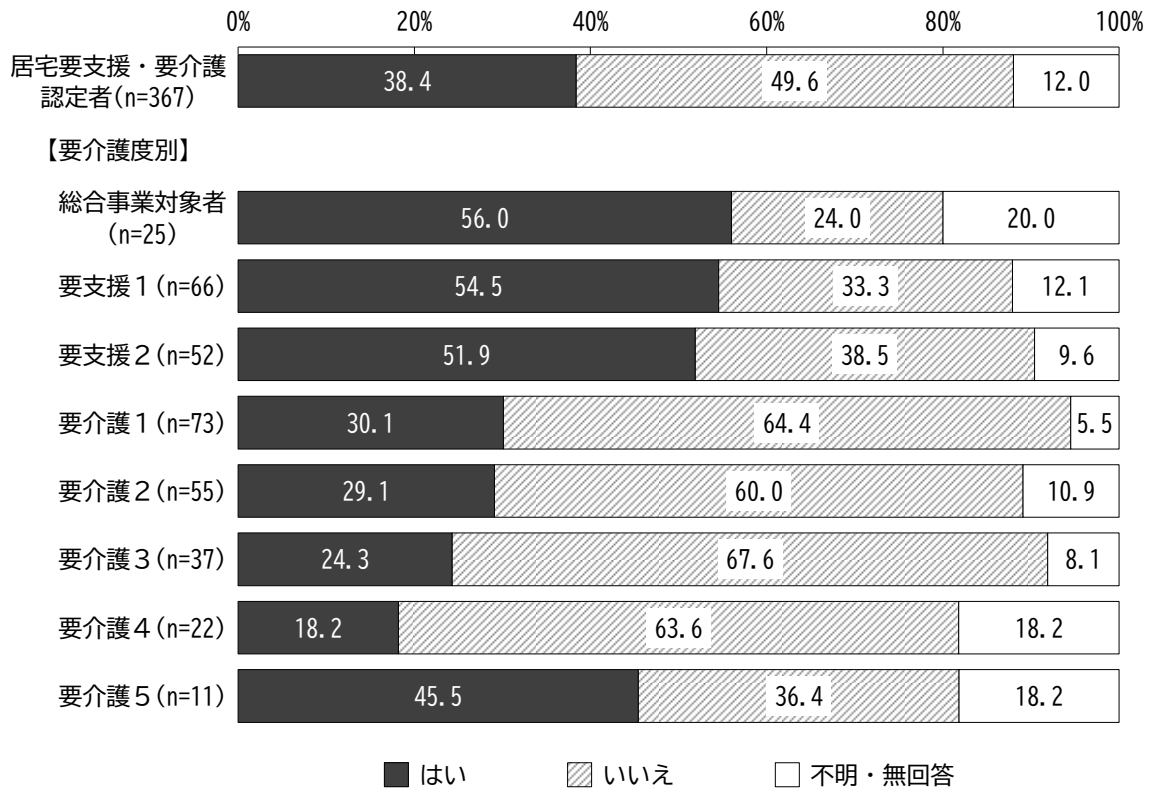
要介護度別では、総合事業対象者、要支援1・2で「はい」がそれぞれ5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 30 生きがいがありますか。(単数回答)

生きがいがあるかは、全体で「はい」が38.4%、「いいえ」が49.6%となっています。

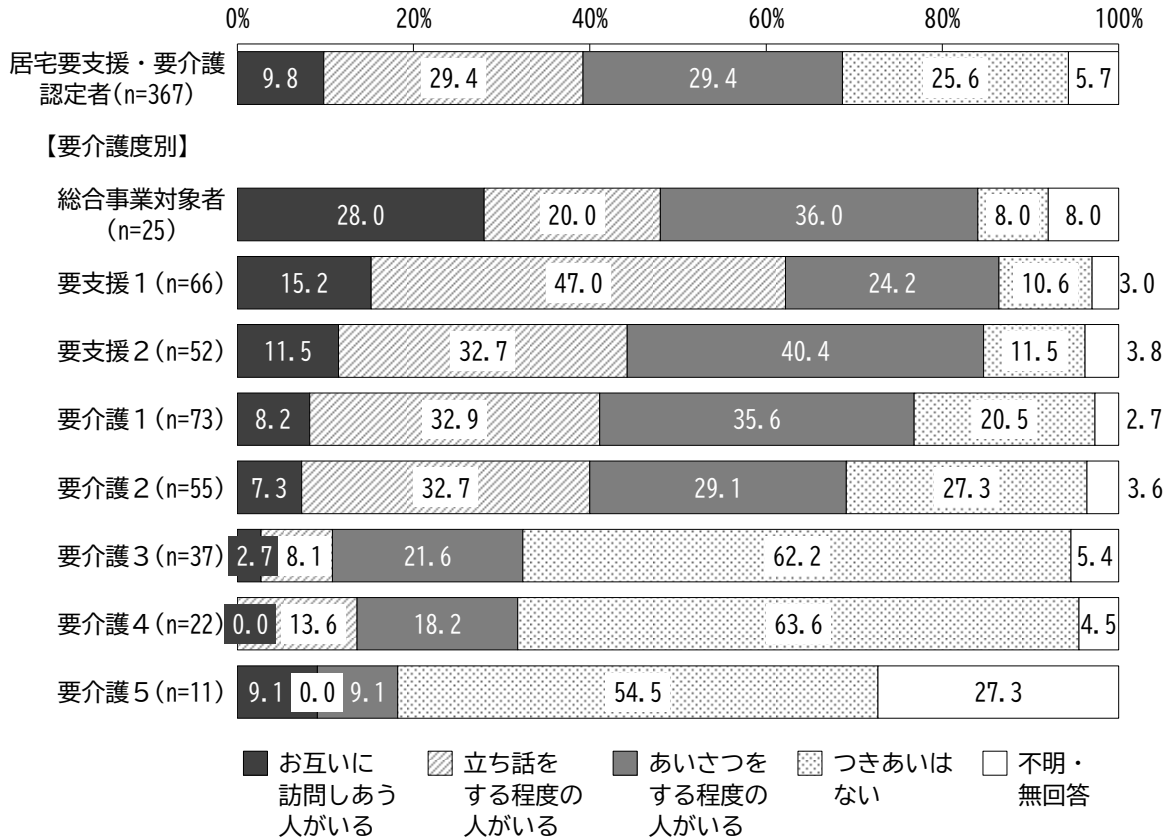
要介護度別では、総合事業対象者、要支援1・2で「はい」がそれぞれ5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 31 近所の方とどの程度つきあいをしていますか。(単数回答)

近所の方とのつきあいの程度は、全体で「立ち話をする程度の人がある」「あいさつをする程度の人がある」がそれぞれ 29.4%と最も高く、次いで「つきあいはない」が 25.6%となっています。

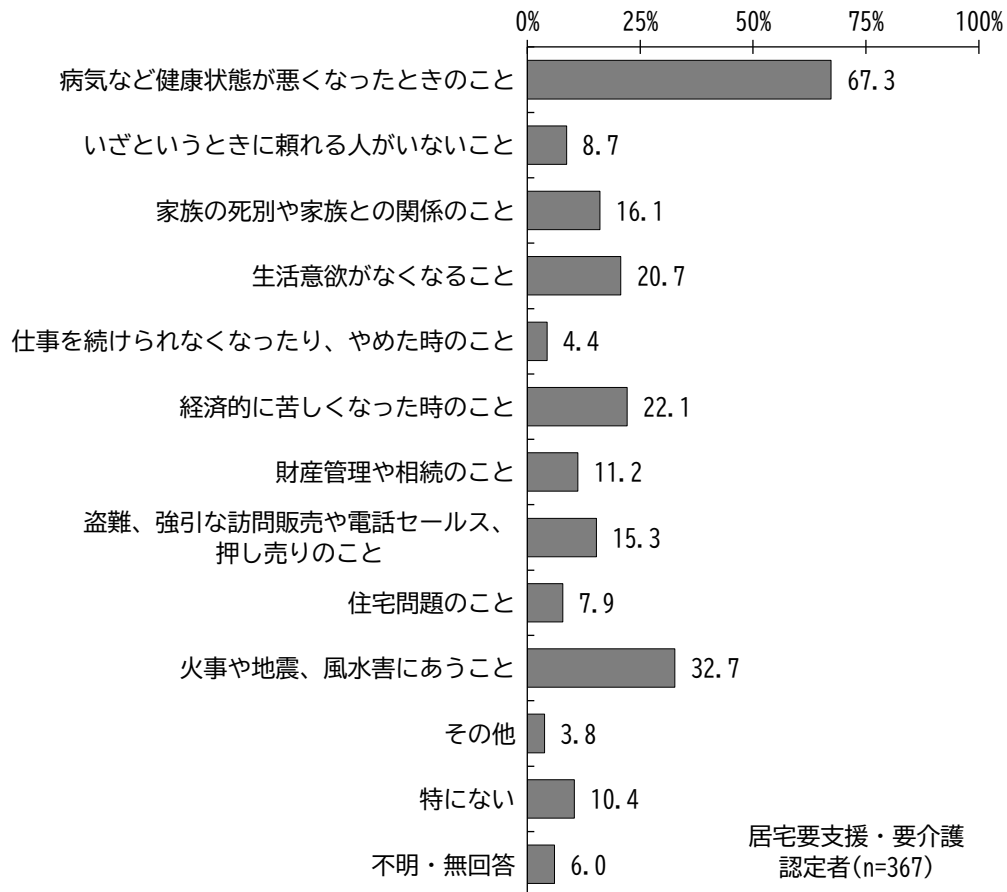
要介護度別では、要介護3・4で「つきあいはない」がそれぞれ6割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 32 日頃生活する中で不安に思っていることはありますか。(複数回答)

日頃生活する中で不安に思っていることは、全体で「病気など健康状態が悪くなったときのこと」が67.3%と最も高く、次いで「火事や地震、風水害にあうこと」が32.7%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「病気など健康状態が悪くなったときのこと」がそれぞれ最も高く、要介護2では80.0%と高くなっています。



■クロス集計

	病気など健康状態が悪くなったときのこと	いざというときに頼れる人がいないこと	家族の死別や家族との関係のこと	生活意欲がなくなること	仕事を続けられなくなったり、やめた時のこと	経済的に苦しくなった時のこと	財産管理や相続のこと	盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売りのこと	住宅問題のこと	火事や地震、風水害にあつこと	その他
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者 (n=25)	64.0	8.0	4.0	8.0	4.0	12.0	4.0	20.0	0.0	40.0	0.0
要支援1 (n=66)	74.2	10.6	16.7	31.8	9.1	18.2	13.6	18.2	12.1	36.4	4.5
要支援2 (n=52)	75.0	5.8	17.3	13.5	3.8	23.1	7.7	21.2	5.8	34.6	3.8
要介護1 (n=73)	60.3	15.1	9.6	21.9	1.4	23.3	13.7	17.8	11.0	30.1	4.1
要介護2 (n=55)	80.0	7.3	23.6	21.8	5.5	23.6	7.3	9.1	9.1	38.2	5.5
要介護3 (n=37)	67.6	5.4	27.0	29.7	5.4	35.1	16.2	16.2	5.4	27.0	5.4
要介護4 (n=22)	54.5	4.5	9.1	18.2	0.0	27.3	9.1	4.5	4.5	18.2	0.0
要介護5 (n=11)	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0

	特 に ない	不 明 ・ 無 回 答
(単位：%)		
【要介護度別】		
総合事業対象者 (n=25)	8.0	4.0
要支援1 (n=66)	7.6	1.5
要支援2 (n=52)	5.8	3.8
要介護1 (n=73)	13.7	2.7
要介護2 (n=55)	5.5	5.5
要介護3 (n=37)	8.1	5.4
要介護4 (n=22)	18.2	18.2
要介護5 (n=11)	27.3	18.2

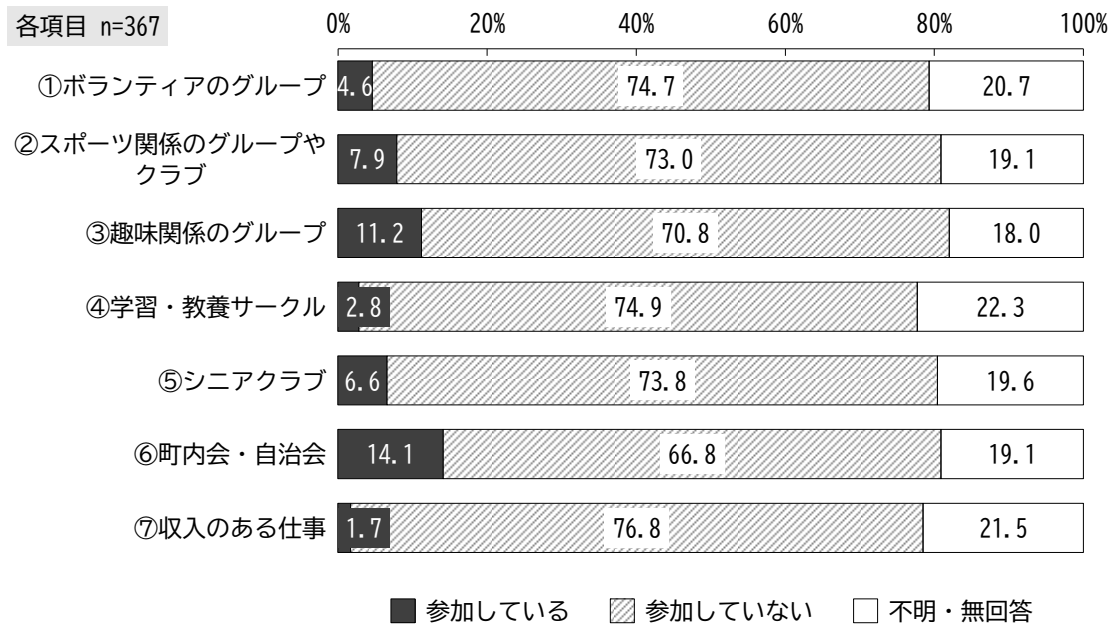
7. 地域での活動について

問 33 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(各単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

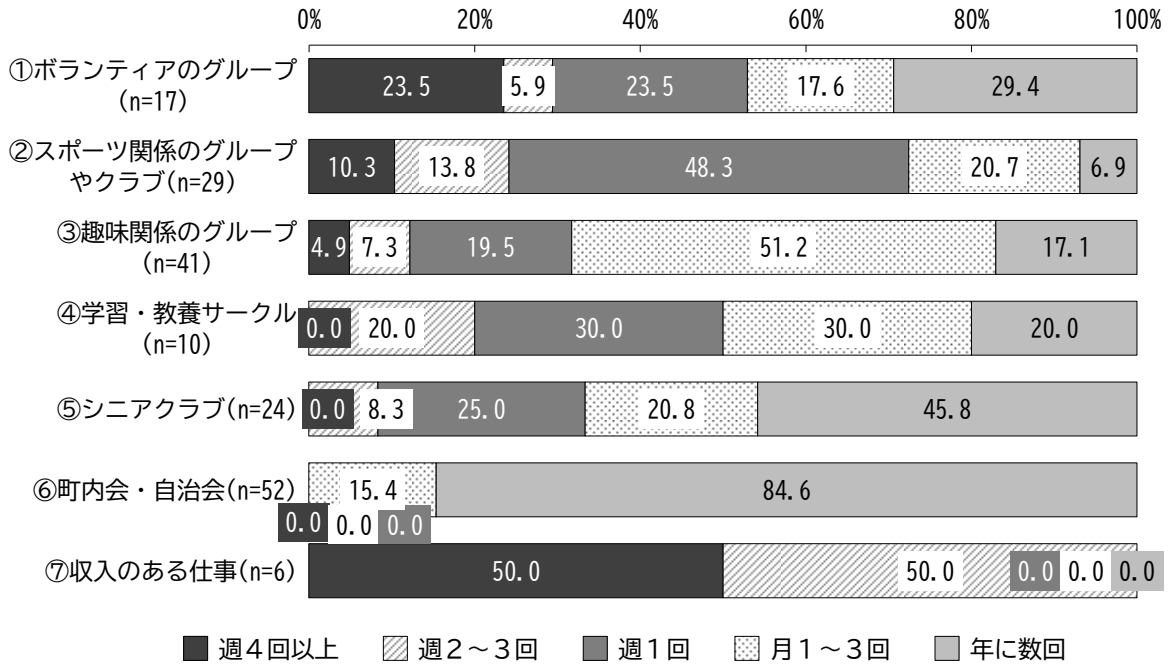
『参加している』…「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合算

会・グループ等への参加状況は、〔③趣味関係のグループ〕〔⑥町内会・自治会〕で『参加している』がそれぞれ1割台と、他の項目と比べて高くなっています。



◆会・グループ等への参加頻度（各単数回答）

会・グループ等への参加頻度の結果は、以下のとおりとなっています。

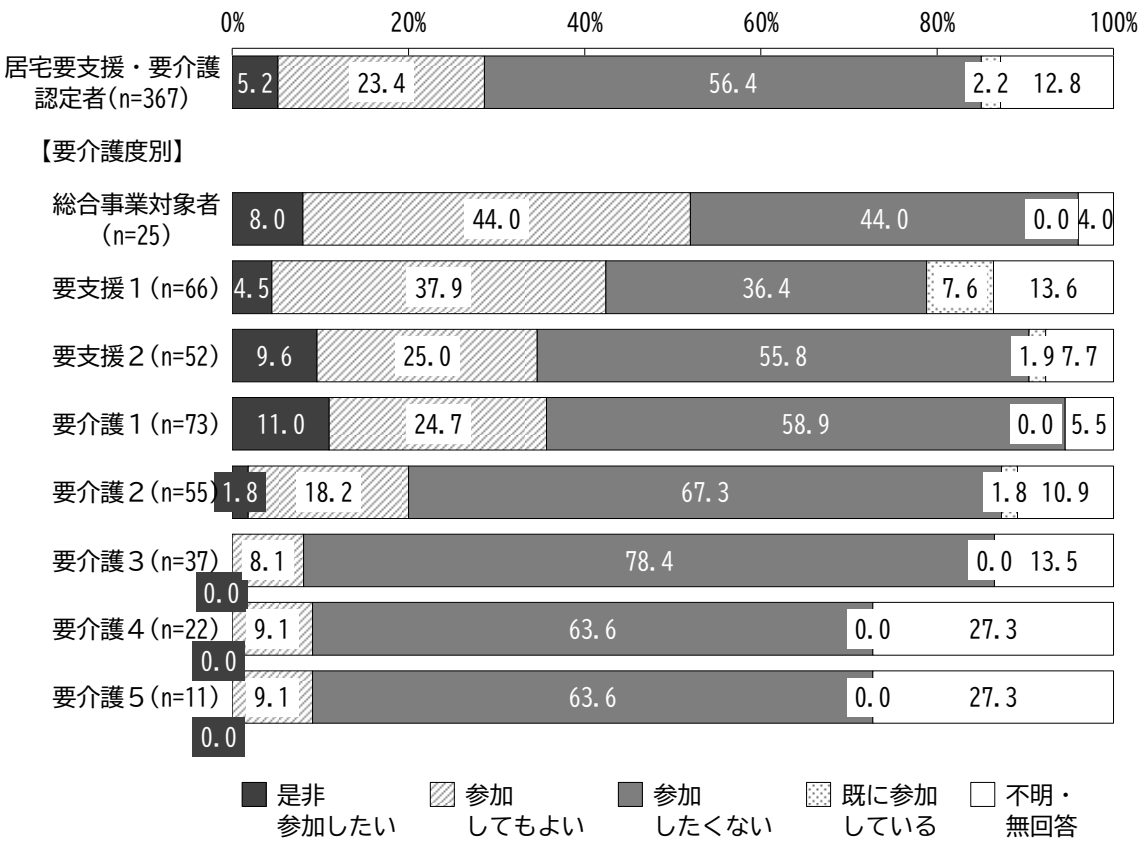


※「参加していない」「不明・無回答」を除き算出。

問 34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

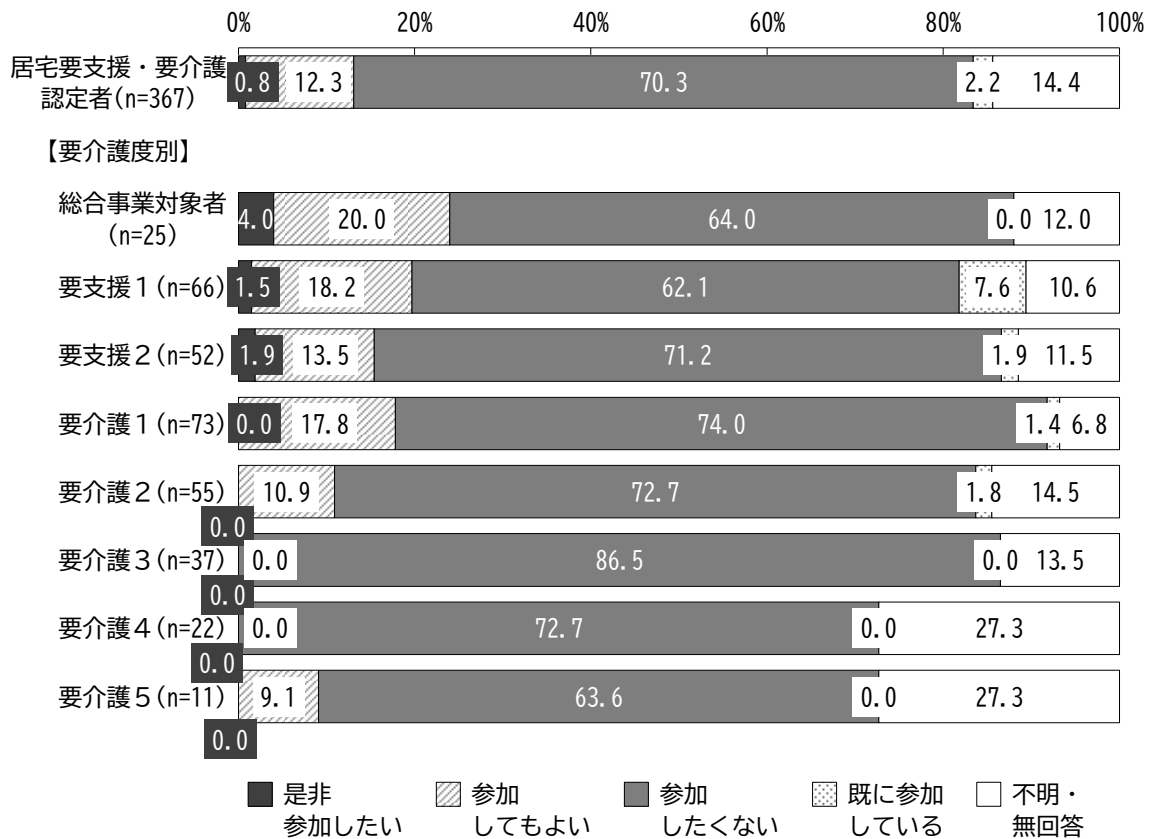
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかは、全体で「参加したくない」が56.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」が23.4%となっています。

要介護度別では、要介護3で「参加したくない」が78.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

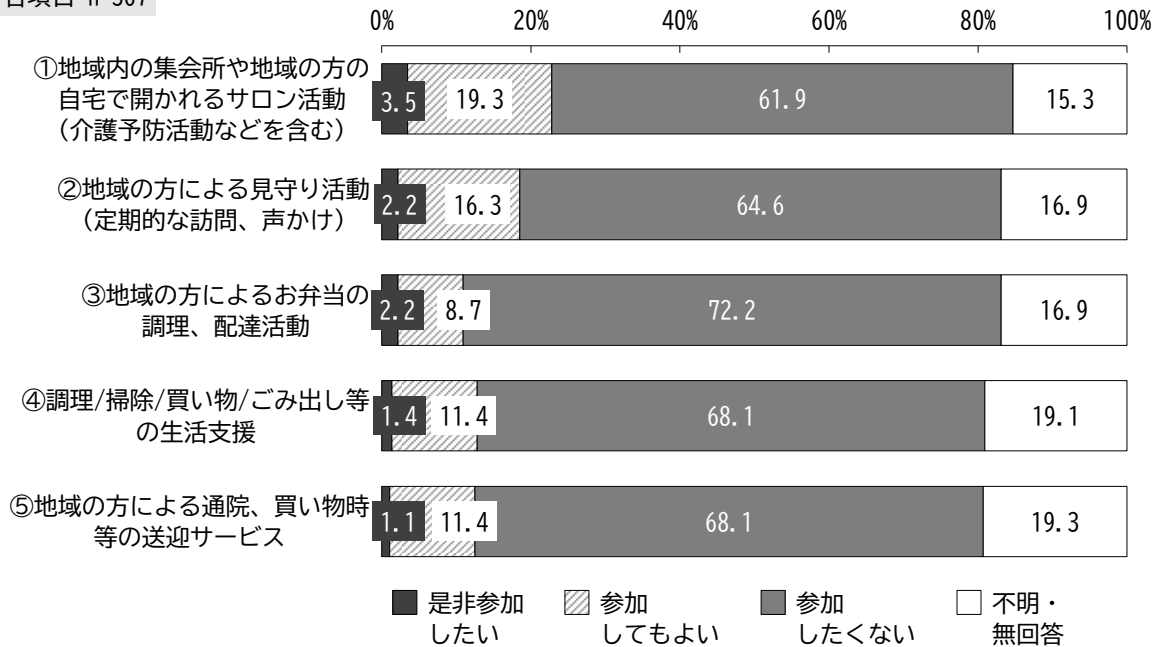
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかは、全体で「参加したくない」が70.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」が12.3%となっています。
要介護度別では、要介護3で「参加したくない」が86.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 36 お住まいの地域に地域住民が主体となった活動があった場合、参加してみたいですか。(各単数回答)

地域住民が主体となった活動があった場合、参加してみたいかは、〔③地域の方によるお弁当の調理、配達活動〕以外で「参加してもよい」がそれぞれ1割台となっています。

各項目 n=367

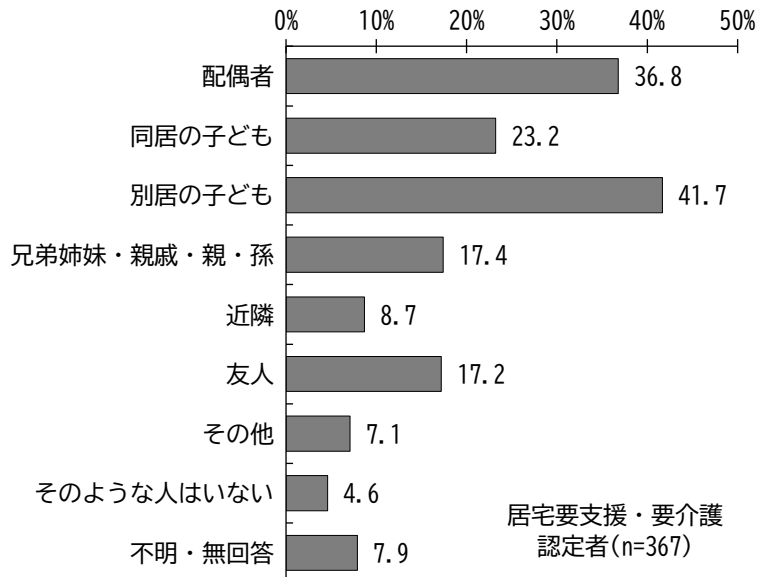


8. たすけあいについて

問 37 宛名の方の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰ですか。（複数回答）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、全体で「別居の子ども」が41.7%と最も高く、次いで「配偶者」が36.8%となっています。

要介護度別では、要支援1で「友人」が36.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



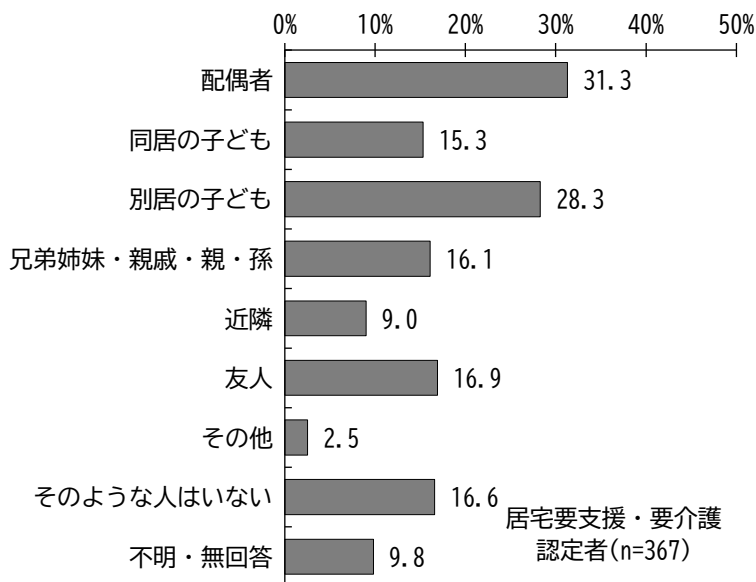
■クロス集計

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	40.0	20.0	28.0	20.0	4.0	16.0	4.0	8.0	8.0
要支援1 (n=66)	36.4	12.1	43.9	27.3	15.2	36.4	3.0	4.5	9.1
要支援2 (n=52)	42.3	21.2	51.9	25.0	15.4	23.1	3.8	7.7	1.9
要介護1 (n=73)	31.5	32.9	45.2	21.9	13.7	12.3	5.5	6.8	2.7
要介護2 (n=55)	47.3	27.3	36.4	9.1	3.6	9.1	7.3	1.8	9.1
要介護3 (n=37)	29.7	21.6	45.9	10.8	0.0	10.8	13.5	0.0	5.4
要介護4 (n=22)	27.3	27.3	36.4	0.0	0.0	13.6	27.3	0.0	9.1
要介護5 (n=11)	27.3	36.4	36.4	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2

問 38 反対に、宛名の方が心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。
（複数回答）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、全体で「配偶者」が31.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が28.3%となっています。

要介護度別では、要支援1で「友人」が36.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



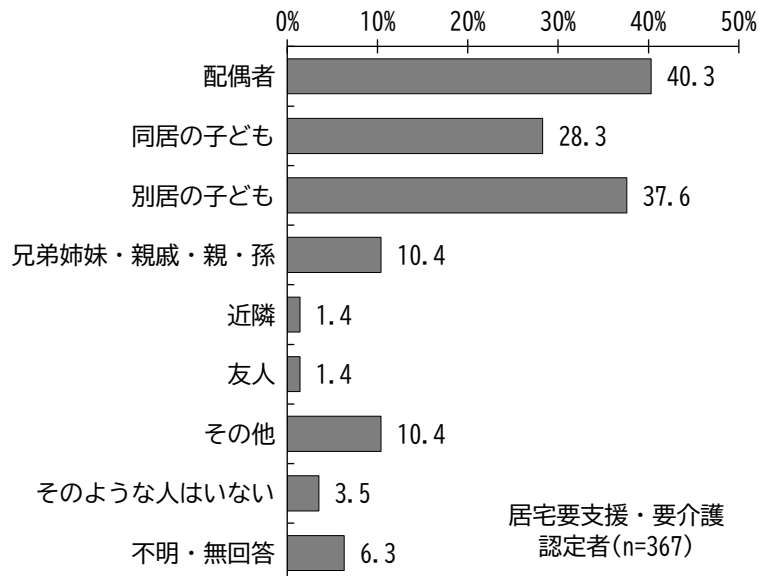
■クロス集計

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	40.0	20.0	24.0	8.0	16.0	20.0	0.0	16.0	8.0
要支援1 (n=66)	36.4	10.6	30.3	28.8	12.1	36.4	1.5	7.6	12.1
要支援2 (n=52)	36.5	15.4	34.6	23.1	17.3	21.2	1.9	17.3	3.8
要介護1 (n=73)	23.3	12.3	26.0	17.8	9.6	17.8	1.4	27.4	4.1
要介護2 (n=55)	45.5	18.2	25.5	9.1	5.5	7.3	3.6	12.7	10.9
要介護3 (n=37)	18.9	16.2	27.0	10.8	0.0	2.7	8.1	21.6	8.1
要介護4 (n=22)	18.2	13.6	31.8	9.1	0.0	4.5	0.0	18.2	13.6
要介護5 (n=11)	18.2	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2

問 39 宛名の方が病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(複数回答)

病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人は、全体で「配偶者」が 40.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 37.6%となっています。

要介護度別では、要支援2で「別居の子ども」が 51.9%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



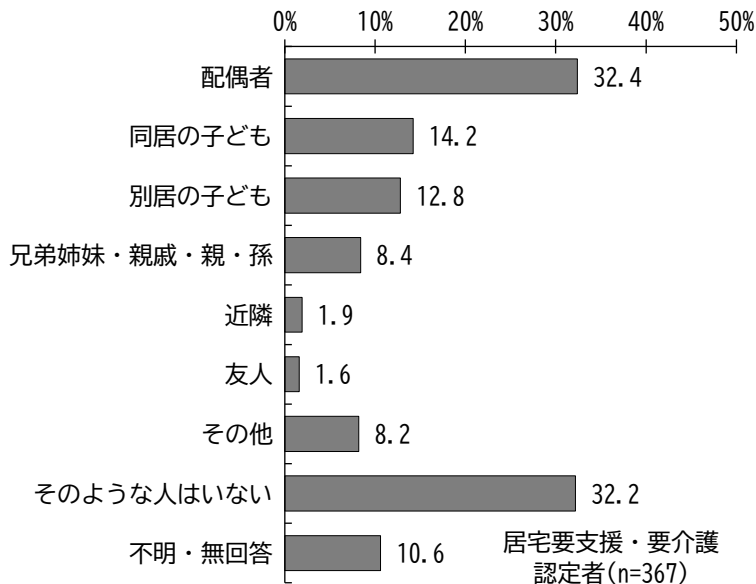
■クロス集計

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	48.0	24.0	44.0	4.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0
要支援1 (n=66)	42.4	15.2	43.9	12.1	3.0	6.1	7.6	10.6	7.6
要支援2 (n=52)	48.1	23.1	51.9	23.1	3.8	0.0	3.8	1.9	0.0
要介護1 (n=73)	34.2	42.5	39.7	12.3	1.4	1.4	11.0	0.0	2.7
要介護2 (n=55)	52.7	34.5	25.5	3.6	0.0	0.0	10.9	1.8	7.3
要介護3 (n=37)	29.7	27.0	29.7	13.5	0.0	0.0	18.9	2.7	5.4
要介護4 (n=22)	31.8	40.9	18.2	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1
要介護5 (n=11)	18.2	27.3	36.4	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	18.2

問 40 反対に、宛名の方が看病や世話をしあける人は誰ですか。(複数回答)

看病や世話をしあける人は、全体で「配偶者」が 32.4%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が 32.2%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者、要支援 1・2、要介護 2 で「配偶者」がそれぞれ 4 割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



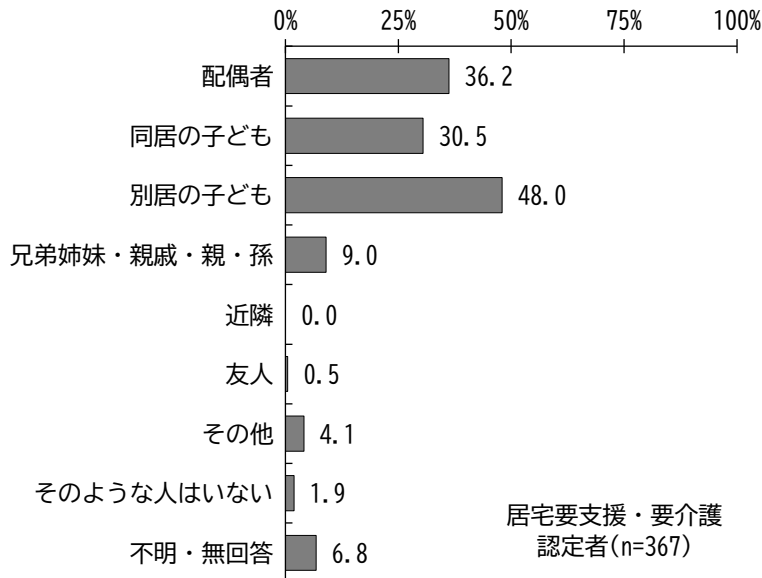
■クロス集計

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	40.0	16.0	16.0	4.0	4.0	4.0	0.0	16.0	20.0
要支援 1 (n=66)	40.9	15.2	18.2	13.6	6.1	4.5	3.0	28.8	10.6
要支援 2 (n=52)	46.2	19.2	19.2	13.5	0.0	1.9	3.8	21.2	5.8
要介護 1 (n=73)	26.0	15.1	9.6	12.3	1.4	0.0	9.6	41.1	5.5
要介護 2 (n=55)	40.0	12.7	10.9	1.8	0.0	0.0	9.1	29.1	12.7
要介護 3 (n=37)	10.8	8.1	8.1	5.4	0.0	0.0	13.5	45.9	8.1
要介護 4 (n=22)	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	13.6	54.5	9.1
要介護 5 (n=11)	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	27.3	18.2

問 41 宛名の方が認知症になったら、財産管理や行政、福祉サービス等の手続きの支援を頼める人は誰ですか。(複数回答)

認知症になった時の、財産管理や行政、福祉サービス等の手続きの支援を頼める人は、全体で「別居の子ども」が48.0%と最も高く、次いで「配偶者」が36.2%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者で「別居の子ども」が68.0%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



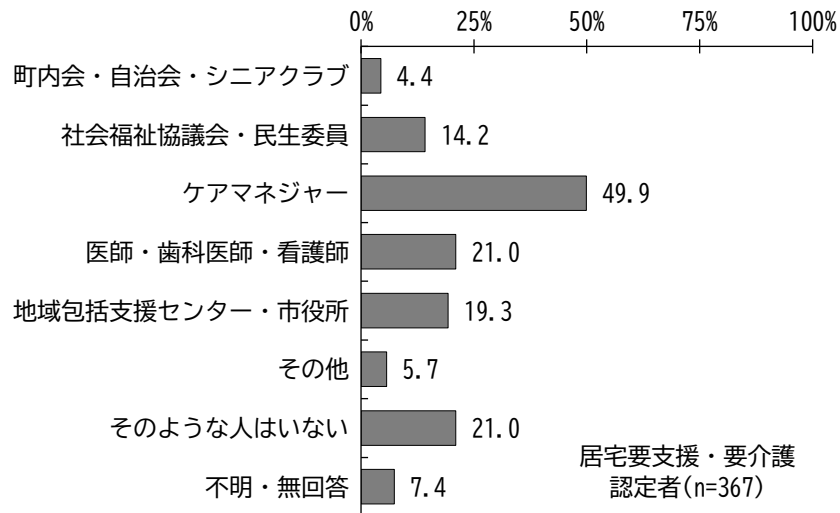
■クロス集計

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	44.0	28.0	68.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
要支援1 (n=66)	34.8	18.2	48.5	15.2	0.0	3.0	3.0	3.0	10.6
要支援2 (n=52)	38.5	26.9	57.7	17.3	0.0	0.0	3.8	3.8	1.9
要介護1 (n=73)	32.9	39.7	50.7	6.8	0.0	0.0	4.1	1.4	1.4
要介護2 (n=55)	47.3	38.2	41.8	7.3	0.0	0.0	1.8	0.0	7.3
要介護3 (n=37)	27.0	27.0	45.9	10.8	0.0	0.0	2.7	2.7	5.4
要介護4 (n=22)	27.3	50.0	31.8	4.5	0.0	0.0	13.6	0.0	9.1
要介護5 (n=11)	27.3	36.4	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2

問 42 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。
(複数回答)

家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手は、全体で「ケアマネジャー」が 49.9%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」「そのような人はいない」がそれぞれ 21.0%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者を除いた要介護度で「ケアマネジャー」がそれぞれ4～6割台となっています。



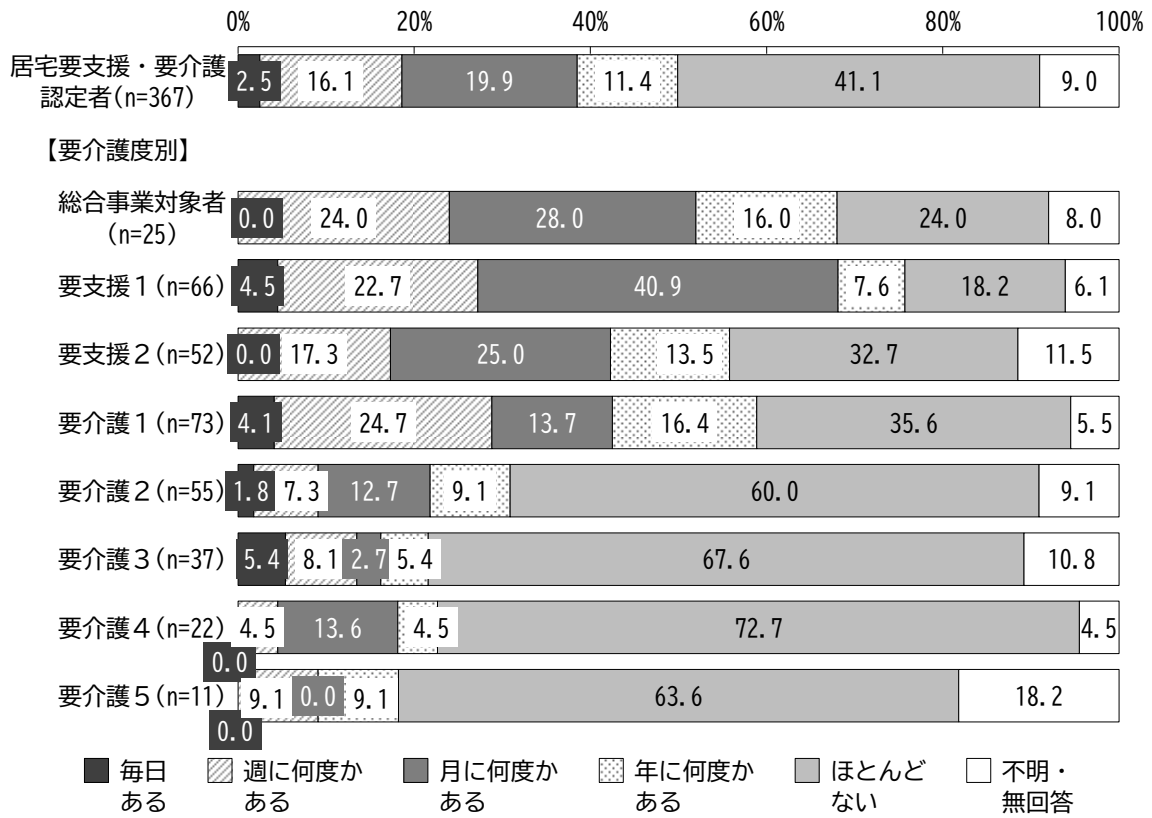
■クロス集計

	町内会・自治会・シニアクラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
(単位：%)								
【要介護度別】								
総合事業対象者 (n=25)	8.0	4.0	12.0	20.0	24.0	8.0	24.0	16.0
要支援1 (n=66)	6.1	22.7	53.0	25.8	34.8	1.5	16.7	3.0
要支援2 (n=52)	5.8	15.4	48.1	17.3	25.0	9.6	17.3	3.8
要介護1 (n=73)	5.5	17.8	61.6	27.4	19.2	5.5	20.5	4.1
要介護2 (n=55)	1.8	10.9	49.1	21.8	9.1	0.0	25.5	9.1
要介護3 (n=37)	0.0	5.4	64.9	18.9	8.1	10.8	16.2	8.1
要介護4 (n=22)	4.5	9.1	54.5	9.1	18.2	9.1	22.7	4.5
要介護5 (n=11)	0.0	9.1	45.5	18.2	27.3	18.2	9.1	18.2

問 43 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

友人・知人と会う頻度は、全体で「ほとんどない」が 41.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 19.9%となっています。

要介護度別では、要介護2～5で「ほとんどない」がそれぞれ6～7割台となっています。

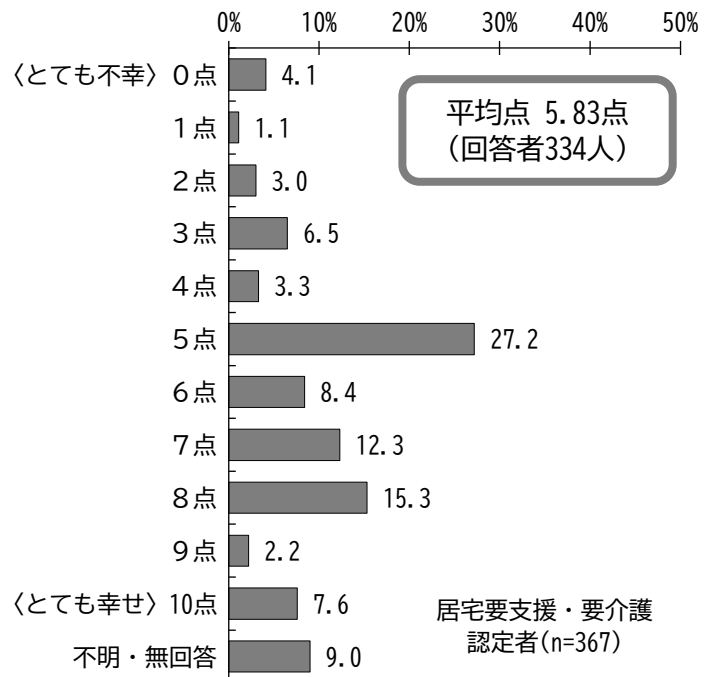


9. 健康について

問 44 現在どの程度幸せですか。(単数回答)

現在の幸せの程度は、全体で「5点」が27.2%と最も高く、次いで「8点」が15.3%となっています。平均点は5.83点となっています。

要介護度別では、要介護5で「3点」が27.3%と、他の要介護度と比べて高くなっています。平均点は要介護度が重くなるにつれ、概ね低くなっています。



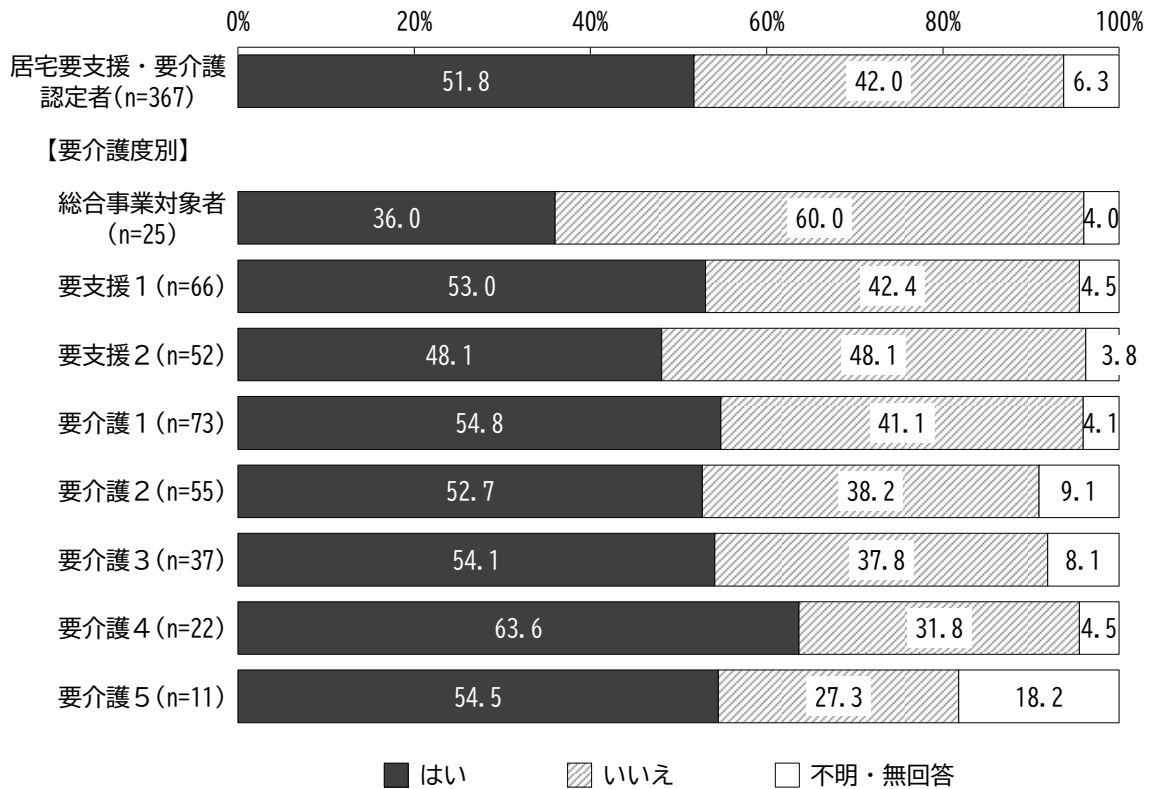
■クロス集計

	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	不明・無回答	平均点 (回答者)
(単位：%)													
【要介護度別】													
総合事業対象者 (n=25)	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	8.0	20.0	20.0	4.0	12.0	8.0	6.57点 (23人)
要支援1 (n=66)	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	28.8	10.6	15.2	22.7	3.0	7.6	7.6	6.54点 (61人)
要支援2 (n=52)	3.8	0.0	3.8	7.7	1.9	26.9	7.7	17.3	19.2	0.0	9.6	1.9	6.02点 (51人)
要介護1 (n=73)	2.7	0.0	1.4	5.5	4.1	27.4	8.2	11.0	15.1	4.1	11.0	9.6	6.26点 (66人)
要介護2 (n=55)	3.6	1.8	1.8	7.3	3.6	30.9	9.1	7.3	16.4	1.8	7.3	9.1	5.74点 (50人)
要介護3 (n=37)	5.4	2.7	8.1	13.5	2.7	21.6	5.4	8.1	5.4	2.7	5.4	18.9	4.80点 (30人)
要介護4 (n=22)	9.1	0.0	9.1	4.5	18.2	22.7	9.1	18.2	4.5	0.0	0.0	4.5	4.57点 (21人)
要介護5 (n=11)	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	3.89点 (9人)

問 45 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、全体で「はい」が51.8%、「いいえ」が42.0%となっています。

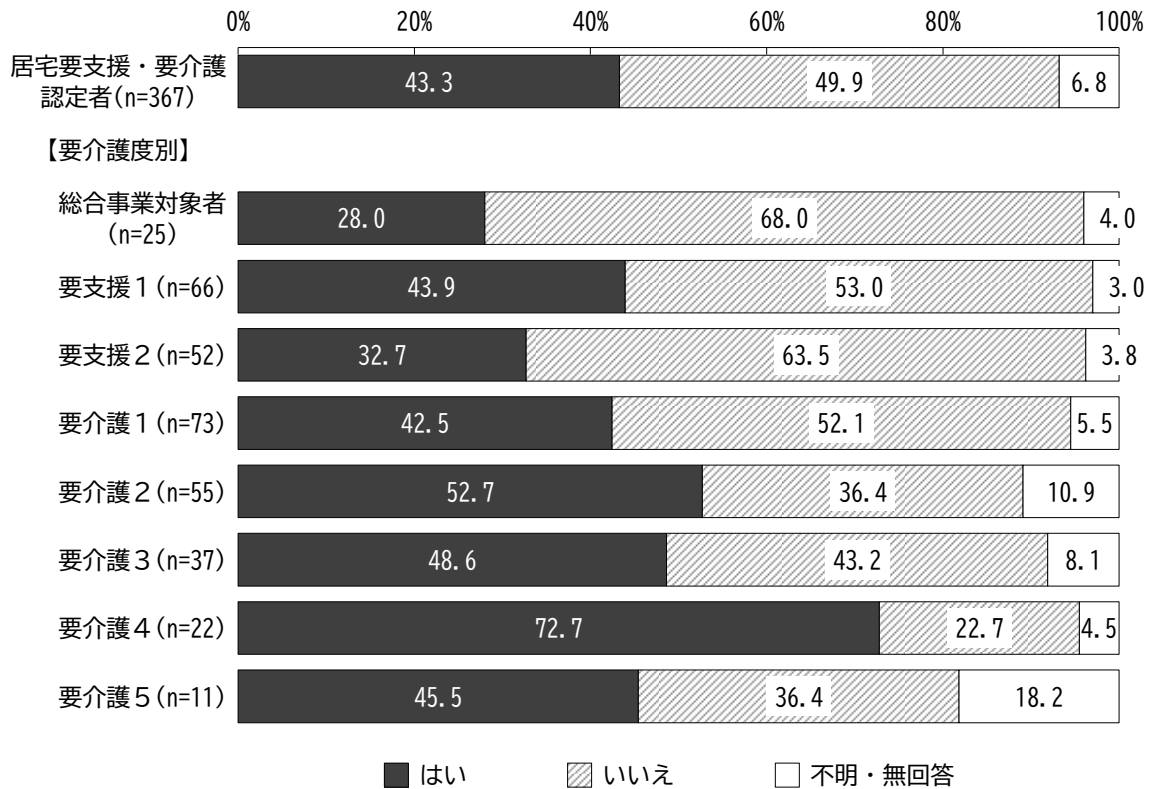
要介護度別では、要介護4で「はい」が63.6%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 46 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、全体で「はい」が43.3%、「いいえ」が49.9%となっています。

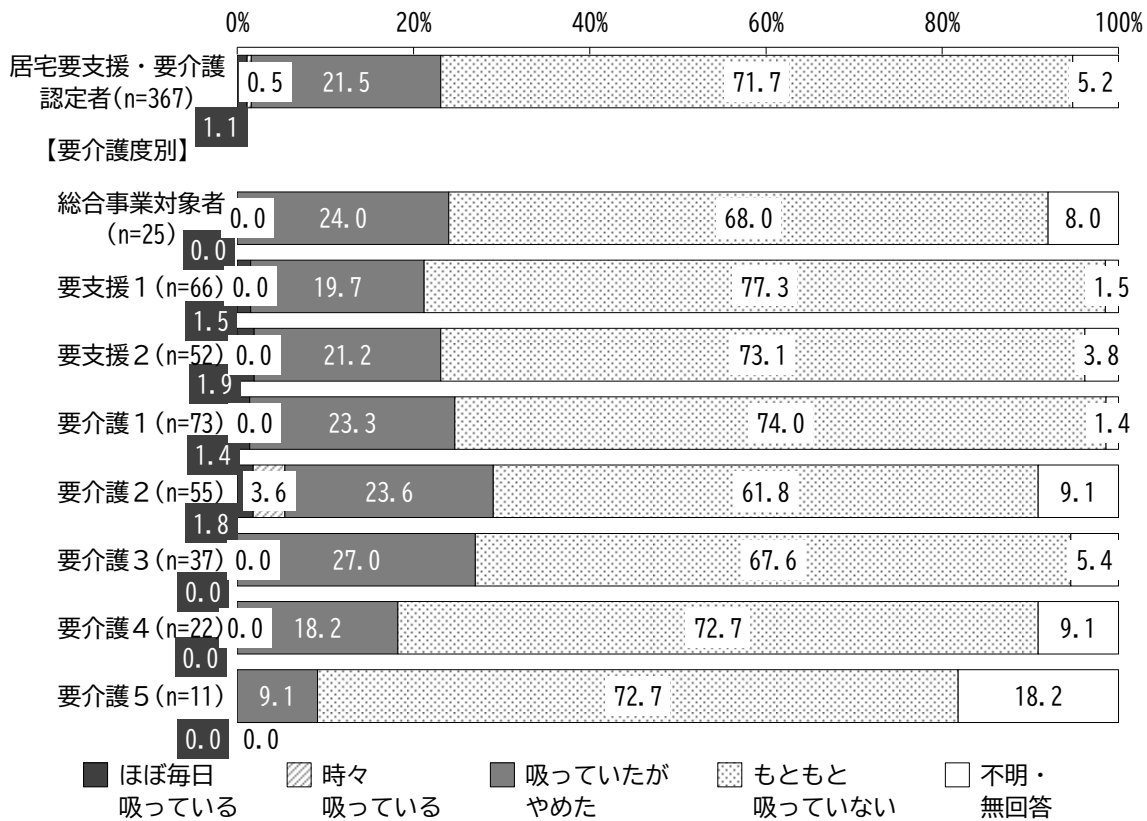
要介護度別では、要介護4で「はい」が72.7%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 47 タバコは吸っていますか。(単数回答)

喫煙の状況は、全体で「もともと吸っていない」が71.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が21.5%となっています。喫煙者（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合算）は1.6%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「もともと吸っていない」がそれぞれ6～7割台となっています。

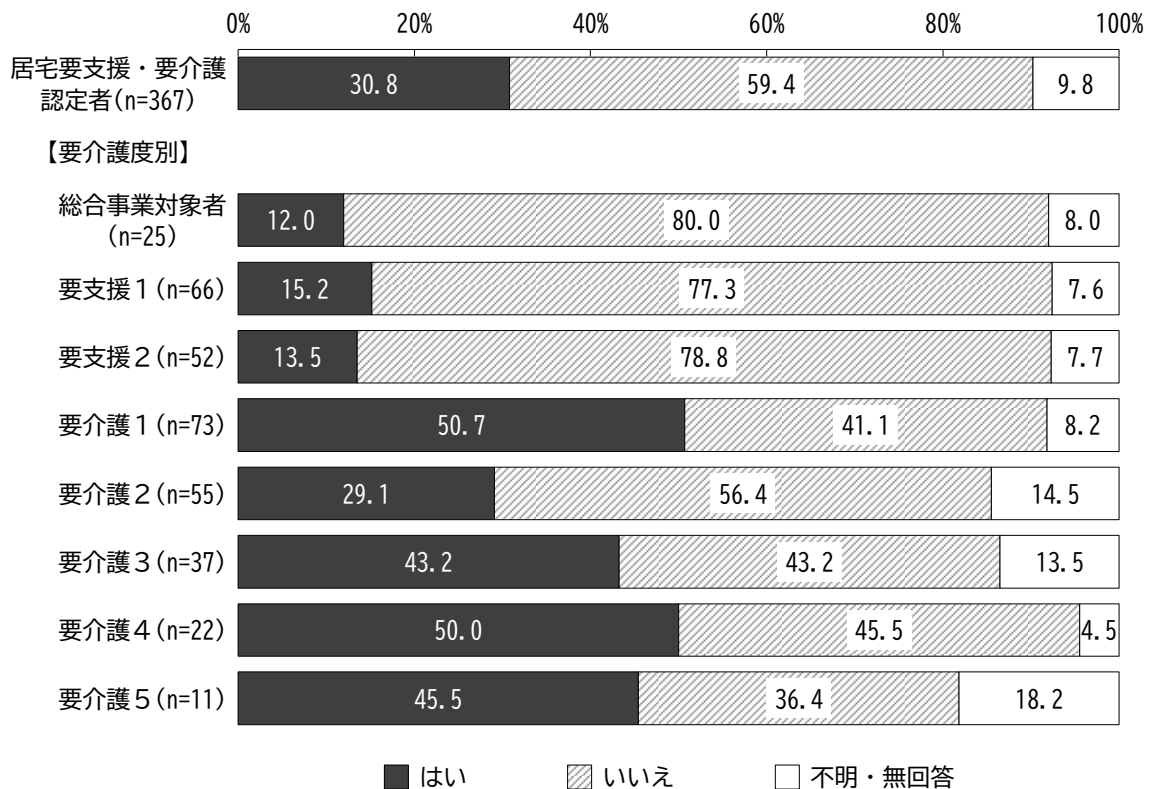


10. 認知症について

問 48 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかは、全体で「はい」が 30.8%、「いいえ」が 59.4%となっています。

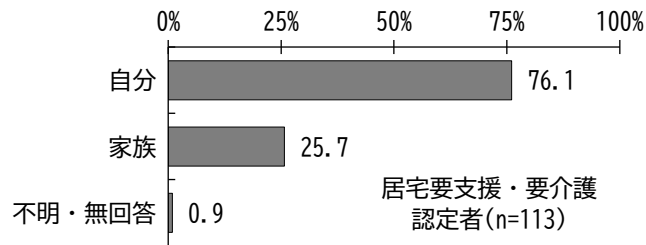
要介護度別では、要介護1・4で「はい」がそれぞれ5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問48で「はい」と回答した方のみ

問48-1 認知症の症状があるのはどなたですか。(複数回答)

認知症の症状がある方は、「自分」が76.1%、「家族」が25.7%となっています。
要介護度別では、要介護1～4で「自分」がそれぞれ8割以上となっています。



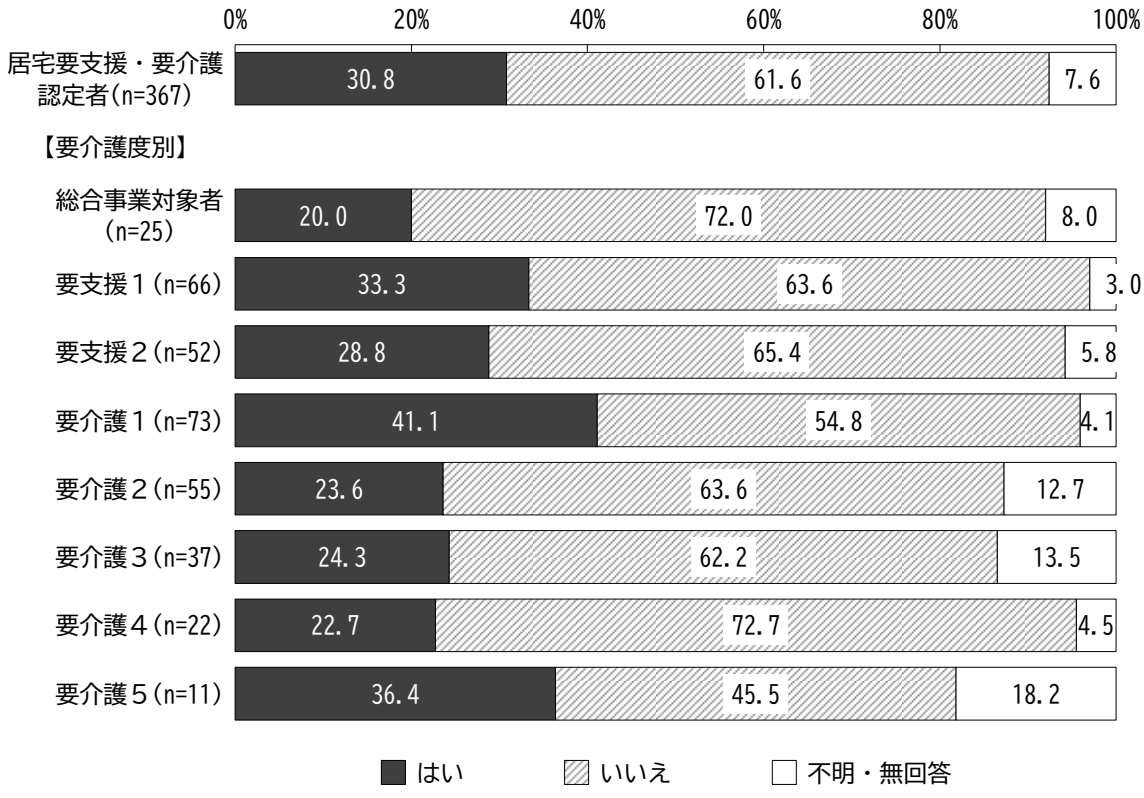
■クロス集計

	自分	家族	不明・無回答
(単位：%)			
【要介護度別】			
総合事業対象者 (n=3)	0.0	100.0	0.0
要支援1 (n=10)	40.0	60.0	0.0
要支援2 (n=7)	42.9	57.1	0.0
要介護1 (n=37)	83.8	16.2	2.7
要介護2 (n=16)	81.3	31.3	0.0
要介護3 (n=16)	100.0	0.0	0.0
要介護4 (n=11)	100.0	0.0	0.0
要介護5 (n=5)	100.0	0.0	0.0

問 49 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、全体で「はい」が30.8%、「いいえ」が61.6%となっています。

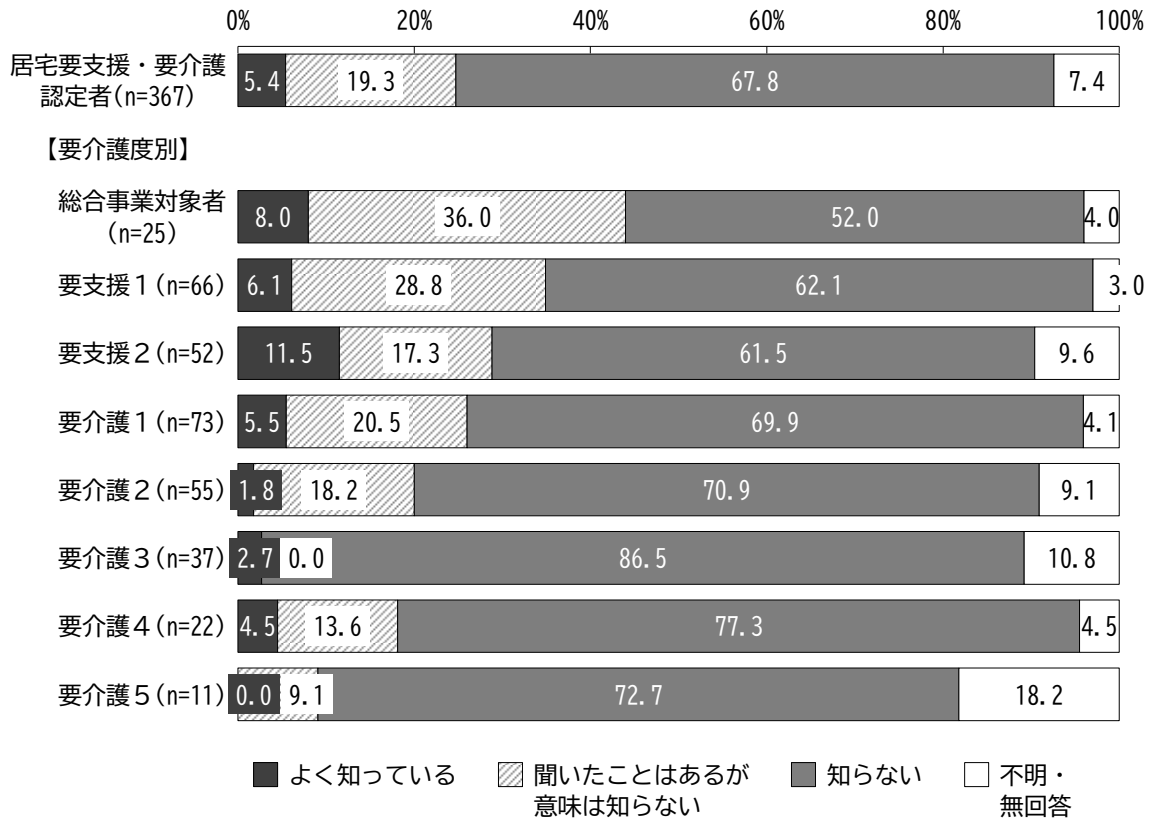
要介護度別では、要介護1で「はい」が41.1%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 50 あなたは「新しい認知症観」を知っていますか。(単数回答)

「新しい認知症観」を知っているかは、全体で「よく知っている」が5.4%、「聞いたことはあるが意味は知らない」が19.3%、「知らない」が67.8%となっています。

要介護度別では、要支援2で「よく知っている」が11.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 51 各務原市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思いますか。
(単数回答)

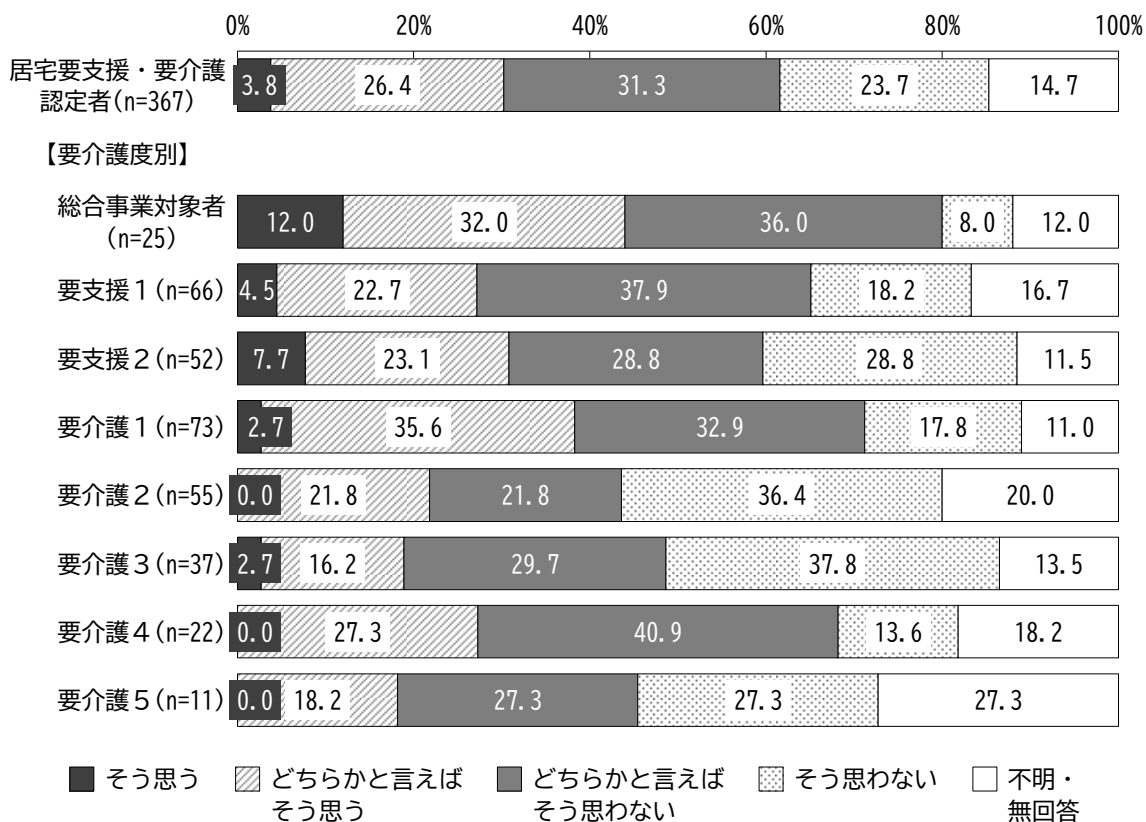
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『そう思う』 … 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合算

『そう思わない』 … 「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の合算

各務原市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思うかは、全体で『そう思う』が30.2%、『そう思わない』が55.0%となっています。

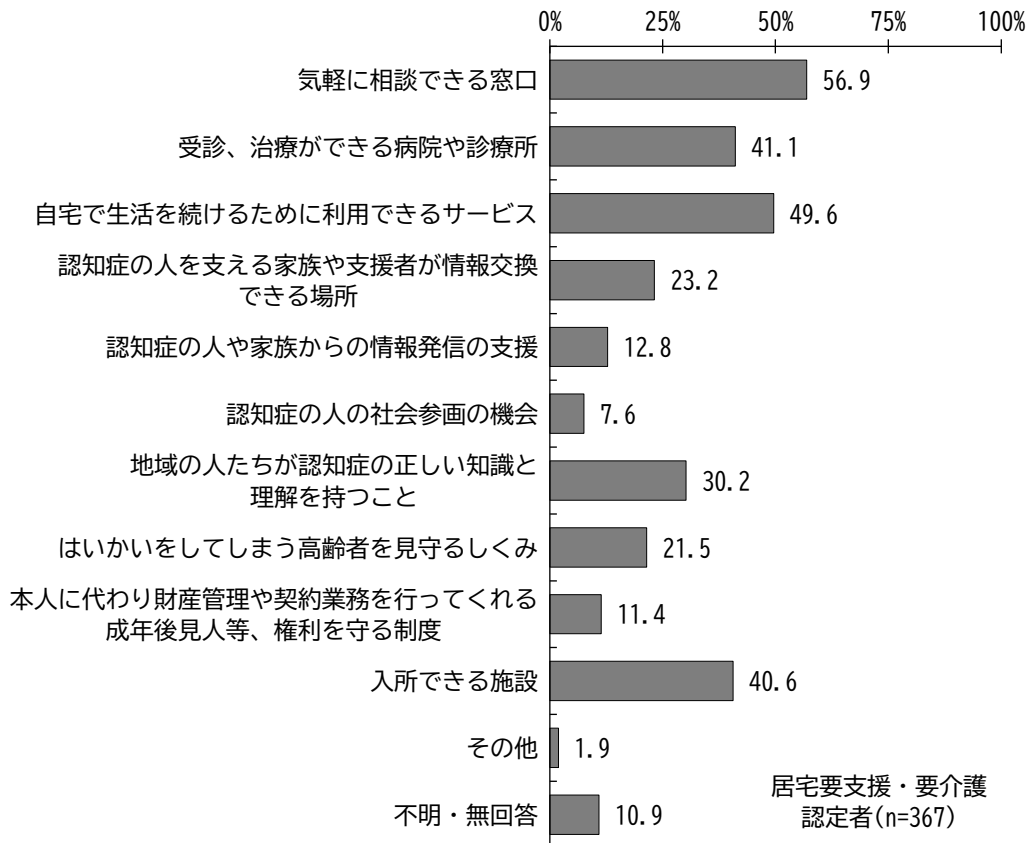
要介護度別では、総合事業対象者で『そう思う』が44.0%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 52 どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。(複数回答)

認知症になっても安心して暮らしていくことができるために充実させることは、全体で「気軽に相談できる窓口」が 56.9%と最も高く、次いで「自宅で生活するために利用できるサービス」が 49.6%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「気軽に相談できる窓口」がそれぞれ最も高く、総合事業対象者で 72.0%と高くなっています。また、要支援1、要介護1・2で「自宅で生活するために利用できるサービス」がそれぞれ高くなっており、要支援1で 63.6%と高くなっています。



■クロス集計

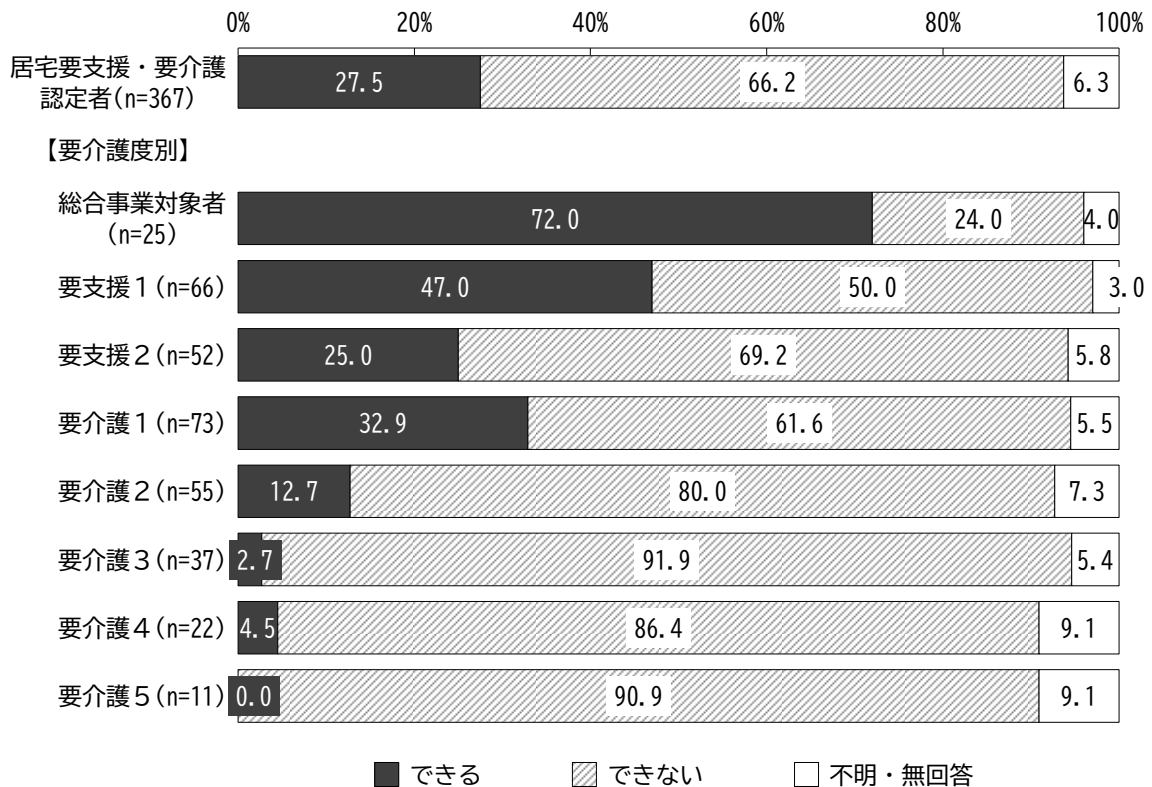
	気軽に相談できる窓口	受診、治療ができる病院や診療所	自宅で生活が続けるために利用できるサービス	認知症の人を支える家族や支援者が情報交換できる場所	認知症の人や家族からの情報発信の支援	認知症の人の社会参画の機会	地域の人たちが認知症の正しい知識と理解を	はいかいをしてしまう高齢者を見守るしくみ	本人に代わり財産管理や契約業務を行ってくれる成年後見人等、権利を守る制度	入所できる施設	その他	不明・無回答
(単位：%)												
【要介護度別】												
総合事業対象者 (n=25)	72.0	48.0	44.0	24.0	24.0	4.0	40.0	24.0	16.0	28.0	0.0	12.0
要支援1 (n=66)	63.6	43.9	63.6	28.8	16.7	7.6	36.4	25.8	13.6	39.4	0.0	7.6
要支援2 (n=52)	55.8	40.4	40.4	25.0	13.5	5.8	36.5	23.1	7.7	36.5	1.9	9.6
要介護1 (n=73)	60.3	46.6	53.4	23.3	13.7	8.2	30.1	20.5	16.4	46.6	1.4	6.8
要介護2 (n=55)	49.1	34.5	49.1	21.8	10.9	7.3	21.8	16.4	9.1	36.4	5.5	9.1
要介護3 (n=37)	48.6	45.9	45.9	16.2	8.1	5.4	24.3	16.2	2.7	43.2	2.7	13.5
要介護4 (n=22)	54.5	27.3	45.5	22.7	0.0	13.6	27.3	31.8	13.6	50.0	0.0	13.6
要介護5 (n=11)	54.5	36.4	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	45.5	9.1	36.4

11. 災害対策について

問 53 地震などの災害発生時に、自力で避難することはできますか。(単数回答)

地震などの災害発生時に、自力で避難することはできるかは、全体で「できる」が 27.5%、「できない」が 66.2%となっています。

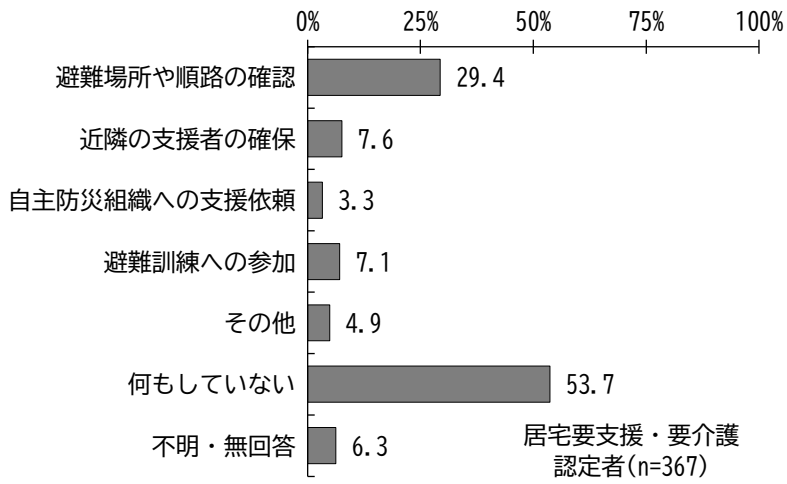
要介護度別では、総合事業対象者で「できる」が 72.0%と他の要介護度と比べて高くなっているもの、要介護度が重くなるにつれて低くなる傾向にあり、要介護3以降では1割未満となっています。



問 54 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(複数回答)

災害時の避難における対策は、全体で「何もしていない」が53.7%と最も高く、次いで「避難場所や順路の確認」が29.4%となっています。

要介護度別では、要支援1を除いた要介護度で「何もしていない」がそれぞれ最も高くなっており、要介護1以降ではそれぞれ5～7割台と高くなっています。



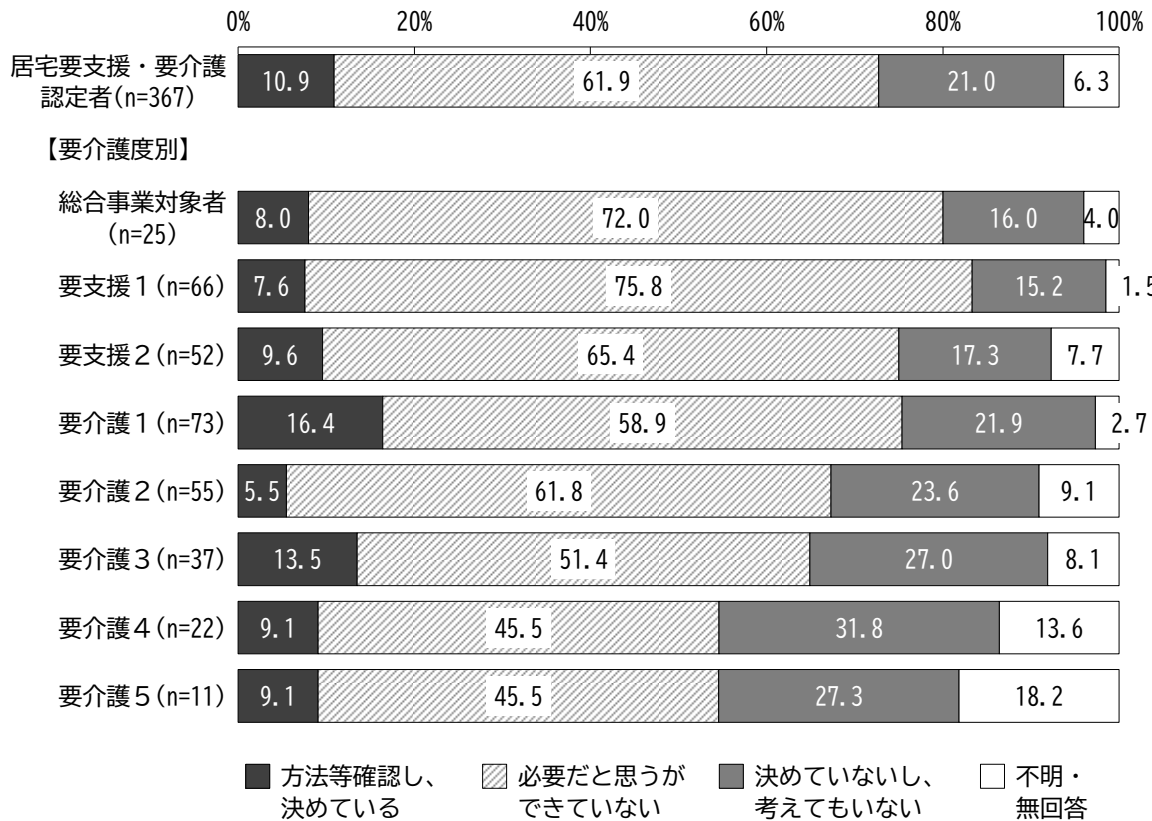
■クロス集計

	避難場所や順路の確認	近隣の支援者の確保	自主防災組織への支援依頼	避難訓練への参加	その他	何もしていない	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
総合事業対象者 (n=25)	40.0	8.0	0.0	12.0	0.0	48.0	8.0
要支援1 (n=66)	45.5	12.1	7.6	9.1	4.5	43.9	1.5
要支援2 (n=52)	36.5	11.5	5.8	7.7	3.8	42.3	7.7
要介護1 (n=73)	23.3	6.8	0.0	6.8	6.8	58.9	4.1
要介護2 (n=55)	29.1	3.6	3.6	3.6	3.6	56.4	9.1
要介護3 (n=37)	10.8	2.7	0.0	10.8	5.4	70.3	5.4
要介護4 (n=22)	9.1	9.1	4.5	0.0	13.6	63.6	9.1
要介護5 (n=11)	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	63.6	9.1

問 55 家族（別居の家族も含む）と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしていますか。（単数回答）

家族（別居の家族も含む）と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしているかは、全体で「方法等確認し、決めている」が10.9%、「必要だと思いができていない」が61.9%、「決めていないし、考えてもいない」が21.0%となっています。

要介護度別では、要介護1・3で「方法等確認し、決めている」がそれぞれ1割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

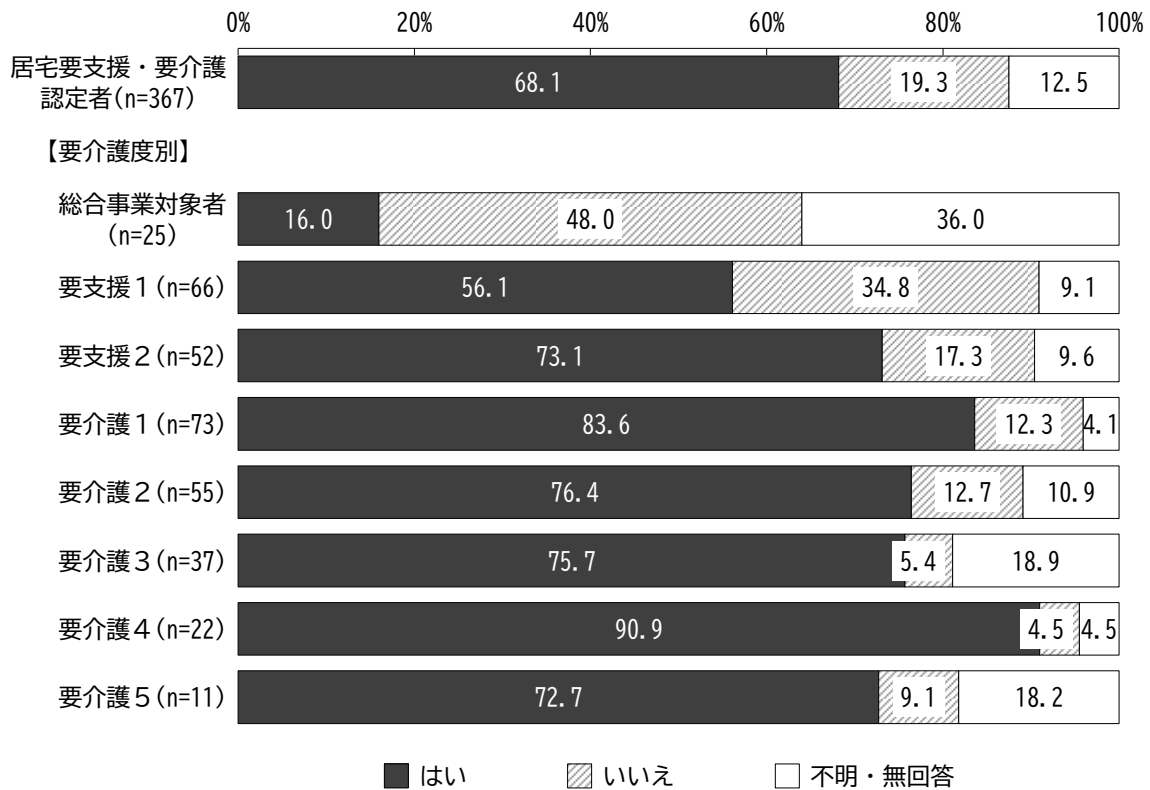


12. 介護保険サービス全般について

問 56 現在、介護保険サービスを利用していますか。(単数回答)

介護保険サービスを利用しているかは、全体で「はい」が68.1%、「いいえ」が19.3%となっています。

要介護度別では、要支援2～要介護5で「はい」がそれぞれ7～9割台となっています。

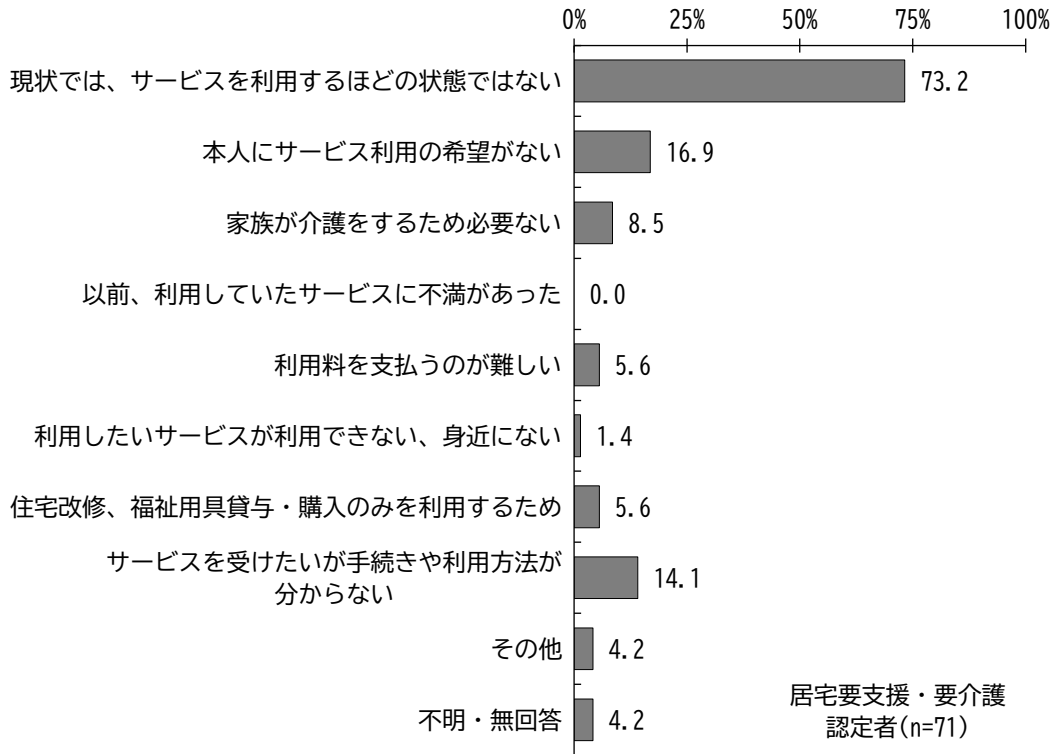


問 56 で「いいえ」と回答した方のみ

問 56-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

介護保険サービスを利用していない理由は、全体で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 73.2%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 16.9%となっています。

要介護度別では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が総合事業対象者で 83.3%、要支援1で 73.9%となっています。



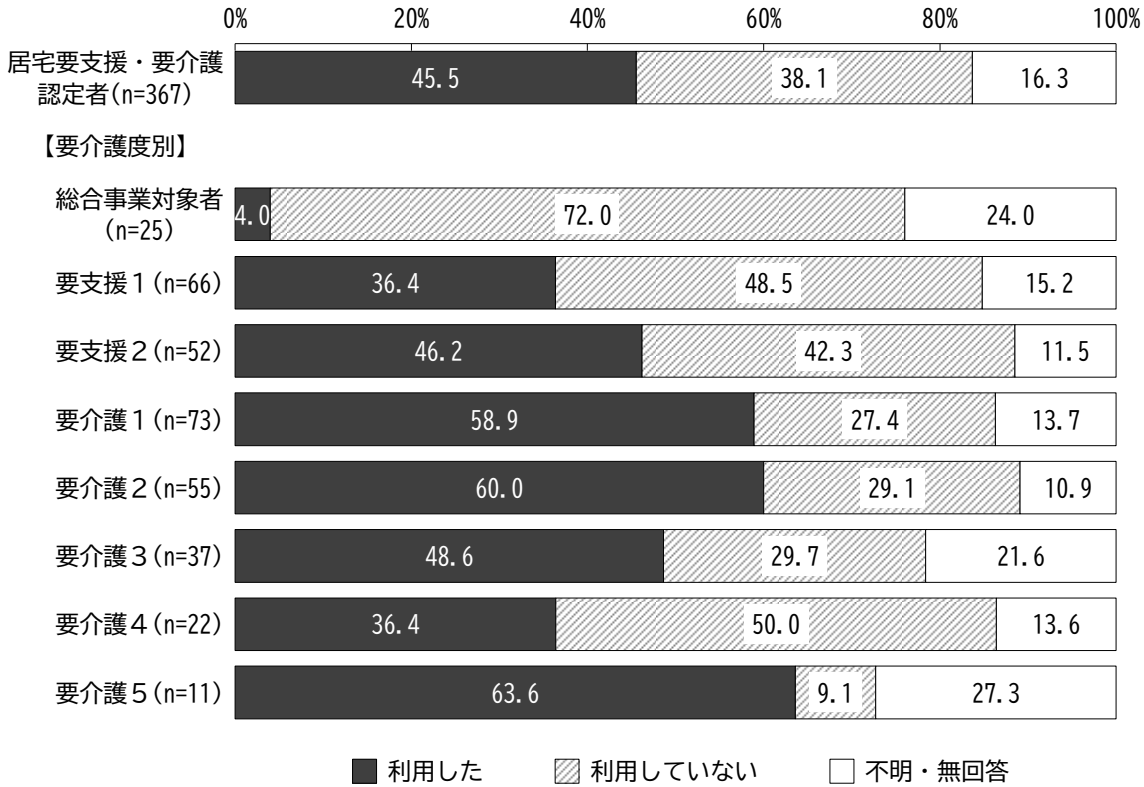
■クロス集計

(単位：%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	不明・無回答
	【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=12)	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3
要支援1 (n=23)	73.9	13.0	0.0	0.0	0.0	4.3	13.0	13.0	0.0	4.3
要支援2 (n=9)	77.8	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
要介護1 (n=9)	88.9	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
要介護2 (n=7)	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0
要介護3 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
要介護4 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護5 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 57 令和7年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(単数回答)

1か月の間に介護保険サービスを利用したかは、全体で「利用した」が45.5%、「利用していない」が38.1%となっています。

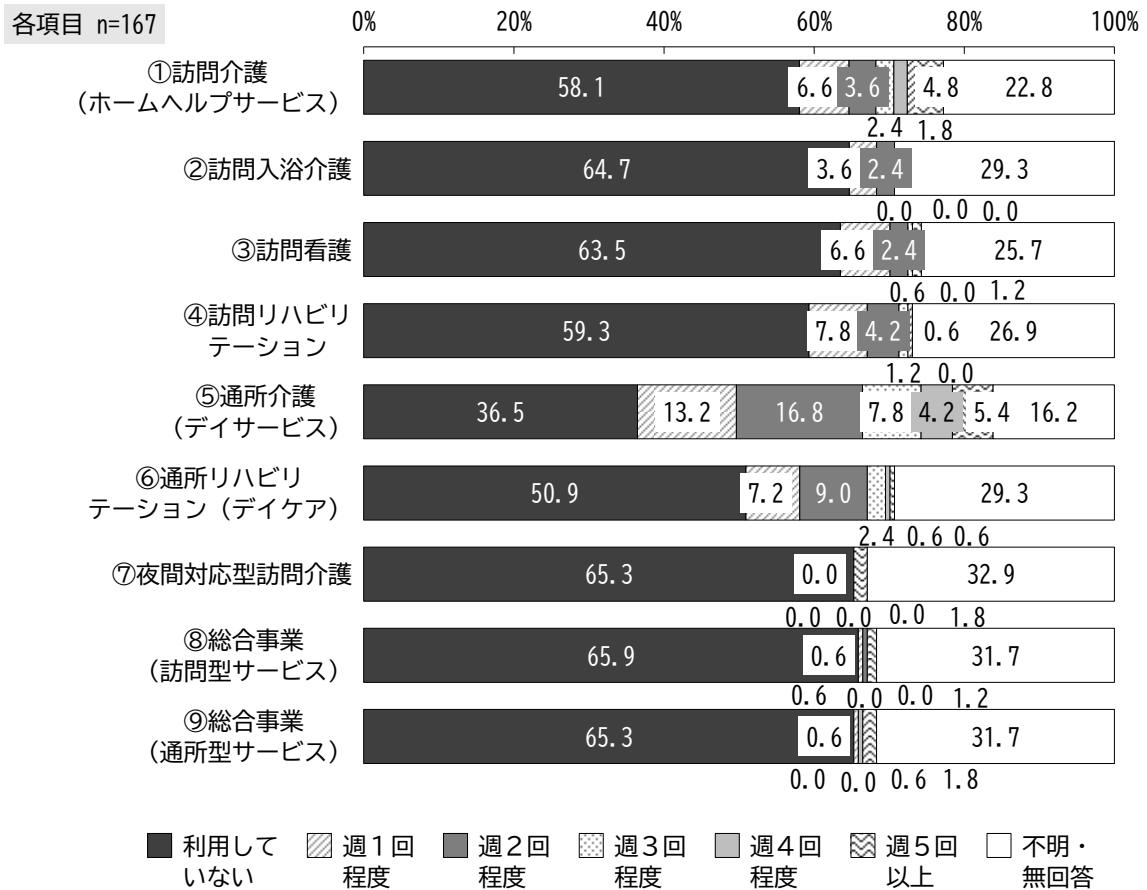
要介護度別では、要介護1・2・5で「利用した」がそれぞれ約6割と、他の要介護度と比べて高くなっています。



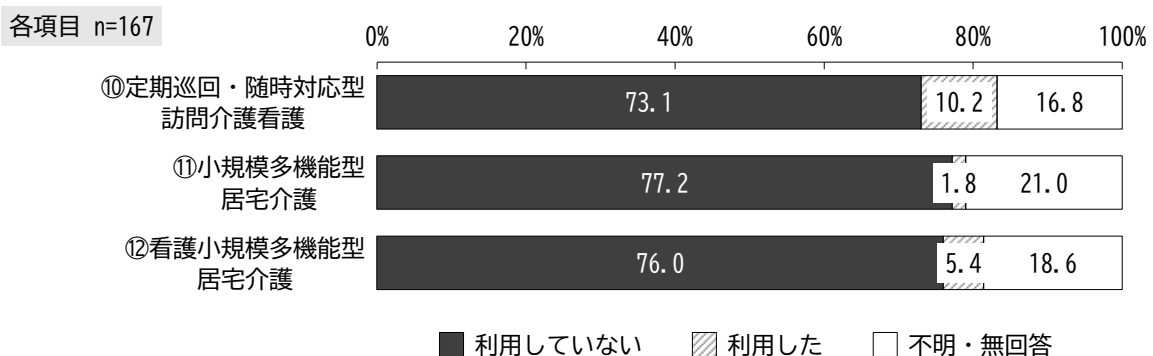
問 57 で「利用した」と回答した方のみ

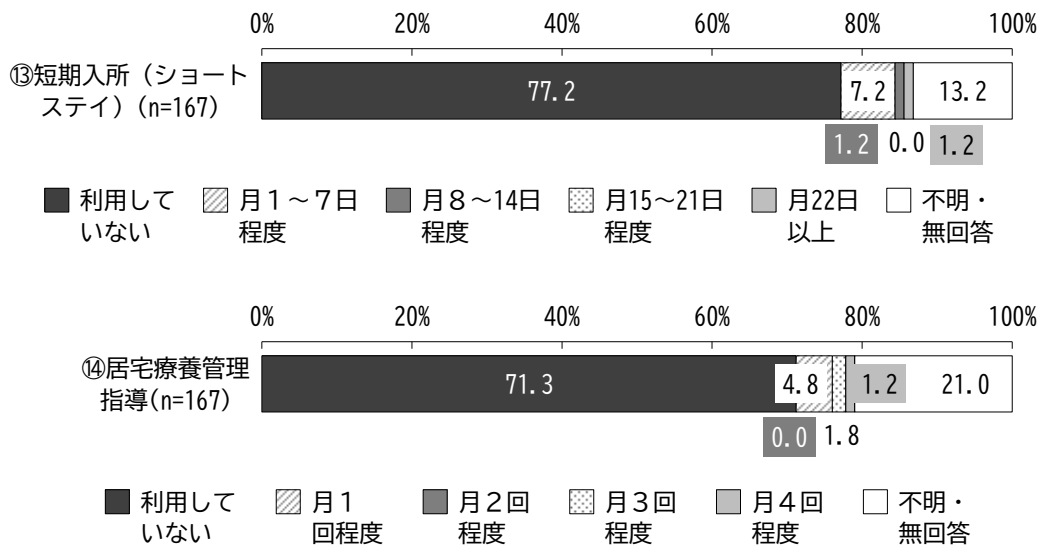
問 57-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（各単数回答）

介護保険サービスの利用状況は、以下のとおりとなっています。



※「⑦夜間対応型訪問介護」は、訪問のあった回数を回答。



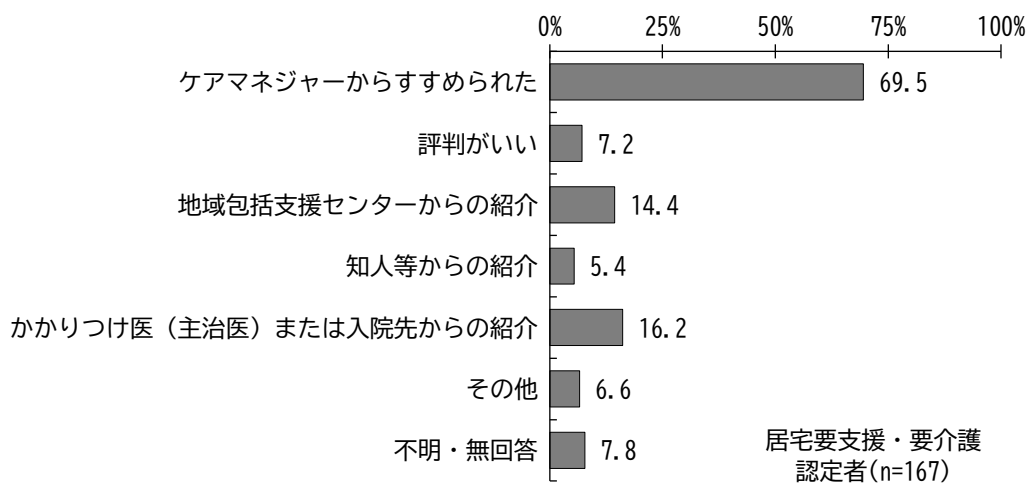


問 57 で「利用した」と回答した方のみ

問 57-2 現在利用しているサービス事業者をどのような理由で選びましたか。
(複数回答)

現在利用しているサービス事業者を選んだ理由は、全体で「ケアマネジャーからすすめられた」が 69.5%と最も高く、次いで「かかりつけ医（主治医）または入院先からの紹介」が 16.2%となっています。

要介護度別では、要支援1～要介護3で「ケアマネジャーからすすめられた」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

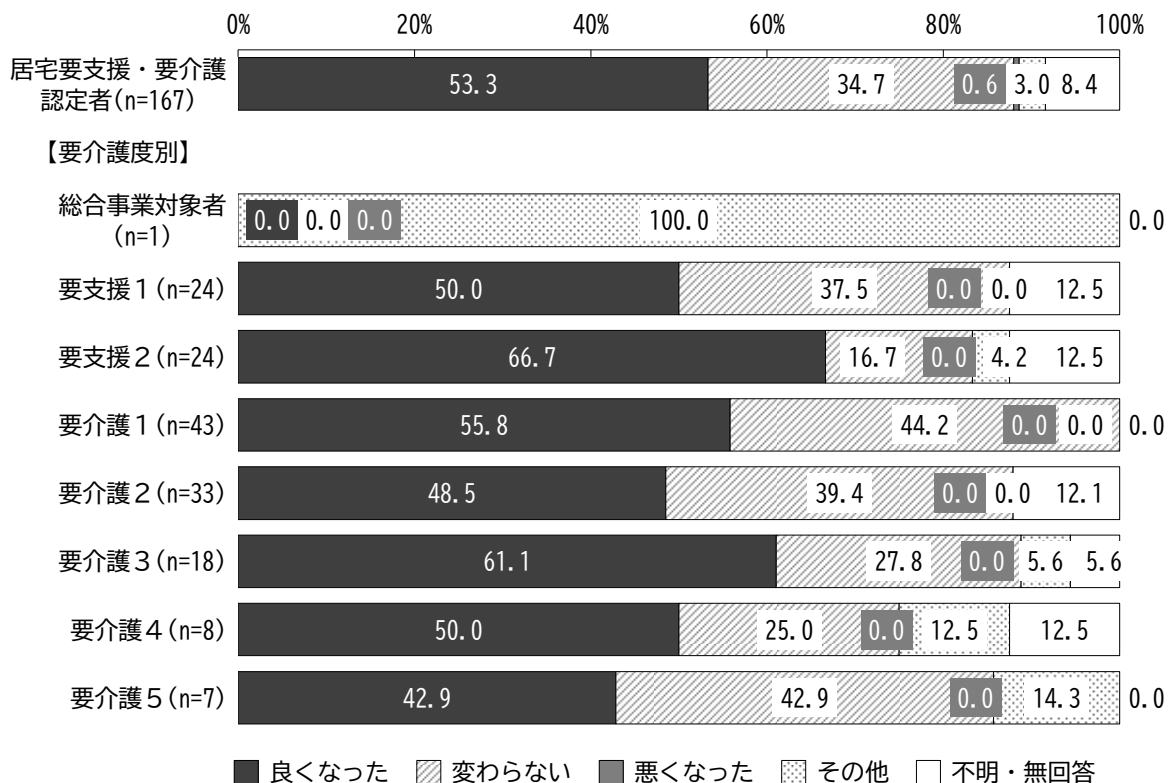
	ケアマネジャーから すすめられた	評判がいい	地域包括支援センター からの紹介	知人等からの紹介	かかりつけ医（主治医） または入院先からの紹 介	その他	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
総合事業対象者 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
要支援1 (n=24)	58.3	0.0	33.3	4.2	4.2	4.2	12.5
要支援2 (n=24)	62.5	8.3	16.7	0.0	20.8	0.0	8.3
要介護1 (n=43)	81.4	11.6	7.0	7.0	16.3	9.3	2.3
要介護2 (n=33)	75.8	6.1	9.1	9.1	12.1	6.1	6.1
要介護3 (n=18)	61.1	11.1	27.8	5.6	27.8	0.0	5.6
要介護4 (n=8)	87.5	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0
要介護5 (n=7)	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0

問 57 で「利用した」と回答した方のみ

問 57-3 サービスを利用して、身体的及び精神的な変化がありましたか。(単数回答)

サービスを利用して、身体的及び精神的な変化があったかは、全体で「良くなった」が 53.3%と最も高く、次いで「変わらない」が 34.7%となっています。

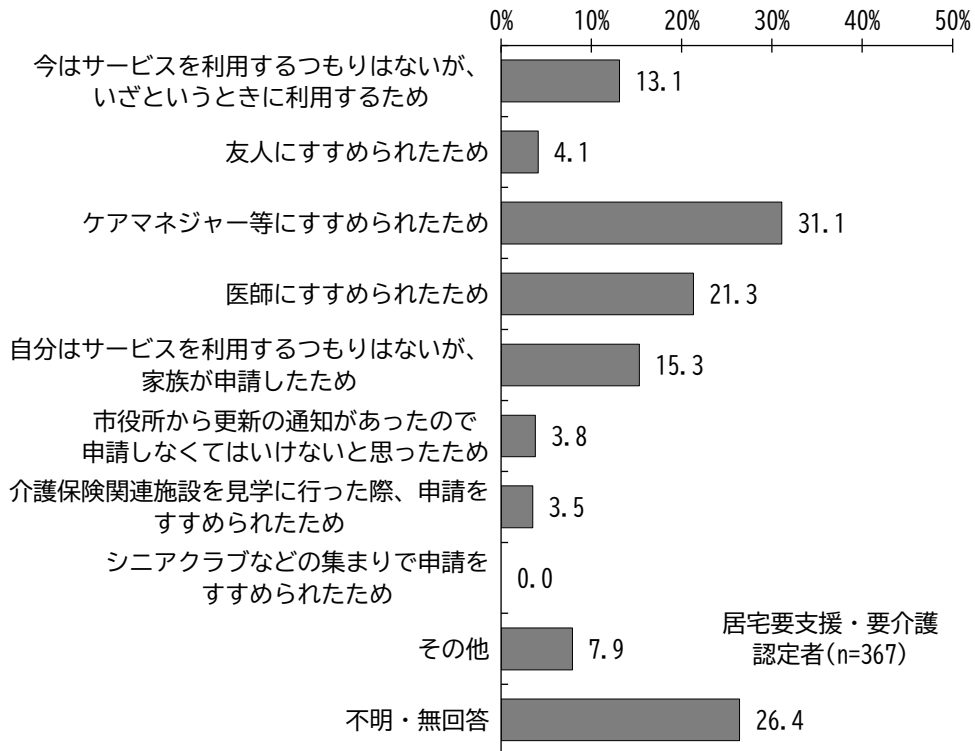
要介護度別では、要支援2、要介護3で「良くなった」がそれぞれ6割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 58 要介護認定を申請された理由は何ですか。(複数回答)

要介護認定を申請した理由は、全体で「ケアマネジャー等にすすめられたため」が31.1%と最も高く、次いで「医師にすすめられたため」が21.3%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者を除いた要介護度で「ケアマネジャー等にすすめられたため」がそれぞれ最も高くなっています。

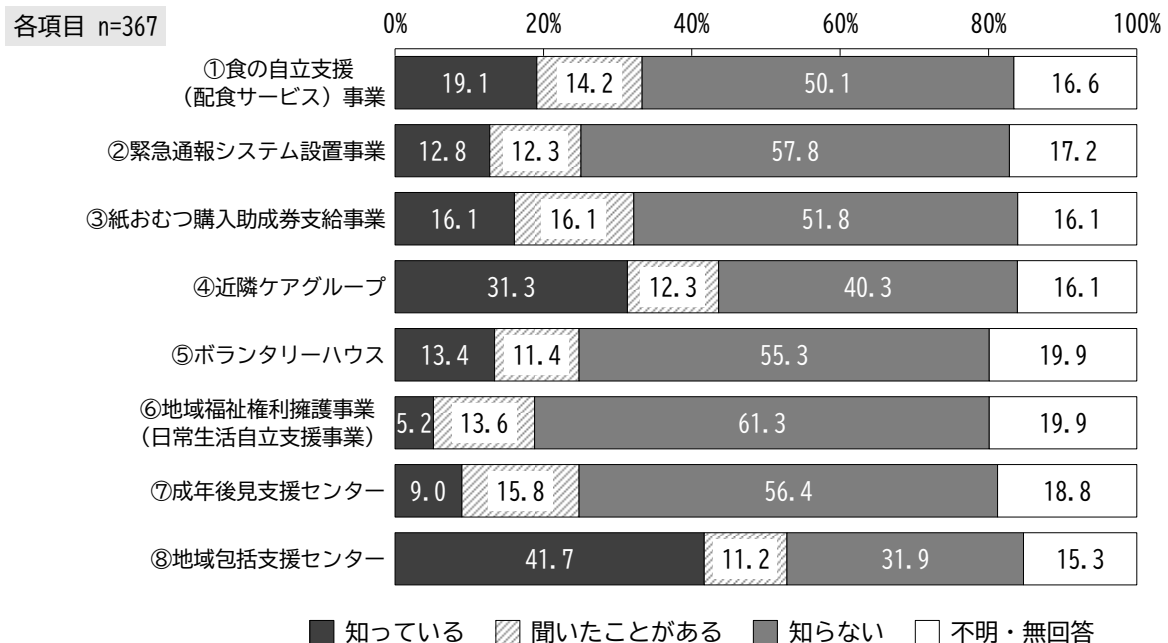


■クロス集計

	今はサービスを利用するつもりはないが、いざというときに利用するため	友人にすすめられたため	ケアマネジャー等にすすめられたため	医師にすすめられたため	自分はサービスを利用するつもりはないが、家族が申請したため	市役所から更新の通知があったので申請しなくてはいけないと思ったため	介護保険関連施設を見学に行った際、申請をすすめられたため	シニアクラブなどの集まりで申請をすすめられたため	その他	不明・無回答
(単位：%)										
【要介護度別】										
総合事業対象者 (n=25)	32.0	4.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0	40.0
要支援1 (n=66)	16.7	13.6	22.7	19.7	12.1	1.5	1.5	0.0	9.1	24.2
要支援2 (n=52)	11.5	0.0	30.8	21.2	7.7	5.8	1.9	0.0	13.5	25.0
要介護1 (n=73)	13.7	2.7	39.7	31.5	26.0	4.1	4.1	0.0	4.1	13.7
要介護2 (n=55)	12.7	3.6	38.2	18.2	18.2	3.6	3.6	0.0	9.1	27.3
要介護3 (n=37)	0.0	0.0	35.1	27.0	10.8	2.7	5.4	0.0	10.8	27.0
要介護4 (n=22)	4.5	0.0	27.3	18.2	13.6	9.1	9.1	0.0	9.1	40.9
要介護5 (n=11)	9.1	0.0	54.5	18.2	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	27.3

問 59 市や地域が行っている各種高齢者福祉サービスや制度についてご存知ですか。
(各単数回答)

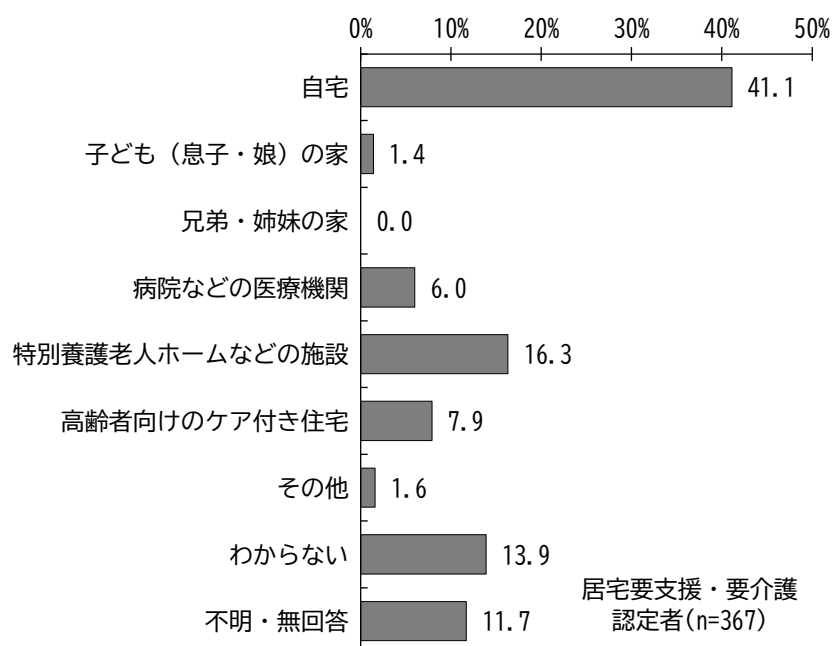
市や地域が行っている各種高齢者福祉サービスまたは制度について知っていることは、「知っている」が〔⑧地域包括支援センター〕で41.7%と、他の項目と比べて高くなっています。



問 60 今後、どこで介護を受けたいですか。(単数回答)

今後、どこで介護を受けたいかは、全体で「自宅」が41.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設」が16.3%となっています。

要介護度別では、要介護3・5を除いた要介護度で「自宅」が、要介護5で「特別養護老人ホームなどの施設」が、それぞれ最も高くなっています。なお、「自宅」とともに要介護3では「特別養護老人ホームなどの施設」が最も高くなっています。



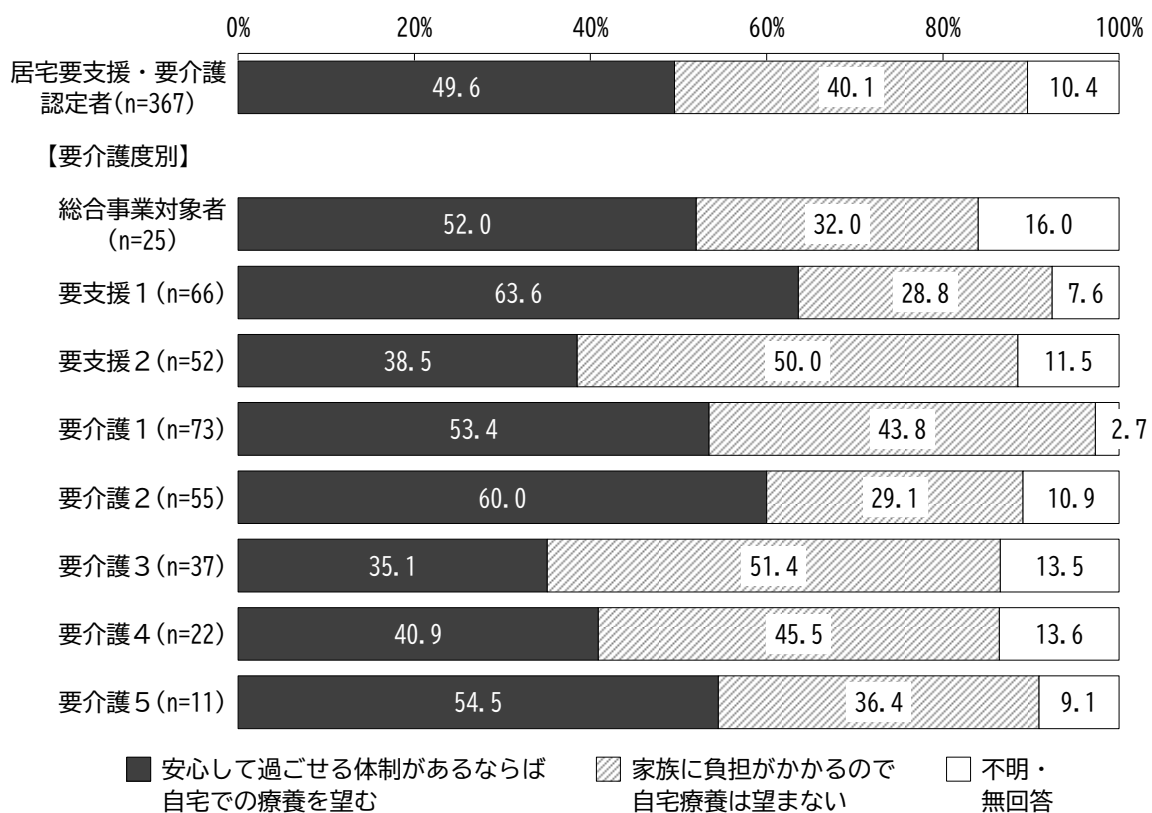
■クロス集計

	自宅	子ども(息子・娘)の家	兄弟・姉妹の家	病院などの医療機関	特別養護老人ホームなどの施設	高齢者向けのケア付き住宅	その他	わからない	不明・無回答
(単位: %)									
【要介護度別】									
総合事業対象者 (n=25)	40.0	4.0	0.0	4.0	8.0	12.0	4.0	24.0	4.0
要支援1 (n=66)	45.5	1.5	0.0	6.1	12.1	10.6	0.0	12.1	12.1
要支援2 (n=52)	42.3	1.9	0.0	5.8	17.3	1.9	0.0	23.1	7.7
要介護1 (n=73)	41.1	1.4	0.0	2.7	20.5	8.2	0.0	15.1	11.0
要介護2 (n=55)	50.9	1.8	0.0	10.9	9.1	9.1	0.0	5.5	12.7
要介護3 (n=37)	27.0	0.0	0.0	8.1	27.0	8.1	5.4	10.8	13.5
要介護4 (n=22)	45.5	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	4.5	4.5	18.2
要介護5 (n=11)	18.2	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	18.2

問 61 慢性的な疾患等のために療養が必要な方が、医師、看護師あるいは介護職の訪問を受けながら自宅での生活を継続することが可能な場合もあります。万が一疾病により長期療養が必要となった場合でも、自宅で過ごすことを望みますか。
(単数回答)

万が一疾病により長期療養が必要となった場合でも、自宅で過ごすことを望むかは、全体で「安心して過ごせる体制があるならば自宅での療養を望む」が 49.6%、「家族に負担がかかるので自宅療養は望まない」が 40.1%となっています。

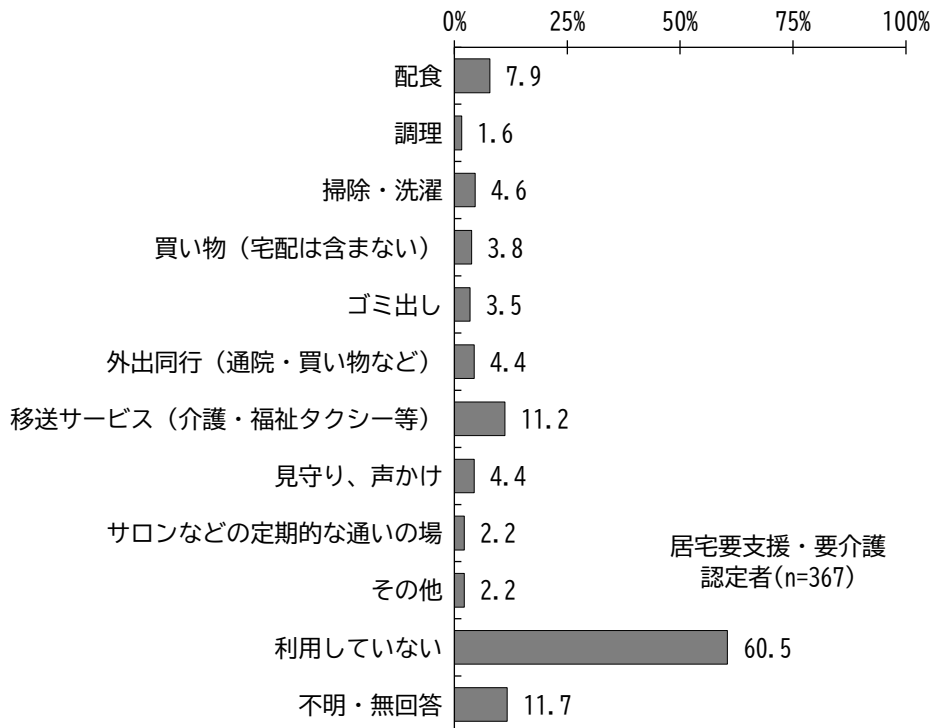
要介護度別では、要支援1、要介護2で「安心して過ごせる体制があるならば自宅での療養を望む」がそれぞれ6割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。なお、総合事業対象者から要支援1、要支援2から要介護2、要介護3から5にかけて、「安心して過ごせる体制があるならば自宅での療養を望む」がそれぞれ高くなっています。



問 62 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数回答) ※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、全体で最も高い「利用していない」(60.5%)を除き、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が11.2%、「配食」が7.9%と高くなっています。

要介護度別では、要支援1・2、要介護3・4で「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がそれぞれ1割台、要介護4で「外出同行(通院・買い物など)」が18.2%となっています。



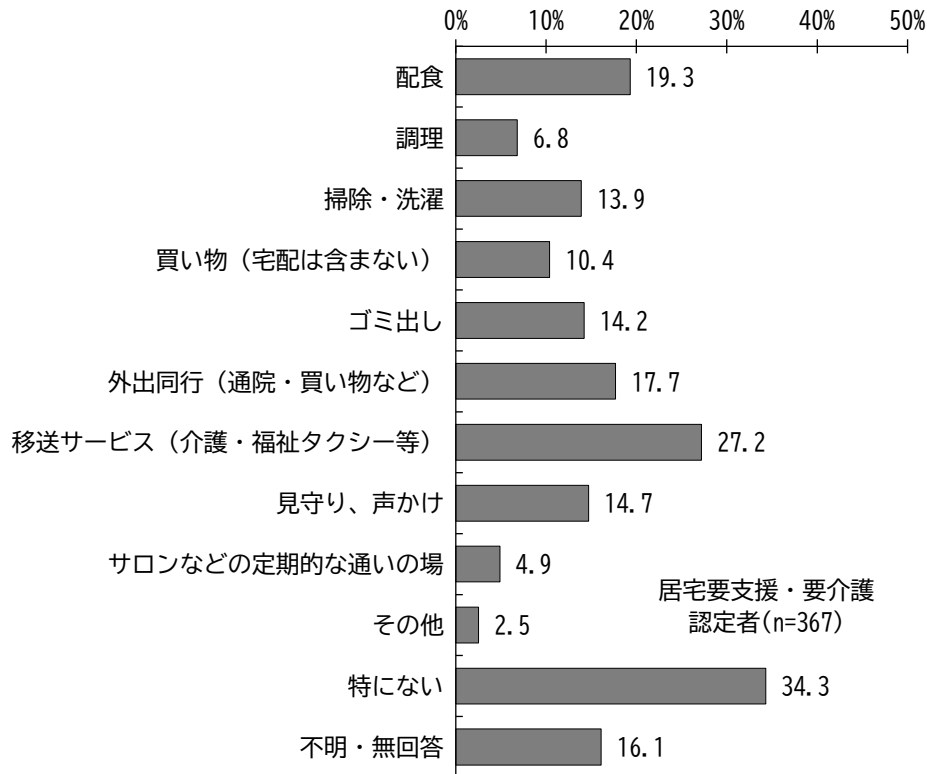
■クロス集計

(単位: %)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、 声かけ	サロンなどの定期的 な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
【要介護度別】												
総合事業対象者 (n=25)	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	8.0	0.0	68.0	20.0
要支援1 (n=66)	9.1	3.0	6.1	9.1	4.5	7.6	15.2	9.1	7.6	0.0	54.5	13.6
要支援2 (n=52)	9.6	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	13.5	3.8	0.0	3.8	55.8	15.4
要介護1 (n=73)	4.1	0.0	4.1	2.7	1.4	2.7	9.6	2.7	1.4	4.1	74.0	4.1
要介護2 (n=55)	7.3	1.8	3.6	3.6	3.6	5.5	9.1	5.5	0.0	3.6	60.0	7.3
要介護3 (n=37)	13.5	5.4	8.1	5.4	2.7	0.0	13.5	5.4	0.0	2.7	59.5	8.1
要介護4 (n=22)	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	18.2	13.6	0.0	0.0	0.0	50.0	18.2
要介護5 (n=11)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	72.7	9.1

問 63 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてご回答ください。
 （複数回答） ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、全体で最も高い「特にない」（34.3%）を除き、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.2%、「配食」が19.3%と高くなっています。

要介護度別では、要支援1、要介護3・5で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ約4割と、他の要介護度と比べて高くなっています。また、要介護で「配食」が36.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。



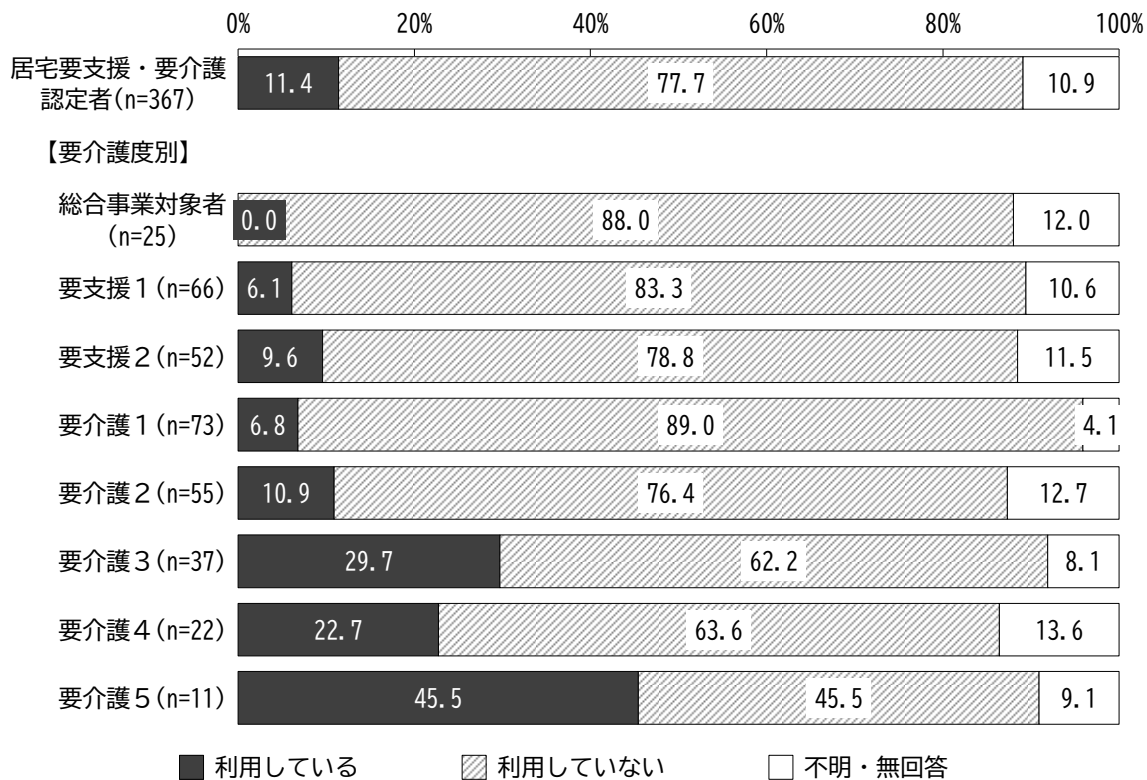
■クロス集計

(単位：%)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
【要介護度別】												
総合事業対象者 (n=25)	28.0	4.0	12.0	8.0	12.0	12.0	8.0	24.0	12.0	4.0	40.0	12.0
要支援1 (n=66)	16.7	6.1	13.6	10.6	18.2	18.2	36.4	16.7	6.1	3.0	28.8	15.2
要支援2 (n=52)	19.2	3.8	11.5	7.7	15.4	19.2	25.0	19.2	3.8	1.9	28.8	17.3
要介護1 (n=73)	21.9	6.8	16.4	8.2	13.7	20.5	24.7	13.7	8.2	2.7	39.7	8.2
要介護2 (n=55)	12.7	7.3	9.1	10.9	7.3	16.4	29.1	5.5	0.0	1.8	34.5	20.0
要介護3 (n=37)	24.3	18.9	29.7	24.3	18.9	29.7	40.5	21.6	2.7	0.0	35.1	13.5
要介護4 (n=22)	13.6	0.0	4.5	4.5	4.5	9.1	13.6	9.1	4.5	4.5	36.4	31.8
要介護5 (n=11)	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	36.4	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1

問 64 現在、訪問診療を利用していますか。(単数回答)

訪問診療を利用しているかは、全体で「利用している」が11.4%、「利用していない」が77.7%となっています。

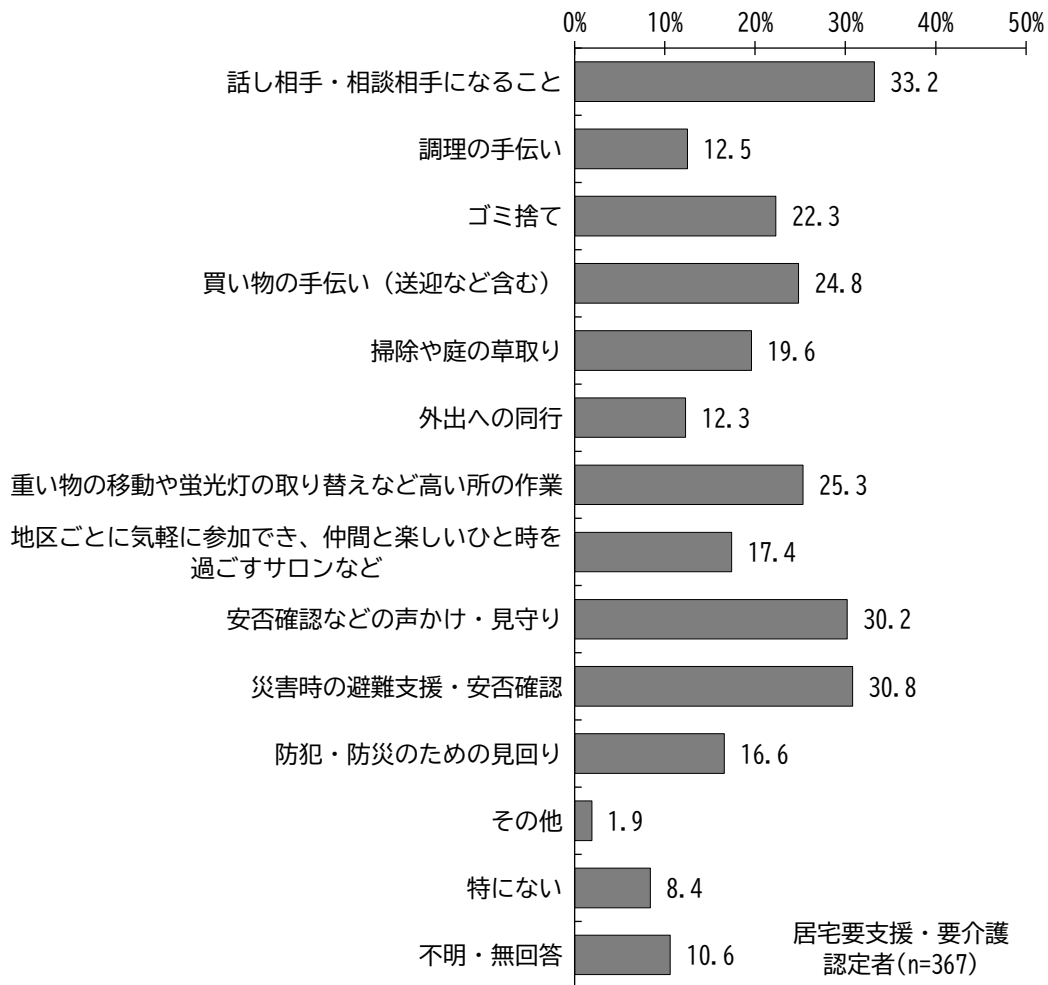
要介護度別では、要介護5で「利用している」が45.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 65 一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を、地域で支えるためにどのような生活支援があるといいと思いますか。(複数回答)

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を、地域で支えるためにどのような生活支援があるといいと思うかは、全体で「話し相手・相談相手になること」が33.2%と最も高く、次いで「災害時の避難支援・安否確認」が30.8%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者、要介護1・5で「安否確認などの声かけ・見守り」がそれぞれ4割台と、他の要介護度と比べて高くなっています



■クロス集計

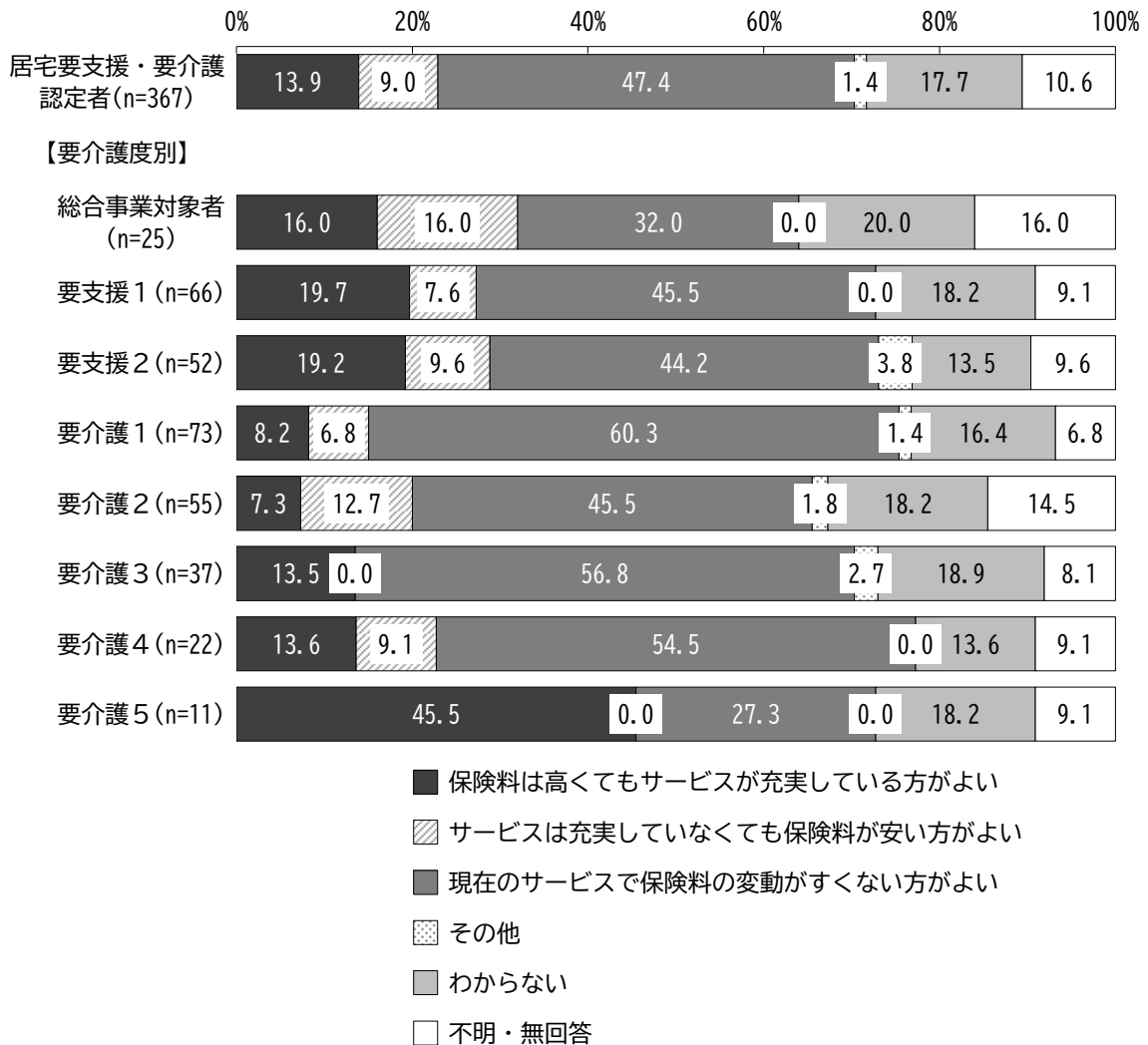
	話し相手・相談相手になること	調理の手伝い	ゴミ捨て	買い物の手伝い(送迎など含む)	掃除や庭の草取り	外出への同行	重い物の移動や蛍光灯の取り替えなど高い所の作業	地区ごとに気軽に参加でき、仲間と楽しいひと時を過ごすサロンなど	安否確認などの声かけ・見守り	災害時の避難支援・安否確認	防犯・防災のための見回り
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者 (n=25)	28.0	8.0	16.0	32.0	8.0	8.0	24.0	20.0	48.0	24.0	24.0
要支援1 (n=66)	34.8	10.6	24.2	27.3	21.2	10.6	28.8	22.7	28.8	36.4	16.7
要支援2 (n=52)	32.7	7.7	23.1	30.8	13.5	7.7	32.7	9.6	21.2	34.6	11.5
要介護1 (n=73)	32.9	13.7	24.7	21.9	15.1	16.4	17.8	23.3	41.1	28.8	19.2
要介護2 (n=55)	29.1	9.1	14.5	18.2	29.1	7.3	34.5	12.7	27.3	29.1	12.7
要介護3 (n=37)	35.1	21.6	24.3	32.4	29.7	18.9	21.6	5.4	27.0	29.7	21.6
要介護4 (n=22)	36.4	22.7	18.2	18.2	22.7	18.2	22.7	22.7	27.3	36.4	18.2
要介護5 (n=11)	27.3	18.2	27.3	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	45.5	36.4	0.0

	その他	特にない	不明・無回答
(単位：%)			
【要介護度別】			
総合事業対象者 (n=25)	0.0	8.0	12.0
要支援1 (n=66)	0.0	3.0	15.2
要支援2 (n=52)	1.9	5.8	5.8
要介護1 (n=73)	4.1	8.2	5.5
要介護2 (n=55)	3.6	10.9	12.7
要介護3 (n=37)	0.0	8.1	10.8
要介護4 (n=22)	0.0	18.2	13.6
要介護5 (n=11)	9.1	0.0	9.1

問 66 特別養護老人ホームや老人保健施設などへの入所、訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの利用量が多くなれば、それだけ介護保険料も上がることとなります。介護サービスの充実と保険料についてどのように考えますか。（単数回答）

介護サービスの充実と保険料についての考えは、全体で「現在のサービスで保険料の変動がすくない方がよい」が47.4%と最も高く、次いで「わからない」が17.7%となっています。

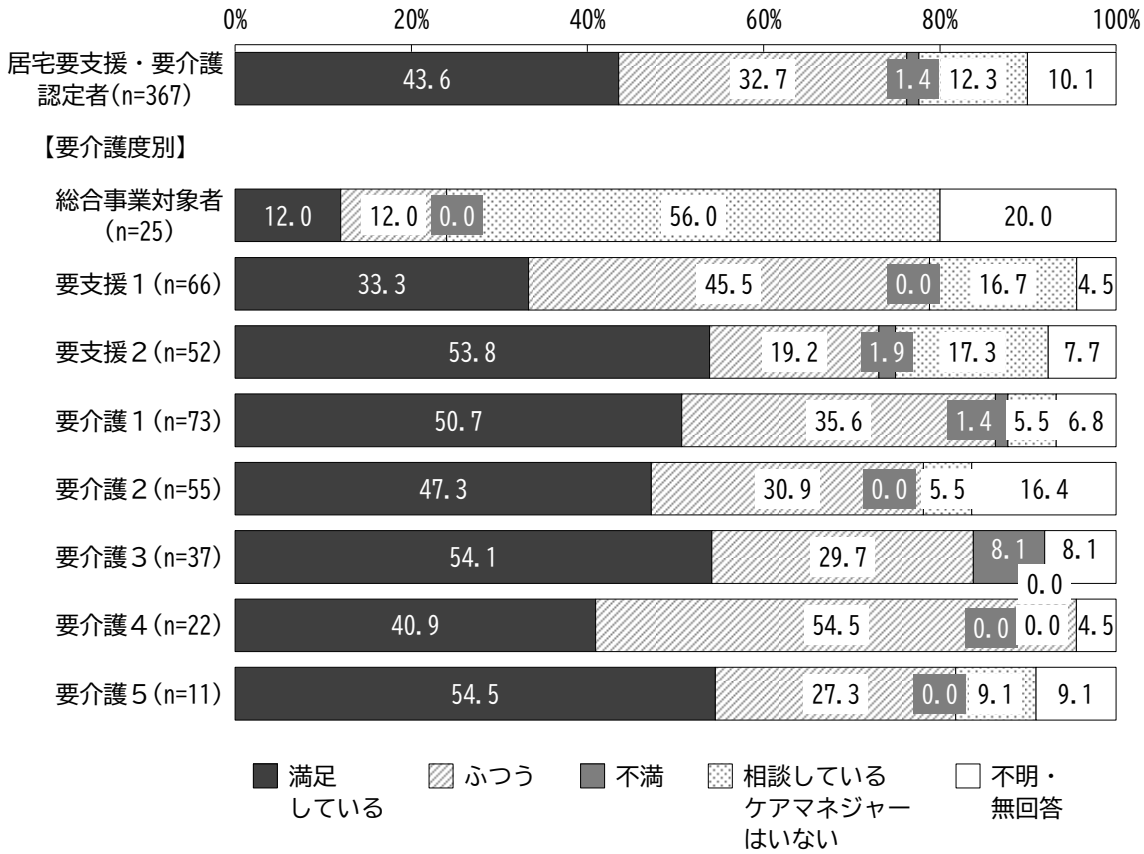
要介護度別では、要介護1で「現在のサービスで保険料の変動が少ない方がよい」が60.3%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 67 現在のケアマネジャーの対応に満足していますか。(単数回答)

現在のケアマネジャーの対応に満足しているかは、全体で「満足している」が43.6%と最も高く、次いで「ふつう」が32.7%となっています。

要介護度別では、要支援2、要介護1・3・5で「満足している」がそれぞれ5割台となっています。



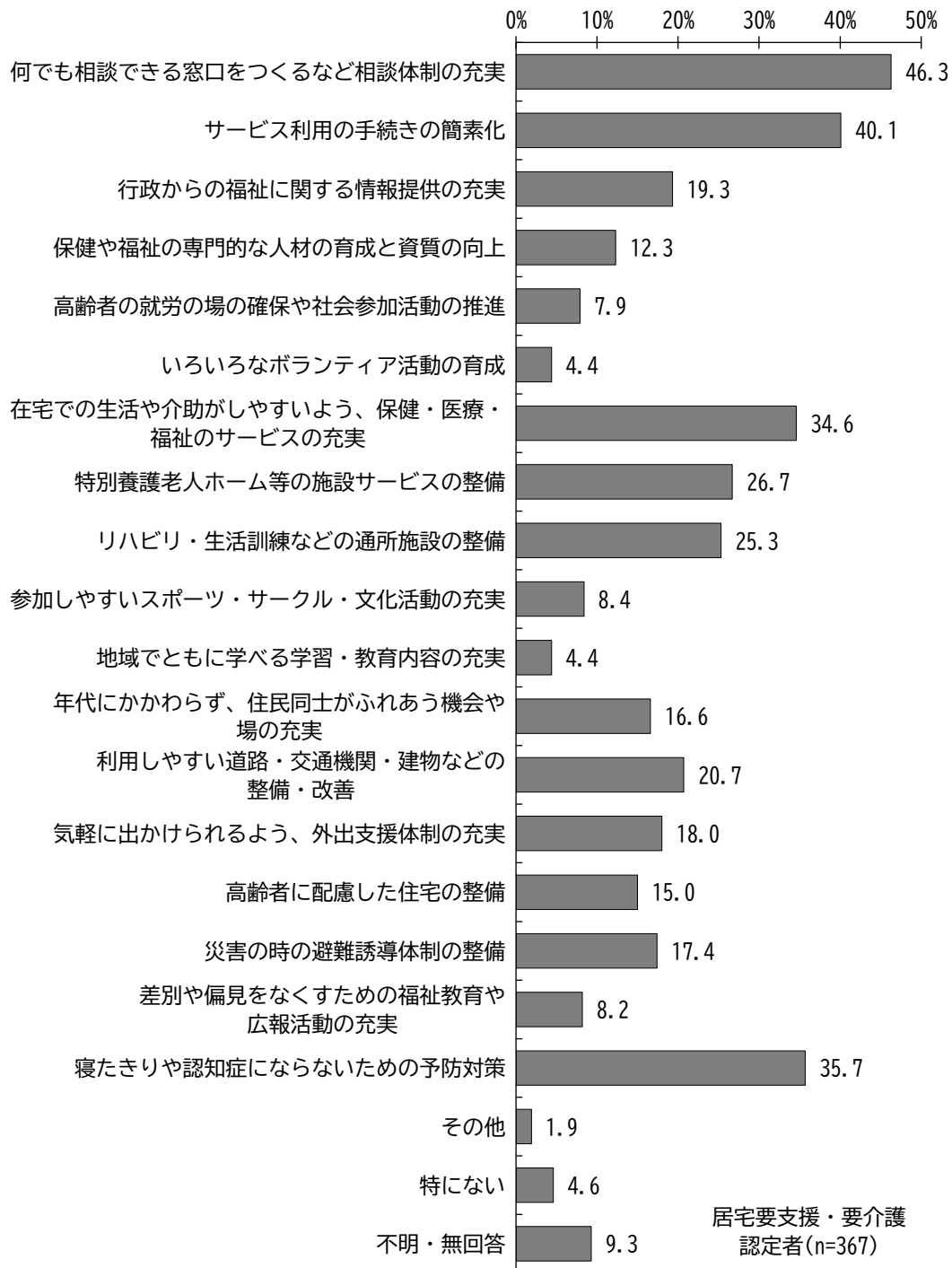
◆ケアマネジャーの対応に「不満」である理由 (自由記述)

不満の理由
もう少し寄り添ってほしい。
利用者に寄り添っていない、事業者目線。
書類が届くのが遅い。連絡を忘れている事がある。

問 68 高齢者にとって住みよいまちをつくるため、何に重点をおくべきだと思いますか。
(複数回答)

高齢者にとって住みよいまちをつくるために、重点をおくべきことは、全体で「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 46.3%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が 40.1%となっています。

要介護度別では、総合事業対象者で「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 64.0%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



■クロス集計

	何でも相談できる窓口をつくるなど 相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充 実	保健や福祉の専門的な人材の育成と 資質の向上	高齢者の就労の場の確保や社会参加活 動の推進	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、 保健・医療・福祉のサービスの充実	特別養護老人ホーム等の施設サービ スの整備	リハビリ・生活訓練などの通所施設の 整備	参加しやすいスポーツ・サークル・ 文化活動の充実	地域でともに学べる学習・教育内容の 充実
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者 (n=25)	64.0	28.0	24.0	4.0	8.0	0.0	24.0	12.0	12.0	4.0	4.0
要支援1 (n=66)	47.0	36.4	12.1	3.0	6.1	6.1	31.8	21.2	24.2	12.1	6.1
要支援2 (n=52)	48.1	36.5	13.5	9.6	3.8	0.0	28.8	26.9	25.0	5.8	5.8
要介護1 (n=73)	52.1	47.9	27.4	16.4	15.1	8.2	41.1	23.3	28.8	12.3	5.5
要介護2 (n=55)	34.5	40.0	25.5	12.7	1.8	1.8	32.7	23.6	32.7	7.3	3.6
要介護3 (n=37)	43.2	40.5	27.0	24.3	8.1	2.7	43.2	54.1	35.1	8.1	2.7
要介護4 (n=22)	31.8	50.0	4.5	13.6	13.6	4.5	40.9	40.9	22.7	4.5	4.5
要介護5 (n=11)	45.5	45.5	9.1	18.2	0.0	0.0	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0

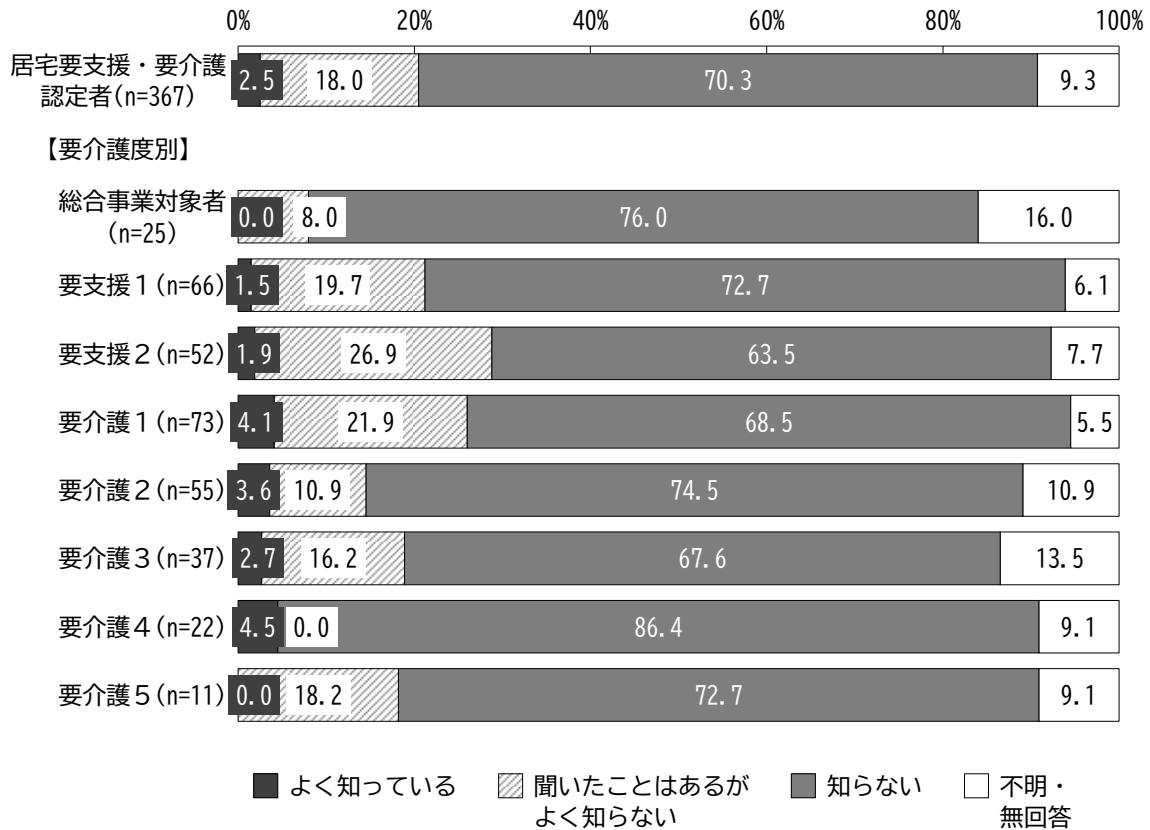
	年代にかかわらず、住民同士がふれあ う機会や場の充実	整備・改善 の 利用しやすい道路・交通機関・建物など	気軽に出かけられるよう、外出支援体制 の充実	高齢者に配慮した住宅の整備	災害の時の避難誘導体制の整備	広報活動の充実	差別や偏見をなくすための福祉教育や 広報活動の充実	寝たきりや認知症にならないための 予防対策	その他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
(単位：%)											
【要介護度別】											
総合事業対象者 (n=25)	20.0	24.0	16.0	0.0	16.0	12.0	24.0	8.0	8.0	4.0	
要支援1 (n=66)	24.2	22.7	24.2	13.6	19.7	7.6	36.4	1.5	3.0	4.5	
要支援2 (n=52)	15.4	21.2	19.2	15.4	15.4	5.8	34.6	0.0	5.8	7.7	
要介護1 (n=73)	21.9	21.9	20.5	20.5	19.2	13.7	41.1	4.1	0.0	6.8	
要介護2 (n=55)	9.1	23.6	16.4	12.7	16.4	3.6	41.8	0.0	3.6	14.5	
要介護3 (n=37)	2.7	18.9	13.5	24.3	21.6	8.1	29.7	0.0	5.4	13.5	
要介護4 (n=22)	9.1	13.6	18.2	13.6	4.5	0.0	45.5	4.5	4.5	9.1	
要介護5 (n=11)	18.2	9.1	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	

13. 自身の人生の最終段階における過ごし方について

問 69 あなたは人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、これまで知っていましたか。（単数回答）

人生会議を知っていたかは、全体で「よく知っている」が 2.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 18.0%、「知らない」が 70.3%となっています。

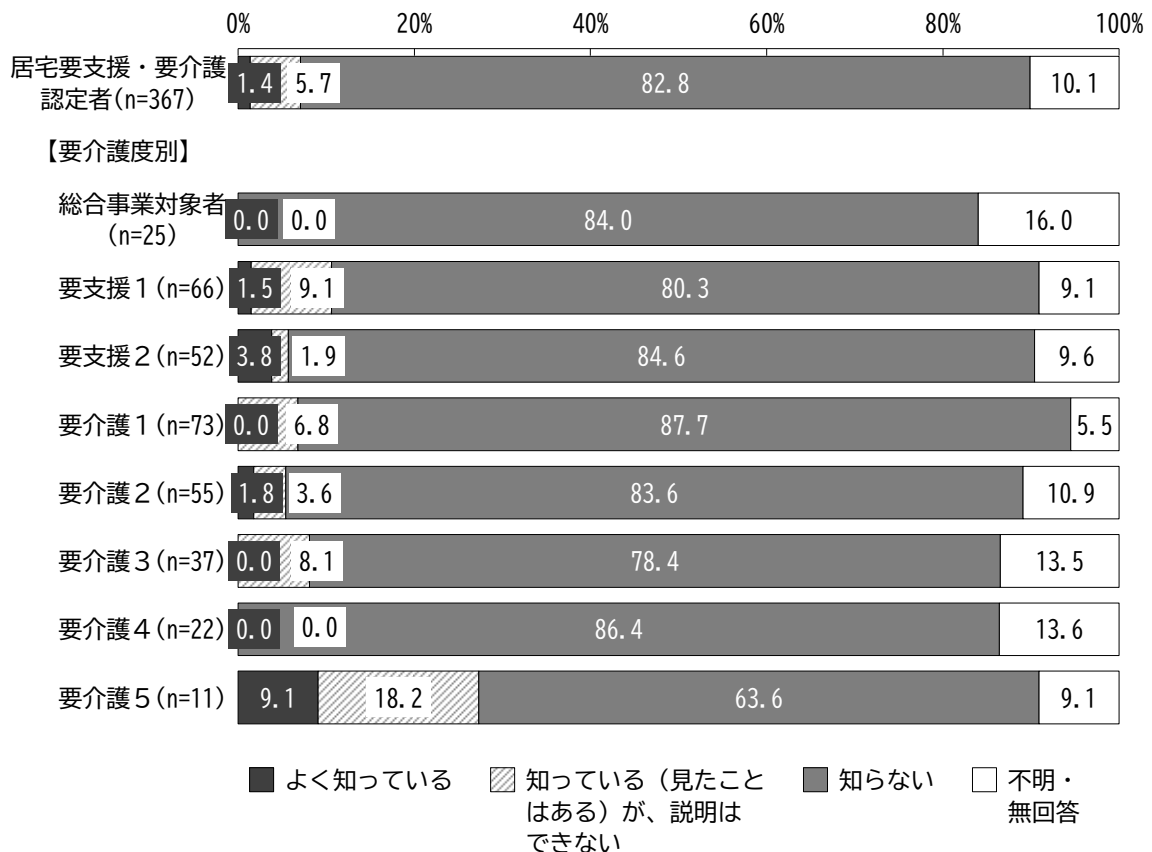
要介護度別では、いずれの要介護度も「知らない」がそれぞれ6～8割台となっています。



問 70 あなたは各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」について、これまで知っていましたか。(単数回答)

各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」を知っていたかは、全体で「よく知っている」が1.4%、「知っている（見たことはある）が、説明はできない」が5.7%、「知らない」が82.8%となっています。

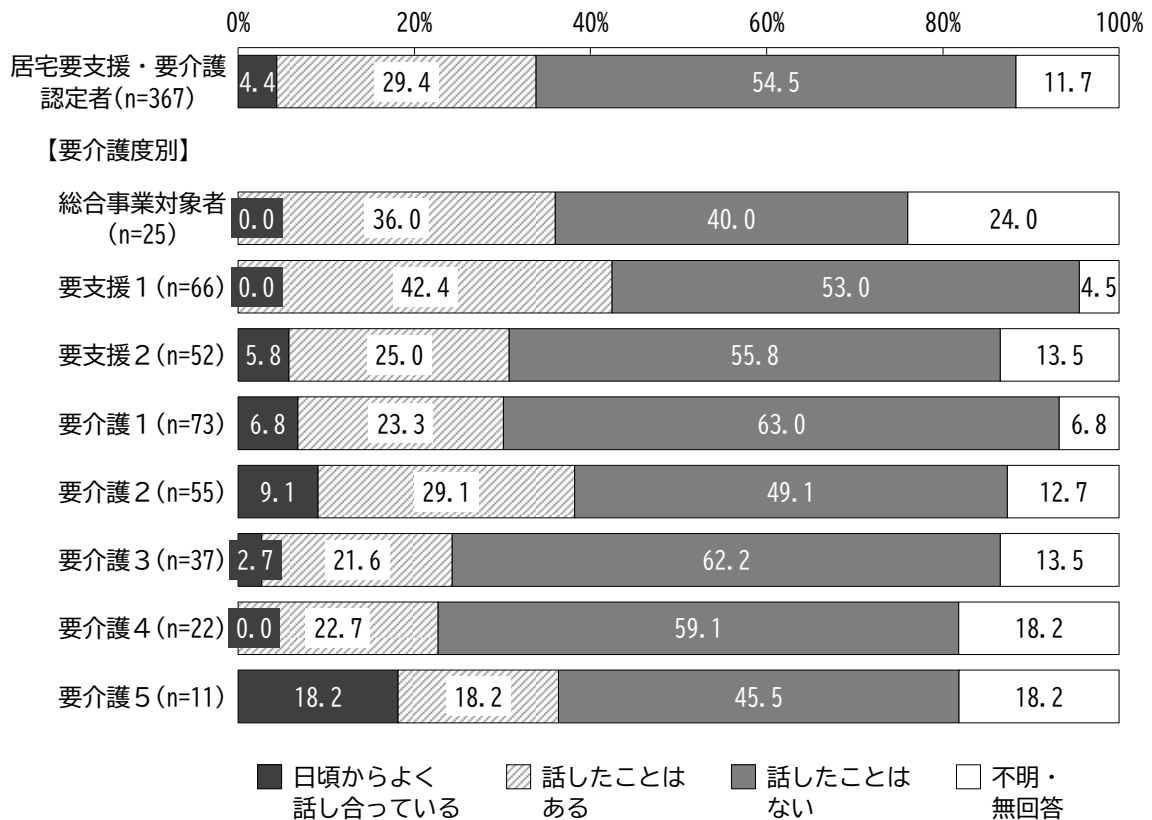
要介護度別では、要介護5を除いた要介護度等で「知らない」がそれぞれ7～8割台となっています。



問 71 人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っていますか。(単数回答)

人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っているかは、全体で「日頃からよく話し合っている」が4.4%、「話したことはある」が29.4%、「話したことはない」が54.5%となっています。

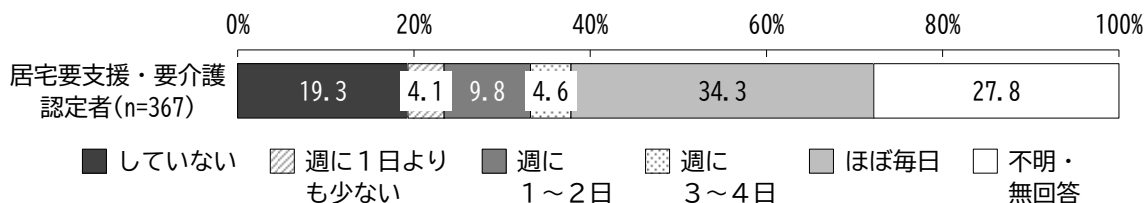
要介護度別では、要介護1・3で「話したことはない」がそれぞれ6割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



14. 宛名の方を介護している方について

問 72 あなたを含め、ご家族やご親族の方は、週にどのくらい介護していますか（同居していない子どもや親族等の介護を含む）。（単数回答）

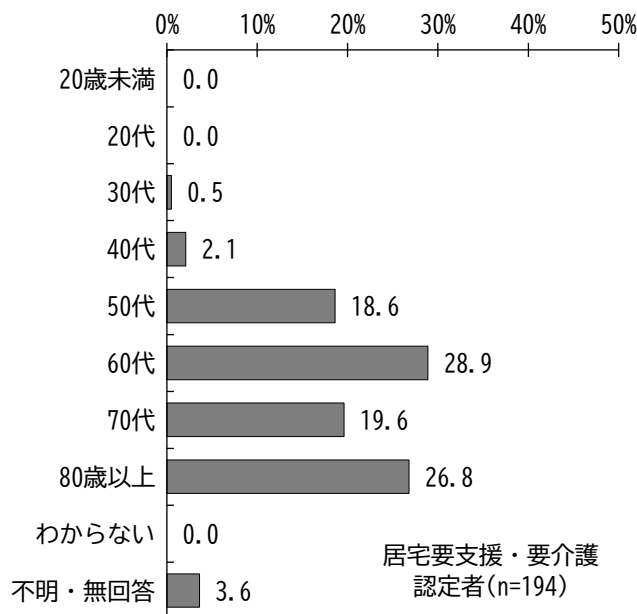
家族や親族の介護頻度は、「ほぼ毎日」が34.3%と最も高く、次いで「していない」が19.3%となっています。



問 72 で「週に1日より少ない」「週に1~2日」「週に3~4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 73 主な介護者の年齢について、ご回答ください。（単数回答）

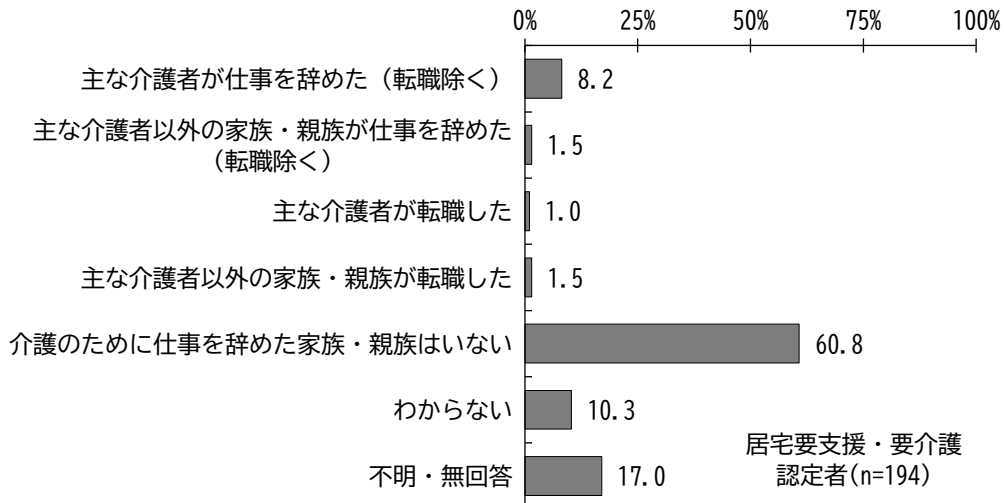
主な介護者の年齢は、「60代」が28.9%と最も高く、次いで「80歳以上」が26.8%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 74 ご家族やご親族の中で、宛名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数回答） ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

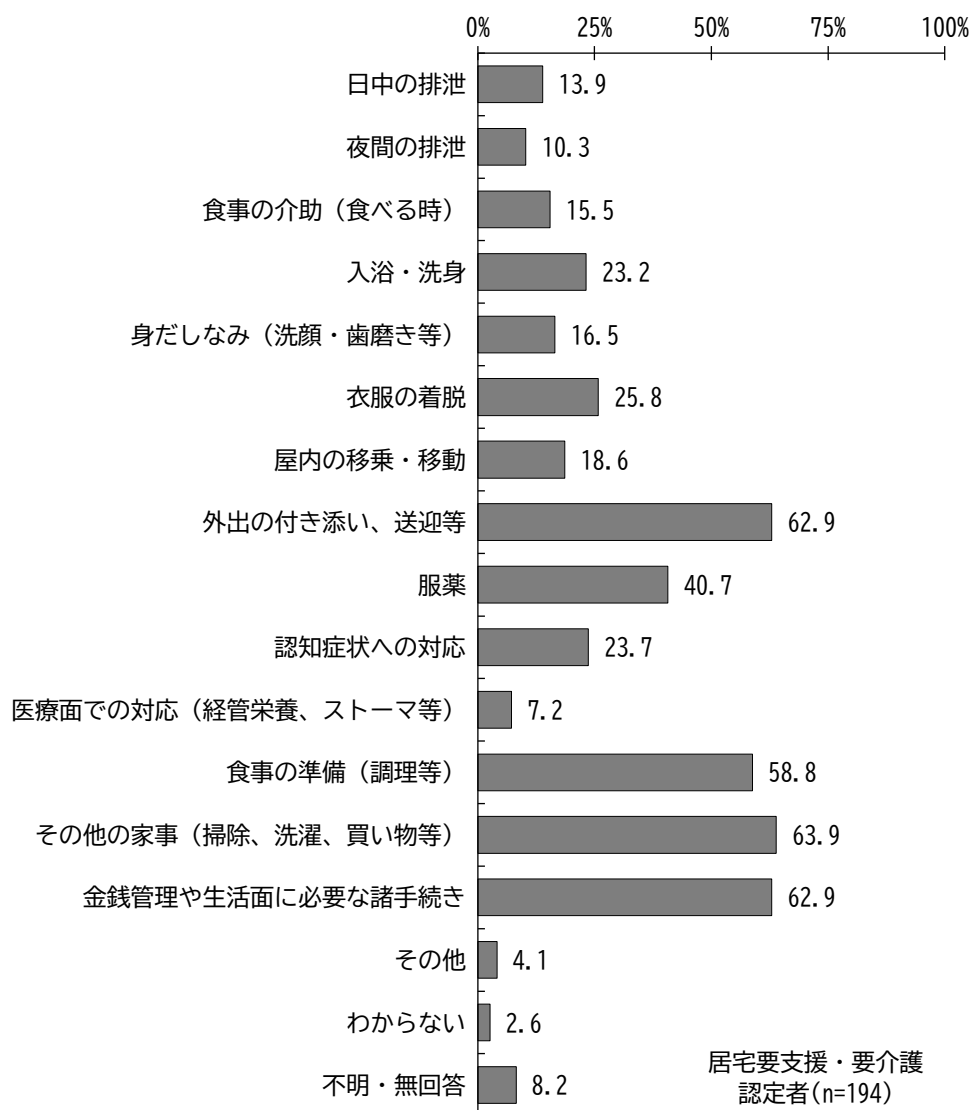
介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.8%と最も高く、次いで「わからない」が10.3%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 75 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数回答)

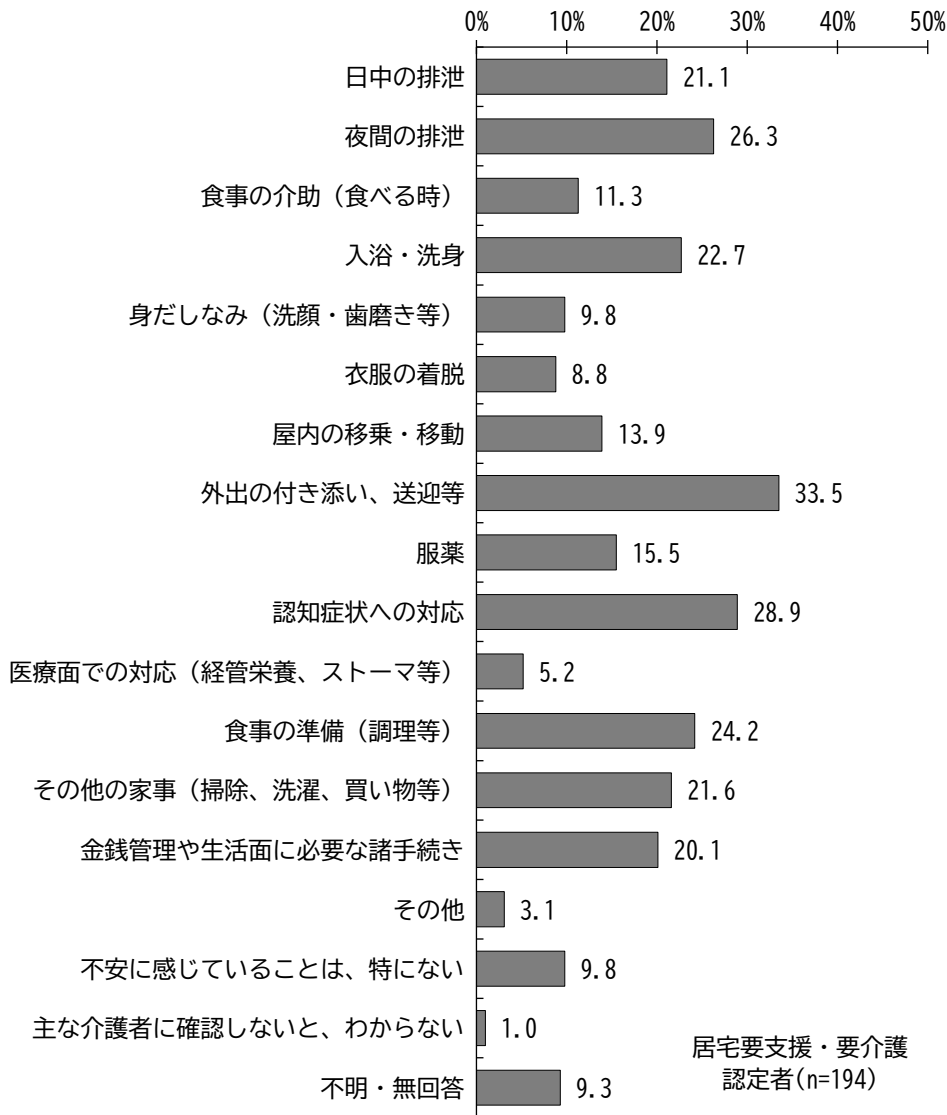
主な介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が63.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ62.9%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 76 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（複数回答）

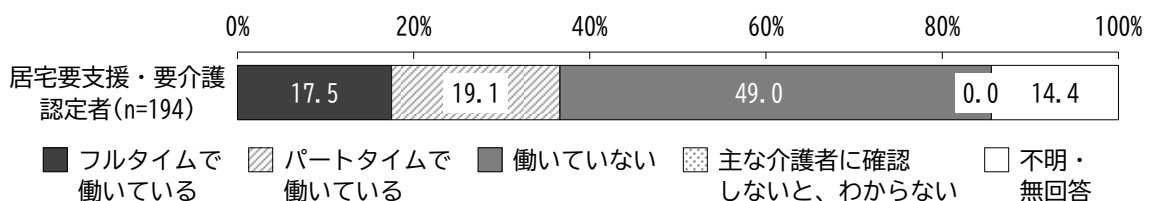
主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」が 33.5%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が 28.9%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 77 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（単数回答）

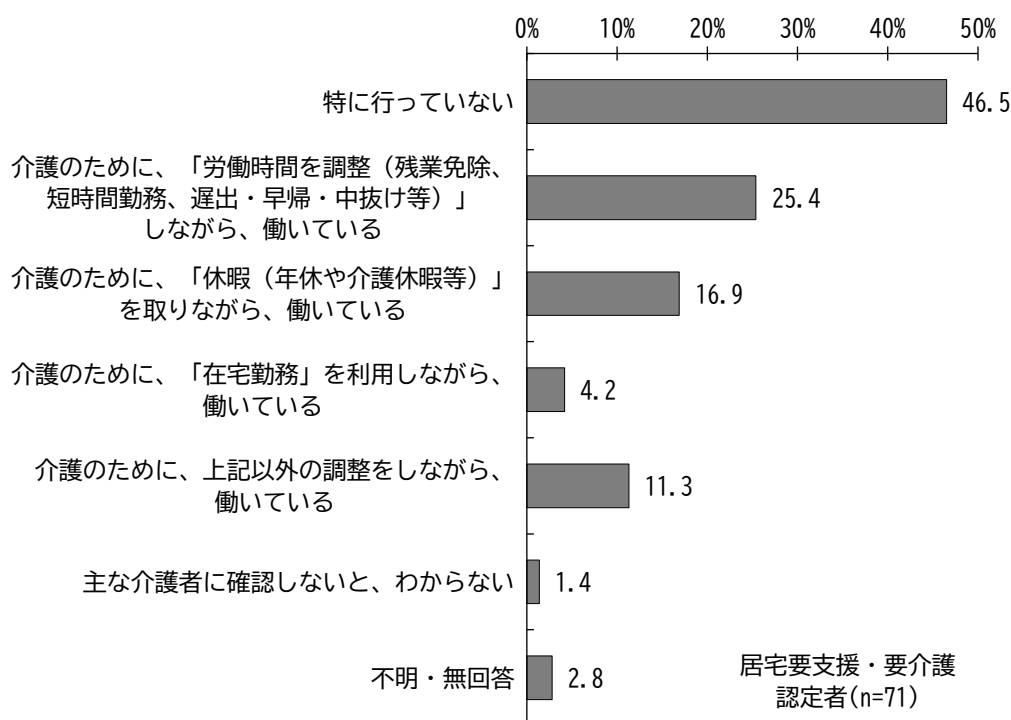
主な介護者の方の現在の勤務形態は、「働いていない」が 49.0%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が 19.1%となっています。



問 77 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

問 77-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数回答)

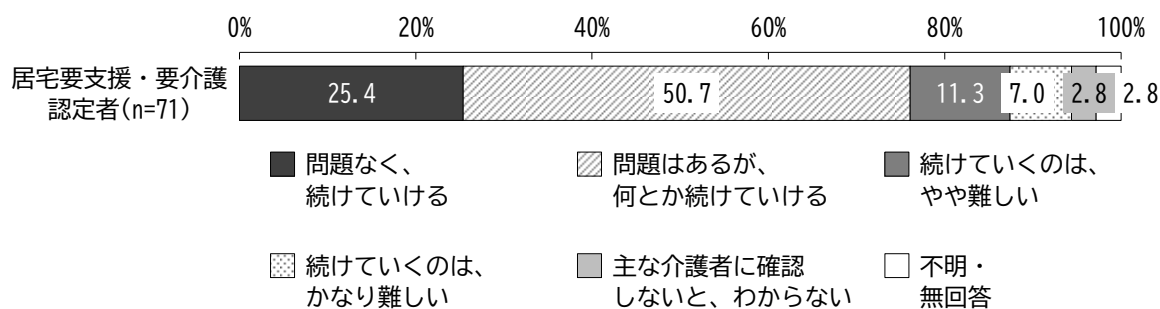
介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかは、「特に行っていない」が 46.5%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 25.4%となっています。



問 77 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

問 77-2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(単数回答)

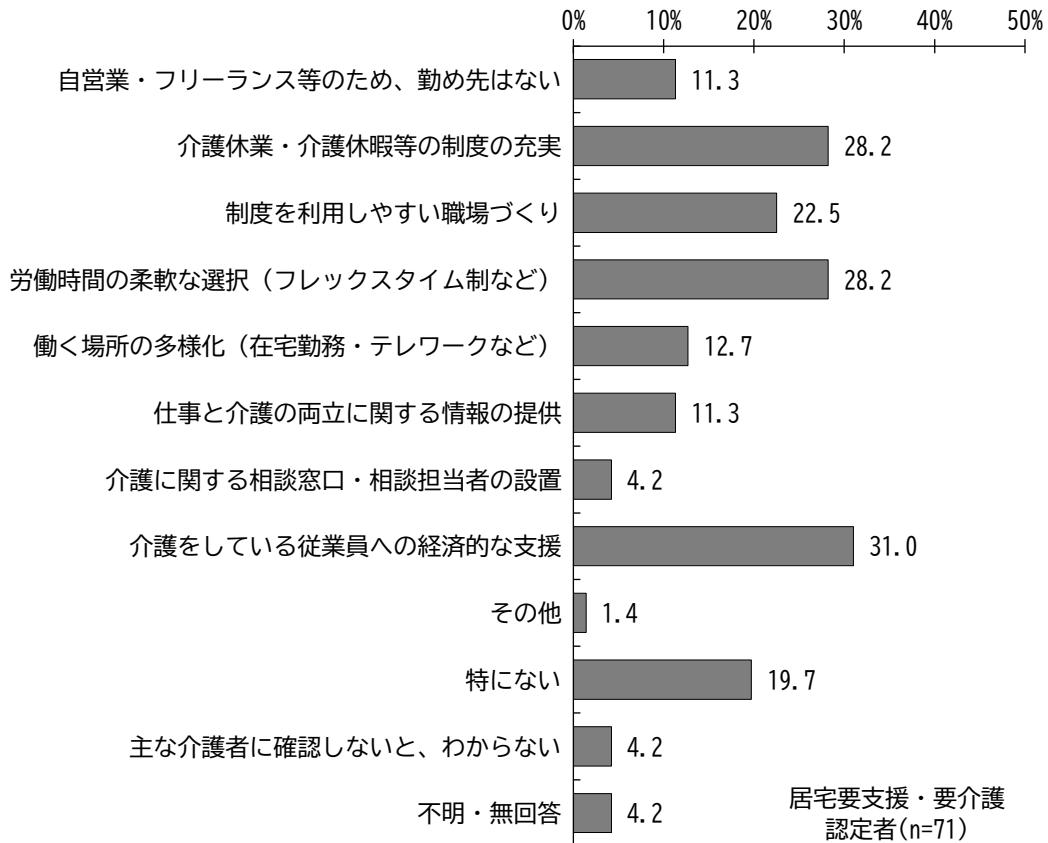
今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題はあるが、何とか続けていける」が 50.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 25.4%となっています。



問 77 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

問 77-3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(複数回答)

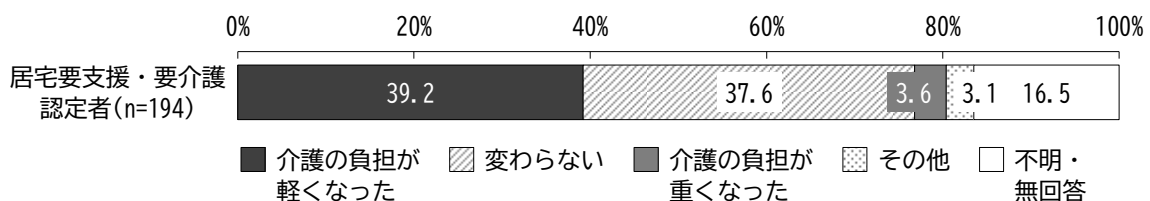
勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 31.0%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ 28.2%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 78 介護保険サービスを受けて、身体的・精神的な介護負担はどう変わりましたか。(単数回答)

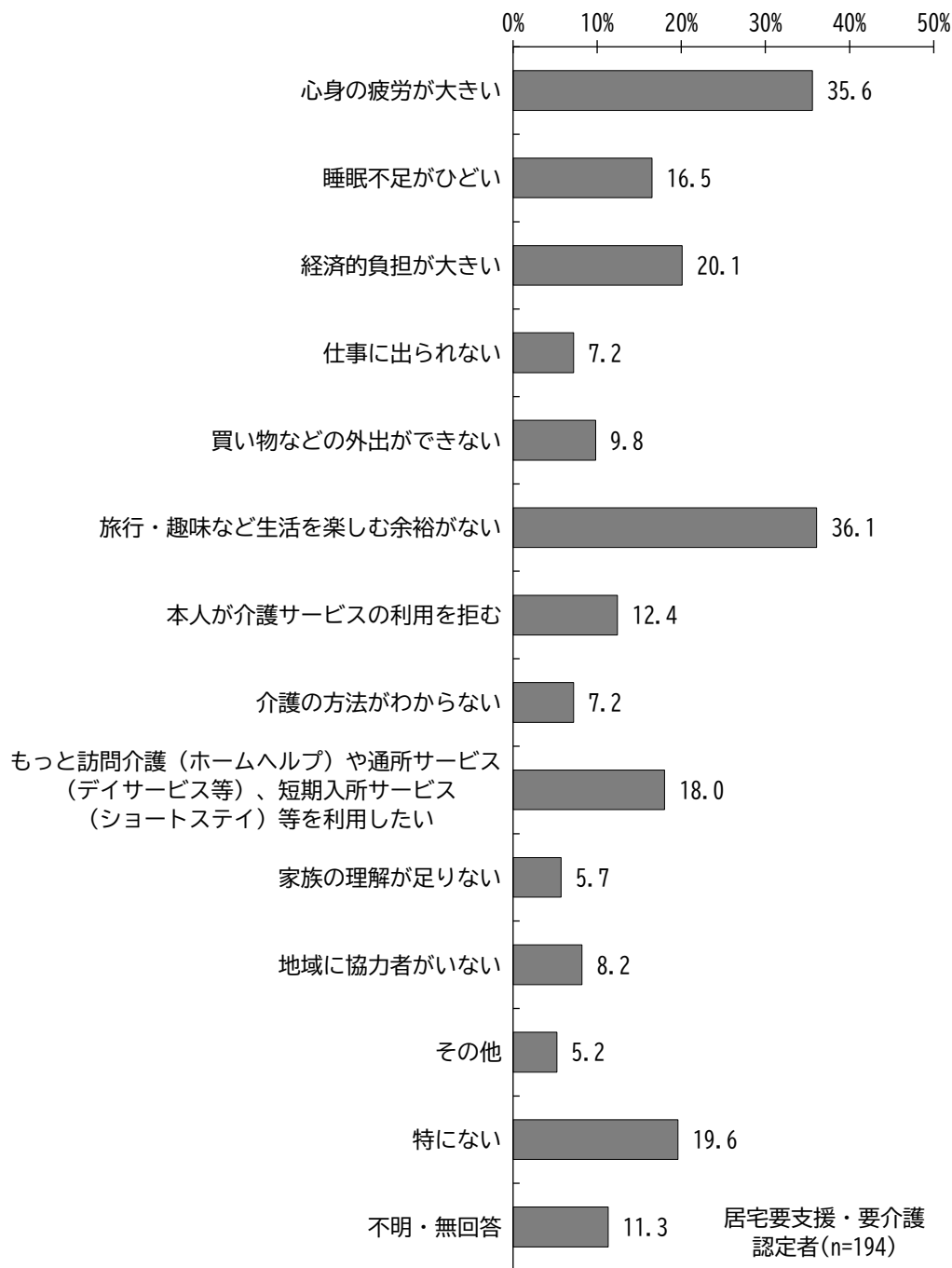
介護保険サービスを受けて、身体的・精神的な介護負担の変化は、「介護の負担が軽くなった」が 39.2%と最も高く、次いで「変わらない」が 37.6%となっています。



問 72 で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問 79 介護の際、どんなことに困っていますか。(複数回答)

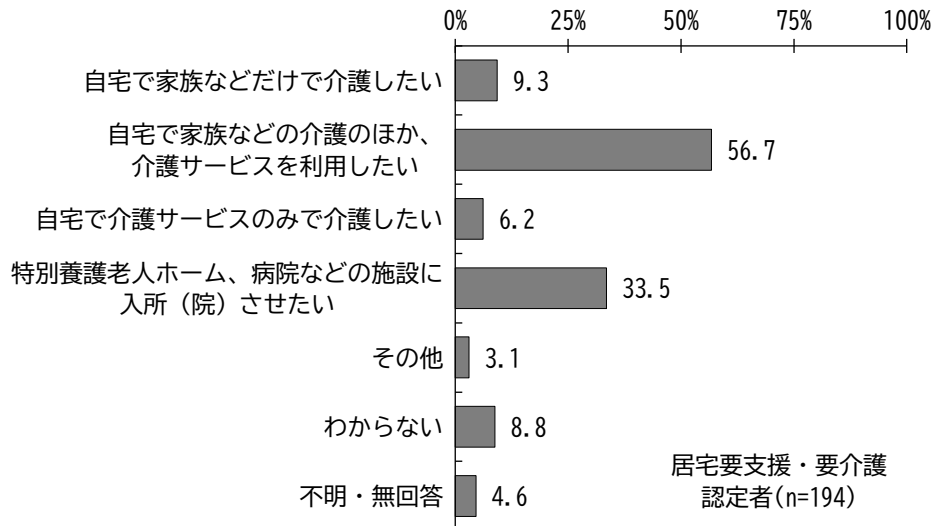
介護の際に困っていることは、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が 36.1%と最も高く、次いで「心身の疲労が大きい」が 35.6%となっています。



問72で「週に1日よりも少ない」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日」のいずれかと回答した方のみ

問80 今後、どのように介護していきたいとお考えですか。(複数回答)

今後、どのように介護していきたいかは、「自宅で家族などの介護のほか、介護サービスを利用したい」が56.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム、病院などの施設に入所(院)させたい」が33.5%となっています。

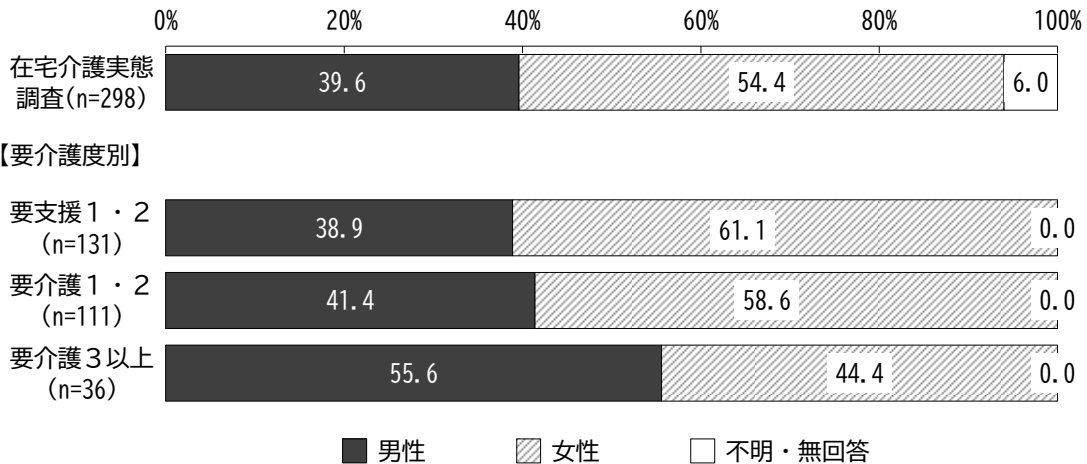


V 在宅介護実態調査結果

1. 基本属性

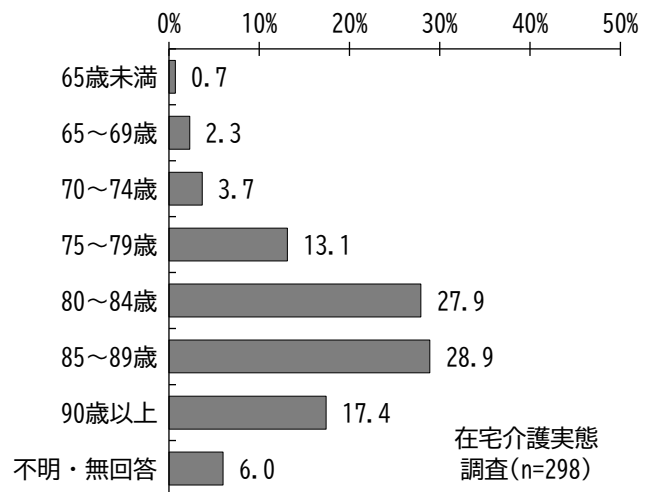
◆性別

性別は、全体で「男性」が39.6%、「女性」が54.4%となっています。
要介護度別では、下記のとおりです。



◆年齢

年齢は、全体で「85～89歳」が28.9%と最も高く、次いで「80～84歳」が27.9%となっています。
要介護度別では、下記のとおりです。

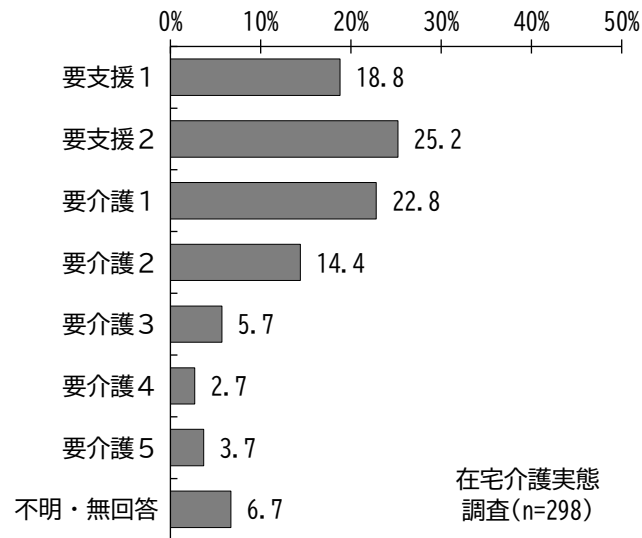


■クロス集計

(単位：%)	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	回答不明・無
	【要介護度別】							
要支援1・2 (n=131)	0.0	3.1	3.1	16.0	30.5	29.8	17.6	0.0
要介護1・2 (n=111)	0.9	1.8	3.6	11.7	31.5	34.2	16.2	0.0
要介護3以上 (n=36)	2.8	2.8	8.3	13.9	16.7	25.0	30.6	0.0

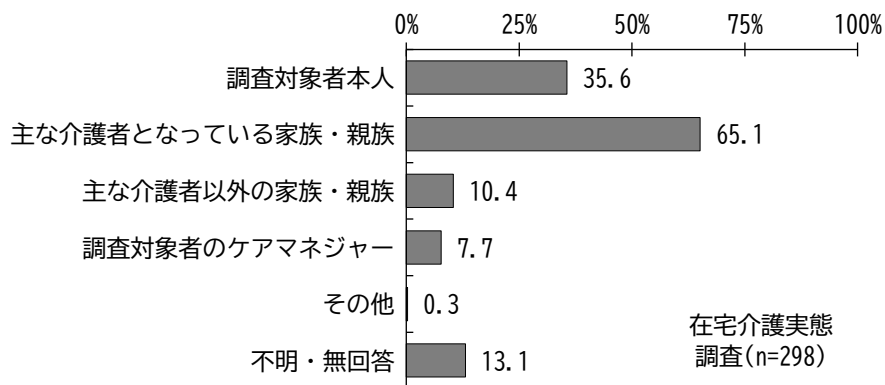
◆要介護度

要介護度は、「要支援2」が25.2%と最も高く、次いで「要介護1」が22.8%となっています。



A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数回答）

聞き取りを行った相手は、「主な介護者となっている家族・親族」が65.1%と最も高く、次いで、「調査対象者本人」が35.6%となっています。

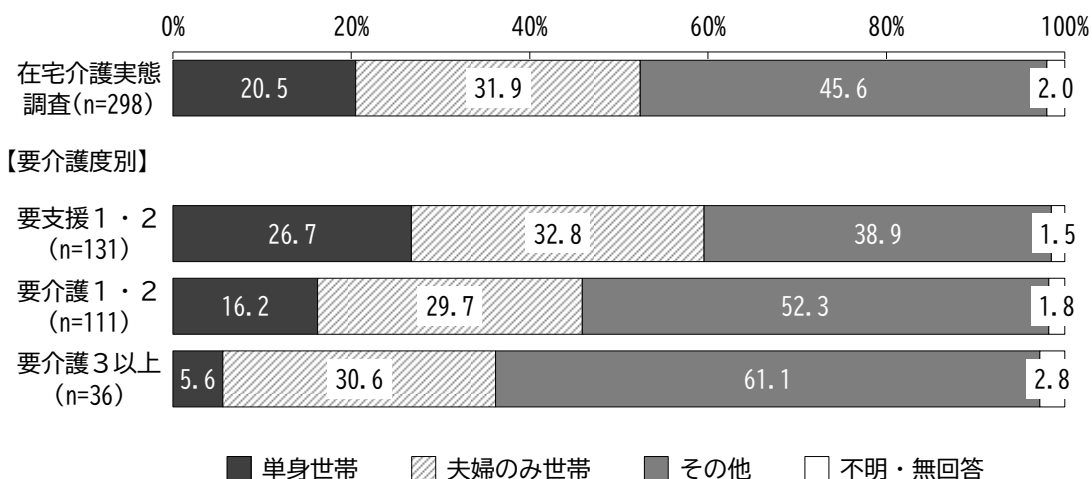


2. A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（単数回答）

世帯類型は、全体で「単身世帯」が20.5%、「夫婦のみ世帯」が31.9%、「その他」が45.6%となっています。

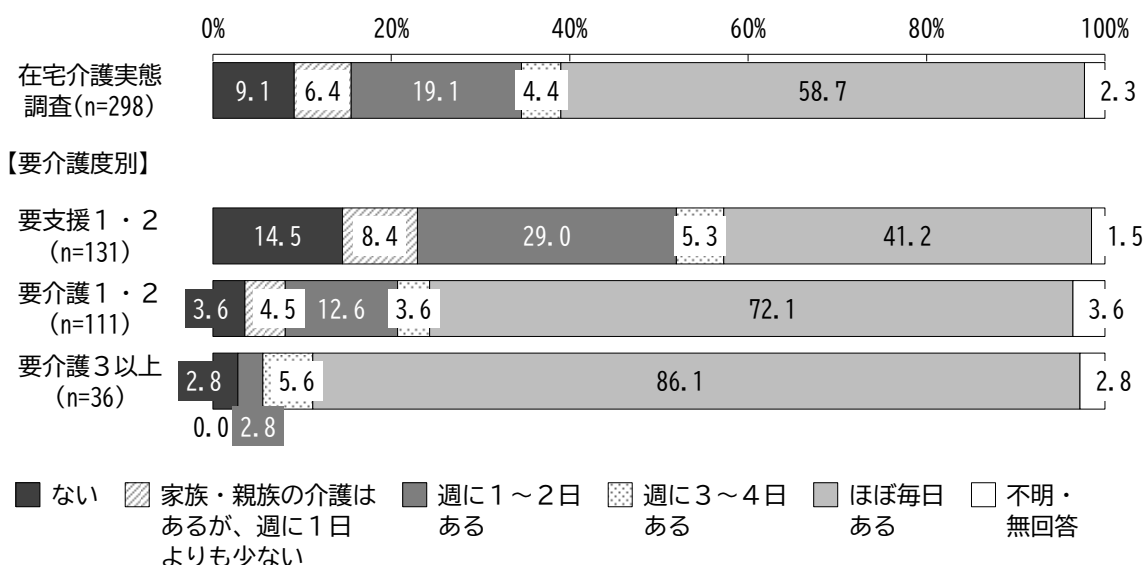
要介護度別では、要支援1・2で「単身世帯」が26.7%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（単数回答）

家族や親族からの介護頻度は、全体で「ほぼ毎日ある」が58.7%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」が19.1%となっています。

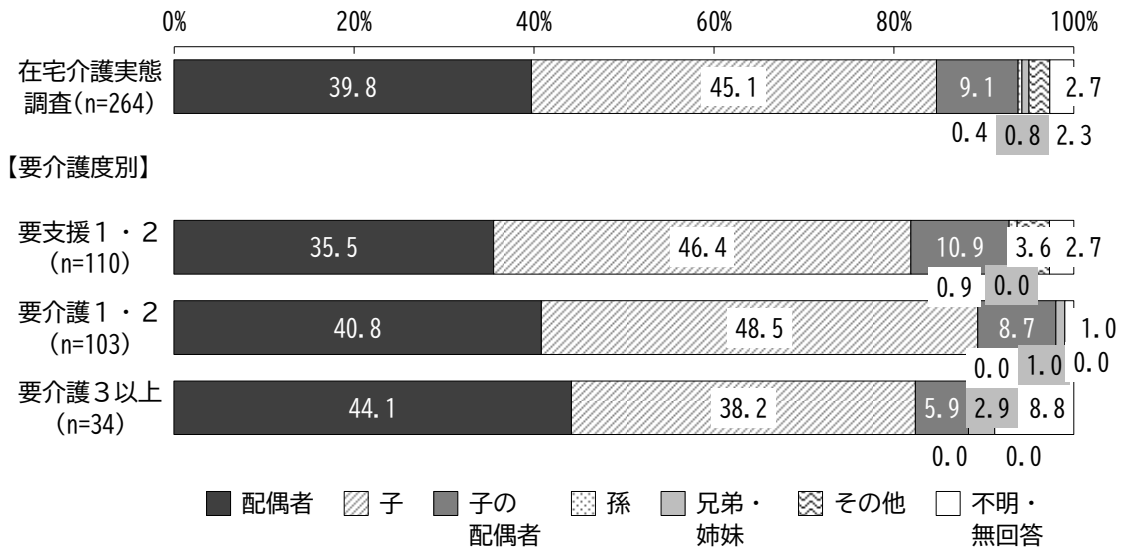
要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「ほぼ毎日ある」が高くなっています。



問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答した方のみ

問3 主な介護者の方は、どなたですか（単数回答）

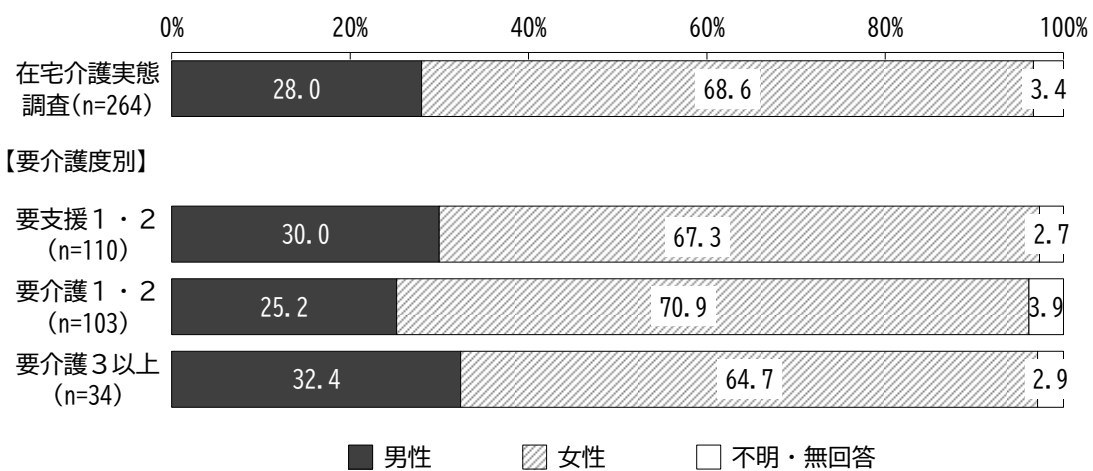
主な介護者は、全体で「子」が45.1%と最も高く、次いで「配偶者」が39.8%となっています。要介護度別では、いずれの要介護度も「配偶者」「子」がそれぞれ上位となっています。



問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答した方のみ

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（単数回答）

主な介護者の性別は、全体で「男性」が28.0%、「女性」が68.6%となっています。要介護度別では、いずれの要介護度も「女性」がそれぞれ6～7割台となっています。

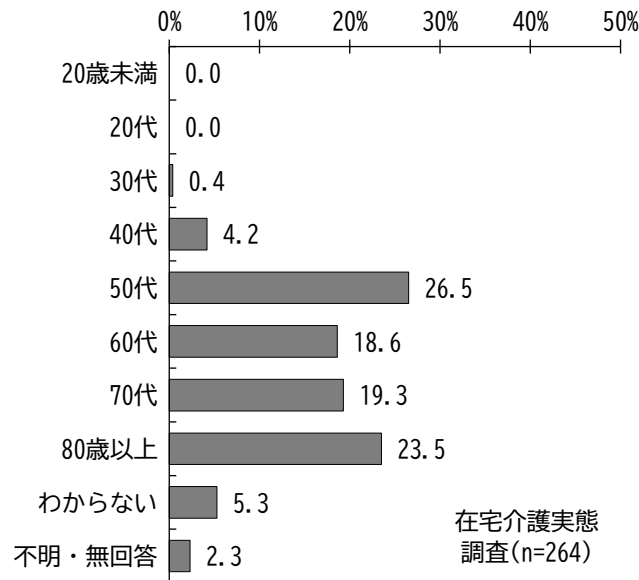


問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答した方のみ

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（単数回答）

主な介護者の年齢は、全体で「50代」が26.5%と最も高く、次いで「80歳以上」が23.5%となっています。

要介護度別では、「50代」が要支援1・2で30.0%、要介護1・2で30.1%、要介護3以上で「60代」が38.2%と、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

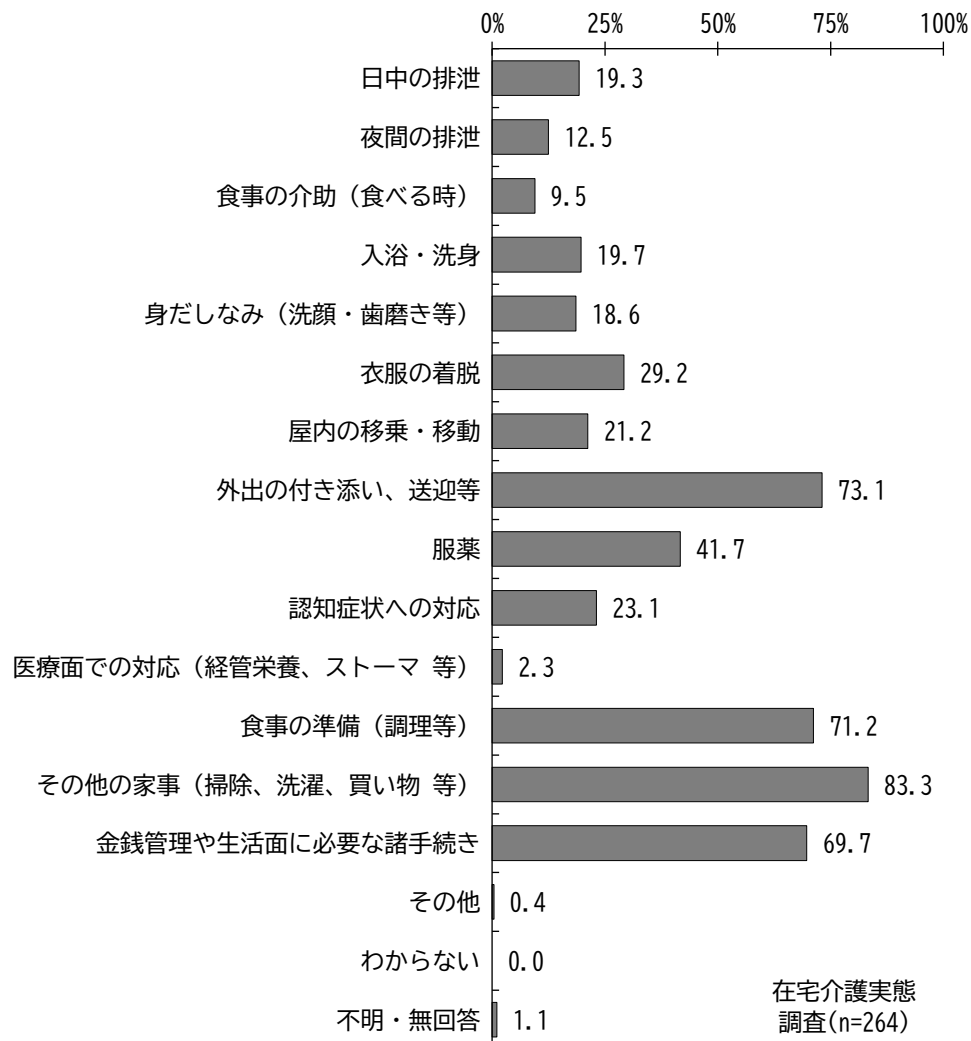
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
(単位：%)										
【要介護度別】										
要支援1・2 (n=110)	0.0	0.0	0.0	6.4	30.0	13.6	16.4	26.4	5.5	1.8
要介護1・2 (n=103)	0.0	0.0	1.0	2.9	30.1	16.5	20.4	20.4	5.8	2.9
要介護3以上 (n=34)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	38.2	23.5	20.6	2.9	2.9

問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答した方のみ

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数回答）

主な介護者の方が行っている介護等は、全体で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が73.1%となっています。

要介護度別では、要支援1・2で「外出の付き添い、送迎等」が76.4%、要介護1・2で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が88.3%、要介護3以上で「食事の準備（調理等）」が100.0%と、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
【要介護度別】											
要支援1・2 (n=110)	5.5	4.5	1.8	10.9	9.1	14.5	7.3	76.4	17.3	10.0	0.0
要介護1・2 (n=103)	15.5	5.8	2.9	18.4	17.5	27.2	23.3	70.9	54.4	35.0	2.9
要介護3以上 (n=34)	70.6	55.9	50.0	50.0	52.9	79.4	61.8	67.6	82.4	29.4	8.8

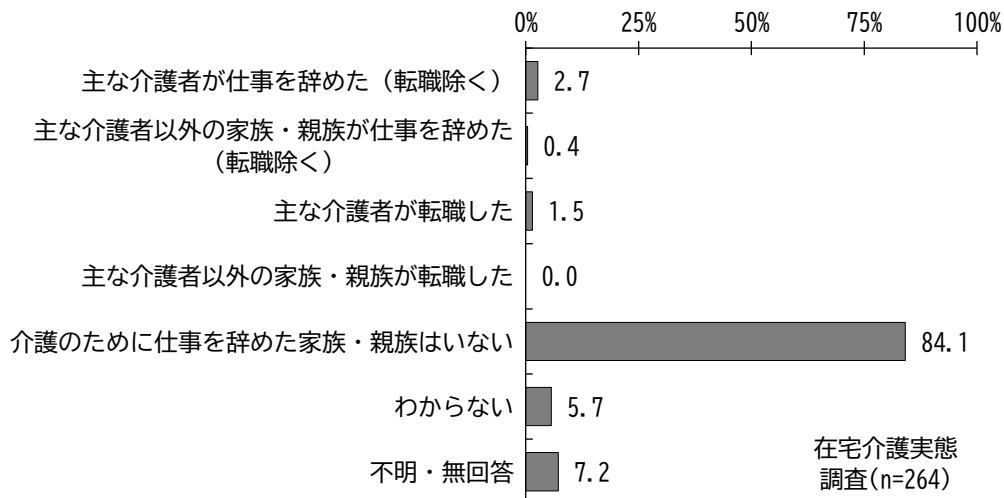
(単位：%)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
【要介護度別】						
要支援1・2 (n=110)	50.9	75.5	57.3	0.9	0.0	1.8
要介護1・2 (n=103)	83.5	88.3	73.8	0.0	0.0	1.0
要介護3以上 (n=34)	100.0	94.1	88.2	0.0	0.0	0.0

問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答した方のみ

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数回答） ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、全体で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が84.1%と最も高く、次いで「わからない」が5.7%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」がそれぞれ最も高くなっています。なお、要介護度が重くなるにつれて「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。



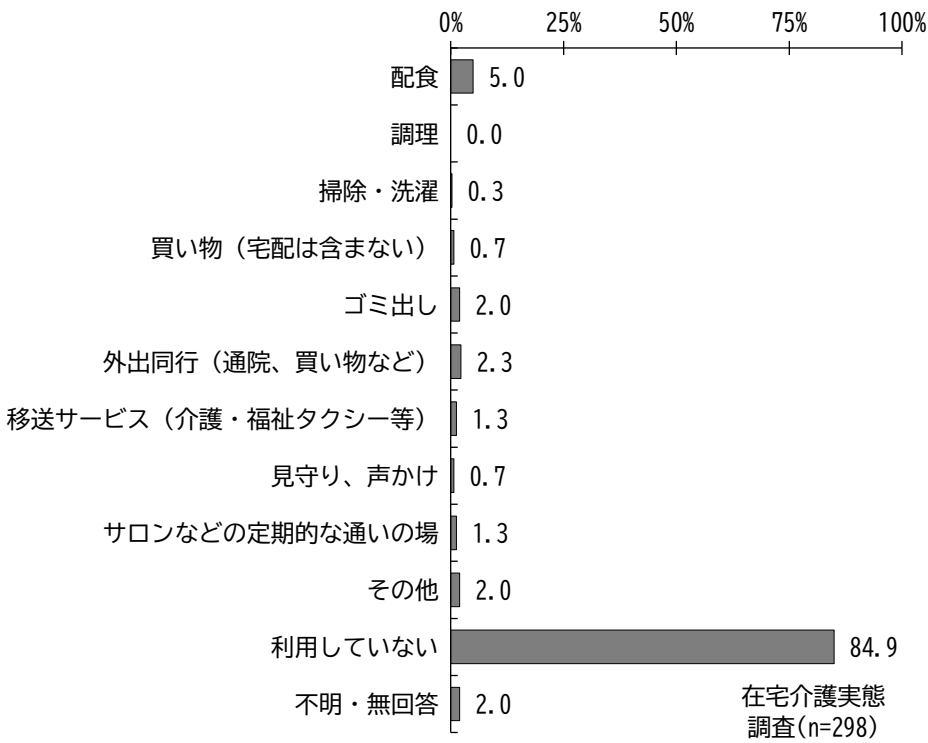
■クロス集計

	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
要支援1・2 (n=110)	0.9	0.0	2.7	0.0	90.0	5.5	3.6
要介護1・2 (n=103)	2.9	1.0	1.0	0.0	82.5	5.8	7.8
要介護3以上 (n=34)	8.8	0.0	0.0	0.0	70.6	8.8	11.8

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数回答） ※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、全体で「利用していない」が84.9%と最も高く、次いで「配食」が5.0%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「利用していない」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

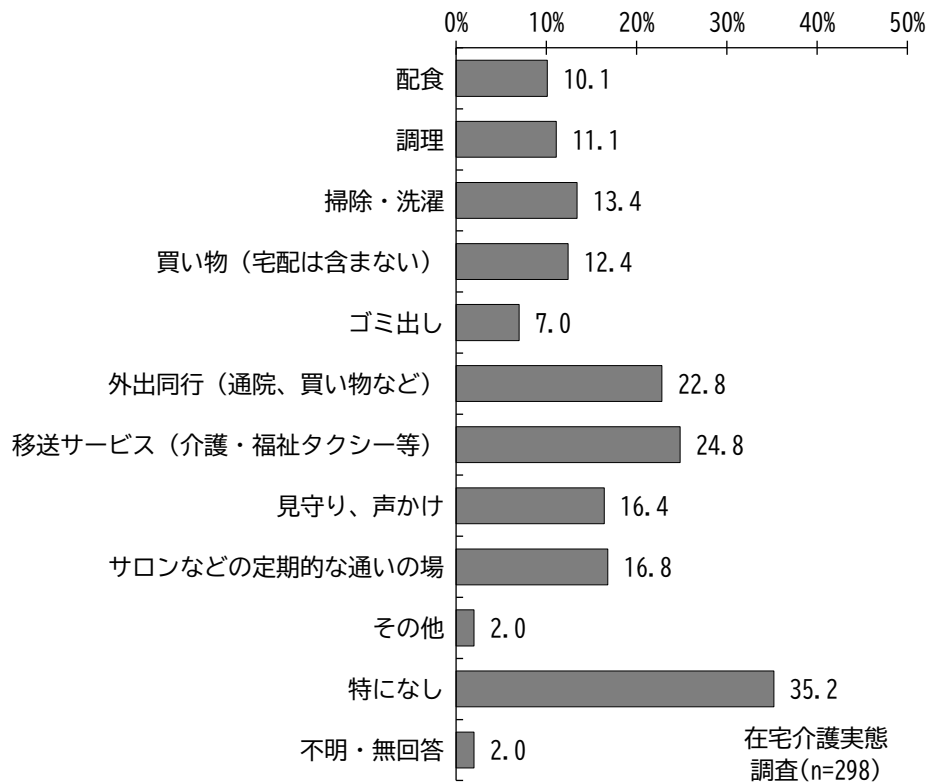
	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
(単位：%)												
【要介護度別】												
要支援1・2 (n=131)	3.8	0.0	0.0	0.8	3.1	2.3	0.0	0.0	0.8	4.6	87.0	0.8
要介護1・2 (n=111)	5.4	0.0	0.0	0.0	0.9	1.8	2.7	0.9	1.8	0.0	85.6	1.8
要介護3以上 (n=36)	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	88.9	2.8

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数回答）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、全体で「特になし」が 35.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 24.8%となっています。

要介護度別では、要介護3以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 38.9%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



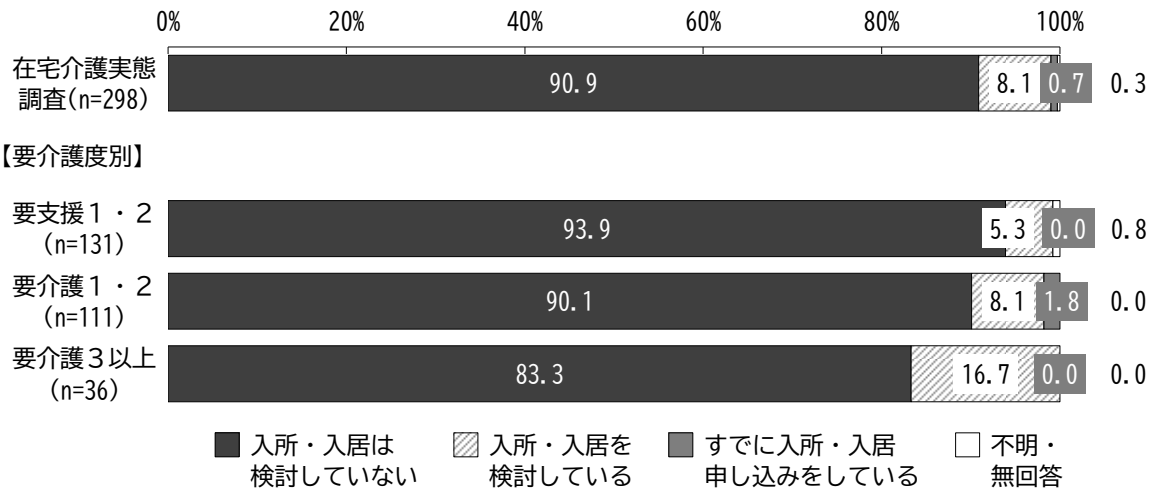
■クロス集計

	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	不明・無回答
(単位：%)												
【要介護度別】												
要支援1・2 (n=131)	9.9	10.7	16.0	13.7	9.2	19.1	22.1	13.0	20.6	2.3	31.3	0.8
要介護1・2 (n=111)	10.8	9.0	12.6	11.7	5.4	24.3	21.6	19.8	15.3	0.9	39.6	3.6
要介護3以上 (n=36)	5.6	8.3	5.6	5.6	5.6	30.6	38.9	19.4	5.6	5.6	38.9	0.0

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（単数回答）

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況は、全体で「入所・入居は検討していない」が90.9%、「入所・入居を検討している」が8.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が0.7%となっています。

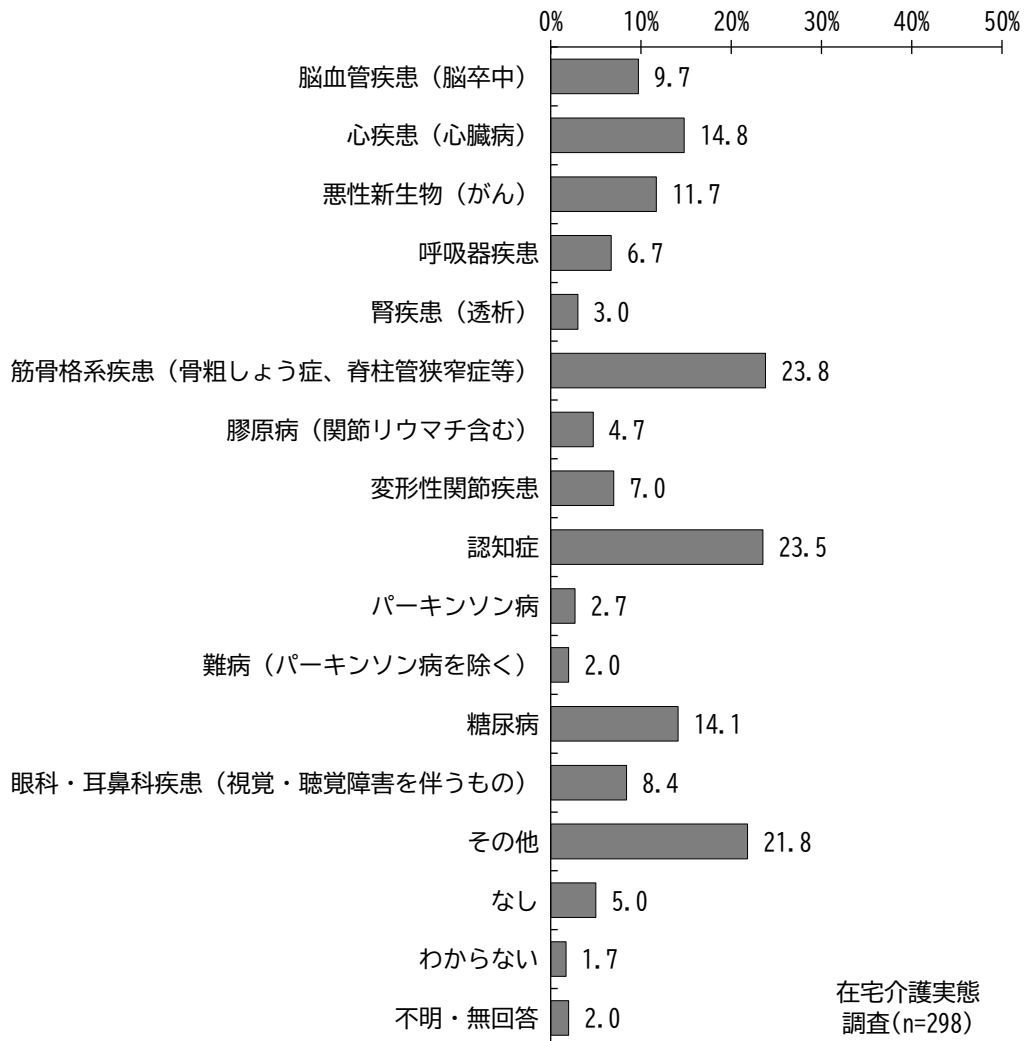
要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「入所・入居を検討している」が高くなっています。



問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数回答）

現在抱えている傷病は、全体で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.8%と最も高く、次いで「認知症」が23.5%となっています。

要介護度別では、要支援1・2で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が27.5%、「認知症」が要介護1・2で36.9%、要介護3以上で30.6%と、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

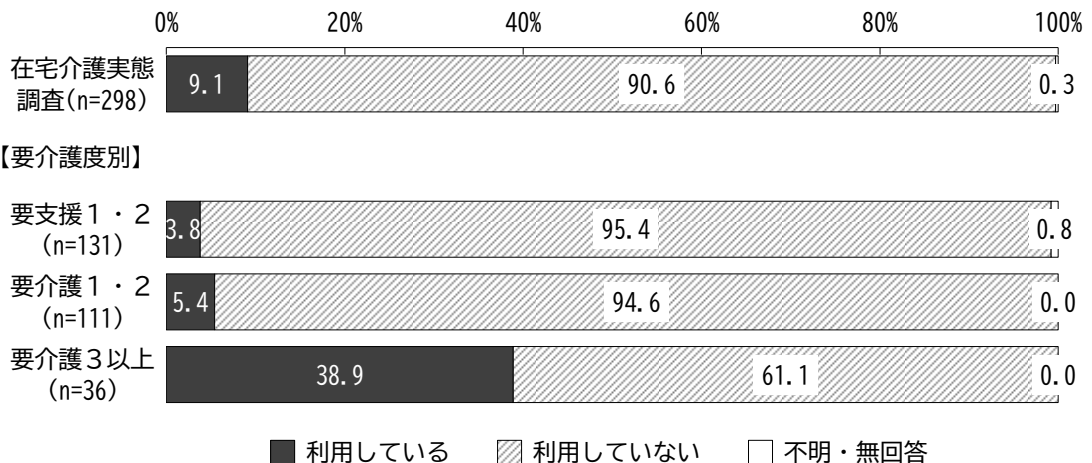
(単位：%)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含 む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を 除く)
【要介護度別】											
要支援1・2 (n=131)	8.4	12.2	9.2	6.1	3.8	27.5	6.1	8.4	8.4	1.5	2.3
要介護1・2 (n=111)	9.0	13.5	11.7	7.2	3.6	24.3	4.5	7.2	36.9	2.7	1.8
要介護3以上 (n=36)	13.9	22.2	22.2	8.3	0.0	13.9	0.0	2.8	30.6	8.3	0.0

(単位：%)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	不明・無回答
【要介護度別】						
要支援1・2 (n=131)	13.0	4.6	26.0	6.9	1.5	3.1
要介護1・2 (n=111)	18.0	8.1	18.0	3.6	1.8	1.8
要介護3以上 (n=36)	8.3	16.7	16.7	2.8	2.8	0.0

問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(単数回答)
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

訪問診療を利用しているかは、全体で「利用している」が9.1%、「利用していない」が90.6%となっています。

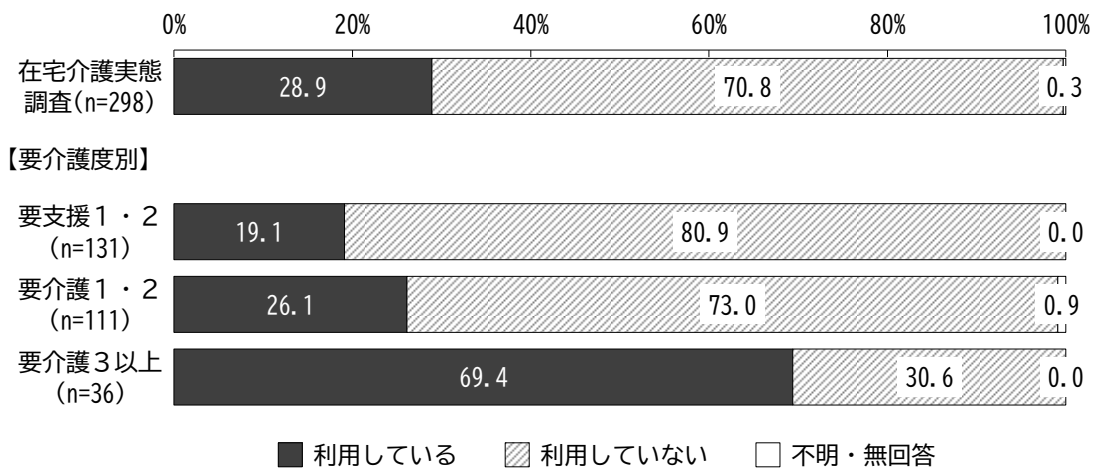
要介護度別では、要介護3以上で「利用している」が38.9%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか
(単数回答)

介護保険サービスを利用しているかは、全体で「利用している」が28.9%、「利用していない」が70.8%となっています。

要介護度別では、要介護3以上で「利用している」が69.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

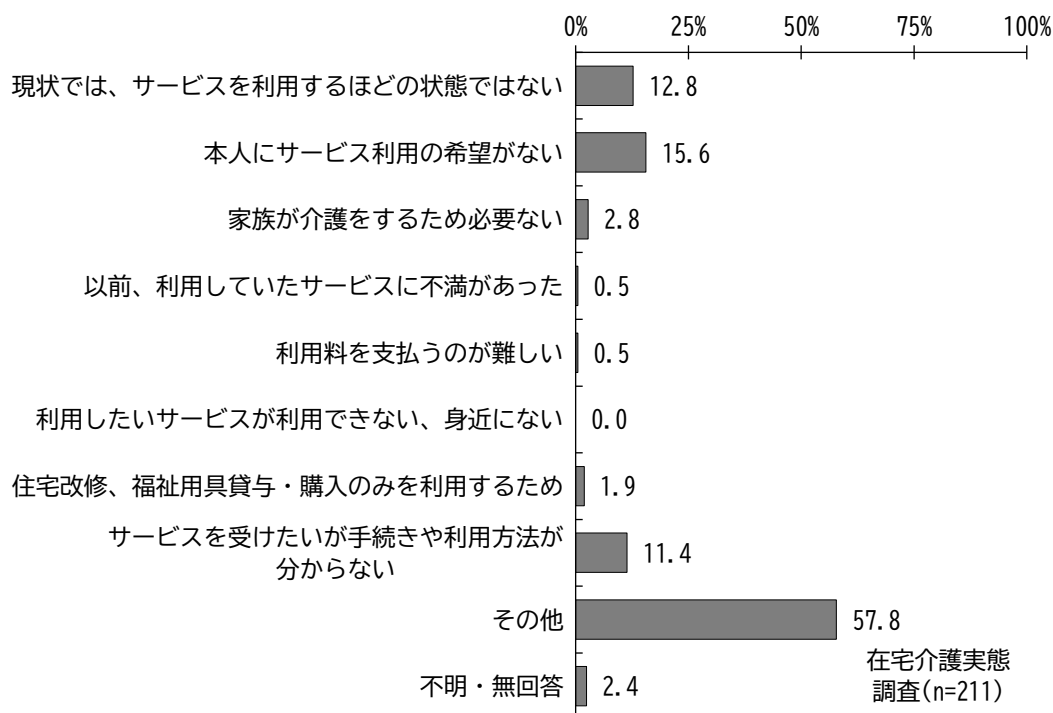


問13で「利用していない」と回答した方のみ

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数回答）

介護保険サービスを利用していない理由は、全体で「その他」が57.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が15.6%となっています。

要介護度別では、要介護3以上で「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が45.5%と、他の要介護度と比べて高くなっており、要介護度が重くなるにつれて割合が高くなっています。



■クロス集計

	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	不明・無回答
(単位：%)										
【要介護度別】										
要支援1・2 (n=106)	14.2	15.1	2.8	0.0	0.9	0.0	2.8	5.7	61.3	0.9
要介護1・2 (n=81)	13.6	14.8	3.7	1.2	0.0	0.0	1.2	11.1	54.3	4.9
要介護3以上 (n=11)	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	63.6	0.0

3. B票 主な介護者、もしくは本人による回答項目

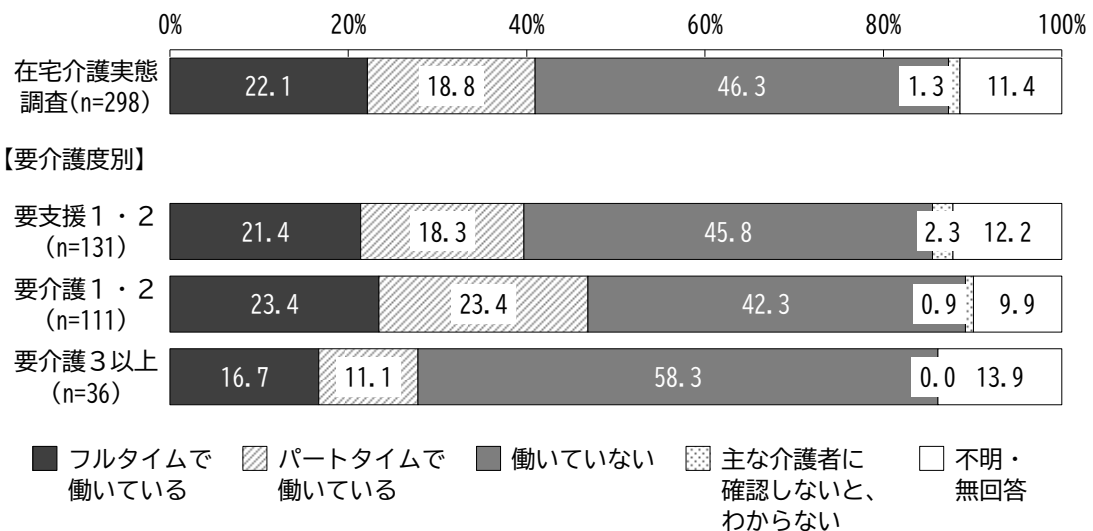
○A票の問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかに回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合に回答。

○「主な介護者」の方の同席がない場合は、調査対象者の本人に回答・記入をお願いし、困難な場合は無回答。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（単数回答）

主な介護者の方の現在の勤務形態は、全体で「働いていない」が46.3%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.1%となっています。

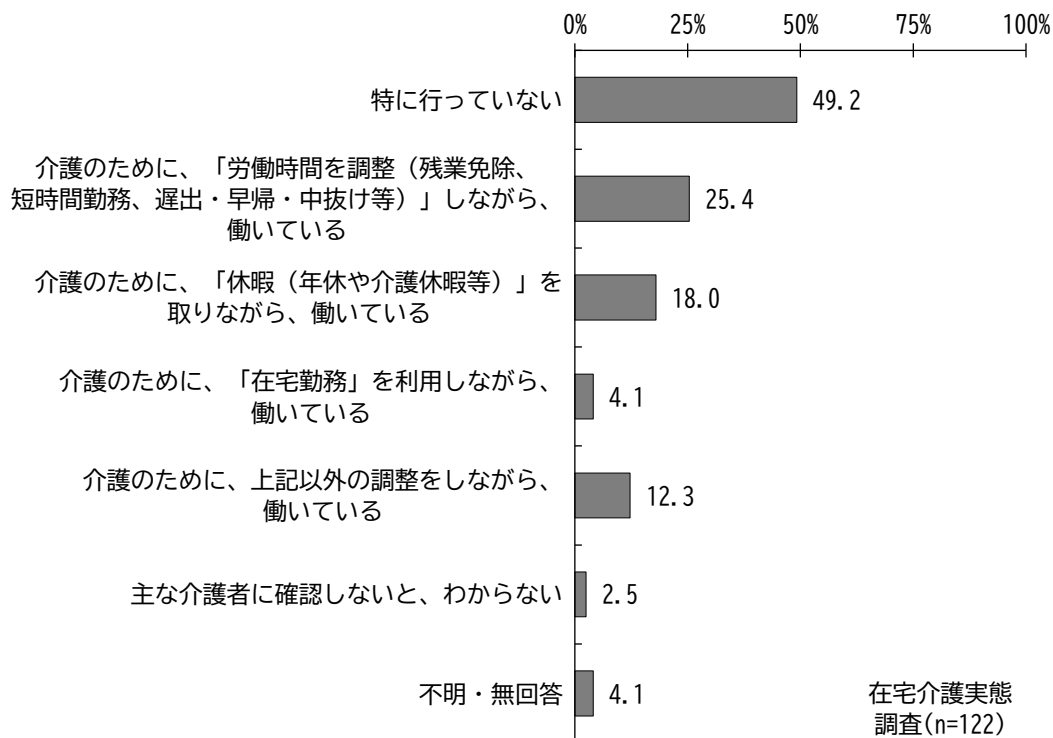
要介護度別では、「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」主な介護者の方は、要支援1・2で39.7%、要介護1・2で46.8%、要介護3以上では27.8%となっています。



問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか（複数回答）

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかは、全体で「特に行っていない」が49.2%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が25.4%となっています。

要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「特に行っていない」が低くなっています。



■クロス集計

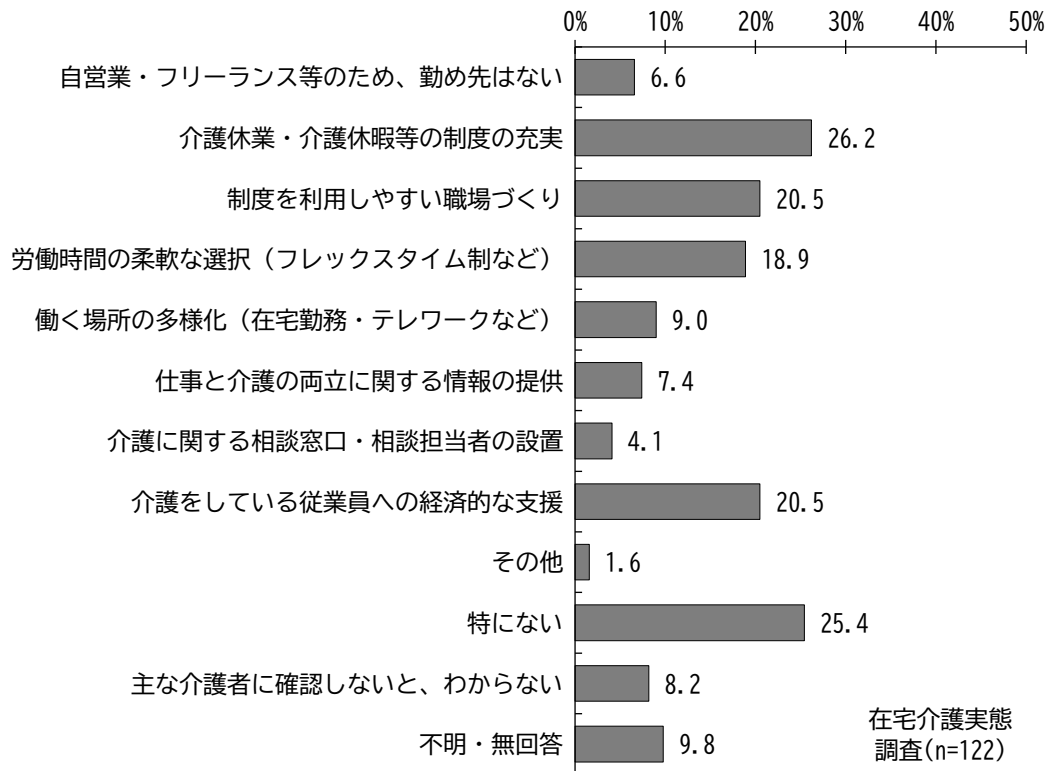
	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
要支援1・2 (n=52)	55.8	19.2	17.3	5.8	3.8	5.8	1.9
要介護1・2 (n=52)	46.2	28.8	19.2	3.8	9.6	0.0	5.8
要介護3以上 (n=10)	20.0	50.0	20.0	0.0	50.0	0.0	10.0

B票の問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（複数回答）

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは、全体で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.2%と最も高く、次いで「特にない」が25.4%となっています。

要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて特に「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」が高くなっています。



■クロス集計

	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
(単位：%)												
【要介護度別】												
要支援1・2 (n=52)	5.8	19.2	15.4	21.2	9.6	5.8	1.9	19.2	1.9	28.8	9.6	7.7
要介護1・2 (n=52)	7.7	28.8	25.0	21.2	7.7	7.7	7.7	19.2	1.9	23.1	3.8	13.5
要介護3以上 (n=10)	10.0	50.0	30.0	0.0	10.0	20.0	0.0	50.0	0.0	20.0	0.0	10.0

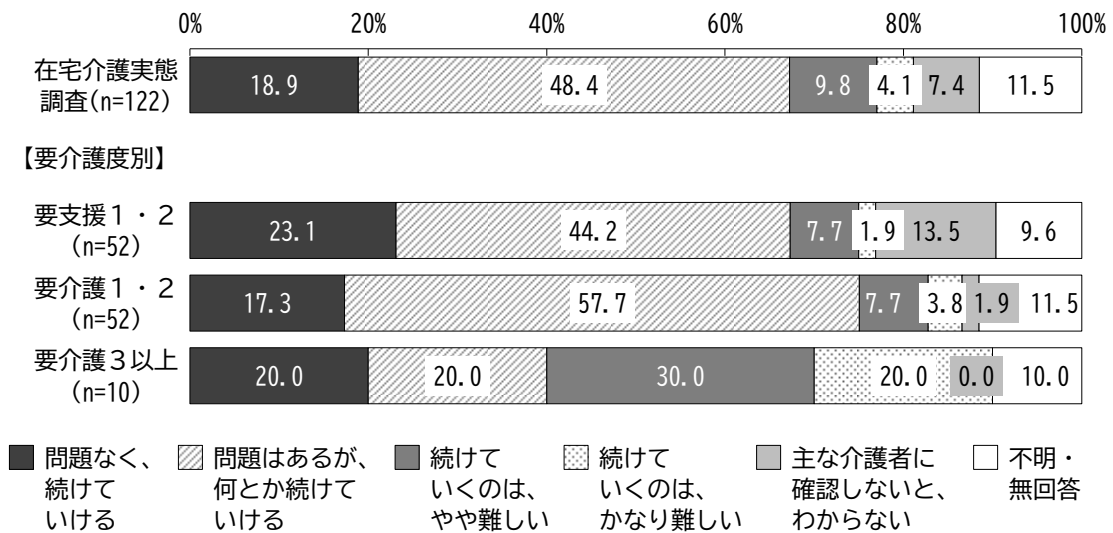
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『続けていける』 … 「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」の合算
- 『続けていくのは難しい』 … 「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合算

今後も働きながら介護を続けていけそうかは、全体で「問題はあるが、何とか続けていける」が48.4%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が18.9%となっています。なお、『続けていける』は67.3%、『続けていくのは難しい』は9.6%となっています。

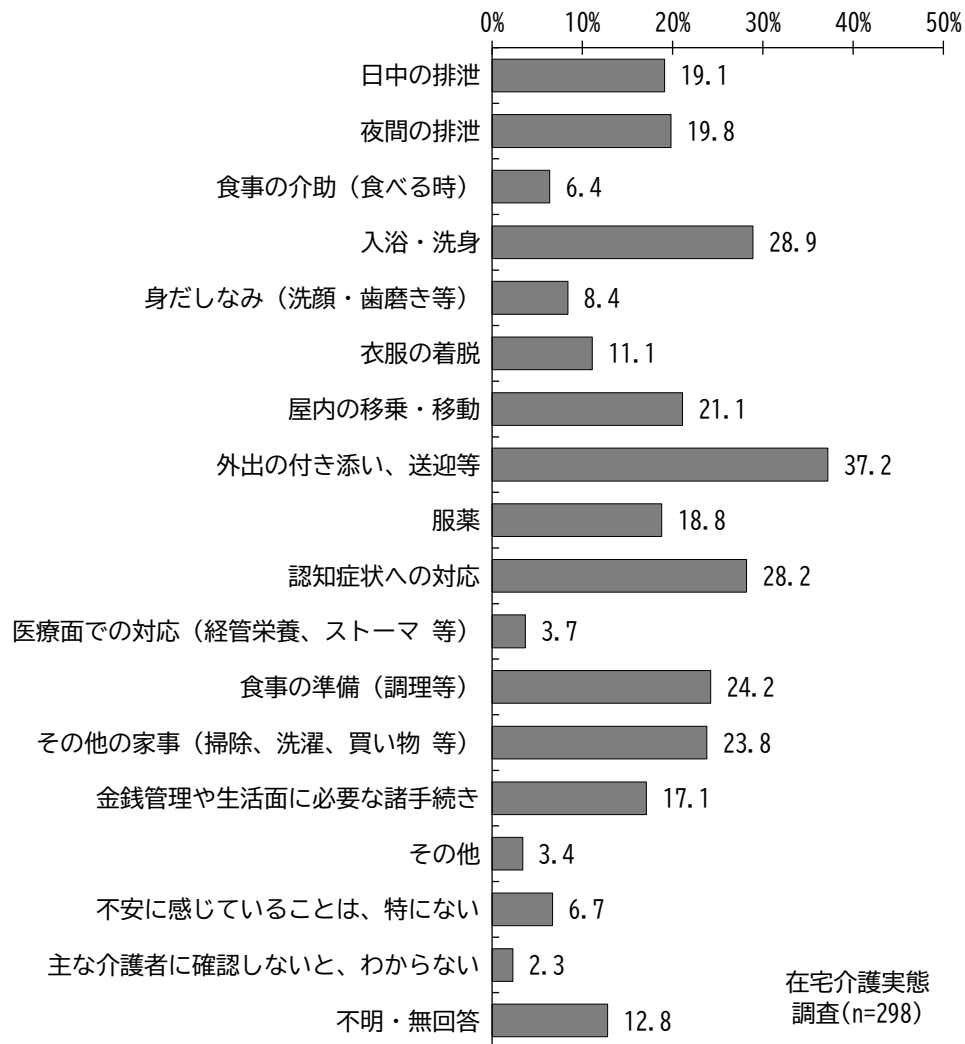
要介護度別では、要介護1・2で「問題はあるが、何とか続けていける」が57.7%と、他の要介護度と比べて高くなっているものの、要介護度が重くなるにつれて『続けていくのは難しい』が高くなっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（複数回答）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等は、全体で「外出の付き添い、送迎等」が37.2%と最も高く、次いで「入浴・洗身」が28.9%となっています。

要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて日中や夜間の排泄、食事の介助、移乗・移動、認知症の対応等は割合が高くなっています。



■クロス集計

	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)
(単位：%)											
【要介護度別】											
要支援1・2 (n=131)	10.7	9.2	3.8	23.7	5.3	6.1	15.3	37.4	9.9	16.8	0.8
要介護1・2 (n=111)	24.3	23.4	6.3	32.4	8.1	12.6	23.4	37.8	25.2	36.0	4.5
要介護3以上 (n=36)	33.3	38.9	13.9	36.1	13.9	22.2	36.1	27.8	19.4	38.9	11.1

	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
(単位：%)							
【要介護度別】							
要支援1・2 (n=131)	21.4	26.0	11.5	1.5	11.5	4.6	13.0
要介護1・2 (n=111)	26.1	18.9	21.6	2.7	3.6	0.9	10.8
要介護3以上 (n=36)	13.9	13.9	11.1	11.1	2.8	0.0	16.7

VI 事業所調査結果

1. 貴事業所で実施しているサービスについて

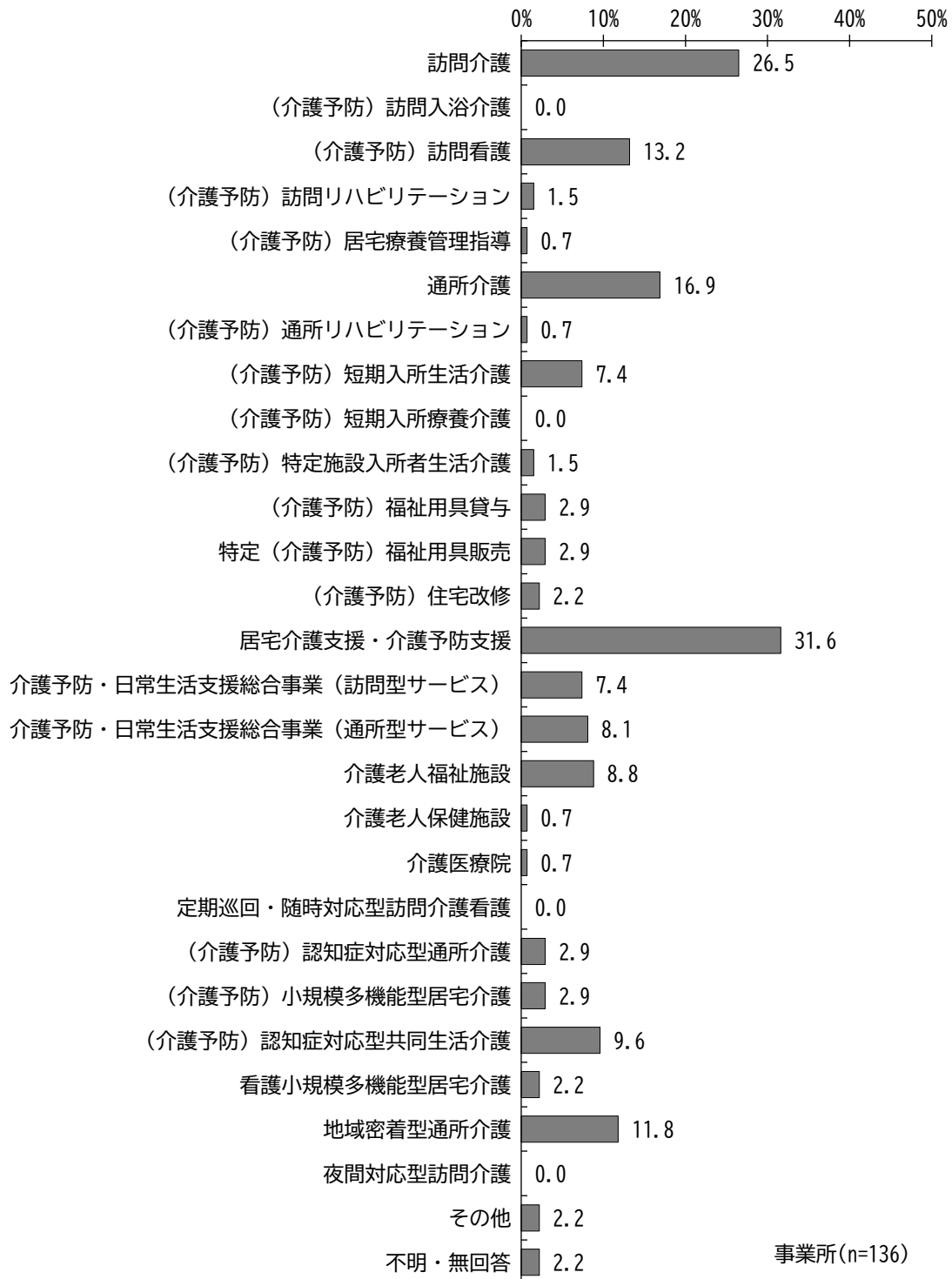
問1 貴事業所の名称をお書きください。(自由記述)

事業所の名称	(順不同、敬称略)
訪問介護ステーションからふるサポート蘇原	松原薬局ストア
地域包括支援センターフェニックス・かかみ野	居宅介護支援センターいずみ
メゾンペイネ	のびのびデイサービス
ケアネットリゾン鶴沼	小規模多機能型居宅介護らぼら・ぽら
かいご処あい	リバーサイド川島園デイサービス
サフィール居宅支援事業所	デイサービス花の木おおの
自立支援特化型デイサービスうららびより鶴沼	ベスト各務原
ケアプラン・ニッケうめま	訪問看護ステーションネロリ
デイサービスセンターニッケかかみ野苑	愛の家デイサービス各務原前洞新町
有限会社メディックス	愛の家グループホーム各務原前洞新町
有料老人ホームからふる各務原	ヘルパーステーションラベンダー
地域包括支援センター社会福祉協議会	特別養護老人ホームリバーサイド川島園
各務原市社協訪問介護センター	デイサービスさくらの里各務原
看護小規模多機能型居宅介護このはずく	デイサービスあい
good 訪看リハビリステーション	デイサービスゆめ工房
有限会社 訪問介護あみステーション	特定非営利活動法人福祉サポートセンターかかみがはら
ヘルパーステーション安各務原	居宅介護支援事業所つなぐ
NPO特定非営利活動法人ほおずきの会	各務原市地域包括支援センターリバーサイド川島園
介護付き有料老人ホームいずみ野	各務原市地域包括支援センターつつじ苑
グループホームあかり各務原苑	心音ケアセンター各務原デイサービス
あしすと居宅介護支援センター	心音ケアセンター各務原訪問介護
ケアリアル訪問介護事業所	デイサービス challenge
たちかわケアマネジメント	介護相談室ほーき星
ニッケふれあいセンターかかみ野	訪問介護ステーション楓
ぎふ介護各務原居宅介護支援	デイサービス Com. Do2
地域包括支援センタージョイフル各務原	Footage 訪問看護ステーション各務原
訪問看護ステーションよもぎ	デイ&カフェ翼～ウイング～
HandsCare	デイサービスセンターわたぼうし
地域密着型デイサービスさくらんぼ	株式会社ニッケ・ケアサービス岐阜事業所
愛の家グループホーム各務原三井町	民家のデイサービスひお里苑
横山病院介護医療院	グループホームジョイフル各務原
ヘルパーステーションライフプラス	ケアプランセンター花の木各務原

事業所の名称	(順不同、敬称略)
つつじ苑介護保険相談センター	介護保険相談センター笑顔いちばん
ケアプランセンターゆかり花園	ぎふ介護各務原
グループホームやすらぎ	ピッコロデイサービスセンター
訪問看護ステーション笑顔いちばん	ピッコロ介護事業所
コープぎふ福祉サポートセンター	医療法人社団村井医院デイサービスセンターラベンダー
グループホーム百々各務原	訪問看護ステーションはじまり
特別養護老人ホームサフィールいなは	シニアフィットネスこもれびデイサービス川島
不動丘ガーデンヒルズ	有料老人ホームいでぐちヘルパーステーションいでぐち
特別養護老人ホーム菜の花	ゆかりの郷訪問介護ステーション花園
介護相談センター飛鳥美谷苑	ニチイケアセンター各務原
訪問介護サービスマリアの丘	訪問看護あさがお
訪問看護ステーションマリアの丘	クルール那加桐野
各務原ショートステイそよ風	居宅介護支援センターさかい
特別養護老人ホームサフィールそはら	各務原市介護保険相談センター
居宅介護支援事業所	緑苑介護相談センター
ヘルパーステーションいずみ野	デイサービスセンターさかい
ケアマネ事務所しえん	つつじ苑デイサービスセンター
居宅介護支援事業所赤座	社会福祉法人東栄会
特定非営利活動法人ほおずきの会	ショートステイホームジョイフル各務原
社会福祉法人各寿会	デイサービスセンタージョイフル各務原
デイサービスマリアの丘	特別養護老人ホームジョイフル各務原
訪問看護ステーションこのはずく	コープぎふ訪問介護ステーション各務原
デイサービス笑顔いちばん鶴沼店	ケアプランゆずてらす
グループホームゆず	有料老人ホームウイステリア
訪問看護ステーションみんと各務原	福祉サポート岐阜営業所
訪問介護ステーションえんどう	訪問介護事業所ゆずてらす
みついけ介護支援サービス	デイサービスセンターいずみの郷
デイサービス庵	陽だまりの宿
訪問介護あい	デイサービス花の木こぎの
株式会社五月商店	デイケアセンターきらら
愛の家グループホーム各務原鶴沼朝日	すみれ訪問看護
コープぎふケアプランセンター各務原	デイサービス各務原
メディックスケアプランセンター	ユニシスマエの
シニアハウスはなぞの (訪問介護事業所)(住宅型有料老人ホーム)	社会福祉法人フェニックス グループホーム サニーテラス

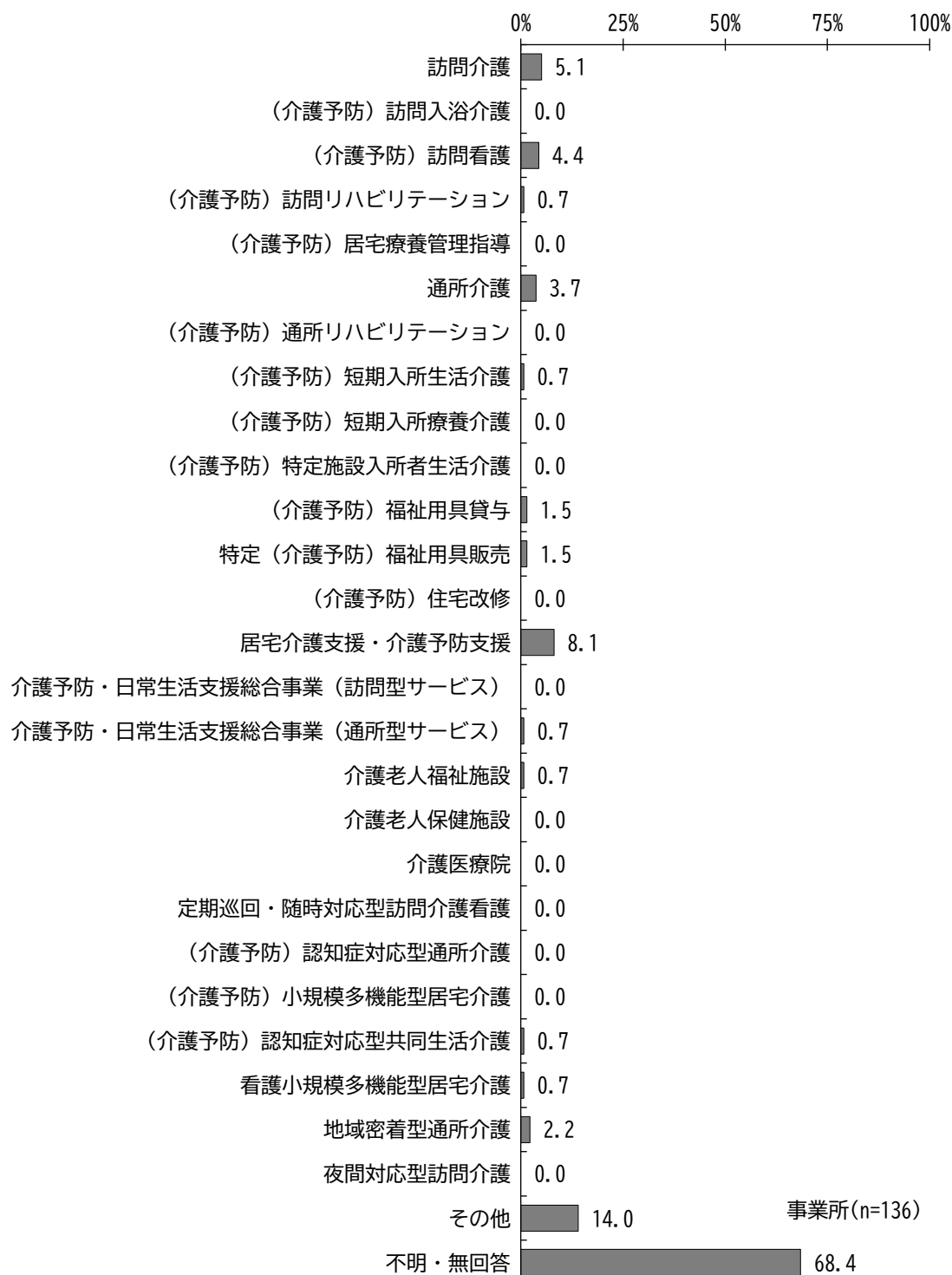
問2 貴事業所で提供している介護サービスをご回答ください。(複数回答)

提供している介護サービスは、「居宅介護支援・介護予防支援」が31.6%と最も高く、次いで「訪問介護」が26.5%となっています。



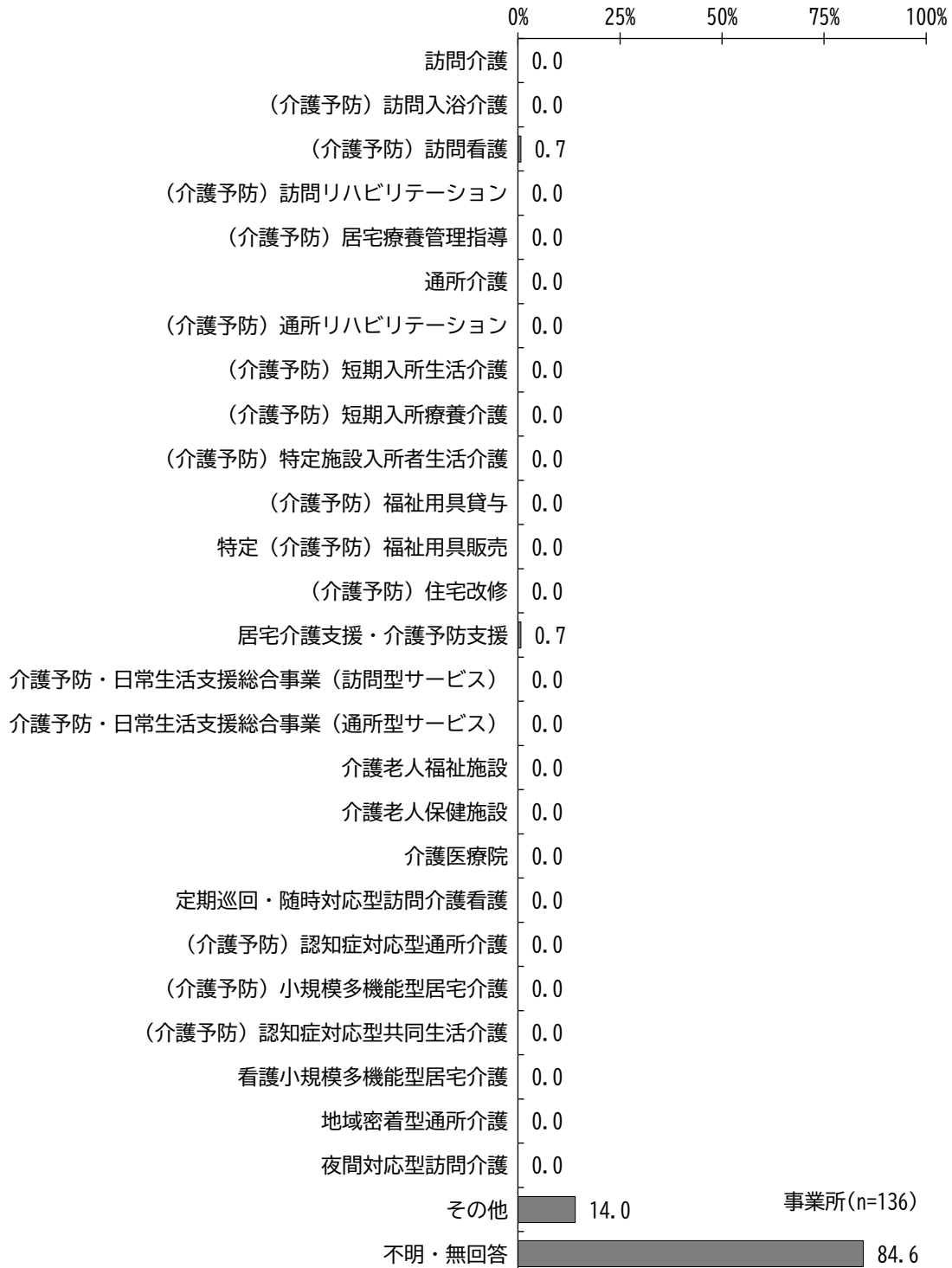
問3 今後の方針として、拡大（新規参入）したい介護サービスをご回答ください。
（複数回答）

拡大（新規参入）したい介護サービスは、「その他」が14.0%と最も高く、次いで「居宅介護支援・介護予防支援」が8.1%となっています。



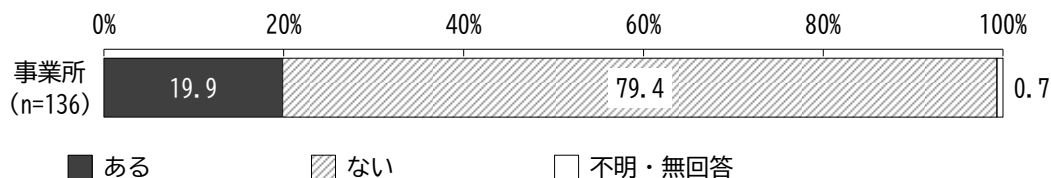
問4 今後の方針として、縮小（休止）したい介護サービスをご回答ください。
（複数回答）

縮小（休止）したい介護サービスは、「その他」が14.0%と最も高く、次いで「（介護予防）訪問看護」「居宅介護支援・介護予防支援」がそれぞれ0.7%となっています。



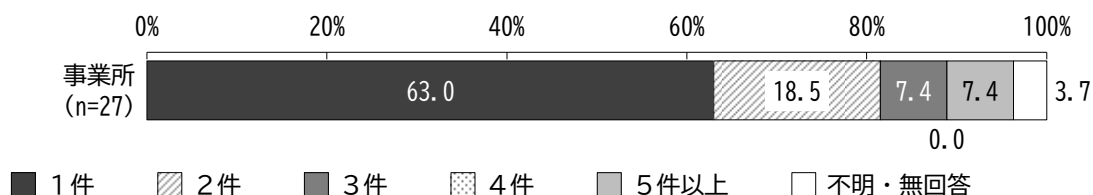
問5 貴事業所のサービス利用者の中で、家族からの虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか。(単数回答)

サービス利用者の中で、家族からの虐待が疑われるような事例を経験したことがあるかは、「ある」が19.9%、「ない」が79.4%となっています。



◆「ある」と回答した方が1年間（令和7年1月～令和7年12月）に経験した件数（数量回答）

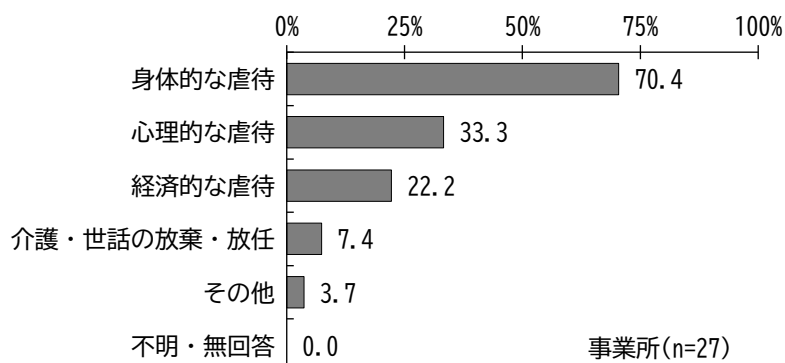
1年間（令和7年1月～令和7年12月）に家族からの虐待が疑われるような事例を経験した件数は、「1件」が63.0%と最も高く、次いで「2件」が18.5%となっています。なお、虐待事例の経験があると回答し、件数を回答した26事業所の合計は43件となっています。



問5で「ある」と回答した方のみ

問5-1 事例はどのような内容ですか。(複数回答)

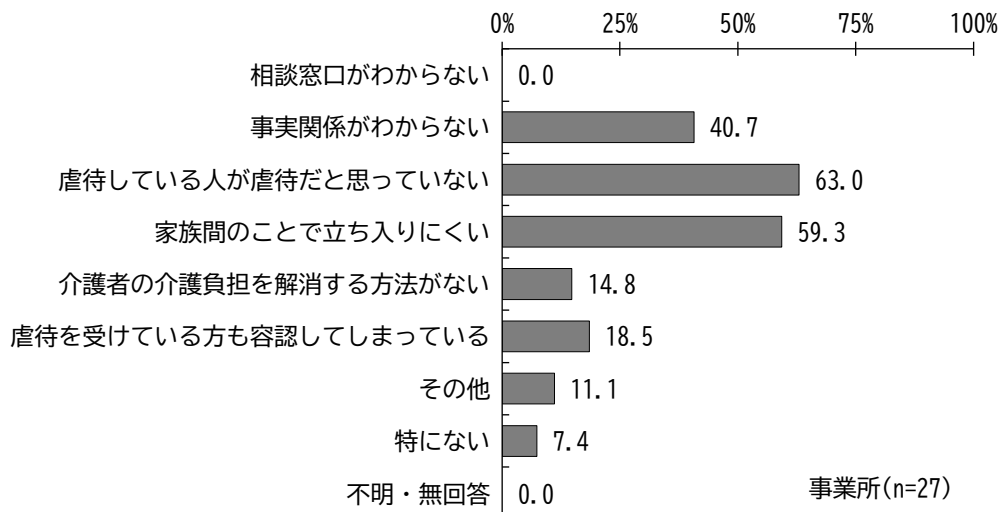
家族からの虐待が疑われるような事例の内容は、「身体的な虐待」が70.4%と最も高く、次いで「心理的な虐待」が33.3%となっています。



問5で「ある」と回答した方のみ

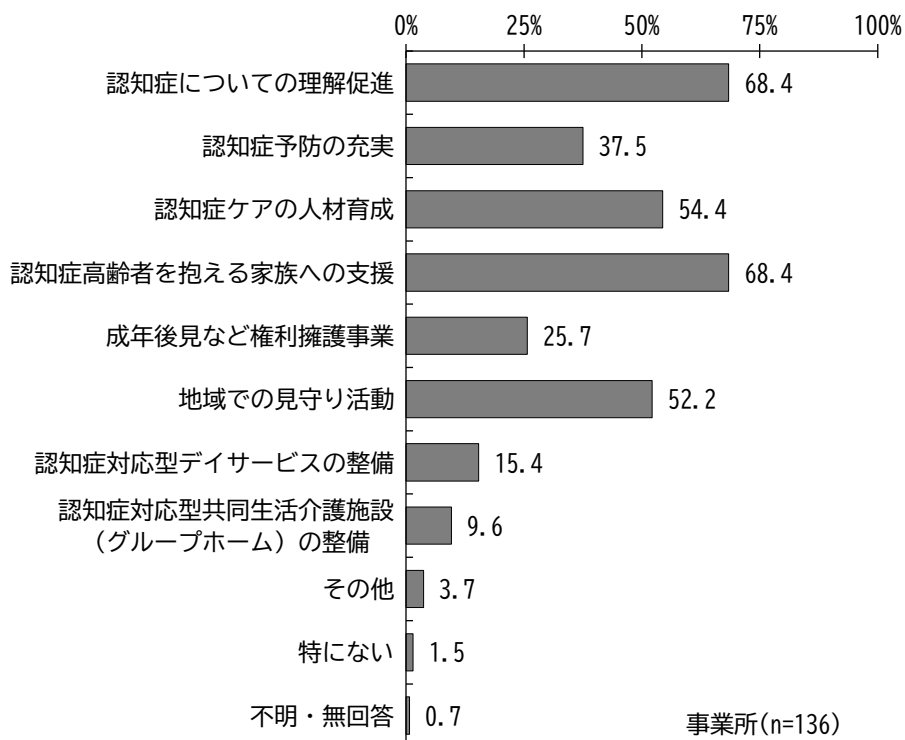
問5-2 高齢者への虐待の対応にあたり、どのような問題がありますか。(複数回答)

高齢者虐待への対応にあたっての問題は、「虐待している人が虐待だと思っていない」が63.0%と最も高く、次いで「家族間のことで立ち入りにくい」が59.3%となっています。



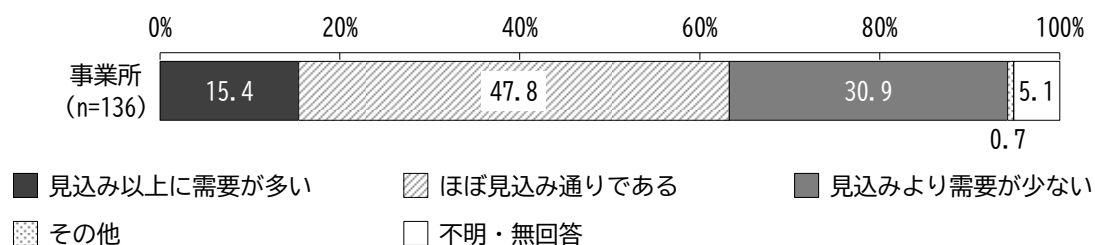
問6 認知症高齢者の介護に関して、今後どのようなことを進める必要があると思いますか。(複数回答)

認知症高齢者の介護に関して、今後進める必要があると思うことは、「認知症についての理解促進」「認知症高齢者を抱える家族への支援」がそれぞれ68.4%と最も高く、次いで「認知症ケアの人材育成」が54.4%となっています。



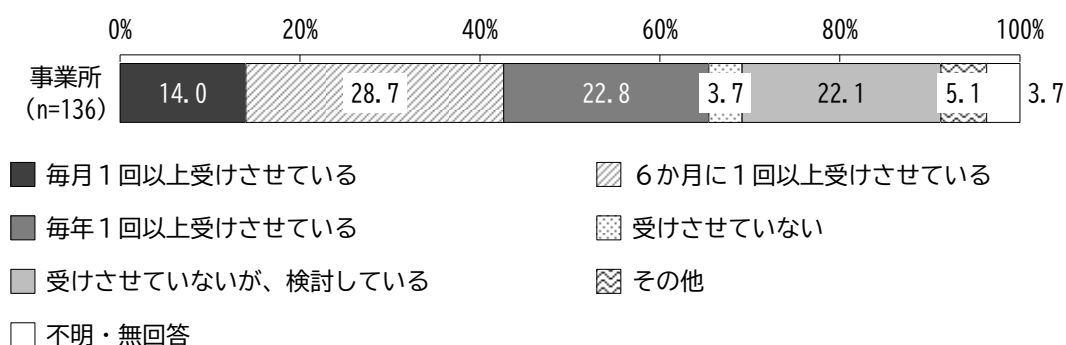
問7 貴事業所のサービスの開始当初の見込みと比較して、現在の需要はいかがですか。
(単数回答)

サービスの開始当初の見込みと比較して、現在の需要の状況は、「ほぼ見込み通りである」が47.8%と最も高く、次いで「見込みより需要が少ない」が30.9%となっています。



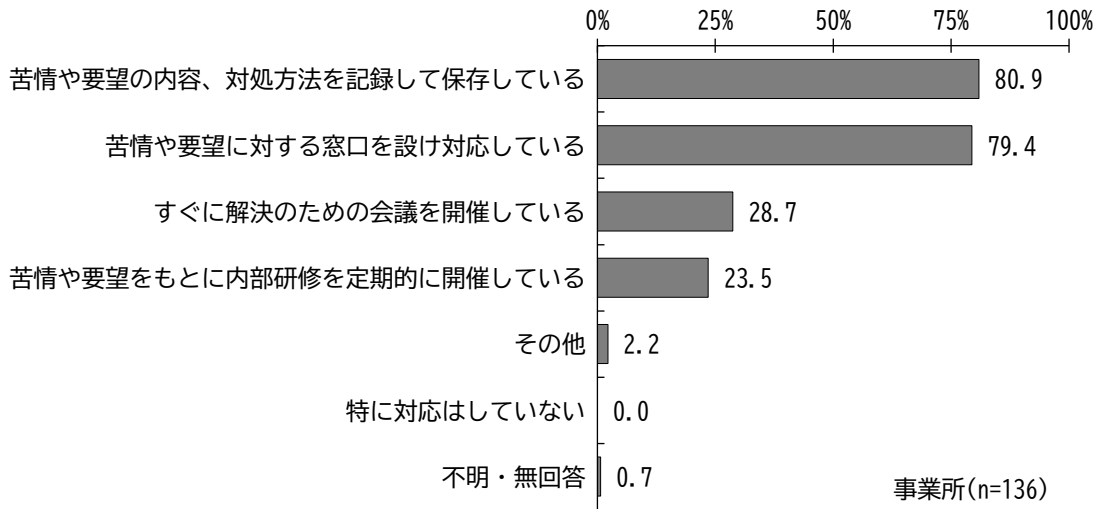
問8 職員の技術・知識向上のための外部研修を受講させていますか。(単数回答)

職員の技術・知識向上のための外部研修を受講させているかは、「6か月に1回以上受けさせている」が28.7%と最も高く、次いで「毎年1回以上受けさせている」が22.8%となっています。



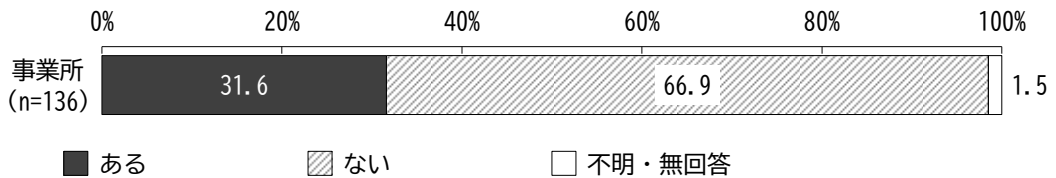
問9 苦情や要望があった場合、どのような対応をしていますか。(複数回答)

苦情や要望があった場合の対応は、「苦情や要望の内容、対処方法を記録して保存している」が80.9%と最も高く、次いで「苦情や要望に対する窓口を設け対応している」が79.4%となっています。



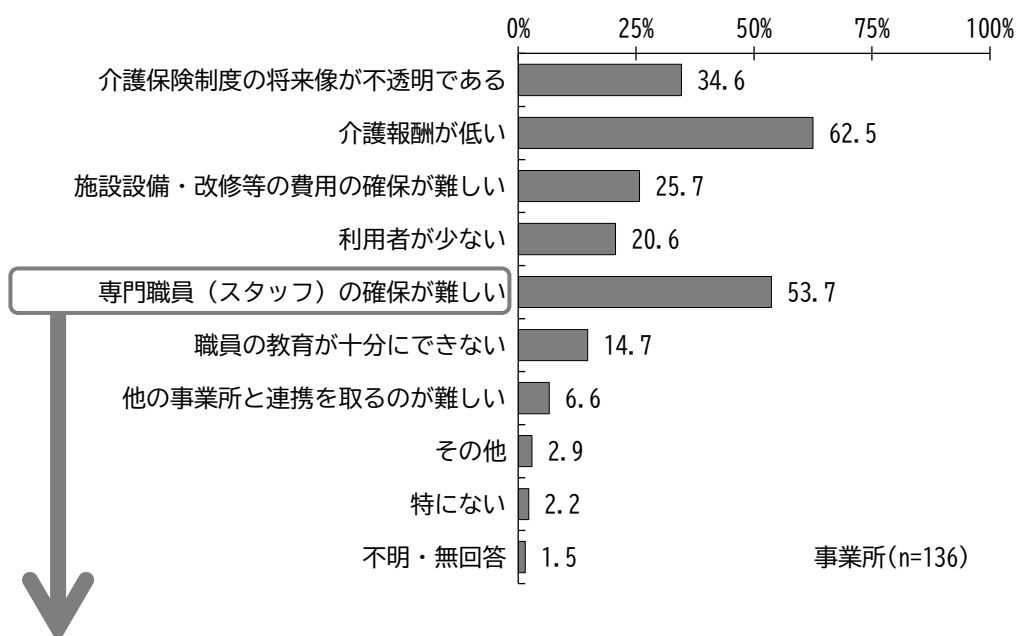
問10 サービス利用者から不当な要求を受けたことはありますか。(単数回答)

サービス利用者から不当な要求を受けたことがあるかは、「ある」が31.6%、「ない」が66.9%となっています。



問11 貴事業所の事業展開上、どのような課題がありますか。(複数回答)

事業展開上の課題は、「介護報酬が低い」が62.5%と最も高く、次いで「専門職員（スタッフ）の確保が難しい」が53.7%となっています。



「専門職員（スタッフ）の確保が難しい」についての職種内容

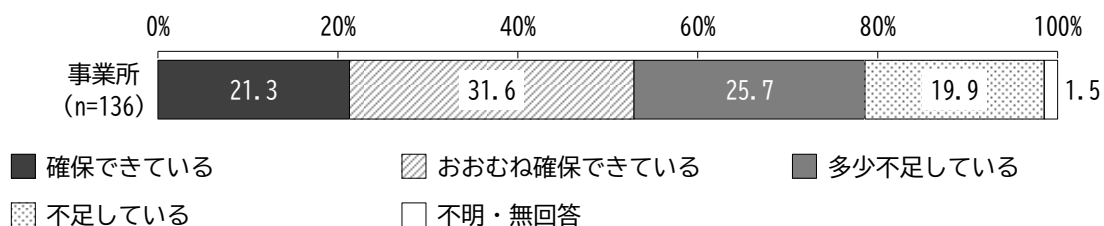
介護職員。(18件)
介護職員、看護職員。(6件)
ヘルパー。(3件)
ケアマネジャー。(2件)
看護師、理学療法士。(2件)
福祉用具専門相談員。(2件)
訪問介護職員。(2件)
介護職員とリーダー。
主任ケアマネジャー、保健師。
訪問介護職員と早番・遅番・夜勤の有料職員。
保健師及び経験のある看護師。
理学療法士、作業療法士。
リハビリを希望する利用者が多いが、PT、OT、ST等の専門スタッフを確保するには、人件費の面から難しい。
介護福祉士、看護師。
管理者(介護主任)。
初任者研修、介護福祉士資格者。
訪問介護職員、デイサービス職員。

問12 貴事業所のこの1年間(令和7年1月～令和7年12月)の人材の確保の状況はいかがですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

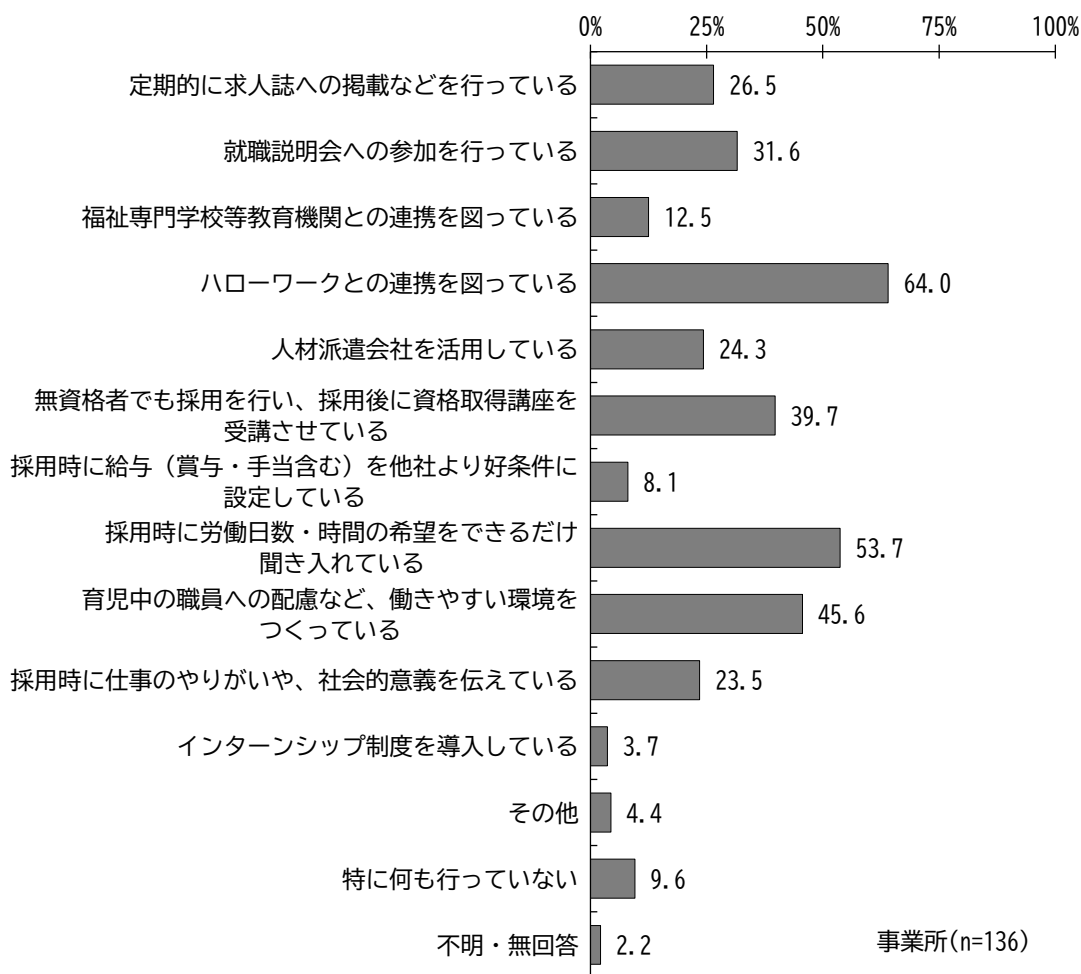
『確保できている』 … 「確保できている」と「おおむね確保できている」の合算
 『不足している』 … 「多少不足している」と「不足している」の合算

この1年間の人材の確保の状況は、『確保できている』が52.9%、『不足している』が45.6%となっています。



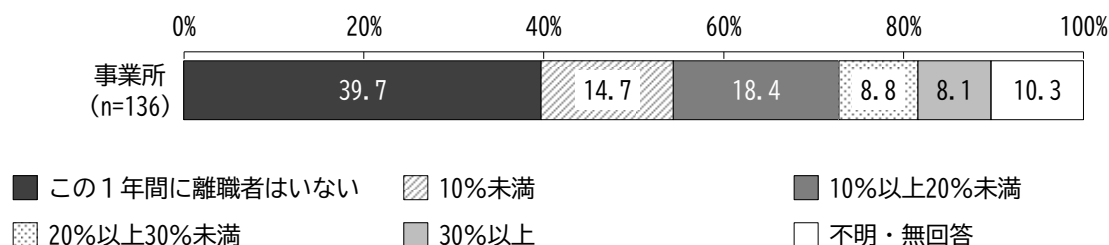
問13 貴事業所では、人材の確保についてどのような取り組みを行っていますか。(複数回答)

人材の確保について行っている取り組みは、「ハローワークとの連携を図っている」が64.0%と最も高く、次いで「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」が53.7%となっています。



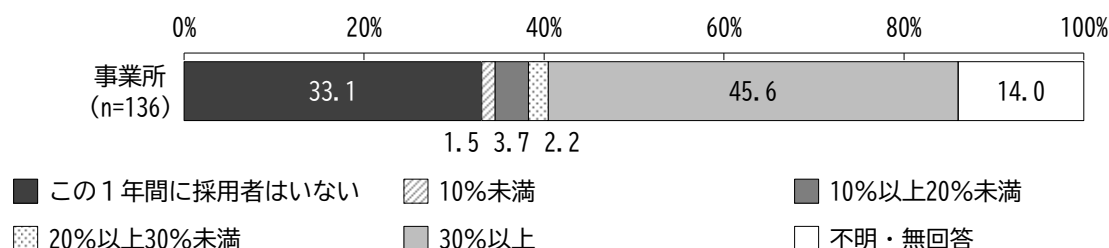
問 14 貴事業所のこの1年間（令和7年1月～令和7年12月）の離職率はどれくらいですか。（数量回答） ※離職率＝（この1年間の離職人数÷1年前の全従業員数）×100 とします。

この1年間の離職率は、「この1年間に離職者はいない」が39.7%と最も高く、次いで「10%以上20%未満」が18.4%となっています。なお、離職者があった事業所のうち、〈この1年間の離職人数〉〈1年前の全従業員数〉のいずれも回答があった71事業所の離職率は20.7%となっています。



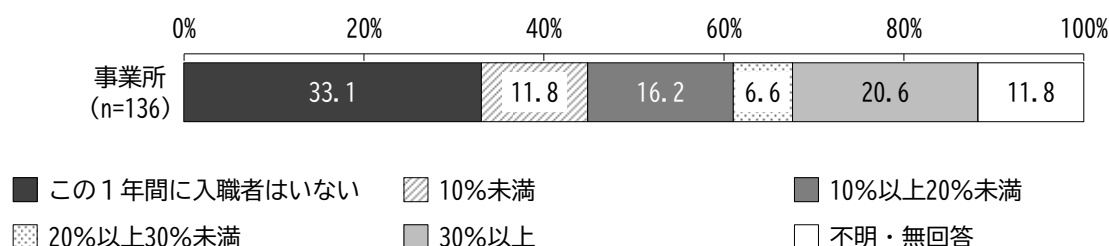
問 15 貴事業所のこの1年間（令和7年1月～令和7年12月）の採用率はどれくらいですか。（数量回答） ※採用率＝（この1年間の採用人数÷この1年間の応募人数）×100 とします。

この1年間の採用率は、「30%以上」が45.6%と最も高く、次いで「この1年間に採用者はいない」が33.1%となっています。なお、採用者があった事業所のうち、〈この1年間の採用人数〉〈この1年間の応募人数〉のいずれも回答があった71事業所の採用率は59.3%となっています。



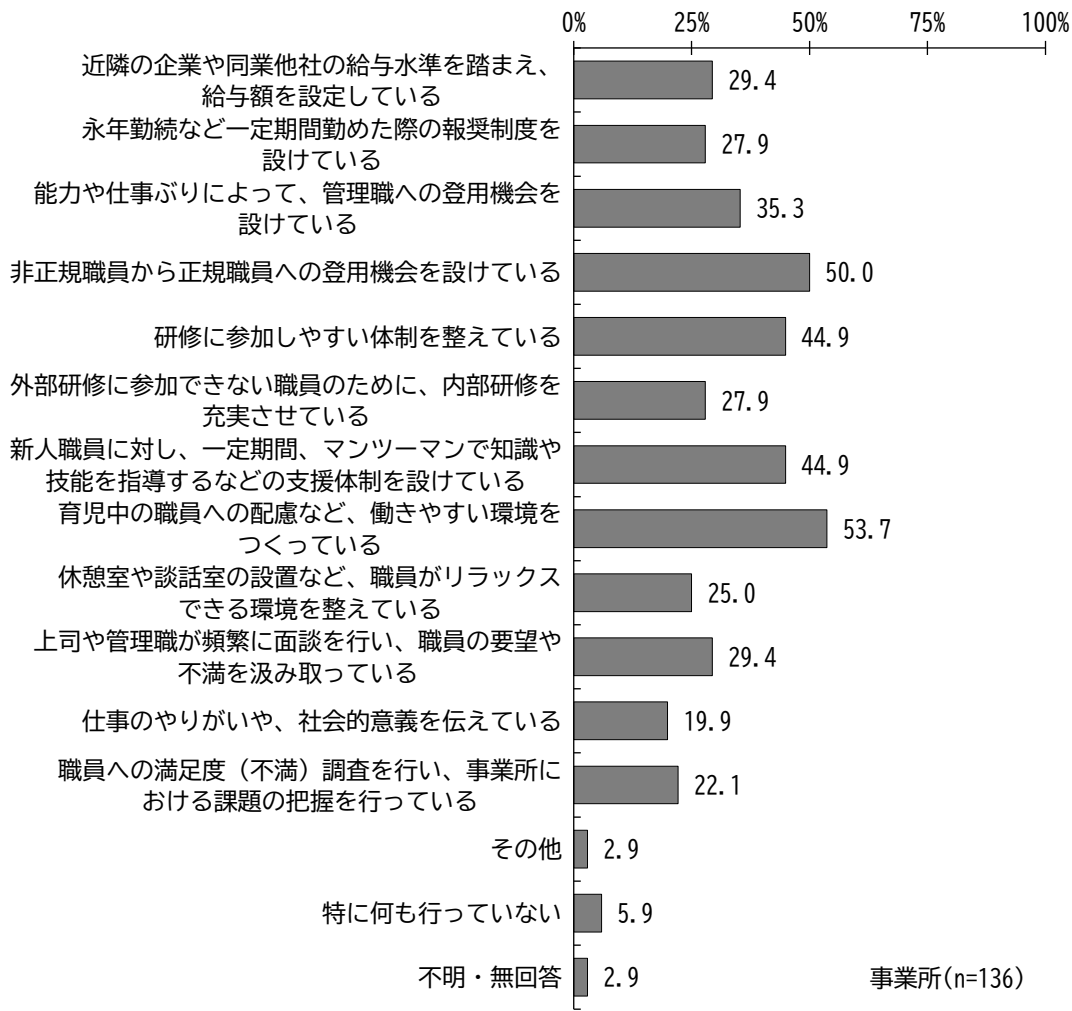
問 16 貴事業所のこの1年間（令和7年1月～令和7年12月）の入職率はどれくらいですか。（数量回答） ※入職率＝（この1年間の採用人数÷1年前の全従業員数）×100 とします。

この1年間の入職率は、「この1年間に入職者はいない」が33.1%と最も高く、次いで「30%以上」が20.6%となっています。なお、入職者があった事業所のうち、〈この1年間の採用人数〉〈1年前の全従業員数〉のいずれも回答があった72事業所の入職率は21.9%となっています。



問 17 貴事業所では、人材の定着・育成について、どのような取り組みを行っていますか。(複数回答)

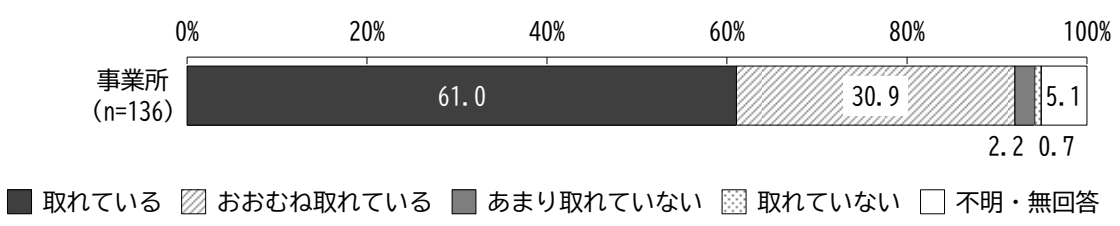
人材の定着・育成について行っている取り組みは、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」が 53.7%と最も高く、次いで「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」が 50.0%となっています。



問 18 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携は取れていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。
 『取れている』 … 「取れている」と「おおむね取れている」の合算
 『取れていない』 … 「あまり取れていない」と「取れていない」の合算

ケアマネジャーとの連携は、『取れている』が 91.9%、『取れていない』が 2.9%となっています。

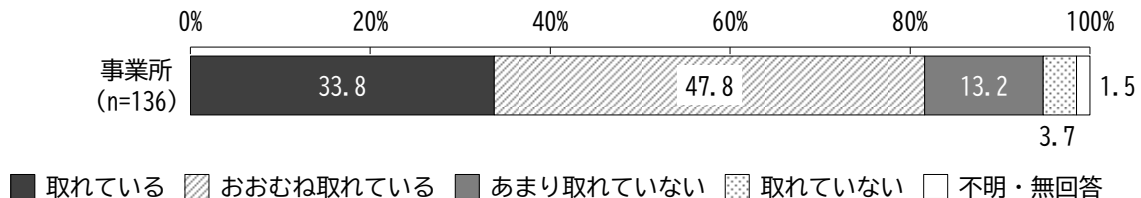


問 19 貴事業所において、他のサービス事業所との連携は取れていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

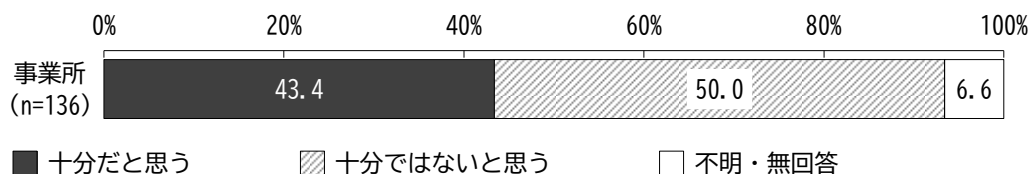
- 『取れている』 … 「取れている」と「おおむね取れている」の合算
 『取れていない』 … 「あまり取れていない」と「取れていない」の合算

他のサービス事業所との連携は、『取れている』が 81.6%、『取れていない』が 16.9%となっています。



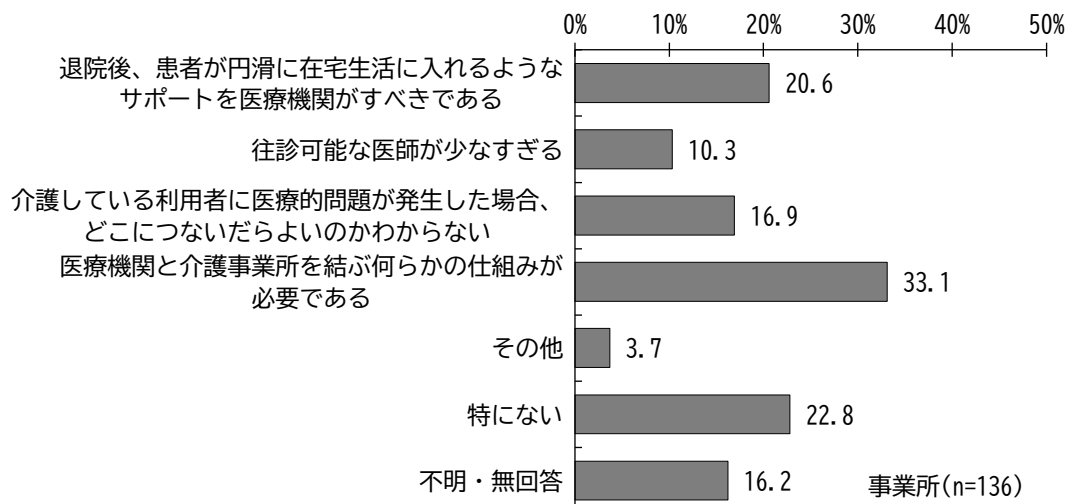
問 20 現状、在宅における医療と介護の連携は十分だと思いますか。(単数回答)

在宅における医療と介護の連携は十分だと思うかは、「十分だと思う」が 43.4%、「十分ではないと思う」が 50.0%となっています。



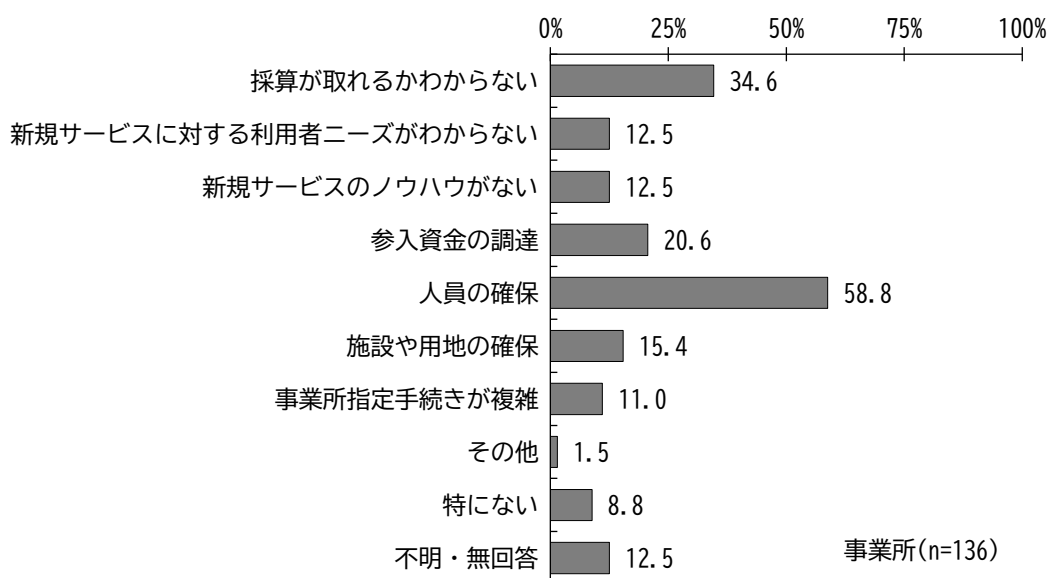
問 21 在宅における医療と介護の連携について、課題だと思うことは何ですか。(複数回答)

在宅における医療と介護の連携について、課題だと思うことは、「医療機関と介護事業所を結ぶ何らかの仕組みが必要である」が 33.1%と最も高く、次いで「特にない」が 22.8%となっています。



問 22 貴事業所が新規事業に参入する際に課題となることは何ですか。(複数回答)

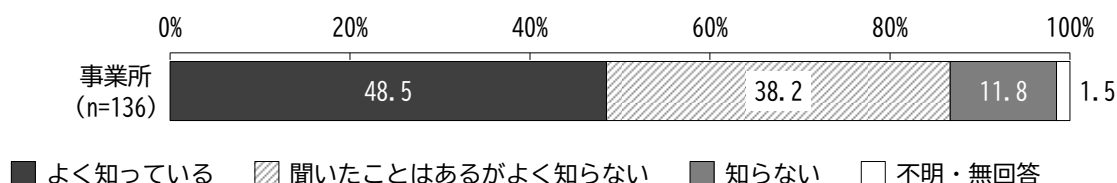
新規事業に参入する際に課題となることは、「人員の確保」が 58.8%と最も高く、次いで「採算が取れるかわからない」が 34.6%となっています。



2. 回答している方ご自身の状況について

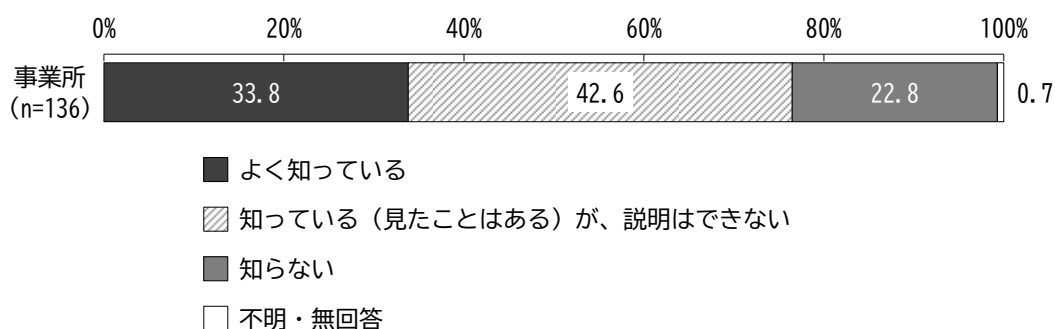
問 23 あなたは人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、これまで知っていましたか。（単数回答）

人生会議を知っていたかは、「よく知っている」が 48.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 38.2%、「知らない」が 11.8%となっています。



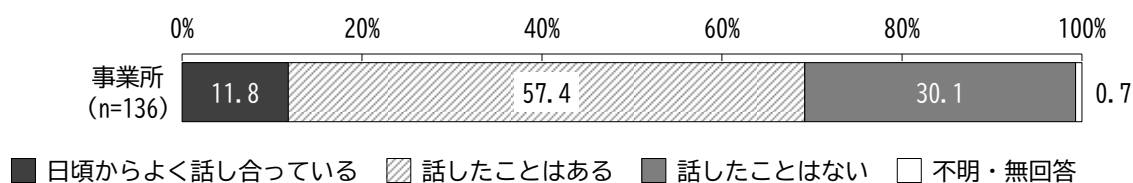
問 24 あなたは各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」について、これまで知っていましたか。（単数回答）

各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」を知っていたかは、「よく知っている」が 33.8%、「知っている（見たことはある）が、説明はできない」が 42.6%、「知らない」が 22.8%となっています。



問 25 人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っていますか。（単数回答）

人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っているかは、「日頃からよく話し合っている」が 11.8%、「話したことはある」が 57.4%、「話したことはない」が 30.1%となっています。



3. 高齢者福祉全般について

問 26 ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください（自由記述）

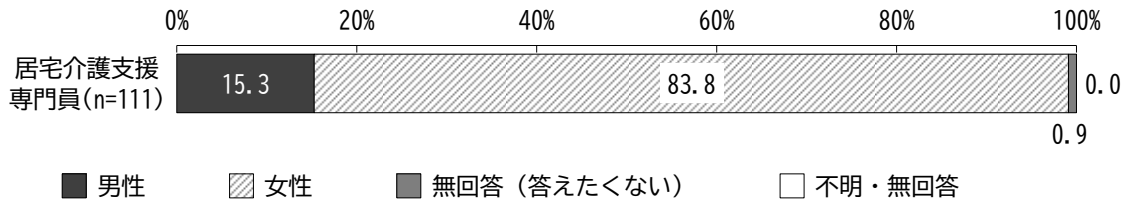
自由意見
「人生アルバム」やALPは知らなかったため、どのようなことを調べて自分の仕事へ取り入れることができればと思います。
令和7年11月に開設したため、これから鶴沼東部の高齢者の方々、ケアマネジャーに知っていただきたい。自立支援介護を広めたい。
うつ病や精神疾患の方が介護保険を更新する際に、認定調査の第1・2群が自立で第3・4群の確認が少しだと、要介護の判定をされてしまい、介護サービスを利用できない。認定審査会にてしっかり検討してほしい。
介護保険制度の中で、介護予防日常生活総合支援事業のサービス費（介護報酬単価）が低く、事業所としては介護認定の方と同じように計画書をつくり、評価モニタリングを行う状況は同じである点から、単価アップの検討または書類系の簡素化を望みます。
業界の社会的地位の向上。
データ連携が進んでいないため、すべての関係者が紙媒体の使用を控える意識が必要である。
困難事例（虐待、精神障がい家族等）の対応について、高齢者介護課、生活支援課等、関係機関との連携が円滑にできて、対象者の方の不安等が軽減できるようになるとよいと思います。
総合事業の報酬が低いので、実施していない訪問介護事業所が多い。
日中独居や老々介護、認定介護に対する支援や金銭的な問題から困っている高齢者に対する支援によく困ることがあります。
介護予防を目的とした機能訓練特化のデイサービスを立ち上げ、機能訓練リラグゼーションにより利用者や家族に喜んでもらっています。また、利用者も増えることで、確かな手ごたえを感じています。しかし、質の高いサービスの提供するためには十分な職員の配置や教育が必要となり、コストに圧迫され経営面では苦しい状況となっているため、総合事業や要支援の方もより受け入れやすい環境になることを要望します。
各務原市は、他事業所とのつながりや行政の方々との横の関係性はとてもしっかりできていると感じます。
行政の役割、地域包括支援センターの役割、居宅介護支援事業所の役割を明確化してほしいです。制度の狭間の支援は誰に相談するとよいのでしょうか。チームケアだけでは対応が難しいです。誰かがボランティアや痛手を得ています。支援者のSOSの機関がないです。
市独自訪問介護相当サービスコードA2で週5回及び週9回訪問した場合、「まるめ」になって単位数が下がるのは納得できない。下がる根拠を説明してほしい。

VII 居宅介護支援専門員調査結果

1. 回答いただく方について

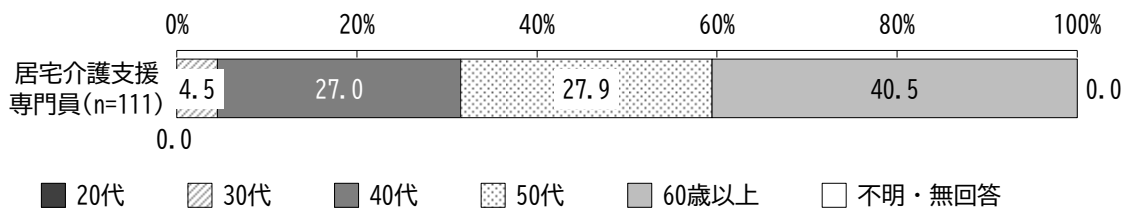
問1 性別を教えてください。(単数回答)

性別は、「男性」が15.3%、「女性」が83.8%、「無回答(答えたくない)」が0.9%となっています。



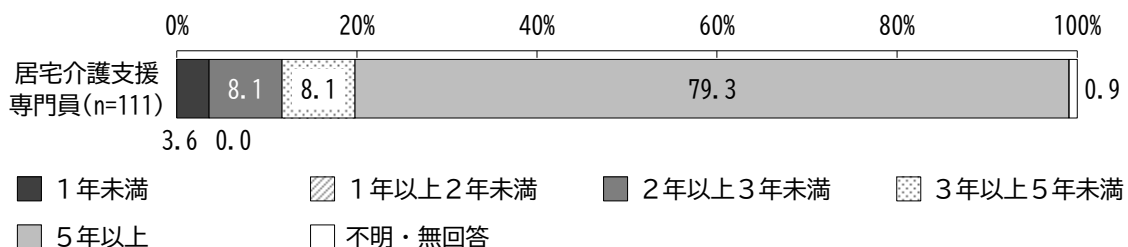
問2 現在の年齢を教えてください。(単数回答)

年齢は、「60歳以上」が40.5%と最も高く、次いで「50代」が27.9%となっています。



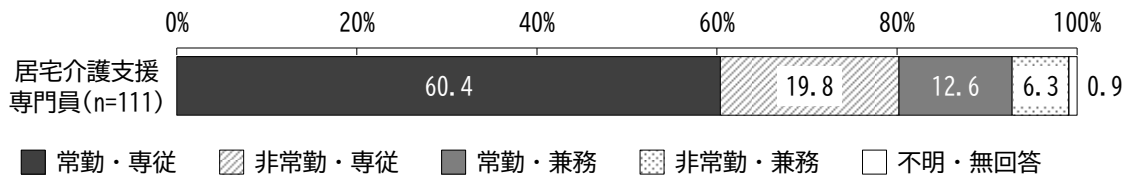
問3 ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などをして いる場合は、前職なども含めた累計の期間でお答えください。(単数回答)

ケアマネジャー業務に従事してからの経験年数は、「5年以上」が79.3%と最も高く、次いで「2年以上3年未満」「3年以上5年未満」がそれぞれ8.1%となっています。



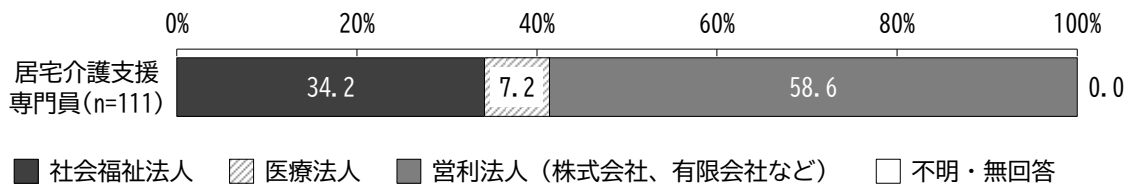
問4 勤務形態は次のどれに該当しますか。(単数回答)

勤務形態は、「常勤・専従」が60.4%と最も高く、次いで「非常勤・専従」が19.8%となっています。



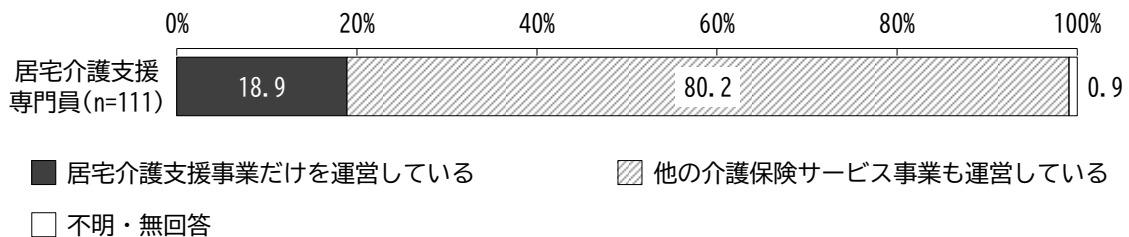
問5 あなたが勤務する事業所の母体組織は次のどれに該当しますか。(単数回答)

勤務する事業所の母体組織は、「社会福祉法人」が34.2%、「医療法人」が7.2%、「営利法人（株式会社、有限会社など）」が58.6%となっています。



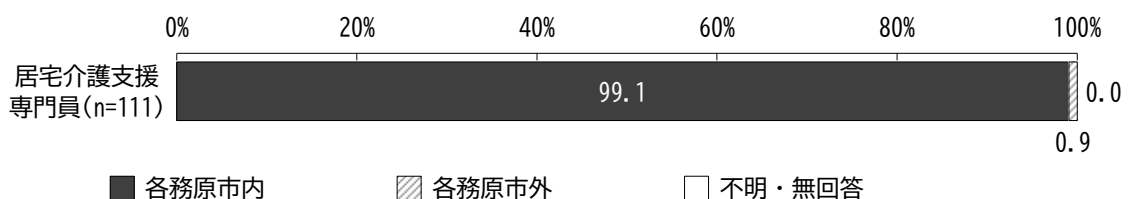
問6 あなたの所属事業所の組織形態を教えてください。(単数回答)

所属事業所の組織形態は、「居宅介護支援事業だけを運営している」が18.9%、「他の介護保険サービス事業も運営している」が80.2%となっています。



問7 あなたの所属事業所の所在地を教えてください。(単数回答)

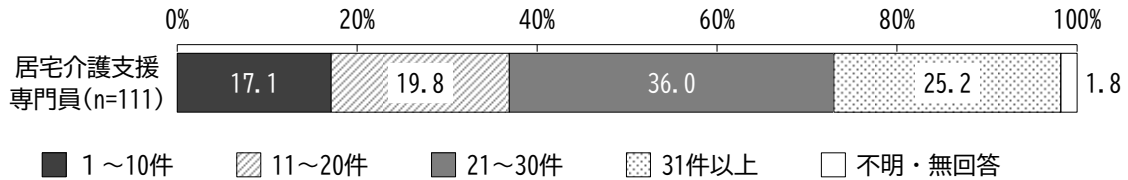
所属事業所の所在地は、「各務原市内」が99.1%、「各務原市外」が0.9%となっています。



2. ケアプランの作成について

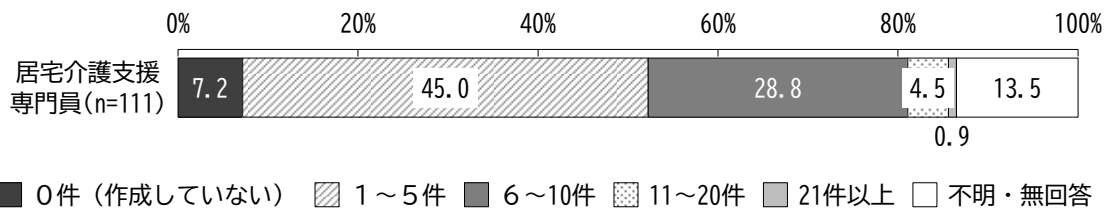
問8① 【介護】令和8年1月時点で担当しているケアプランの件数は何件ですか。
(数量回答)

介護に関するケアプランの件数は、「21～30件」が36.0%と最も高く、次いで「31件以上」が25.2%となっています。



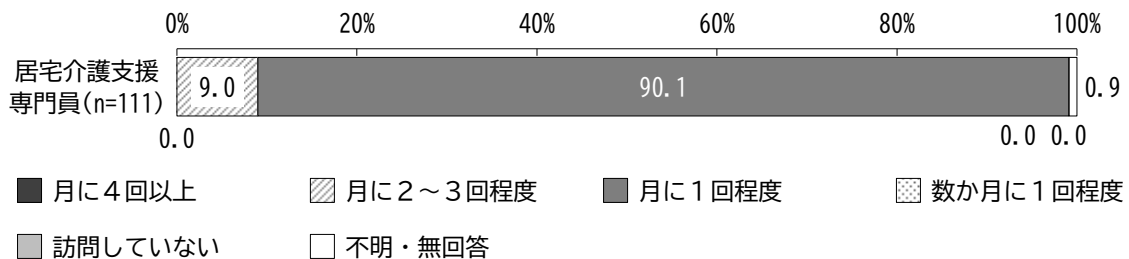
問8② 【介護予防】令和8年1月時点で担当しているケアプランの件数は何件ですか。
(数量回答)

介護予防に関するケアプランの件数は、「1～5件」が45.0%と最も高く、次いで「6～10件」が28.8%となっています。



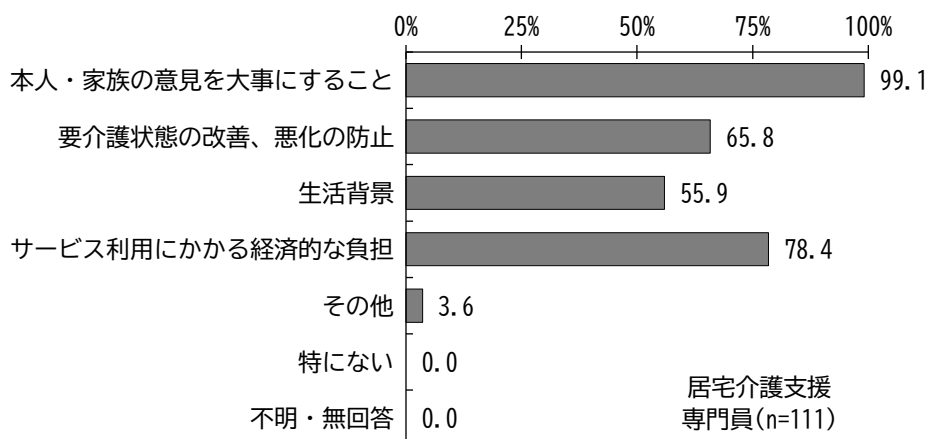
問9 サービス利用者をどの程度訪問していますか。(単数回答)

サービス利用者への訪問頻度は、「月に1回程度」が90.1%と最も高く、次いで「月に2～3回程度」が9.0%となっています。



問10 ケアプランを作成する際に、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(複数回答)

ケアプランを作成する際に、生活機能の状態のほかに気をつけていることは、「本人・家族の意見を大事にすること」が99.1%と最も高く、次いで「サービス利用にかかる経済的な負担」が78.4%となっています。



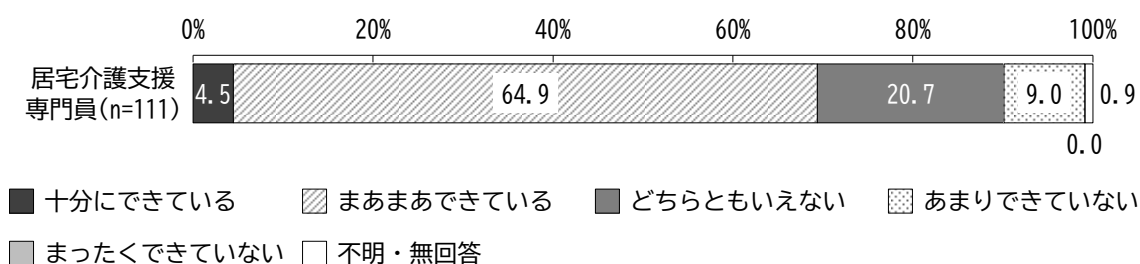
問11 ケアプランを作成する際に、アセスメントができていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『できている』 … 「十分にできている」と「まあまあできている」の合算

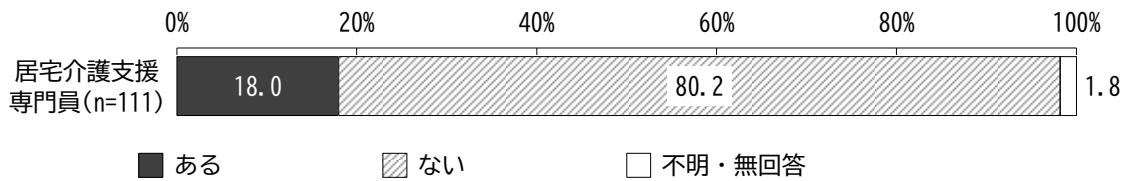
『できていない』 … 「あまりできていない」と「まったくできていない」の合算

ケアプランを作成する際に、アセスメントができていないかは、『できている』が69.4%、「どちらともいえない」が20.7%、『できていない』が9.0%となっています。



問 12 ケアプランの作成を断ったことはありますか。(単数回答)

ケアプランの作成を断ったことがあるかは、「ある」が18.0%、「ない」が80.2%となっています。

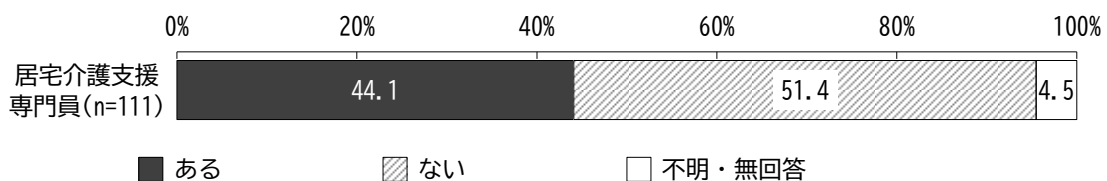


問 12-1 ケアプランの作成を断った理由は何ですか。(自由記述)

断った理由
空きがない。
遠方の利用者のプランのため。
介護保険制度でできない事を高圧的に言われたり、精神的に追い詰められたため。
カスタマーハラスメント的な家族。夜間や休日の頻回な電話など。
家族の1人が居宅でプラン作成していたため、依頼はあったが、既に入っている居宅に2人分をお願いした。
ケアプランの新規依頼件数が複数で集中しすぎたため、受けられなかった。
担当できる件数に制限を加えられているから。
デイサービスの営業時間外の対応やサービス対応以外のことを望まれる内容だったため。
他県に在中の方だった。
他の業務があり、しっかりと対応できない。
話を伺う中で、小規模利用を希望していたため、説明して小規模につないだ。

問 13 サービス事業者からサービス提供を拒否されたことはありますか。(単数回答)

サービス事業者からサービス提供を拒否されたことがあるかは、「ある」が44.1%、「ない」が51.4%となっています。



問 13-1 サービス提供を拒否された理由は何ですか。(自由記述)

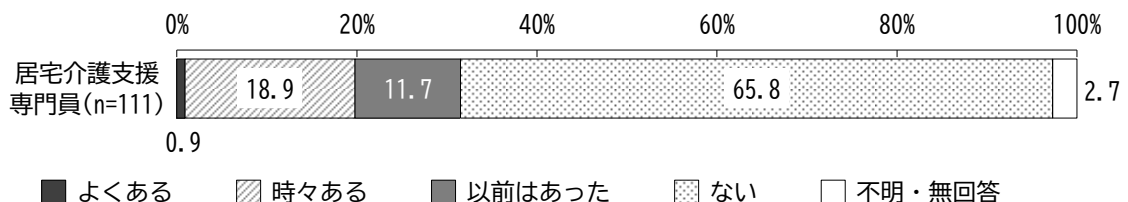
拒否された理由
空きがないため。(17件)
人材の不足。(12件)
利用者の問題。(3件)
エリア的に遠方のため訪問できないと言われた。
過去に利用者の身体状況から、責任を持たないとの理由。
困難事例があった。
本人の暴言、暴力、強い拒否によるサービスの継続が困難だったため。また、家族のサービス以外の過度な要求があったため。
利用者の要望が多く、対応できないから。
時間、人材の希望に添えないから。
デイサービス利用中に、他の利用者への暴力的な行動や暴言があった。
認知症が進行していて、当事業所とはあわないとのこと。
認知症だから。
認知症で職員や他の利用者に手が出てしまった。
徘徊があり、デイサービスで見守りができない。夜間職員が1人での対応であり、ショートで対応できない。
訪問介護事業所は、質のよい事業所はキャパ不足である。
離設の可能性あり。他の利用者への影響。
離設の可能性はある。
利用者や家族が横暴な態度で、改善されなかったため。
利用者が事業所のコンセプトに合わないとのこと。
家族の協力が得られないため。
苦情や要求が多い。
寝たきりの方の機械浴の対応ができないと言われた。
時間や曜日が固定のため。
認知症のある方(帰宅願望)の対応が難しい。セクハラ行為がある。
認知症状があり、サービス内容の理解が困難であると利用を拒否された。
本人の通所介護サービスにおける職員へのセクハラ行為。
利用者本人の暴力・暴言。

問 14 サービス事業者から利用者が希望していないサービスをケアプランに組み入れるように求められたことはありますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

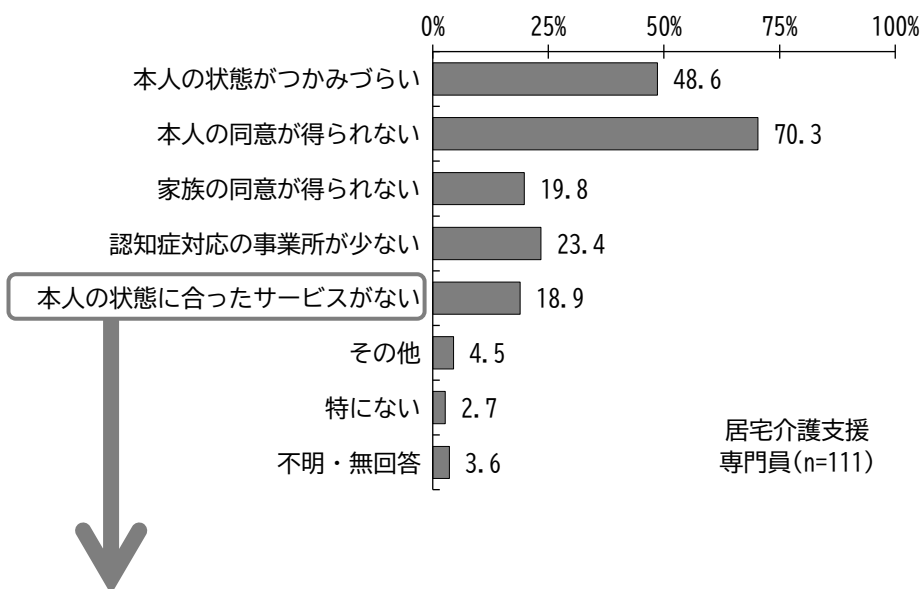
『ある』 …「よくある」と「時々ある」の合算

サービス事業者から利用者が希望していないサービスをケアプランに組み入れるように求められたことがあるかは、『ある』が19.8%、「以前はあった」が11.7%、「ない」が65.8%となっています。



問 15 認知症利用者のケアプラン作成時に困難だと思われることは何ですか。(複数回答)

認知症利用者のケアプラン作成時に困難だと思われることは、「本人の同意が得られない」が70.3%と最も高く、次いで「本人の状態がつかみづらい」が48.6%となっています。

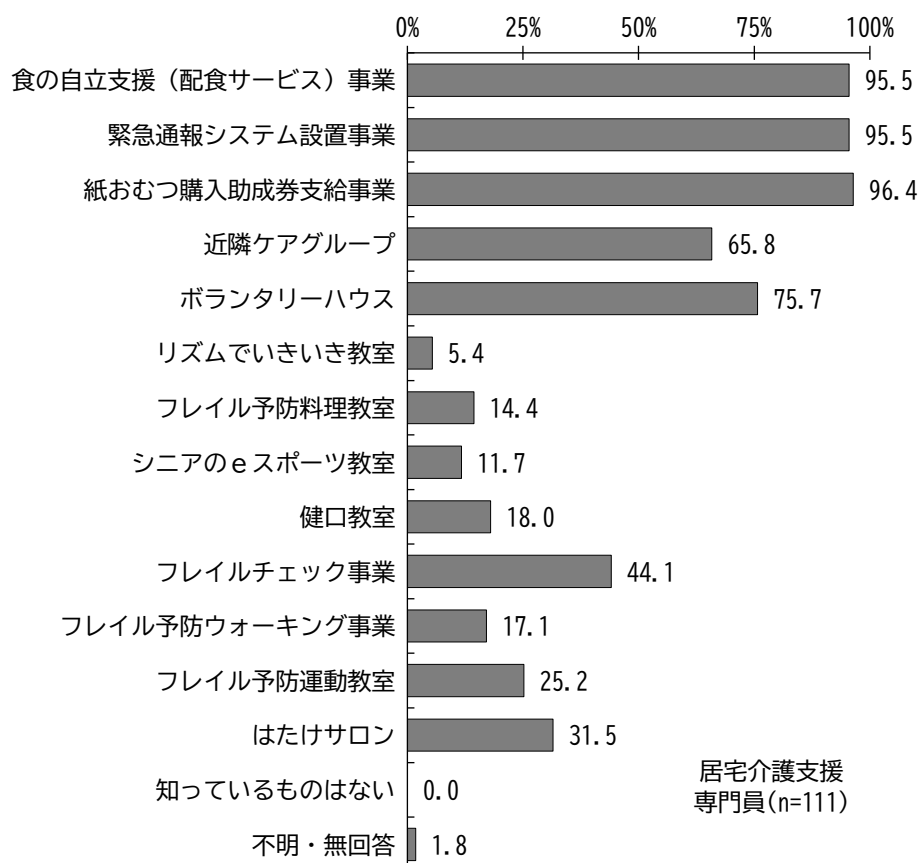


「本人の状態に合ったサービスがない」について具体的に必要なサービス
若年層のデイサービス。
若い方が通いやすいデイサービス。
若年者への対応。
半日デイサービスが少ない。

「本人の状態に合ったサービスがない」について具体的に必要なサービス
半日、運動デイサービス。
重度認知症でも前向きに受け入れてくれるショートステイ。
徘徊・暴力に対するサービス。
初めて間もないため、経験不足。
見守り・付き添いが重視。デイサービスの送り出し、ヘルパー（早朝）。
週ごと時間ごとではない適宜対応できるサービス。
集団生活が難しい場合。
長時間の支援、同行支援。
低所得の方の入所施設。
夜間帯の介護。

問 16 市や地域が行っている高齢者自立支援事業等として知っているものをご回答ください。（複数回答）

市や地域が行っている高齢者自立支援事業等として知っているものは、「紙おむつ購入助成券支給事業」が96.4%と最も高く、次いで「食の自立支援（配食サービス）事業」「緊急通報システム設置事業」がそれぞれ95.5%となっています。



問 16 で市や地域が行っている高齢者自立支援事業等として知っている事業等に1つでも回答した方のみ

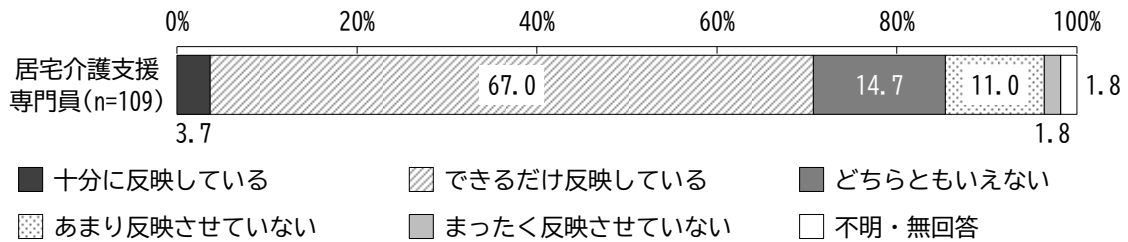
問 16-1 市や地域が行っている高齢者自立支援事業等をケアプランに反映させていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『反映している』 … 「十分に反映している」と「できるだけ反映している」の合算

『反映させていない』 … 「あまり反映させていない」と「まったく反映させていない」の合算

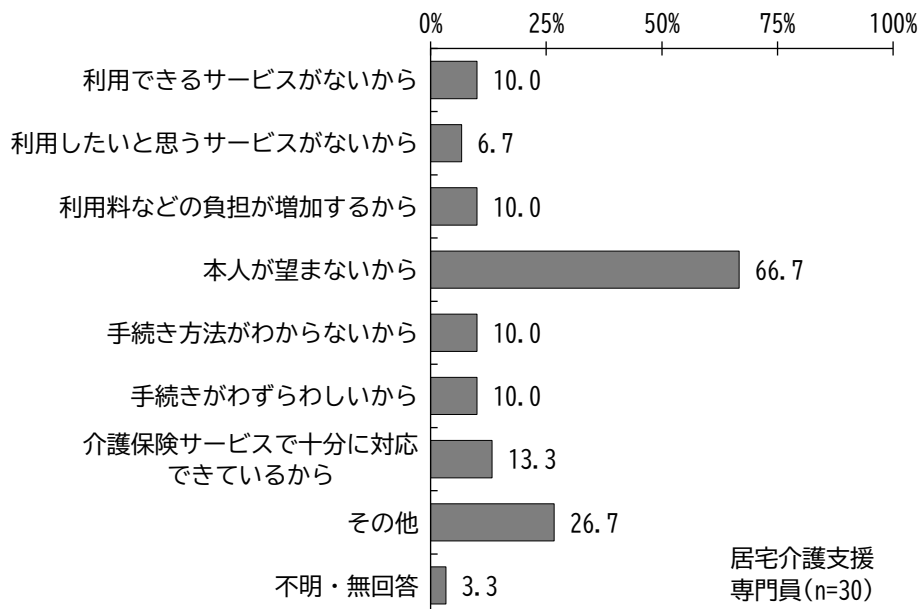
市や地域が行っている高齢者自立支援事業等をケアプランに反映させているかは、『反映している』が70.7%、「どちらともいえない」が14.7%、『反映させていない』が12.8%となっています。



問 16-1 で「どちらともいえない」「あまり反映させていない」「まったく反映させていない」のいずれかに回答した方のみ

問 16-2 反映させていない理由は何ですか。(複数回答)

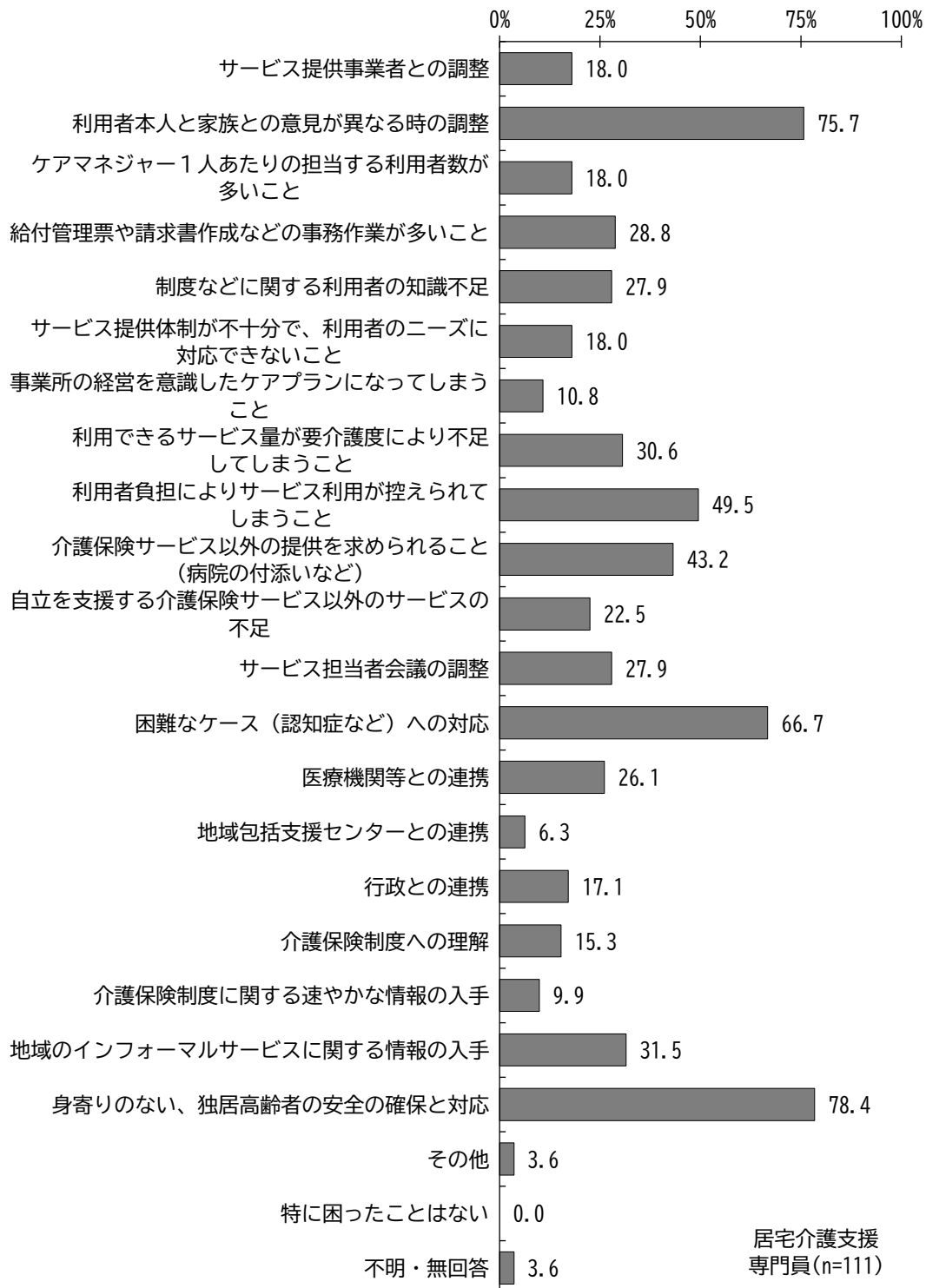
反映させていない理由は、「本人が望まないから」が66.7%と最も高く、次いで「その他」が26.7%となっています。



居宅介護支援
専門員(n=30)

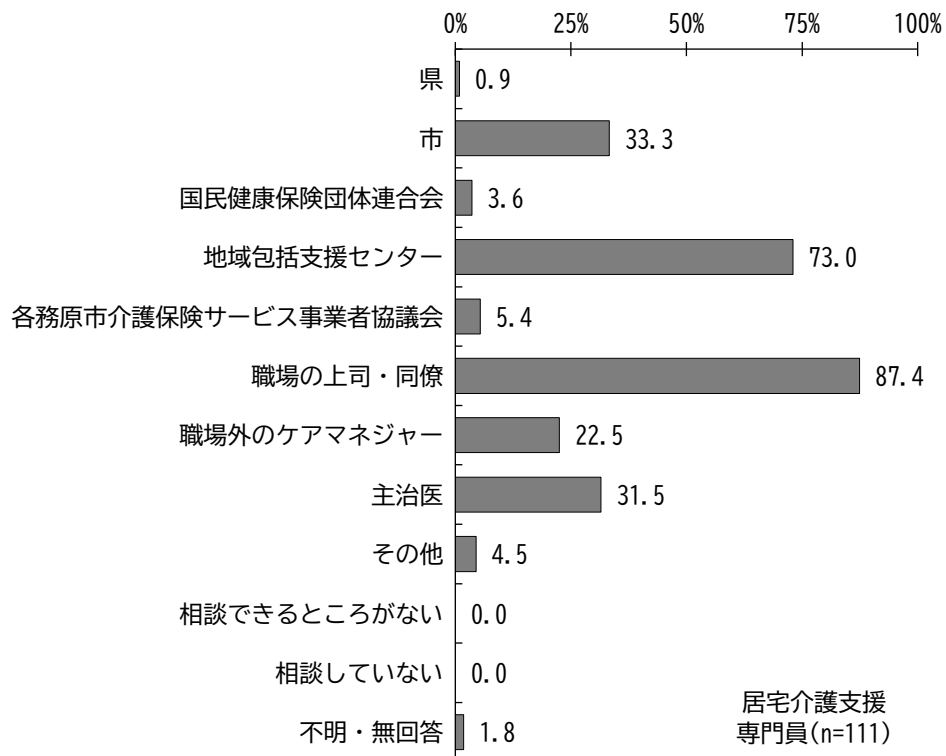
問17 ケアマネジャーの業務として難しいことは何ですか。(複数回答)

ケアマネジャーの業務として難しいことは、「身寄りのない、独居高齢者の安全の確保と対応」が78.4%と最も高く、次いで「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整」が75.7%となっています。



問 18 業務を進める上で困った時どこに相談していますか。(複数回答)

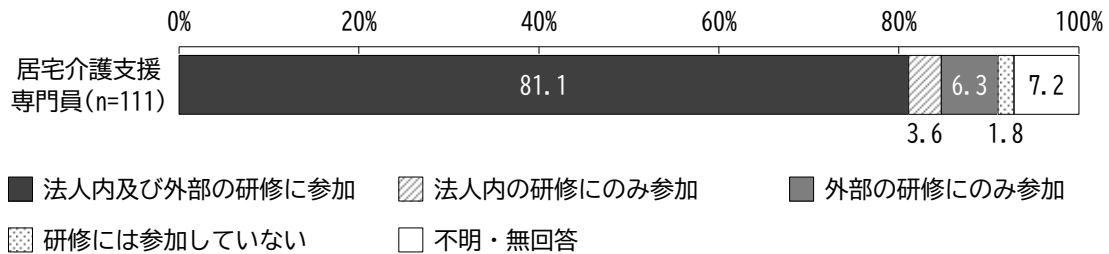
業務を進める上で困った時の相談先は、「職場の上司・同僚」が 87.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 73.0%となっています。



3. ケアマネジメントの質の向上について

問 19 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(単数回答)

サービスの質の向上に向けた研修への参加状況は、「法人内及び外部の研修に参加」が 81.1%と最も高く、次いで「外部の研修にのみ参加」が 6.3%となっています。



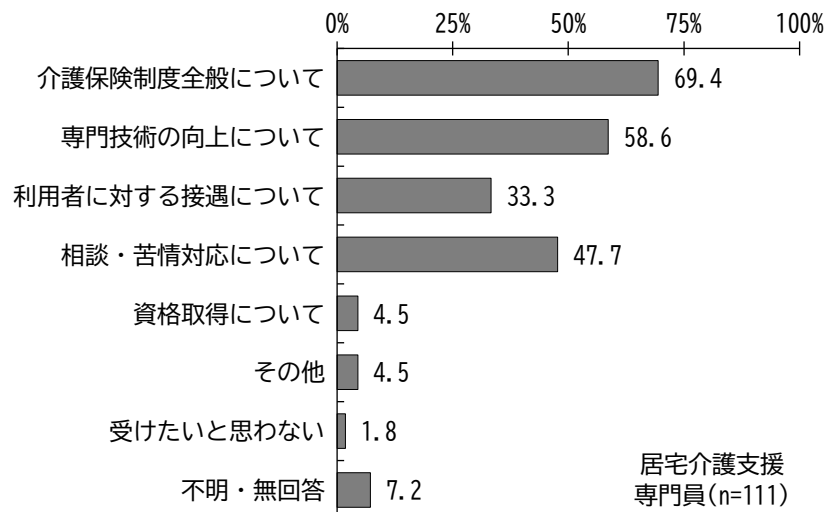
問 19 で「研修には参加していない」と回答した方のみ

問 19-1 研修に参加していない理由は何ですか。(複数回答)

研修に参加していない理由 (n = 2) は、「通常業務で忙しいため」が 2 件、「費用が自己負担であるため」が 1 件となっています。

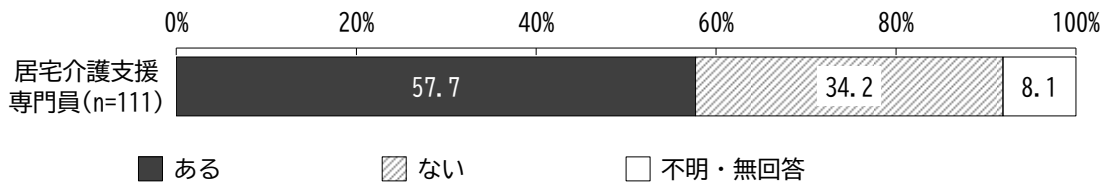
問 20 研修で受けてみたい内容はどのようなものがありますか。(複数回答)

研修で受けてみたい内容は、「介護保険制度全般について」が 69.4%と最も高く、次いで「専門技術の向上について」が 58.6%となっています。



問 21 利用者やその家族からの苦情を受けたことはありますか。(単数回答)

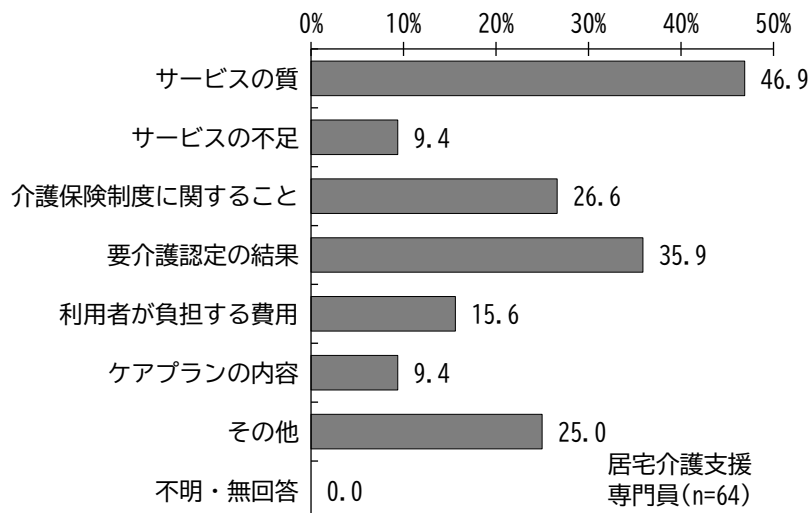
利用者やその家族からの苦情を受けたことがあるかは、「ある」が 57.7%、「ない」が 34.2%となっています。



問 21 で「ある」と回答した方のみ

問 21-1 苦情はどのような内容でしたか。(複数回答)

利用者やその家族からの苦情の内容は、「サービスの質」が 46.9%と最も高く、次いで「要介護認定の結果」が 35.9%となっています。

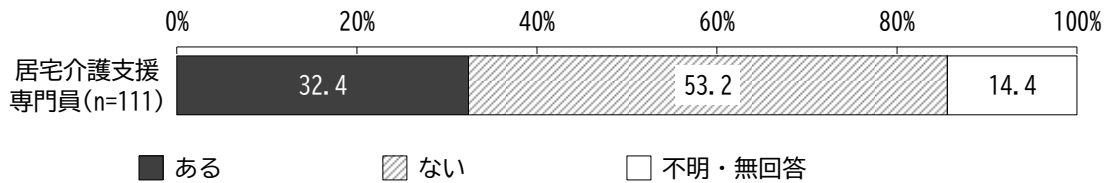


問 22 資質向上のための研修について、行政に期待することを自由に記述してください。
(自由記述)

行政に期待すること
業務の効率化をもっと進めてほしい。それについての研修を行ってほしい。年齢が高くなるにつれて覚えるのも大変になるので、簡素化して行えるシステム化を進めて研修してもらいたい。
ケアマネの質向上だけでなく、一般の方の介護保険に関する知識を向上させることが大切です。そのため、介護保険に関する研修を一般の方対象に実施してください。
災害時の連携について。困難事例について行政と連携していきたい。
新人ケアマネジャーへの研修。
スーパービジョン研修が、他市より弱い気がします。
データ通信取りまとめ、ICT、ヤングケアラーについて。
法改正がある年には、できるだけ多く、わかりやすく研修の機会がほしい。
訪問介護の生活援助の考え方について、サービス事業者・ケアマネジャーともに同じ認識となるよう、研修してほしい。ケアマネジャーが許可した部分は援助できる旨を一般の方に広めるのは控えてほしい。
毎年同じテーマ・内容の研修が多いので、もっといろいろな内容の研修を開催してほしい。地域包括支援センターが主催の研修会を増やしてはどうか。
家族に介護保険の理解の場をつくる。
介護支援専門員の倫理綱領及び行動規範の学びの内容に関する研修。
実際の事例など（どう対応したか等）をたくさん知りたい。
制度の狭間の支援について。
必要な期間につなげることができるように。
立場により正解が異なることを様々な職種の方もケアマネジャーの習う研修を知るとよい。

問 23 あなたの事業所の介護支援専門員について、本来の業務以外の事項で、業務中に負担感を感じている場面はありますか。(単数回答)

本来の業務以外の事項で、業務中に負担感を感じている場面があるかは、「ある」が 32.4%、「ない」が 53.2%となっています。



問 23 で「ある」と回答した方のみ

問 23-1 介護支援専門員が業務中に本来の業務以外で対応している仕事について、具体的にご記入ください。(自由記述)

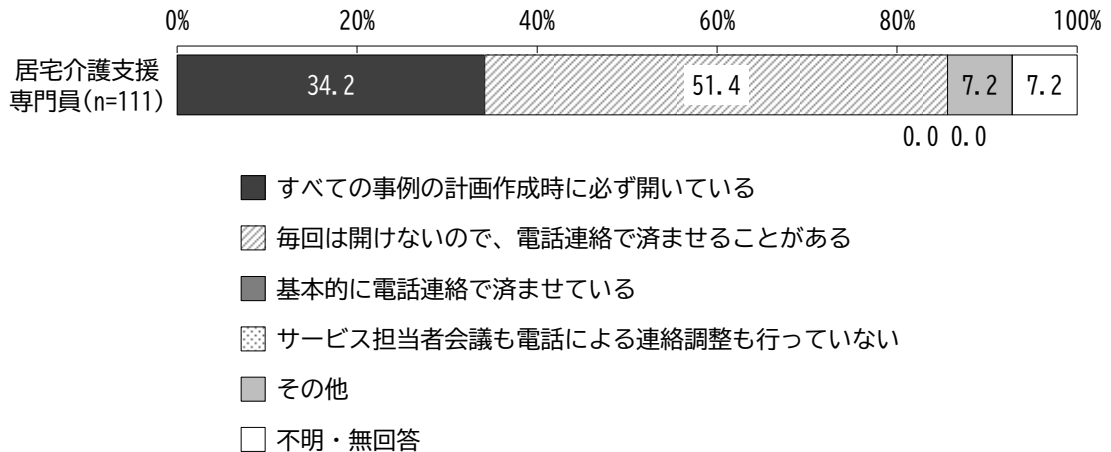
本来の業務以外で対応している仕事
お金に関する相談。病院への付き添い、入院の準備。
会社にかかってくる電話対応。
教育について、業務が多過ぎて、新人のケアマネジャーには負担が重い、ゆっくり教えられる時間がない。
行政サービスの代行、スマホ操作の相談。
行政等から来た封筒の内容を見てほしいと言われ、内容説明と行動を伝えること。各種（更新）手続きの代行。予防接種の申請代行等（この時期に、個人番号を書いたり持参しないといけないのは一番嫌です）。
居住地を引っ越す時の手続きの支援（アパートや施設探し、引っ越しの作業手伝い等）。
緊急で搬送した際、身寄りのない・家族が遠方の利用者の病院への同行を求められる等、ケアマネジャーに求められることが多い。サービス事業所から本人が不在時、調子が悪いので見に来てほしい等。
緊急入院の対応。
ゴミ出し、銀行の手続き、自己破産の手続き。
時間外の電話対応。
システムのメンテナンス、高齢者自立支援事業の手続き、アセスメント、ゴミ出し、郵便物の仕分け、管理、市への問い合わせ（介護以外の課から届いているもので、内容不明なものなど）、予防接種の手続き、頻回な安否確認、転倒時の手助けに訪問、家族につながらない時にケアマネジャーにかかってくる電話（個人で契約した民間のものや銀行など）。
人材確保、人材教育。
調査の記録や電話での確認。
デイサービスの介助員、ショートステイの介助員、コロナ時のゴミ捨て、宿直。
独居の方で、郵便物・行政からの書類がわからないので見て説明してほしい等の依頼。配食サービス業者からの連絡で、本人の様子を遠方の家族に代わって見に行くこと。

本来の業務以外で対応している仕事
入院中の施設を変わりたいから探してほしい。家に食べる物がないから買ってきてほしい。救急で病院へ行ったが入院できなかつたら迎えに来てほしい等。
身内のいない独居、しかもお金のない人は自費サービスが使えないので、入院時の荷物の用意や市役所関係の書類の代行申請、滞納しているお金の管理。後見制度を使うレベルではないので、家族が対応するよなことをケアマネがやらざるを得ない。
身寄りのない方の行政の手続きの手伝い等。
介護支援専門員以外の業務のことであっても、何かあれば対応してほしいと各事業所から連絡があり、対応しないといけないこと。
今はないが、コロナ時の注射の問診等確認。
受付事務を月に数回依頼される。
障害のある家族の支援も必要な時。
身寄りがなくお金がない方の支援。チームケアと言いながら、ケアマネが動かざるを得ないケース。
身寄りのない、ほとんどいない利用者の経済面の調整。
身内（キーパーソン）が遠方なことにより、利用者の病院受診の付き添い、担当医の話を聞き本人への説明、送迎等。利用者自身何とか受診は行っていたが、パーキンソンがあるため支障が出てきたこと、また担当医からの指示を理解することが難しく、家族も一緒にということだったが、遠方のため付き添うより仕方ない状況。
独居や身寄りのない方の介護保険で対応できないことの対応行政の手続き（介護保険外の件）代行。利用者が急に状態が悪化時の排泄介助、緊急時の対応、急な買い物、銀行関係、入院時の荷物を届ける、退院後の荷物の片付け等、利用者・家族からの長電話。
独居利用者の安否確認、認定調査、受診同行、オンコール。
夜間帯にかかってくる介護者の不満、不安の傾聴が長いと少々負担。
アンケート調査は業務が忙しいと負担に感じます。

4. サービス担当者会議の実施状況について

問 24 サービス担当者会議を実施できていますか。(単数回答)

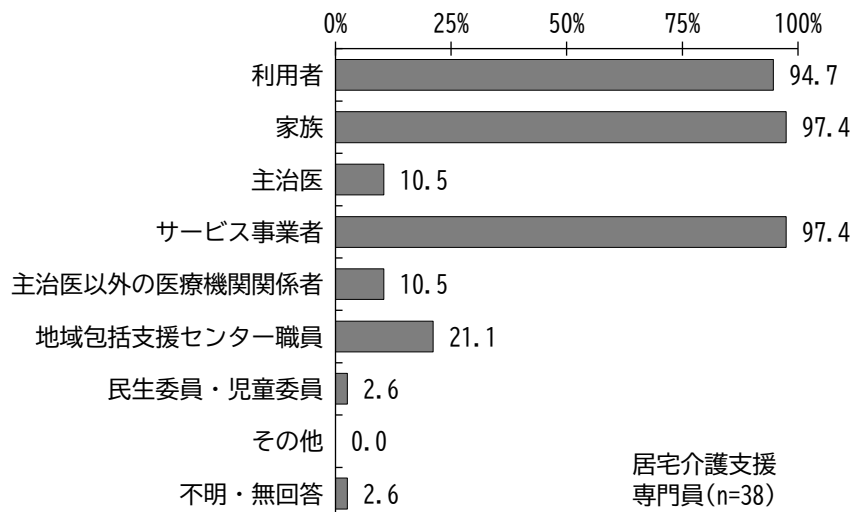
サービス担当者会議を実施できているかは、「毎回は開けないので、電話連絡で済ませることがある」が 51.4%と最も高く、次いで「すべての事例の計画作成時に必ず開いている」が 34.2%となっています。



問 24 で「すべての事例の計画作成時に必ず開いている」と回答した方のみ

問 24-1 サービス担当者会議の出席者はどのような方ですか。(複数回答)

サービス担当者会議の出席者は、「家族」「サービス事業者」がそれぞれ 97.4%と最も高く、次いで「利用者」が 94.7%となっています。



問 24 で「基本的に電話連絡で済ませている」「サービス担当者会議も電話による連絡調整も行っていない」と回答した方のみ

問 24-2 サービス担当者会議を実施できていない理由は何ですか。(複数回答)

サービス担当者会議を実施できていない理由は、回答者がありませんでした。

5. 地域包括支援センターについて

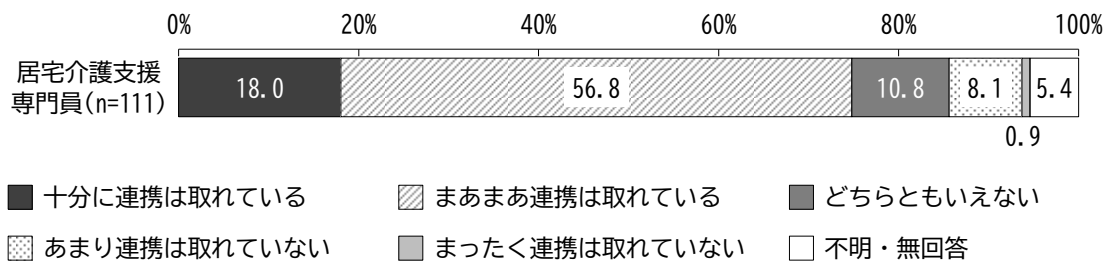
問 25 日頃から地域包括支援センターとの連携を取っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『連携は取れている』…「十分に連携は取れている」と「まあまあ連携は取れている」の合算

『連携は取れていない』…「あまり連携は取れていない」と「まったく連携は取れていない」の合算

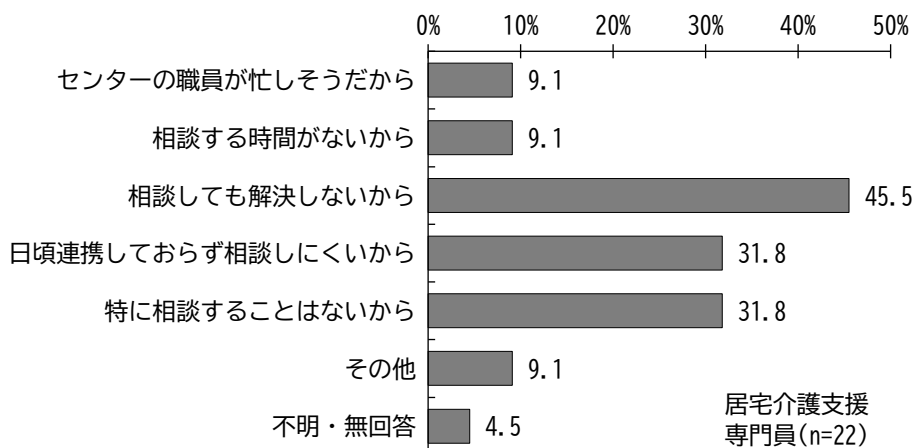
日頃から地域包括支援センターとの連携を取っているかは、『連携は取れている』が74.8%、「どちらともいえない」が10.8%、『連携は取れていない』が9.0%となっています。



問 25 で「どちらともいえない」「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」のいずれかに回答した方のみ

問 25-1 地域包括支援センターとの連携が取れていない理由は何ですか。(複数回答)

地域包括支援センターとの連携が取れていない理由は、「相談しても解決しないから」が45.5%と最も高く、次いで「日頃連携しておらず相談しにくいから」「特に相談することはないから」がそれぞれ31.8%となっています。



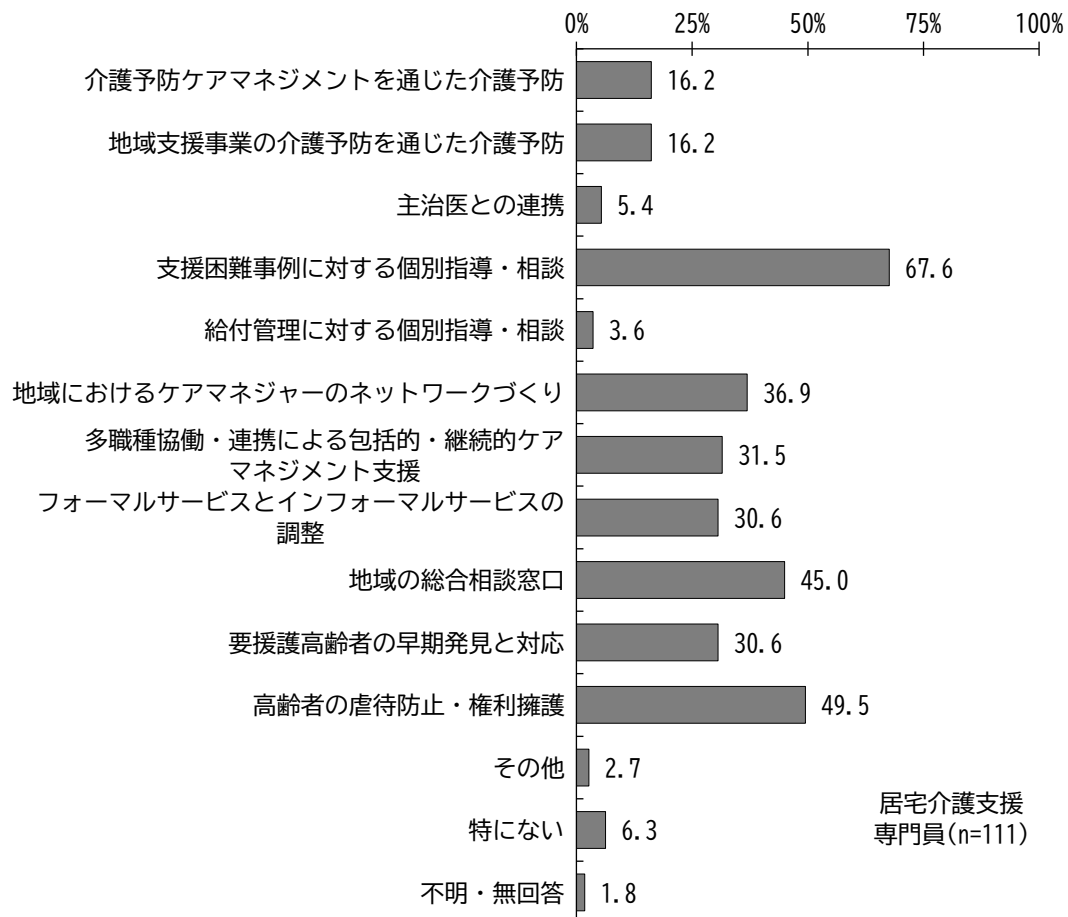
問 25 で「どちらともいえない」「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」のいずれかに回答した方のみ

問 25-2 どうしたら連携が取れるようになると思いますか。自由に記述してください。
(自由記述)

連携が取れるようにする方策
地域包括支援センターのケアマネ知識の向上。
担会において積極的に介入してほしい。地域包括支援センターとの事例検討会を定期的にしてはどうか。
地域包括支援センターの職員が忙しく、ケアマネジャーへの支援が十分にできていないと感じる。
相談したいときに相談できる窓口。
担当の相談がなく、関わることがない。ともに地域の方を支えたいと思うが。
地域包括支援センターに相談した際、私の受け止め方もかもしれませんが、やや一方的に感じられる場面がありました。
何をどのように相談してよいのかわかりにくい。どこからが連携を取るべき事なのかの判断もつきにくい。
居宅介護支援の大変さについてもご理解・ご配慮をいただくと助かります。また、居宅介護支援の説明がデメリット面に偏る場面があるように感じており、当方の事情や意見も併せて意見交換できるとありがたいです。
担当件数が多い。
地域包括支援センターの方も定期的に研修の受講が必要。ケアマネジャーのような更新制度が必要。担当者によって経験値が異なると思うことが多い。
地域包括支援センター主催のケアマネ連絡会の開催、ケアマネジャーや介護サービス事業所の参加により、社会資源の情報共有、地域課題の発信を期待する。

問 26 地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(複数回答)

地域包括支援センターへ期待することは、「支援困難事例に対する個別指導・相談」が 67.6%と最も高く、次いで「高齢者の虐待防止・権利擁護」が 49.5%となっています。



6. 医療との連携状況について

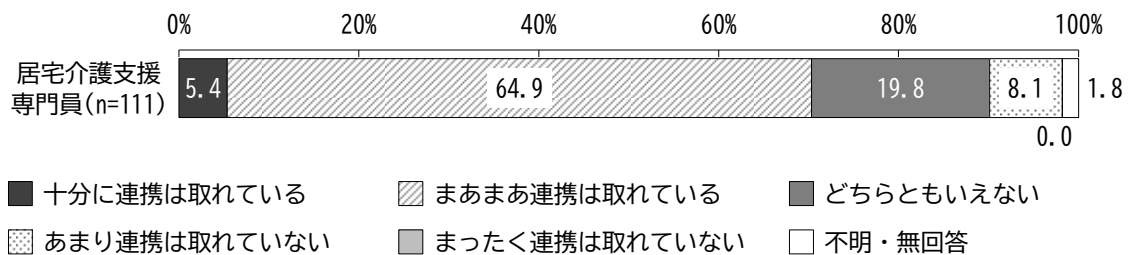
問 27 日頃から医療との連携を取っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『連携は取れている』…「十分に連携は取れている」と「まあまあ連携は取れている」の合算

『連携は取れていない』…「あまり連携は取れていない」と「まったく連携は取れていない」の合算

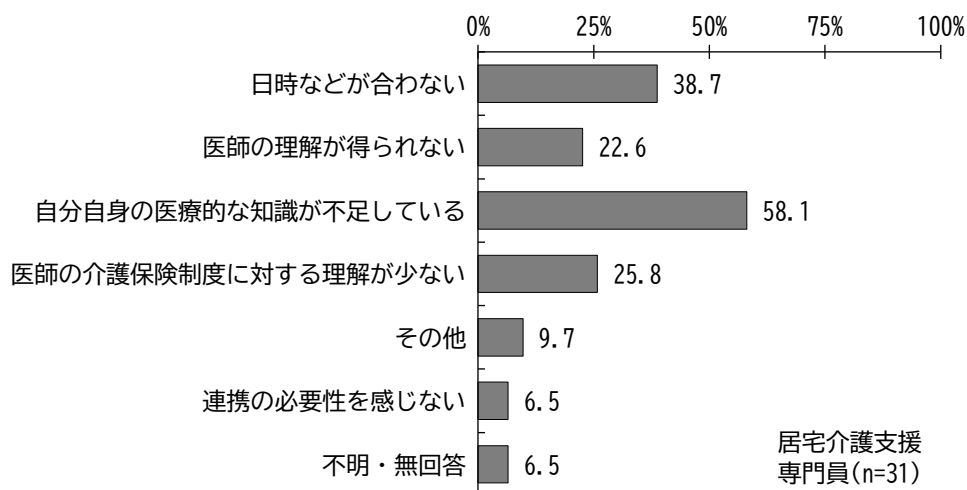
日頃から医療との連携を取っているかは、『連携は取れている』が70.3%、「どちらともいえない」が19.8%、『連携は取れていない』が8.1%となっています。



問 27 で「どちらともいえない」「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」のいずれかに回答した方のみ

問 27-1 医療との連携が取れていない理由は何ですか。(複数回答)

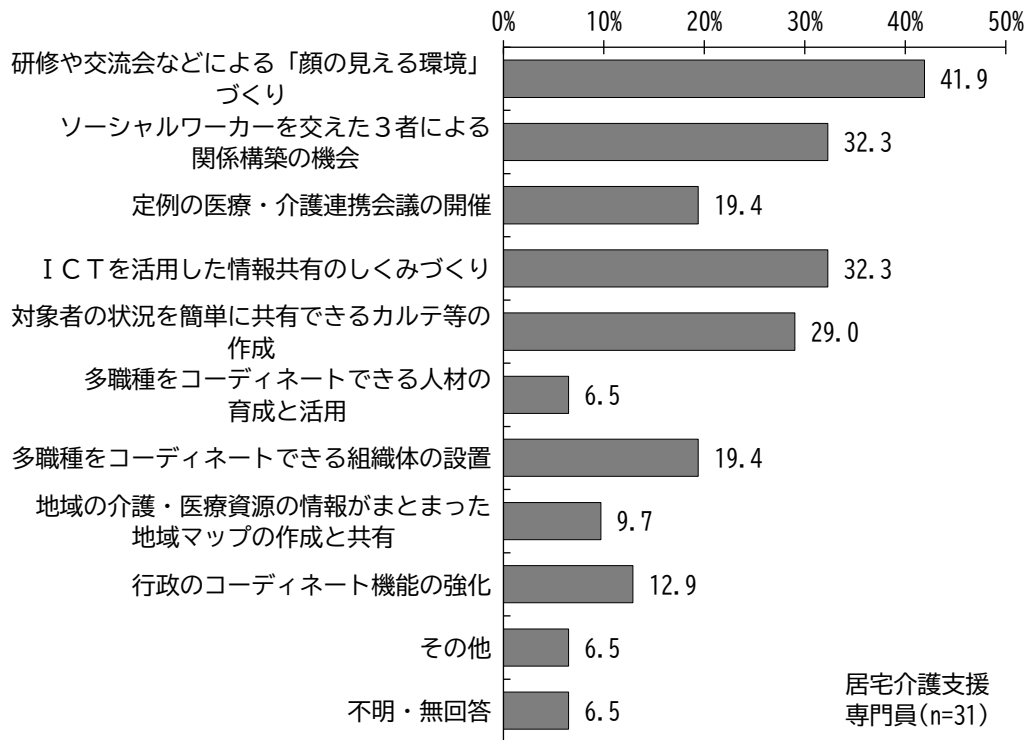
医療との連携が取れていない理由は、「自分自身の医療的な知識が不足している」が58.1%と最も高く、次いで「日時などが合わない」が38.7%となっています。



問 27 で「どちらともいえない」「あまり連携は取れていない」「まったく連携は取れていない」のいずれかに回答した方のみ

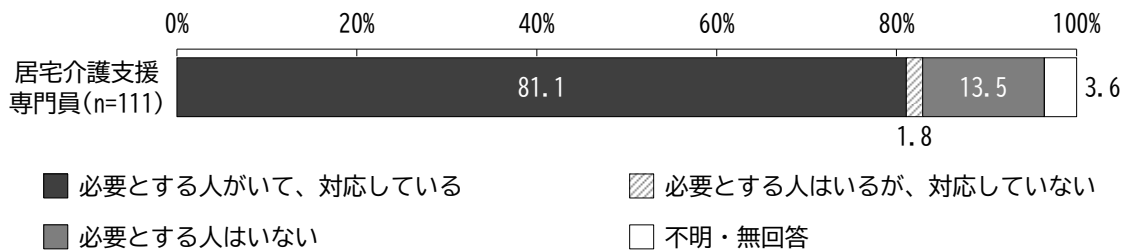
問 27-2 どうしたら医師とより良い連携が取れるようになると思いますか。(複数回答)

医師とより良い連携が取れるための方法は、「研修や交流会などによる「顔の見える環境」づくり」が 41.9%と最も高く、次いで「ソーシャルワーカーを交えた3者による関係構築の機会」「ICTを活用した情報共有のしくみづくり」がそれぞれ 32.3%となっています。



問 28 日頃から医療行為を必要とする利用者はいますか。(単数回答)

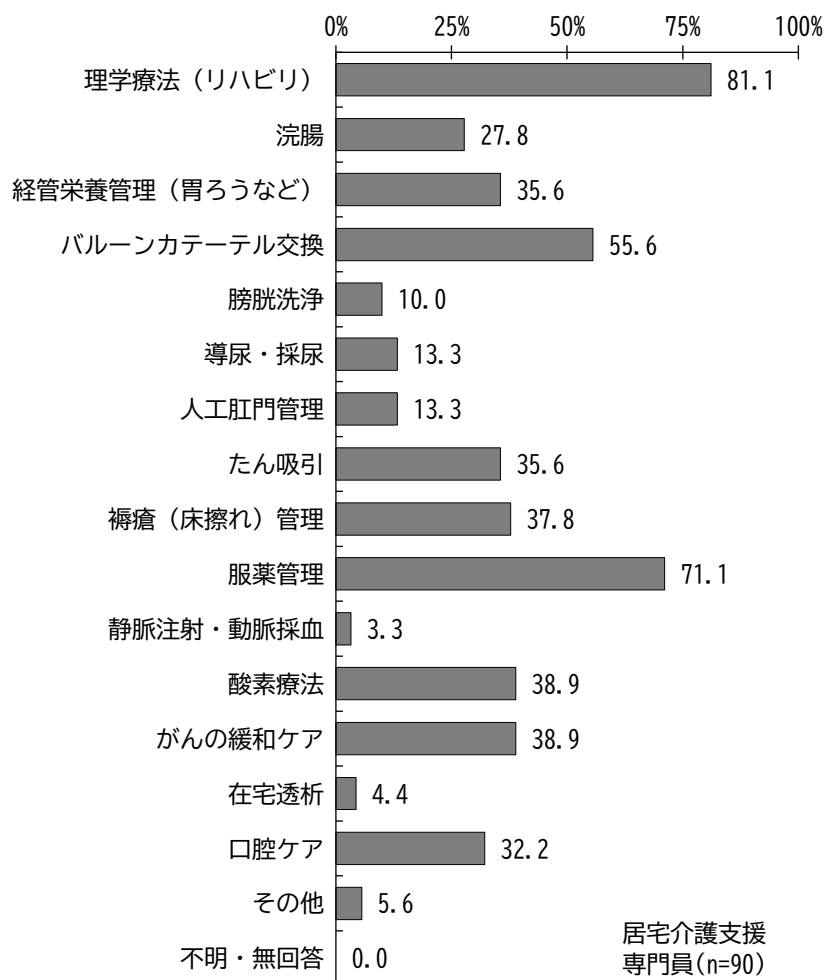
日頃から医療行為を必要とする利用者があるかは、「必要とする人がいて、対応している」が 81.1%、「必要とする人はいるが、対応していない」が 1.8%、「必要とする人はいない」が 13.5%となっています。



問 28 で「必要とする人がいて、対応している」と回答した方のみ

問 28-1 どのような医療行為を行っていますか。(複数回答)

行っている医療行為は、「理学療法 (リハビリ)」が 81.1%と最も高く、次いで「服薬管理」が 71.1%となっています。



問 29 医師とどのような連携を取っていますか。自由に記述してください。(自由記述)

医師との連携内容等
主治医連絡票で連絡を取っている。(12件)
訪問診療時に同席するようにしている。(3件)
医師によりますが、現場で話したり書面のやりとり。
FAX、電話、往診時に立ち会い。(7件)
医師というよりは看護師から報告を受け、必要時に対応している。
医療系サービス導入の確認、入浴不可基準、運動の可否確認等。
医療系サービス利用時の所見確認。
医療系のサービスを導入する時の指示や、訪問入浴等入浴不可基準の確認、症状の進行に対しての相談。
連携シートの活用で状況報告。
居宅療養管理指導としての診療状況のやりとり。医療系サービス導入時の確認。通院時同行での相談。その他、服薬や病状について必要時の連絡(FAX、TEL、訪問)。
ケアプラン作成時と区変時書類(規定の)でのやりとり。サービス利用時必要な場合の医療的指示。
計画書について意見をもらっている。
サービス開始時や更新時、医療サービス開始時。薬のことなど相談したいことがある時。
サービス担当者会議への出席、主治医連携票やメディカルケアネットでのやりとり。
主治医連絡票・医療と介護の連絡シート等、書面の使用。直接電話相談、本人・家族と病院受診時の同行。
書面、もしくは対面(訪問診療の時間にあわせています)。
相談した時に(本人・家族と相談の後)医師へ相談する。
デイケア・訪問リハの可否確認。
電話、FAX、病院に行き相談。
病状によるヘルパーや用具の調整への助言。
ファックスやMCSを活用して連携を取ることが多いです。
プラン作成時には主治医所見票をいただく。体調変化の時は連絡している。訪問診療の場合、診察時間に合わせて自宅訪問している。
プラン作成時に状態の報告を行い、助言を求める。
訪問看護を介して連携を取っている。FAXでのやり取り。
訪問診療時に同席し、情報を得る。主治医連絡票や医療連携シートを使用し、相談する。
本人(利用者)の現状は定期的に報告している。
リハビリ会議に出席。利用者の支援方法の検討等。
リハビリの指示書作成のお願いをするため、書面にて連携。
リハビリを導入する場合の許可、診療時の同席。
利用者の状態をまとめて、ケアマネジャーからの視点をまずしっかり伝える。
連携シートの活用。通院の同行。
医学的な支援での相談。

医師との連携内容等
介護サービス提供の内容について、医学的に見て身体への影響の是非。
急変時の対応、サービス利用にあたっての注意点など、医師の意見を伺うようにしている。
主治医意見書の作成依頼（生活状況、現在利用サービスの報告）、医療系サービス導入の相談、通院から訪問診療以降の相談、サービス利用時の留意事項相談（入浴時の血圧値）等。
状態変化の時に報告する。サービスの利用をしてよいか、注意事項などの指示を仰ぐ。
定期往診の際、報告が随時もらえる（FAX）。こちらからは本人や家族の要望や聞きづらいことを主治医に聞いてみたりする。
訪問看護を導入する時、自宅での内服コンプライアンスへのアドバイス。
訪問診療時に合わせて訪問し面談、照会用紙を用いて報告、相談。
訪問診療前後の情報提供・報告。
利用者及びMSWを通じて必要なことを確認するがほぼない。

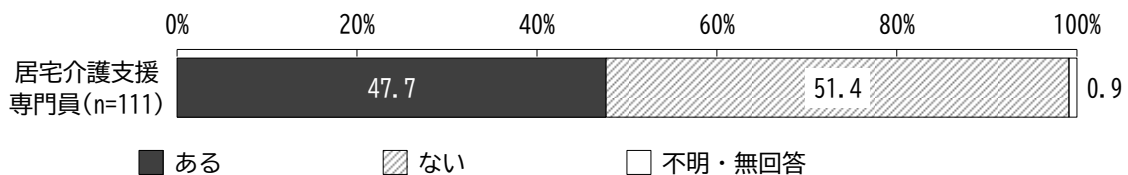
問 30 医師との連携で必要なことは何ですか。自由に記述してください。(自由記述)

医師との連携で必要なこと
MC Sは気構えなく報告しやすい。
医師参加の研修に参加して、顔なじみの関係をつくる。
医療的なことやサービス追加の際等、利用者の状態を報告する。
お互いの立場の理解。
居宅医療管理指導がない診療所だと情報が入らず、状態がわからない。
健康状態やひとり暮らしで生活が困難になっていることの情報共有。
現在の本人の状況についての詳細や本人が何を望んでいるかを伝え、医療として本人が納得できる対応をしてもらえるようにする。
こちら側の意図を汲み取れる仕組み。
本人や家族の意向や同意を得た上で、代弁者として伝える時は、医療的な知識をケアマネジャーも持ち合わせておくことが必要。
先生が多忙なため、連携を躊躇することがあるが、変化が見られた時に常に相談するようにしている。
先生によって連携の取りやすさが違う。
なかなか聞いてもらえない時が多いので、もう少し話しやすい空気だと助かる。
橋渡し役（ソーシャルワーカー連携担当看護師等）。
訪問看護が医師との連携の間に入っていて、スムーズにできる。
本人・家族やケアマネジャーの思いを伝え、相談する。
前もって書面で伝え、診察時は手短にするようこころがける。
まず気軽に話せる時間があまりなく難しいですが、プラン内容の詳細な部分を相談できたらサービス事業所も安心かと思います。
利用者にとって、支援者としては専門性をもって同等の立場で責任(生活面)をもって行っている。
MC Sのように気軽にできるとありがたい。
医師の多忙さを考え、質問などは前もって簡潔に行えるように準備する。
医療的なことで、施設との齟齬が生じた場合。
共通言語で話せること。
緊急時の対応。
信頼関係の構築。
診察時以外の日常を知ってもらう。処方後の経過の報告・評価。
明瞭・簡潔な内容の提示。メールやFAXでの連絡を活用し、医師に時間を取らせない配慮。MSWや担当NSへまず連絡する。
連携が取れる窓口の明確化。

7. 高齢者虐待について

問 31 家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。
（単数回答）

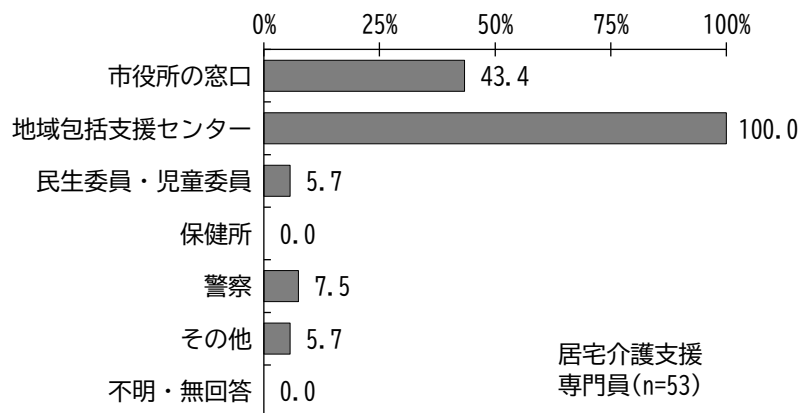
家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがあるかは、「ある」が47.7%、「ない」が51.4%となっています。



問 31 で「ある」と回答した方のみ

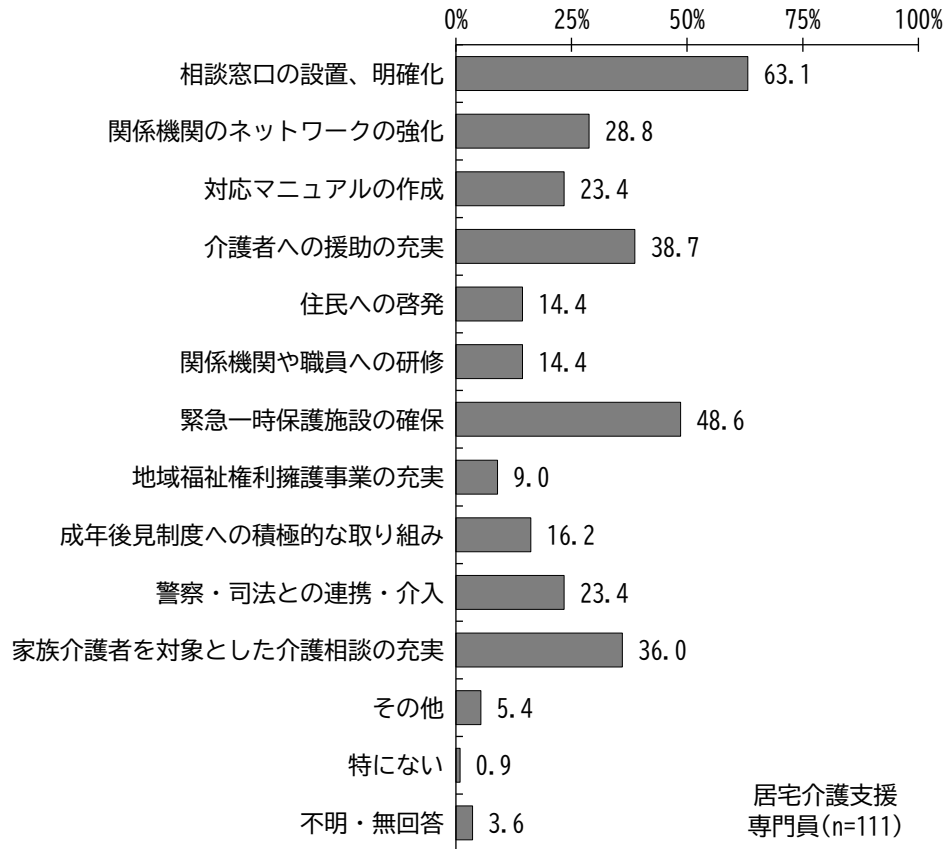
問 31-1 その際の相談先はどちらですか。（複数回答）

家庭内における高齢者虐待の事例を経験した時の相談先は、「地域包括支援センター」が100%と最も高く、次いで「市役所の窓口」が43.4%となっています。



問 32 高齢者虐待への対応として必要な制度やしくみはどのようなものだと思いますか。(複数回答)

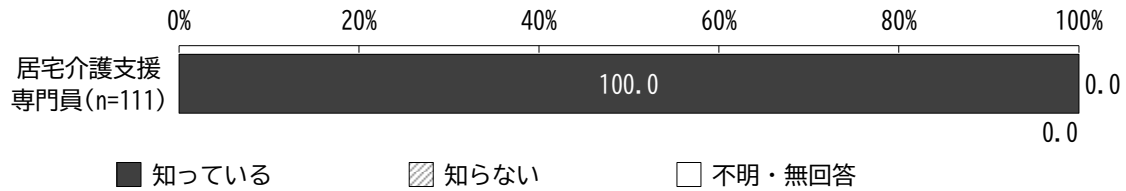
高齢者虐待への対応として必要な制度やしくみは、「相談窓口の設置、明確化」が63.1%と最も高く、次いで「緊急一時保護施設の確保」が48.6%となっています。



8. ヤングケアラー問題について

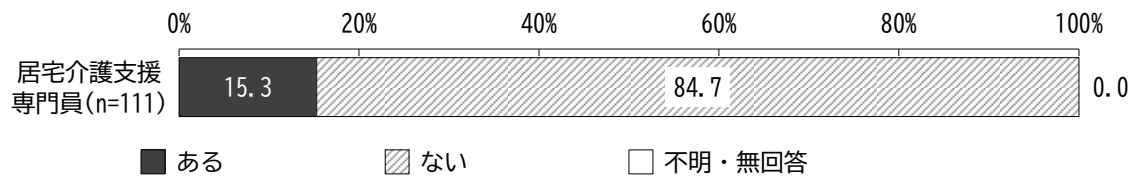
問 33 ヤングケアラー問題を知っていますか。(単数回答)

ヤングケアラー問題を知っているかは、「知っている」が100%となっています。



問 34 家庭内にヤングケアラーがいる事例を経験(担当)したことがありますか。(単数回答)

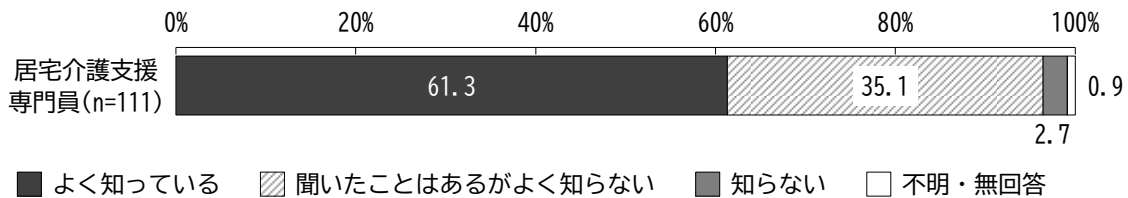
家庭内にヤングケアラーがいる事例を経験(担当)したことがあるかは、「ある」が15.3%、「ない」が84.7%となっています。



9. 人生の最終段階における過ごし方について

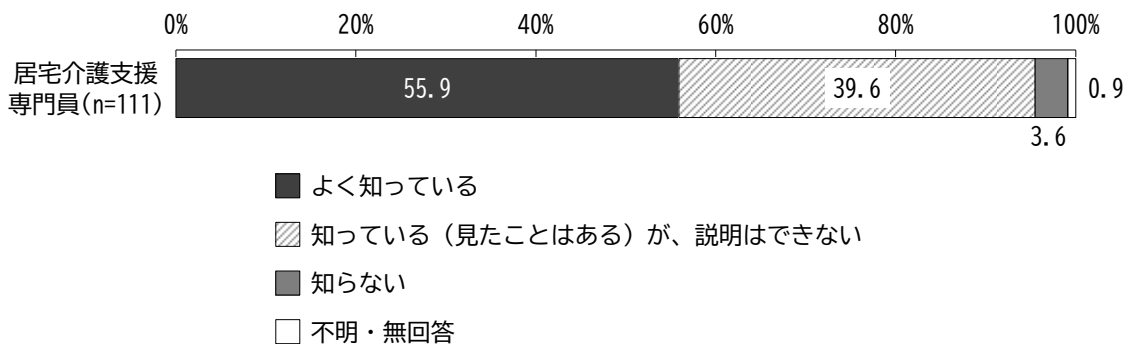
問 35 あなたは人生会議（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、これまで知っていましたか。（単数回答）

人生会議を知っていたかは、「よく知っている」が 61.3%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 35.1%、「知らない」が 2.7%となっています。



問 36 あなたは各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」について、これまで知っていましたか。（単数回答）

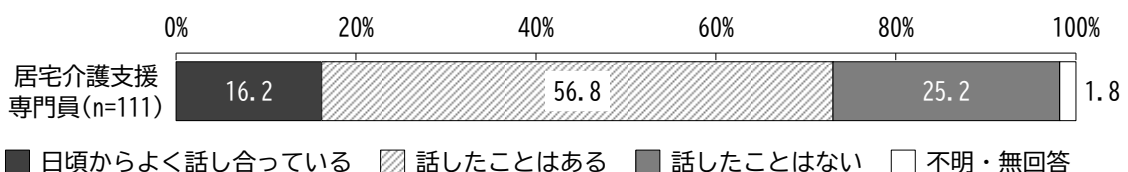
各務原市版人生会議ツール「人生アルバム」を知っていたかは、「よく知っている」が 55.9%、「知っている（見たことはある）が、説明はできない」が 39.6%、「知らない」が 3.6%となっています。



回答している方ご自身の状況について回答

問 37 人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っていますか。（単数回答）

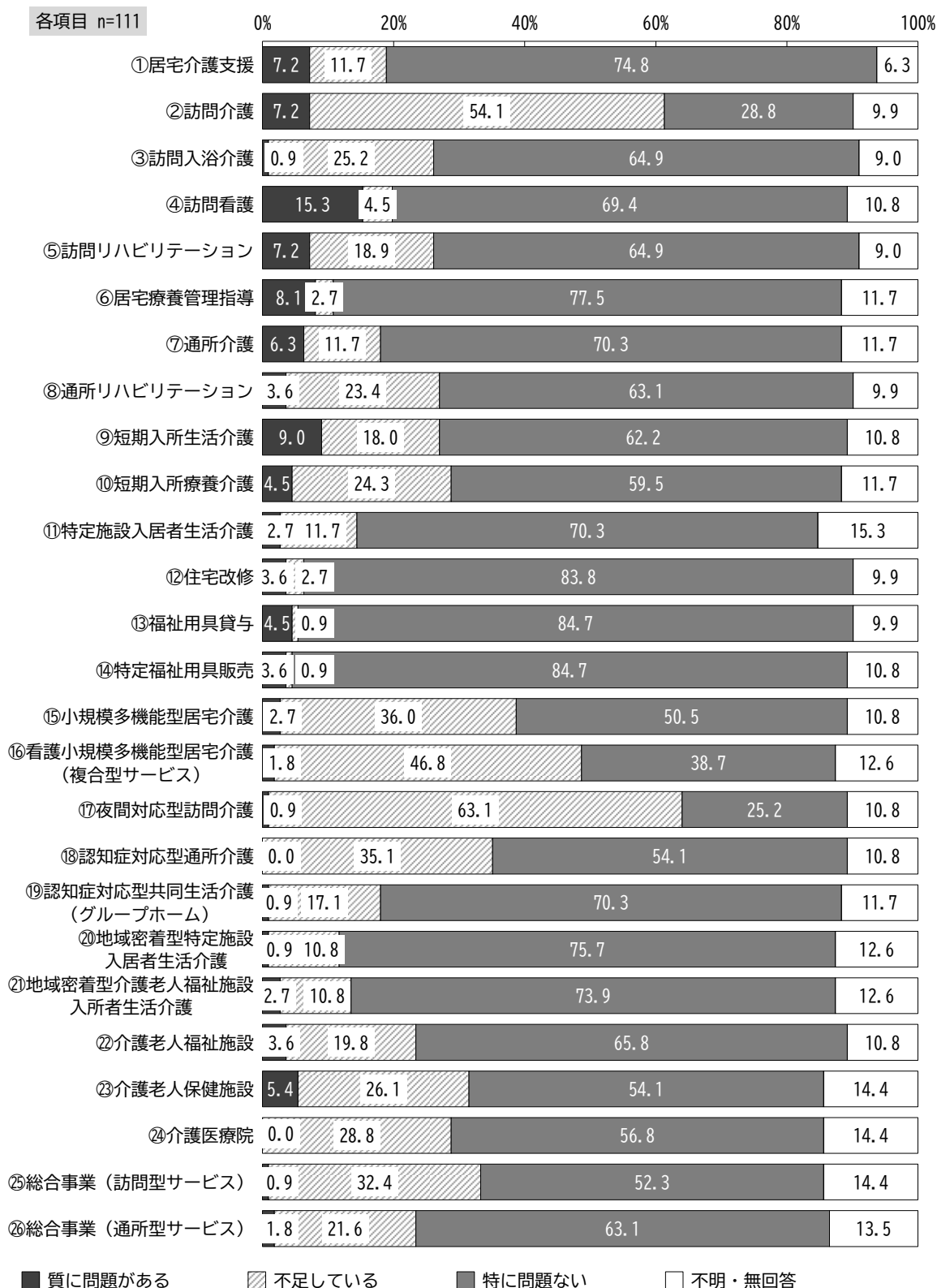
人生の最終段階を家族や専門職などと事前に話し合っているかは、「日頃からよく話し合っている」が 16.2%、「話したことはある」が 56.8%、「話したことはない」が 25.2%となっています。



10. 介護保険全般について

問 38 以下のサービスについて、「質に問題がある」または「不足している」と思われるものはどれですか。(各単数回答)

「質に問題がある」または「不足している」と思われるサービスは、〈④訪問看護〉で「質に問題がある」が15.3%、〈⑰夜間対応型訪問介護〉で「不足している」が63.1%と、それぞれ最も高くなっています。



問 38 でいずれかのサービスに「質に問題がある」と回答した方のみ

問 38-1 特に質に問題があると感じるサービスについて、該当の番号を記載の上、その理由をそれぞれお答えください。(自由記述)

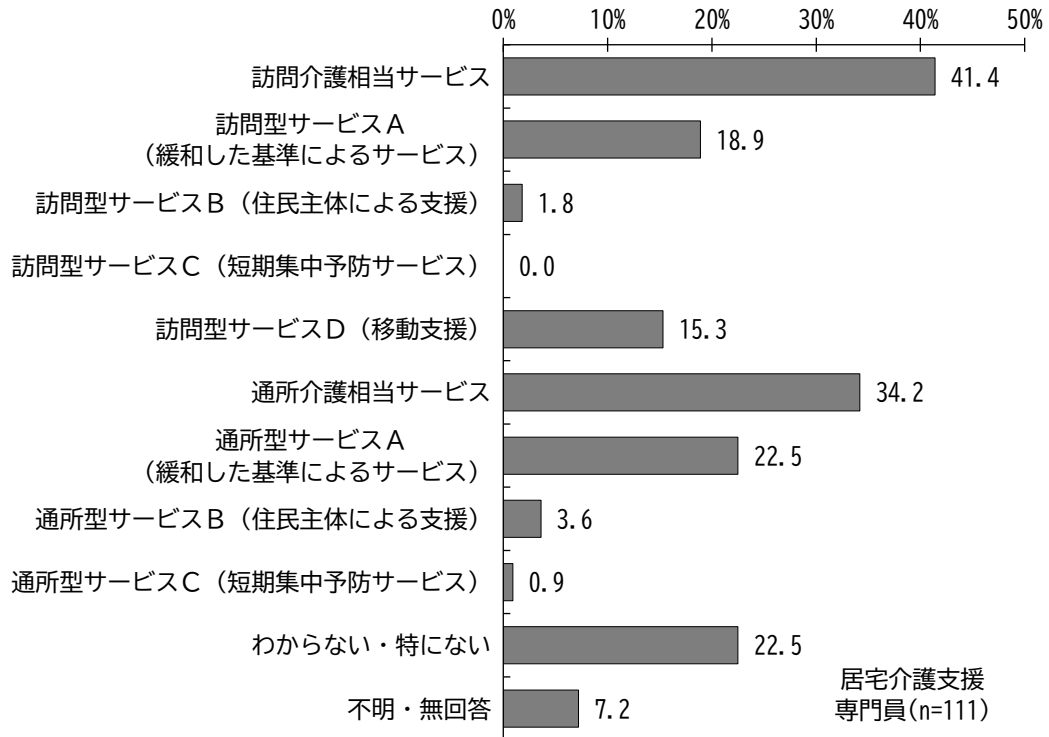
サービス名	質に問題があると感じる理由
居宅介護支援	ケアマネジャーの質、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントとの受任数が少ない。
	事業所間でケアマネジャーの質に差が大きい。家族からの聞き取りで判明。
	接遇、介護技術のクレームが家族からあった。クレーム対応の方法でも家族から不満があった。
	全体的に質の差や福利厚生等の差は激しいように思い、レベルの差も感じる。そのため、すべてよい事業所があると、そちらにケアマネジャーが集中すると思う。
	経験値、事業所の方針。
	事業所による差があるので、こちらとしても選択しながらではあるが、それはお互いさまだと思う。サービス内容の調整ができないと言われて困ることがあった(家族が時々来て支援している場合の生活援助等)。障害の訪問介護の利用など、かなり支援の方法が違うと感じた。
	事業所を含め力不足だと思う。
訪問介護	職員によって技量の差がある。訪問介護でできないことをやっている等。
	書類作成の多さ、法定研修の多さ。
	経験値により差があること。
	言葉遣いや対応に問題がある。
	施設併設している事業所は、特有のやり方で行われており、不適切な介助を指摘しづらい。対応が横柄、実際の活動時間が曖昧。
	訪問看護でどこまでやるかということが事業所で差が大きく、これもお互いさまだが調整に困った。
訪問入浴介護	毎回同じ内容のF Aがかなり遅くになって届くクリニックがある。
訪問看護	20分未満しかやっていないのに、30分未満で請求する。60分未満の残り30分未満は担当者会議なのに、その分まで請求してしまう。
	医療保険で利用者負担がない利用者に、必要ない訪問を増やす。
	ご説明がやや一方的である場合が見受けられる。
	営利目的と思われる不必要な内容の訪問を入れようとする。
	事業所によっては、連携図れないところがある。医療保険と介護保険の取り扱い方。
	医療費がかからないケース(福祉医療受給者など)の場合、ヘルパーの分野まで介入する。過剰な介入をしている。
	介護保険制度の理解が不足している場合がある。
	事業所により対応、サービスの質に差が大きい。
	事業所数は増えているが、職員一人ひとりの質が不安定。
すべてではないが、少しの症状変化で特支持あり。	

サービス名	質に問題があると感じる理由
訪問看護、訪問リハビリテーション	一部の事業所で、勝手に導入されたことがありました（回数を増やす等）。
訪問リハビリテーション	人によってサービスに差が出てしまう。 事業所により対応、サービスの質に差が大きい。通所に関しては利用者の好みもあるので、納得している。
居宅療養管理指導	緊急で呼んでいるのに、なかなか来てくれない。対応が不適切と感じることがある。 何をしているのかが、はっきりみえてこない。 本人・家族に対して、十分な説明がない。本人の思いを汲み取っていないケースがある。 薬局の居宅療養の算定不備。 経験値、事業所の方針。 まったく内容の変わらない報告書が送られてくる訪問診療がある。 服薬管理についてはなかなかみてもらえていない。
通所介護	事務所内での利用者情報の周知が不十分。 事業所により対応、サービスの質に差が大きい。 情報共有ができていない事業所が多い。 職員の接遇、送迎に関する苦情がある。人手不足。
通所リハビリテーション	内容。機能訓練ができる、その他サービスと変わりが見られないイメージ。 利用者が座ったまま過ごす時間が長いように思われる。
短期入所生活介護	家族からの苦情が多い。対応についての不満が多い。機能低下の不安がある。 ショートステイはやむを得ないかもしれないが、レクリエーションや運動等を取り組み楽しめる時間をつくってほしい。 職員間の申し送りの不十分さや本人の状態の把握が不十分で、対応のクレームがある。 人手不足が原因か。利用者から日中でも1人の職員が大忙しで介護している、と聞く。 利用者の価値観の問題もあるが、職員対利用者の関わりが希薄なショートステイが多いように思う。 利用者から、脱衣所に男性職員が入ってくるという苦情があった。入浴機械の安全ベルトの故障で不安だった。
短期入所生活介護、短期入所療養介護	安全に過ごせるが、楽しんでいない。
住宅改修	市町村により住改の許可を出すスピードが全然違う。その場で判断して許可出してくれる所もあれば1週間以上かかる場所もあるという事例を聞いた。
住宅改修、福祉用具貸与	ケアマネジャーに相談なく、必要のない用具改修の話を進めている。
福祉用具貸与	専門相談員の質の低下が感じられる。
特定福祉用具販売	杖に関して、販売のメリットがないように思う。

サービス名	質に問題があると感じる理由
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	利用できる人が少ない。頼みたいがなかなか受け入れてもらいづらい。
夜間対応型訪問介護	やっている事業所を把握していない。
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人福祉施設	対応が難しい方の受け入れが悪い。少し医療が必要なだけで断られる。
介護老人福祉施設	大変な利用者を依頼する際に、受け入れる前から不安を居宅のケアマネに言う。 入所までの待機の期間が長い。
介護老人保健施設	在宅へ戻るためのリハビリの効果が薄い。 在宅復帰率の低迷、本来の形の在宅復帰が困難。
総合事業（通所型サービス）	要支援の状態に合わせた内容が難しい。

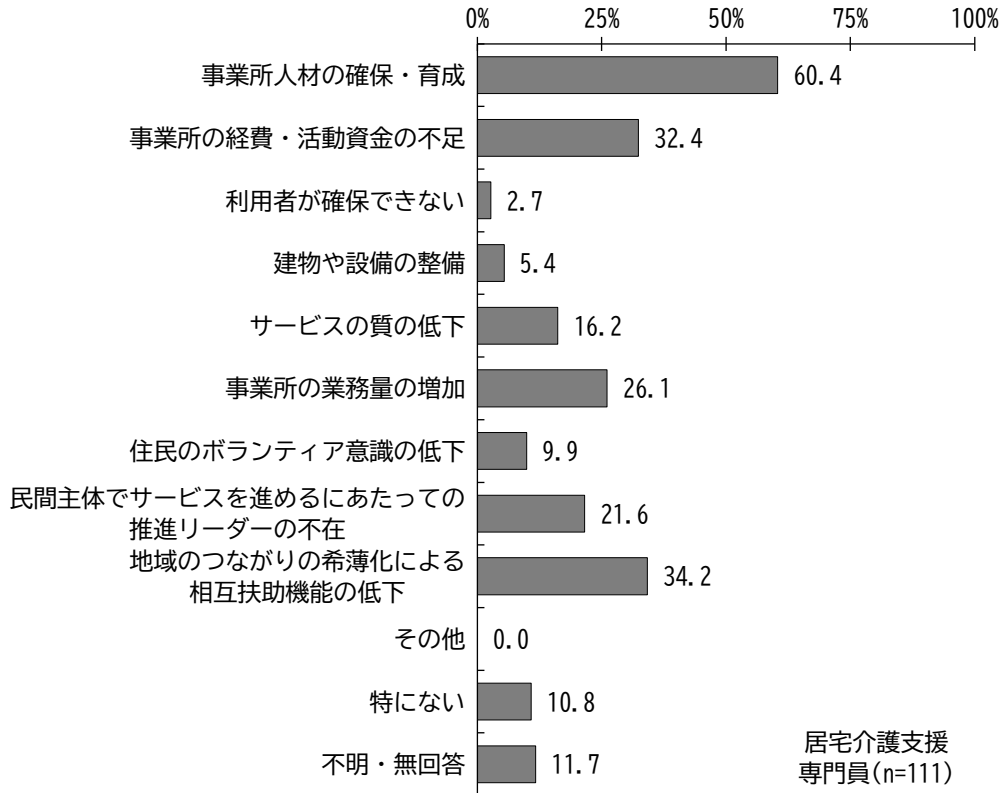
問 39 介護予防・日常生活支援総合事業の中で、特に利用者ニーズが高いと感じるサービスはありますか。(複数回答)

介護予防・日常生活支援総合事業の中で、特に利用者ニーズが高いと感じるサービスは、「訪問介護相当サービス」が41.4%と最も高く、次いで「通所介護相当サービス」が34.2%となっています。



問 40 総合事業の実施にあたり、各務原市で課題となりそうなことはどれですか。
(複数回答)

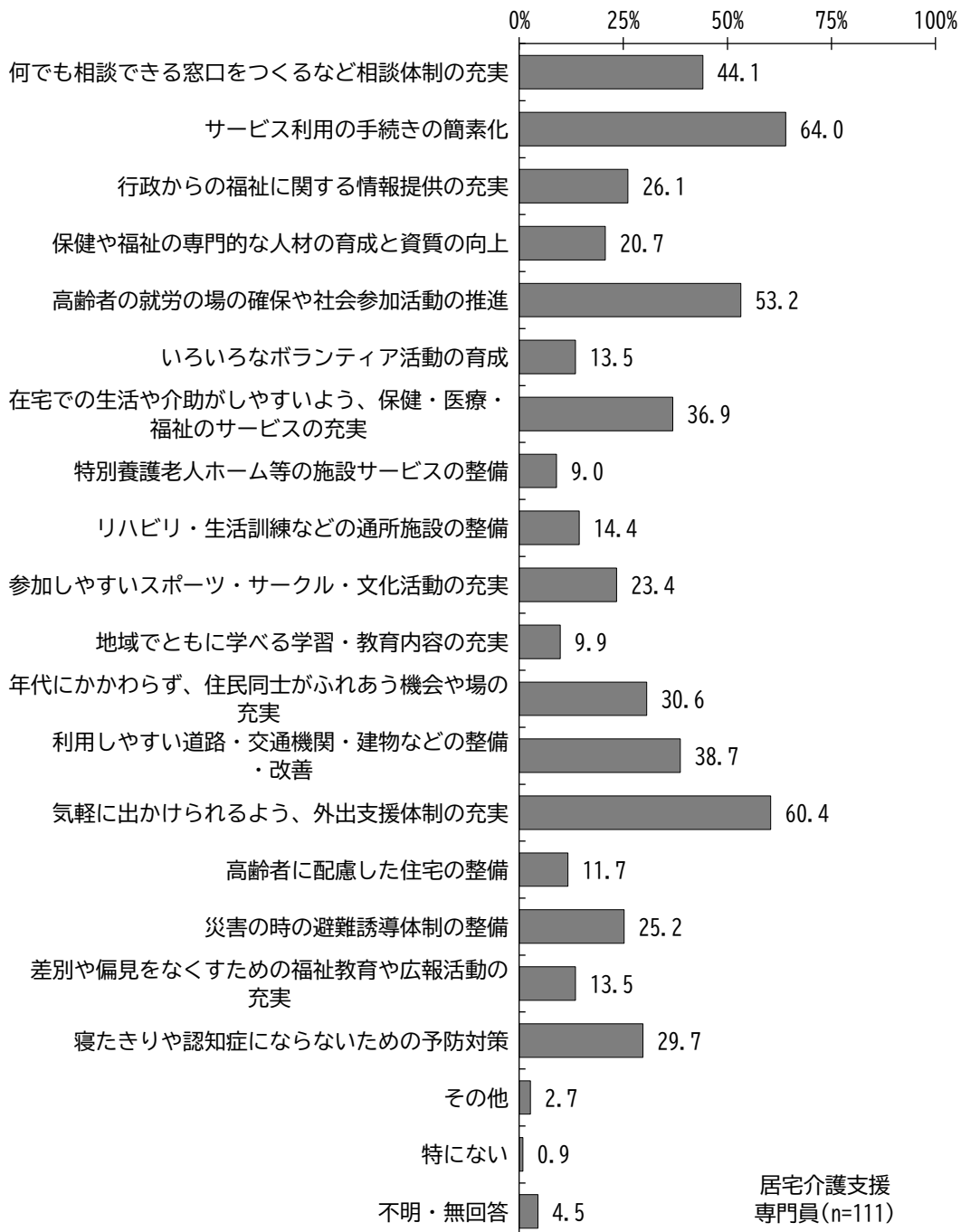
総合事業の実施にあたり、各務原市で課題となりそうなことは、「事業所人材の確保・育成」が60.4%と最も高く、次いで「地域のつながりの希薄化による相互扶助機能の低下」が34.2%となっています。



11. 高齢者福祉全般について

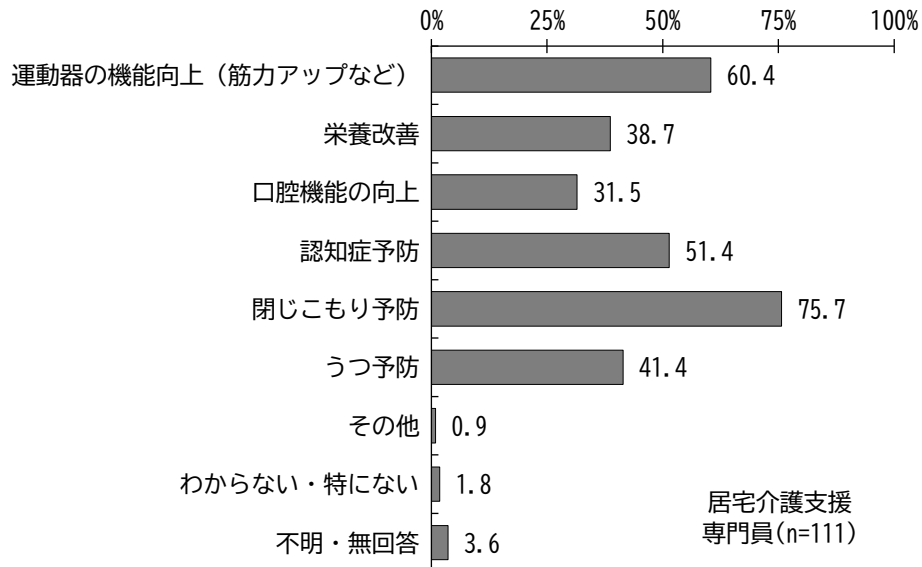
問 41 高齢者にとって住みよいまちをつくるために、何に重点をおくべきだと思いますか。(複数回答)

高齢者にとって住みよいまちをつくるために、重点をおくべきことは、「サービス利用の手続きの簡素化」が64.0%と最も高く、次いで「気軽に出かけられるよう、外出支援体制の充実」が60.4%となっています。



問 42 今後充実させるべきだと思う介護予防事業はありますか。(複数回答)

今後充実させるべきだと思う介護予防事業は、「閉じこもり予防」が 75.7%と最も高く、次いで「運動器の機能向上（筋力アップなど）」が 60.4%となっています。



問 43 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

自由意見

物価高騰か、サービスが多岐にわたるためか、最近は身近で無料で動くものに依頼する方が多くなったと感じます。「何をするにもお金がかかる。」「このくらいやってよ。」などの意見をよく聞きます。ボランティアハウスや集まりなど、タクシーを使ってまでは行きたくないということで断念されており、移動に関しての手段が増えるとありがたいです。権利擁護や金銭管理、買い物についても、無料で毎月訪問するケアマネジャー、ヘルパー、デイサービスがついでにやってくれたらよい、と言われることも多く、それらの制度をつなげるためには、それらに携わる方が、各家庭に赴いてもらう働きかけも必要かと思えます。皆さん相談に行きたくても行けないか、面倒なようです。以上、すべての利用者の意向を聞くのも限りある資源では困難です。本来は利用者や家族が主に動き、サービス事業所や行政はサポートする立場であること、自助努力を促すことが一番ではないかと感じます。自助意識を高めるためにはどうしたらよいのでしょうか。

各務原市内で一番の問題は移動手段（特に鵜沼方面・各務野地域）だと感じる。どこへ行くにも公共交通が薄く、直線で行けば 10 分程度でも、バスを利用すると 1 時間程かかるような交通機関では利用しにくい。チョイソコを利用したくてもバス停が遠かったり、利用が複雑で面倒との声を多く聞く。現在高齢者と言われる年代は、新住宅街を山の上に築き、年齢とともに運転免許返納を強要されている。各務原市独自の移動手段を考えてほしい。

ガン末期の方の介護認定について、短期間に区変を 2 回する事例がありました（要支援 1 → 要介護 1 → 要介護 3）。他市ではガン末期と診断を受けると、要介護 3 以上が確実につくと言われ、幅広く介護サービスが暫定でも利用できます。先日ガン末の利用者の家族から「まだ認定でないのか。」と言われました。認定が決まらない限り、ヘルパーが限度額の関係で増やすことができず、日に日に介護量が増すばかりでした。在宅で最期を迎えることは、家族の負担が増してきます。そしてそのスピードは早く、私達ケアマネジャーでも戸惑います。国は病院ではなく在宅での最期を年々望んでいます。各務原市ももう少し臨機応変に対応すべきだと思います。（現場としては、末期の方は申告時に要介護 3～5 で、期間が 3 か月から半年で決まり、その日からサービスを使いたいです。）

居宅届出の新規届出について、事前に提出し、介護保険証に印字されたものを郵送してほしい（手間）。支援だった場合、差し戻す。

ケアマネジャーの高齢化と離職が問題です。以前はヘルパーのキャリアアップにケアマネジャーを目指す方が多くありましたが、近年は処遇改善加算がつき介護職の方の収入が多い等、ケアマネジャーを目指す方が減っています。ケアマネジャーは介護保険サービスだけでなく障害福祉サービスも相談内容になったり、生活困窮の対応や対人関係のきつさだったり業務負担が多大了。離職原因となっています。各務原市から職員の流出を防ぐため、また各務原市で働く魅力として、例えば各務原市内で勤務 5 年ごとに慰労金の支給はいかがでしょうか。

軽度者の申請（福祉用具）について、他市と足並みをそろえてもらうことはできないでしょうか。

高齢者の外出を助けることが閉じこもり・鬱・筋力低下の予防につながり認知機能低下を予防し、介護保険の利用低下につながると思います。しかし、移動の問題・物価高の問題があり、ふれあいバスも乗り換え・路線変更・バス代等の理由で利用しなくなっています。また、自宅外で乗車降車により、ふれあいタクシーも利用しづらいと言っていました。何をするにも移動手段が一番の大きな問題です。市の方でよい方法をご検討ください。宜しく願いいたします。

市役所から居宅に直接、新規の利用者を紹介してくださると、非常に嬉しいです。

自由意見
<p>軽度者レンタルの際、何度も書面の訂正がある。その処理に時間がかかり、大事な利用者との訪問が削られてしまう。</p>
<p>有料・サ高住・ナーシングの施設のケアプラン点検、施設への指導をしてほしい。ケアマネ関係なく、サービスを決めてします。包括によってケアプランの記載方法や提出書類が異なる。包括や居宅の制度理解のズレがケアマネの支障となるため、包括と居宅管理者において研修を実施してほしい。</p>
<p>一部しかチョイソコがない。全地域に広げてほしい。</p>
<p>介護支援専門員の処遇改善や生産性向上に対して、各事業所の判断だけでなく、行政としてケアプランデータの連携の推進を後押しする等の働きかけを期待する。ケアプラン作成に関係する業務量は非常に多く、記録や書類作成、給付管理等、処遇改善が必要である。介護支援専門員のシャドウワークについて、市内のケアマネジャーに対し、その内容や対応時間をさらに詳しく実態把握する必要がある。また、ケアマネジャーの高齢化についての調査も実施することで、将来的なケアマネジャーの人員確保の視点が必要である。今後、ケアプランの有料化が進んだ場合、ケアマネジャーの職務離れや新たなカスタムトラブルも出てくることを想定した勉強会や自己研鑽が必要になる。地域包括支援センターにおける総合相談及び介護予防支援を担う居宅介護支援事業所を増やすことが必要である。地域包括支援センターのケアマネジメントの業務量を軽減させることで地域包括支援センターの本来の業務力を確保すべきである。指定介護予防支援事業所を増やし、総合相談も受任できるケアマネ事業所が必要であり、それを対応できるケアマネジャーの質の向上も必須である。</p>
<p>業務外と思われることの対応について、どこまで関わってよいかいつも悩みます。周りのサポートはありますがそれでもケアマネジャーが対応しないといけないことが多々あり疲れます。いろいろな思いをケアマネジャーにぶつけてくることも多く受け止めきれない時は、自分を責めることもあります。</p>
<p>認定調査時に、申請書の記載通りに連絡をすると調査日の希望が異なっていたりすることがあります。また、認知機能面を確認する時調査員がかなり気を使うことがあるので、調整等がもう少し楽にできると良いと思います。市町村での対応は難しいと思いますが、呼吸器疾患、がん末期の介護保険利用者の要支援、介護認定「1」の方のベッド等の利用が医師の意見書に疾患のため必要等の記載があれば利用可能となるとスムーズな支援が行えると考えます。</p>
<p>頼れる人がいない高齢者の終活支援（身元保証・葬儀などの死後の支援。）を各務原市でも実施してほしい。</p>

各務原市
高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に係る
アンケート調査
【結果報告書】

発行 : 令和8年3月

発行者 : 各務原市

編集 : 各務原市 健康福祉部 高齢介護課

〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地

TEL : (058) 383-1778